

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H10101	人間環境学	1・2	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学問の意義、人間環境学、総合的教養、主専攻・副専攻	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

人間環境学は人間環境大学の根本理念である。この理念について十分に理解することは、全体知を目指し、又、環境の各々の専門を修めるといふ大学設立以来の教育の目的を達成するために不可欠である。

授業の概要：

人間環境学の理念と人間環境大学とについて、その歴史と設立の意義を理解することとともに、人間環境学の学問、研究、教育における歴史的な意義を理解する。そのために、現在、広く学問がどのようなシステムになっているのか、そしてその課題がどのようなものか理解し、さらに、現在人類社会が直面しているさまざまな課題と学問の役割について考察する。

授業の計画：

1. 人間環境大学の設立
2. 人間環境大学の概要
3. 人間環境大学の学問理念「人間環境学」
4. 学問とは何か
5. 諸文化における学問
6. ヨーロッパにおける学問の理念と哲学
7. ヨーロッパにおける学問の歴史（1）
8. ヨーロッパにおける学問の歴史（2）
9. 近現代における学問の変容
10. わが国における大学の歴史
11. 世界的な大学および学問の変化
12. 環境問題と人間環境学
13. こころの問題と人間環境学
14. 歴史・文化と人間環境学
15. 人間環境学の意義

授業方法：

講義における解説を主として、適宜レポートを課する。

達成目標：

人間環境大学の設立理念を理解し、大学での学修の意義、学問の意義を理解する。

評価方法：

論述試験 70%、出席など 30%

- S. 人間環境学について理解し、本学で学ぶことの意義を把握している。
- A. 人間環境学について理解し、本学で学ぶことの意義を考えることが出来た。
- B. 人間環境学について理解することが出来た。
- C. 人間環境学について一部理解した。
- D. 理解しなかった。

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H10201～11	基礎ゼミナール I	1	1	下記参照

期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
前期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
聴く、読む、調べる、整理する、まとめる、書く	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

担当教員：

神谷、日比野、森、藪谷、伊藤、吉田、吉野、島崎、渡、菅原、花井

授業のテーマ：

基礎ゼミナールは、本学1年生の必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な基礎的な技能や、知的探究心を鍛錬することを目的としています。また、少人数教育による教員との直接対話を通じて学習意欲を啓発するとともに、学生同士の親睦と連帯の意識を育てます。

授業の概要：

1. 基礎ゼミナールは、I（前期）とII（後期）に区分され、両科目は必修科目です。
2. 基礎ゼミナールでは、共通テキストを使用して、ノート・テイキング、文献調査、レポート作成、プレゼンテーションなど大学に必要な基礎的技法を学びます。

授業の計画：

1. 第1章 スタディスキルズとは
2. 第2章 ノート・テイキング（その1）
3. 第2章 ノート・テイキング（その2）
4. 第3章 リーディングの基本スキル（その1）
5. 第3章 リーディングの基本スキル（その2）
6. 第4章 より深いリーディングのために（その1）
7. 第4章 より深いリーディングのために（その2）
8. 第5章 大学図書館における情報収集（その1）
9. 第5章 大学図書館における情報収集（その2）
10. 第8章 アカデミックライティングの基本スキル（その1）
11. 第8章 アカデミックライティングの基本スキル（その2）
12. 第9章 効果的なアカデミックライティングのために（その1）
13. 第9章 効果的なアカデミックライティングのために（その2）
14. レポート作成についてのQ & A（その1）
15. レポート作成についてのQ&A（その2）

授業方法：

初講時に各担当教員が指示します。

達成目標：

大学の学習に必要な基礎学力、基礎的技能を修得し、学習意欲と知的探究心を養う。

評価方法：

総合評価

- S：大学の学修に必要なきわめて高度な能力が認められる
- A：大学での学修に必要な高度な能力が認められる
- B：大学での学修に必要な能力が認められる
- C：やや問題はあるが大学での学修に必要な能力が認められる
- D：大学での学修に必要な能力には到達していない

教科書：

『知へのステップ（改訂版）』（くろしお出版）
担当教員によっては別途、補助教材を使用することがあります。

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H10212	基礎ゼミナール I (再履修者クラス)	2	1	島崎義治

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
聴く、読む、調べる、整理する、まとめる、書く	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

基礎ゼミナールは、本学1年生の必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な基礎的な技能や、知的探究心を鍛錬することを目的としています。また、教員との直接対話を通じて学習意欲を啓発するとともに、学生同士の親睦と連帯の意識を育てます。

授業の概要：

1. 基礎ゼミナールは、I (前期) と II (後期) に区分され、両科目は必修科目です。
2. 基礎ゼミナールでは、共通テキストを使用して、ノート・テイキング、文献調査、レポート作成、プレゼンテーションなど大学で必要な基礎的技法を学びます。

授業の計画：

1. 第1章 スタディスキルズとは
2. 第2章 ノート・テイキング (その1)
3. 第2章 ノート・テイキング (その2)
4. 第3章 リーディングの基本スキル (その1)
5. 第3章 リーディングの基本スキル (その2)
6. 第4章 より深いリーディングのために (その1)
7. 第4章 より深いリーディングのために (その2)
8. 第5章 大学図書館における情報収集 (その1)
9. 第5章 大学図書館における情報収集 (その2)
10. 第8章 アカデミックライティングの基本スキル (その1)
11. 第8章 アカデミックライティングの基本スキル (その2)
12. 第9章 効果的なアカデミックライティングのために (その1)
13. 第9章 効果的なアカデミックライティングのために (その2)
14. レポート作成についての Q & A (その1)
15. レポート作成についての Q & A (その2)

授業方法：

全員で教科書の理解度を確認した後、課題に取り組みます。

達成目標：

大学の学習に必要な基礎学力、基礎的技能を修得し、学習意欲と知的探究心を養う。

評価方法：

レポート試験

教科書：

『知へのステップ (改訂版)』(くろしお出版) 1,800 円 + 税
担当教員によっては別途、補助教材を称することがあります。

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H12201～11	基礎ゼミナールⅡ	1	1	下記参照

期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
後期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
まとめる、書く、表現する、伝える	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

担当教員：

神谷、日比野、森、藪谷、伊藤、吉田、吉野、島崎、渡、菅原、花井

授業のテーマ：

基礎ゼミナールは、本学1年生の必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な基礎的な技能や、知的探究心を鍛錬することを目的としています。また、少人数教育による教員との直接対話を通じて学習意欲を啓発するとともに、学生同士の親睦と連帯の意識を育てます。

授業の概要：

1. 基礎ゼミナールは、Ⅰ（前期）とⅡ（後期）に区分され、両科目は必修科目です。
2. 基礎ゼミナールⅡでは、前期で学んだことに加え、コンピューターを利用した技法を学び、基礎的現代的な教養や社会問題、問題の発見と解決、創造と発想、調査研究の方法など幅広い分野を取り上げ、大学で必要な基礎的技法を学びます。

授業の計画：

1. 第10章 パソコンによるライティングスキル（その1）
2. 第10章 パソコンによるライティングスキル（その2）
3. 第11章 プレゼンテーションの基本スキル（その1）
4. 第11章 プレゼンテーションの基本スキル（その2）
5. 第12章 わかりやすいプレゼンテーションのために（その1）
6. 第12章 わかりやすいプレゼンテーションのために（その2）
7. 身の回りにある問題を見つけてみよう（その1）
8. 身の回りにある問題を見つけてみよう（その2）
9. 図書館などで情報を収集してみよう（その1）
10. 図書館などで情報を収集してみよう（その2）
11. レポートを作成してみよう（その1）
12. レポートを作成してみよう（その2）
13. プレゼンテーションをしてみよう（その1）
14. プレゼンテーションをしてみよう（その2）
15. まとめ

授業方法：

初講時に各担当教員が指示します。

達成目標：

大学の学習に必要な基礎学力、基礎的技能を修得し、学習意欲と知的探究心を養う。

評価方法：

総合評価

- S：大学の学修に必要なきわめて高度な能力が認められる
- A：大学での学修に必要な高度な能力が認められる
- B：大学での学修に必要な能力が認められる
- C：やや問題はあるが大学での学修に必要な能力が認められる
- D：大学での学修に必要な能力には到達していない

教科書：

『知へのステップ（改訂版）』（くろしお出版）

担当教員によっては別途、補助教材を使用することがあります。

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H12212	基礎ゼミナールⅡ（再履修者クラス）	2	1	島崎義治

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
まとめる、書く、表現する、伝える	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

基礎ゼミナールは、本学1年生の必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な基礎的な技能や、知的探究心を鍛錬することを目的としています。また、教員との直接対話を通じて学習意欲を啓発するとともに、学生同士の親睦と連帯の意識を育てます。

授業の概要：

1. 基礎ゼミナールは、Ⅰ（前期）とⅡ（後期）に区分され、両科目は必修科目です。
2. 基礎ゼミナールⅡでは、前期で学んだことに加え、コンピューターを利用した技法を学び、基礎的現代的な教養や社会問題、問題の発見と解決、創造と発想、調査研究の方法など幅広い分野を取り上げます。査、レポート作成、プレゼンテーションなど大学に必要な基礎的技法を学びます。

授業の計画：

1. 第10章 パソコンによるライティングスキル（その1）
2. 第10章 パソコンによるライティングスキル（その2）
3. 第11章 プレゼンテーションの基本スキル（その1）
4. 第11章 プレゼンテーションの基本スキル（その2）
5. 第12章 わかりやすいプレゼンテーションのために（その1）
6. 第12章 わかりやすいプレゼンテーションのために（その2）
7. 身の回りにある問題を見つけてみよう（その1）
8. 身の回りにある問題を見つけてみよう（その2）
9. 図書館などで情報を収集してみよう（その1）
10. 図書館などで情報を収集してみよう（その2）
11. レポートを作成してみよう（その1）
12. レポートを作成してみよう（その2）
13. プレゼンテーションをしてみよう（その1）
14. プレゼンテーションをしてみよう（その2）
15. まとめ

授業方法：

全員で教科書の理解度を確認した後、課題に取り組みます。

達成目標：

大学の学習に必要な基礎学力、基礎的技能を修得し、学習意欲と知的探究心を養う。

評価方法：

レポート試験

教科書：

『知へのステップ（改訂版）』（くろしお出版）1,800円＋税

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H12101～5	日本語リテラシ I	1	1	下記参照

期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
前期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語、読む、書く	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

担当教員：

森順子・伊藤利行・吉田喜久子・島崎義治・菅原太

授業のテーマ：

日本語リテラシは、本学1年生の必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な日本語の能力を高めるために、基礎的な日本語表現技術を学ぶことを目的としています。

授業の概要：

1. 日本語リテラシは、I（前期）とII（後期）に区分され、両科目は必修科目です。
2. 日本語リテラシでは、共通テキストを使用して、日本語表現の基礎を学びます。
3. 漢字マスターを利用して2級程度の漢字が使えるようにします。

授業の計画：

1. 話し言葉と書き言葉
2. 漢字の読み方と言葉の意味（その1）
3. 文の組み立て
4. 漢字の読み方と言葉の意味（その2）
5. 視点（その1）
6. 視点（その2）
7. 漢字の読み方と言葉の意味（その3）
8. 文のつなぎ方
9. 同音・同訓異義語の使い分け（その1）
10. 同音・同訓異義語の使い分け（その2）
11. 同音・同訓異義語の使い分け（その3）
12. 意味の限定（その1）
13. 意味の限定（その2）
14. 言葉の順序（その1）
15. 言葉の順序（その2）

授業方法：

初講時に各担当教員が指示します。

達成目標：

大学の学習で必要な日本語能力を修得し、学習意欲と知的探究心を養う。また、漢字検定試験2級合格を目標とする。

評価方法：

- S：大学の学修に必要な高度な十分な日本語能力が認められる
A：大学での学修に必要な十分な日本語能力が認められる
B：大学での学修に必要な日本語能力が認められる
C：やや問題はあるが大学での学修に必要な日本語能力が認められる
D：大学での学修に必要な日本語能力には到達していない

教科書：

名古屋大学日本語表現研究会『書き込み式日本語表現ノート』（三弥井書店）
数研出版編集部『漢字能力検定5～2級対応級別漢字マスター』（数研出版）

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H12106	日本語リテラシ I (留学生クラス)	1	1	文野峯子

期間	曜日	時限	備考：この科目は、「日本留学試験日本語科目（記述問題を除く）」の得点が250点以下、または、日本語能力試験N1に合格していないもの、すなわち日本語による専門教育の講義を理解する日本語能力が不十分な留学生を対象としている。
前期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
文法、語彙、聴解、読解	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

聴く、読む分野における日本語の知識の整理。N2 レベルまでの復習、N1 レベルへの挑戦。

授業の概要：

この授業は、前半は聴解練習、後半は読解練習を行う。

授業計画：

前期

『聴くトレーニング』

1. 促音、撥音、拗音
2. 長音、濁音・半濁音
3. その他、慣用表現①
4. 慣用表現②、③
5. 四字熟語①、②
6. 留学生活、情報・通信
7. データ研究・発表
8. 社会問題、心理・教育
9. 経済・経営、科学
10. 推測
11. 推測
12. 予測
13. 予測
14. 情報の照合
15. 情報の比較

『読むトレーニング』

1. 必要な情報を探す読み方
2. キーワード
3. 対になっていることば
4. 接続語や指示語
5. 練習—1
6. 練習—2
7. 練習—3
8. 練習—4
9. 練習—5
10. 実践練習—1
11. 実践練習—2
12. 実践練習—3
13. 実践練習—4
14. 実践練習—5
15. まとめ

教育の方法：

学習内容の一部または全部をノートに書くことを宿題とする。基礎的な知識は、毎回小テストをして定着を図る。

達成目標：

日本語力は、テレビニュースの概要が聞き取れるレベルを目指す。

評価方法：

提出課題	30%
小テスト	20%
期末テスト	50%

教科書：

授業時に指示

参考文献：

『聴くトレーニング：聴解・聴読解（応用編）』スリーエー・ネットワーク
『読むトレーニング（基礎編）（応用編）』スリーエー・ネットワーク

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H12107	日本語リテラシ I (再履修者クラス)	2	1	石上文正

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語、読む、書く	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ:

日本語リテラシは、本学1年生の必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な日本語の能力を高めるために、基礎的な日本語表現技術を学ぶことを目的としています。

授業の概要:

1. 日本語リテラシは、I (前期) と II (後期) に区分され、両科目は必修科目です。
2. 日本語リテラシでは、共通テキストを使用して、日本語表現の基礎を学びます。
3. 漢字マスターを利用して2級程度の漢字が使えるようにします。

授業の計画:

1. 話し言葉と書き言葉
2. 漢字の読み方と言葉の意味 (その1)
3. 文の組み立て
4. 漢字の読み方と言葉の意味 (その2)
5. 視点 (その1)
6. 視点 (その2)
7. 漢字の読み方と言葉の意味 (その3)
8. 文のつなぎ方
9. 同音・同訓異義語の使い分け (その1)
10. 同音・同訓異義語の使い分け (その2)
11. 同音・同訓異義語の使い分け (その3)
12. 意味の限定 (その1)
13. 意味の限定 (その2)
14. 言葉の順序 (その1)
15. 言葉の順序 (その2)

授業方法:

初講時に担当教員が指示します。

達成目標:

大学の学習で必要な日本語能力を修得し、学習意欲と知的探究心を養う。また、漢字検定試験2級合格を目標とする。

評価方法:

- S: 大学の学修に必要な高度な十分な日本語能力が認められる
- A: 大学での学修に必要な十分な日本語能力が認められる
- B: 大学での学修に必要な日本語能力が認められる
- C: やや問題はあるが大学での学修に必要な日本語能力が認められる
- D: 大学での学修に必要な日本語能力には到達していない

教科書:

名古屋大学日本語表現研究会『書き込み式日本語表現ノート』(三弥井書店)
 数研出版編集部『漢字能力検定5～2級対応級別漢字マスター』(数研出版)

参考文献:

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H12201～5	日本語リテラシⅡ	1	1	下記参照

期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語、読む、書く	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

担当教員：

森順子・伊藤利行・吉田喜久子・島崎義治・菅原太

授業のテーマ：

日本語リテラシーは、本学1年生の必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な日本語の能力を高めるために、基礎的な日本語表現技術を学ぶことを目的としています。

授業の概要：

1. 日本語リテラシーは、Ⅰ（前期）とⅡ（後期）に区分され、両科目は必修科目です。
2. 日本語リテラシーでは、共通テキストを使用して、日本語表現の基礎を学びます。
3. 漢字マスターを利用して2級程度の漢字が使えるようにします。

授業の計画：

1. 定義・分類の表現（1）
2. 定義・分類の表現（2）
3. 比較・対照の表現（1）
4. 比較・対照の表現（2）
5. 類義語の使い方
6. 対義語の使い方
7. 列挙・順序・因果関係の表現（1）
8. 列挙・順序・因果関係の表現（2）
9. 言葉の呼応
10. 定型表現・慣用句
11. 引用の表現（1）
12. 引用の表現（2）
13. 敬語
14. 注意すべき敬語
15. 四字熟語、仮名遣い・送り仮名の使い方

授業方法：

初講時に各担当教員が指示します。

達成目標：

大学の学習に必要な日本語能力を修得し、学習意欲と知的探究心を養う。また、漢字検定試験2級合格を目標とする。

評価方法：

- S：大学の学修に必要な高度な十分な日本語能力が認められる
A：大学での学修に必要な十分な日本語能力が認められる
B：大学での学修に必要な日本語能力が認められる
C：やや問題はありますが大学での学修に必要な日本語能力が認められる
D：大学での学修に必要な日本語能力には到達していない

教科書：

名古屋大学日本語表現研究会『書き込み式日本語表現ノート』（三弥井書店）
数研出版編集部『漢字能力検定5～2級対応級別漢字マスター』（数研出版）

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H12206	日本語リテラシⅡ（留学生クラス）	1	1	文野峯子

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ノートテキング、書き言葉、漢字語彙、わかりやすい文章、わかりやすい構成	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

中上級文型、N1 レベルの文字語彙の習得と定着。講義を聞きノートをとる。文章表現能力育成。

授業の概要：

中級文型および文字語彙の習得と定着は、毎回小テストで確認する。ニュース等を聞き取りノートをとる、概要を文章化する作業を通して、聴解力および文章力を身につける。

授業計画：

中級文型	聴解練習
1. 動作の対象	1. キーワードを聞き取る
2. 目的・手段・媒介	2. キーワードを聞き取る
3. 機転・終点・限界・範囲	3. 長すぎる文、ねじれ文
4. 時点・場面	4. (ニュース)、要約文を書く
5. 時間的同時性・時間的前後関係	5. 要約文を評価・検討
6. 進行・相関関係	6. (ニュース) 要約文を書く
7. 付帯・非付帯	7. 要約文を評価・検討
8. 限定	8. (新聞) 要約文を書く
9. 非限定・付加	9. 要約文を評価・検討
10. 比較	10. 要約文を書く
11. 判断の立場	11. 要約文を評価・検討
12. 基準	12. 意見文を書く
13. 関連・対応	13. 意見文を評価・検討
14. 無関係・例外	14. 意見文を書く
15. 例示	15. 意見文を評価・検討

教育の方法：

学習内容の一部または全部をノートに書くことを宿題とする。基礎的な知識は、毎回小テストをして定着を図る。ノート作成や作文等授業中に完成できなかった部分は宿題とし、[e-mail 添付で nihongo@uhe.ac.jp](mailto:nihongo@uhe.ac.jp) にその週の金曜日までに提出する。

達成目標：

文法、文字、語彙、聞き取り、ライティング分野における日本語力能力は、新聞や教科書に見られる書き言葉が聞いて理解でき、概要をまとめる、聞いた意見に対して簡単な意見文が書けるレベル (CEFR 外国語能力評価基準の B 2 レベル) になる。

評価方法：

提出課題	30%
小テスト	20%
期末テスト	50%

教科書：

授業時に提示

参考文献：

『どんなときどう使う日本語表現文型 500』 アルク
『日本語能力試験 1 級対策問題集—文法・文字・語彙の総仕上げ』 創訳社

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H12207	日本語リテラシⅡ（再履修者クラス）	2	1	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語、読む、書く	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

日本語リテラシーは、本学1年生の必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な日本語の能力を高めるために、基礎的な日本語表現技術を学ぶことを目的としています。

授業の概要：

1. 日本語リテラシーは、Ⅰ（前期）とⅡ（後期）に区分され、両科目は必修科目です。
2. 日本語リテラシーでは、共通テキストを使用して、日本語表現の基礎を学びます。
3. 漢字マスターを利用して2級程度の漢字が使えるようにします。

授業の計画：

1. 定義・分類の表現（1）
2. 定義・分類の表現（2）
3. 比較・対照の表現（1）
4. 比較・対照の表現（2）
5. 類義語の使い方
6. 対義語の使い方
7. 列挙・順序・因果関係の表現（1）
8. 列挙・順序・因果関係の表現（2）
9. 言葉の呼応
10. 定型表現・慣用句
11. 引用の表現（1）
12. 引用の表現（2）
13. 敬語
14. 注意すべき敬語
15. 四字熟語、仮名遣い・送り仮名の使い方

授業方法：

初講時に担当教員が指示します。

達成目標：

大学の学習に必要な日本語能力を修得し、学習意欲と知的探究心を養う。また、漢字検定試験2級合格を目標とする。

評価方法：

- S：大学の学修に必要な高度な十分な日本語能力が認められる
A：大学での学修に必要な十分な日本語能力が認められる
B：大学での学修に必要な日本語能力が認められる
C：やや問題はあるが大学での学修に必要な日本語能力が認められる
D：大学での学修に必要な日本語能力には到達していない

教科書：

名古屋大学日本語表現研究会『書き込み式日本語表現ノート』（三弥井書店）
数研出版編集部『漢字能力検定5～2級対応級別漢字マスター』（数研出版）

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A09101	海外大学単位互換科目 A	1・2	2	文野・花井

期間	曜日	時限	備考：準備期間 H25 年 4 月下旬～研修期間直前 研修期間 H 25 年 8 月下旬～9 月初旬（予定） ※この授業については、履修登録期間中には登録は行わず、事前説明会を行った上で、別途期間を定め履修登録を行います。
前期	集中	8～9月	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学生主体、協働学習、異文化間交流、リーダーシップ	コミュニケーション力、問題解決力、グローバルな視野

授業のテーマ：

1. 「獲得型」学習。学生各自が、主体的かつ積極的に活動に参加し、知識・能力を獲得する。
2. 価値観や母語の異なる他者と共に学び合う活動を通して、他者理解だけでなく自己理解を深める。

授業の概要：

この科目は、本学と海外の大学が結んだ単位互換協定にもとづいて実施されるものです。本学の学生が当該科目を履修した場合、修得した科目の単位は2科目（2単位×2カ年＝4単位）まで本学の『自由選択科目』の科目として卒業要件単位に算入できます。

授業の計画：

《研修内容》

台湾の大学から教員と学生が研修に参加する予定です。テーマ等は、先方の大学と話し合いの上決定します。過去のテーマは、「まちづくり」、「コミュニティづくりと言語管理」、「現代の世に見る日本の社会」などです。各チームは、台湾の学生と本学の学生で混成グループを作ります。グループ編成は、事前のインターネット上のやりとりを通じて台湾の学生の来日前に行われます。

使用言語は、日本語を基本とします。台湾の学生は外国語である日本語でコミュニケーションをしなければなりません。日本人の学生には、語学面からの支援や意思疎通が円滑に進むよう気を配るなどの役割が求められます。グループの研究課題決定から活動計画、研究発表に至るまで学生が主体となって行う実習・演習タイプの科目であり、来日した学生との協働の研修であるので、台湾の学生が活動している間日本人学生は全ての過程においてリーダーとして参加することが期待されます。

《研修前の活動》

- 1) インターネットを通して台湾の学生とやりとりを行います。
- 2) 週一回程度 日本人側の勉強会、受け入れ準備のための話し合いを行います。

《研修期間中の活動》

合宿、あるいはホームステイの形態で宿泊をし、台湾の学生と24時間寝食を共にします。日中は、グループごとにフィールドに行き、必要な調査を行ったり調査結果をまとめたりします。夜は、全体会議でその日の報告をします。最後に、成果を公開で発表します。

《本学学生の応募条件》

1. 責任ある態度で主体的かつ積極的な参加ができること。
2. 異文化交流に関心がある者。
3. インターネットでの発信が可能なこと。（学内 PC 利用も含む）

《募集定員》30名

授業方法：

学外のフィールドに出て、調査研究を行う。

達成目標：

主体的に活動に参加することを通して、広い視野、責任感、自主性、コミュニケーション力、リーダーシップ等社会人に求められる能力を身につける。

評価方法：

準備期間および研修期間中の参加状況、グループへの貢献度、発表などを総合的に評価する。

準備期間の貢献度	10%
グループ演習（グループでの討論、フィールドでの協働作業）	25%
講義・活動報告（講義・フィールドの報告会）	25%
口頭発表（グループ毎に P P T を用いて発表）	30%
報告書作成	10%

教科書：

なし

実験・実習・教材費：

活動フィールドや活動内容によって実費（数千円程度）が必要となる場合があります。（詳細は事前説明会で説明します。）
※なお、海外からの学生が来日しないなど交流行事そのものが実施されない場合、本科目は不開講となります。

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
H12301	総合日本語 I	1・2	1	文野峯子

期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス（留学生） 総合日本語認定制度 「日本留学試験日本語科目（記述問題を除く）」の得点が250点以上、または、 日本語能力試験N1合格者、あるいはそれと同等の日本語能力があることを 認められた者は留学生1年生必修 総合日本語 I を履修したものと認定する。
前期	水	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
会話能力、発表力、流暢さ	コミュニケーション力、問題解決力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

- ・日本語でテーマに沿った会話ができる。
- ・流暢さを身につける。

授業の概要：

モデル会話を記憶し、発音・イントネーション・スピードなどを模して練習することにより、正しい表現で流暢な会話ができるようになるための口頭練習を行う。インタビューの実施、結果の発表原稿作成、PPTを使った発表を行う。

授業の計画：

- | | | |
|---------------|--------------|-----------------|
| 1. シャドウイング | 1、プロジェクトワーク | 1：プロジェクトワークとは |
| 2. シャドウイング | 2、プロジェクトワーク | 2：テーマ決め、調査内容決定 |
| 3. シャドウイング | 3、プロジェクトワーク | 3：インタビュー設問作成—検討 |
| 4. シャドウイング | 4、プロジェクトワーク | 4：インタビュー設問検討 |
| 5. シャドウイング | 5、プロジェクトワーク | 5：インタビュー練習 |
| 6. シャドウイング | 6、プロジェクトワーク | 6：インタビュー実施・記録 |
| 7. シャドウイング | 7、プロジェクトワーク | 7：インタビュー実施・記録 |
| 8. シャドウイング | 8、プロジェクトワーク | 8：調査結果集計 |
| 9. シャドウイング | 9、プロジェクトワーク | 9：調査結果まとめ（グラフ等） |
| 10. シャドウイング | 10、プロジェクトワーク | 10：PPTアウトライン作成 |
| 11. プロジェクトワーク | | 11：PPT作成 |
| 12. プロジェクトワーク | | 12：発表原稿 作文 |
| 13. プロジェクトワーク | | 13：評価基準作成、発表準備 |
| 14. プロジェクトワーク | | 14：発表 |
| 15. プロジェクトワーク | | 15：振り返り |

授業方法：

講義を受け身の姿勢で聞くのではなく学生が主体的に作業を行う授業である。授業の大半の時間を、各自が産出する作業となる。

達成目標：

日本語でテーマに沿った会話が、ある程度の流暢さをもってできるようになる。

評価方法：

発表	30%
小テスト	20%
期末テスト	50%

教科書：

授業時に指示

参考文献：

『日本語を話そう 中上級』くろしお出版

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H12401	総合日本語Ⅱ	1・2	1	文野峯子

期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス（留学生） 総合日本語認定制度 「日本留学試験日本語科目（記述問題を除く）」の得点が250点以上、または、 日本語能力試験N1合格者、あるいはそれと同等の日本語能力があることを 認められた者は留学生1年生必修 総合日本語Ⅰを履修したものと認定する。
後期	水	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
会話能力、発表力、フォーマルな発話	コミュニケーション力、問題解決力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

- ・日本語でテーマに沿った会話ができる。
- ・流暢さを身につける。
- ・フォーマルな場におけるコミュニケーションができるようになる。

授業の概要：

モデル会話を記憶し、発音・イントネーション・スピードなどを模して練習することにより、正しい表現で流暢な会話ができるようになるための口頭練習を行う。ロールプレイングのシナリオを作成等、学生が主体的に取り組む作業が主となる。

授業計画：

1. フォーマルな場における自己紹介1 発表、作文
2. フォーマルな場における自己紹介2 作文検討
3. 印象に残る自己紹介 作文
4. フォーマルな場での電話1
5. 電話2 伝言を残す、受ける、伝える
6. 電話3 まとめ
7. 相手の都合を聞く
8. 了承を求める
9. 許可・了解を求める、許可・承諾する1
10. 許可・了解を求める、許可・承諾する2
11. お礼・お詫び
12. 意見を言う・申し出る1
13. 意見を言う・申し出る2
14. 誘いを受ける・断る1
15. 誘いを受ける・断る2

授業方法：

講義を受け身の姿勢で聞くのではなく学生が主体的に作業を行う授業である。授業の大半の時間を、各自が産出する作業となる。

達成目標：

日本語で、フォーマルな場におけるコミュニケーションができるようになる。

評価方法：

6行まで 必修科目（期末試験、レポート）、その他科目（小テストも入る）

発表	30%
小テスト	20%
期末テスト	50%

教科書：

授業時に指示

参考文献：

『日本企業への就職 ビジネス会話トレーニング』 アスク出版

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H14101	キャリアデザイン I	1	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
キャリア形成、自己理解、仕事理解、将来設計、キャリア選択	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

授業のテーマ：

キャリアデザインとは、将来の働き方をデザインすることであり、これからの生き方をデザインすることでもあります。社会が大きく転換している今、就職・進学を問わず、その環境は目まぐるしく変化しています。本授業では、さまざまな演習を通じて、社会や自分を取り巻く環境をしっかりと見つけ、「自分らしさ」「自分の強みや課題」「自分の理想とする将来像」などを発見することを目標とします。

授業の概要：

まず大学生として大切なことは、学業に励むとともに、多様な啓発的経験を通じて「自分は将来どんな仕事に就き、どんな生き方をを目指すのか」を早期段階から意識して、充実した学生生活を送ることにあります。本授業では、キャリアデザインの基礎編として、自分の将来にむけて、自分なりの指針や目標を立て、何を学び、どう行動すればよいかを主体的に考え、計画し、その実践を目標とします。また、キャリアデザインを描くために必要な考え方や方策を学びます。

授業の計画：

- 5回～15回のカッコは授業日（月/日）です。
- 1回～4回 オリエンテーション
キャリアガイダンス
環境コースについて
経営コースについて
心理コースについて
日本研究コースについて
- 5回 主体的なキャリア形成の必要性（4/11）
- 6回 自分史作り【演習】 ライフ・ライン・チャート（4/18）
- 7回 自己適性検査（4/25）
- 8回 性格分析【演習】 好きと得意の明確化、長所と短所（5/9）
- 9回 未来予想図【演習】 ライフ・キャリアの虹（展望）（5/23）
- 10回 価値観分析【演習】 ライフスタイルとワークキャリア（6/6）
- 11回 志向性分析【演習】 キャリアタイプと職業適性（6/13）
- 12回 仕事理解①【演習】 志向性と職業のマッチング（7/4）
- 13回 仕事理解②【演習】 業界・企業・職種の研究（7/11）
- 14回 目標設定①【演習】 社会で求められる力（7/18）
- 15回 目標設定②【演習】 卒業時になりたい自分（7/25）

授業方法：

最初の4回の講義はオリエンテーション期間中に実施します。まず、大学入学から卒業、そして卒業後の進路にむけ、それぞれのコースがカリキュラム設計されているかについてコース長から説明します。その後、キャリアデザインという観点から講義と演習を交えて展開します。講義は、基本的にテキストを使って進めます。演習は、個人ワークとグループセッションの二本立てで進めます。まずは、個人ワークで自分なりの考えをまとめます。つぎに、グループセッションで各自の考えを交換し、互いに学び合います。

達成目標：

『大学入学の目的を整理したうえで、卒業時になりたい自分をイメージし、そのために必要な行動がとれる』こと。

評価方法：

授業の取り組み：50%、課題・演習：50%
 主体的なキャリア形成の必要性を理解したうえで、完成度の高い自らのキャリアデザインができる・S
 主体的なキャリア形成の必要性を理解したうえで、ある程度のキャリアデザインができる・・・A
 キャリア形成の必要性を理解したうえで、一部のキャリアデザインができる・・・・・・・・・・B
 キャリア形成の必要性を理解している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・C
 Cのレベルに達していない・・D

教科書：

樋口貴子著 『キャリアデザインの基礎』 (株)キャリアデザイン (500円) ※最初の授業内で販売します。

参考文献：

授業の中で適宜、紹介します。

実験・実習・教材費：

なし。 ※教科書以外に必要な内容は、適宜資料を配布します。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H14102	キャリアデザイン I (再履修者クラス)	2	2	樋口・三井

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
キャリア形成、自己理解、仕事理解、将来設計、キャリア選択	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力 (意思決定力)、グローバルな視野

授業のテーマ:

キャリアデザインとは、将来の働き方をデザインすることであり、これからの生き方をデザインすることでもあります。社会が大きく転換している今、就職・進学を問わず、その環境は目まぐるしく変化しています。本授業では、さまざまな演習を通じて、社会や自分を取り巻く環境をしっかりと見つめ、「自分らしさ」「自分の強みや課題」「自分の理想とする将来像」などを発見することを目標とします。

授業の概要:

キャリアデザインの基礎編として、低学年の早期段階からキャリアデザインを描くために必要な考え方や方策を学びます。具体的には、社会経済の動向をふまえた「仕事理解」と、自分の個性、興味・関心、欲求・動機、価値観、適性といった「自己理解」の両方を推し進め、将来のキャリア選択に備えます。

授業の計画:

1回	主体的なキャリア形成の必要性	9回	仕事理解①【演習】	業界研究 (現状と課題)	
2回	自己理解①【演習】	自分史「ライフライン・チャート」	10回	仕事理解②【演習】	企業研究 (使命と展望)
3回	自己理解②【演習】	好きと得意、長所と短所	11回	仕事理解③【演習】	職種研究 (適性と能力)
4回	社会経済の動向と雇用形態の多様化	12回	目標設定①【演習】	学生時代に打ち込むこと	
5回	21世紀に求められる人材像	13回	目標設定②【演習】	卒業時になりたい自分	
6回	自己理解③【演習】	将来展望「ライフ・キャリアの虹」	14回	自己表現①【演習】	プレゼンテーション準備
7回	自己理解④【演習】	ライフスタイルとワークキャリア	15回	自己表現②【演習】	プレゼンテーション発表
8回	自己理解⑤【演習】	キャリアタイプと職業適性			

授業方法:

講義と演習を交えて展開します。講義は、基本的にテキストを使って進めます。演習は、個人ワークとグループセッションの二本立てで進めます。まずは、個人ワークで自分なりの考えをまとめます。つぎに、グループセッションで各自の考えを交換し、互いに学び合います。

達成目標:

『21世紀に求められる人材像と、卒業時になりたい自分をイメージし、そのために必要な行動がとれる』こと。

評価方法:

授業の取り組み: 50%、課題・演習: 50%

主体的なキャリア形成の必要性を理解したうえで、完成度の高い自らのキャリアデザインができる・S
 主体的なキャリア形成の必要性を理解したうえで、ある程度のキャリアデザインができる・・・A
 キャリア形成の必要性を理解したうえで、一部のキャリアデザインができる・・・・・・・・・・B
 キャリア形成の必要性を理解している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・C
 Cのレベルに達していない・・D

教科書:

樋口貴子著 『キャリアデザインの基礎』 (株)キャリアデザイン (500円) ※最初の授業内で販売します。

参考文献:

授業の中で適宜、紹介します。

実験・実習・教材費:

なし。 ※教科書以外に必要な内容は、適宜資料を配布します。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H20101～03	情報実習 I	1	1	石川克己 水谷秀雄

授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
H20201	前期	月	2	
H20202	前期	金	3	
H20203	前期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コンピュータの活用、IT リテラシ、情報技術	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

情報技術を正確に効率よく活用するための基礎知識と、実習を通してワープロソフトによる文書作成の基本、表計算ソフトの利用技術として集計・グラフ表現・データベース機能、またプレゼンテーションソフトの基礎、およびネットワークの利用として電子メールの送受信・インターネットの基礎知識など、パソコン検定3級程度の知識・技術の習得を目指す。

授業の概要：

前期の情報実習 I では、ワードの操作を実習を通して身に付ける。また、インターネットの使い方、メールの送受信、またその際に必要となるセキュリティやマナーなど、情報技術を活用する上で必須となる知識を学ぶ。

授業の計画：

- 1回 パソコン・Windowsの基礎
- 2回 日本語入力
- 3回 インターネット基礎
- 4回 メール活用・データのコピー
- 5回 インターネットの活用
- 6回 ワード：基礎
- 7回 ワード：書式設定と編集
- 8回 ワード：表の作成
- 9回 ワード：オブジェクトの作成
- 10回 ワード：図形描画とスマートアート
- 11回 ワード：差し込み印刷
- 12回 ワード：オブジェクトを効果的に使った文書
- 13回 ワード：ドロー実習
- 14回 ワード：ドロー実習
- 15回 ワード：総合演習

授業方法：

テキストに沿って、講義を交えながらパソコンを操作して実習する。
評価項目ごとに演習課題の作成に取り組む。

達成目標

コンピュータ・インターネットを活用してレポート、論文の作成を効率よくできる能力を身につける。

評価方法：

評価項目ごとに演習課題に取り組み、その達成度と普段の出席状況・受講態度などから総合評価する。
評価の内訳は、授業への取り組み 15%、テスト（演習問題）60%、課題と受講態度 25%である。

教科書：

『Windows 7 対応 30 時間でマスター Word2010』（実教出版株式会社／950 円税込）
『キーワードで理解する最新情報リテラシー 第4版』（日経 BP 社／1,260 円税込）

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H20104	情報実習 I (再履修者クラス)	2	1	石川克己

期間	曜日	時限	備考:
前期	集中	A	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コンピュータの活用、IT リテラシ、情報技術	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ:

情報技術を正確に効率よく活用するための基礎知識と、実習を通してワープロソフトによる文書作成の基本、表計算ソフトの利用技術として集計・グラフ表現・データベース機能、またプレゼンテーションソフトの基礎、およびネットワークの利用として電子メールの送受信・インターネットの基礎知識など、パソコン検定3級程度の知識・技術の習得を目指す。

授業の概要:

情報実習 I では、ワードの操作を実習を通して身に付ける。また、インターネットの使い方、メールの送受信、またその際に必要となるセキュリティやマナーなど、情報技術を活用する上で必須となる知識を学ぶ。

授業の計画:

- 1回 パソコン・Windowsの基礎
- 2回 日本語入力
- 3回 インターネット基礎
- 4回 メール活用・データのコピー
- 5回 インターネットの活用
- 6回 ワード:基礎
- 7回 ワード:書式設定と編集
- 8回 ワード:表の作成
- 9回 ワード:オブジェクトの作成
- 10回 ワード:図形描画とスマートアート
- 11回 ワード:差し込み印刷
- 12回 ワード:オブジェクトを効果的に使った文書
- 13回 ワード:ドロー実習
- 14回 ワード:ドロー実習
- 15回 ワード:総合演習

授業方法:

テキストに沿って、講義を交えながらパソコンを操作して実習する。
評価項目ごとに演習課題の作成に取り組む。

達成目標:

コンピュータ・インターネットを活用してレポート、論文の作成を効率よくできる能力を身につける。

評価方法:

評価項目ごとに演習課題に取り組み、その達成度と普段の出席状況・受講態度などから総合評価する。
評価の内訳は、授業への取り組み 15%、テスト(演習問題) 60%、課題と受講態度 25%である。

教科書:

『Windows 7 対応 30 時間でマスター Word2010』(実教出版株式会社/950 円税込)
『キーワードで理解する最新情報リテラシー 第4版』(日経 BP 社/1,260 円税込)

参考文献:

なし

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H20201～03	情報実習Ⅱ	1	1	石川克己 広田建一

授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
H20201	後期	月	2	
H20202	後期	金	3	
H20203	後期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コンピュータの活用、ITリテラシ、情報技術	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

実習を通して表計算ソフトの利用技術として集計・グラフ表現・データベース機能、またプレゼンテーションソフトの基礎を学習する。
また、ITリテラシとして、情報技術を正確に効率よく活用するための知識や、電子メールの送受信・インターネットの基礎知識など、パソコン検定3級程度の知識・技術の習得を目指す。

授業の概要：

後期の情報実習Ⅱでは、パワーポイント・エクセルの操作を、実習を通して身に付ける。
また、インターネットの使い方、メールの送受信、またその際に必要となるセキュリティやマナーなど、情報技術を活用する上で必須となる知識を学ぶ。

授業の計画：

- 1回 パワーポイント：基本操作・ITリテラシ
- 2回 パワーポイント：実践・ITリテラシ
- 3回 パワーポイント：自由制作・ITリテラシ
- 4回 パワーポイント：自由制作・ITリテラシ
- 5回 エクセル：基礎
- 6回 エクセル：基本的な表計算
- 7回 エクセル：絶対参照
- 8回 エクセル：IF関数
- 9回 エクセル：グラフ1
- 10回 エクセル：グラフ2
- 11回 エクセル：データベースの活用
- 12回 エクセル：応用関数
- 13回 エクセル：関数復習
- 14回 エクセル：ワードとの連携
- 15回 エクセル：分析・考察

授業方法：

テキストに沿って、講義を交えながらパソコンを操作して実習する。
評価項目ごとに演習課題の作成に取り組む。

達成目標

コンピュータ・インターネットを活用してレポート、論文の作成を効率よくできる能力を身につける。

評価方法：

評価項目ごとに演習課題に取り組み、その達成度と普段の出席状況・受講態度などから総合評価する。
評価の内訳は、授業への取り組み15%、テスト（演習問題）60%、課題と受講態度25%である。

教科書：

- 『Windows 7対応 30時間でマスター Excel2010』（実教出版株式会社／900円税込）
- 『キーワードで理解する最新情報リテラシー 第4版』（日経BP社／1,260円税込）

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H20204	情報実習Ⅱ（再履修者クラス）	2	1	石川克己

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	C	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コンピュータの活用、ITリテラシ、情報技術	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

実習を通して表計算ソフトの利用技術として集計・グラフ表現・データベース機能、またプレゼンテーションソフトの基礎を学習する。

また、ITリテラシとして、情報技術を正確に効率よく活用するための知識や、電子メールの送受信・インターネットの基礎知識など、パソコン検定3級程度の知識・技術の習得を目指す。

授業の概要：

情報実習Ⅱでは、パワーポイント・エクセルの操作を、実習を通して身に付ける。

また、インターネットの使い方、メールの送受信、またその際に必要となるセキュリティやマナーなど、情報技術を活用する上で必須となる知識を学ぶ。

授業の計画：

- 1回 パワーポイント：基本操作・ITリテラシ
- 2回 パワーポイント：実践・ITリテラシ
- 3回 パワーポイント：自由制作・ITリテラシ
- 4回 パワーポイント：自由制作・ITリテラシ
- 5回 エクセル：基礎
- 6回 エクセル：基本的な表計算
- 7回 エクセル：絶対参照
- 8回 エクセル：IF関数
- 9回 エクセル：グラフ1
- 10回 エクセル：グラフ2
- 11回 エクセル：データベースの活用
- 12回 エクセル：応用関数
- 13回 エクセル：関数復習
- 14回 エクセル：ワードとの連携
- 15回 エクセル：分析・考察

授業方法：

テキストに沿って、講義を交えながらパソコンを操作して実習する。

評価項目ごとに演習課題の作成に取り組む。

達成目標

コンピュータ・インターネットを活用してレポート、論文の作成を効率よくできる能力を身につける。

評価方法：

評価項目ごとに演習課題に取り組み、その達成度と普段の出席状況・受講態度などから総合評価する。評価の内訳は、授業への取り組み15%、テスト（演習問題）60%、課題と受講態度25%である。

教科書：

『Windows 7対応 30時間でマスター Excel2010』（実教出版株式会社／900円税込）

『キーワードで理解する最新情報リテラシー 第4版』（日経BP社／1,260円税込）

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30101	英語 I	1	2	岡良和

期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
前期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
語彙、基本動詞、イメージの理解	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

英語を丸暗記しようとして苦手意識を持つ学習者が多い。多くの単語を暗記することも重要であるが、英語表現の基盤となる少数の動詞に的を絞り、受講者が基本的な動詞の概念をイメージとして理解し、使いこなせるようになることを目指す。

授業の概要：

教科書を使って基本的な英語動詞が持つイメージを理解し、それを使って英文を把握する。

授業の計画：

- 1 一語一句文の理解
- 2 -er を使って英語表現を作る
- 3 ing の機能を理解する
- 4 -ed の機能を理解する
- 5 be + 形容詞の機能を理解する
- 6 in, out のイメージを理解し英語表現を理解する
- 7 on, off, at のイメージを理解し英語表現を理解する
- 8 have のイメージを理解し英語表現を理解する
- 9 come のイメージを理解し英語表現を理解する
- 10 go のイメージを理解し英語表現を理解する
- 11 take のイメージを理解し英語表現を理解する
- 12 put のイメージを理解し英語表現を理解する
- 13 give のイメージを理解し英語表現を理解する
- 14 get のイメージを理解し英語表現を理解する
- 15 make のイメージを理解し英語表現を理解する

授業方法：

それぞれの単語が持つイメージを理解した後、教科書の演習問題に取り組むことで知識を定着させる。習熟度を確認するためにほぼ毎回「小テスト」を行う。

達成目標：

英語基本動詞のイメージに習熟し短い英文を理解すること。

評価方法：

- 前期末の定期試験により行う。
- 基本単語全般にわたりその中心的な意味を理解している・・・・・・・・・・ S
 - 基本単語全般にわたりその意味を理解している・・・・・・・・・・ A
 - 基本単語のいくつかについてはその意味を理解している・・・・・・・・・・ B
 - 基本単語のいくつかについてやや不十分ではあるがその意味を理解している・・・・ C
 - Cの水準に達していない・・・・・・・・・・ D

教科書：

鳥飼慎一郎（著）『イラストでイメージ：基本単語を使った英作文』朝日出版社 1,700 円＋税

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
H30102	英語 I	1	2	石上文正

期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
前期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
英語を音読する、英語の基礎を学ぶ、英語の勉強の仕方を学ぶ	コミュニケーション、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

英語の学習方法について学び、基本的な文法を復習し、読解・音読能力を養い、英語を「身につける」ことをテーマとします。

授業の概要：

人間環境大学にふさわしい教材を用いて、英語の文法を基礎にした読解を行います。また、音読を重視するとともに、英文の暗記といった、語学学習の基礎も身に付く授業を行います。

授業の計画：

- | | |
|--------------|----------------|
| 1～2. Unit 8 | 9～10. Unit 12 |
| 3～4. Unit 9 | 11～12. Unit 13 |
| 5～6. Unit 10 | 13～14. Unit 14 |
| 7～8. Unit 11 | 15. まとめ・復習 |

授業方法：

授業は、下記教材を用いて行い、次のような学習を中心におこなう。

- ①基礎的な英文の精読（文法的にも語彙的にも英文を理解する）
- ②英文のヒアリング
- ③英文の音読（石上研究室に来て、音読してもらいます）
- ④英文の暗唱（テキストの文等を暗記し、さらにそれを用いて、新しい文の作文も行います）
- ⑤基礎的な英文法の確認

達成目標：

外国語の勉強の仕方、基本的な英語の基礎を身につけること、人前で声を出して読んだり、暗唱したりする訓練を通じて、コミュニケーション力を高めることが目標です。

評価方法：

受講生は、オフィス・アワーに石上研究室で教科書の音読と文法事項の確認をおこなうことが、評価の最低条件です。定期試験（筆記）によって学則に従った評価を行います。

教科書：

Our Sacred Health and Environment（かけがえのない健康と環境） 成美堂 1,995円

授業に、英和辞典を持参すること

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30103	英語 I	1	2	森順子

期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
前期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

英語を読み、書き、話し、聴く総合的な力を身につけること。

授業の概要：

テキストの英語表現を身につけ、配布プリントの英文読解を通して、さまざまなテーマについて自分の意見を英語で発表する。

授業の計画：

- 1 オリエンテーション
- 2 Day 1 ~ 5
- 3 Day 6 ~ 10
- 4 Day11 ~ 15
- 5 Day16 ~ 20
- 6 Day21 ~ 25
- 7 Day26 ~ 30
- 8 Day31 ~ 35
- 9 Day36 ~ 40
- 10 Day41 ~ 45
- 11 Day46 ~ 50
- 12 Day 1 ~ 20 Review
- 13 Day21 ~ 40 Review
- 14 Day41 ~ 50 Review
- 15 Day 1 ~ 50 Review

授業方法：

テキストの英語表現を習得し、配布プリントの英文を全員で読解する。テーマごとに自分の意見を英語で発表する時間をみんなで楽しみたい。

達成目標：

読解力以外にコミュニケーション力を習得し、英語による発表にみんなで楽しく取り組むこと

評価方法：

試験100%

英語の読解力をもち完成度の高い独自のコミュニケーションができる——S

英語の読解力をもち独自のコミュニケーションができる——A

英語の読解力をもち相応のコミュニケーションができる——B

英語の読解力をもちほぼ相応のコミュニケーションができる——C

Cのレベルに達していない——D

教科書：

岩村圭南著『岩村圭南の言えそうで言えない英語表現』 NHK 出版 (1,800+ 税)

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30104～5	英語 I	1	2	白井恵三

授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
H30104	前期	金	3	
H30105	前期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
基礎英文法力、語彙力	コミュニケーション力

授業のテーマ：

今まで習ってきた英文法を理解し、それをういて英文を解釈できるスキルを習得します。

授業の概要：

基礎英文法を理解し、教科書の問題を解くことで身につけます。また、英文については文を構造的に分析し、いかに日本語に変換するのかその分析の仕方を習得します。

授業計画：

- (1) Introduction
- (2) Unit 1 be 動詞
- (3) Unit 2 一般動詞 (現在)
- (4) Unit 3 一般動詞 (過去)
- (5) Unit 4 進行形
- (6) Unit 5 未来形
- (7) Unit 6 助動詞
- (8) Unit 7 名詞・冠詞
- (9) Unit 8 代名詞
- (10) Unit 9 前置詞
- (11) Unit 10 形容詞・副詞
- (12) Unit 11 比較
- (13) Unit 12 命令文・感嘆文
- (14) Exercise 1
- (15) Exercise 2

授業方法：

予め予習をし、教科書の演習問題を自分の力で解いて下さい。授業ではその単元の文法内容を解説し、演習問題の答え合わせをします。また、単元によってはより理解度を深めるためにプリントを用意することがあります。

達成目標：

基本的英文法を理解し、実用英語検定準2級レベルに達している。

評価方法：

期末試験(100%)による総合評価。

S：実用英語検定準2級レベルをほぼ完全に出来る。

A：上記項目について、やや問題はあるがほぼ完全にできる。

B：やや問題はあるが、ほぼコミュニケーションができる。

C：表現に問題はあるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D：Cのレベルに到達していない。

教科書：

Tetsuzo Sato、Yukari Aiko 著「大学生の英語入門<改訂版>」南雲堂 1,900円

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30106	英語 I (再履修者クラス)	2	2	白井恵三

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
基礎英文法力、語彙力	コミュニケーション力

授業のテーマ：

今まで習ってきた英文法を理解し、それを用いて英文を解釈できるスキルを習得します。

授業の概要：

基礎英文法を理解し、教科書の問題を解くことで身につけます。また、英文については文を構造的に分析し、いかに日本語に変換するのかその分析の仕方を習得します。

授業計画：

- (1) Introduction
- (2) Unit 1 be 動詞
- (3) Unit 2 一般動詞 (現在)
- (4) Unit 3 一般動詞 (過去)
- (5) Unit 4 進行形
- (6) Unit 5 未来形
- (7) Unit 6 助動詞
- (8) Unit 7 名詞・冠詞
- (9) Unit 8 代名詞
- (10) Unit 9 前置詞
- (11) Unit 10 形容詞・副詞
- (12) Unit 11 比較
- (13) Unit 12 命令文・感嘆文
- (14) Exercise 1
- (15) Exercise 2

授業方法：

予め予習をし、教科書の演習問題を自分の力で解いて下さい。授業ではその単元の文法内容を解説し、演習問題の答え合わせをします。また、単元によってはより理解度を深めるためにプリントを用意することがあります。

達成目標：

基本的英文法を理解し、実用英語検定準2級レベルに達している。

評価方法：

期末試験(100%)による総合評価。

S：実用英語検定準2級レベルをほぼ完全に出来る。

A：上記項目について、やや問題はあるがほぼ完全にできる。

B：やや問題はあるが、ほぼコミュニケーションができる。

C：表現に問題はあるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D：Cのレベルに到達していない。

教科書：

Tetsuzo Sato, Yukari Aiko 著「大学生の英語入門<改訂版>」南雲堂 1,900円

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30201	英語Ⅱ	1	2	岡良和

期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
後期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
語彙、基本動詞、イメージの活用	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

英語を丸暗記しようとして苦手意識を持つ学習者が多い。多くの単語を暗記することも重要であるが、英語表現の基盤となる少数の動詞に的を絞って、受講者が英語Ⅰで習得した基本的な動詞の概念のイメージをもとに、使いこなせるようになることを目指す。

授業の概要：

教科書を使って基本的な英語動詞が持つイメージを確認し、それを使って英文を作る。

授業の計画：

- 1 一語一句文を使って英語表現を作る
- 2 -er を使って英語表現を作る
- 3 ing のイメージを確認し英語表現を作る
- 4 -ed のイメージを確認し英語表現を作る
- 5 be + 形容詞のイメージを確認し英語表現を作る
- 6 in, out のイメージを確認し英語表現を作る
- 7 on, off, at のイメージを確認し英語表現を作る
- 8 have のイメージを確認し英語表現を作る
- 9 come のイメージを確認し英語表現を作る
- 10 go のイメージを確認し英語表現を作る
- 11 take のイメージを確認し英語表現を作る
- 12 put のイメージを確認し英語表現を作る
- 13 give のイメージを確認し英語表現を作る
- 14 get のイメージを確認し英語表現を作る
- 15 make のイメージを確認し英語表現を作る

授業方法：

それぞれの単語が持つイメージを確認した後、教科書の演習問題に取り組むことで英文作成の基礎を作る。習熟度を確認するためにほぼ毎回「小テスト」を行う。

達成目標：

英語基本動詞のイメージに習熟し英文が作れること。

評価方法：

- 後期末の定期試験により行う。
- 基本単語全般にわたりその中心的なイメージを活用して完全な英文が作れる・・・S
- 基本単語全般にわたりそのイメージを活用して英文が作れる・・・A
- 基本単語のいくつかについてはイメージを活用して英文が作れる・・・B
- 基本単語のいくつかについてはやや不十分ではあるがイメージを活用して英文が作れる・・・C
- Cの水準に達していない・・・D

教科書：

『イラストでイメージ：基本単語を使った英作文』鳥飼慎一郎（著）朝日出版社 1,700円＋税

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30202	英語Ⅱ	1	2	石上文正

期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
後期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
英語を音読する、英語の基礎を学ぶ、英語の勉強の仕方を学ぶ	コミュニケーション、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

英語の学習方法について学び、基本的な文法を復習し、読解・音読能力を養い、英語を「身につける」ことをテーマとします。

授業の概要：

人間環境大学にふさわしい教材を用いて、英語の文法を基礎にした読解を行います。また、音読を重視するとともに、英文の暗記といった、語学学習の基礎も身に付く授業を行います。

授業の計画：

- | | |
|--------------|----------------|
| 1～2. Unit 8 | 9～10. Unit 12 |
| 3～4. Unit 9 | 11～12. Unit 13 |
| 5～6. Unit 10 | 13～14. Unit 14 |
| 7～8. Unit 11 | 15. まとめ・復習 |

授業方法：

授業は、下記教材を用いて行い、次のような学習を中心におこなう。

- ①基礎的な英文の精読（文法的にも語彙的にも英文を理解する）
- ②英文のヒアリング
- ③英文の音読（石上研究室に来て、音読してもらいます）
- ④英文の暗唱（テキストの文等を暗記し、さらにそれを用いて、新しい文の作文も行います）
- ⑤基礎的な英文法の確認

達成目標：

外国語の勉強の仕方、基本的な英語の基礎を身につけること、人前で声を出して読んだり、暗唱したりする訓練を通じて、コミュニケーション力を高めることが目標です。

評価方法：

受講生は、オフィス・アワーに石上研究室で教科書の音読と文法事項の確認をおこなうことが、評価の最低条件です。定期試験（筆記）によって学則に従った評価を行います。

教科書：

Our Sacred Health and Environment（かけがえのない健康と環境） 成美堂 1,995円
授業に、英和辞典を持参すること

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30203	英語Ⅱ	1	2	森順子

期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
後期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

英語を読み、書き、話し、聴く総合的な力を身につけること。

授業の概要：

テキストの英語表現を身につけ、配布プリントの英文読解を通して、さまざまなテーマについて自分の意見を英語で発表する。

授業の計画：

- 1 オリエンテーション
- 2 Day51～55
- 3 Day56～60
- 4 Day61～65
- 5 Day66～70
- 6 Day71～75
- 7 Day76～80
- 8 Day81～85
- 9 Day86～90
- 10 Day91～95
- 11 Day96～100
- 12 Day51～70 Review
- 13 Day71～90 Review
- 14 Day91～100 Review
- 15 Day51～100 Review

授業方法：

テキストの英語表現を習得し、配布プリントの英文を全員で読解する。テーマごとに自分の意見を英語で発表する時間をみんなで楽しみたい。

達成目標：

読解力以外にコミュニケーション力を習得し、英語による発表にみんなで楽しく取り組むこと

評価方法：

- 試験100%
- 英語の読解力をもち完成度の高い独自のコミュニケーションができる——S
- 英語の読解力をもち独自のコミュニケーションができる——A
- 英語の読解力をもち相応のコミュニケーションができる——B
- 英語の読解力をもちほぼ相応のコミュニケーションができる——C
- Cのレベルに達していない——D

教科書：

岩村圭南著『岩村圭南の言えそうで言えない英語表現』 NHK 出版 (1800+ 税)

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30204～5	英語Ⅱ	1	2	白井恵三

授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
H30204	後期	金	3	
H30205	後期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
基礎英文法力、語彙力	コミュニケーション力

授業のテーマ：

今まで習ってきた英文法を理解し、それをういて英文を解釈できるスキルを習得します。

授業の概要：

基礎英文法を理解し、教科書の問題を解くことで身につけます。また、英文については文を構造的に分析し、いかに日本語に変換するのかその分析の仕方を習得します。

授業計画：

- (1) Unit 13 接続詞 (Ⅰ)
- (2) Unit 14 不定詞 (Ⅰ)・動名詞 (Ⅰ)
- (3) Unit 15 受動態
- (4) Unit 16 完了形
- (5) Unit 17 接続詞 (Ⅱ)
- (6) Unit 18 5つの基本文型
- (7) Unit 19 各種疑問文
- (8) Unit 20 不定詞 (Ⅱ)
- (9) Unit 21 Itの特別用法
- (10) Unit 22 分詞・動名詞 (Ⅱ)
- (11) Unit 23 関係代名詞
- (12) Unit 24 仮定法
- (13) Exercise 1
- (14) Exercise 2
- (15) Exercise 3

授業方法：

予め予習をし、教科書の演習問題を自分の力で解いて下さい。授業ではその単元の文法内容を解説し、演習問題の答え合わせをします。また、単元によってはより理解度を深めるためにプリントを用意することがあります。

達成目標：

基本的英文法を理解し、実用英語検定準2級レベルに達している。

評価方法：

期末試験(100%)による総合評価。

S：実用英語検定準2級レベルをほぼ完全に出来る。

A：上記項目について、やや問題はあるがほぼ完全にできる。

B：やや問題はあるが、ほぼコミュニケーションができる。

C：表現に問題はあるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D：Cのレベルに到達していない。

教科書：

Tetsuzo Sato、Yukari Aiko 著「大学生の英語入門<改訂版>」南雲堂 1,900円

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30206	英語Ⅱ（再履修者クラス）	2	2	白井恵三

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
基礎英文法力、語彙力	コミュニケーション力

授業のテーマ：

今まで習ってきた英文法を理解し、それを用いて英文を解釈できるスキルを習得します。

授業の概要：

基礎英文法を理解し、教科書の問題を解くことで身につけます。また、英文については文を構造的に分析し、いかに日本語に変換するのかその分析の仕方を習得します。

授業計画

- (1) Unit 13 接続詞（Ⅰ）
- (2) Unit 14 不定詞（Ⅰ）・動名詞（Ⅰ）
- (3) Unit 15 受動態
- (4) Unit 16 完了形
- (5) Unit 17 接続詞（Ⅱ）
- (6) Unit 18 5つの基本文型
- (7) Unit 19 各種疑問文
- (8) Unit 20 不定詞（Ⅱ）
- (9) Unit 21 Itの特別用法
- (10) Unit 22 分詞・動名詞（Ⅱ）
- (11) Unit 23 関係代名詞
- (12) Unit 24 仮定法
- (13) Exercise 1
- (14) Exercise 2
- (15) Exercise 3

授業方法：

予め予習をし、教科書の演習問題を自分の力で解いて下さい。授業ではその単元の文法内容を解説し、演習問題の答え合わせをします。また、単元によってはより理解度を深めるためにプリントを用意することがあります。

達成目標：

基本的英文法を理解し、実用英語検定準2級レベルに達している。

評価方法：

期末試験（100%）による総合評価。

S：実用英語検定準2級レベルをほぼ完全に出来る。

A：上記項目について、やや問題はあるがほぼ完全にできる。

B：やや問題はあるが、ほぼコミュニケーションができる。

C：表現に問題はあるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D：Cのレベルに到達していない。

教科書：

Tetsuzo Sato、Yukari Aiko 著「大学生の英語入門<改訂版>」南雲堂 1,900円

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30301	英語Ⅲ	2	2	石上文正

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
英語を通して世界を知る	コミュニケーション、分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

この授業の目的は、英字新聞や英語の雑誌を読む力を身につけることを目的としています。さらに、授業に準拠したテープも聴いてもらい、ある程度海外の英語ニュースを聴き取れる力を身につけることことも目指します。また、この授業はたんなる英語の学習ではなく、ニュース英語を通して、現代の社会、内外の政治、経済、環境、軍事等についての理解を深めることも重要な目的です。

授業の概要：

授業はテキストにそって行い、幅広い分野の英文記事を読みます。本学の学生の専攻を考慮して、環境等に関する記事も、できるだけ多く読むようにします。

授業の計画：

- 1～3. Chapter 1 国内政治
- 4～6. Chapter 2 ビジネス
- 7～9. Chapter 3 外交・国際会議
- 10～12. Chapter 4 海外トピックス・文化
- 13～15. Chapter 5 軍事

授業方法：

基本的には、テキストにそって英文記事を読み進めていきます。とくに、新聞記事の英語学習では、それぞれの分野のある程度の知識や語彙力が必要なので——例えば、裁判の記事を読むには、裁判関連の知識および語彙力が必要——英文記事の背景知識や語彙の説明等をおこないます。なお、授業には必ず英和辞典を持ってきてください。

達成目標：

ニュースの各分野特有の語彙を理解・習得し、辞書をみながらでも、英語ニュースを読むことができることを目標にしています。

評価方法：

期末におこなう定期試験によって、学則に則って評価します。なお、試験の前には準備すべき点を詳細に示したプリントを配布します。

教科書：

『時事英語の総合演習 2013年度版』 朝日出版社 1,500円+消費税
授業に、英和辞典を持参してください

参考文献：

時事的な問題についての自作のプリントを、授業中に配布します。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30401	英語Ⅳ	2	2	石上文正

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
英語を通して世界を知る	コミュニケーション、分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

この授業の目的は、英字新聞や英語の雑誌を読む力を身につけることを目的としています。さらに、授業に準拠したテープも聴いてもらい、ある程度海外の英語ニュースを聴き取れる力を身につけることことも目指します。また、この授業はたんなる英語の学習ではなく、ニュース英語を通して、現代の社会、内外の政治、経済、環境、軍事等についての理解を深めることも重要な目的です。

授業の概要：

授業はテキストにそって行い、幅広い分野の英文記事を読みます。本学の学生の専攻を考慮して、環境等に関する記事も、できるだけ多く読むようにします。

授業の計画：

- 1～3. Chapter 6 災害・気象
- 4～6. Chapter 7 犯罪・司法
- 7～9. Chapter 8 環境・資源・エネルギー
- 10～11. 環境問題に関する自作プリント
- 12～14. Chapter 9 科学・医療
15. まとめ

授業方法：

基本的には、テキストにそって英文記事を読み進めていきます。とくに、新聞記事の英語学習では、それぞれの分野のある程度の知識や語彙力が必要なので——例えば、裁判の記事を読むには、裁判関連の知識および語彙力が必要——英文記事の背景知識や語彙の説明等をおこないます。なお、授業には必ず英和辞典を持ってきてください。

達成目標：

ニュースの各分野特有の語彙を理解・習得し、辞書をみながらでも、英語ニュースを読むことができることを目標にしています。

評価方法：

期末におこなう定期試験によって、学則に則って評価します。なお、試験の前には準備すべき点を詳細に示したプリントを配布します。

教科書：

『時事英語の総合演習 2013年度版』朝日出版社 1,500円+消費税
授業に、英和辞典を持参してください

参考文献：

時事的な問題についての自作のプリントを、授業中に配布します。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30601	英会話 I	1・2	2	ジェラルド・マクレラン

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
Speaking, Listening, Communicating	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

In this class students will be required to be able to communicate in English at a basic level. This class will concentrate on reinforcing the language learned at junior high school. As the level is low, students will be expected to master it and to do well in tests. We will do easy tasks in English and there are many structured questions to build confidence.

授業の概要：

We will cover all the basic grammar points. Students should be prepared to speak in class and to contribute to the lessons. Students who assume a passive role will fail this class.

授業の計画：

- 1 Unit 1 : Exchange students
- 2 Unit 1
- 3 Unit 2 : Eating out
- 4 Unit 2
- 5 Unit 3 : Music
- 6 Unit 3 :
- 7 Unit 4 : Activities
- 8 Unit 4 :
- 9 Unit 5 : Physical Appearance
- 10 Unit 5
- 11 Unit 6 : Jobs
- 12 Unit 6
- 13 Unit 7 : Personality
- 14 Unit 7
- 15 Review

授業方法：

We will use the textbook to discuss the various topics. Each unit should take two class periods.

達成目標：

The aim is to allow students to use language that they should already know in a natural way. Emphasis will be given to listening and speaking in this class. Students will be required to study.

評価方法：

Effort / Participation : 30% . Class Tests : 70% . Students who DO NOT attend this class will fail. There will be two short class tests each semester. They will last about one hour.
 Participates in class, speaks fluently, and gets over 80% in class tests..... S
 Participates in class, speaks fluently, and gets over 70% in class tests..... A
 Participates in class, communicates with difficulty, and gets over 60% in class tests..... B
 Participates in class, communicates with help, and gets over 60% in class tests..... C
 Fails to show, doesn't participate in class, gets below 60% in class tests..... D

教科書：

David Nunan, Go For it! Thomson,

参考文献：

実験・実習・教材費：

None

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30701	英会話Ⅱ	1・2	2	ジェラルド・マクレラン

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
Speaking, Listening, Communicating	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

In this class students will be required to be able to communicate in English at a basic level. This class will concentrate on reinforcing the language learned at junior high school. As the level is low, students will be expected to master it and to do well in tests. We will do easy tasks in English and there are many structured questions to build confidence.

授業の概要：

We will cover all the basic grammar points. Students should be prepared to speak in class and to contribute to the lessons. Students who assume a passive role will fail this class.

授業の計画：

- 1 Unit 8 : Weather
- 2 Unit 8
- 3 Unit 9 : Vacations
- 4 Unit 9 :
- 5 Unit 10 : Buying Gifts
- 6 Unit 10
- 7 Unit 11 : Rules
- 8 Unit 11 :
- 9 Unit 12 : Fun and Fitness
- 10 Unit 12 :
- 11 Unit 13 : Health
- 12 Unit 14 : Summer Plans
- 13 Unit 14
- 14 Unit 15 : Getting Around
- 15 Review

授業方法：

We will use the textbook to discuss the various topics. Each unit should take two class periods.

達成目標：

The aim is to allow students to use language that they should already know in a natural way. Emphasis will be given to listening and speaking in this class. Students will be required to study.

評価方法：

Effort/ Participation : 30% . Class Tests : 70% . Students who DO NOT attend this class will fail. There will be two short class tests each semester. They will last about one hour.

Participates in class, speaks fluently, and gets over 80% in class tests..... S
 Participates in class, speaks fluently, and gets over 70% in class tests..... A
 Participates in class, communicates with difficulty, and gets over 60% in class tests..... B
 Participates in class, communicates with help, and gets over 60% in class tests..... C
 Fails to show, doesn't participate in class, gets below 60% in class tests..... D

教科書：

David Nunan, Go For it! Thomson,

参考文献：

実験・実習・教材費：

None

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30801	フランス語 I	1・2	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話、異文化理解	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

現在フランス語が使われている地域とその歴史的経緯について概観し、フランス語を学ぶ意味について考える。フランス語を使ってコミュニケーションをとるとはどういうことかについて考えを進め、コミュニケーションに必要な基礎知識（文法・語彙・表現）を学ぶ。

授業の概要：

フランス語の基礎を学びながら、フランス語とフランス文化の理解を深める。日常的に使われるきわめて簡単な表現を理解し、簡単な内容であればフランス語でやり取りができるところまで到達できるようにする。

授業の計画：

- (1) ヨーロッパの中のフランス、フランスの文化
- (2) フランスとフランス語、つづり字と発音のしくみ
- (3) 到着、あいさつ
- (4) 名詞と基本表現
- (5) ホテルで
- (6) 動詞の基礎 (1)
- (7) ランデザー
- (8) パリの人々、フランスの通貨
- (9) カフェで
- (10) 形容詞の使い方
- (11) 電話をかける
- (12) 代名詞の使い方
- (13) 道を尋ねる
- (14) パリの美術館
- (15) 前期のまとめとチェック

授業方法：

音声教材を利用して発音練習をし、基本的な表現をもとに練習問題をやります。予習は必要ありませんが必ず復習をしてください。

達成目標：

「言語に関するヨーロッパ共通基準 (CEF)」の A 1 (基礎レベル入門：くだけた言い回しや日常的な語句、および具体的な用件をすませるためによく使われる簡単な表現を理解し用いることができる) またはフランス語技能検定試験 5 級合格ラインに到達できること

評価方法：

総合評価

- S：A 1 レベルをほぼ完全にできる
- A：上記項目について、やや問題はあがるがほぼ完全にできる
- B：やや問題はあがるが、ほぼコミュニケーションが可能である。
- C：表現に問題はあがるが、コミュニケーションはどうか可能である。
- D：C のレベルに到達していない

教科書：

藤田裕二 著 『新・彼女は食いしん坊！』 朝日出版社、2,400 円

参考文献：

『ロベール・クレ仏和辞典』(駿河台出版社)、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)、『プログレッシブ仏和辞典』(小学館)、『ディコ仏和辞典』(白水社)、『クラウン仏和辞典』(三省堂)

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H30901	ドイツ語 I	1・2	2	伊藤利行

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ドイツ語、基礎、ドリル	コミュニケーション力、問題解決力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

ドイツ語文法の基礎を学び、基本的な単語・表現を記憶する。

授業の概要：

会話調の短い簡明な文章でドイツ語への入門を導く教科書（全9課）に即し、ドイツ語文法の基礎知識の獲得を目指す。Iでは第4課終了までを扱う。目安として、1年後にBeethovenの第9交響曲のAn die Freude「歓喜に寄す」の歌詞を文法的に完全に理解しドイツ語的に歌えるように指導したい。

授業の計画（大体の予定）：

回	内容	回	内容
第1回	概論：ドイツ語の特徴と学習方法など	第9回	第2課-3
第2回	発音1	第10回	第3課-1
第3回	発音2	第11回	第3課-2
第4回	第1課-1	第12回	第3課-3
第5回	第1課-2	第13回	第4課-1
第6回	第1課-3	第14回	第4課-2
第7回	第2課-1	第15回	第4課-3
第8回	第2課-2		

授業方法：

受講者は、必ず予習をして出席すること。この作業なしで出席しても実力は上がらないし、評価も出来ない。

達成目標：

ドイツ語の基礎文法と基本語彙の習得。

評価方法：

- ①授業への参加態度（間違っても良いからあらかじめ見当をつけておく）。必ず予習して出席すること。欠席5回で単位認定不可。
- ②ミニテスト（各課終了毎）や宿題を課す。
- ③上記の幾つかの平常点の合計で行い定期試験は原則行わない。授業の進展上、ミニテストの試験が確保できない場合のみ、定期試験期間中にミニテストを行う事がある。

教科書：

『はじめようドイツ語』（郁文堂）ISBN 978-4-261-01217-0 ¥2,500 + 税

参考文献：

- <参考書>：（一応次のものを挙げておく）
 常木実『標準ドイツ語』（郁文堂）¥2,500
 <推薦辞書>：（このほかにもあるが、一応次のものを推薦する。学習意欲に応じて選択のこと）
 a) 中級以上のドイツ語までやる気のある人には、『郁文堂独和辞典』第2版（郁文堂）¥4,200 [語彙数 11万語]
 b) 入門・初級程度で終わるつもりの人には、『新キャンパス独和辞典』（郁文堂）¥3,000 [語彙数 2万3千語]
 c) どちらか迷っている人には、『クラウン独和辞典』第3版（三省堂）¥4,100 [語彙数 6万4000語] や『アクセス独和辞典』第3版（三修社）¥4,100 [語彙数 7万3500語] や『フロイデ独和辞典』（白水社）¥4,000 [語彙数 7万5千語] など
 担当者ホームページ（<http://www1.uhe.ac.jp>）参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H31001	中国語 I	1・2	2	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、異文化理解	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

中国語入門。初めて中国語を学ぶ人を対象とする。

授業の概要：

- ・ピンインと簡体字を習得する。
- ・基礎的な文法事項を学び、それらを用いた表現を練習する。

授業の計画：

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 発音 3. 「的」の用法、名前について 5. 副詞「也」 7. 形容詞述語文、量詞 9. 時間詞と時刻 11. 選択疑問文 13. 反復疑問文、意志表示 15. まとめ | <ol style="list-style-type: none"> 2. 人称代名詞、「是」の用法 4. 動詞述語文、疑問詞「誰」など 6. 場所を示す指示代名詞 8. 連動文、指示代名詞 10. アスペクト助詞 12. 副詞「都」、助動詞「想」 14. 前置詞「在」、助動詞「能」「会」 |
|--|--|

授業方法：

- ・教科書にしたがって進める。
- ・随時、小テストを実施する。

達成目標：

- ・ピンインを正しく発音できる。
- ・教科書収録の重要な表現が読み書きできる。

評価方法：

- 試験（80%）と授業への取り組み（20%）により行う。
- S…正しい発音ができ、基礎的な文法事項を活用した表現ができる
- A…正しい発音ができ、基礎的な文法事項に基づいた表現ができる
- B…正しい発音ができ、基礎的な文法事項を用いた表現ができる
- C…ピンインを読むことができ、基礎的な文法事項を理解できる
- D…Cのレベルに達していない

教科書：

未定

参考文献：

辞書などは授業時に紹介する。

実験・実習・教材費：

なし。

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
H31101	フランス語Ⅱ	1・2	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話、異文化理解	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

現在フランス語が使われている地域とその歴史的経緯について概観し、フランス語を学ぶ意味について考える。フランス語を使ってコミュニケーションをとるとはどのようなことかについて考えを進め、コミュニケーションに必要な基礎知識（文法・語彙・表現）を学ぶ。

授業の概要：

フランス語の基礎を学びながら、フランス語とフランス文化の理解を深める。日常的に使われるきわめて簡単な表現を理解し、簡単な内容であればフランス語でやり取りができるところまで到達できるようにする。

授業の計画：

- (1) 前期の確認事項
- (2) 買い物をする
- (3) パリの中の日本
- (4) 食べ物の表現
- (5) 目的語の代名詞
- (6) デパートで
- (7) 過去の表現
- (8) 友達を広げる表現
- (9) サッカーを見に行く
- (10) 代名動詞
- (11) 旅の話
- (12) 別れ
- (13) フランス語の検定試験にチャレンジ (1)
- (14) フランス語の検定試験にチャレンジ (2)
- (15) 後期のまとめとチェック、フランス語のステップアップには

授業方法：

音声教材を利用して発音練習をし、基本的な表現をもとに練習問題をやります。予習は必要ありませんが必ず復習をしてください。

達成目標：

「言語に関するヨーロッパ共通基準 (CEF)」の A 1 (基礎レベル入門：くだけた言い回しや日常的な語句、および具体的な用件をすませるためによく使われる簡単な表現を理解し用いることができる) またはフランス語技能検定試験5級合格ラインに到達できること

評価方法：

総合評価

- S：A 1 レベルをほぼ完全にできる
A：上記項目について、やや問題はあがるがほぼ完全にできる
B：やや問題はあがるが、ほぼコミュニケーションが可能である。
C：表現に問題はあがるが、コミュニケーションはどうか可能である。
D：Cのレベルに到達していない

教科書：

藤田裕二 著 『新・彼女は食いしん坊!』 朝日出版社、2400 円

参考文献：

『ロベール・クレ仏和辞典』(駿河台出版社)、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)、『プログレッシブ仏和辞典』(小学館)、『ディコ仏和辞典』(白水社)、『クラウン仏和辞典』(三省堂)

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H31201	ドイツ語Ⅱ	1・2	2	伊藤利行

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ドイツ語、基礎、ドリル	コミュニケーション力、問題解決力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

ドイツ語文法の基礎を学び、基本的な単語・表現を記憶する。

授業の概要：

ドイツ語Ⅰを習得済みであること。会話調の短い簡明な文章でドイツ語への入門を導く教科書（全9課）に即し、ドイツ語文法の基礎知識の獲得を目指す。第5課から第9課までを扱う。目安として、1年後にBeethovenの第9交響曲のAn die Freude「歓喜に寄す」の歌詞を文法的に完全に理解しドイツ語的に歌えるように指導したい。

授業の計画（大体の予定）：

回	内容	回	内容
第1回	第5課－1	第9回	第7課－3
第2回	第5課－2	第10回	第8課－1
第3回	第5課－3	第11回	第8課－2
第4回	第6課－1	第12回	第8課－3
第5回	第6課－2	第13回	第9課－1
第6回	第6課－3	第14回	第9課－2
第7回	第7課－1	第15回	第9課－3
第8回	第7課－2		

授業方法：

受講者は、必ず予習をして出席すること。この作業なしで出席しても実力は上がらないし、評価も出来ない。

達成目標：

ドイツ語の基礎文法と基本語彙の習得。

評価方法：

- ①授業への参加態度（間違っても良いからあらかじめ見当をつけておく）。必ず予習して出席すること。欠席5回で単位認定不可。
- ②ミニテスト（各課終了毎）や宿題を課す。
- ③上記の幾つかの平常点の合計で行い定期試験は原則行わない。授業の進展上、ミニテストの試験が確保できない場合のみ、定期試験期間中にミニテストを行う事がある。

教科書：

『はじめようドイツ語』（郁文堂）ISBN 978 - 4 - 261 - 01217 - 0 ¥2,500 + 税

参考文献：

- <参考書>：（一応次のものを挙げておく）
 常木実『標準ドイツ語』（郁文堂）¥2,500
 <推薦辞書>：（このほかにもあるが、一応次のものを推薦する。学習意欲に応じて選択のこと）
 a) 中級以上のドイツ語までやる気のある人には、『郁文堂独和辞典』第2版（郁文堂）¥4,200 [語彙数11万語]
 b) 入門・初級程度で終わるつもりの人には、『新キャンパス独和辞典』（郁文堂）¥3,000 [語彙数2万3千語]
 c) どちらか迷っている人には、『クラウン独和辞典』第3版（三省堂）¥4,100 [語彙数6万4000語] や『アクセス独和辞典』第3版（三修社）¥4,100 [語彙数7万3500語] や『フロイデ独和辞典』（白水社）¥4,000 [語彙数7万5千語] など

担当者ホームページ（<http://www1.uhe.ac.jp>）参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H31301	中国語Ⅱ	1・2	2	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、異文化理解	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

「中国語Ⅰ」に続き、初めて中国語を学ぶ人を対象とする。

授業の概要：

- ・ピンインと簡体字を習得する。
- ・基礎的な文法事項を学び、それらを用いた表現を練習する。

授業の計画：

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 年月日・曜日、時間量 | 2. 助動詞「打算」「要」 |
| 3. 動作の回数・順番 | 4. 二重目的語文 |
| 5. アスペクト助詞「着」、動詞の重ね型 | 6. 程度副詞 |
| 7. 結果補語、方向補語 | 8. 「比」を用いた比較構文 |
| 9. 禁止の表現 | 10. 方位詞、変化の「了」 |
| 11. 「是～的」構文 | 12. 接続詞の用法 |
| 13. 使役文 | 14. 「把」構文 |
| 15. まとめ | |

授業方法：

- ・教科書にしたがって進める。
- ・随時、小テストを実施する。

達成目標：

- ・ピンインを正しく発音できる。
- ・教科書収録の重要な表現が読み書きできる。

評価方法：

- 試験（80％）と授業への取り組み（20％）により行う。
- S…正しい発音ができ、基礎的な文法事項を活用した表現ができる
- A…正しい発音ができ、基礎的な文法事項に基づいた表現ができる
- B…正しい発音ができ、基礎的な文法事項を用いた表現ができる
- C…ピンインを読むことができ、基礎的な文法事項を理解できる
- D…Cのレベルに達していない

教科書：

未定

参考文献：

辞書などは授業時に紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
H31401	上級日本語 I	2	2	文野峯子

期間	曜日	時限	備考：履修条件(留学生)：総合日本語Ⅱの成績が A 以上の者 (日本人・留学生)：初回授業における日本語試験において、上記と同等の日本語能力を有すると担当教員が判断したもの
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
語彙力、読解力、速読、日本語能力試験 N 1	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

論説文を限られた時間内に正確に読み取る力を養成し、同時に専門的、時事的なテーマに関する語彙を増やす。分析的・批判的な読み方を学ぶ。

授業の概要：

新聞や日本語能力試験に出題された論説文等を制限時間内に読む→内容を簡潔にまとめる→報告する練習を行う。読んだ文章に対して意見を述べる練習も併せて行う。

授業の計画：

1. 履修資格判定テスト
2. 文章の構成を学ぶ (中心文を探す)
3. 速読練習 (1)
4. 速読練習 (2)
5. 速読練習 (3)
6. 論説文を読む →要旨を書く →要旨の検討 (1)
7. 論説文を読む →要旨を書く →要旨の検討 (2)
8. 論説文を読む →要旨を書く →要旨の検討 (3)
9. 論説文を読む →要旨を書く →要旨の検討 (4)
10. 論説文を読む →要旨を書く →要旨の検討 (5)
11. 批判的に読む →意見を述べる (1)
12. 批判的に読む →意見を述べる (2)
13. 批判的に読む →意見を述べる (3)
14. 批判的に読む →意見を述べる (4)
15. まとめ

教育の方法：

速読練習以外の読み作業は宿題とし、担当者が読みの結果を発表し、発表内容をクラスで議論する形で授業を進める。毎回小テストによる単語・文章表現理解の確認を行い定着を図る。

達成目標：

日本語能力試験 N1 レベルの語彙力、読解力を身につける。読んだ内容をまとめ、意見を述べることを通じて、語彙力や思考力を高める。

評価方法：

- 小テスト 30%
- 授業内発表 40%
- 期末テスト 30%

教科書：

授業時に提示

参考文献：

授業時に提示

実験・実習・教材費：

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
H31501	上級日本語Ⅱ	2	2	文野峯子

期間	曜日	時限	備考：履修条件(留学生)：総合日本語Ⅱの成績がA以上の者 (日本人・留学生)：初回授業における日本語試験において、上記と同等の日本語能力を有すると担当教員が判断したもの
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ニュースの聞きとり、アカデミック・ライティング、発表	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

テレビ等身近なメディアを通じて情報を得る。アカデミックな内容の文章を書く。

授業の概要：

「テレビのニュース・討論番組を視聴する、新聞の論説文を読む」→「概要や要旨を書く」→「報告する」→「意見を述べる」という一連の作業を通して、読み取る、批判的に読む、正確に聞きとる、まとめる、わかるように話す、書くなど、大学生活で求められる言語活動が日本語でできるようになる。

授業計画：

1. テレビのニュース・ドキュメンタリー・討論番組を視聴→まとめ→報告（1）
2. 事実文と意見文－報告（1）を文章化する。
3. 事実文と意見文－報告文の検討
4. テレビのニュース・ドキュメンタリー・討論番組を視聴→まとめ→報告（2）
5. 事実文と意見文－報告（2）を文章化する。
6. 事実文と意見文－報告文の検討
7. テレビのニュース・ドキュメンタリー・討論番組を視聴→まとめ→報告+意見を述べる（1）
8. 意見文を書く（600字程度）
9. 意見文の検討
10. テレビのニュース・ドキュメンタリー・討論番組を視聴→まとめ→報告+意見を述べる（2）
11. 意見文を書く（800字程度）
12. 意見文の検討
13. テレビのニュース・ドキュメンタリー・討論番組を視聴→まとめ→報告+意見を述べる（3）
14. 意見文を書く（1000字程度）
15. 意見文の検討

教育の方法：

文章を書く作業は宿題とする。文章は、電子媒体で作成し、教員に電子メールで送付する。文章の検討は、ピア・レスポンス（仲間同士で添削・修正）で行う。

達成目標：

論理的・抽象的な内容の解説等が聞きとれる。意見を批判的に聞ける。社会的なテーマについて、論理的な文章が書ける。

評価方法：

課題・発表 50%
試験 50%

教科書：

授業時に指示

参考文献：

授業時に提示

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I10101	地球環境問題概説	1・2	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
地球環境、温暖化、海洋汚染、生物多様性、森林の減少	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、グローバルな視野

授業のテーマ：

温暖化、砂漠化、森林破壊、海洋汚染、生物多様性の減少など地球環境問題の解決は人類の喫緊的課題であり、高度な国際的取り組みだけでなく、私たち一人一人の自覚と行動が求められています。この授業では地球環境問題全般を概説し、基本的な知識の修得と環境マインドを醸成し、より専門的な学修のための知的土台を形成することにあります。

授業の概要：

地球環境問題の基本的な見方、考え方を説明したうえで、温暖化、酸性雨、砂漠化など代表的な個別テーマを毎回取り上げ、その現象と構造、影響と要因、国際的取り組みと日本の対策などを概説します。最後に地球環境問題の文明史的位置づけを検討します。

授業の計画：

1. 地球環境問題の見取り図 (1)
2. 地球環境問題の見取り図 (2)
3. 地球の温暖化 (1)
4. 地球の温暖化 (2)
5. オゾン層の破壊
6. 酸性雨
7. 海洋汚染
8. 有害廃棄物の越境移動
9. 生物の多様性の減少
10. 森林の減少
11. 砂漠化
12. 開発途上国等における環境問題
13. その他 (南極、世界遺産、黄砂)
14. その他 (食糧問題、水問題)
15. まとめ (地球環境問題と文明)

授業方法：

教科書を基本にスライドと配布資料を活用した講義形式とします。

達成目標：

地球環境問題についての現象と構造、影響と要因、国際的取り組みと日本の対策に関する概要を説明でき、関連する時事報道を容易に理解できる知識レベルと、それを正しく読み解く環境リテラシー、環境マインドを身につける。

評価方法：

期末試験 (100%) により行う。

- 達成目標をほぼ完全に達成している。…………… S
達成目標を相応に達している。…………… A
達成目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。…………… B
達成目標の最低限は満たしている。…………… C
達成目標の最低限を満たしていない。…………… D

教科書：

地球環境研究会編『地球環境キーワード辞典』中央法規 1,575円

参考文献：

「気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第4次評価報告書統合報告書要約」
http://www.env.go.jp/earth/ipcc/4th/syr_spm.pdf

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I10201	生命と環境の倫理	1・2	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境問題の意味、世代間倫理、自然の価値、生命の意味	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

地球環境問題を悪化させ続けている現代文明の本質には倫理の問題がある。現代の倫理の問題の本質を現代の自然観や生命観から哲学的に解明することが本講義のテーマである。

授業の概要：

自然の概念、環境の概念を哲学的に規定する事から始め、いわゆるエコロジーの諸説を丁寧に批判しながら、確かな環境倫理学の考え方の基本を身につけていく。その上では、論理的思考、哲学的思考、価値についての思考の力も身につけていく。

授業の計画：

1. 環境倫理学の概要
2. 哲学的思考と倫理的思考の基本
3. 「概念」について
4. 自然の概念
5. 環境の概念
6. 環境倫理学の基本事項の確認
7. エコロジーとは何か
8. 自然の権利と生命観
9. 世代間倫理と権利概念
10. エコロジーと西洋的自然観の問題
11. 現代の環境倫理思想の問題点の確認
12. 科学技術文明と環境破壊
13. 科学技術文明と自然観・人間観
14. 新しい倫理と自然観の可能性
15. まとめ

授業方法：

講義を中心に、適宜小テストやレポート等を課す。

- S 哲学的思考・倫理的思考を身につけ、環境問題の本質を論じることができる
- A 哲学的思考・倫理的思考を理解し、環境問題を論じることができる
- B 哲学的思考・倫理的思考を理解し、環境問題について考える事ができる
- C 環境問題に倫理的な意味があることを知った。
- D 哲学的思考・倫理的思考を理解せず、環境問題についても理解していない。

達成目標：

哲学的思考・倫理的思考を身につける。さらに環境問題の本質を考える能力を身につける。

評価方法：

論述試験によって評価する。

教科書：

適宜プリントを配布。

参考文献：

適宜指示する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I10301	基礎数学	1・2	2	野田信明

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
有効数字、平均、標準偏差、一次関数、指数、対数、グラフ	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力

授業のテーマ：

実験、実習等で得る測定値のデータ処理、数値解析を将来行うにあたって必要とされる数学の基礎知識と技術の習得を目的とする。特に数値計算、統計的な処理、物理単位・有効数字の取り扱い、表とグラフの活用を適切に行えるよう、理解を深める。関数電卓を積極的に活用し、数値計算に関する感覚を養う。

授業の概要：

数値解析の基礎となる次の3項目について講義と演習を行う。(1) 四則演算、関数と指数、対数の計算、関数電卓の取り扱いの習得、(2) 統計の基礎である平均値、分散、標準偏差の計算法を習得する。(3) データの整理、表とグラフ作成と活用法を習得する。

授業の計画：

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. データ処理概要と関数電卓使用法 | 9. 数値グループの特徴、平均値と中央値 |
| 2. 物理単位と“マイクロ”、“メガ” | 10. 最大値、最小値、分散、標準偏差 |
| 3. 有効数字を考慮した計算(加減算) | 11. 数値の表とグラフの作成 |
| 4. 有効数字を考慮した計算(乗除算) | 12. 一次関数とそのグラフ、切片と傾き |
| 5. 指数、指数を含む計算 | 13. 最小二乗法による一次近似曲線 |
| 6. 対数、対数を含む計算 | 14. 測定データ例を用いたデータ解析 |
| 7. 単位、有効数字を踏まえたデータ計算 | 15. まとめ |
| 8. 数値の集まりとさまざまな分布 | |

授業方法：

講義方式で行う。毎回例題を出し、15分程度を使って考え方、解き方をその場で指導する。時間内に解けたところまでを提出してもらい、次回の講義で例題回答の解説と補足の説明を行う。詳しい数値計算には関数電卓を活用する。

達成目標：

関数電卓を用いた四則演算、指数、対数の計算が、有効数字、単位を考慮してできる
平均値、分散、標準偏差の計算ができる
最小二乗法を適用してデータの解析ができる

評価方法：

試験(100%)により行う。
試験では関数電卓使用可 上記達成目標に関連の強い問題を出題する

教科書：

特に既成の教科書は使わない。講義ノートをプリントし配布する。

参考文献：

丹羽勝市著「図解雑学 統計解析」ナツメ社 ¥1,300 (ISBN978-4-8163-3472-6)

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I10401	基礎生態学	1・2	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生物群集、遷移、適応度、生物間相互作用、進化	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

生物群集および生態系の体系的な理解。

授業の概要：

生態系における群集構造、群集の機能、物質循環、生物間相互作用、共進化、個体群動態について解説する。

授業の計画：

1. 生物群集
2. 遷移と極相
3. 森林類型 1
4. 森林類型 2
5. 気候と植生 1
6. 機構と植生 2
7. 物質生産
8. 物質生産と生態ピラミッド
9. 適応度と数理モデル 1
10. 適応度と数理モデル 2
11. 共進化と送粉共生系 1
12. 共進化と送粉共生系 2
13. 共進化と送粉共生系 3
14. 個体群増加モデル 1
15. 個体群増加モデル 2

授業方法：

教科書・板書を中心とした講義。資料を適宜配布。

達成目標：

生物間の相互作用を基軸に、生態系の成り立ちについての理解を深める。

評価方法：

試験（100％）による。

教科書：

鈴木孝仁（監修）、「視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録改訂版」、数研出版、880 円（税別、各自で購入のこと）。

参考文献：

- 1) 日本生態学会（編）、「生態学入門」、東京化学同人、2,800 円（税別）。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I10501	物質と原子（基礎化学Ⅰ）	1・2	2	長井正博

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
物質、原子、元素	分析、統合の思考力と判断力

授業のテーマ：

水・土壌・森林・農地などの自然環境や生物に配慮した人間活動を行うためには、こうした環境中での物質のふるまいに関する知識を習得することが必要である。そして、その習得には、物質の最小単位である原子に関する知識が前提になる。

本講義は、将来、自然環境保全に関わることを希望する学生を対象に、原子に関する基礎知識を習得させることを目標にしている。

授業の概要：

本講義では、科学的思考の基礎となる原子に関する知識を、(1)元素との関係、(2)大きさ・質量、(3)内部構造、(4)原子間の結合に整理して説明する。さらに、周辺知識として(5)宇宙での原子の誕生過程、自然環境中の元素存在度についても紹介する。

授業の計画：

1. 元素と原子
2. 原子の構造
3. 元素の宇宙での誕生と宇宙存在度
4. 原子オービタルと電子配置
5. 電子配置と元素の周期性
6. 最外殻電子と価電子
7. 原子に関する知識のまとめ(1)
8. 単体中の原子間の結合(1) 金属結合
9. 単体中の原子間の結合(2) 共有結合
10. 化合物中の原子間の結合(1) 共有結合
11. 化合物中の原子間の結合(2) イオン結合
12. イオン結晶の水への溶解
13. 窒素化合物中の原子の結合
14. 環境中の主要元素の存在形態
15. 原子に関する知識のまとめ(2)

授業方法：

教科書と配布資料に基づいて、板書を中心に講義を進める。

講義の最初に前回の講義の内容確認のための小テストをする。解答と解説の後に、当日の講義を始める。講義の最後にも当日の理解度を確認するための小テストを行う。

達成目標：

原子およびその結合に関する基礎知識を習得する。

評価方法：

期末試験(100%)により行う。

原子の構造、電子配置に関する知識に基づいて、原子間の結合を説明することができる。・・・S

原子の構造に基づいて、原子の電子配置と最外殻電子について説明することができる。・・・A

原子の構造がわかる。・・・B

周期表から元素と原子に関する基本的な知識を得ることができる。・・・C

Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

数件出版編集部「フォトサイエンス化学図録」数件出版、

参考文献：

大野公一ら「化学入門」共立出版、2000円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I10601	物質と生物（基礎化学Ⅱ）（再履修者クラス）	2	2	長井正博

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
天然有機物 原子の結合 基本構成物質	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

人類を取り巻く環境、エネルギー、食料などの問題を考えるにあたり、有機化学、生化学に関する基本的な知識は必須である。本講義では、これらの知識を原子の結合に注目して整理し、解説する。

授業の概要：

生物に関わる重要な元素は炭素、水素、酸素、窒素、リンである。これらの元素からなる高分子化合物である糖類、タンパク質、脂質、核酸について、これらの物質が、その基本構成物質であるグルコース、アミノ酸、脂肪酸、アルコール、ヌクレオチドの脱水縮合により形成されることを中心に解説する。

授業計画

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 有機化学の基礎（1） | 9. 糖類の化学（5） |
| 2. 有機化学の基礎（2） | 10. アミノ酸とタンパク質（1） |
| 3. 生化学の基礎（1） | 11. アミノ酸とタンパク質（2） |
| 4. 生化学の基礎（2） | 12. アミノ酸とタンパク質（3） |
| 5. 糖類の化学（1） | 13. 脂質の化学（1） |
| 6. 糖類の化学（2） | 14. 脂質の化学（2） |
| 7. 糖類の化学（3） | 15. 食品の成分 |
| 8. 糖類の化学（4） | |

授業方法：

教科書と配布資料に基づいて、板書を中心に講義を進める。

講義の最初に前回の講義の内容確認のための小テストをする。解答と解説の後に、当日の講義を始める。講義の最後にも当日の理解度を確認するための小テストを行う。

達成目標：

天然有機物について、その種類と主要成分元素がわかる。さらに天然有機物を構成する基本構成物質の種類がわかる。

評価の方法

期末試験（100%）による。

天然有機物が基本構成物質から合成されることを反応式で表現できる・・・S

天然有機物の基本構成物質の種類と化学式がわかる。・・・A

天然有機物の種類と化学式がわかる・・・B

天然有機物の種類とその構成元素がわかる・・・C

Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

数件出版編集部「フォトサイエンス化学図録」数件出版、

参考文献：

大野公一ら「化学入門」共立出版、2,000円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I20101	物質と化学反応（基礎化学Ⅲ）	2	2	長井正博

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
化学反応 溶解 酸と塩基 酸化数	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

物質と原子（基礎化学Ⅰ）で、物質が原子から成ることと、物質中の原子間の結合について学んだ。本講義では原子間の結合が変化する過程、すなわち化学反応について学ぶ。自然環境では様々な化学反応が進行しているが、化学反応を理解するための基礎となる反応はそれほど多くない。この講義では水環境で進行する重要な3種類の化学反応を取り上げ、原子の結合に関する知識をもとにして解説する。また、原子や分子、イオンを数える単位であるモルについても紹介する。

授業の概要：

自然環境で進行する重要な化学反応としてイオン結晶の溶解、中和反応、酸化還元反応を取り上げ、この順に講義を進める。その際、物質中の原子の結合の種類（金属結合、共有結合、イオン結合）の変化と、原子の結合の相手の変化に注目しながら、化学反応について解説する。

授業の計画：

1. イオン結晶の溶解（1）：化学反応式の組み立て方
2. モルとモル濃度
3. イオン結晶の溶解（2）：正反応と逆反応、化学平衡
4. イオン結晶の溶解（3）：溶解度積
5. 中和反応（1）：水の電離、塩化水素の水への溶解、水素イオン濃度
6. 中和反応（2）：硫酸、硝酸、炭酸の水への溶解、水素イオン濃度
7. 中和反応（3）：水酸化ナトリウム、アンモニアの水への溶解、水酸化物イオン濃度
8. 中和反応（4）：水の電離、水のイオン積、中和反応
9. 中和反応（5）：水の液性（酸性、中性、アルカリ性）、水素イオン濃度、pH
10. 中和反応（6）：様々な物質の水溶液の液性
11. 酸化還元反応（1）：いくつかの元素と酸素および水素との反応
12. 酸化還元反応（2）：元素の酸化数
13. 酸化還元反応（3）：酸化数の変化と電子の授受
14. 物質の量の表現：質量とモル、質量保存の法則
15. まとめ

授業方法：

教科書と配布資料に基づいて、板書を中心に講義を進める。講義の最初に前回の講義の内容確認のための小テストをする。解答と解説の後に、当日の講義を始める。講義の最後にも当日の理解度を確認するための小テストを行う。

達成目標：

- ・イオン結晶の溶解、中和反応、酸化還元反応を化学反応式で書くことができる。
- ・様々な物質を水に溶かしたときの水の液性を予想することができる。
- ・水の液性と水素イオン濃度と pH の関係がわかる。
- ・元素の酸化数がわかり、酸化数が変化するとき電子のやり取りがあることがわかる。

評価の方法：

期末試験（100％）による。
 物質の量、濃度、化学平衡の理解に基づいて、化学反応式の意味するところがわかる。・・・ S
 化学平衡の理解に基づいて、化学反応式の意味するところがわかる。・・・ A
 やや複雑な化学反応を式で表すことができる・・・ B
 簡単な化学反応を式で表すことができる・・・ C
 Cのレベルに達していない・・・ D

教科書：

数件出版編集部「フォトサイエンス化学図録」数件出版、

参考文献：

大野公一ら「化学入門」共立出版、2,000円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I20201	基礎生物学	2	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
細胞、呼吸、光合成、有性生殖、遺伝子	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

基本的な生命活動の体系的な理解。

授業の概要：

細胞内のミクロなレベルで行われている生命活動の基本的なメカニズムについて学ぶ。細胞の構造、呼吸の仕組みと生化学反応、光合成の仕組みと生化学反応、有性生殖と減数分裂、遺伝子の構造と複製機構について解説する。

授業の計画：

1. 生命とは
2. 細胞のつくりと働き1
3. 細胞のつくりと働き2
4. 呼吸1
5. 呼吸2
6. 呼吸3
7. 光合成1
8. 光合成2
9. 有性生殖と世代交代1
10. 有性生殖と世代交代2
11. 遺伝子1
12. 遺伝子2
13. 遺伝子3
14. 様々な生命活動1
15. 様々な生命活動2

授業方法：

教科書・板書を中心とした講義。資料を適宜配布。

達成目標：

代謝活動や自己複製といった基本的な生命現象のしくみについての科学的理解を深める。

評価方法：

試験（100％）による。

教科書：

鈴木孝仁（監修）、「視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録改訂版」、数研出版、880円（税別、各自で購入のこと）。

参考文献：

- 1) 石川統、「生物学入門」、東京化学同人、2,200円。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I10701	自然地理学	1	2	守村敦郎

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
気候、地形、自然災害、環境問題、農業	グローバルな視野、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

世界や日本各地の文化や社会、さらには農業をはじめとする産業の多様性は、その場所ごとの自然環境のありように大きく依拠している。本講義では、私たちを取り巻く自然的要素とその相互作用の現れ、つまりは気候、地形、植生、土壌、水環境、自然災害などについて概括的に学び、さらには自然環境と農業との関係について理解を深めることを目的とする。

授業の概要：

本講義は初学者が多いことや、日本研究コースで教職科目として位置づけられていることなどに配慮し、中学校や高校で取り扱っている内容を中心に授業を進めるが、一部発展的な要素も盛り込む。

授業の計画：

- 1) 惑星としての地球
- 2) 世界の気候区分と日本の気候
- 3) 地域スケールの気候
- 4) 気候の変化・変動
- 5) 世界と日本の大地形
- 6) 山地・丘陵地の地形
- 7) 平野・海岸の地形
- 8) 世界と日本の植生分布
- 9) 土壌の形成と分布
- 10) 水の循環と水資源
- 11) 鉱物・化石資源の分布と利用
- 12) 自然災害（気象災害・土砂災害）
- 13) 自然災害（地震災害・火山災害）
- 14) 自然環境と農業（その1）
- 15) 自然環境と農業（その2）

授業方法：

通常の講義形式をとる。図表や動画等を多用し、視覚的に理解させることを心がける。また評価には加えないが、各自で地理的知識の習熟度を確認できるよう小テストを随時設ける。

達成目標：

自然環境の姿や成因を正しく自然科学的に理解でき、簡潔に説明できる。自然災害や環境問題、農業と自然環境との関係性について、自分の意見が述べられるようになる。

評価方法：

期末試験（100％）で評価する。

教科書：

なし。教材を作成し配布する。

参考文献：

高橋日出男・小泉武栄『自然地理学概論（地理学基礎シリーズ）』朝倉書店（3,465円）
西尾道徳ら『環境と農業（農学基礎セミナー）』農山漁村文化協会（1,700円）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I21101	自然地理学	2	2	守村敦郎

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
気候、地形、自然災害、環境問題、農業	グローバルな視野、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

世界や日本各地の文化や社会、さらには農業をはじめとする産業の多様性は、その場所ごとの自然環境のありように大きく依拠している。本講義では、私たちを取り巻く自然的要素とその相互作用の現れ、つまりは気候、地形、植生、土壌、水環境、自然災害などについて概括的に学び、さらには自然環境と農業との関係について理解を深めることを目的とする。

授業の概要：

本講義は初学者が多いことや、日本研究コースで教職科目として位置づけられていることなどに配慮し、中学校や高校で取り扱っている内容を中心に授業を進めるが、一部発展的な要素も盛り込む。

授業の計画：

- 1) 惑星としての地球
- 2) 世界の気候区分と日本の気候
- 3) 地域スケールの気候
- 4) 気候の変化・変動
- 5) 世界と日本の大地形
- 6) 山地・丘陵地の地形
- 7) 平野・海岸の地形
- 8) 世界と日本の植生分布
- 9) 土壌の形成と分布
- 10) 水の循環と水資源
- 11) 鉱物・化石資源の分布と利用
- 12) 自然災害（気象災害・土砂災害）
- 13) 自然災害（地震災害・火山災害）
- 14) 自然環境と農業（その1）
- 15) 自然環境と農業（その2）

授業方法：

通常の講義形式をとる。図表や動画等を多用し、視覚的に理解させることを心がける。また評価には加えないが、各自で地理的知識の習熟度を確認できるよう小テストを随時設ける。

達成目標：

自然環境の姿や成因を正しく自然科学的に理解でき、簡潔に説明できる。自然災害や環境問題、農業と自然環境との関係性について、自分の意見が述べられるようになる。

評価方法：

期末試験（100％）で評価する。

教科書：

なし。教材を作成し配布する。

参考文献：

高橋日出男・小泉武栄『自然地理学概論（地理学基礎シリーズ）』朝倉書店（3,465円）
西尾道徳ら『環境と農業（農学基礎セミナー）』農山漁村文化協会（1,700円）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I20301	熱・光・エネルギー（基礎物理学）	2	2	長井正博

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
エネルギー, 光, 熱	分析・統合の思考力と判断力

授業のテーマ：

地球環境, 生態系, 生物, 人間社会などのあらゆるシステムは, エネルギーを継続的に供給することによってのみ成立することができる。このことを理解するためには, エネルギーが最終的に全て熱に変わることが理解する必要がある。
地球環境の最大のエネルギー源である太陽光に関する知識とともに, エネルギーと熱についての物理学的な基礎知識を紹介する。

授業の概要：

エネルギーの定義とエネルギー保存則について説明したのち, 光のエネルギーについて解説する。続いて, 熱の量の表現にエネルギーとエントロピーの2種類があること, そして, エネルギーが熱に変わることが表現するためにはエントロピーを用いなければならないことを説明する。

授業の計画：

1. 力と加速度と質量
2. 仕事とエネルギー, エネルギー保存則
3. 電子の移動によるエネルギーの取り出し
4. 人間活動とエネルギー
5. 光の速度・波長・振動数
6. 光の波動性と粒子性, 光子のエネルギー
7. 太陽光とエネルギー
8. 温度と熱容量
9. 熱量の表現: エネルギーとエントロピー
10. 熱の移動によるエネルギーの取り出し
11. 熱の移動時の熱の発生
12. 物質の拡散によるエネルギーの取り出し
13. 物質の拡散時の熱の発生
14. エネルギーの熱への変換とエントロピーの発生
15. システムの維持とエネルギーの供給

授業方法：

配布資料に基づいて, 板書を中心に講義を進める。
講義の最初に前回の講義の内容確認のための小テストをする。解答と解説の後に, 当日の講義を始める。講義の最後にも当日の理解度を確認するための小テストを行う。

達成目標：

エネルギーの観点から, 光と熱について説明できる。
システムの維持にエネルギーの持続的供給が必要なことが理解できる。

評価方法：

期末試験(100%)により行う。
熱とエネルギーとエントロピーの関係がわかる・・・S
熱とエネルギーの関係がわかる・・・A
エネルギー保存の法則がわかる・・・B
力学的エネルギー, 光のエネルギーを算出できる・・・C
Cのレベルに達していない・・・D
試験では, エネルギー・光・熱に関する基礎知識と計算能力を確認する。

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I26101	環境文献講読 I	2	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
自然哲学 近代思想 文章読解 学術論文の基本論理と概念	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

自然に関する基本的な文献を講読する。文系の様々なスタイルの文献の講読を通じて、文献を読みこなす能力を身につける

授業の概要：

表現が具体的な初歩的な環境問題に関わる論文の読解からはじめ、漸次、諸分野に特徴的なスタイルの論文の講読を行う。

授業の計画：

1. 文献講読について
2. 「文」の構造
3. 「一つのこと」の理解
4. 文献講読：初歩的な文章の読解（古代ギリシア 自然哲学） 1
5. 文献講読：初歩的な文章の読解（古代ギリシア 自然哲学） 2
6. 文献講読：初歩的な文章の読解（古代ギリシア 自然哲学） 3
7. 文章理解の初歩の確認
8. 文の構造と論理関係の把握
9. 文献講読：論理的な文章の読解（近代哲学 デカルト） 1
10. 文献講読：論理的な文章の読解（近代哲学 デカルト） 2
11. 文献講読：論理的な文章の読解（近代哲学 デカルト） 3
12. 文の論理関係の確認
13. 文脈とは
14. 様々なレベルの文脈からの理解について
15. まとめ

授業方法：

文献講読の基本の解説と演習を行う

達成目標：

文系の学術論文を読む能力の基本を修得する

評価方法：

以下の基準に基づき、授業における読解のチェックや提出課題の評価を行う

- S 基本的な学術的な文を読みこなしている
- A 学術論文を読む能力の基本を身につけている
- B 文を読む能力の基本を身につけている
- C 文を読む能力の一部を身につけている
- D 学術論文を読む能力を身につけていない

教科書：

なし

参考文献：

ディオゲネス・ラエルティオス『ギリシア哲学者列伝 上中下』（岩波文庫）、ルネ・デカルト『方法序説』、その他、授業中に適宜指示する

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I26102	環境文献講読 I	2	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
用語、読解力、演習	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

文献の購読。

授業の概要：

教科書を用い、それを読みこなす過程を通じて、読解力を養成する。

授業の計画：

- 1：ガイダンス
- 2～4：用語
- 5～7：構文
- 8～10：文章読解
- 11～12：段落読解
- 13～15：内容把握

授業方法：

文献講読を演習形式で行う。

達成目標：

文献を講読するための基礎的な技術を習得する。とくに、用語の意味、文章の構成、文章の意味、段落の構成、段落の内容について正確に把握することを目標とする。

評価方法：

レポート（100％）による。

教科書：

鷲谷いづみ、中公新書 1752「自然再生」、中央公論社、720円（税別、各自で購入のこと）。授業時に国語辞典を持参すること（出版社は問わない、電子辞書が望ましい）。

参考文献：

大野晋、岩波新書 569「日本語練習帳」、岩波書店、660円（税別）。

実験・実習・教材費：

なし

その他：

「国語辞典」が必要（出版社は問わない、電子辞書が望ましい）。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I26201	環境文献講読 II	2	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
近代思想 社会思想 宗教思想 科学思想 アニミズム 文章読解	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

授業のテーマ：

自然に関する人文・社会科学の文献を講読する。文系の様々なスタイルの文献の講読を通じて、文献を読みこなす能力を身につける

授業の概要：

表現が具体的な初歩的な環境問題に関わる論文の読解からはじめ、漸次、諸分野に特徴的なスタイルの論文の読解を行う。

授業の計画：

1. 「文」について
2. 諸分野の文献の特徴
3. 文献講読：社会科学（経済学）の文章読解（アマルティア＝セン『貧困と飢餓』） 1
4. 文献講読：社会科学（経済学）の文章読解（アマルティア＝セン『貧困と飢餓』） 2
5. 文献講読：社会科学（経済学）の文章読解（アマルティア＝セン『貧困と飢餓』） 3
6. 文献講読：人文科学（文化人類学／民俗学）の文章の読解（柳田国男『遠野物語』ほか） 1
7. 文献講読：人文科学（文化人類学／民俗学）の文章の読解（柳田国男『遠野物語』ほか） 2
8. 文献講読：人文科学（文化人類学／民俗学）の文章の読解（柳田国男『遠野物語』ほか） 3
9. 価値の主張にかかわる論文について
10. 文献講読：人文科学（比較思想）の文章の読解（鈴木大拙『東洋的な見方』） 1
11. 文献講読：人文科学（比較思想）の文章の読解（鈴木大拙『東洋的な見方』） 2
12. 文献講読：人文科学（比較思想）の文章の読解（鈴木大拙『東洋的な見方』） 3
13. 近代以後の論文について
14. 文献講読：人文科学（科学批判）の文章の読解（マルティン＝ハイデッガーほか）
15. まとめ

授業方法：

講読の基本の解説と演習を行う

達成目標：

文系の学術論文を読む能力の基本を修得する

評価方法：

以下の基準に基づき、授業における読解のチェックや提出課題の評価を行う

- S 基本的な学術的な文を読みこなしている
- A 学術論文を読む能力の基本を身につけている
- B 文を読む能力の基本を身につけている
- C 文を読む能力の一部を身につけている
- D 学術論文を読む能力を身につけていない

教科書：

なし

参考文献：

アマルティア＝セン『貧困と飢餓』岩波書店
柳田国男『遠野物語』岩波文庫ほか
鈴木大拙『東洋的な見方』岩波文庫
そのほか、授業中に適宜指示する

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I26202	環境文献講読 II	2	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読解力、整理力、演習	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

文献の購読。

授業の概要：

教科書を用い、それを読みこなす過程を通じて、読解力と整理力を養成する。

授業の計画：

- 1：ガイダンス
- 2～4：用語・構文
- 5～7：文章読解
- 8～10：段落読解
- 11～12：内容把握
- 13～15：内容整理

授業方法：

文献講読を演習形式で行う。

達成目標：

文献を講読するための基礎的な技術を習得する。とくに、文章の意味と段落の内容について正確に把握・理解し、それらを整理する能力の養成を目標とする。

評価方法：

レポート（100％）による。

教科書：

長谷川真理子、岩波新書 623「科学の目 科学のこころ」、岩波書店、660 円（税別、各自で購入のこと）。授業時に国語辞典を持参すること（出版社は問わない、電子辞書が望ましい）。

参考文献：

大野晋、岩波新書 569「日本語練習帳」、岩波書店、660 円（税別）。

実験・実習・教材費：

なし

その他：

「国語辞典」が必要（出版社は問わない、電子辞書が望ましい）。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I25101	環境英語文献講読 I	2	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
Nature, Environment, Endangered Species, Rain Forests, Ecotourism	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

地球環境問題の解決には事実上の国際公用語である英語を使った国際協力が必要です。本授業では環境に関する基礎的用語の英語表記の修得と、英語文章の読解能力を養います。特に、英文の構造、慣用的表現、内容理解に重点を置きます。本授業は主に文系の学生を対象に解説を行います。

授業の概要：

英文で書かれた環境問題に関するテキスト『Nature and the Environment』（自然と環境）のプログラムに従って進めます。授業速度は各章を2回程度で進めます。

授業の計画：

1. 授業の概要
- 2・3. Chapter 1 Why Study Environmental Issues? (なぜ環境問題を学ぶのか)
- 4・5. Chapter 2 Endangered and Extinct Species (絶滅危惧種と絶滅種)
- 6・7. Chapter 3 Medicines from Nature (天然の薬)
- 8・9. Chapter 4 Rain Forests (熱帯雨林)
- 10・11. Chapter 5 Ecotourism (エコツーリズム)
- 12・13. Chapter 6 Wildlife Trafficking (野生生物の違法売買)
- 14・15. Chapter 7 Abuse of the Oceans (海の濫用)

授業方法：

テキスト本文の音読と翻訳、各章に付属する練習問題（語彙力・単語並べ替えなど）を行いながら、環境問題の英文理解を深めます。

達成目標：

環境に関する基礎的な英単語を修得するとともに、中級レベルの文章構造を即座に理解し、英和辞書を活用して日本語として完成された翻訳ができるようになることをめざす。

評価方法：

- 期末試験（100％）により行う。
- 達成目標をほぼ完全に達成している。…………… S
- 達成目標を相応に達している。…………… A
- 達成目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。…………… B
- 達成目標の最低限は満たしている。…………… C
- 達成目標の最低限を満たしていない。…………… D

教科書：

Greg Goodmacher 著、福田一雄編著『Nature and the Environment』（成美堂／1,700円＋税）

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I25102	環境英語文献購読 I	2	2	藤井芳一

期間	曜日	時限	備考:
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
Environment, Reading, 環境, 読解	グローバルな視野, コミュニケーション力, 分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ:

地球環境問題は、日本一国で解決できるものではなく、国際的な協力が不可欠である。そのため、世界の公用語として否が応にも英語を学ぶ必要がある。環境問題に関する比較的平易な英文を読み解くことを通じて、環境用語の英語表記を知り、環境問題について理解を深めることが本講義の目的である。特に、理系的観点で問題が取り上げられることの多いテーマについて取り扱う。

授業の概要:

比較的平易な英文で記述された教科書を用い、地球環境問題として取り沙汰されている代表的なテーマについて、理解を深める。多くは別途開講科目である『地球環境問題概説』で取り上げられているので、知識の確認をすると共に、英語表記の方法を学ぶ。各テーマ2回程度で授業を進める。

授業の計画:

- 1回 授業の概要
- 2, 3回 Chapter 1. Why Study Environmental Issues? (なぜ環境問題を学ぶのか)
- 4, 5回 Chapter 2. Endangered and Extinct Species (絶滅危惧種と絶滅種)
- 6回 環境用語の英語表記の確認と環境に関する英短文読解演習
- 7, 8回 Chapter 3. Medicines from Nature (天然の薬)
- 9, 10回 Chapter 4. Rain Forests (熱帯雨林)
- 11回 環境用語の英語表記の確認と環境に関する英短文読解演習
- 12, 13回 Chapter 7. Abuse of the Oceans (海の濫用)
- 14回 環境用語の英語表記の確認と環境に関する英短文読解演習
- 15回 まとめ

授業方法:

地球環境問題について教科書から各テーマを取り上げて、本文の読解を行なう。なお、その解説は、理系的観点から行なう。学生の発表や参考文献の購読、解説なども適宜行なう。

達成目標:

辞書を用いて環境問題に関する英文を読むことができるようにする。基本的な環境用語について、英語和訳、和語英訳ができる。

評価方法:

試験によって評価する。SからCは基本的な環境用語の英語表記が分かることを前提とする。
 辞書を用いて環境問題に関する英文を読解し、内容について和文で説明することができる。・・・S
 辞書を用いて環境問題に関する英文を読解し、内容についての質問に答えることができる。・・・A
 辞書を用いて環境問題に関する英文の大意を理解することができる。・・・B
 平易な短文であれば辞書を用いて環境問題に関する英文の大意を理解することができる。・・・C
 Cのレベルに達していない。・・・D

教科書:

Greg Goodmacher 著、福田一雄編著『Nature and the Environment』(成美堂/1,700円+税)

参考文献:

講義中にその都度提示する。

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I25201	環境英語文献講読Ⅱ	2	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
Nature, Environment, Acid Rain, Air Pollution, Global Warming	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

地球環境問題の解決には事実上の国際公用語である英語を使った国際協力が必要です。本授業では環境に関する基礎的用語の英語表記の修得と、英語文章の読解能力を養います。特に、英語文章の速読による大意の把握に重点を置きます。本授業は主に文系の学生を対象に解説を行います。

授業の概要：

英文で書かれた環境問題に関するテキスト『Nature and the Environment』（自然と環境）のプログラムに従って進めます。授業速度は各章を2回程度で進めます。

授業の計画：

- 1・2. Chapter 8 Freshwater Pollution (淡水汚染)
- 3・4. Chapter 9 Acid Rain (酸性雨)
- 5・6. Chapter 10 Air Pollution (大気汚染)
- 7・8. Chapter 11 Global Warming (地球温暖化)
- 9・10. Chapter 12 Fossil Fuels and Nuclear Energy (化石燃料と原子力エネルギー)
- 11・12. Chapter 13 Renewable Sources of Energy (再生可能なエネルギー源)
- 13・14. Chapter 14 Toxic Catastrophes (有害化学物質による破局)
15. まとめ

授業方法：

テキスト本文の音読と翻訳、各章に付属する練習問題（語彙力・単語並べ替えなど）を行いながら、環境問題の英文理解を深めます。

達成目標：

環境に関する基礎的な英単語を修得するとともに、中級レベルの文章構造を即座に理解し、英和辞書を活用して日本語として完成された翻訳ができるようになることをめざす。

評価方法：

- 期末試験（100％）により行う。
- 達成目標をほぼ完全に達成している。…………… S
- 達成目標を相応に達している。…………… A
- 達成目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。…………… B
- 達成目標の最低限は満たしている。…………… C
- 達成目標の最低限を満たしていない。…………… D

教科書：

Greg Goodmacher 著、福田一雄編著『Nature and the Environment』（成美堂／1,700円＋税）

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I25202	環境英語文献購読Ⅱ	2	2	藤井芳一

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
Environment, Reading, 環境, 読解	グローバルな視野, コミュニケーション力, 分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

地球環境問題は、日本一国で解決できるものではなく、国際的な協力が不可欠である。そのため、世界の公用語として否が応にも英語を学ぶ必要がある。環境問題に関する比較的平易な英文を読み解くことを通じて、環境用語の英語表記を知り、環境問題について理解を深めることが本講義の目的である。特に、汚染問題を中心とした理系的観点で扱われることの多いテーマを取り上げる。

授業の概要：

比較的平易な英文で記述された教科書を用い、地球環境問題として取り沙汰されている代表的なテーマについて、理解を深める。多くは別途開講科目である『地球環境問題概説』で取り上げられているので、知識の確認をすると共に、英語表記の方法を学ぶ。各テーマ2回程度で授業を進める。

授業の計画：

- 1回 授業の概要と環境英語文献購読Ⅰで学んだ事項の確認
- 2, 3回 Chapter 8. Freshwater Pollution (淡水の汚染)
- 4, 5回 Chapter 9. Acid Rain (酸性雨)
- 6回 環境用語の英語表記の確認と環境に関する英短文読解演習
- 7, 8回 Chapter 10. Air Pollution (大気汚染)
- 9, 10回 Chapter 11. Global Warming (地球温暖化)
- 11回 環境用語の英語表記の確認と環境に関する英短文読解演習
- 12, 13回 Chapter 14. Toxic Catastrophes (毒物による大災害)
- 14回 環境用語の英語表記の確認と環境に関する英短文読解演習
- 15回 まとめ

授業方法：

地球環境問題について教科書から各テーマを取り上げて、本文の読解を行なう。なお、その解説は、理系的観点から行なう。学生の発表や参考文献の購読、解説なども適宜行なう。

達成目標：

辞書を用いて環境問題に関する英文を読むことができるようにする。基本的な環境用語について、英語和訳、和語英訳ができる。

評価方法：

試験によって評価する。SからCは基本的な環境用語の英語表記が分かることを前提とする。
 辞書を用いて環境問題に関する英文を読解し、内容について和文で説明することができる。・・・S
 辞書を用いて環境問題に関する英文を読解し、内容についての質問に答えることができる。・・・A
 辞書を用いて環境問題に関する英文の大意を理解することができる。・・・B
 平易な短文であれば辞書を用いて環境問題に関する英文の大意を理解することができる。・・・C
 Cのレベルに達していない。・・・D

教科書：

Greg Goodmacher 著、福田一雄編著『Nature and the Environment』（成美堂／1,700円＋税）

参考文献：

講義中にその都度提示する。

実験・実習・教材費：

無し

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I26301	環境保全型農業概論	2	2	宇根豊

期間	曜日	時限	備考：
後期	集中	E	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
自然、生物多様性 生き方 多面的機能 ただの虫	分析・総合の思考力と判断力 価値判断力 美的感受性

授業のテーマ：

「環境保全型農業」と言うと格好よく聞こえますが、「稲の音が聞こえる農業」と言い換えると、途端に非科学的な印象になります。じつはこの両者は見方の違いなのです。田畑や作物や自然を外側から見る科学と、内からのまなざしでとらえる情感・情愛はどちらも大切です。この両者を重ねていくことによって、自然と農をより深くとらえることができるようになります。この新しい学の方法を提示します。

授業の概要：

具体的な技術や仕事、生きものや風景をとりあげて、見方によって世界はがらりと替わることを証明します。同時にそれが農業のありかたや、人生のとらえ方にどう影響するかを受講者と一緒に討論しながら考えていきます。

授業の計画：

- 1回 生業とは過去の遺物なのか（生業論）
- 2回 食料を価値にしなければならなかった理由（食料論）
- 3回 自然の位置づけが後れた理由（自然論）
- 4回 仕事と技術のちがい（仕事論）
- 5回 農業の近代化はなぜ進められたのか（近代化論）
- 6回 生きものの生と死の意味（生命論）
- 7回 ただの虫の発見から田んぼの世界全体へ（世界論）
- 8回 生物多様性は人間のためのものか（生物多様性論）
- 9回 情愛と美のふるさと（美論）
- 10回 なぜ田植えは手植えに限るか（伝承論）
- 11回 開かれている百姓仕事（公益論）
- 12回 環境支払いという政策（政治論）
- 13回 経済と非経済の関係（非経済論）
- 14回 そこに、いつも、あたりまえにあるもの（存在論）
- 15回 ささやかでゆっくりした生き方（生き方論）

授業方法：

私が執筆した教科書に基づいて、私の解釈を示します。また別の解釈も適宜資料を配付して、検討します。どういう見方がより本質に近づくことになるか、受講生と一緒に考えます。このように毎回の設問とそれに対する回答の多彩さが授業の正否を左右するでしょう。

達成目標：

自然環境にやさしい環境保全型農業の内実を分析していきながら、人間と自然との関係はどうあったらいいのかを自分なりに考える方法を身につける。

評価方法：

- いくつかの課題に対するレポート提出を求めます。
- S：自分なりの見解をはっきり示すことができる。
 - A：問題の所在をしっかりとつかんでいる。
 - B：不十分であるが、自分なりに本質に迫ろうとしている。
 - C：一応講義の内容を理解している。
 - D：問題の所在を理解していない。

教科書：

宇根豊『環境マインド養成講座 第3部』人間環境大学 無料配布

参考文献：

宇根豊『天地有情の農学』コモンズ 1600円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I28101	環境情報実習 I	2	1	守村敦郎

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
データ処理、Excel、Web、html、グラフィック処理	問題解決力、分析・総合の思考力と判断力、コミュニケーション力

授業のテーマ：

データ処理の目的と意義について学び、その基本的な技法と考え方を身につける。データ処理の技法を単なる知識以上に活用できるものにし、データの発信を行うことで自身の技術向上を狙う。

授業の概要：

1年次の情報実習 I・II や基礎数学での学びの内容を発展させ、卒業研究や実社会で活かせるデータ処理技術の基本を身につける。文書や数値データ、グラフィックデータ等を公開し共有するための、Web によるデータ開示技術の基本を身につける。

授業の計画：

- 1) イントロダクション、Google Apps の活用
- 2) 情報実習 II の復習 (Excel その 1)
- 3) 情報実習 II の復習 (Excel その 2)
- 4) Excel によるデータ処理の基本 (対数、有効数字)
- 5) Excel によるデータ処理の基本 (基本統計量)
- 6) Excel によるデータ処理の基本 (グラフの作成)
- 7) Excel によるデータ処理の基本 (まとめ)
- 8) Excel によるデータ処理の基本 (相関と回帰)
- 9) Excel によるデータ処理の基本 (平均値の差の検定)
- 10) Excel によるデータ処理の基本 (まとめ)
- 11) Web によるデータ開示の基本 (html の基本)
- 12) Web によるデータ開示の基本 (テーブル、グラフィックの活用)
- 13) Web によるデータ開示の基本 (デジカメ写真の活用)
- 14) Web によるデータ開示の基本 (Excel で作成されたデータの公開)
- 15) Web によるデータ開示の基本 (まとめ)

授業方法：

教材に沿って、講義を交えながらパソコンを操作して実習する。評価項目ごとに演習課題の作成に取り組む。

達成目標：

基礎数学で習得した数量の扱いや計算、グラフ化の方法を、Excel を用い再現することができる。html で簡単な Web ページを作成できる。簡単なグラフィック作成やデジタル写真加工を行うことができる。

評価方法：

Web ページの形式で作成されたレポート (100%) で評価する。授業内容の達成度を総合的に測る難易度 S, A, B, C の計 4 つのレポート課題を与え、そのうち自らのレベル (各自で判断) に応じたもの一つを完成させ提出させる。提出されたレポートの難易度がそのまま評価 (S, A, B, C) となる。ただしレポートの完成度が不十分な場合はその限りでない。また完成度が大幅に劣る場合は難易度によらず D 評価とする。

教科書：

なし。教材を作成し配布する。

参考文献：

実教出版編修部『Windows 7 対応 30 時間でマスター Excel2010』 実教出版株式会社 (900 円)
久野靖ら『キーワードで理解する最新情報リテラシー 第 4 版』 日経 BP 社 (1,260 円)

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
I28201	環境情報実習 II	2	1	守村敦郎

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境データ分析、プログラミング、GIS（地理情報システム）、空間データ	問題解決力、分析・総合の思考力と判断力、コミュニケーション力

授業のテーマ：

環境情報実習 I の内容を踏まえ、より実践的なデータ処理の技法と考え方を身につける。3 年次以降、個々が卒業研究テーマに応じ自発的に、より高度なデータ処理技法を習得していける素地を身につける。

授業の概要：

コンピュータの操作のみならず実社会の様々な場面で必要となる、あらかじめ手順を記述し実行/検証する論理的思考プロセスをプログラミングにより学ぶ。環境データをその空間的属性とともに分析し可視化するための技法を習得する。卒業研究でデータ分析を行うための、より実践的な技法を習得する。

授業の計画：

- 1) プログラミングの基礎 (Scratch 言語の基礎)
- 2) プログラミングの基礎 (判断と繰り返し)
- 3) プログラミングの基礎 (並行プログラミング)
- 4) プログラミングの基礎 (プロジェクトの共有)
- 5) プログラミングの基礎 (まとめ)
- 6) 空間データの分析と可視化 (GIS の基本的操作)
- 7) 空間データの分析と可視化 (地図の表示と編集)
- 8) 空間データの分析と可視化 (地図間演算・幾何的操作)
- 9) 空間データの分析と可視化 (地図内演算・空間補完)
- 10) 空間データの分析と可視化 (まとめ)
- 11) 環境データの分析と利用 (環境データの収集と分析)
- 12) 環境データの分析と利用 (栽培実験データの分析)
- 13) 環境データの分析と利用 (農業統計データの分析)
- 14) 環境データの分析と利用 (環境・農業データの公開)
- 15) 環境データの分析と利用 (まとめ)

授業方法：

教材に沿って、講義を交えながらパソコンを操作して実習する。評価項目ごとに演習課題の作成に取り組む。

達成目標：

Scratch 言語を用い簡単なプログラムを作成することができる。GIS を用い空間データの表示と簡単な分析を行うことができる。実際に得られた環境データを分析し、その結果を表現することができる。

評価方法：

Web ページの形式で作成されたレポート (100%) で評価する。授業内容の達成度を総合的に測る難易度 S, A, B, C の計 4 つのレポート課題を与え、そのうち自らのレベル (各自で判断) に応じたもの一つを完成させ提出させる。提出されたレポートの難易度がそのまま評価 (S, A, B, C) となる。ただしレポートの完成度が不十分な場合はその限りでない。また完成度が大幅に劣る場合は難易度によらず D 評価とする。

教科書：

なし。教材を作成し配布する。

参考文献：

- 実教出版編修部『Windows 7 対応 30 時間でマスター Excel2010』 実教出版株式会社 (900 円)
 古田均ら『基礎からわかる GIS』 森北出版 (2,520 円)
 久野靖ら『キーワードで理解する最新情報リテラシー 第 4 版』 日経 BP 社 (1,260 円)

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I20401	野菜と穀物の育て方	2	2	菅原眞治

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
農耕、食料、多様な食生活、栽培	問題解決力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

授業のテーマ：

人は農耕をどのように始めたのか、食糧の確保と栄養のバランスのために野菜をどのように扱ってきたのか、我が国の環境の中で野菜を栽培する技術がどのように出来上がって、周年野菜が食卓に供給されているかについて理解してもらおう。

授業の概要：

日本農業の現状と野菜消費の現状について理解をさせ、各野菜品目の栽培上の特性と栽培技術について理解させる。

授業の計画：

- 1) 日本農業の現状、野菜の輸入量の増加
- 2) 作型、作業体系、経営方法 トマト・ナス・ピーマンの栽培
- 3) 都市近郊での野菜栽培
- 4) 土壌の性質、肥料の種類と使い方 スイートコーン、オクラの栽培
- 5) 農薬の種類と使い方、野菜栽培での有機農業の方法とその現状
- 6) 育苗の技術と方法 キュウリ・スイカ・カボチャの栽培
- 7) 施設栽培の方法 ハクサイ・菜類の栽培
- 8) 農耕文化と野菜、野菜の伝搬と伝統野菜
- 9) 野菜の品種と品種改良
- 10) 種取りと、種の保存 ダイコンの栽培
- 11) キャベツ、ブロッコリー・カリフラワーの栽培
- 12) レタス、イチゴの栽培
- 13) ネギ・タマネギ・ニンニクの栽培
- 14) ジャガイモ、サツマイモ・サトイモ、エンドウ・ソラマメの栽培
- 15) 野菜の品質と貯蔵の方法 ホウレンソウ・シュンギクの栽培

授業方法：

統計資料をパワーポイントで示し、現状の解説をして理解を深める。参考文献を示し購読を勧める。作型の概念を解説して野菜栽培での作型の意味、経済的な生産の意味を解説する。各野菜の栽培方法を教科書や写真で示し理解させる。

達成目標：

日本農業の現状を理解し、野菜の経済生産の方法や、各野菜の生理・形態特性を理解して栽培技術についての理解を深める。

評価方法：

試験（100％）によって行う。試験は期末試験による。
 日本農業及び野菜生産の現状が理解でき、各野菜の生理・形態特性の用語が理解でき栽培技術が把握できている。・・・S
 各野菜の生理・形態特性の用語が理解できていて、栽培技術が把握できている。・・・A
 野菜の栽培技術が把握できている。・・・B
 野菜の栽培技術が大まかに理解できている。・・・C
 Cのレベルに達していない。・・・D

教科書：

池田英男・川城英夫『野菜栽培の基礎（農学基礎セミナー）』農山漁村文化協会（1,950円）

参考文献：

神門善久『さよならニッポン農業』NHK出版（735円）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
I20501	農地での土と微生物と肥料のはたらき I	2	2	藤井芳一

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
土・微生物・肥料・作物	問題解決力, 価値判断力 (意思決定力), グローバルな視野

授業のテーマ：

農地で作物を生育させるためには、土の役割及びその特性を理解することが重要である。さらに、作物が必要とする養分は、農地においては主に肥料として人為的に与えられるものであり、その働きについても理解が必要である。肥料の作物への吸収は、土の性質と共に微生物の働きも寄与する。これら土、微生物、肥料の関係について知識を得ることを本講義の目的とする。

授業の概要：

土壤生態系における物質循環を理解するための礎として、生成過程、物理化学性、機能や役割といった土の基本的な事項を概説する。微生物や養分についても取り上げるが、詳しくは当講義Ⅱにおいて土壤生態系内の物質循環を詳説する際に扱う。

授業の計画：

1. ガイダンス
2. 作物の生育に必要な条件
3. 農業における土の役割
4. 土の生成過程
5. 土壌型
6. 土層
7. 確認：土の成り立ちについて
8. 三相分布
9. 粒径組成と団粒構造
10. 土の酸性化と作物生育
11. 土が養分を保持する機能
12. 確認：土の物理性と化学性について
13. 土壤微生物の働きとその活動を左右する環境条件
14. 作物養分としての窒素、リン、カリウム
15. 確認：本講義を通じて補足事項について

授業方法：

講義形式を基本とする。知識の確認のための小テストを随時行なう。

達成目標：

土の成り立ちや構造、機能について関連用語を正しく理解し、説明することができる。土と微生物、養分との関係について説明することができる。

評価方法：

筆記試験（100%）によって評価する。

教科書：

なし

参考文献：

講義中にその都度提示する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I20601	植物体内での水と物質のはたらき I	2	2	長井正博

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
植物の生長 細胞 物質の移動と合成	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

葉、茎、根、果実など、われわれは植物のさまざまな器官を食料にしている。これらの器官は植物が環境から取り入れた光エネルギー、水分、養分を材料にして植物が多種多様の物質を合成することで形成されたものである。

本講義は植物が環境から光エネルギーと水分と養分を取り入れることを知り、そしてこれらが体内でとる形態とそのはたらきについて知ることを目的とする。本講義では植物体内でのエネルギーと水と物質の動きと変化の概要をつかみ、物質の形態変化の詳細はⅡで取り扱う。

授業の概要：

植物の構造と生長過程、そして細胞について復習した後、植物を構成する元素および物質について紹介する。そして、植物にとってエネルギー資源であり、かつ物質資源でもあるグルコースを合成する反応である光合成について紹介する。さらにグルコースのエネルギーを利用して進行する植物体内での物質の移動と物質の合成について紹介する。

授業の計画：

1. 植物の構造と生長過程の復習
2. 植物の組織の機能：物質の合成と運搬
3. 道管と篩管：植物体内の運搬経路
4. 植物細胞の構造：細胞質と細胞壁
5. 植物を構成する元素
6. 植物を構成する物質（1）
7. 植物を構成する物質（2）
8. 中間のまとめ
9. 光合成（1）：光エネルギーと水と二酸化炭素からのグルコースの合成
10. 光合成（2）：明反応と暗反応
11. 光合成（3）：エネルギーの出入りと蒸散
12. 植物体内でのエネルギーの流れ
13. 糖質とその代謝
14. 窒素の代謝
15. まとめ

授業方法：

板書を中心に、講義形式で行う。毎回の授業のはじめと終わりに理解を確認するための小テストを行う。

達成目標：

植物体内で進行するさまざまな物質の合成過程と移動過程を理解する。これらの過程と植物の生長の関係を理解する。

評価方法：

期末試験（100％）により行う。

植物を構成する物質について、そのはたらき、植物体内での動き、合成過程がわかる。・・・ S

植物を構成する物質とそのはたらき、そして植物体内での動きがわかる。・・・ A

植物を構成する物質とそのはたらきがわかる。・・・ B

植物を構成する物質の名称と成分元素がわかる。・・・ C

植物を構成する物質に関しての知識がない。・・・ D

教科書：

未定

参考文献：

植物生理学概論（桜井英博ら共著、培風館、2008）、ベーシックマスター植物生理学（塩井祐三ら共編、オーム社、2009）、有機栽培の基礎と実際（小祝政明、農文協、2005）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I20701	資源循環型社会概論	2	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
循環型社会、廃棄物、循環資源、容器包装リサイクル、家電リサイクル	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、グローバルな視野

授業のテーマ：

わが国は2000年に循環型社会形成推進基本法を制定し、20世紀の大量生産・大量消費・大量廃棄の一方通行型社会から資源循環型社会へ向かって大きく舵を切りました。本講義では、廃棄物や循環資源の定義、処理過程の実態、循環型社会形成の背景やリサイクル諸制度の現状・課題、今後の展望など循環型社会を総合的に理解します。

授業の概要：

廃棄物と循環資源の定義や廃棄物処理・再資源化の歴史や実態など基礎的な知識を学んだうえで、循環型社会の概念やその形成のための社会経済的背景、住民・業界の減量・リサイクルの取り組み、行政の政策手法やリサイクル諸制度などについて概説します。

授業の計画：

1. オリエンテーション、廃棄物の定義と分類
2. 廃棄物の処理責任、循環資源の定義、再生資源への転化条件
3. 廃棄物処理と再資源化の実際（収集運搬・中間処理①）
4. 廃棄物処理と再資源化の実際（中間処理②・最終処分）
5. 廃棄物処理と再資源化の統計（一般廃棄物）
6. 廃棄物処理と再資源化の統計（産業廃棄物）
7. 廃棄物処理の歴史
8. 現代の廃棄物問題（最終処分場問題）
9. 現代の廃棄物問題（ごみ処理費用・不法投棄問題）
10. 現代の廃棄物問題（ダイオキシン・資源問題）
11. 循環型社会の概念・原則・政策手法
12. デポジット制度・欧州の容器包装リサイクル制度
13. 容器包装リサイクル制度の日欧比較
14. 家電リサイクル制度の日欧比較
15. その他のリサイクル諸制度

授業方法：

基本的に講義形式で進めますが、必要に応じてスライド・プリント等の資料を用います。

達成目標：

循環型社会に関する基本的知識（定義・現状・課題・制度等）の修得を目標とします。併せて、自分の生活過程と結びつけて問題意識を掘り起こす能力を身につけます。

評価方法：

期末試験（100％）により行う。

- 達成目標をほぼ完全に達成している。…………… S
 達成目標を相応に達している。…………… A
 達成目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。…………… B
 達成目標の最低限は満たしている。…………… C
 達成目標の最低限を満たしていない。…………… D

教科書：

吉野敏行『資源循環型社会の経済理論』東海大学出版会（ISBN4-486-01373-5）

参考文献：

寄本勝美『リサイクル社会への道』（岩波新書）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I20801	資源・エネルギーと文明	2	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資源、エネルギー、文明、物質・エネルギー代謝、持続可能な社会	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、グローバルな視野

授業のテーマ：

20世紀の高度に発達した物質文明は地球規模での環境破壊をもたらしたことから、21世紀は持続可能な新たな文明のあり方が模索されています。本講義では文明とは人間と自然との間の物質・エネルギー代謝の仕方（様態）であるという視点から、この代謝の規定要因や歴史的変遷を考察し、今後の持続可能な文明の代謝のあり方を展望します。

授業の概要：

各種の原料資源、エネルギー資源の特性や用途等を概説したうえで、人間社会と自然環境との物質・エネルギー代謝と人口、経済システム、科学技術、エントロピーとの係わりを論じ、最後に、この代謝の歴史的変遷から持続可能な文明の代謝のあり方を展望します。

授業の計画：

1. ガイダンス
2. 環境・資源・文明
3. 原料資源（鉱物資源）
4. 原料資源（生物資源・水資源）
5. エネルギー資源（化石燃料）
6. エネルギー資源（核エネルギー）
7. エネルギー資源（再生可能エネルギー）
8. 資源と人口（環境の人口圧力）
9. 資源と経済システム
10. 資源と科学技術
11. 資源とエントロピー
12. 資源開発と環境問題
13. 日本の物質・エネルギー代謝
14. 文明と物質・エネルギー代謝
15. 持続可能な文明と物質・エネルギー代謝

授業方法：

基本的に講義形式で進めますが、必要に応じてスライド・プリント等の資料を用います。

達成目標：

エントロピー概念を基礎に、文明を物質・エネルギー代謝の視点からとらえる方法論を理解し、かつ各種の原料資源、エネルギー資源の特性や人口・経済システム・科学技術との関係に関する基本的な知識を修得する。

評価方法：

- 期末試験（100％）により行う。
- 達成目標をほぼ完全に達成している。…………… S
- 達成目標を相応に達している。…………… A
- 達成目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。…………… B
- 達成目標の最低限は満たしている。…………… C
- 達成目標の最低限を満たしていない。…………… D

教科書：

指定なし

参考文献：

- 佐々木信行『資源論入門』コロナ社、(ISBN4-339-06598-6)
- 西山孝『地球エネルギー論』オーム社、(ISBN4-274-13227-7)

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I23101	栄養と体	2	2	森山三千江

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
栄養素、生理機能、健康、食生活	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、効果的な社会参加

授業のテーマ：

各栄養素の体内での役割を正しく理解し、人間が健康に暮らしていくためには、どの栄養素がどれ位必要なのかを自分の食生活と照らし合わせて考えられるようにする。さらに、健康食品や有機栽培農法など様々な食品をメディア情報に左右されず、自分が考えて食品を選択できる知識を獲得し、家庭や周囲の人々へもアドバイスが出来る教養を身につける。

授業の概要：

健康な生活を送るために栄養学の基礎知識を身につけることを目的とする。糖質・脂質・タンパク質・ビタミン・ミネラルの各栄養素の種類や構造式に加えて、その体内での働きや代謝、消化・吸収、および生理的な機能、生活習慣病、食環境、食行動など栄養や食品に関連する内容を取り上げる。

授業の計画：

1. 栄養の概念と歴史
2. 現代人の食生活と栄養状態の判定
3. 糖質の種類とその性質
4. 糖質の消化・吸収、体内代謝
5. レジスタントスターチの種類と働き
6. 食物繊維の種類とその働き
7. 脂質の栄養と代謝
8. 脂肪酸の種類と働き、他の栄養素との関係
9. タンパク質の種類と代謝
10. タンパク質の栄養評価
11. アミノ酸の種類と体内での代謝
12. ビタミンの定義・分類
13. ビタミンの機能とその栄養
14. ミネラルの機能と他の栄養素との関わり
15. エネルギー代謝、遺伝子発現

授業方法：

基本的には講義形式で進めるが、講義内容を質問し、理解した上で自分の食生活と関連して考えられるようにする。また、レポートなど課題を与えることもあるが、授業内容を把握していれば、難しい内容ではなく授業の復習となるものである。

達成目標：

五大栄養素の種類とその働きが理解できるようにする。また、ビタミンの正式名称や脂肪酸の名前なども覚え、食品の選択時に考慮できるようにする。

評価方法：

試験 100%

教科書：

『基礎栄養学』南江堂

参考文献：

授業中に紹介する

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I23201	統計の考え方	2	2	野田信明

期間	曜日	時限	備考：「基礎数学」の受講を前提としないが、数学の基礎に関する程度の知識を前提とする。
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
確率、統計、標準偏差、二項分布、正規分布、相関係数、標本調査	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

数学の知識と方法を基礎とし、収集されたデータの整理、分析法を理解する。またその応用法を身につける。具体的には、度数分布と平均、データのばらつき、標準偏差、確率と密度分布、複数のデータグループ間の関係、相関係数、指数関数と正規分布、全数調査と標本調査、母集団と標本、推測と検定。

授業の概要：

具体的なデータ例を取り上げ、統計処理で使われる専門用語や手法を理解するとともに、応用力をつける。統計と確率の関係を理解し、得られた結果をどのように推測や予測に活かすかを学ぶ。その時々話題も実例として取り上げ、理解の助けとする。

授業の計画：

- | | |
|---------------------|--------------------------------------|
| 1. 統計解析の概要 | 9. 二種類のデータの相関、CO ₂ 濃度と温暖化 |
| 2. 度数分布、ヒストグラム、平均値 | 10. 全数調査と標本調査 |
| 3. データの広がりや分散、標準偏差 | 11. 標本の平均、分散と母集団の平均、分散 |
| 4. 場合の数と確率、順列と組み合わせ | 12. 標本分析から母集団の特徴、性質を推測 |
| 5. 指数関数と対数関数 | 13. 実習データと統計処理 |
| 6. 場合の数と確率、順列と組み合わせ | 14. 復習とまとめ |
| 7. YES、NOの確率と二項分布 | 15. まとめとレポート作成 |
| 8. 二項分布と正規分布 | |

授業方法：

講義方式で行う。毎回例題を出し、15分程度を使って考え方、解き方をその場で指導する。時間内に解けたところまでを提出してもらい、次回の講義で例題回答の解説と補足の説明を行う。詳しい数値計算には関数付電卓を活用する。

達成目標：

統計処理の基礎を理解するとともに将来応用して自分の仕事に活かす力を養う。

評価方法：

前期末のレポート（50%）と例題解答など日常の授業への取り組み（50%）により行う。

統計、確率、予測の概念、手法、専門用語の全面的理解、計算法習熟と応用 —— S

統計処理とその結果の意味するところの基本的理解、計算法習得 —— A

統計処理と結果の基礎的理解 —— B

統計処理分析データを読む力の習得 —— C

Cのレベルに到達していない —— D

教科書：

特に既成の教科書は使わない。講義ノートをプリントし配布する。

参考文献：

丹羽勝市著「図解雑学 統計解析」ナツメ社 ￥1,300 (ISBN978-4-8163-3472-6)

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I21401	生物多様性	2	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生物多様性、生態系サービス、指標種、生物地理	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

生物学および保全生物学の視点からみた生物多様性。とくに、生物多様性の概念、資源としての生物多様性、生物多様性の現状、種数と固有生物などの生物地理、里山などに関する話題。

授業の概要：

生態系サービスとしての生物多様性の概念とその価値観、人類活動と生物多様性の現状の関係、指標種の問題点、保全における課題について具体例を挙げながら解説する。

授業の計画：

1. 生物多様性の概念
2. 生態系サービス
3. 生物保全の価値観
4. 生物多様性の現状 1
5. 生物多様性の現状 2
6. 環境と種分化 1
7. 環境と種分化 2
8. 指標種 1
9. 指標種 2
10. 固有生物
11. 歴史生物地理
12. 生態生物地理
13. 生物保全とビオトープ
14. 絶滅の要因
15. 里山の自然

授業方法：

板書を中心とした講義。資料を適宜配布。

達成目標：

生物多様性に関する基礎的な知識の取得。とくに、生態系サービス、生物多様性の現状と絶滅の要因についての知識取得と生物多様性保全への問題意識の獲得を目指す。

評価方法：

試験（100％）による。

教科書：

なし。

参考文献：

- 1) B. プリマック・小堀洋美、「保全生物学のすすめ」、文一総合出版、3,800円（税別）。
- 2) 横浜国立大学21世紀COE翻訳委員会（訳）、「生態系サービスと人類の将来」、オーム社、2,800円（税別）。
- 3) 加藤辰己・太田英利、「エコロジーガイド日本の絶滅危惧生物」、保育社、2,000円（税別）。
- 4) 松田裕之、「なぜ生態系を守るのか？」、NTT出版、1,900円（税別）。
- 5) 鷲谷いづみ、中公新書1752「自然再生」、中央公論社、720円（税別）。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I21601	資源循環の経済学	2	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
廃棄物、外部費用、経済的厚生分析、環境税、デポジット	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、グローバルな視野

授業テーマ:

何故、20世紀の社会経済は資源循環を阻害し、環境を悪化させてきたのか。その疑問に答えるために、環境経済学を基礎に20世紀の物質文明を支えてきた大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会システムの仕組みと経済原則を明らかにし、さらに資源循環型社会を実現するための経済システムのあり方とそれを支える新たな経済原則を展望する。

授業の概要:

市場メカニズムの基本を理解したうえで、廃棄物の市場価格や資源循環を阻害してきた外部費用の発生要因等を分析する。次に、限界理論や経済的厚生分析を理解したうえで、循環型社会の政策体系や環境税・デポジット制度などの具体的政策の経済分析を行う。

授業の計画:

1. ガイダンス、廃棄物の経済学的解釈
2. 市場経済と市場メカニズム (補論1)
3. 廃棄物の市場価格
4. ワンウェイ型経済の市場価格の様相
5. 市場メカニズムと外部費用
6. 外部費用の発生要因 (1)
7. 外部費用の発生要因 (2)
8. 限界理論 (限界効用逓減と均等の法則) (補論2)
9. 企業の行動原理と供給曲線 (補論3)
10. 余剰と経済的厚生 (補論4)
11. 循環型経済構築の政策的着眼点
12. 循環型経済を構築するための政策体系
13. 環境税の経済分析
14. デポジット制度の経済分析
15. 拡大生産者責任の経済分析、まとめ

授業方法:

講義形式で進めますが、必要に応じてスライド・プリント等の資料を用います。

達成目標:

市場メカニズム、廃棄物の市場価格、外部費用の発生メカニズム、限界概念、経済的厚生分析の手法を理解し、環境問題の経済学的アプローチの基本を理解する。

評価方法:

- 期末試験 (100%) により行う。
- 達成目標をほぼ完全に達成している。…………… S
- 達成目標を相応に達している。…………… A
- 達成目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。…………… B
- 達成目標の最低限は満たしている。…………… C
- 達成目標の最低限を満たしていない。…………… D

教科書:

指定なし

参考文献:

- 植田和弘『環境経済学』岩波書店 (ISBN4-00-004576-8)
- 吉野敏行『資源循環型社会の経済理論』東海大学出版会 (ISBN4-486-01373-5)

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I23601	環境思想	2	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
論理的思考 環境諸思想の理解 概念的思考	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

授業のテーマ：

今日に至る歴史の中で、様々な思想が人間の生の形を生み出し、文化を育み、文明を建設し、人間と自然の関わりを規定してきた。根本においてあらゆる思想は自然についての思想であり、環境を破壊し続ける科学技術文明もまた一つの思想である。本講では、「思想」の読み方、考え方について学んだ上で、環境思想のいくつか（宗教思想、哲学思想、社会思想、倫理思想など）について熟読、分析、考察することを通じ、自然と人間とに関わる思惟を学ぶ。

授業の概要：

あらゆる学問の基本にある論理学について理解し、概念的思考の初歩を確認、いくつかの術語を例に、高度な概念的思考の概要を把握する。また、哲学、科学、宗教、倫理などの思想に於ける概念、論理、思惟の違いを確認する。その後、いくつかの代表的な環境思想を吟味する中で、環境思想の条件と可能性を明らかにしていく。

授業の計画：

1. 「思想」とは
2. 論理および論理学
3. 論理的思考の規定
4. 概念と概念的思考
5. 理性の有限性と宗教思想における「信仰」
6. 諸思想の思惟の違い
7. 「自然」に関する諸思想の概要
8. ハンス＝ヨナス「責任という原理」1
9. ハンス＝ヨナス「責任という原理」2
10. ユルゲン＝ハーバマス「イデオロギーとしての技術と科学」
11. ユルゲン＝ハーバマス「イデオロギーとしての技術と科学」
12. ジェームス＝ラブロック「ガイア仮説」および「ガイアの復讐」
13. ジェームス＝ラブロック「ガイア仮説」および「ガイアの復讐」
14. その他、宗教および科学における諸思想
15. まとめ

授業方法：

講義。適宜小テストや課題を与える。

達成目標：

思想について思考し得る為の基本的な知識と能力を獲得し、環境諸思想に関する文献を理解する為の初歩的な力を身につける。

評価方法：

試験において、下記の基準で判定する。

- S 哲学思想や社会思想、宗教思想などを理解する能力を身につけ、かつ、現代の環境諸思想についての確な理解がある
- A 哲学思想や社会思想、宗教思想などを理解する能力を身につけ、あるいは、現代の環境諸思想についての確な理解がある
- B 哲学思想や社会思想、宗教思想などを理解する能力の初歩を身につけ、かつ、現代の環境諸思想について理解がある
- C 哲学思想や社会思想、宗教思想などを理解する能力の初歩を身につけている
- D 哲学思想や社会思想、宗教思想などを理解する能力の初歩を身につけていない

教科書：

なし

参考文献：

適宜指示する

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I23701	水溶液の化学	2	2	長井正博

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
化学平衡 酸と塩基 酸化還元 分配平衡	

授業のテーマ：

化学平衡論の基礎を学び、pH、温度、酸化還元電位などの物理化学的変数が与えられれば、水溶液中の元素の存在形態が予想できる力を習得する。

また、逆にある物質の水溶液中の温度を変化させたときに、pH、酸化還元電位などの値が予測できるようにする。

授業の概要：

水溶液中の化学反応のうち、酸塩基反応、酸化還元反応、二相間での分配平衡を題材に、これらの反応の基礎と天然水での実例を紹介、解説する。

授業においては、平衡定数を常に参照し、この値と実試料水中の成分濃度の関連について考察する。

授業の計画：

1. S I 単位系と濃度
2. 化学平衡の基礎：エントロピー、自由エネルギー、化学ポテンシャル
3. 化学平衡の法則と熱力学
4. 分配平衡（1）気-液分配
5. 分配平衡（2）固-液分配
6. 酸塩基反応（1）酸塩基の定義
7. 酸塩基反応（2）強酸水溶液の pH
8. 酸塩基反応（3）弱酸水溶液の pH
9. 酸塩基反応（4）塩の水溶液の pH
10. 酸塩基反応（5）大気と平衡にある水溶液の pH
11. 酸塩基反応（6）pHと弱酸・弱塩基の存在形態
12. 酸化還元反応（1）酸化数、半反応式
13. 酸化還元反応（2）酸化還元電位
14. 酸化還元反応（3）ギブスの自由エネルギーと酸化還元電位、ネルンストの式
15. 酸化還元反応（4）酸素の枯渇と有機物の分解

授業方法：

平衡定数表と水質データを参考に、講義形式で行う。毎回、作図や計算演習を課題に出す。

達成目標：

溶液の濃度、pH、酸化還元電位を化学平衡論的に理解し、これを実試料の水質の実例に即して説明することができる。

評価方法：

期末試験（100%）により行う。

化学平衡論を理解し、水質データへ適用する力を評価する。

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I23501	基礎分析化学実験	2	2	藤井芳一

期間	曜日	時限	備考：2 時限連続
後期	月	3・4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
化学実験・データ処理・レポート作成	コミュニケーション力, 分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

化学分析の基本である容量分析の技術と知識を習得する。ホールピペット、ビュレット、メスフラスコなどの測容器の使用法、洗浄法を修得するとともに、これらの器具の検定を電子天秤と秤量瓶を用いて行なう。さらに、環境試料を採取し、水質測定を行なう。また、これらのデータの統計処理方法を修得する。レポート指導を通じて科学論文の書き方を学ぶ。

授業の概要：

ガラス器具の検定や試薬の調製法を学ぶ。大学近隣のため池で水を採取し、水質測定を行なう。

授業の計画：

1. ガイダンス、実験を行なうにあたっての諸注意
2. pH と EC の測定（原理と方法）、及び採水準備。
3. 採水、及び現地水質測定（猿田池）
4. 電子天秤の使用法
5. データの統計処理
6. レポート指導
7. ビュレットの使用法と 1 滴の体積
8. メスフラスコの使用法、シュウ酸標準溶液の調製
9. レポート指導
10. 猿田池のアルカリ度の測定
11. レポート指導、アルカリ度の解説
12. COD 測定：過マンガン酸カリウムの標定
13. COD 測定：COD の測定意義と原理について解説
14. COD 測定：猿田池の COD 測定
15. COD 測定：レポート指導

授業方法：

教科書と配布プリントに従って行なう。毎回の予習とレポートの提出が必須である。

達成目標：

化学実験の基本的な手法とレポート作成法を習得する。

評価方法：

課題実験とそのレポートによって評価する。

基本的な化学実験の操作の実施、及び目的と結論に基づいた構成のレポートを自身の考察を踏まえて報告することができる。 S

基本的な化学実験の操作の実施、及び目的と結論に基づいた構成のレポートとして報告できる。 A

基本的な化学実験の操作の実施、及び実験目的を理解してレポートとして報告できる。 B

基本的な化学実験の操作の実施、及びレポートとして報告できる。 C

C のレベルに達していない。 D

教科書：

片山幸士・木曾祥秋編著『ベーシック分析化学実験』化学同人
(初回のガイダンスの際に購入について指示をする。)

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

実験試薬及び消耗品代として 30,000 円。白衣 (3,000 円程度) は別途購入が必要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I20901	大気・土・水の測定の基礎実習	2	2	守村・藤井芳

期間	曜日	時限	備考：2 時限連続
前期	月	3・4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
測定・レポート作成・農地	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

農地を理解する上で環境要素を数値データとして知ることは重要である。そのため、土壌の物理化学性、水の挙動、及び気象について基本的な測定手法を修得し、そのデータから環境の状態を判断できるようにすることを目的とする。また、得られたデータを人に伝えるために必要なレポート作成技術を学ぶ。

授業の概要：

大気・土・水の物理性及び化学性の測定を3回ずつ行う。物理性として土壌、気象、蒸散量を扱い、化学性としてpH、電気伝導度（EC）、有機物について実習を行なう。人数の都合上、授業の計画の物理性の測定を先に実施するグループと、化学性の測定を先に実施する2グループに分かれる。

授業の計画：

1. ガイダンス、グループ分け、レポートの全体構成について
2. 物理性の測定①：土壌の物理性の測定
3. レポート指導①：結論と目的の書き方、タイトルの決め方。測定原理の解説
4. 物理性の測定②：農場・地域の気象計測
5. レポート指導②：結果の書き方。測定原理の解説
6. 物理性の測定③：植物の蒸散量の測定
7. レポート指導③：全体構成、目的と結論、タイトル、結果の書き方の確認。測定原理の解説
8. 化学性の測定①：pHの測定
9. レポート指導④：全体構成、目的と結論、タイトル、結果の書き方の確認。測定原理の解説
10. 化学性の測定②：ECの測定
11. レポート指導⑤：方法の書き方について。測定原理の解説
12. 化学性の測定③：有機物の測定
13. レポート指導⑥：目的と結論、タイトル、結果、方法の書き方の確認。測定原理の解説
14. 物理性の測定④：まとめの実験
15. 化学性の測定④：まとめの実験

授業方法：

測定内容を概説した後に実習（屋外も含む）を行ない、受講生はその内容をレポートにまとめる。翌週に測定原理の解説、及びレポートの書き方について指導を行なう。

達成目標：

それぞれの環境測定によって、得られたデータから環境状態を判断できる。得たデータについて、どのような目的でどのようにしてどんな結果を得たのかをレポートにまとめて報告ができる。

評価方法：

筆記試験とまとめの実験のレポートによって評価する。
 各種測定を実施することができ、そのデータに基づいて環境状態を判断し、構成を踏まえたレポートとして報告することができる。……………S
 各種測定を実施することができ、構成を踏まえたレポートとして報告することができる。……………A
 各種測定を実施することができ、レポートとして報告することができる。……………B
 各種測定について大まかに理解しており、かつレポートの構成について理解している。……………C
 Cのレベルに達していない。……………D

教科書：

無し

参考文献：

授業中にその都度提示する。

実験・実習・教材費：

3,000円（実験消耗品代として）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I21001	農業基礎実習 I	2	2	守村・菅原真

期間	曜日	時限	備考：2 時限連続
前期	金	3・4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
野菜、栽培管理、土壌管理、施肥、農薬	コミュニケーション力、問題解決力、グローバルな視野

授業のテーマ：

太陽の下で身体を動かして、自分の食べるものをつくる技術を獲得する。風を感じて野菜の生育を見て人と環境の関わりを実感する。

授業の概要：

野菜栽培に必要な土壌管理法、施肥法、農薬の使用法、及び野菜の特性に基づく栽培管理法を春から夏に栽培する野菜で習得する。小グループに小区画のほ場を与え協力して野菜を栽培する。

授業の計画：

- 1) 野菜ほ場の整備、排水対策、土壌調査
- 2) 農具・農業機械の使用法、育苗ハウスの整備、野菜ほ場の堆肥施用、スイートコーンのは種
- 3) 土壌改良材の施用、有機物の施用、元肥の施用、耕耘、畦たてビニールマルチ被覆
- 4) スイートコーンの植付け、果菜類（トマト、ナス、トウガラシ等）の植付け
- 5) 果菜類（スイカ、カボチャ等）の植付け
- 6) エダマメのは種、サツマイモのさし苗
- 7) 果菜類（トマト、ナス、トウガラシ）の支柱の作成、整枝
- 8) 中耕・除草・追肥
- 9) 果菜類（スイカ、カボチャ）の整枝・誘引、敷きわら
- 10) 農薬散布の方法、殺虫剤、殺菌剤の使用法
- 11) 果菜類（スイカ、カボチャ）の交配、トマト・ナスのホルモン処理
- 12) ダイズのは種
- 13) 果菜類（トマト、ナス、トウガラシ）の収穫
- 14) 果菜類（スイカ、カボチャ）の収穫
- 15) スイートコーン、果菜類（スイカ、カボチャ）の畑の片付け

授業方法：

野菜ほ場、育苗ハウスを整備し、畑に土壌改良材、有機資材を施用したのち、畦たてマルチを被覆して、スイートコーン、トマト、ナス、トウガラシ、スイカ、カボチャ、サツマイモ、及びダイズの栽培を行う。

達成目標：

太陽の下で身体を動かして、野菜の栽培を経験する。小グループが協力して作業を進める。小グループに小区画のほ場を与え協力して野菜を栽培する。

評価方法：

大きい区画のほ場で各野菜の栽培指導を行った事柄についてレポートの提出を求め、野菜に対する関心度の深まりを評価する。また小区画のほ場をグループに与え各人の創意により栽培を行わせ、栽培能力を評価する。

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

実習費：10,000円

各人が実習に当たって準備するもの：屋外で作業できる服装、軍手、タオル、飲料水

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
I21701	農業基礎実習 II	2	2	守村・菅原真

期間	曜日	時限	備考：2 時限連続
後期	金	3,4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
野菜、栽培管理、土壌管理、施肥、季節変化	コミュニケーション力、問題解決力、グローバルな視野

授業のテーマ：

太陽の下で身体を動かして、自分の食べるものをつくる技術を獲得する。風を感じて野菜の生育を見て人と環境の関わりを実感する。急速な季節変化の中での野菜栽培を経験する。

授業の概要：

野菜栽培に必要な土壌管理法、施肥法、農薬の使用法、及び野菜の特性に基づく栽培管理法を夏から冬に栽培する野菜で習得する。野菜の品種の特性やその選択方法の理解を進める。小グループに小区画のほ場を与え協力して野菜を栽培する。

授業の計画：

- 1) 野菜畑の整備と堆肥施用
- 2) キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーのは種
- 3) ダイコンの施肥・畦たて・は種、タマネギの育苗畦作りとは種
- 4) キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーの施肥・畦たて・定植
- 5) ハクサイの施肥・畦たて・は種、ダイコンの間引き
- 6) 中耕、除草、追肥、農薬散布・殺虫剤の種類と使い方
- 7) ホウレンソウ、コマツナ、シュンギクの施肥・畦たて・マルチとは種
- 8) エンドウ、ソラマメの施肥・畦たて・は種
- 9) タマネギの施肥・畦たて・マルチ・定植
- 10) トンネルの中への種まき（ホウレンソウ、コマツナ、シュンギク）
- 11) キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーの収穫
- 12) ダイコンの収穫と切り干しダイコンの作り方
- 13) ハクサイの収穫と玉の結束
- 14) 野菜の防寒対策、トンネル・マルチによる春野菜の種まき
- 15) 野菜の栽培計画と品種の選定、種子の購入の方法

授業方法：

秋野菜を育苗して順次植え付け、栽培を行う。直接畑には種する野菜は栽培適期に順次は種を行っていく。多くの野菜の栽培を経験させ、夏から秋にかけての季節変化に伴う野菜栽培の手法を理解させる。

太陽の下で身体を動かして、農作物の栽培を経験する。小グループが協力して作業を進める。小グループに小区画のほ場を与え協力して野菜を栽培する。

達成目標：

急速な季節変化の中での農作物の栽培を経験する。小グループが協力して作業を進める。

評価の方法

大きい区画のほ場で各野菜の栽培指導を行った事柄についてレポートの提出を求め、野菜に対する関心度の深まりを評価する。また小区画のほ場をグループに与え各人の創意により栽培を行わせ、栽培能力を評価する。

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

実習費：10,000 円

各人が実習に当たって準備するもの：屋外で作業できる服装、軍手、タオル、飲料水

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J10101	経営学概論	1・2	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本型経営、グローバルスタンダード、モチベーション、コミュニケーション	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、効果的な社会参加

授業のテーマ：

経営学に関心がある学生向けとしてだけでなく、大学生のキャリア教育の基礎—社会人としての必須教養—として、経営学の基本的用語と入門的知識を修得する。

授業の概要：

専門用語や概念について、それぞれの名称と内容を知る。次にそれを自分の言葉で説明、論述できる水準に達するために、要点をまとめ記憶を促す。実際の企業を事例にして解説する。

授業の計画：

1. 経営学とは何か～教科書第1章対応
2. 組織～第2章対応
3. 人的資源管理～第3章対応
4. 経営戦略～第4章対応
5. 生産管理～第5章対応
6. マーケティング～第6章対応
7. 事例研究～DVD
8. 営業管理～第7章対応
9. 意志決定～第8章対応
10. サプライチェーンマネジメント～第11章対応
11. 経営情報～第12章対応
12. 事例研究～DVD
13. 日本の製造業
14. 21世紀型新産業分野
15. まとめ

授業方法：

テキストを軸として講義するが、必要に応じてDVDや新聞記事等を用いて、日本経済や企業経営の実際にひきつけて解説する。

達成目標：

日本や地域の経済や企業に関する報道を、身近なものとして興味・関心がもてるようになる。企業や経営を見る（評価する）目を養う。

評価方法：

期末試験 100%で評価する

- ・経営学の専門用語と初歩的知識を修得し、重要課題をよく理解している……………S
- ・上記について、部分的には不十分な点があるが、ほぼ達している……………A
- ・上記について、不十分、不正確な点があるが、おおよそは達している……………B
- ・上記について、不十分、不正確な点が多い……………C
- ・上記について、目標の半分以下のレベルにしか達していない……………D

教科書：

北中英明『プレステップ 経営学』弘文堂、平成21年

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J10201	現代社会と経済	1・2	2	奥田栄

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
神の見えざる手、市場	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

ケインズは、その一番有名な著作の中で「経済学者や政治学者の観念は、それが正しい場合にも、また間違っている場合にも、ともに、一般に理解されているよりはるかに強力である。・・・いかなる知的影響からもまったく開放されていると自らは信じている実際家たちも、すでに亡くなった経済学者の奴隷であるのが常である」と述べている。

講義では、すでに亡くなった経済学者の思想が現代社会にどのような影響をあたえているかを見ながら、現代社会がこれからどうなるのか、その中で人はどんな風に生きることになるのか、それを改善するにはどうしたらいいか、そのようなことを自らの問題として考えてみたい。

授業の概要：

資本主義の性質についてのアダム・スミスの発見から始まり、マルクスの分析を経てケインズ、フリードマンにいたるまでを概観する。

授業の計画：

1. 金は天下の回り物～経済とは何だろう？
2. 需要曲線と供給曲線
3. GDP
4. 貨幣の誕生
5. 銀行と中央銀行
6. アダム・スミスと分業
7. 政府の役割
8. 使用価値と交換価値
9. 資本主義と格差
10. ケインズと失業
11. 乗数効果
12. ケインズの誤算
13. こんなものいらない～新自由主義
14. 貿易が富を増やす
15. まとめ

授業方法：

講義形式による。毎回講義の最初の20分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

達成目標：

現代文明の大きな特徴である資本主義について正しく理解するとともに、その内包する課題について身近な問題として捉えられるようになること。

評価方法：

定期試験の結果によって判定する。

教科書：

池上 彰『池上彰のやさしい経済学1』（日本経済新聞出版社 1,575円）。

参考文献：

その都度参考文献を指示する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J10301	基礎簿記	1・2	4	磯貝明

期間	曜日	時限	備考：2 時限連続
後期	木	2・3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格、日商簿記検定3級、情報処理能力、ビジネススキル、経済知識	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

企業が営利を追究していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。**将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。**とりわけ簿記は会計学を学習するうえでの基本となるものである。本講義では、簿記を始めて学ぶ学生が日商簿記検定3級の合格水準に達することを目的としている。

授業の概要：

日商簿記検定3級合格を目指した講義を行う。簿記をはじめて学ぶ学生にもわかりやすいよう、初歩的な解説から始めていく。日商簿記検定3級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。

授業の計画：

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1. 簿記の意味・目的会計の機能と分類 | 16. 売掛金と買掛金・貸倒れの処理 |
| 2. 簿記の基礎概念（1） | 17. その他の債権債務（1） |
| 3. 簿記の基礎概念（2） | 18. その他の債権債務（2） |
| 4. 取引 | 19. 手形（1）約束手形・為替手形 |
| 5. 仕訳 | 20. 手形（2）手形の裏書譲渡と割引 |
| 6. 中間まとめ・仕訳の演習問題 | 21. 手形（3）手形記入帳 |
| 7. 転記・総勘定元帳 | 22. 有価証券（取得・売却・評価） |
| 8. 試算表 | 23. 有形固定資産の取得・売却、減価償却 |
| 9. 精算表 | 24. 資本金と引出金・税金 |
| 10. 元帳の締切り・財務諸表の作成 | 25. 収益と費用（1）収益および費用の見越し |
| 11. 現金預金取引（1） | 26. 収益と費用（2）収益および費用の繰延べ |
| 12. 現金預金取引（2） | 27. 帳簿と伝票 |
| 13. 商品売買（1） | 28. 決算と財務諸表（1） |
| 14. 商品売買（2） | 29. 決算と財務諸表（2） |
| 15. 中間まとめ（簿記一巡の流れ）
中間テスト（精算表） | 30. 日商簿記検定試験3級の傾向と対策 |

授業方法：

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。
また、理解を深めるために、テキストの演習問題・ワークブックを使って実際に問題を解いていく。

達成目標：

日商簿記検定3級取得

評価方法：

定期試験 100%

教科書：

渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記講義 3級商業簿記』中央経済社 ¥735
渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記ワークブック 3級商業簿記』中央経済社 ¥735

参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J10401	現代企業論	1・2	2	奥田栄

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
株式会社、株主、経営者、大企業、日本的経営	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

現代社会において、さまざまな生産活動は、企業が中心となって行われている。そこで、企業とは何か、その役割を遂行していくためのさまざまな仕組みや働きなど、現代企業の全体像を、最新のデータや事例を用いて多面的に理解する。

授業の概要：

企業とは何か、その仕組みと働き、企業を取り巻く環境など、現代社会における企業について概観する。とくに株式会社の役割と仕組み、大企業の現実、そして日本型経営について解説する。

授業の計画：

1. ガイダンス
2. 企業の役割
3. 株式会社とは何か
4. 株式会社の仕組み
5. 株主と利益
6. 上場企業と株式市場
7. 株式公開と創業者利益
8. 大企業
9. 大企業は誰のもの
10. 大企業の経営者
11. コーポレートガバナンス
12. 日本の会社
13. 日本社会と企業
14. 揺らぐ日本型経営
15. まとめ

授業方法：

講義形式による。毎回講義の最初の20分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

達成目標：

現代社会において重要な組織である企業について、その役割を正しく捉え、その基本的な仕組みを理解する。

評価方法：

定期試験の結果によって判定する。

教科書：

三戸 浩, 池内 秀己, 勝部 伸夫『企業論 第3版』(有斐閣、2,100円)。

参考文献：

その都度プリントを配布したり参考文献を指示したりする。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J10501	日本経済と金融	1・2	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
経済循環（経済全体のお金の流れ）、国内総生産（GDP）、金融の役割、金融政策、財政政策	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

経済全体のモノとお金の流れについて学び、景気の動向を左右する金融政策・財政政策や、金融の役割とその不安定性などについて理解する。

授業の概要：

経済循環と国内総生産（GDP）について解説した後、①現代経済のしくみはどうなっているのか、②生産や所得はどのように生み出されるのか、③それらを増やすためにはどのような政策が必要か、④貨幣（お金）はどのように発行されるのか、⑤証券市場の役割と欠点、などについて検討する。

授業の計画：

- (1) 経済とは（社会的分業とお金の役割）
- (2) 経済循環（経済全体のお金の流れ）
- (3) 国内総生産（GDP）とは
- (4) 国内総生産（GDP）と景気
- (5) 財政政策による景気対策
- (6) 財政政策と公共事業
- (7) 財政政策と財政赤字問題
- (8) 景気回復と財政健全化の両立
- (9) 中央銀行と民間銀行による貨幣（お金）の発行
- (10) 金融政策による景気対策
- (11) 直接金融（証券市場）の役割
- (12) 日本におけるバブルの形成とバブル崩壊
- (13) サブプライムローン問題
- (14) リーマンショックと金融恐慌
- (15) まとめ

授業方法：

基本的に講義形式で進める。必要に応じて資料を用いる。

達成目標：

経済ニュースの内容が理解でき、経済政策を評価できるほどの経済学の知識を身につける。

評価方法：

期末試験100%
 経済のしくみと経済理論をよく理解している……………S
 経済のしくみと経済理論を知っている……………A
 経済のしくみと経済理論を知っているがあまり説明力がない……………B
 ところどころ間違っ理解している……………C
 上記のレベルに達していない……………D

教科書：

伊藤元重『ゼミナール現代経済入門』日本経済新聞出版社、2011年

参考文献：

次を挙げておくが、その他はそのつど紹介していく。
 L. サロー、R. ハイムブローナー、J. ガルブレイス [1990]『現代経済学（上・下）』中村達也訳、TBSブリタニカ。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J26101	経営学文献講読 I	2	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
価格戦略 競争戦略 ゲーム理論 エイジェンシー理論	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

携帯の料金にはなぜ固定部分と変動部分があるのか？身近な経済現象の裏には巧妙な戦略が隠されている。しかも、そうした戦略が必ずしも自分の利益だけを追求するというわけではなく、中には共存共栄を目的として考案された戦略もある。この授業では、具体的事例を取り上げながら様々な経営戦略を論理的に説明する力を養う。

授業の概要：

ゲーム理論やエイジェンシー理論など経済学の基礎的な理論を利用しながら、市場のしくみや産業の構造、企業の経営戦略などを読み解く。

授業の計画：

- (1) イントロダクション
- (2) 安売りは得なのか—————薄利多売か高マージンか
- (3) 価格差別、二部料金制—————鉄道・航空や携帯の料金を考える
- (4) 流通構造の変革—————問屋の機能について考える
- (5) チェーンストアのビジネス戦略
- (6) 市場の機能と組織の機能—————使い分け
- (7) 裁定取引の役割
- (8) エイジェンシー理論—————多様な賃金体系・契約形態
- (9) モラルハザードと逆選択—————保険、中古市場、銀行の健全性について考える
- (10) 経営戦略を読み解くためのゲーム理論 (1)————理論の基礎
- (11) 経営戦略を読み解くためのゲーム理論 (2)————価格競争で疲弊する企業
- (12) 経営戦略を読み解くためのゲーム理論 (3)————ゲームの「繰り返し」と「協調」
- (13) ポーターの競争戦略論 (1)—————参入障壁、交渉力
- (14) ポーターの競争戦略論 (2)—————代替財の存在、産業内の競争
- (15) まとめ

授業方法：

教科書を輪読する。読みながら分からない用語が出てきたり疑問点が生じたりしたらすぐに質問し、意見を交換しあう。重要な箇所では、自分が読んだ箇所を自分の言葉で解説してもらう。毎回当たる可能性があるので必ず予習しておくこと。

達成目標：

経営戦略や市場のしくみを理解し、それらを自分の言葉で説明することができるようになる。

評価方法：

- 期末試験100%で評価する。
- 経営戦略や市場のしくみをよく理解している…………… S
- 経営戦略や市場のしくみを知っている…………… A
- 経営戦略や市場のしくみを知っているがあまり説明力がない…… B
- ところどころ間違っ理解している…………… C
- 上記のレベルに達していない…………… D

教科書：

伊藤元重『ビジネス・エコノミクス』日本経済新聞社、2004年。1,890円

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J26201	経営学文献講読Ⅱ	2	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
グローバル経営、アーキテクチャ、ナレッジ経営	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

授業のテーマ：

はじめて経営学を学ぶ人を対象に、経営や経営学の基本的考え方を学ぶ。卒業後も、自己啓発とキャリアアップのために引き続き経済・経営学を学習する方法を学ぶ。

授業の概要：

専門用語や基礎的理論を修得しながら、同時に経営学とは先進的、先導的な現場のヒトが出しあう知恵と実践を集約する（理論化する）学問であることを知る。

授業の計画：

1. はじめて経営学を学ぶ（イントロダクション）～教科書 17 章対応
2. 経営戦略を立てる～1 章対応
3. 競争優位を構築する～2 章対応
4. ネットワークで経営する～3 章対応
5. 組織をデザインする～4 章対応
6. 企業は文化をもっている～5 章対応
7. 組織の基本的な見方を学ぶ～6 章対応
8. 中間まとめ～意見交流
9. 組織として学習する～11 章対応
10. お金を目的としない組織を運営する～12 章対応
11. 新しい製品やサービスを作り出す～13 章対応
12. 企業として環境問題に取り組む～14 章対応
13. 企業として社会的に行動する～15 章対応
14. 起業家として行動する～10 章対応
15. まとめ

授業方法：

テキストを毎回一人ないし二人の報告者がレジユメを用意して報告し、全員で討議する。日常的に新聞記事や報道番組をチェックする習慣をつける訓練の場とする。

達成目標：

授業で扱う教科書の対応する章の記述については残さず理解する。自分がビジネスマンとして上司や顧客に意見を言う場面を想定し、主体的に学ぶ。

評価方法：

- 期末試験 100% で評価する
- ・企業経営の初歩的知識を修得し、現代における重要課題をよく理解している…………… S
 - ・上記について、部分的には不十分な点があるが、ほぼ達している…………… A
 - ・上記について、不十分、不正確な点があるが、おおよそは達している…………… B
 - ・上記について、不十分、不正確な点が多い…………… C
 - ・上記について、目標の半分以下のレベルにしか達していない…………… D

教科書：

田尾雅夫他編『はじめて経営学を学ぶ』ナカニシヤ出版、2011 年第 6 刷

参考文献

『日経業界地図 2013 年版』日本経済新聞社 予価 1,050 円（税込み）
授業の中で、テーマごとに紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J25101	経営学英語文献講読 I	2	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
グローバル化、異文化共生、多様性、オープンマインド	コミュニケーション力、グローバルな視野、効果的な社会参加

授業のテーマ：

企業がウェブサイトで発信するニュースリリース、事業案内、製品紹介、投資家関連情報など、実際の企業活動が反映された文書を題材に、世界規模での事業展開や現在の経済動向を身近に感じる。

授業の概要：

企業の情報発信に欠かせない語彙・語法のピックアップや、文書スタイルに込められた多様な経営戦略を解説する。必ず予習し、必ず出席し、必ず担当分を発表すること。

授業の計画：

1. 2. 花王
3. 4. パナソニック
5. 6. トヨタ
7. 8. 三菱電機
9. 10. コマツ
11. 12. ANA
13. 14. オリックス
15. 復習と解説 またはローソン

授業方法：

受講生が順番に英文テキストを和訳した後に、内容について自分の言葉で説明する。
教師が英文についての文法上の質疑をしたうえで、内容の経営学的背景について説明する。

達成目標：

やや長文で簡潔、論理的な構文を通じて、ビジネス文章のスタイルを知る。
外国人を相手に奮闘する日本のビジネスの場のふんいきを感じとる。

評価方法：

- 期末試験100%で評価する
- ・和訳し、日本企業のグローバル化状況について自ら調べ、内容の理解度は高い。……………S
 - ・和訳し、内容の理解度はやや高い……………A
 - ・機械的に和訳し、内容の理解度は普通かやや低い……………B
 - ・和訳に間違いが多く、内容の理解度は低い……………C
 - ・和訳することがほぼできない、内容の理解度は低い……………D

教科書：

『Styling Corporate Messages 世界で活躍する日本の企業』成美堂

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J25201	経営学英語文献講読Ⅱ	2	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
グローバル化、異文化共生、多様性、オープンマインド	コミュニケーション力、グローバルな視野、効果的な社会参加

授業のテーマ：

企業がウェブサイトで発信するニュースリリース、事業案内、製品紹介、投資家関連情報など、実際の企業活動が反映された文書を題材に、世界規模での事業展開や現在の経済動向を身近に感じる

授業の概要：

企業の情報発信に欠かせない語彙・語法のピックアップや、文書スタイルに込められた多様な経営戦略を解説する。必ず予習し、必ず出席し、必ず担当分を発表すること。

授業の計画：

1. 2. ソニー銀行
3. 4. 大丸
5. 6. 東京海上日動
7. 8. 三菱重工
9. 10. 京セラ
11. 12. イオン
13. 14. 参天製薬
15. 復習と解説 またはキックマン

授業方法：

受講生が順番に英文テキストを和訳した後に、内容について自分の言葉で説明する。
教師が英文についての文法上の質疑をしたうえで、内容の経営学的背景について説明する。

達成目標：

やや長文で簡潔、論理的な構文を通じて、ビジネス文章のスタイルを知る。
外国人を相手に奮闘する日本のビジネスの場のふんいきを感じとる。

評価方法：

- 期末試験100%で評価する
- ・和訳し、日本企業のグローバル化状況について自ら調べ、内容の理解度は高い。…………… S
 - ・和訳し、内容の理解度はやや高い…………… A
 - ・機械的に和訳し、内容の理解度は普通かやや低い…………… B
 - ・和訳に間違いが多く、内容の理解度は低い…………… C
 - ・和訳することがほぼできない、内容の理解度は低い…………… D

教科書：

『Styling Corporate Messages 世界で活躍する日本の企業』成美堂

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J28101	経営分析のための情報実習 I	2	1	奥田栄

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
Excel の基本操作、基本統計量、正規分布、区間推定、仮説検定	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

マーケティング、ファイナンスに必要なビジネス統計の手法を Excel を操作しながら身につけていく。同じ量を Excel で求めるにしても、やり方は、一通りではない。様々なやり方があり、どれを採用するかで学生の個性が出てくる。

授業の概要：

I では、Excel の基本的な操作からはじめて、教科書の第 2 章までを学習する。

授業の計画：

1. ガイダンス
2. エクセルの基本操作
3. データの取り込み
4. 大量データベースの操作
5. データ分析の基礎：ヒストグラム
6. 各種平均
7. 基本統計量
8. 二項分布と一様分布
9. 正規分布
10. 標準正規分布
11. 標本抽出
12. 区間推定
13. 帰無仮説と対立仮説
14. 検定法
15. まとめ

授業方法：

テキストに沿って、講義を交えながらパソコンを操作して実習する。毎回講義の最初の 20 分くらいを費やして、前回のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

達成目標：

Excel を用いて、基本的な統計量を計算でき、確率論的にデータを捉えられるようになる。

評価方法：

毎回の提出物によって判定する。

教科書：

関 正行『Excel で経営情報を分析するビジネス統計入門』（プレジデント社、2,520 円）。

参考文献：

その都度指示するかプリントを配布する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J28201	経営分析のための情報実習Ⅱ	2	1	奥田栄

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
Excel の高度な操作、相関分析、回帰分析、時系列、将来予測、主成分分析	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

マーケティング、ファイナンスに必要なビジネス統計の手法を Excel を操作しながら身につけていく。同じ量を Excel で求めるにしても、やり方は、一通りではない。最初は定義に沿ったやり方を通じて、次に Excel に組み込まれた様々なツールを利用して分析手法を身につける。

授業の概要：

Ⅱでは、Excel のより高度な使用法を活用して、教科書の第3章から第5章のはじめまでを学習する。

授業の計画：

1. ガイダンス
2. 相関関係
3. 相関分析
4. 回帰分析
5. 回帰分析ツール
6. 重回帰分析
7. 時系列分析の基礎
8. 傾向線
9. FFT (高速フーリエ変換)
10. FFT (第2回)
11. 移動平均法と自己回帰モデル
12. 指数平滑法
13. 主成分分析の基礎
14. 主成分分析の実際
15. まとめ

授業方法：

テキストに沿って、講義を交えながらパソコンを操作して実習する。毎回講義の最初の20分くらいを費やして、前回のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

達成目標：

Excel を用いて、基本的な統計量を計算でき、確率論的にデータを捉えられるようになる。

評価方法：

毎回の提出物によって判定する。

教科書：

関 正行『Excel で経営情報を分析するビジネス統計入門』（プレジデント社、2,520円）。

参考文献：

その都度指示するかプリントを配布する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J20101	金融 I (金融市場)	2	2	近藤隆則

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
金融仲介 銀行の情報生産 銀行の流動性供給 地域金融機関 優良中小企業の育成	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 グローバルな視野

授業のテーマ:

金融仲介が経済社会にとっていかに重要な機能であるかをテーマとします。特に銀行の情報生産や流動性供給が「よく機能する」ことが企業や家計の発展に結びつくことに焦点を当てます。

授業の概要:

様々な種類の金融仲介を念頭に、特に銀行の預金や貸出の経済的機能やそれを支える金融制度について学び、銀行と地域社会とのつながりや近年の銀行危機についても理解を深めます。

授業の計画:

第1回	金融仲介とは何か	第9回	金融制度 (1)
第2回	金融仲介機関の種類 (1)	第10回	金融制度 (2)
第3回	金融仲介機関の種類 (2)	第11回	金融制度 (3)
第4回	間接金融と銀行の役割	第12回	東海地方の金融の特徴
第5回	銀行の二つの重要な機能	第13回	銀行から見た優良中小企業像
第6回	銀行の貸出審査と担保	第14回	銀行危機はなぜ起こるか
第7回	信用リスクと金利リスク	第15回	全体の復習とまとめ
第8回	前半の復習とまとめ		

授業方法:

基本的には講義形式で進め、適宜身近な話題や事例も取り入れて講義のポイントについてみんなで考えます。

達成目標:

金融仲介と銀行の機能を正しく理解し、企業の発展や経済社会との関連に理解が及ぶこと

評価方法:

期末試験100%	
金融仲介と銀行の機能および経済社会との関連を理解し具体的に説明できる……	S
おおむね銀行の機能について正しく理解している……	A
一部説明力が不足しているが、相応に理解されてはいる……	B
把握が必ずしも十分ではないものの、最低限の理解はしている……	C
上記水準に達していない……	D

教科書:

なし

参考文献:

戸谷圭子『イラスト図解 銀行のしくみ』日本実業出版社 (1,650 円)
花輪俊哉・小川英治・三隅隆司『はじめての金融経済』東洋経済新報社 (3,300 円) の第5章、第6章

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J20201	商業簿記 I	2	2	磯貝明

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格取得、日商簿記検定 2 級、情報処理能力、経済知識	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。とりわけ簿記は、会計学の学習において基本となるものであり、企業情報を分析するうえでも重要となる。本講義は「基礎簿記」を履修した学生を対象として、経営分析の基礎となる高度な簿記技術を習得することを目的としており、日商簿記検定 2 級合格を目指していく。

授業の概要：

日商簿記検定 2 級合格を目指した講義を行う。今年度は商業簿記について解説し、日商簿記検定 2 級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。

授業の計画：

1. オリエンテーション
2. 簿記一巡の手続きと財務諸表
3. 現金預金取引
4. 有価証券取引
5. 債権・債務取引
6. 手形取引 (1)
7. 手形取引 (2)
8. 引当金取引
9. 商品売買取引 (1)
10. 商品売買取引 (2)
11. 特殊商品売買取引 (1)
12. 特殊商品売買取引 (2)
13. 固定資産取引
14. 損益取引 (1)
15. 損益取引 (2)

授業方法：

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。また、理解を深めるために、テキストの演習問題・ワークブックを使って実際に問題を解いていく。

達成目標：

日商簿記検定 2 級取得

評価方法：

試験 100%

教科書：

渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記講義 2 級商業簿記』中央経済社 ¥735
 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記ワークブック 2 級商業簿記』中央経済社 ¥735

参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J20301	工業簿記 I	2	2	磯貝明

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格取得、日商簿記検定2級、情報処理能力、ビジネススキル	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。とりわけ簿記は、会計学の学習において基本となるものであり、企業情報を分析するうえでも重要となる。本講義は「基礎簿記」を履修した学生を対象として、高度な簿記技術を習得することを目的としており、日商簿記検定2級合格を目指していく。

授業の概要：

日商簿記検定2級合格を目指した講義を行う。今年度は工業簿記について解説し、日商簿記検定2級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。

授業の計画：

1. オリエンテーション、受講上の注意点
2. 工業簿記の基本
3. 工業簿記上の費用
4. 原価計算
5. 工業簿記の構造
6. 費目別計算（材料費）
7. 費目別計算（労務費）
8. 費目別計算（経費）
9. 財務諸表と製造原価報告書（1）
10. 財務諸表と製造原価報告書（2）
11. 単純個別原価計算（1. 実際配賦）
12. 単純個別原価計算（2. 予定配賦）
13. 単純個別原価計算（3. その他）
14. 部門別個別原価計算（1）
15. 部門別個別原価計算（2）

授業方法：

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。また、受講者の理解を深めるために、テキストの練習問題を使って実際に問題を解いていく。また適宜、プリントを配布して解説する。

達成目標：

日商簿記検定2級取得

評価方法：

試験100%

教科書：

榊原正幸・瀧博『工業簿記入門』税務経理協会 ¥2,940

岡本清・廣本敏郎編著『新検定簿記ワークブック 2級工業簿記』中央経済社 ¥735

参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J20401	証券市場 I	2	2	近藤隆則

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
リスク・リターン 発行市場と流通市場 分散投資 市場ポートフォリオ	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 グローバルな視野

授業のテーマ：

投資家の観点から証券市場の役割や証券投資の基本的な考え方を身に付けることをテーマとします。

授業の概要：

株式市場をはじめ様々な証券市場の機能を学ぶとともに、証券投資に必要なリスク・リターンの関係や価格決定の理論、分散投資の考え方を身に付け、証券バブルが発生する理由についても触れます。

授業の計画：

第1回	直接金融と証券市場の役割	第9回	分散投資の重要性（1）
第2回	リスクとリターンの関係を理解する	第10回	分散投資の重要性（2）
第3回	株式市場とはどんな所か	第11回	株価はどう決まるか（1）
第4回	債券市場とはどんな所か	第12回	株価はどう決まるか（2）
第5回	投資信託の役割	第13回	証券市場の効率性
第6回	市場の多様化（1）	第14回	証券バブルはなぜ起きるか
第7回	市場の多様化（2）	第15回	全体の復習とまとめ
第8回	前半の復習とまとめ		

授業方法：

基本的には講義形式で進め、適宜身近な話題や事例も取り入れて講義のポイントについてみんなで考えます。

達成目標：

投資のリスク・リターンの関係や分散投資の意味、証券価格の決定メカニズムを正しく理解すること

評価方法：

期末試験100%
証券投資の基礎的概念や分散投資の意味を理解し具体的に説明できる…… S
おおむね証券投資の基礎知識を正しく身に付けている…… A
一部説明力が不足しているが、相応に理解されてはいる…… B
把握が必ずしも十分ではないものの、最低限の理解はしている…… C
上記水準に達していない…… D

教科書：

なし

参考文献：

釜江廣志『入門証券市場論（第3版）』有斐閣（2,415円）
花輪俊哉・小川英治・三隅隆司『はじめての金融経済』東洋経済新報社（3,300円）の第3章

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J23101	財政Ⅰ	2	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
持続可能な財政、少子高齢化 社会保障と税の一体改革	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

授業のテーマ：

(「財政Ⅰ」「財政Ⅱ」はあわせて履修することが望ましい。) はじめて財政学を学ぶ人を対象に、財政や財政学の基本的考え方を学ぶ。

授業の概要：

専門用語や基礎的理論を修得する。財政学とは、国民に、憲法に定められた健康で文化的な生活を保障するための税制(入)と予算配分(出)のあり方をセットで国民に示し、民主主義的な社会的合意を得て、実施する営みであることを理解する。

授業の計画：

1. イントロダクション
2. 3. 日本の財政制度
4. 5. 租税制度
6. 中間まとめ
7. 8. 財政運営
9. 10. 地方財政
11. 12. 消費税
13. 少子高齢化・人口問題
14. 法人税
15. まとめ

達成目標：

財政の専門用語と基本的な仕組みや制度についての知識を修得する。基礎的な経済財政統計の種類と目的を知る。日本の国家財政と地方財政のそれぞれの課題と両者のあり方(中央集権や地方分権等)について理解する。

授業方法：

テキストを軸に講義するが、新聞記事、行政の統計データを活用する。

評価方法：

期末試験100%で評価する
 ・財政制度の初歩的知識を修得し、現代における重要課題をよく理解している……S
 ・上記について、部分的には不十分な点があるが、ほぼ達している……A
 ・上記について、不十分、不正確な点があるが、おおよそは達している……B
 ・上記について、不十分、不正確な点が多い……C
 ・上記について、目標の半分以下のレベルにしか達していない……D
 試験(レポートを含む)60%、積極的・主体的な授業参加態度40%

教科書：

釣 雅雄・宮崎智視『グラフィック 財政学』新世社、2009年

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J23201	マクロ経済学 I	2	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
国民経済計算 国内総生産 (GDP) 国民所得 財市場	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ：

金融・証券関係に就職を希望する者は、個々の企業や金融機関のしくみはもちろんのこと、経済全体のしくみも学んでおく必要がある。また、マクロ経済学は「国税専門官」やその他多くの公務員試験において出題される分野である。この授業では、試験対策も一つのテーマとしている。また、この授業では、マクロ経済学の平易な入門書を理解することで、われわれが現在どのような経済の中で生活しているのかを理解する。

授業の概要：

われわれの経済社会がどのような部分から成り立ち、それらがどのように関係し合っているかを、教科書の中に出てくる専門用語や理論を一つ一つ理解しながら習得する。

授業の計画：

- (1) イントロダクション
- (2) 経済学の効率的勉強法
- (3) グラフの読み方
- (4) 国民所得の諸概念 (1)
- (5) 国民所得の諸概念 (2)
- (6) 三面等価の原則
- (7) 物価の計算
- (8) 45度線分析への準備 (1)
- (9) 45度線分析への準備 (2)
- (10) 国民所得の決定—45度線分析 (1) 財市場の均衡
- (11) 国民所得の決定—45度線分析 (2) 財市場の均衡の安定性
- (12) 国民所得の決定—45度線分析 (3) 投資乗数
- (13) 国民所得の決定—45度線分析 (4) 政府支出乗数
- (14) 国民所得の決定—45度線分析 (5) 租税乗数
- (15) まとめ

授業方法：

教科書にしたがって解説し、適宜問題演習を行う。理解度を確認するために数回小テスト（評価には含まれない）を行う。

達成目標：

マクロ経済学の演習問題を解くことができる。経済現象や経済政策の意味を理解できる。

評価方法：

期末試験100%により評価する。
 経済現象や経済政策の意味をほぼ完璧に理解している……………S
 経済現象や経済政策の意味を理解している……………A
 経済現象や経済政策の意味を理解しているが問題を解けない……B
 ところどころ間違っ理解している……………C
 上記のレベルに達していない……………D

教科書：

石川秀樹『新経済学入門塾 I マクロ編』中央経済社、2012年（2,200円＋税）

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J20601	金融Ⅱ（金融理論と政策）	2	2	近藤隆則

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
信用創造 資金循環 インフレとデフレ 円高・円安 国際通貨危機	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 グローバルな視野

授業のテーマ：

一国の資金循環やインフレ・デフレがどういう意味を持つのか、また国際的な金融取引がどのように行われるかをテーマとします。

授業の概要：

前半は一国経済の資金の流れを理解し、インフレ・デフレの意味や中央銀行の金融政策の役割を学びます。後半は国際的な金融取引、為替相場の決定要因を学び、近年の国際通貨危機にも触れます。

授業の計画：

第1回	貨幣の役割	第9回	前半の復習とまとめ
第2回	貨幣の需要・供給	第10回	国際金融の二つのポイント
第3回	信用創造とマネーサプライ	第11回	為替相場はどう決まるか
第4回	資金循環	第12回	グローバル化とは何か
第5回	財政と資金循環	第13回	二つの金融危機を比較する
第6回	金融政策（1）	第14回	金融危機の世界史と教訓
第7回	金融政策（2）	第15回	全体の復習とまとめ
第8回	金融政策（3）		

授業方法：

基本的には講義形式で進め、適宜身近な話題や事例も取り入れて講義のポイントについてみんなで考えます。

達成目標：

インフレ・デフレの意味や為替相場の意味を正しく理解し、一国の資金循環や国際金融についての基礎知識を身に付けること

評価方法：

期末試験 100%
物価や為替相場の意味を正しく理解し具体的に説明できる……………S
物価や為替相場についておおむね正しく理解している……………A
一部説明力が不足しているが、相応に理解されてはいる……………B
把握が必ずしも十分ではないものの、最低限の理解はしている……………C
上記水準に達していない……………D

教科書：

なし

参考文献：

花輪俊哉・小川英治・三隅隆司『はじめての金融経済』東洋経済新報社（3,300円）の1, 2, 7, 8章

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J20701	商業簿記Ⅱ	2	2	磯貝明

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格取得、日商簿記検定2級、情報処理能力、経済知識	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。とりわけ簿記は、会計学の学習において基本となるものであり、企業情報を分析するうえでも重要となる。本講義は「基礎簿記」および「商業簿記Ⅰ」を履修した学生を対象として、高度な簿記技術を習得することを目的としており、日商簿記検定2級合格を目指していく。

授業の概要：

日商簿記検定2級合格を目指した講義を行う。今年度は商業簿記について解説し、日商簿記検定2級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。

授業の計画：

1. 株式会社会計（1）
2. 株式会社会計（2）
3. 株式会社会計（3）
4. 株式会社会計（4）
5. 税金
6. 決算（1）
7. 決算（2）
8. 決算（3）
9. 本支店会計（1）
10. 本支店会計（2）
11. 本支店会計（3）
12. 帳簿組織（1）
13. 帳簿組織（2）
14. 帳簿組織（3）
15. 日商簿記検定試験の出題傾向分析と問題の解法

授業方法：

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。また、理解を深めるために、テキストの演習問題・ワークブックを使って実際に問題を解いていく。

達成目標：

日商簿記検定2級取得

評価方法：

試験100%

教科書：

渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記講義 2級商業簿記』中央経済社 ¥735
 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記ワークブック 2級商業簿記』中央経済社 ¥735

参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J20801	工業簿記Ⅱ	2	2	磯貝明

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格取得、日商簿記検定2級、情報処理能力、ビジネススキル	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。将来、**企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である**。とりわけ簿記は、会計学の学習において基本となるものであり、企業情報を分析するうえでも重要となる。本講義は「基礎簿記」および「工業簿記Ⅰ」を履修した学生を対象として、高度な簿記技術を習得することを目的とするものであり、**日商簿記検定2級合格を目指していく**。

授業の概要：

日商簿記検定2級合格を目指した講義を行う。今年度は工業簿記について解説し、日商簿記検定2級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。

授業の計画：

1. 単純総合原価計算（1）
2. 単純総合原価計算（2）
3. 等級別総合原価計算
4. 組別総合原価計算
5. 仕損・減損の処理（1）
6. 仕損・減損の処理（2）
7. 工程別総合原価計算（1）
8. 工程別総合原価計算（2）
9. 標準原価計算（1）
10. 標準原価計算（2）
11. 直接原価計算
12. 原価・営業量・利益関係の分析（1）
13. 原価・営業量・利益関係の分析（2）
14. 原価予測
15. 工場会計の独立

授業方法：

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。また、受講者の理解を深めるために、テキストの練習問題を使って実際に問題を解いていく。また適宜、プリントを配布して解説する。

達成目標：

日商簿記検定2級取得

評価方法：

試験100%

教科書：

榊原正幸・瀧博『工業簿記入門』税務経理協会、¥2,940
岡本清・廣本敏郎編著『新検定簿記ワークブック 2級工業簿記』中央経済社 ¥735

参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
J20901	証券市場Ⅱ	2	2	近藤隆則

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資本コスト コーポレート・ガバナンス 新規株式公開（IPO） 合併・買収（M&A）	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 グローバルな視野

授業のテーマ：

企業の金融行動について、基本的な考え方と実際の発展段階をたどることをテーマにします。

授業の概要：

企業がどのように資金調達方法を選択し、投資規模や内容を意思決定するかといった金融行動の基本を学んだ後、企業の統治に関する諸問題や企業の各発展段階における金融行動について触れます。

授業の計画：

第1回	企業はどう資金調達するか（1）	第9回	企業は誰のものか
第2回	企業はどう資金調達するか（2）	第10回	企業は誰のためにあるか
第3回	企業はどう資金調達するか（3）	第11回	企業は誰に統治されているか
第4回	企業はどう投資を決定するか（1）	第12回	ベンチャー企業と株式公開
第5回	企業はどう投資を決定するか（2）	第13回	M&Aと企業再編
第6回	企業はどう投資を決定するか（3）	第14回	倒産処理と企業再生
第7回	企業はどう利益を配分するか	第15回	全体の復習とまとめ
第8回	前半の復習とまとめ		

授業方法：

基本的には講義形式で進め、適宜身近な話題や事例も取り入れて講義のポイントについてみんなで考えます。

達成目標：

企業金融の基礎的な概念や企業の各発展段階における金融行動を正しく理解すること

評価方法：

期末試験 100%
企業の資金調達や投資行動についての基本的な考え方を理解し具体的に説明できる…… S
おおむね企業金融の基礎概念について正しく理解している…… A
一部説明力が不足しているが、相応に理解されてはいる…… B
把握が必ずしも十分ではないものの、最低限の理解はしている…… C
上記水準に達していない…… D

教科書：

なし

参考文献：

米澤康博・小西大・芹田敏夫『新しい企業金融』有斐閣（1,995円）
花輪俊哉・小川英治・三隅隆司『はじめての金融経済』東洋経済新報社（3,300円）の第4章

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J23301	財政Ⅱ	2	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
持続可能な財政、少子高齢化 社会保障と税の一体改革	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

授業のテーマ：

(「財政Ⅰ」「財政Ⅱ」はあわせて履修することが望ましい。) はじめて財政学を学ぶ人を対象に、政府介入の基礎理論と財政政策の機能と実際について学ぶ。

授業の概要：

専門用語、基礎的理論、政策についての知識を学習する。実際の日本経済の状況や経済政策の動向をふまえて、現実の経済と財政の仕組みとの関わり、経済政策の効果をスムーズに理解する。

授業の計画：

1. イントロダクション
2. 3. 政府介入の基礎理論①
4. 5. 政府介入の基礎理論②
6. 中間まとめ
7. 8. 租税理論
9. 10. 日本財政の変化
11. 12. 所得配分政策
13. マクロ経済政策
14. 財政と金融
15. まとめ

達成目標：

政策に関する専門用語と基本的な制度についての知識を修得する。財政に関する新聞記事を読み、自分の言葉で解説できるようになる。

授業方法：

テキストを軸に講義するが、新聞・雑誌記事を資料として活用する。

評価方法：

期末試験 100%で評価する

- ・ 財政理論と政策の初歩的知識を修得し、重要課題をよく理解している……………S
- ・ 上記について、部分的には不十分な点があるが、ほぼ達している……………A
- ・ 上記について、不十分、不正確な点があるが、おおよそは達している……………B
- ・ 上記について、不十分、不正確な点が多い……………C
- ・ 上記について、目標の半分以下のレベルにしか達していない……………D

教科書：

釣 雅雄・宮崎智視『グラフィック 財政学』新世社、2009年

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J23401	マクロ経済学Ⅱ	2	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
貨幣市場、利子率、金融政策、投資の理論	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

金融・証券関係に就職を希望する者は、個々の企業や金融機関のしくみはもちろんのこと、経済全体のしくみも学んでおく必要がある。また、マクロ経済学は「国税専門官」やその他多くの公務員試験において出題される分野である。この授業では、試験対策も一つのテーマとしている。また、この授業では、マクロ経済学の平易な入門書を理解することで、われわれが現在どのような経済の中で生活しているのかを理解する。

授業の概要：

われわれの経済社会がどのような部分から成り立ち、それらがどのように関係し合っているかを、教科書の中に出てくる専門用語や理論を一つ一つ理解しながら習得する。マクロ経済学Ⅰを既に受講していることが望ましい。

授業の計画：

- (1) イントロダクション
- (2) ケインズの利子論への準備
- (3) ケインズ派の利子理論——流動性選好理論 (1)
- (4) ケインズ派の利子理論——流動性選好理論 (2)
- (5) 投資の理論——ケインズの限界効率理論 (1)
- (6) 投資の理論——ケインズの限界効率理論 (2)
- (7) 金融政策 (1)
- (8) 金融政策 (2)
- (9) 金融政策 (3)
- (10) 財市場の分析——IS 曲線 (1)
- (11) 財市場の分析——IS 曲線 (2)
- (12) 貨幣市場の分析——LM 曲線 (1)
- (13) 貨幣市場の分析——LM 曲線 (2)
- (14) 財市場と貨幣市場の同時分析
- (15) まとめ

授業方法：

教科書にしたがって解説し、適宜問題演習を行う。理解度を確認するために数回小テスト（評価には含まれない）を行う。

達成目標：

マクロ経済学の演習問題を解くことができる。経済現象や経済政策の意味を理解できる。

評価方法：

期末試験 100% で評価する。
 経済現象や経済政策の意味をほぼ完璧に理解している…………… S
 経済現象や経済政策の意味を理解している…………… A
 経済現象や経済政策の意味を理解しているが問題を解けない…… B
 ところどころ間違っ理解している…………… C
 上記のレベルに達していない…………… D

教科書：

石川秀樹『新経済学入門塾Ⅰ マクロ編』中央経済社、2012年（2200円＋税）

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J20501	経営分析演習 I	2	2	磯貝明

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
企業研究、情報処理能力、ビジネススキル、経済知識	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

企業には必ず会計が存在しており、将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。とりわけ「企業を見る目」は、就職活動においても大変強力なツールとなることであろう。この演習では、現実の企業のデータによって財務内容を中心にした分析・報告を行い、企業情報を分析する能力を習得し、「企業を見る目」を養うことを目的とする。企業分析の知識は就職活動において、企業の選択や面接時に大いに役立つと思われる。

授業の概要：

企業の経営分析の方法を解説し、実際に各自が分析を行う。分析対象とする企業を選択する際には、就職を希望する業種などを選択し、選択した企業や業種についての詳細な知識を習得する。また、受講生の経済への興味・関心を喚起するため、必要に応じて最近の話題や実例を提供していく。

授業の計画：

1. オリエンテーション
2. 会計制度と情報開示
3. 有価証券報告書の概要・情報収集
4. 概況・沿革の分析
5. 役員・大株主・従業員の状況
6. 連結財務諸表と個別財務諸表
7. 企業集団の分析
8. 財務諸表分析の概要
9. 財務諸表分析の実践
10. 収益性分析（1）
11. 収益性分析（2）
12. 収益性分析（3）
13. 安全性分析（1）
14. 安全性分析（2）
15. 安全性分析（3）

授業方法：

企業の経営分析に関する技法の解説を行った後、各自が選択した企業のデータを用いて、実際に分析を行う。その後、相互の分析結果を比較していく。

達成目標：

企業分析・財務諸表分析手法の習得、就職希望企業・業種の情報収集、経済知識の習得

評価方法：

試験 100%

教科書：

政岡光宏編著 『初めて学ぶ財務諸表分析（改訂版）』 同文館出版 2010年、¥1,890
 受講生が選択した企業の有価証券報告書（EDINETより無料でダウンロード・印刷）
 配布プリント

参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
J21001	経営分析演習Ⅱ	2	2	磯貝明

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
企業研究、情報処理能力、ビジネススキル、経済知識	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

企業には必ず会計が存在しており、将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。とりわけ「企業を見る目」は、就職活動においても大変強力なツールとなることであろう。この演習では、現実の企業のデータによって財務内容を中心にした分析・報告を行い、企業情報を分析する能力を習得し、「企業を見る目」を養うことを目的とする。企業分析の知識は就職活動において、企業の選択や面接時に大いに役立つと思われる。

授業の概要：

企業の経営分析の方法を解説し、実際に各自が分析を行う。分析対象とする企業を選択する際には、就職を希望する業種などを選択し、選択した企業や業種についての詳細な知識を習得する。また、受講生の経済への興味・関心を喚起するため、必要に応じて最近の話題や実例を提供していく。

授業の計画：

1. キャッシュフロー計算書分析（1）
2. キャッシュフロー計算書分析（2）
3. 株価と会計情報（1）
4. 株価と会計情報（2）
5. ケーススタディ
6. ケーススタディ
7. 分析結果報告・発表・討議（1）
8. 分析結果報告・発表・討議（2）
9. 分析結果報告・発表・討議（3）
10. 分析結果報告・発表・討議（4）
11. 分析結果報告・発表・討議（5）
12. 分析結果報告・発表・討議（6）
13. 分析結果報告・発表・討議（7）
14. 分析結果報告・発表・討議（8）
15. レポート指導

授業方法：

企業の経営分析に関する技法の解説を行った後、各自が選択した企業のデータを用いて、実際に分析を行う。その後、分析結果を報告し、相互の分析結果を比較考察していく。

達成目標：

企業分析・財務諸表分析手法の習得、就職希望企業・業種の情報収集、経済知識の習得

評価方法：

レポート 100%

教科書：

政岡光宏編著 『初めて学ぶ財務諸表分析（改訂版）』 同文館出版 2010年、¥1,890
 受講生が選択した企業の有価証券報告書（EDINETより無料でダウンロード・印刷）
 配布プリント

参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K10101	心理学概論 I	1・2	2	芳賀康朗

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
感覚・知覚, 学習・記憶, 動機づけ, 情動	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

「心理学は心と行動を研究する科学である」という立場から心理現象を理解するとともに、心理学の基礎的な知識を身につける。

授業の概要：

心理学の歴史と研究方法について概観し、実験心理学の立場から人間の基本的な心的機能である、感覚・知覚、学習・記憶、動機づけ、情動について解説する。

授業の計画：

- 第1回 心理学の研究対象
- 第2回 心理学の歴史と研究方法①
- 第3回 心理学の歴史と研究方法②
- 第4回 心的過程の生理学的基礎
- 第5回 感覚・知覚①（感覚の種類）
- 第6回 感覚・知覚②（知覚の体制化）
- 第7回 感覚・知覚③（空間と運動の知覚）
- 第8回 感覚・知覚④（知覚の恒常性）
- 第9回 学習・記憶①（行動の分類）
- 第10回 学習・記憶②（条件づけ）
- 第11回 学習・記憶③（社会的学習）
- 第12回 学習・記憶④（記憶の分類）
- 第13回 学習・記憶⑤（記憶の忘却）
- 第14回 動機づけと情動①（動機の分類）
- 第15回 動機づけと情動②（情動の機能）

授業方法：

教科書と配布資料の内容に沿って進めていく。内容と関連した映像資料も補助的に用いる。授業内容と関連した課題の提出を求めることもある。授業の進行を妨げる行為（私語や飲食）はもちろん、授業開始 20 分以降の遅刻は厳禁とする。

達成目標：

心理学の基礎知識を身につけ、科学的視点から日常的な心理現象を考察できる力を身につける。

評価方法：

出席回数の基準（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書：

梅本・大山・岡本 共著 『コンパクト新心理学ライブラリ 1 心理学』サイエンス社 1,418 円

参考文献：

授業中に適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K10201	心理学概論Ⅱ	1・2	2	三後美紀

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
パーソナリティ、発達と成長、社会と対人関係、適応と臨床	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

心理学の基礎知識を身につけ、さらに、日常生活におけるさまざまな事象を心理学的な視点で捉えようとする思考力を獲得することを目的とします。

授業の概要：

人と人のかかわりに着目しながら、性格心理学、発達心理学、社会心理学、臨床心理学における心理学の知見を紹介します。

授業の計画：

- 1) ガイダンス
- 2) パーソナリティ（心のなりたち）
- 3) パーソナリティ（類型論と特性論）
- 4) パーソナリティ（無意識・防衛機制）
- 5) 発達と成長（発達の原理）
- 6) 発達と成長（思考の発達）
- 7) 発達と成長（ライフサイクル）
- 8) 社会と対人関係（自己の形成・自己開示）
- 9) 社会と対人関係（対人認知）
- 10) 社会と対人関係（態度変容）
- 11) 社会と対人関係（集団のダイナミクス）
- 12) 社会と対人関係（リーダーシップ）
- 13) 適応と臨床（ストレスと対処）
- 14) 適応と臨床（さまざまな心理療法）
- 15) まとめ

授業方法：

講義を中心に、適宜、プリントや映像資料を使いながら進めます。受講生の内容理解の確認と知的関心の共有のため、講義中に小レポートの提出を求めています。

達成目標：

われわれの身近にある事象を心理学的に捉えた知見を学ぶことで、分析・総合の思考力と判断力の基礎を学生自身が身につけます。

評価方法：

期末試験（100%）

教科書：

なし

参考文献：

齊藤 勇 『イラストレート心理学入門』 誠信書房 1,575 円
 大坊郁夫・安藤清志 『社会の中の人間理解』 ナカニシヤ出版 1,995 円
 その他、授業中に紹介します

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K10301	臨床心理学 I	1・2	2	高橋昇

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理アセスメント、心理療法、社会とのかかわり	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

臨床心理学の概論を学んでいきます。今期は人の心に対する接近法として、まずその基礎となる心の発達段階の問題を考え、人間に対する理解を深めながら心理アセスメントの問題に足を踏み入れます。健常人の心のあり方を土台として、心病人に対するかかわりは精神病理や心理的防衛機制に対する専門的な知識や技法が必要であり、その初歩段階としての多種多様な技法の概略を学んでいくことを目的とします。

授業の概要：

この授業では、まず前期に続いて発達段階のまとめから、臨床アセスメントとは何かについて学び、心理検査の概説を行っていきます。そして次に「カウンセリングや心理療法についての理解をテキストに沿って概説します。そこからパーソナリティや心のあり方についての接近法を学び、基礎的な知識や理解を促し、臨床心理学的な見方を考えていきます。

授業の計画：

1. オリエンテーション
- 2～7. エリクソンの発達段階前期
8. 復習
9. 障害者の問題
- 10～11. エリクソンの発達段階後期
12. 心理アセスメントとは何か
13. 心理テストについて
14. 心理療法への方向性
15. まとめ

授業方法：

テキストに基づいて、購読しながらそれに沿って進めていきます。資料を配付したり、DVDを見ていただいて、感想を書いてもらうこともあります。そしてその時々テーマについて、身近な例を考えながら体得できるように考えていきます。

達成目標：

心理アセスメントと心理療法についての基本的な概念と用語を学び、その概略をつかむこと。

評価方法：

定期試験によって評価する

教科書：

『はじめての臨床心理学』 森谷寛之・竹松志乃編著 北樹出版 2,500円＋税

参考文献：

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
K10401	教育心理学 I	1・2	2	坪井裕子

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 学校 学習 発達	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, 価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ：

教育の営みに含まれる要因は、対象としての幼児・児童・生徒、働きかけるものとしての教師、両者の関係を通して起こってくる成長、学習、教授等の事象です。これらを理解するための教育心理学の基礎的な事柄について学びます。

授業の概要：

学校における適応の問題や発達障害などの基礎的な事柄について学びます。

授業の計画：

1. オリエンテーション・教育心理学の概要
2. 教師と児童・生徒
3. 学校適応 (1)
4. 学校適応 (2)
5. 学校適応 (3)
6. 発達障害 (1) 概要
7. 発達障害 (2) 知的障害
8. 発達障害 (3) 広汎性発達障害
9. 発達障害 (4) 学習障害・AD/HD
10. 発達障害児への支援 (1)
11. 発達障害児への支援 (2)
12. 教育評価 (1)
13. 教育評価 (2)
14. 教育評価 (3)
15. 後期のまとめ

授業方法：

基本的には講義を中心に行います。必要に応じて、視聴覚教材を用います。教育に関するトピックスがあれば、発表することが求められる場合もあります。

達成目標：

教育現場で起こるさまざまな問題を検討することによって、教育についての考えを深め、基本的な知識を習得することを目標とします。

評価方法：

期末試験 (100%) によって評価します。

- 基本的な知識のみならず様々な角度から教育の問題について十分に理解している・・・S
 基本的な知識のみならず教育の問題についてかなり理解している・・・A
 基本的な知識は習得しているが教育の問題についての理解はやや不十分・・・B
 基本的な最低限の知識は習得している・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

西村純一・井森澄江編『教育心理学エッセンシャルズ』第2版 (ナカニシヤ出版 / 2,200円 + 税)

参考文献：

授業の中で提示します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K10501	心理学研究法 I	1・2	2	芳賀・三後

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
現代社会 こころ 心理学	コミュニケーション力 分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

われわれは日常生活において心に関係するさまざまな現象や問題に遭遇している。この授業では、それらの現象や問題を扱った心理学の代表的な研究を紹介し、心理学という学問がいかなる方法を用いて心にアプローチしていくのかについて考えていく。

授業の概要：

前半は、主に実験心理学の立場から、知覚、認知、生理、心の進化といった問題を扱った研究を紹介し、心に対する科学的アプローチの実際を理解する。後半は、発達、社会、動機づけ、臨床、キャリア発達などの分野におけるさまざまな研究を概観し、代表的な心理学研究法について理解を深める。

授業の計画：

- 第1回 心とは何か？
- 第2回 眼は心の窓にすぎない
- 第3回 考えることの不思議
- 第4回 心と身体の関係
- 第5回 ヒトの心と動物の心①
- 第6回 ヒトの心と動物の心②
- 第7回 ロボットに心はあるか？①
- 第8回 ロボットに心はあるか？②
- 第9回 私たちの心の成長とは
- 第10回 「出会い」と「かかわりあい」の心理学
- 第11回 「迷惑」と「共感」の心理学
- 第12回 「やる気」の心理学
- 第13回 「心の健康」と心理学
- 第14回 「キャリア」をデザインする心理学
- 第15回 心理学の学びを活かすには

授業方法：

各回のテーマについてプリント資料や映像資料を用いながら説明し、その後に意見発表や討論を行う。そしてそれらの内容についてレポートを提出してもらうことも予定している。

達成目標：

大学で心理学を専門的に学ぶために必要な問題意識と基礎知識、専門的な立場から心の問題に取り組むための実践力の基礎を身につける。

評価方法：

出席回数の基準（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書：

なし

参考文献：

海保博之著 『心理学ってどんなもの』 岩波ジュニア新書 427 740円
 藤本忠明・東正訓 編著 『ワークショップ大学生生活の心理学』 ナカニシヤ出版 2,000円＋税

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K10601	心理統計法 I	1・2	2	芳賀・坂本

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理統計法, 計算技能, 基礎統計量の算出, データ分析	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

実験, 調査, 検査といった研究手法を駆使する際には, 計測するデータの特性を理解し, 得られたデータを処理・分析する能力が不可欠となる。この授業ではそうした心理統計の基本的技能を身につけ, 心理現象を科学的な視点から捉える姿勢を身につけることを目的とする。

授業の概要：

2年次以降の実習に臨むにあたって必要となるデータ処理技能を身につけるために, 計算を中心とした練習課題を毎時間行う。また受講者各自が習得度を確認するための小テストを実施する。

授業の計画：

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 計算技能の基礎① (計算の基礎)
- 第3回 計算技能の基礎② (計算の基礎)
- 第4回 計算技能の基礎③ (比率と割合)
- 第5回 計算技能の基礎④ (関数の基礎)
- 第6回 まとめの小テスト
- 第7回 計算技能の基礎⑤ (平方根の計算)
- 第8回 計算技能の基礎⑥ (指数と対数)
- 第9回 計算技能の基礎⑦ (関数とグラフ)
- 第10回 計算技能の基礎⑧ (確率の計算)
- 第11回 まとめの小テスト
- 第12回 データ分析の基礎① (代表値)
- 第13回 データ分析の基礎② (データ分布)
- 第14回 データ分析の基礎③ (相関関係)
- 第15回 データ分析の基礎④ (仮説検証)

授業方法：

配布プリントに沿った解説と課題を中心に進めていく。授業外での課題 (宿題) を課すこともある。授業の進行を妨げる行為 (私語や飲食) はもちろん, 授業開始 20 分以降の遅刻は厳禁とする。配布したプリントは毎時間携帯すること。

達成目標：

関数電卓を使用して正確に計算ができるようになる。提示された数値データや図表データの特徴を読み取ることができるようになる。心理統計の基礎用語について理解できるようになる。

評価方法：

出席回数 (全授業回数の 3 分の 2 以上の出席) をクリアしていることを前提とし, 定期試験の結果によって評価する。

教科書：

なし

参考文献：

- 田中・山際 共著 『ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法』 教育出版 3,045 円
- 鶴沼・長谷川 共著 『はじめての心理統計法』 東京図書 2,625 円
- 大山ら 共著 『コンパクト新心理学ライブラリ 12 心理学研究法』 サイエンス社 2,310 円

実験・実習・教材費：

なし

準備物：

関数電卓 (カシオ製で統計計算ができるもの。授業開始時に共同購入を予定している。)

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K20101	臨床心理学Ⅱ	2	2	高橋昇

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心の構造、パーソナリティー、発達段階	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

臨床心理学は人の心を扱う学問であり、人の心のありさまや、人と人が出会い、かかわり、何かを生み出していくことに注意を向けています。その応用としての技法はカウンセリングや心理療法などとして生かされていますが、その基礎は誰でもが持っている「心」を理解するところから始まるでしょう。そしてその「心」は、心病んだクライアントを知ることに関がっていて、幅広い人の心に対する、より広くて深い理解を得ることを目的とします。

授業の概要：

この授業では、まず臨床心理学とは何かについて学び、心の構造について無意識を含んだ考え方について概説します。そこからパーソナリティーや心の発達など、様々な側面に光を当てて基礎的な知識や理解を促し、臨床心理学的な見方について学んでいきます。

授業の計画：

1. オリエンテーション
- 2～3. 臨床心理学とは何か
- 4～5. 臨床心理学を作った人々
6. 人の心を感じる
- 7～9. 心の構造
10. 復習
- 11～12. パーソナリティー
- 13～14. 精神的病と臨床心理学
15. まとめ

授業方法：

テキストに基づいて、購読しながらそれに沿って進めていきます。DVDを見ていただいて感想を書いてもらうこともあります。そしてその時々テーマについて、身近な例を考えながら体得できるように考えていきます。

達成目標：

臨床心理学の基本的な概念と用語を学び、その概略をつかむこと。

評価方法：

定期試験によって評価する。

教科書：

『はじめての臨床心理学』 森谷寛之・竹松志乃編著 北樹出版 2,500円＋税

参考文献：

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K20201	教育心理学Ⅱ	2	2	坪井裕子

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 学校 学習 発達	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, 価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ：

教育の営みに含まれる要因は、対象としての幼児・児童・生徒、働きかけるものとしての教師、両者の関係を通して起こってくる成長、学習、教授等の事象です。これらを理解するための教育心理学の基礎的な事柄について学びます。

授業の概要：

教育心理学における学習や発達など基礎的な事柄について学びます。

授業の計画：

1. オリエンテーション・教育心理学の概要
2. 学習 (1)
3. 学習 (2)
4. 学習 (3)
5. 個人差 (1)
6. 個人差 (2)
7. 動機づけ (1)
8. 動機づけ (2)
9. 学習過程
10. 教育と発達
11. 発達 (1) 乳幼児期
12. 発達 (2) 児童期
13. 発達 (3) 青年期
14. 発達 (4) まとめ
15. 前期のまとめ

授業方法：

基本的には講義を中心に行います。必要に応じて、視聴覚教材を用います。教育に関するトピックスがあれば、発表することが求められる場合もあります。

達成目標：

教育現場で起こるさまざまな問題を検討することによって、教育についての考えを深め、基本的な知識を習得することを目標とします。

評価方法：

期末試験 (100%) によって評価します。

- 基本的な知識のみならず様々な角度から教育の問題について十分に理解している S
 基本的な知識のみならず教育の問題についてかなり理解している A
 基本的な知識は習得しているが教育の問題についての理解はやや不十分 B
 基本的な最低限の知識は習得している C
 Cのレベルに達していない D

教科書：

西村純一・井森澄江編『教育心理学エッセンシャルズ』第2版 (ナカニシヤ出版 / 2,200円 + 税)

参考文献：

授業の中で提示します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K20301	心理学研究法Ⅱ	2	2	高橋・芳賀・三後

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理学，テーマの着想，研究方法の設定，研究のまとめ方，研究の心構え	コミュニケーション力 分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のキーワード：

心理学，テーマの着想，研究方法の設定，研究のまとめ方，研究の心構え

授業のテーマ：

大学で心理学を専門的に学び卒業研究を仕上げるまでのプロセスについて説明し、一般的な心理学研究の流れを理解する。特に、臨床心理学、教育心理学、発達心理学、人間関係論といった我々の日常生活に密接した分野における研究の概要について詳しく解説する。

授業の概要：

第1回から第4回までは、心理コースで開講されている授業科目間の連関性、卒業研究までのプロセスについて解説する。第5回から第8回までは、教育心理学、発達心理学、社会心理学などの研究を紹介し、それらについて批判的に思考する力を身につける。第9回以降は、臨床心理学研究の初歩から事例研究の読み方までを取り上げていき、臨床心理学的な人の心へのアプローチについて学んでいく。

授業の計画：

- 第1回 大学で学ぶ心理学①
- 第2回 大学で学ぶ心理学②
- 第3回 心理学研究の実際①
- 第4回 心理学研究の実際②
- 第5回 論文の読み方①
- 第6回 論文の読み方②
- 第7回 論文の読み方③
- 第8回 論文の読み方④
- 第9回 臨床心理学的なものの見方①
- 第10回 臨床心理学的なものの見方①
- 第11回 臨床心理学的なものの見方①
- 第12回 研究の方法
- 第13回 事例研究①
- 第14回 事例研究②
- 第15回 事例研究③

授業方法：

各回のテーマについて資料プリントや実際の研究論文を参照しながら説明し、その後に意見発表や討論を行う。授業内容についてレポートを作成・提出してもらうことも予定している。

達成目標：

大学で心理学を専門的に学び、卒業論文を作成するために必要な基本的知識と心構えを身につけ、臨床心理学や教育心理学などの専門的立場から心の問題に取り組むための方法の概要について理解する。

評価方法：

出席回数の基準（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。欠席、遅刻、授業態度の不良は減点の対象とする。

教科書：

なし

参考文献：

授業中に適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K20401	心理統計法Ⅱ	2	2	芳賀康朗

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
相関係数, ノンパラメトリック検定, 質問紙調査, 因子分析, 行動観察	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

心理学研究において重要なことは、日常的な認識を超えて客観的な視点から心理現象を記述・分析することである。この講義では心理学研究における測定とデータ解析について理解し、その技法を修得することを目的とする。心理学基礎実習Ⅰ・Ⅱおよび心理学データ解析Ⅰ・Ⅱと併せて受講すること。

授業の概要：

調査研究を行うために必要な基礎的統計技能について説明する。前半は相関係数の算出および有意性検定、集計表の分析および度数検定について解説し、後半はより実践的な質問紙調査の作成方法と分析方法について因子分析の概要とあわせて解説する。授業時間内の学習のみでなく、復習を中心とした自主的な学習が要求される。

授業の計画：

- 第1回 2変数の相関①
- 第2回 2変数の相関②
- 第3回 2変数の相関③
- 第4回 相関係数の有意性検定①
- 第5回 相関係数の有意性検定②
- 第6回 度数についての検定①
- 第7回 度数についての検定②
- 第8回 度数についての検定③
- 第9回 順位についての検定
- 第10回 質問紙調査の実施と分析①
- 第11回 質問紙調査の実施と分析②
- 第12回 質問紙調査の実施と分析③
- 第13回 因子分析①
- 第14回 因子分析②
- 第15回 行動観察法の基礎

授業方法：

教科書に沿った解説と計算課題を中心に進めていく。毎時間関数電卓を携行すること。また授業以外にも課題を課すこともある。授業の進行を妨げる行為（私語や飲食）はもちろん、授業開始20分以降の遅刻は厳禁とする。

達成目標：

心理学基礎実習や卒業研究におけるデータ解析や論文作成に必要な心理統計の基礎知識と計算技能を身につける。統計ソフトを使ったデータ処理法を習得する。

評価方法：

出席回数基準（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書：

田中・山際 共著 『ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法』 教育出版 3,045円

参考文献：

鶴沼・長谷川 共著 『はじめての心理統計法』 東京図書 2,625円
 大山ら 共著 『コンパクト新心理学ライブラリ 12 心理学研究法』 サイエンス社 2,310円

準備物：

関数電卓（カシオ製で統計計算ができるもの）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K23301	心理統計法Ⅲ	2	2	芳賀康朗

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
記述統計と推測統計, データの尺度, 代表値と散布度, 有意差検定, 実験計画法	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ:

心理学研究において重要なことは、日常的な認識を超えて客観的な視点から心理現象を記述・分析することである。この講義では心理学研究における測定とデータ解析について理解し、その技法を修得することを目的とする。心理学基礎実習Ⅰ・Ⅱおよび心理学データ解析Ⅰ・Ⅱと併せて受講すること。

授業の概要:

前半では、実験によって測定されたデータの特徴を記述・表現するための手法（図表化と代表値の計算）について解説する。後半は、平均値の差の検定（t検定と分散分析）の方法について解説する。

授業の計画:

- 第1回 実験研究の目的
- 第2回 記述統計と推測統計
- 第3回 データの尺度
- 第4回 データの図表化
- 第5回 母集団と標本
- 第6回 代表値と散布度①
- 第7回 代表値と散布度②
- 第8回 代表値と散布度③
- 第9回 有意差検定とは？
- 第10回 2つの平均値の差の検定①
- 第11回 2つの平均値の差の検定②
- 第12回 2つの平均値の差の検定③
- 第13回 実験計画法と分散分析①
- 第14回 実験計画法と分散分析②
- 第15回 実験計画法と分散分析③

授業方法:

教科書に沿った解説と計算課題を中心に進めていく。毎時間関数電卓を携行すること。また授業以外にも課題を課すこともある。授業の進行を妨げる行為（私語や飲食）はもちろん、授業開始20分以降の遅刻は厳禁とする。

達成目標:

心理学基礎実習や卒業研究におけるデータ解析や論文作成に必要な心理統計の基礎知識と計算技能を身につける。統計ソフトを使ったデータ処理法を習得する。

評価方法:

出席回数の基準（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書:

田中・山際 共著 『ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法』 教育出版 3,045円

参考文献:

鵜沼・長谷川 共著 『はじめての心理統計法』 東京図書 2,625円
 大山ら 共著 『コンパクト新心理学ライブラリ 12 心理学研究法』 サイエンス社 2,310円

準備物:

関数電卓（カシオ製で統計計算ができるもの）

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K26101	心理学文献講読 I	2	2	坂本真也

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理学専門用語，心理学の領域，ディスカッション	コミュニケーション力 分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

心理学の文献を通して，心理学の専門用語や心理学の領域について理解し，基礎的な心理学の知識を身に付けていく。また，心理学のテーマに応じたディスカッションを行い，自身の心理学の興味・関心領域について知見を深めていきたい。

授業の概要：

心理学の様々な領域について理解できるよう，幅広く心理学に関係する文献を講読し，要約し解説・ディスカッションを行っていく。基礎領域や応用領域にどのような心理学のテーマやキーコンセプトをおさえていきたい。

授業の計画：

- 第1回 心理学の領域
- 第2回 心理学の観点
- 第3回 現代の問題点と心理学
- 第4回 心理学の研究手法
- 第5回 心理学の理論と方向性
- 第6回 心理と発達
- 第7回 ディスカッション I
- 第8回 知能と感情
- 第9回 心理的問題
- 第10回 心理療法
- 第11回 人格
- 第12回 健康，ストレス，コーピング
- 第13回 ソーシャルサポート
- 第14回 社会的認知
- 第15回 ディスカッション II

授業方法：

配布プリントに沿った解説とディスカッションを中心に進めていく。授業外の課題（宿題）を課す場合もある。また，積極的に授業に参加できるようグループ発表もテーマによっては行う。

達成目標：

心理学の専門用語や領域の特徴を理解し，要約して発表できる力を習得する。

評価方法：

出席回数基準をクリアしていることを前提とし，定期試験の結果によって評価する。

- S：心理学の専門用語・領域について理解し，要約して説明できる
- A：心理学の専門用語・領域について理解し，要約してある程度説明できる
- B：心理学の専門用語・領域についてある程度理解し，要約できる
- C：心理学の専門用語・領域について部分的に理解し，要約できる
- D：Cに達していない

教科書：

なし

参考文献：

- 栄陽子留学研究所 編 『留学生必修講義＜2＞心理学入門』 三修社 2,940円
- 内田一成 監訳 『ヒルガードの心理学 第15版』 金剛出版 23,100円
- 中島 編集 『心理学辞典』 有斐閣 7,140円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K26201	心理学文献講読Ⅱ	2	2	坂本真也

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理学専門用語（英語）、ディスカッション、心理学研究論文	コミュニケーション力 分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

心理学の文献を通して、最新の心理学の知見を学ぶと共に、大学院受験を視野に入れた英文和訳も行う。また、テーマに応じて心理学の研究論文を取り上げ、ディスカッションを行い、心理学の研究方法やテーマなどの知見を深めていく。

授業の概要：

心理学のトピックに関して、文献を講読していく中で専門用語とその英語を理解できるようにしたい。また、前半・後半テーマからディスカッションでは、研究論文を取り上げ専門分野の理解を深めていけるようにしたい。

授業の計画：

- 第1回 心理学の特徴
- 第2回 生物学的心理学
- 第3回 心理発達Ⅰ
- 第4回 心理発達Ⅱ
- 第5回 感覚と知覚
- 第6回 学習と条件づけ
- 第7回 動機づけ
- 第8回 ディスカッションⅠ
- 第9回 心理学的障害
- 第10回 異常と正常
- 第11回 発達的問題
- 第12回 心理療法のアプローチⅠ
- 第13回 心理療法のアプローチⅡ
- 第14回 社会的影響
- 第15回 ディスカッションⅡ

授業方法：

配布プリントに沿った解説と課題・ディスカッションを中心に進めていく。授業外の課題（宿題）を課すこともある。

達成目標：

心理学の様々な領域の専門用語とその英語を理解し、心理学の専門分野の特徴を把握できることを目指す。

評価方法：

- 出席回数基準をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。
- S：専門用語とその英語を理解し、専門分野について要約して説明できる
 - A：専門用語とその英語を理解し、ある程度専門分野について要約して説明できる
 - B：専門用語とその英語をある程度理解し、専門分野について要約して説明できる
 - C：専門用語とその英語を部分的に理解し、専門分野について説明できる
 - D：Cに達していない

教科書：

なし

参考文献：

内田一成 監訳 『ヒルガードの心理学 第15版』 金剛出版 23,100円
 Smith,E.E et al *Atkinson & Hilgard's Introduction to Psychology* Wadsworth Pub Co 19,232円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K28101	心理学データ解析 I	2	2	坂本真也

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
記述統計, 表計算, 相関, χ^2 検定	コミュニケーション力 分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

心理現象について調査や実験で得られるデータは、数量化され、統計的に検討を行っていく。その際、そのデータはどのような意味であるのか、統計処理を行い何が表現されているのかなど理解する必要がある。本講義では調査や実験によって得られたデータの意味を理解し、データが示す適切な統計的検討を行い、表やグラフへまとめ、発表できることを目指すことを目的とする。

授業の概要：

まずは、基本的な統計データの読み取りと表計算へのデータ入力と適切な表現ができるよう、調査や実験で得られたデータの種類や意味を理解し、データに応じた統計的検討の方法（前半では記述統計を中心に、後半では相関や χ^2 検定）を学習し、分析結果の発表する技能の習得を目指していく。

授業の計画：

- 第1回 心理学におけるデータとは
- 第2回 データの種類と意味
- 第3回 データの図表化による表現
- 第4回 記述統計（代表値と散布度①）
- 第5回 記述統計（代表値と散布度②）
- 第6回 記述統計（代表値と散布度③）
- 第7回 まとめと発表 I
- 第8回 相関とは
- 第9回 共分散と散布図
- 第10回 相関係数と相関の検定
- 第11回 ノンパラメトリック検定とは
- 第12回 χ^2 検定①
- 第13回 χ^2 検定②
- 第14回 χ^2 検定③
- 第15回 まとめと発表 II

授業方法：

配布プリントに沿って解説を行い、表計算ソフトを用いてデータ入出力、統計的検討等の課題について説明を行い、グループ発表を含めて進めていく。授業外の課題（宿題）を出す場合もある。

達成目標：

心理学におけるデータの意味や統計方法を理解し、適切な図表等を用いて説明・発表できる技能を習得する。

評価方法：

出席回数基準をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

- S：データの意味・統計方法を理解し、適切な表現で説明することができる
- A：データの意味・統計方法を理解し、ある程度適切な表現で説明できる
- B：データの意味・統計方法を理解し、部分的に説明ができる
- C：データの意味・統計方法を部分的に理解し、説明できる
- D：Cに達していない

教科書：

なし

参考文献：

- 田中・山際 共著 『ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法』 教育出版 3,045 円
- 小野寺・菱村 著 『文科系学生のための新統計学』 ナカニシヤ出版 2,625 円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K28201	心理学データ解析Ⅱ	2	2	坂本真也

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
データ尺度, 因子分析, t検定, 分散分析, 多重比較	コミュニケーション力 分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

心理学と関連する領域において、その関係を客観的データとして数量的に把握し統計・分析することが重要である。前期の「心理学データ解析Ⅰ」に引き続き、心理学研究における測定とデータ解析について理解し、その技法を習得することを目的とする。

授業の概要：

まず、調査によって得られるデータにはどのようなものがあり、何を測定しているのか検討・解説する。また、平均値の差の検定（t検定、分散分析）や尺度作成の方法として因子分析についても実践的に学んでいく。

授業の計画：

- 第1回 データ尺度
- 第2回 妥当性と信頼性
- 第3回 有意性検定について
- 第4回 2つの平均値の差の検定①
- 第5回 2つの平均値の差の検定②
- 第6回 2つの平均値の差の検定③
- 第7回 発表Ⅰ
- 第8回 分散分析①
- 第9回 分散分析②
- 第10回 分散分析③
- 第11回 発表Ⅱ
- 第12回 因子分析①
- 第13回 因子分析②
- 第14回 因子分析③
- 第15回 発表Ⅲ

授業方法：

配布プリントに沿って解説を行い、表計算ソフトを用いてデータ入出力、統計的検討等の課題について説明を行い、グループ発表を含めて進めていく。授業外の課題（宿題）を出す場合もある。

達成目標：

心理学におけるデータの意味や統計方法を理解し、適切な図表等を用いて説明・発表できる技能を習得する。

評価方法：

- 出席回数基準をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。
- S：データ間の差の検定や尺度研究の方法を理解し、適切な表現で説明することができる
 - A：データ間の差の検定や尺度研究の方法を理解し、ある程度適切に説明することができる
 - B：データ間の差の検定や尺度研究の方法を理解し、部分的に説明ができる
 - C：データ間の差の検定や尺度研究の方法を部分的に理解し、説明できる
 - D：Cに達していない

教科書：

なし

参考文献：

- 田中・山際 共著 『ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法』 教育出版 3,045円
- 小野寺・菱村 著 『文科系学生のための新統計学』 ナカニシヤ出版 2,625円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K20501	人間関係の心理学 I	2	2	三後美紀

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心のなりたち、対人認知、動機づけ、態度変容、集団の影響	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

われわれ人間は、人や社会との関係を持ちながら生きている社会的存在であり、他者や社会から影響を受けながら、また一方では他者や社会に影響を与えながら行動しています。このような互いに影響を及ぼしている日常的な対人関係について心理学的な視点から再考し、周辺にある事象や自分の行動に対してさまざまな視点で捉えようとする思考力を身につけることを目的とします。

授業の概要：

はじめに社会の中で自己がどのように形成されてきているのかについて概観します。次に、対人関係における人間の行動や心の動きについて心理学の基礎知識を身につけながら、個人の行動に他者がどのようにかかわっているのかを検討していきます。

授業の計画：

第1回 イントロダクション
 第2回～第4回 心のなりたちと社会の中の自己
 第5回～第7回 社会的欲求と動機づけ
 第8回～第9回 対人認知と態度変容
 第10回～第11回 集団の影響
 第12回～第14回 組織のなかの人間関係
 第15回 まとめ

授業方法：

基本的には講義形式で行いますが、必要に応じて配布資料や映像資料などを用いて理解を深めます。

達成目標：

対人関係を含む、われわれの身近にある事象を心理学的に捉えた知見を学ぶことで、分析・総合の思考力と判断力の基礎を学生自身が身につけます。

評価方法：

期末試験（100%）

教科書：

なし

参考文献：

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K20601	心のケアの心理学	2	2	高橋昇

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理療法、カウンセリング技法、臨床への適用	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

心理療法の基礎についてさまざまな技法における特徴と具体的な内容を学習していく。その中でそれぞれの人間観を理解し、類似点や相違など具体的な問題について比較検討しながら進めていく。

授業の概要：

この授業では、まず心理療法とは何かを学び、さまざまな心理療法が存在することを治療構造の側面、臨床場面での適用の相違や特徴など、具体的で実践的な理解と学習を進めていく。

授業計画：

1. 心理療法とは
2. 心へのかかわり方
3. 精神分析の基礎理論
4. 心理療法としての精神分析
5. フロイト以後の理論
6. 交流分析
7. 復習
- 8～9. クライアント中心療法
10. フォーカシング
11. 自律訓練
12. 認知行動療法
13. 芸術療法の理論
14. 芸術療法の実践
15. まとめ

授業方法：

テキストに基づいて、購読しながらそれに沿って進めていく。そしてその時々テーマについて、具体的な例を考えながら理解できるようにしていく。

達成目標：

心理療法とその理論について基本的な概念と用語を学び、臨床実践に対する理解を深めること。

評価方法：

定期試験によって評価する。

教科書：

『やさしく学べる心理療法の基礎』 窪内節子・吉武光世著 培風館 2,625円（税込み）

参考文献：

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K23101	学習心理学	2	2	芳賀康朗

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学習と適応, 条件づけ, 認知的学習, 社会的学習	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

成育後のヒトが示すほとんどの行動は生後の経験を通じて学習されたものである。したがって、学習過程の研究は人間行動の理解にとって不可欠であるといえる。この授業ではヒトや霊長類動物の発達や環境適応において重要な役割を果たしている学習行動に関する代表的な理論や研究結果を紹介し、学習という心的過程のメカニズムについて考えていく。

授業の概要：

馴化、鋭敏化、条件づけといった基本的な学習現象から、概念形成、模倣といった複雑な情報処理システムに基づいた学習現象までを解説する。さらにこうした学習現象と関連する心理過程（記憶や動機づけ）のはたらきや、比較心理学や発達心理学的観点からみた学習の意義についても考えていく。

授業の計画：

- 第1回 学習の定義・学習の様式
- 第2回 行動の分類
- 第3回 馴化と鋭敏化
- 第4回 古典的条件づけの形成
- 第5回 古典的条件づけの消去と般化
- 第6回 古典的条件づけの隠蔽と阻止
- 第7回 オペラント条件づけの形成
- 第8回 オペラント条件づけにおける強化
- 第9回 強化スケジュール
- 第10回 条件づけの応用
- 第11回 洞察学習と概念形成
- 第12回 社会的学習
- 第13回 技能の習得
- 第14回 動物の学習行動
- 第15回 学習と記憶の生理学的基礎

授業方法：

プリントと映像資料を使いながら進めていく。授業内容と関連した課題の提出や小テストも実施する予定である。授業の進行を妨げる行為（私語や飲食）はもちろん、授業開始20分以降の遅刻は厳禁とする。

達成目標：

学習における普遍の特徴と種特異性、学習と適応の関連性について、広い視野から俯瞰できるようになることを目指す。

評価方法：

出席回数の基準（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書：

なし

参考文献：

実森・中島共著『コンパクト新心理学ライブラリ2 学習の心理』サイエンス社 1,575円
岡田・廣中・宮森共著『コンパクト新心理学ライブラリ14 生理心理学』サイエンス社 2,310円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K23201	パーソナリティの心理学	2	2	坂本真也

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
パーソナリティ（人格）、類型論、特性論、心理査定（心理アセスメント）	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

人は、それぞれ主体的に自身の考えや感情の中で行動を取り、一人ひとり異なっている。パーソナリティ（Personality：人格または性格）とは、このような個人の特徴的な思考、感情、行動の様式などを説明する概念である。本講義では、このパーソナリティについて多角的視点から理解し、その特徴を把握するためアセスメントの方法についても学ぶことを目的とする。

授業の概要：

パーソナリティについて、様々なアプローチから学習していくことで、パーソナリティの捉え方や構造を理解していく。また、発達や障害等についても学び、人格の基本的な測定方法の習得を目指す。

授業の計画：

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 パーソナリティ（人格）とは
- 第3回 特性論と類型論
- 第4回 人格と知能
- 第5回 人格理論Ⅰ（精神分析的アプローチ）
- 第6回 人格理論Ⅱ（行動主義的アプローチ）
- 第7回 人格理論Ⅲ（認知的アプローチ）
- 第8回 人格理論Ⅳ（人間性アプローチ）
- 第9回 パーソナリティの発達
- 第10回 パーソナリティ障害
- 第11回 人格のアセスメント
- 第12回 投影法
- 第13回 質問紙法
- 第14回 作業検査法
- 第15回 まとめ

授業方法：

配布プリントに沿った解説と課題を中心に進めていく。必要に応じてグループワークや検査等の実習を行い、体験的に理解することを促したい。

達成目標：

パーソナリティの諸理論を理解し、人格検査の基本的な手続きや方法を習得する。

評価方法：

- 出席回数基準をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。
- S：人格理論の特徴やアセスメントの基本的な方法について理解して説明できる
 - A：人格理論の特徴やアセスメントの基本的な方法についてほとんど理解できている
 - B：人格理論の特徴やアセスメントの基本的な方法について間違いはあるものの理解している
 - C：人格理論の特徴やアセスメントの基本的な方法について部分的に理解している
 - D：Cに達していない

教科書：

なし

参考文献：

西川・大石 編 『人格発達心理学』 ナカニシヤ出版 2,520円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K20801	人間関係の心理学Ⅱ	2	2	三後美紀

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
キャリア発達、職業選択、組織社会化、キャリア・ストレス	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

近年、わが国における従来の雇用システムが見直され、個人の働き方が問い直されています。そもそも私たちはなぜ働くのでしょうか。また、児童期や青年期にはどのように職業観が形成され、組織参入時にはどのような課題があるのでしょうか。また、他者からのかかわりは働き方にどのような影響を及ぼすのでしょうか。組織の中での個人の成長や発達について、心理学的な視点から再考します。

授業の概要：

心理学の基礎知識を身につけながら社会の中での個人の成長についての理論を学び、同時にその課題や問題点を論じていきます。

授業の計画：

第1回～第2回	人はなぜ働くのか
第3回～第5回	ライフサイクルとキャリア発達課題
第6回～第7回	パーソナリティと職業選択
第8回～第10回	組織社会化
第11回～第12回	キャリア・ストレスとワークライフ・バランス
第13回～第14回	キャリア発達支援
第15回	まとめ

授業方法：

基本的には教科書に沿った講義形式で行いますが、教科書の内容をより深く理解するために前もって必要だと思われる心理学的知見を配布資料や映像資料などを用いて紹介します。

達成目標：

組織の中での個人の成長という問題について心理学的に捉えることで、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力を学生自身が身につけます。

評価方法：

期末試験（100%）

教科書：

二村英幸 『個と組織を生かすキャリア発達の心理学』 金子書房（2400円＋税）

参考文献：

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K20901	心の発達の心理学	2	2	坪井裕子

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
発達 子ども 乳児期 幼児期 学童期	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, 価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ：

発達心理学では、人間の一生を通じて心のはたらきや内容がいかに変化していくのかを学びます。さらに、心理臨床の事例を提示して、発達に必要な援助についても学習していきます。

授業の概要：

前期は乳幼児期から学童期にいたる発達の基礎的な事柄を学びます。

授業の計画：

- 1 オリエンテーション；発達心理学とは
- 2 発達の基礎（1）ヒトの発達・発達の特徴
- 3 発達の基礎（2）初期経験・発達段階
- 4 乳児期の特徴（1）身体と運動の発達
- 5 乳児期の特徴（2）認知・思考の発達
- 6 幼児期の特徴（1）人格の発達
- 7 幼児期の特徴（2）愛着とは
- 8 幼児期の課題（3）子どもの虐待
- 9 学童期の特徴（1）身体と運動の発達
- 10 学童期の特徴（2）認知・思考の発達
- 11 学童期の特徴（3）人格の発達
- 12 乳児期の心理臨床
- 13 学童期の心理臨床
- 14 子どものセラピー
- 15 まとめ

授業方法：

基本的には講義を中心に行います。必要に応じて、視聴覚教材を用います。

達成目標：

発達上の変化の大きい幼児期・児童期から青年期に至る年齢段階を中心として、様々な角度から発達についての基本的な知識を習得し理解を深めることを目標とします。

評価方法：

期末試験（100％）で評価します。

- 基本的な知識のみならず様々な角度から発達について十分に理解している・・・S
 基本的な知識のみならず発達についてかなり理解している・・・A
 基本的な知識は習得しているが発達についての理解はやや不十分・・・B
 基本的な最低限の知識は習得している・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

岩川 淳他著「子どもの発達臨床心理」（昭和堂／2,400円＋税）

参考文献：

授業の中で提示します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K21101	社会心理学	2	2	中島誠

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	D	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
社会心理学、コミュニケーション、グループ・ダイナミックス	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、効果的な社会参加

授業のテーマ：

人の幸福を最も強く規定するのは人間関係だといわれている。心理学と聞いて多くの人がイメージする臨床心理学も、信頼できる人間関係を基礎にするものである。講義では社会的影響過程や集団の心理について学習する。それによって、他者との接し方や他者との葛藤について理解を深めることを目指す。

授業の概要：

講義では科学的な視点から、社会的動物としての人間の心理について、対人関係、集団を中心とした応用的な知識を概説する。ただし、講義は理論の紹介にとどまらず、ディスカッション等の実習が行われる。他者との葛藤体験を通じ、より具体的で身近な現象から理論を理解していく。

授業の計画：

- | | | |
|----|------------|--------------------|
| 1 | イントロダクション1 | 心理学の考え方 |
| 2 | イントロダクション2 | 社会心理学とは |
| 3 | 集団 | 社会心理学実験の映像視聴 |
| 4 | 社会的影響1 | 集団の影響力、社会的促進、抑制 |
| 5 | 社会的影響2 | 集団アイデンティティ、ステレオタイプ |
| 6 | 社会的影響3 | コミュニケーションゲーム |
| 7 | 社会的影響4 | コミュニケーションの理論 |
| 8 | 社会的影響5 | 説得の理論と技法 |
| 9 | 社会的影響6 | 集団討議に関するゲーム |
| 10 | 社会的影響7 | 集団討議の理論 |
| 11 | 集団の心理1 | リーダーシップに関するゲーム |
| 12 | 集団の心理2 | リーダーシップの理論 |
| 13 | 集団の心理3 | 同調と服従 |
| 14 | 集団の心理4 | 組織における葛藤とその解決 |
| 15 | 集団の心理5 | まとめ |

授業方法：

講義に加え、演習や映像資料の視聴を行う。演習や映像資料の視聴後には、受講者間で体験の共有を行い、コミュニケーションやグループ・ダイナミックスの理論に対する理解を深める。

達成目標：

- 目標1：対人認知や社会的影響、対人葛藤の理論、専門用語について説明できる。
 目標2：専門知識を用いて自らの相互作用の体験を省察し、自他の行動様式の改善方法を提案できる。

評価方法：

課題への取り組み（小レポート、目標2と対応）：40%、期末試験（筆記、目標1、目標2と対応）60%
 専門的観点から、自身や他者、組織の対人相互作用の改善点について提案できる・・・S
 専門的観点から、自身の対人相互作用の改善点について提案できる・・・A
 自身の対人相互作用を、専門的理論や用語を正しく用いて記述できる・・・B
 専門的理論や用語について理解し、説明できる・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

特になし、適宜授業内で紹介する

参考文献：

特になし、適宜授業内で紹介する

実験・実習・教材費：

特になし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K21301	動機づけの心理学	2	2	芳賀康朗

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
動機づけ、適応、生理的欲求、内発的動機づけ、社会的動機づけ	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

動機づけとは、行動を発現させ、方向づけ、持続させる心的過程である。この授業では動機づけの適応的意義についてヒトとそれ以外の動物を比較しながら解説していく。またヒトの生活場面（特に学習と教育）における動機づけの問題についても、研究例をあげながら考えていく。

授業の概要：

心理学における動機づけ研究の枠組みを紹介し、4種類の動機づけ過程（生理的欲求、内発的動機づけ、社会的動機づけ、学習性の動機づけ）について、種間比較の観点から説明していく。併せて、それらの過程の背後にある生理学的メカニズムについても解説する。さらに、「やる気」や「意欲」のコントロールといった日常生活における動機づけの問題について、教育心理学の研究例をもとにして考えていく。

授業の計画：

- 第1回 動機づけのはたらき
- 第2回 動機づけの分類
- 第3回 生理的欲求①
- 第4回 生理的欲求②
- 第5回 内発的動機づけ①
- 第6回 内発的動機づけ②
- 第7回 社会的動機づけ①
- 第8回 社会的動機づけ②
- 第9回 学習性の動機づけ①
- 第10回 学習性の動機づけ②
- 第11回 動機づけの生理学的メカニズム①
- 第12回 動機づけの生理学的メカニズム②
- 第13回 動機づけと情動
- 第14回 生活場面における動機づけの問題①
- 第15回 生活場面における動機づけの問題②

授業方法：

プリントや映像資料を使いながら進めていく。授業内容と関連した課題の提出や小テストも実施する予定である。授業の進行を妨げる行為（私語や飲食）はもちろん、授業開始20分以降の遅刻は厳禁とする。

達成目標：

ヒトの動機づけの特徴について種間比較の観点から相対的に理解するとともに、動機づけとそれ以外の心的過程との関連性について俯瞰的に捉えることができるようになることを目指す。

評価方法：

出席回数の基準（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書：

なし

参考文献：

- 岡田・廣中・宮森 共著『コンパクト新心理学ライブラリ 14 生理心理学』サイエンス社 2,310 円
- 大山正 編著『コンパクト新心理学ライブラリ 16 実験心理学』サイエンス社 1,942 円
- 上淵寿 編著『動機づけ研究の最前線』北大路書房 3,150 円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K20701～05	心理学基礎実習 I	2	2	芳賀・廣藤・栗野・高橋・渡邊

期間	曜日	時限	備考：2時限連続 ※どの授業コードで登録するかは初回授業時に決定
前期	金	3・4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理実験, 心理検査, 報告書作成	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 効果的な社会参加

授業のテーマ：

心理学の専門的研究を行うために必要な実験と検査の実施方法，データ分析方法，報告書作成方法を習得すること目的とする。この授業の受講においては，心理学概論Ⅰ・Ⅱ，教育心理学Ⅰ・Ⅱ，臨床心理学Ⅰ・Ⅱなどの科目を履修していることが前提となる。

授業の概要：

実験心理学，教育心理学，臨床心理学の分野で代表的な6テーマを取り上げる。実験や検査の方法について実験者（検査者）および研究対象者（実験参加者・被検査者）として参加体験することで学ぶ。また，実習で得られたデータを処理して報告書を提出することで，データ処理と研究報告書の作成方法についても学ぶ。

授業の計画：

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 各実習課題の概要説明
- 第3回 投映法Ⅰ（TAT）①
- 第4回 投映法Ⅰ（TAT）②
- 第5回 幾何学的錯視①
- 第6回 幾何学的錯視②
- 第7回 報告書の作成方法①
- 第8回 報告書の作成方法②
- 第9回 知能検査Ⅰ（京大NX）①
- 第10回 知能検査Ⅰ（京大NX）②
- 第11回 一対比較法による尺度構成①
- 第12回 一対比較法による尺度構成②
- 第13回 性格検査（YG性格検査）①
- 第14回 性格検査（YG性格検査）②
- 第15回 プライミング効果

授業方法：

参加者を小グループに分割して2週間で1テーマのペースで実習を行い，その翌週に報告書を提出する。報告書の内容に修正を加える必要がある場合には再提出を求める。前項「授業の計画」に示した課題の順番はグループごとに異なる。途中で履修放棄は他の受講生の迷惑となるので絶対に避けてほしい。心理統計法Ⅱ・Ⅲおよび心理学データ解析Ⅰ・Ⅱと併せて受講すること。

達成目標：

3年次以降の専門的な心理学研究に必要な基礎知識と実験と検査の実施技能，データ処理方法，科学論文の作成方法を身につける。

評価方法：

出席と報告書提出の基準をクリアしていることを前提とし，試験（詳細は授業で説明）の評点によって評価する。報告書は科学論文の要件を満たしていることが求められる。遅刻，無断欠席，報告書提出の遅れは一切認めない。

教科書：

『人間環境大学 心理学基礎実習テキスト』 初回授業時に配布

参考文献：

授業中に適宜指示する

実験・実習・教材費：

実習費として15,000円徴収する（テキスト，テスト用紙，実験用具，消耗品費として）

準備品：

関数電卓を毎時間携帯すること。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K21201～05	心理学基礎実習Ⅱ	2	2	芳賀・廣藤・栗野・高橋・渡邊

期間	曜日	時限	備考：2時限連続 ※どの授業コードで登録するかは初回授業時に決定
後期	金	3・4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理実験, 心理検査, 報告書作成	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 効果的な社会参加

授業のテーマ：

心理学の専門的研究を行うために必要な実験と検査の実施方法, データ分析方法, 報告書作成方法を習得すること目的とする。この授業の受講においては, 心理学概論Ⅰ・Ⅱ, 教育心理学Ⅰ・Ⅱ, 臨床心理学Ⅰ・Ⅱなどの科目を履修していることが前提となる。

授業の概要：

実験心理学, 教育心理学, 臨床心理学の分野で代表的な6テーマを取り上げる。実験や検査の方法について実験者(検査者)および研究対象者(実験参加者・被検査者)として参加体験することで学ぶ。また, 実習で得られたデータを処理して報告書を提出することで, データ処理方法と研究報告書の作成方法についても学ぶ。

授業の計画：

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 投映法Ⅱ(ロールシャッハ)①
- 第3回 投映法Ⅱ(ロールシャッハ)②
- 第4回 知覚-運動協応学習①
- 第5回 知覚-運動協応学習②
- 第6回 第2回・第3回の追加実習
- 第7回 第4回・第5回の追加実習
- 第8回 知能検査Ⅱ(WAIS)①
- 第9回 知能検査Ⅱ(WAIS)②
- 第10回 パーソナル・スペース①
- 第11回 パーソナル・スペース②
- 第12回 描画法(バウム・テスト)①
- 第13回 描画法(バウム・テスト)②
- 第14回 メンタル・ローテーション①
- 第15回 メンタル・ローテーション②

授業方法：

参加者を小グループに分割して2週間で1テーマのペースで実習を行い, その翌週に報告書を提出する。報告書の内容に修正を加える必要がある場合には再提出を求める。前項「授業の計画」に示した課題の順番はグループごとに異なる。途中で履修放棄は他の受講生の迷惑となるので絶対に避けてほしい。心理統計法Ⅱ・Ⅲおよび心理学データ解析Ⅰ・Ⅱと併せて受講すること。

達成目標：

3年次以降の専門的な心理学研究に必要な基礎知識と実験と検査の実施技能, データ処理方法, 科学論文の作成方法を身につける。

評価方法：

出席と報告書提出の基準をクリアしていることを前提とし, 試験(詳細は授業で説明)の評点によって評価する。報告書は科学論文の要件を満たしていることが求められる。遅刻, 無断欠席, 報告書提出の遅れは一切認めない。

教科書：

『人間環境大学 心理学基礎実習テキスト』 初回授業時に配布

参考文献：

授業中に適宜指示する

実験・実習・教材費：

実習費として15,000円徴収する(テキスト, テスト用紙, 実験用具, 消耗品費として)

準備品：

関数電卓を毎時間携帯すること。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L27101	学校体験 I	2	1	岡良和

期間	曜日	時限	備考：9月初旬（5日間）に実施する
前期			

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教職に対する動機付け、教職の適性	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

授業見学や生徒とのふれあいを通して教育職を理解しその適性を考える。

授業の概要：

実習校の特性を理解したうえで、教員の立場で授業や部活動の見学、また、清掃などの活動を生徒と共にするなどして、学校現場の観察を通じて、教諭となる意欲と心構えを培う。

授業の計画：

実習先：人間環境大学岡崎学園高等学校
別紙記載

授業方法：

事前指導を経て高等学校での授業、学級経営、学校運営の観察中心に実習を行いその成果を日誌にまとめる。実習後は報告会を兼ねた事後指導を行う。

達成目標：

「キャリアデザイン I」や「教職概論」科目で得た知識を踏まえ、学校現場における生徒の現状と教員の責務を理解する。生徒や教員とのコミュニケーションができるようになる。観察した事と体験を踏まえた自らが理想とする学校や教師像を文章にまとめることができる。

評価方法：

レポート試験による
 教員の責務を十分に理解したうえで説明できる・・・S
 教員の責務をほぼ理解している・・・・・・・・・・A
 教員の責務をある程度理解している・・・・・・・・B
 教員の責務を最低限理解している・・・・・・・・C
 Cのレベルに到達していない・・・・・・・・・・D

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

実習校までの交通費などは各自負担

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L27201	学校体験Ⅱ	2	1	岡良和

期間	曜日	時限	備考：2月中旬（5日間）に実施する
後期			

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教職に対する動機付け、教職の適性	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

授業観察、生徒とのふれあい、教員の補助

授業の概要：

実習校の特性を理解したうえで、教員の立場で授業や部活動の見学、また、清掃などの活動を生徒と共にするなどして、学校現場の観察を通じて、教諭となる意欲と心構えを培う。

授業の計画：

実習先：人間環境大学岡崎学園高等学校
別紙記載

授業方法：

事前指導を経て高等学校での授業、学級経営、学校運営の観察と補助を中心に実習を行う。実習後は報告会を兼ねた事後指導を行う。

達成目標：

学校体験Ⅰでの成果を踏まえて、学校現場における生徒の現状と教員の責務を十分に理解する。生徒や教員とのコミュニケーションを自分からすすんでできるようになる。観察・体験した事を踏まえて、教育職に向けて自らが取り組むべき課題を文章にまとめることができる。

評価方法：

レポート試験による
 教育職の意義を十分に理解したうえで説明できる・・・S
 教育職の意義をほぼ理解している・・・・・・・・・・A
 教育職の意義をある程度理解している・・・・・・・・B
 教育職の意義を最低限理解している・・・・・・・・C
 Cのレベルに到達していない・・・・・・・・・・D

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

高校までの交通費などは各自負担

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L29101	日本国憲法	2	2	松村修平

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
個人の尊厳、人権、自由	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、効果的な社会参加

授業のテーマ：

憲法は、すべての法律の基礎となり、わが国の社会の基盤を支える重要な法律ですが、堅苦しいイメージがあるため、自分には関係がないと思っている方も少なくないかもしれません。しかし、実際には、我々の生活は憲法と密接に関わっています。そこで、この講義を通じて、少しでも憲法や人権を身近なものとして感じてもらいたいと考えています。

授業の概要：

憲法について、具体的な事例を用いながら平易に説明します。

授業の計画：

- 1 イントロダクション
- 2 憲法の基本原理
- 3～10 人権各論
- 11 統治機構概論
- 12 権力分立
- 13 国会、内閣
- 14 裁判所
- 15 前期の復習

授業方法：

講義が中心ですが、なるべく具体的な事例を用いて、受講生に親しみやすい授業内容を目指します。

達成目標：

憲法の基礎的な知識の習得を目指します。

評価方法：

期末レポートによる

教科書：

「憲法」(第5版) 芦部信喜(著)・高橋和之(補訂) 有斐閣

参考文献：

六法(出版社は問わない)

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L29201	スポーツ実習 I	2	1	永田恵理

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スポーツを楽しむ、体力づくり、基本技術の習得、仲間作り	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、効果的な社会参加

授業のテーマ：

卓球を行うことで、運動不足解消や体力向上を目指す。さらに、基礎練習やゲームを通じて体を動かす爽快感や新しい仲間を作り活動するなど、スポーツをする楽しさを実感できると良い。

授業の概要：

卓球は誰もが気軽に行えるスポーツであるので、更に技術を身に付けることで、体力差や男女差に関係なくゲームを楽しめると良い。また、基礎練習やゲームを行う中で、他の受講生とコミュニケーションをとり、親交を深める場になると良い。

授業の計画：

- (1) 基礎練習（フォアハンド、バックハンド、ドライブ、ツッツキ、スマッシュ、サーブ）
- (2) 応用練習（基礎練習を複合させた練習）
- (3) シングルスゲーム（ルール、ゲームの流れの学習）
- (4) ダブルスゲーム（ルール、ゲームの流れの学習）
- (5) ゲーム（リーグ戦、団体戦など）

授業方法：

一回の授業の流れは、ウォーミングアップ、技術練習、ゲーム、クーリングダウンとする。技術練習の内容を徐々にレベルアップさせることにより、ゲームの内容を向上できると良い。

達成目標：

卓球の技術を高めることや、ゲームに勝つことも大事であるが、最も大切なのは、積極的に参加し、真面目に取り組むことである。つまり、運動能力云々より、技術向上の為に努力できるかが大事であり、また周囲と協力し、皆が楽しく円滑に活動できるよう、率先して行動できるようになることが目標となる。

評価方法：

期末の実技試験による。

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

備考：

運動できる服装と体育館シューズが必要

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L29301	スポーツ実習Ⅱ	2	1	永田恵理

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スポーツを楽しむ、体力づくり、基本技術の習得、仲間作り	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、効果的な社会参加

授業のテーマ：

バドミントンを行うことで、運動不足解消や体力向上を目指す。また、ゲームやその運営をすることにより、仲間作りや互いに協力して活動する能力を身に付けることをテーマとする。さらに、スポーツの楽しさを実感し、生涯を通じてスポーツをする大切さや、その意義について学習する。

授業の概要：

バドミントンは運動量が多く、様々な動きを必要とするため、授業を通して運動不足を実感したり、運動習慣の必要性を感じる場になると良い。また、リーグ戦などを円滑に進めるために周囲と協力して活動し、他の受講生とコミュニケーションをとることで、親交を深める場になると良い。

授業の計画：

- (1) 基礎練習（クリアー、ドロップ、ヘアピン、スマッシュなど）
- (2) 応用練習（基礎練習を複合させた練習）
- (3) シングルスゲーム（ルール、ゲームの流れの学習）
- (4) ダブルスゲーム（ルール、ゲームの流れの学習）
- (5) ゲームやその運営（リーグ戦、団体戦など）

授業方法：

一回の授業の流れは、ウォーミングアップ、基礎練習、ゲーム、クーリングダウンとする。基礎練習、チーム練習の内容を徐々にレベルアップさせることにより、ゲームの内容を向上できると良い。

達成目標：

バドミントンの技術を高めることやゲームに勝つことも大事であるが、最も大切なのは、積極的に参加し、真面目に取り組むことである。つまり、運動能力云々より、技術向上の為に努力できるかが大事であり、また周囲と協力し、皆が楽しく円滑に活動できるよう、率先して行動できるようになることが目標となる。

評価方法：

期末の実技試験による。

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

備考：

運動できる服装と体育館シューズが必要

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D31001	華道文化論A	2	2	三浦友馨

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
・庭先で咲く花を知る・植物の原産地と移動物語・万葉の人々のこのみの花は・平安の人々のこのみの花は・文化人のこのむ花は	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、美的感受性

授業のテーマ：

日本の文化・芸能は、四季の変化の中で生み出され、発展してきた。他文化との関連を見ながらいけばなの原点を見つめる。

授業の概要：

- ・春・夏に咲く花の名前、特徴を知らせる。
- ・植物と文化とのかかわりを知らせる。

授業の計画：

- ・三回のレポートに基づき授業を展開する。
- ・発表することにより、知識の蓄積をめざす。

授業方法：

基本的には、講義方式をとるが、実際には身のまわりに咲く、草花に触れながら理解を深める。3回のレポート提出により、学生の発表の場を授業とする。

達成目標：

古代・近代にとりあげられた様々の植物の存在を知る。個々の植物の持つ特徴を知る。

評価方法：

レポート提出及び出席状況による。

教科書：

なし

参考文献：

仙伝抄、立華大全、池坊花伝書などの古文献

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D31101	華道文化論B	2	2	三浦友馨

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
・庭先で咲く花を知る・植物の原産地と移動物語・万葉の人々のこのみの花は・平安の人々のこのみの花は・文化人のこのむ花は	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、美的感受性

授業のテーマ：

いけばなや植物は、様々な行事に大きな影響を与えてきた。将来、植物が人々の生活にいかなる活力を与えるのか、思考を深める。

授業の概要：

秋の七草、クリスマスの花、正月の花について考え、授業での発表により知識を深める。

授業の計画：

- ・秋の七草の特徴を知るためのレポートとその発表の場としての授業を展開する。
- ・クリスマスの花、正月の花も同様に展開し、新たな行事の花について考察をする。

授業方法：

基本的には、講義方式をとるが、3回のレポート提出により、学生の発表の場を授業とする。

達成目標：

今日の日本人が大切にしている様々な行事と植物との関連を知る。新たな行事の花を考えてみる。

評価方法：

レポート提出及び出席状況による。

教科書：

なし

参考文献：

仙伝抄、立華大全、池坊花伝書などの古文獻

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D32901	華道実習 I A (生花)	2	(1)	加藤碧玻

期間	曜日	時限	備考：I A・I B 両方取得して2単位
通年	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
楽しい時間、癒し、対話	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性

授業のテーマ：

生花の基本的技法、知識を学ぶ。
池坊華道の様式である「生花」の実習を通して、日本伝統文化の感性と意義を見出し、国際人としての人格形成の一助とする。

授業の概要：

1. 草木の見つめ方、ため方、省略など基本的な花材の生かし方を学ぶ。
1. 草木の自然と出生の表現を学ぶ。
1. 一種生、二種生を中心とした基本的な正風体生花を修得する。
- ◎一種生
 1. 生花の役枝真副体での構成を学ぶ
 1. 真副体のあしらいの枝、方向性を学ぶ
- ◎二種生
 1. 二種生の体を学ぶ
 1. 真副の草木に対しての体の草木の選び方を学ぶ

授業の計画：

第1～第15 一種生
第16～第30 二種生
※季節の植物を生けますので、その植物の一番美しい時を選びますから変動も有ります。

授業方法：

手本を生けながら説明した後、実習を行い、生け上がった作品を一作ずつ手直しをする。

達成目標：

自然界にある（生育している）植物の美しさをとらえる目を養う。

評価方法：

半期に一度の実習テストの結果による評価 40%
授業態度 60%

教科書：

なし

参考文献：

「池坊いけばなテキスト生花 I・生花 II」（日本華道社／各 683 円）

実験・実習・教材費：

26,040 円（「生花」花代 @ 840 × 30 回分 + @ 840 正月花）
道具を持っていない場合は、別途道具代が必要（約 3,100 円）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33001	華道実習 I B (自由花)	2	(1)	加藤碧玻

期間	曜日	時限	備考：I A・I B 両方取得して2単位
通年	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
・たての花をいけてみよう。・よこの花をいけてみよう。・ななめの花をいけてみよう。・自由花入門コースを経験してみよう。	価値判断力 (意思決定力)、グローバルな視野、美的感受性

授業のテーマ：

教室の使い方、道具、花材の基本的使い方を身につける。
 華道実習を通し、日本の伝統文化の真髄に触れつつ、その美の鑑賞の仕方を身につける。
 基礎的技術を身につけ、美しい「いけばな」をつくりだす。
 植物の美しさに気がつき、その生かし方を勉強する。

授業の概要：

- ・季節ごとの花材を手にするにより、その性質を学ぶ。
- ・花材の配置、配色による美しい造形を追求する。
- ・花器との調和、飾る場所との調和を追求する。
- ・自由花入門カリキュラムにそって段階を区切り実習を深める。

授業の計画：

第1～第30 入門カリキュラムに添って、花器・花材の取りあつかいを知る。

授業方法：

当日使用する花材の名前や性質について説明する。
 花器を選択し、形づくりを考える。

達成目標：

基礎的な自由花を身につけることと、作法を身につける。

評価方法：

半期に一度の実習テストの結果による評価 40%
 授業態度 60%

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

26,880 円 (「自由花」花代 @840 × 30 回分 + @ 840 × 2 回分 正月花、クリスマス花)
 道具を持っていない場合は、別途道具代が必要 (約 3,100 円)

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D32501～03	茶道実習 I	2	2	神谷昇司

授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
D32501	通年	火	1	
D32502	通年	火	2	
D32503	通年	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
和敬清寂 薄茶 盆略点前 床の間	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、美的感受性

授業のテーマ：

「座礼の日本文化である茶道を通して主客の心を学ぶ」

授業の概要：

点前の規律正しさ、節度ある人との対応の仕方、人間としての本来の姿を養うことを目的とする。亭主と客の動作の実習を通して茶道の真の相を学び、和敬清寂の茶道精神を体得し、人に対しても物に対しても気配りのできる感性豊かな人間形成を目指す

授業の計画：

以下の手順にて実習：

(前期)

- (1) 襖のあけしめ、お辞儀の仕方 真、行、草、お菓子、お茶の頂き方
- (2) (3) ふくさの扱い方、割稽古
- (4) 席入りの仕方、床の拝見
- (5) (6) (7) (8) 盆略点前
- (9) (10) 柄杓の扱い方
- (11) (12) (13) (14) 風炉 薄茶 平点前

(15) 柏露軒茶会

(後期)

- (1) ～ (7) 風炉運び点前
- (8) ～ (14) 炉運び点前
- (15) 柏露軒茶会

授業方法：

授業のはじめに「ことば」「利休道歌」「四規七則」の唱和

前期、後期各一度ずつ名古屋にある神谷柏露軒・孤庵・猿庵にて、茶室見学並びに実習をいたします。

達成目標：

茶道の基本である盆略点前とび薄茶平点前を習得する。茶道文化検定を受検して茶道力を養う。

評価方法：

授業への取り組みを重視。

申請によって裏千家初級の資格（入門・小習・茶箱の許状）が取得できます。

教科書：

『裏千家茶道』（財団法人今日庵発行／900円）

裏千家茶道文化検定3・4級用（1,260円）

参考文献：

実験・実習・教材費：

10,000円（抹茶・菓子代、消耗品費） 道具を持っていない場合は別途道具代が必要（履修の手引き「茶道の許状取得と茶道実習の履修方法」参照）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L10101	日本文学の基礎 I	1・2	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本文学、日本文学史、読解力	コミュニケーション力、美的感受性

授業のテーマ：

奈良時代から明治時代にいたるまでの、日本文学の代表的な作品に触れることにより、美しい日本語表現を味わう、とともに日本文学の基礎的な知識を養う。

授業の概要：

日本文学の代表的な作品についての基礎的な知識を養う。

授業の計画：

- 1 概説
- 2 夏目漱石『坊っちゃん』
- 3 文章表現の基礎 1 文体・主語・述語など
- 4 文章表現の基礎 2 原稿用紙の使い方など
- 5 評論の読解 1
- 6 評論の読解 2
- 7 1から6までのまとめ
- 8 『万葉集』
- 9 『古今和歌集』
- 10 『源氏物語』
- 11 『枕草子』
- 12 『平家物語』
- 13 『奥の細道』
- 14 8から13までのまとめ
- 15 まとめ

授業方法：

講義形式を基本とする。

達成目標：

日本語の表現を正確に理解することができる。
 中学校国語レベルの日本文学史の流れを理解することができる。
 上記の2点を相応に達成している……………A
 上記の2点を相応に達成しているが不十分な点がある……B
 上記の2点の最低限は満たしている……………C
 上記の2点を満たしていない……………D

評価方法：

定期試験による。

教科書：

『新国語便覧』秀学社（定価 620 円）
 夏目漱石『坊っちゃん』（286 円＋税）

参考文献：

授業内で指示する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
L10201	日本文学の基礎Ⅱ	1・2	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読解力、表現力、宮沢賢治	コミュニケーション力、美的感受性

授業のテーマ：

宮沢賢治の、さまざまなジャンルの文学作品に触れ、日本語による表現を正確に読解するとともにレポートの作成を通して基礎的な国語能力の習得をめざす。

授業の概要：

宮沢賢治の童話・短歌・口語詩・文語詩・芸術論などの作品を読む。

授業の計画：

- 1 概説
- 2 『洞熊学校を卒業した三人』 1
- 3 『洞熊学校を卒業した三人』 2
- 4 『洞熊学校を卒業した三人』 3
- 5 『なめとこ山の熊』 1
- 6 『なめとこ山の熊』 2
- 7 『なめとこ山の熊』 3
- 8 『銀河鉄道の夜』 1
- 9 『銀河鉄道の夜』 2
- 10 『銀河鉄道の夜』 3
- 11 短歌
- 12 詩 1
- 13 詩 2
- 14 芸術論
- 15 まとめ

授業方法：

講義形式を基本とするが、適宜学生自らの感想・意見を発表してもらい発表形式も取り入れる。

達成目標：

日本語による表現を正確に読解する。
わかりやすい文章を記述する。

評価方法：

定期試験による。

教科書：

『宮沢賢治全集』 7 (ちくま文庫 1,050 円+税)

参考文献：

授業内で指示する。
宮沢賢治の作品は新潮文庫や岩波文庫などでも手軽に読めるが、現在最も信頼に足るテキストを用いたものとして、ちくま文庫の『宮沢賢治全集』をあげておく。

実験・実習・材料費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L20101	日本の文学（近現代の文学）	2	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
近現代の文学、文学的文章、論理的文章	コミュニケーション力、美的感受性

授業のテーマ：

日本の近現代の文学を的確に読み取るための基礎的能力を会得する。

授業の概要：

新聞のコラム・中学校・高等学校の国語の教科書に載る近現代の文学教材を対象として講義する。

授業の計画：

- 1 はじめに 授業の進め方
- 2 日本語表現の基礎 1
- 3 日本語表現の基礎 2
- 4 コラムを読む 1
- 5 コラムを読む 2
- 6 コラムを読む 3
- 7 1 から 6 までのまとめ
- 8 文学的文章を読む 1
- 9 文学的文章を読む 2
- 10 文学的文章を読む 3
- 11 文学的文章を読む 4
- 12 8 から 11 までのまとめ
- 13 論理的文章を読む
- 14 論理的文章を読む
- 15 まとめ

授業方法：

講義形式を基本とするが、適宜対話形式・発表形式を取り入れる。
教科書の他プリント資料を配布する。

達成目標：

近現代の文学作品を正確に読み取ることができる。

評価方法：

定期試験により評価する。
近現代の文学についてたいへんよく理解している…… S
近現代の文学についてよく理解している…………… A
近現代の文学について理解している…………… B
近現代の文学の基礎的事項について理解している…… C

教科書：

授業には必ず国語辞典（書籍・電子辞書）を持参すること。

参考文献：

授業時に適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L20201	日本のことば I	2	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語の歴史、日本語の文法	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

日本語文法の基礎的な知識を習得する。

授業の概要：

日本語文法の基礎的な事項を習得する。

授業の計画：

- 1 概説
 - 2 国語学の基礎 品詞 1
 - 3 国語学の基礎 品詞 2
 - 4 文の構造 1
 - 5 1～4 のまとめ
 - 6 活用 1
 - 7 活用 2
 - 8 活用 3
 - 9 6～8 のまとめ
 - 10 係り結び 1
 - 11 係り結び 2
 - 12 条件表現
 - 13 指示語
 - 14 10～13 のまとめ
 - 15 全体のまとめ
- ※ 授業計画は、受講生の理解等により変更を行う場合がある。

授業方法：

講義形式を基本とするが、適宜対話形式・発表形式を取り入れる。

達成目標：

日本語の文法についての基礎的な知識を習得する。

評価方法：

- 定期試験 (100%)
- 日本語文法についてたいへんよく理解している…… S
- 日本語文法についてよく理解している…………… A
- 日本語文法について理解している…………… B
- 日本語文法についてだいたい理解している…………… C

教科書：

阪倉篤義 著『改稿 日本語文法の話』教育出版 (2,427 円 + 税)
『新総合 図説国語』東京書籍 (880 円)

参考文献：

朝比奈英夫 他 編『古典入門』清文堂出版 (1,700 円 + 税)
その他は、授業時に適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L20301	中国の文学 I	2	2	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考：教員免許状（国語）取得のための必修科目
前期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読み書き、対話、コミュニケーション	コミュニケーション力

授業のテーマ：

漢文訓読を通して中国の古典を学ぶ。

授業の概要：

漢文訓読の方法を学びつつ、中国古典の代表的な作品を概観していく。

授業の計画：

1. はじめに（概要紹介）
2. 漢字の基礎、漢和辞典の利用
3. 訓点について
4. 漢文の構文
5. 返読文字
6. 再読文字
7. 受身形・使役形
8. 否定形
9. 疑問形・反語形
10. 限定形・累加形
11. 故事成語（守株、矛盾）
12. 故事成語（刻舟求劍）
13. 故事成語（楚共王遺弓、狐假虎威）
14. 故事成語（蛇足）
15. まとめ

授業方法：

教科書にしたがって進める。

達成目標：

- ・漢文訓読の方法を理解できる。
- ・教科書収録の作品を自力で訓読できる。

評価方法：

試験により行う。

- S…漢文訓読の方法を理解し、白文に自力で訓点等を付すとともに、作品の背景等が分析できる
- A…漢文訓読の方法を理解し、教科書収録の作品を自力で訓読するとともに、作品の背景等が分析できる
- B…漢文訓読の方法を理解し、教科書収録の作品を自力で訓読できる
- C…漢文訓読の方法を理解できる
- D…Cのレベルに達していない

教科書：

- (1) 榊原邦彦ほか編『漢文入門』和泉書院、1,260円（税込）。ただし授業期間内に教科書を終了しない。
- (2) 高校等で使用した漢和辞典

参考文献：

必要に応じて提示。

実験・実習・教材費：

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L20401	書道	2	2	衣川彰人

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	1	

授業のキーワード					人間環境大学が育む八つの能力	
書写	書道	文字	毛筆	硬筆	美的感受性	コミュニケーション力

授業のテーマ：

この授業では、①書写書道教育における現状の諸問題と今後の展開について②小・中学校にて行われる国語科の書写教育における楷書と行書の学習についての知識を深める③書字活動を通して行われる他者とのコミュニケーションに必要とされるさまざまな知識を学ぶとともに実技能力の向上を図るという3つのテーマをもとにして講義と実技指導をしていきたい。

授業の概要：

文字を正しく整えて書くための字形のとり方や配字法などのポイントについて講義を交えながら実技指導していく。また、細字（小字）や硬筆の指導も行い、実用の書にも対応できるようにしていきたい。

授業の計画：

- 第1回 用具・用材について
- 第2回 書の美を求めて…書体について
- 第3回 楷書の基本点画
- 第4回 楷書の字形…文字の概形
- 第5回 楷書の字形…画の長短と間隔
- 第6回 楷書の字形…画の方向・接し方
- 第7回 楷書の字形…筆順
- 第8回 楷書の字形…組み合わせ方（左右）
- 第9回 楷書の字形…組み合わせ方（上下）
- 第10回 楷書の字形…組み合わせ方（内外）
- 第11回 行書の運筆・用筆について
- 第12回 行書の字形…点画の変化
- 第13回 行書の字形…点画の省略
- 第14回 行書の字形…点画の連続
- 第15回 行書の字形…筆順の変化

※希望に応じて、年賀状や慶弔の表書きなどの細字（小字）の筆写についての指導も行う。

※毎回の授業にて毛筆と硬筆の筆写を関連させて指導を行う。

授業方法：

講義と実技指導を交えて行う。授業時間の15分程度を書法や字形に関する解説を行ったうえで、残りを実技指導し、毎回、毛筆による清書作品を制作し、その後、硬筆の学習をする。

達成目標：

文字を正しく整えて書くために必要な基礎的な知識を理解し、それらを活かしながら自らの書字能力の向上を図ることを目標とする。

評価方法：

- 書写書道の実技を含めた書字に関するレポートによる（100％）。
- 文字を書くための知識を十分に理解し、書字能力の向上を図ることができた……………S
 - 文字を書くための知識への理解を深めながら、書字能力の向上を図ることができた……………A
 - 文字を書くための知識を学ぶとともに、書字能力の向上を図ることができた……………B
 - 文字を書くための知識を学びながら、書字能力の向上のために努力することができた……………C
 - Cのレベルに達することができなかった……………D

教科書：

- 全国大学書写書道教育学会編『明解書写教育』（萱原書房／1,500円）
- 書道用具一式（大筆・小筆・紙・墨・硯・下敷き・文鎮等）
- 硬筆用の鉛筆（Bまたは2B程度の硬さの鉛筆が望ましい）

参考文献：

- 春名好重・三浦康広・杉村邦彦編集『書の基本資料』（中教出版）

実験・実習・教材費：

各自で書道半紙・墨汁など、実技練習に必要なものを用意すること。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L20601	日本のことばⅡ	2	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語の歴史、日本語の文法	コミュニケーション力、分析総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

漢字使用による文学の形成の意義について考える。

授業の概要：

我が国の七、八世紀、いわゆる上代は、人々が口伝による言語生活から脱却し、文字によって言葉の定着させる習慣を持ち始めた時代である。平仮名や片仮名のいまだ成立していないこの時期、中国からもたらされた漢字によってのみ日本語の文をつづり、文学作品をうみだすということは、どのような営みであるのか、そのさまざまなあり方から出発し、日本語の歴史をたどる。

授業の計画：

- 1 概説 はじめに
 - 2 概説 日本語学の基礎 1
 - 3 概説 日本語学の基礎 2
 - 4 概説 日本語学の基礎 3
 - 5 言語学的な準備
 - 6 1～5のまとめ
 - 7 古代の日本語 1
 - 8 古代の日本語 2
 - 9 古代・中世の文法 1
 - 10 古代・中世の文法 2
 - 11 7～10のまとめ
 - 12 中世の話し言葉 1
 - 13 中世の話し言葉 2
 - 14 12～13のまとめ
 - 15 全体のまとめ
- ※ 授業計画は、受講生の理解・興味等により変更を行う場合がある。

授業方法：

講義形式を基本とするが、適宜対話形式、発表形式を取り入れる。

達成目標：

日本語の歴史についての基礎的な知識を修得する。

評価方法：

- 定期試験（100%）
- 日本語の歴史についてたいへんよく理解している……………S
 - 日本語の歴史についてよく理解している……………A
 - 日本語の歴史について理解している……………B
 - 日本語の歴史の基本的事項についてだいたい理解している……………C

教科書：

山口仲美『日本語の歴史』（岩波新書 1018）岩波書店（740円＋税）

参考文献：

授業時に適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L20701	日本の文学（古典文学）	2	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
万葉集、和歌、和歌の修辞、国文学史（日本文学史）	コミュニケーション力、美的感受性

授業のテーマ：

日本の文学伝統の形成過程を知る。

授業の概要：

上代から中古にいたるまでの、中学校・高等学校国語の古典で取り上げられる作品を中心として、文学史的事項と作品を理解する。

授業の計画：

- 1 概説 1 歴史的事項の確認
- 2 概説 2 国文学・国文学史の基礎
- 3 『万葉集』 1
- 4 『万葉集』 2
- 5 和歌の修辞
- 6 『古今和歌集』
- 7 1～6のまとめ
- 8 『伊勢物語』 1
- 9 『伊勢物語』 2
- 10 『源氏物語』 1
- 11 『源氏物語』 2
- 12 8～11のまとめ
- 13 『土佐日記』
- 14 『枕草子』
- 15 まとめ

授業方法：

講義形式を基本とするが、適宜対話形式、発表形式を取り入れる。教科書その他プリント資料を配布する。

達成目標：

『万葉集』および授業で取り上げた古典文学作品についての基礎的な知識を習得する

評価方法：

試験により評価する。
 レポートの提出遅延は減点とする。
 日本の文学史についてたいへんよく理解している……S
 日本の文学史についてよく理解している……………A
 日本の文学史について理解している……………B
 日本の文学史についてだいたい理解している……………C

教科書：

『新総合図説国語』東京書籍（税込 880円）

参考文献：

坂本信幸 毛利正守 編『万葉事始』和泉書院（税込 720円）
 神野志隆光 編『万葉集観賞事典』講談社学術文庫（税込 1,200円）
 その他は授業時に適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
L20801	日本文学の歴史	2	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
古今和歌集、和歌、和歌の修辞	美的感受性、コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

最初の勅撰和歌集『古今和歌集』以来、季節の風物は和歌の中心的な主題とされた。この講義では、『古今和歌集』歌を丁寧に読むことを通して、日本文化の基底にある季節観を知るとともに、和歌を理解するための和歌の修辞・文法的知識を習得する。

授業の概要：

『古今和歌集』を中心とした和歌の表現技法を学ぶ。
和歌における季節の表現を学ぶ。

授業の計画：

- 1 はじめに 授業の進め方・参考文献の紹介・歴史的事項の確認
- 2 概説 1 『古今和歌集』について
- 3 概説 2 和歌の修辞
- 4 『萬葉集』から『古今和歌集』へ
- 5 『古今和歌集』 1
- 6 『古今和歌集』 2
- 7 『古今和歌集』 3
- 8 『古今和歌集』 4
- 9 5から8までのまとめ
- 10 『古今和歌集』 5
- 11 『古今和歌集』 6
- 12 『古今和歌集』 7
- 13 『古今和歌集』 8
- 14 10から13までのまとめ
- 15 まとめ

授業方法：

前半は講義形式、後半は担当する歌を決めて発表形式とする。

達成目標：

『古今和歌集』などの文学史的な知識を習得する。
『古今和歌集』の歌を理解するための和歌の修辞・文法的知識を習得する。

評価方法：

定期試験による。
『古今和歌集』についてたいへんよく理解している……S
『古今和歌集』についてよく理解している……A
『古今和歌集』について理解している……B
『古今和歌集』についての基本的事項を理解している……C

教科書：

高田祐彦 訳注『新版 古今和歌集』角川文庫ソフィア (1,124円+税)
『新総合 図説国語』東京書籍 (定価880円)
※ 授業時には必ず古語辞典(書籍)を持参すること(電子辞書は不可)。

参考文献：

朝比奈英夫他 編『古典入門』清文堂出版 (1,700円+税)
その他は、授業のなかで適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L20901	中国の文学Ⅱ	2	2	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考：教員免許状（国語）取得のための必修科目
後期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読み書き、対話、コミュニケーション	コミュニケーション力

授業のテーマ：

漢文訓読を通して中国の古典を学ぶ。

授業の概要：

漢文訓読の方法を学びつつ、中国古典の代表的な作品を概観していく。

授業の計画：

1. 漢文訓読方法の確認
2. 故事成語（苛政猛於虎也、漱石枕流）
3. 故事成語（五十歩百歩）
4. 故事成語（漁父之利、蚩窗雪案）
5. 故事成語（朝三暮四、推敲）
6. 故事成語（塞翁馬）
7. 古体の詩（桃夭、古詩十九首）
8. 古体の詩（飲酒）
9. 古体の詩（歸園田居）
10. 唐代の詩（代悲白頭翁）
11. 唐代の詩（春暁）
12. 唐代の詩（涼州詞、登鸛鵲樓）
13. 唐代の詩（鹿柴）
14. 唐代の詩（竹里館、送元二使安西）
15. まとめ

授業方法：

教科書にしたがって進める。

達成目標：

- ・漢文訓読の方法を理解できる。
- ・教科書収録の作品を自力で訓読できる。

評価方法：

試験により行う。

S…漢文訓読の方法を理解し、白文に自力で訓点等を付すとともに、作品の背景等が分析できる

A…漢文訓読の方法を理解し、教科書収録の作品を自力で訓読するとともに、作品の背景等が分析できる

B…漢文訓読の方法を理解し、教科書収録の作品を自力で訓読できる

C…漢文訓読の方法を理解できる

D…Cのレベルに達していない

教科書：

「中国の文学Ⅰ」の残りの部分を用いる。

参考文献：

必要に応じて提示。

実験・実習・教材費：

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L12101	日本史概説	1・2	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
歴史観、日本史知識	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視点

授業のテーマ：

高校時代までに学んだ歴史知識の確認を第一として、古代から現在までの我が国の歴史を広い視点から学ぶ。また、周辺諸国や世界の動向との関係も意識し、我が国が如何なる発展をしてきたかを考え、現在の我が国がどのような理由で形成されているのかを理解する。

授業の概要：

日本史の基本的知識、その関連知識、また、やや専門的な知識を習得し、プリント等でそれぞれを確認する。基礎学力をチェックして、場合によっては、小学校六年レベルから基礎固めをし、そして、日本のあゆみを理解できるようにする。

授業の計画：

- 1 日本のあけぼの
- 2 大和政権の成立
- 3 東アジア情勢と古代国家の成立
- 4 律令国家の変質と摂関政治
- 5 武家社会の形成
- 6 蒙古襲来と武家社会の転換
- 7 下克上と戦国大名
- 8 幕藩体制の確立
- 9 幕政の安定と町人の活動
- 10 幕藩体制の動揺
- 11 幕末の動乱と明治維新
- 12 近代国家の成立と明治立憲制の形成
- 13 日清・日露戦争と帝国主義的發展
- 14 日本をめぐる内外情勢
- 15 「大東亜戦争」と戦後日本

授業方法：

講義形式を中心とする。同じ時間内に、プリント等により、講義内容の確認作業を行う。

達成目標：

日本史に関する基本的及び主要事件・事項などに関するやや専門的知識を獲得し、我が国の歩みを理解する。

評価方法：

期末試験（100％）により行う。

教科書：

『もういちど読む山川日本史』山川出版社、2009年

参考文献：

講義の中で適時紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L22101	日本古代・中世史	2	2	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
風土と自然、出雲と伊勢、寝殿造、禅宗	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

古代から中世にかけての、東アジア地域との交流によって作り出された「日本」を、その時代の建築物と時代に生きた人々の変容と発展過程の中で、建築、文化史の観点から考察する。

授業の概要：

基本的に時代の流れをたどりつつ、時代性のあるテーマをとりあげ、全体として通史的な枠組を修得できるようにしていく。

授業の計画：

- 1、日本の風土と自然
- 2、狩猟と稲作の文化
- 3、出雲と伊勢
- 4、耶馬大国と大和朝廷
- 5、法隆寺と東大寺
- 6、遣唐使と中国文化の摂取
- 7、寝殿造の住まい方
- 8、平氏政権と日宋貿易
- 9、源実朝と藤原定家
- 10、大仏様と禅宗様の建築
- 11、禅宗の盛行と渡来僧
- 12、元寇の混乱と金沢貞顕
- 13、鎌倉幕府の滅亡と南北朝の内乱
- 14、社会風潮と下克上
- 15、まとめ

授業方法：

基本的には講義形式で進めますが、必要に応じてビデオやプリントなど資料を用いていきます。

達成目標：

日本の古代・中世史の背景の中で、日本文化の成立過程を学ぶ

評価方法：

試験 100% (レポートも含む)

教科書：

「日本史のなかの茶道」(淡交社 2,000 円+税)

参考文献：

図書館にある通史のシリーズものなどで、日本の古代・中世史に関する本を読んで時代へのイメージを培う

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L12201	日本近世史	1・2	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
武士、武士道、忠・忠義、近代化	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、効果的な社会参加

授業のテーマ：

徳川時代は近代化の胎動期であり、また、現在の日本社会にも通じる多くの文化遺産の産出期であった。授業では、社会の特性を論考すると共に、同時期における、「知」の成長過程を考察する。

授業の概要：

武士道や武家社会の構造を通して、江戸という時代のタテ社会のメカニズムを検討し、リーダーシップ、組織と個人との関係を論ずる。また、他方では、文化、思想の多様な展開を検討し、徳川社会の政治的近代化を論じる。

授業の計画：

- 1 藩の組織
- 2 武士道Ⅰ
- 3 武士道Ⅱ
- 4 武士道Ⅲ
- 5 元禄時代
- 6 儒学の発展Ⅰ
- 7 儒学の発展Ⅱ
- 8 能力主義とシステム
- 9 ペリー来航と幕藩体制Ⅰ
- 10 志士吉田松陰の誕生
- 11 吉田松陰の武家観
- 12 吉田松陰の天皇観
- 13 吉田松陰の国際観
- 14 維新への胎動
- 15 江戸という時代

授業方法：

講義形式

達成目標：

講義内容を理解すると共に、自己の歴史認識能力を高める。

評価方法：

期末テスト100%によって、評価する。

教科書：

なし

参考文献：

講義の中で折々に紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L22201	日本近・現代史	2	2	田浦雅徳

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本近代史、国民国家、立憲政治への胎動	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

授業のテーマ：

本講義は、近代における日本の歩みを、その時々日本の生存条件を考えながら見ていこうとするものである。幕末から太平洋戦争に至るまでの歴史なかで、特にペリー来航以来の幕末から明治十四年の政変までの政治過程を講義する。

授業の概要：

明治立憲制が成立していく過程を丹念に追っていく。

授業の計画：

- 第1回 立憲政治実現過程の日欧比較
- 第2回 幕閣専断から公議輿論の尊重へ
- 第3回 加藤弘之の「鄰艸」
- 第4回 王政復古の政変
- 第5回 五箇条の御誓文
- 第6回 「公議」の制度化への試み－公議所の開設
- 第7回 版籍奉還と廃藩置県
- 第8回 岩倉使節団
- 第9回 征韓論と明治六年の政変
- 第10回 大久保利通と明治政府
- 第11回 民撰議院設立建白書
- 第12回 自由民権運動
- 第13回 士族反乱と西南戦争
- 第14回 さまざまな憲法構想－私擬憲法と岩倉の憲法意見書
- 第15回 明治十四年の政変と国会開設の勅諭
- 第16回 試験

授業方法：

教科書を読みながら、パワーポイントのスライドを使って詳細な解説を行う。

達成目標：

近代国民国家としての日本が如何にして形成されたかを知ること。そのために必要な知識や歴史観を習得する。

評価方法：

試験（100％）によって評価する。

教科書：

鳥海靖『日本の近代＝国民国家の形成・発展と挫折』放送大学教育振興会、2,100円

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L22301	地誌学	2	2	伊藤貴啓

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	1	

授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力	
地域と地域性	日本の地域構造	分析・総合の思考力と判断力	問題解決力
システム	産業と地域	人口移動	都市
		価値判断力（意思決定力）	

授業のテーマ：

地誌学は地理学において、系統地理学とともに二大分野をなす。それは地域を対象に、地域の仕組み・構造を明らかにするものである。社会科では小学校中学年から5年生にかけて、地域教材や日本の産業などさまざまなことを学ぶ。また、中学校地理的分野では学指導要領の改訂によって、日本の各地方や世界に関する地誌的内容を学ぶ場面が増えることとなった。では、地誌的に地域を把握するとはどのようなことであろうか。本講義では、日本を題材に現代日本の地域構造からこの点に迫り、地域を地誌的に考えることができるようになることを目的とする。

授業の概要：

まずは地誌学とはどのようなことを究明しようとするのかをみてみよう。その後、社会科における地誌の取扱いをみた後、具体的題材としての現代日本の地域構造を人口・都市・産業の側面から明らかにしていく。

授業の計画：

- 1回 地誌学とは
- 2回 地域と地誌
- 3回 人口からみた日本の地域構造 (1)：人口推移と人口学方程式
- 4回 “ (2)：人口動態の変化
- 5回 “ (3)：人口移動の地域性
- 6回 “ (4)：高齢化の地域性
- 7回 “ (5)：日本の将来人口と外国人集住
- 8回 都市からみた日本の地域構造 (1)：都市の形成と都市化
- 9回 “ (2)：都市の階層性とその変化
- 10回 “ (3)：都市システムからみた日本
- 11回 産業からみた日本の地域構造 (1)：産業構造の変化と地域
- 12回 “ (2)：工業都市とその変化
- 13回 “ (3)：工業の地域構造
- 14回 “ (4)：サービス経済化と地域
- 15回 後期のまとめ－地誌学と日本の地域構造

授業方法：

教科書は利用せず、各回に資料を配付しながら、パワーポイントで講義を行う。参考文献は適宜、提示する。なお、各回に疑問点などを提出してもらう。

達成目標：

地域の特色を考察できる能力を培う

評価方法：

評価は試験（レポートを含む）で行う

- S：授業で取り扱わなかった地域の諸現象を用いて地域的特色を自ら考察できる水準に達したもの
- A：授業で取り扱った地域の諸現象を用いて地域的特色を適切に考察できる水準に達したもの
- B：授業で取り扱った地域の諸現象のうち、一つの側面から地域的特色との関係を考察できる水準に達したもの
- C：授業で取り扱った地域の現象と地域的特色の関係を考察できる水準に達したもの
- D：授業で取り扱った地域の現象と地域的特色の関係を考察できる水準に達していないもの

教科書：

利用せず

参考文献：

各回に適宜明示

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L22501	アジアの歴史	2	2	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考：教員免許状（社会・地歴）取得のための必修科目
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
理解、尊重、読み書き	グローバルな視野

授業のテーマ：

グローバルな視野の育成をテーマとして、アジアの歴史を取り上げる。

授業の概要：

アジアといっても、その対象となる地域は様々な地理的景観を含み、民族的関係は複雑で、言語・文字も極めて多様である。そこで西アジア等の地域に分け、それぞれの特徴的な問題を取り上げて現代社会を考える一助とする。

授業の計画：

1. アジアの自然と地理
2. 西アジア（1）イスラーム文化圏の形成
3. 西アジア（2）オスマン帝国の繁栄と衰退
4. 西アジア（3）パレスチナ問題
5. 西アジア（4）イラン・イラクと欧米諸国
6. 南アジア（1）ムガル帝国の盛衰
7. 南アジア（2）植民地インドの形成
8. 南アジア（3）第二次世界大戦とインド
9. 南アジア（4）カシミール問題
10. 東アジア（1）アヘン戦争
11. 東アジア（2）辛亥革命と清朝の滅亡
12. 東アジア（3）二つの世界大戦と中国
13. 東アジア（4）冷戦と中国
14. 東アジア（5）朝鮮半島の分断
15. まとめ

授業方法：

講義形式

達成目標：

グローバルな視野のうち、特に基礎的知識の理解・尊重の能力を習得する。

評価方法：

試験により行う。

- S…理論を駆使して完成度の高い独自のグローバルな視野を持つことができる
- A…理論を部分的に活用してグローバルな視野を持つことができる
- B…理論を使いながら出来事の分析ができる
- C…理論や用語を説明できる
- D…Cのレベルに達していない

教科書：

特に定めない。

参考文献：

高校で使用した「世界史」の教科書、図録など資料集。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L22601	社会学 I	2	2	安福恵美子

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	B	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
現代社会、社会学的視点、社会学的探求	コミュニケーション力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

私たちの社会はさまざまな問題を抱えながら変化している。本講義では、社会的行為、社会集団、地位と役割、社会変動、文化などを取りあげ、社会学の基本的な理論や概念を学ぶとともに、社会学的探求の方法についての理解を深めてゆく。

授業の概要：

社会学の概念を概説するとともに、教育、家族、労働、環境、福祉などの問題を取りあげ、社会学の視点から現実の社会や社会問題がどのように分析され、理解されているかを問題提起しながら講義する。

授業の計画：

- 1 回 社会学とは何か
- 2 回 社会学に何ができるのか
- 3 回 社会学と調査
- 4 回 近代社会の成立
- 5 回 現代社会と教育
- 6 回 現代社会と家族
- 7 回 現代社会と環境
- 8 回 現代社会と政治
- 9 回 現代社会と福祉
- 10 回 現代社会と情報
- 11 回 現代社会と労働
- 12 回 現代社会とレジャー
- 13 回 現代社会における格差
- 14 回 現代社会における文化装置
- 15 回 まとめ

授業方法：

各回のテーマに即した資料・文献（ビデオを含む）を参考に、受講生各自が感想や意見を述べることによってテーマに対する理解を深めてゆく。そのため、受講生各自の積極的な授業参加を求める。

達成目標：

さまざまな社会現象を社会学的に分析するための視角を養う。

評価方法：

試験 100% によって評価する。

教科書：

安福恵美子著『ツーリズムと文化体験』（流通経済大学出版社）

参考文献：

授業のなかで随時紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
L22701	欧米の歴史 I	2	2	大橋真砂子

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
文字、識字、書物、教育	グローバルな視野

授業のテーマ：

西洋の歴史といっても、時代や国、地域によってその内容は様々です。また、政治史のみならず、社会史や文化史など、多様な角度から過去を検討することも可能です。この授業では、ヨーロッパの社会や政治を支え、現代まで影響を及ぼしている文字文化（識字文化）の変化について探っていきます。

授業の概要：

古代から近代にかけてのヨーロッパの歴史を概観しながら、文字の読み書きや教育がどのような変化を辿ったかを考察します。

授業の計画：

1. イントロダクション
2. 古代～中世の書写材料
3. 古代社会と文字（1）
4. 古代社会と文字（2）
5. 古代における書物
6. キリスト教と文字文化（1）
7. キリスト教と文字文化（2）
8. 中世社会と文字
9. 中世におけるマニュスク립トの作成
10. アラビア文化の影響
11. 中世の大学
12. ルネサンスとその影響
13. 活版印刷とその影響
14. 近代における教育制度
15. まとめ

授業方法：

適宜プリント等を利用しながら講義形式で行います。

達成目標：

ヨーロッパの歴史の流れ、および文字文化についての基本的な知識を獲得することを目標とします。

評価方法：

レポート（20%）と期末試験（80%）で評価します。

教科書：

使用しません。

参考文献：

授業中に適宜紹介します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L22801	哲学	2	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学問、論理的思考、価値判断、批判的思考	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

「私」とは、人間とは、生と死とは何か。我々はまだ明確な答えを持っていない。その解明のためには「存在」について考えていくことが必要である。そのため、現代の社会や文化にいまなお大きな影響を残している近代哲学を歴史的に辿り、その本質を批判し、今日我々が直面する諸問題を解き明かしていく。

授業の概要：

ヨーロッパ文明の隆盛を導いた哲学は、しかし、近代に至って本質的な矛盾、困難につきあたる。さらに近代哲学批判の後、現代の哲学と学問とは危機直面した。今日の哲学の動向も含め、以上の歴史を辿る。その中で「私」、「生・死」などについて考えていく。

授業の計画：

1. 「存在」を問う問いの意味
2. ルネサンスから近代に至る哲学史の概観
3. カント、経験論と合理論、批判哲学
4. ヘーゲル、理性、歴史、存在、近代哲学の到達点
5. 近代哲学の限界と実存主義
6. ニーチェ、「存在」「理性」への徹底的批判
7. ニーチェ、ニヒリズムとその克服の道、未来の哲学
8. ハイデggerから現代へ
9. 今日の哲学的状況
10. 現代の諸問題1、「私」とはなにか、死の問いの不在
11. 現代の諸問題2、環境問題の哲学的意味、
12. 哲学の可能性（1）
13. 哲学の可能性（2）
14. 現代までの歴史の概観
15. まとめ

授業方法：

近代以来の哲学について解説し、さらに現代の立場から批判する。また、今日我々が直面する問題を哲学の立場から考えていく。

達成目標：

現代の哲学を理解し、我々を取りまく諸問題を批判的に考える力を身につける。

評価方法：

論述試験 100%

- S. 哲学的に現代の問題の本質を適切に論じることができる。
- A. 哲学的に現代の問題の本質を論じることができる。
- B. 哲学的に現代の問題を論じることができる。
- C. 哲学について論じることができる。
- D. 哲学について論じることができない。

教科書：

参考文献：

岩崎武雄『西洋哲学史』有斐閣

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
L22901	法律と生活	2	2	松村修平

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
法、責任、解釈	コミュニケーション力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

私たちの市民生活は法律と密接に関係しています。この授業では、法律を初めて学ぶ人を対象に、民法、刑法など、法律の基礎的な知識を習得するとともに、法的な考え方を身につけることにより、皆さんが生活を送る上で直面するであろう様々な問題に対し、自ら考え対処する能力を養っていただきたいと思えます。

授業の概要：

民法、刑法など、基本的な法律について、具体的な事例を用いながら平易に説明します。

授業の計画：

- 1 イントロダクション
- 2 刑事法総論
- 3～6 刑事法各論（刑事裁判見学含む）
- 7 民法総論
- 8～11 財産法各論
- 12～13 家族法各論
- 14 公法概論
- 15 後期の復習

※なお、講義の一環として、名古屋地方裁判所岡崎支部にて刑事裁判見学(傍聴)を実施する予定です。スケジュールがあえば裁判員裁判を傍聴の対象とします。刑事裁判見学は、講義の曜日・時間とは異なる日時で実施することになる可能性がありますので、日時については事前に連絡をします。

授業方法：

講義が中心ですが、なるべく具体的な事例を用いて、受講生にわかりやすく、親しみやすい授業内容を目指します。

達成目標：

法律の基礎的な知識の習得を目指します。

評価方法：

期末試験により評価します。

教科書：

「はじめての法律学 HとJの物語」(第3版) 有斐閣
六法(出版社を問わないが、憲法、民法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法が掲載されているもの)

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
L23001	社会学Ⅱ	2	2	安福恵美子

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
現代社会、社会学的視点、社会学的探求、地域社会	コミュニケーション力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

社会学の基本的な理論や概念を基に、戦後急激に変化を遂げた日本社会の仕組みを考察することによって、そのなかに潜在化しているさまざまな問題点を観察・認識する。そして、産業化が進展する中で生じた高度産業社会や地域社会における問題などに焦点を当て、現代社会のあり方について考える。

授業の概要：

本講義では、社会的行為、社会集団、地位と役割、社会変動、文化などの社会学の概念を概説するとともに、地域社会や情報社会などを取りあげ、社会学の視点から現実の社会や社会問題がどのように分析され、理解されているかを問題提起しながら講義する。

授業の計画：

- 1 回 社会学の考え方
- 2 回 社会学と調査
- 3 回 現代社会の問題に対するアプローチ
- 4 回 現代社会と労働
- 5 回 現代社会とレジャー活動
- 6 回 地域社会の仕組みと構造
- 7 回 地域社会とまちづくり
- 8 回 地域社会と環境
- 9 回 地域社会と文化創造
- 10 回 情報社会とマス・メディア
- 11 回 情報社会とインターネット
- 12 回 情報社会における問題点
- 13 回 グローバル化社会
- 14 回 グローバル化社会における問題点
- 15 回 まとめ

授業方法：

各回のテーマに即した資料・文献（ビデオを含む）を参考に、受講生各自が感想や意見を述べることによってテーマに対する理解を深めてゆく。そのため、受講生各自の積極的な授業参加を求める。

達成目標：

さまざまな社会現象を社会的に分析するための視角を養う。

評価方法：

レポート 100%によって評価する。

教科書：

安福恵美子著『ツーリズムと文化体験』（流通経済大学出版社）

参考文献：

授業のなかで随時紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L23101	欧米の歴史Ⅱ	2	2	菅原太

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ルネサンス 宗教改革 大航海時代 市民革命 帝国主義	グローバルな視野 美的感受性

授業のテーマ：

近世以降芸術はその時代の政治・社会・経済と密接にかかわりながら展開してゆきました。時代のビジュアルな記録としての絵画、その歴史的背景を紐解くことで、現代につながる近代世界の成り立ちを考えます。

授業の概要：

各時代の美術作品を足掛りとしながら近世から現代にかけての欧米の政治・社会・文化のダイナミックな展開を通観してゆきます。

授業の計画：

1. 授業の概要説明
2. 宗教・対抗宗教改革1（ルネサンス）
3. 宗教・対抗宗教改革2（ルネサンス）
4. 大航海時代1（スペイン・中南米バロック）
5. 大航海時代2（スペイン・中南米バロック）
6. 大航海時代3（ネーデルランド絵画）
7. 絶対王政1（フランス古典主義）
8. 絶対王政2（フランス・ロココ）
9. 市民革命1（新古典主義）
10. 市民革命2（ロマン主義）
11. 産業革命（印象派）
12. 帝国主義（世紀末芸術・ジャポニスム）
13. ファシズム（ヨーロッパ現代美術）
14. 冷戦（アメリカ現代美術）
15. まとめ

授業方法：

主にプリントとプロジェクターの画像を交えた講義形式。

達成目標：

欧米の歴史の大まかな流れと、それに沿った芸術文化の展開を把握します。

評価方法：

期末テストによる。
 講義内容の理解が特に優れている……………S
 講義内容をほぼ理解できている……………A
 講義内容の要点は理解できている……………B
 講義内容を要点を半分以上理解できている……………C
 講義内容を要点を半分以上理解できていない……………D

教科書：

特にありません。

参考文献：

授業を通して紹介してゆきます。

実験・実習・教材費：

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
L14101	教職概論	1・2	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教師、教職、人づくり	コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

学級崩壊、いじめ、引きこもり、また、青少年犯罪の凶悪化など、現在、我が国の教育が大きな混乱状態にあることはいままでもない。また、これらの教育問題は制度的改革のみで乗り切ることが不可能と考える。

そこで、本講では「教育とは何か」という最も基本的な問題を総合的に考察する。

授業の概要：

授業では、自分自身の教職経験（山口県立高校教諭十四年在職）を具体的に語りながら、教師とは何かということを学生に理解させたい。

授業の計画：

- 1 教育とは何か①
- 2 教育とは何か②
- 3 我が国における学校の発達と性格①
- 4 我が国における学校の発達と性格②
- 5 教師の性格と課題①
- 6 教師の性格と課題②
- 7 家庭・地域と学校①
- 8 家庭・地域と学校②
- 3 教師の性格と課題
- 4 家庭・地域と学校
- 5 学級・学校経営
- 6 教育内容—我が国の教科書
- 7 生徒指導の体制と方法
- 8 現代公教育と教育行政の課題

授業方法：

講義形式

達成目標：

学生が自分で理想の教師像を描き、それに向かって努力するようにする。

評価方法：

期末試験（100%）により行う。

教科書：

なし

参考文献：

折々に紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L14201	教育原論	1・2	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
西洋、教育史、人づくり	コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

学級崩壊、いじめ、とじこもり、また、青少年犯罪の凶悪化など、現在、我が国の教育が大きな混乱状態にあることはいままでもない。また、これらの教育問題は制度的改革のみで乗り切ることが不可能と考える。

そこで、本講では「教育とは何か」という最も基本的な問題を総合的に考察する。

授業の概要：

講義では、まず、ギリシア、ローマの教育からはじめ、近代学校制度の成立までを概観する。具体的には、各時代、各地域の代表的な「私塾」、「学校」、「教育者」などを取り上げ、そこで行われた教育実践などを概観し、教育のあり方を総合的に考察する。

授業の計画：

- 1 ギリシアの教育①
- 2 ギリシアの教育②
- 3 ソクラテス
- 4 プラトン
- 5 アリストテレス
- 6 ローマの教育
- 7 イスラエルの教育
- 8 中世の教育①
- 9 中世の教育②
- 10 人文主義と教育
- 11 宗教改革と教育
- 12 啓蒙主義と教育
- 13 ルソー
- 14 ペスタロッチ
- 15 フレーベル

授業方法：

講義形式を中心として進める。

達成目標：

近代教育の源流とされるギリシア以来の西欧教育思想を理解し、今後の我が国の教育を具体的に構想する。

評価方法：

期末試験（100％）により行う。

教科書：

なし。

参考文献：

折々に紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L24101	教材・教具論	2	2	文野峯子

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生教材, 教材分析, 効果的な利用	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, 価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ：

教材の分析・評価と教育への利用

授業の概要：

前半では、既存の視聴覚教材を分析・評価する。後半では、テレビ、ビデオ、アニメ、ゲームなどの視聴覚素材を、教育の目的に合わせて教材化し、その効果的な利用法を考えて模擬授業を行う。

授業の計画：

1. 教材とは何か。教材の役割について考える。
2. 教材を評価するための基準、項目を考える。
3. 既存の教材を調べ、分析・評価する。効果的な利用法を考える。
4. 工夫した利用法を取り入れた授業案を考える。
5. 授業案の検討
6. 模擬実習
7. 生教材（漫画、アニメ等映像教材）を教材化する 1回目（素材を探す）
8. 生教材を教材化する 2回目（教材化を考える）
9. 生教材を教材化する 3回目（教材化を考える）
10. 教材を発表する 評価する
11. 目的（中高の国語、英語、社会科、国際理解教育など）に合った使い方・授業案を考える。
12. 授業案検討
13. 授業案の修正
14. 模擬実習
15. まとめ

授業方法：

学生が主体的に活動をすることによって学習が成立する授業である。グループ単位で、教材作成、教案作成、発表等を行う。欠席は、グループ作業を滞らせるため、全出席を旨とする。教材についての情報を得る、教材作成のための資料を得るために、インターネットを利用する。また、発表もパワーポイントを利用して行う。

達成目標：

1. 教材を評価できるようになる。
2. 生の素材を対象者や目的に合わせて教材化できるようになる。
3. 教材を効果的に利用した授業ができるようになる。

評価方法：

試験（レポートを含む）100%

教科書：

特に定めない。

参考文献：

ウェブに公開されているさまざまな教材

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L24201	国語教科教育法 I	2	2	鈴木研吾

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
前期	火	1・2	

授業のキーワード			人間環境大学が育む八つの能力	
何を教えるか	どう教えるか	基礎力の養成	分析・総合の思考力と判断力 価値判断力（意思決定力）	問題解決力

授業のテーマ：

「国語」はすべての教科の基本となる教科である。古文・漢文では語句・文法など教え方のパターンを身につけていくことで授業が成り立つが、特に現代文分野においては、小学生でも使う日本語であっても、何を教えるか、どう教えるかを突きつめて考えなければ授業として成立しない。この授業では、現役の高校教員の立場から、効果的な教育法を考えていく。

授業の概要：

古典文法、漢文の基礎を習得し、授業の進め方のパターンを身につける。現代文分野では、具体的な教材を用いて、何をどう教えるべきか検討し、効果的な授業の進め方を考える。また、それを具体化する指導案の作成、模擬授業を行える段階まで到達することとする。

授業の計画：

- 1回 国語の授業とは
- 2回 古典文法の復習（用言・敬語）
- 3回 古典文法の復習（助動詞・その他）
- 4回 「徒然草」「枕草子」の授業実践（読解中心）
- 5回 「大鏡」「源氏物語」の授業実践（文法・敬語中心）
- 6回 漢文の復習（返り点、書き下し、句形）
- 7回 「五十歩百歩」「狐借虎威」の授業実践
- 8回 現代文の基礎（書き順等）
- 9回 「水の東西」の授業
- 10回 「羅生門」の授業
- 11回 韻文の授業（参考DVD使用）
- 12回 国語表現の授業、テストの作り方
- 13回 指導案の書き方
- 14回 模擬授業①
- 15回 模擬授業②

授業方法：

資料プリントを適宜配付し、解説する。教員の授業そのものを「見本」として示す。講義形式を基本とするが、特に授業実践の取り組みでは、何をどう教えるか検討する中で、学生の積極的な参加を促したい。

達成目標：

現代文の授業において、より効果的な授業展開を考え、授業を行う能力を習得する。
古文・漢文の授業において、教えるべき内容をわかりやすく教える能力を習得する。

評価方法：

期末試験（70%）、レポート（30%）
期末試験は古典文法や現代文の基礎知識等を含め、授業の進め方など工夫・応用の分野も出題。レポートはテーマに関する指導案の作成を行い、その中に工夫・応用を盛り込むものとする。
古典文法や現代文の発展的知識があり、工夫・応用を活かした指導案を作成できる。・・・S
古典文法や現代文の発展的知識があり、工夫・応用した指導案を作成できる。・・・A
古典文法や現代文の基礎的知識があり、工夫・応用した指導案を作成できる。・・・B
古典文法や現代文の基礎的知識があり、指導案を作成できる。・・・C
Cのレベルに達していない。・・・D

教科書：

なし。授業ごとにプリントを配付予定。

参考文献：

なし。

実験・実習・教材費：

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L24301	社会科・地歴科教育法 I	2	2	堀崎嘉明

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
前期	火	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教材研究・構成・展開・分析・総括	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

中学社会科の授業をつくる。

授業の概要：

中等社会科教育の領域と課題、中学社会科（地理・歴史的分野）の授業例検討を中心に、教材研究、使い方、多様な学習方法を考察する。また学習指導案作成と模擬授業の実施、分析をする。

授業の計画：

一 中等社会科教育の領域と課題

- ① 教育と教師の仕事 〈演習「VD①をもとに授業をつくる」〉
- ② 近代日本の中等地理・歴史教育 〈演習「近代日本教育史年表をつくる」〉
- ③ 戦後日本の中等社会・地歴教育 〈演習「戦後日本教育史年表をつくる」〉
- ④ 現行学習指導要領にみる社会科・地歴科の内容 〈演習「生まれ育った地域」紹介〉

二 中学地理的分野の授業展開例の研究

- ⑤ 地図が描く世界 〈演習「日本・世界の地図を描く」〉
- ⑥ 地形図を読む 〈演習「地形図にみるトヨタ地域の変化」〉
- ⑦ 授業例の紹介・分析1 〈演習－レポート①「地域・世界の姿と課題」作成〉
- ⑧ 授業例の紹介・分析2 〈演習－レポート①「報告・分析・討議」〉→課題1
- ⑨ 学習指導案作成上の留意点 〈演習「学習指導案の作成」〉→課題2（指導案）

三 歴史的分野の授業展開例の研究

- ⑩ 歴史の学び方 〈演習「授業をつくるために」1－テーマ・教科書分析－〉
- ⑪ 授業例の紹介・分析1 〈演習「授業をつくるために」2－VD②の分析・討議－〉
- ⑫ 授業例の紹介・分析2 〈演習「授業をつくるために」3－VD③の分析・討議－〉
- ⑬ 地域史の教材化 〈演習「地形図にみる三河地域の古墳時代」〉
- ⑭ 教材研究の紹介 〈演習「授業をつくるために」4－教材研究－〉
- ⑮ 模擬授業（その1）・分析 〈演習「中学社会科の授業」総括討議〉

授業方法：

テーマについての講義が中心となるが、時にVDの視聴、スピーチを取り入れる。演習（2時限）は主にレポート作成、「模擬授業」の教材研究等に当てる。

達成目標：

中学社会科を担当できる資質と力量の養成。

評価方法：

成績評価は、期末テスト（レポート含む）のみ
 なお模擬授業の展開については、
 完成度の高い展開能力が示せる・・・S
 確かな教材研究と熱心な姿勢が見られる・・・A
 教材研究に不十分さを残すも、熱意ある姿勢で展開した・・・B
 授業の展開はできたものの、平板な域を出ていない・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D
 の基準で評価する。

教科書：

特に使用せず、資料プリントで行う。

参考文献：

中学社会教科書（地理・歴史的分野）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
L24401	国語教科教育法Ⅱ	2	2	石原比朗志

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
後期	火	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
国語の力、教材研究、学習指導案	分析・総合の思考力と判断力 問題解決能力 コミュニケーション能力

授業のテーマ：

今求められている「国語の力」を改訂学習指導要領・全国学力調査問題の分析から明らかにする。学習指導要領をもとに編集されている中学校の国語科教科書には、文学的文章、説明的文章、入門期の古文漢文等の教材、また伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の内容等が総合的に収められている。教科書の教材を中心に、教材研究を行い、指導目標、指導内容、指導過程、指導法について学習する。
言語観の確立をはかりながら、まとめとして具体的に学習指導案づくりを行う。

授業の概要：

中学校学習指導要領が示す国語科の目標や内容を理解し、求められている国語の力についての認識を深める。教科書教材の分析を通して、教材研究の力を養い、実践的な学習指導案が作れるようにする。

授業の計画：

1回	私の国語科教室、求められる学力	9回	学習指導案の作成 基本様式 構想
2回	中学校国語科の目標・各学年の目標	10回	学習指導案の作成 指導計画 目標
3回	学習指導要領の解説 話すこと、聞くこと	11回	学習指導案の作成 本時の学習 展開
4回	学習指導要領の解説 読むこと、書くこと	12回	詩、作文指導と課題
5回	学習指導要領の解説 言語文化、特質	13回	指導の技術 発問、板書、ノート指導等
6回	文学的文章の教材分析と指導過程	14回	書写の指導 指導法と実習
7回	説明的文章の教材分析と指導過程	15回	教師論 国語教師として
8回	古典教材の教材分析と指導法		

授業方法：

中学校国語科の教材文や配布資料に基づく講義を中心に、問答、発表等を通して理解を深め、指導案づくりの実習を取り入れる。

達成目標：

国語科の目標をふまえ、教材研究の力を養い、基本的な指導過程・指導法を理解し、学習指導案づくりができる。

評価方法：

レポート 100%
 確かな教材研究の力をつけ、積極的に実習し、望ましい国語科指導の能力を身につける・・・S
 教材研究の方法を理解し、積極的に実習し、国語科指導の能力を相応に身につける・・・A
 教材研究の方法を理解し、実習に参加し、望ましい国語科指導の能力を理解する・・・B
 授業内容を理解し、実習に参加し、望ましい国語科指導の能力を理解する・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

文部科学省「中学校学習指導要領解説 国語編」 東洋館出版社（144円）

参考文献：

授業中に適宜指示する。教材文は中学校国語教科書「国語1・2・3」（光村図書）を主に扱う。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L24501	社会科・地歴科教育法Ⅱ	2	2	堀崎嘉明

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
後期	火	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教材研究・構成・展開・分析・総括	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

高校地歴科の授業をつくる。

授業の概要：

中等社会科教育の領域と課題を踏まえ、高校地歴科の地理・日本史・世界史の教材開発・授業例を考察する。また学習指導案もとに模擬授業の実施、学習評価法を考察する。

授業の計画：

一 授業をつくる

- ① 教材研究の紹介 〈実物教材、探し方、使い方〉 〈演習「視聴覚教材の使い方」〉
- ② 教材と展開例の紹介 〈テーマ学習の場合〉〈演習「授業をつくる」1－構想・構成を考える－〉
- ③、④及び各〈演習〉時、模擬授業（その2）－展開Ⅰ－、分析

二 高校地歴科の授業展開例

- ⑤ 地理の授業展開例の紹介と研究 〈演習「授業をつくる」2－教材研究－〉
- ⑥、⑦ 日本史の授業例の紹介と研究 〈演習「授業をつくる」3－教材研究－〉
- ⑧ 世界史の授業例の紹介と研究 〈演習「授業をつくる」4－学習指導案の作成－〉
- ⑨、⑩、⑪、⑫、⑬ 各〈演習〉時、模擬授業（その3）・分析

三 学習・模擬授業を振り返って

- ⑭ 中学社会科・高校地歴科の学力と評価法 〈演習「テスト問題を作る」〉
- ⑮ 総括のための共同討議 〈演習「総括報告」作成〉

* 数字○は1時限でのテーマ、〈演習〉は2時限の内容

授業方法：

テーマについての講義が中心となるが、時にVDの視聴、輪読を取り入れる。演習(2時限)は、主に「模擬授業」の教材研究等に当てる。

達成目標：

高校地歴科を担当できる資質と力量の養成。

評価方法：

成績評価は、期末テスト（レポート含む）のみ

なお模擬授業の展開については、

完成度の高い展開能力が示せる・・・・・・・・・・・・・・・・・・ S

確かな教材研究と熱心な姿勢が見られる・・・・・・・・・・ A

教材研究に不十分さを残すも、熱意ある姿勢で展開した・・・・ B

授業の展開はできたものの、平板な域を出ていない・・・・ C

Cのレベルに達していない・・・・・・・・・・・・・・・・・・ D

の基準で評価する。

教科書：

特に使用せず、資料プリントで行う。

参考文献：

高校教科書（地理・日本史・世界史）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
L24601	教師と倫理	2	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教師、人間性、倫理	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意志決定力）

授業のテーマ：

文部科学省の調査によれば、近年、「訓告」なども含めた教育職員への処分数は、年間 2400～2500 件にのぼっている。この基底に、私共日本人、とりわけ教育職員の倫理観の低下があることはいうまでもない。教育職員養成改正が喫緊の課題といわれる所以である。

そこで、本講義では、「宇宙最大の書」といわれる『論語』から森信三の『修身講義録』に至る先哲の叢知に学び、一人の人間として、特に教育職員としての倫理観の確固とした確立することをめざす。

授業の概要：

授業は、各史料に学ぶことを中心とし、具体的な事例をあげ、それをグループ討議などを通じて、学生各自に自分の立場で考察させ、一人の人間及び教師としての倫理観を確立させる。

授業の計画：

1. 『論語』
2. 『論語』
3. 『孟子』
4. 『孟子』
5. 『西郷南洲遺訓』
6. 『西郷南洲遺訓』
7. 『名臣言行録』
8. 『名臣言行録』
9. 『言志四録』
10. 『言志四録』
11. 『講孟劄記』
12. 『講孟劄記』
13. 『修身教授録』
14. 『修身教授録』
15. まとめ

授業方法：

講義及びグループ討議などを中心とする。授業では、史料を中心として、具体的事例など学生同士で論議させ、倫理観を各自に定着させる。

達成目標

一人の人間としての倫理観の確立。

評価方法：

試験（100％）により行う。

教科書：

なし。史料は適時配布。

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A00101	人間環境学	3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学問の意義、人間環境学、総合的教養、主専攻・副専攻	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

人間環境学は人間環境大学の根本理念である。この理念について十分に理解することは、全体知を目指し、又、環境の各々の専門を修めるといふ大学設立以来の教育の目的を達成するために不可欠である。

授業の概要：

人間環境学の理念と人間環境大学とについて、その歴史と設立の意義を理解することとともに、人間環境学の学問、研究、教育における歴史的な意義を理解する。そのために、現在、広く学問がどのようなシステムになっているのか、そしてその課題がどのようなものか理解し、さらに、現在人類社会が直面しているさまざまな課題と学問の役割について考察する。

授業の計画：

1. 人間環境大学の設立
2. 人間環境大学の概要
3. 人間環境大学の学問理念「人間環境学」
4. 学問とは何か
5. 諸文化における学問
6. ヨーロッパにおける学問の理念と哲学
7. ヨーロッパにおける学問の歴史（1）
8. ヨーロッパにおける学問の歴史（2）
9. 近現代における学問の変容
10. わが国における大学の歴史
11. 世界的な大学および学問の変化
12. 環境問題と人間環境学
13. こころの問題と人間環境学
14. 歴史・文化と人間環境学
15. 人間環境学の意義

授業方法：

講義における解説を主として、適宜レポートを課する。

達成目標：

人間環境大学の設立理念を理解し、大学での学修の意義、学問の意義を理解する。

評価方法：

論述試験

- S. 人間環境学について理解し、本学で学ぶことの意義を把握している。
- A. 人間環境学について理解し、本学で学ぶことの意義を考えることが出来た。
- B. 人間環境学について理解することが出来た。
- C. 人間環境学について一部理解した。
- D. 理解しなかった。

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A40101	現代人のこころ	3	2	芳賀・三後

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
現代社会 こころ 心理学	コミュニケーション力 分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

われわれは日常生活において心に関係するさまざまな現象や問題に遭遇している。この授業では、それらの現象や問題を扱った心理学の代表的な研究を紹介し、心理学という学問がいかなる方法を用いて心にアプローチしていくのかについて考えていく。

授業の概要：

前半は、主に実験心理学の立場から、知覚、認知、生理、心の進化といった問題を扱った研究を紹介し、心に対する科学的アプローチの実際を理解する。後半は、発達、社会、動機づけ、臨床、キャリア発達などの分野におけるさまざまな研究を概観し、代表的な心理学研究法について理解を深める。

授業の計画：

- 第1回 心とは何か？
- 第2回 眼は心の窓にすぎない
- 第3回 考えることの不思議
- 第4回 心と身体の関係
- 第5回 ヒトの心と動物の心①
- 第6回 ヒトの心と動物の心②
- 第7回 ロボットに心はあるか？①
- 第8回 ロボットに心はあるか？②
- 第9回 私たちの心の成長とは
- 第10回 「出会い」と「かかわりあい」の心理学
- 第11回 「迷惑」と「共感」の心理学
- 第12回 「やる気」の心理学
- 第13回 「心の健康」と心理学
- 第14回 「キャリア」をデザインする心理学
- 第15回 心理学の学びを活かすには

授業方法：

各回のテーマについてプリント資料や映像資料を用いながら説明し、その後に意見発表や討論を行う。そしてそれらの内容についてレポートを提出してもらうことも予定している。

達成目標：

大学で心理学を専門的に学ぶために必要な問題意識と基礎知識、専門的な立場から心の問題に取り組むための実践力の基礎を身につける。

評価方法：

出席回数の基準（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書：

なし

参考文献：

海保博之著 『心理学ってどんなもの』 岩波ジュニア新書 427 740円
 藤本忠明・東正訓 編著 『ワークショップ大学生生活の心理学』 ナカニシヤ出版 2,000円+税

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A00201	哲学A	3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学問のルーツ、批判的思考、論理的思考	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

古代ギリシアに起源する哲学の歴史を近世までたどる。その中で、哲学という学問、つまり、あらゆる学問の起源としてのこの知的営為の意味を解明していく。その際、常に哲学の問いの根本にある「存在」の問題を「理性」との関係から論じていく。このようにして、西洋哲学の本質を把握することを目的とする。

授業の概要：

まず哲学という学問の理解から始める。哲学は他の学問とは根本的に異なる側面を持っている。その一つは、その歴史が常に問題とされるということである。したがって、授業では哲学という学問の理解のために哲学の誕生とその歴史をたどることとなる。哲学 A においては、近代に至るその歴史を、代表的な哲学者達の「存在」、「理性」の主張に辿り、ヨーロッパ哲学の本質を論じる。

授業の計画：

1. 哲学の語義、意味
2. 古代ギリシアにおける哲学の発祥
3. ミレトス派の哲学、万物と「アルケー」
4. 哲学の岐路、パルメニデスとヘラクレイトス、存在と生成
5. 多元論と原子論、万物と自然
6. 人間の問い、ソクラテス
7. 存在と本質、プラトンとイデア論
8. アリストテレスから古代後期への哲学
9. ヘレニズムとヘブライズム、キリスト教と中世哲学
10. ルネサンスと科学、機会論的自然解釈
11. 理性と存在、デカルトにおける真理
12. 合理論と経験論、哲学の二つの流れ
13. 近代哲学とは
14. デカルトまでの歴史の概観
15. まとめ

授業方法：

歴史上の諸説について解説し、さらに現代の立場から批判する。また、その歴史的な影響関係から歴史的意義を確認していく。

達成目標：

学問のルーツとしての哲学の歴史と本質を理解する。論理的思考を身につける。

評価方法：

論述試験

- S. 哲学の歴史の意義について適切に論じることができる。
- A. 哲学の歴史の意義について論じることができる。
- B. 哲学の歴史について論じることができる。
- C. 哲学について論じることができる。
- D. 哲学について論じることができない。

教科書：

参考文献：

岩崎武雄『西洋哲学史』有斐閣

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A00301	哲学B	3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学問、論理的思考、価値判断、批判的思考	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

「私」とは、人間とは、生と死とは何か。我々はまだ明確な答えを持っていない。その解明のためには「存在」について考えていくことが必要である。そのため、現代の社会や文化にいまなお大きな影響を残している近代哲学を歴史的に辿り、その本質を批判し、今日我々が直面する諸問題を解き明かしていく。

授業の概要：

ヨーロッパ文明の隆盛を導いた哲学は、しかし、近代に至って本質的な矛盾、困難につきあたる。さらに近代哲学批判の後、現代の哲学と学問とは危機に直面した。今日の哲学の動向も含め、以上の歴史を辿る。その中で「私」、「生・死」などについて考えていく。

授業の計画：

1. 「存在」を問う問いの意味
2. 古代から近世に至る哲学史の概観
3. カント、経験論と合理論、批判哲学
4. ヘーゲル、理性、歴史、存在、近代哲学の到達点
5. 近代哲学の限界と実存主義
6. ニーチェ、「存在」「理性」への徹底的批判
7. ニーチェ、ニヒリズムとその克服の道、未来の哲学
8. ハイデッガーから現代へ
9. 今日の哲学的状況
10. 現代の諸問題1、「私」とはなにか、死の問いの不在
11. 現代の諸問題2、環境問題の哲学的意味、
12. 哲学の可能性（1）
13. 哲学の可能性（2）
14. 現代までの歴史の概観
15. まとめ

授業方法：

近代以来の哲学について解説し、さらに現代の立場から批判する。また、今日我々が直面する問題を哲学の立場から考えていく。

達成目標：

現代の哲学を理解し、我々を取りまく諸問題を批判的に考える力を身につける。

評価方法：

論述試験

- S. 哲学的に現代の問題の本質を適切に論じることができる。
- A. 哲学的に現代の問題の本質を論じることができる。
- B. 哲学的に現代の問題を論じることができる。
- C. 哲学について論じることができる。
- D. 哲学について論じることができない。

教科書：

参考文献：

岩崎武雄『西洋哲学史』有斐閣

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A06801	論理学	3・4	2	奥田栄

期間	曜日	時限	備考:
前期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
論理記号、推論規則、命題論理、真理値、トートロジー	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

授業のテーマ:

アリストテレス以来ほとんど進展が無かった論理学は、20世紀にはいってから急速な進歩を成し遂げた。それが記号論理学である。本講義では、記号論理学中でも命題論理に的を絞って解説する。なお、述語論理については、論理記号と推論規則のみ解説する。

授業の概要:

記号論理学の基礎を理解する。特に、日常的な論理を良く反映しているとされるゲンツェンの「自然な論理計算」を習得する。

授業の計画:

1. 論理学は何をするのか
2. 自然言語から人工言語へ
3. 論理記号による命題の表現法
4. 論理記号の用例
5. 変数を含む命題
6. 推論規則 (\rightarrow)
7. 推論規則 (\wedge , \vee)
8. 推論規則 (\neg)
9. 推論規則 (\forall , \exists)
10. 矛盾について
11. 排中律について
12. 真理値の基本的性質
13. 論理式の真理値分析
14. トートロジー
15. まとめ

授業方法:

講義による。なお、毎回講義の最初の20分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

達成目標:

論理記号を正しく理解し、推論規則を用いて論理的な推論ができるようになる。また、真理値分析を行うことができ、トートロジーとは何かを理解する。

評価方法:

定期試験の結果によって判定する。

教科書:

前原昭二『記号論理入門』(日本評論社、2,310円)。

参考文献:

戸田山 和久『論理学をつくる』名古屋大学出版会(2000)。
必ずしも購入する必要は無い。

実験・実習費・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A00601	倫理学A	3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
倫理的思考 ニヒリズム 人格の陶冶 ニーチェ 東洋思想	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

授業のテーマ：

今日、人間の生の意味は失われ、倫理、良心、人格、善悪を究明する倫理学は、どうすれば倫理的、政治的な責任を負わずに済むかを論ずる狡猾な学問に墮している。このような倫理の失われた今日において、我々はいかにして人間の生き方の理想、特別の意味、尊厳を取り戻し得るのだろうか。本講では、倫理学と倫理の現代における可能性に絞って考察を進める。

授業の概要：

最初に、今日の倫理学の現状の概説を行う。ここで今日の倫理と倫理学、そして人間とその生きる生の問題を把握したうえで、諸学との関連を考慮しつつ、倫理学の可能性の議論を、人格、自己犠牲、生の意味といった問題に即しつつ論じていく。

授業の計画：

1. 倫理学とは
2. 倫理の現在
3. 倫理学の困難について
4. ニーチェによる近代思想批判と倫理
5. ニーチェにおける生の価値の主張
6. ニヒリズムと現代
7. 現在にいたる倫理学の潮流とその本質的な問題
8. 現代にいたる倫理学の潮流とその本質的な問題
9. 現代までの倫理学の困難について（まとめ）
10. 人格の現代倫理学における意味
11. 人格と倫理学の可能性
12. 人格の変容の階梯に関する諸文化の思想
13. 人格に関する諸科学の観点からの考察
14. 人格の倫理の改めての可能性
15. まとめ

授業方法：

講義。適宜小テストや課題を与える。

達成目標：

倫理について思考し得る為の基本的な知識と能力を獲得し、人格の倫理学における意義を理解する

評価方法：

試験において、下記の基準で判定する。

- S 倫理思想の歴史とその問題を把握し、新しい倫理学の可能性について論じることができる
- A 倫理思想の歴史とその問題を把握し、新しい倫理学の可能性について理解している
- B 倫理思想の歴史とその問題を把握している
- C 倫理思想の歴史を把握している
- D 倫理思想の歴史とその問題を把握できない

教科書：

なし

参考文献：

適宜指示する

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A00801	宗教学A	3・4	2	伊藤利行

期間	曜日	時限	備考:
前期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
宗教、歴史、一神教の世界	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

授業のテーマ:

宗教の歴史は人類の歴史であるとも言えるほど、人が集まるところには宗教が存在する。それだけに一口に宗教といってもその対象は広大である。この広大な世界を理性の立場から学問的に考察することが宗教学の課題である。本講義は、その基礎となる宗教史（一神教の世界）を概観する。

授業の概要:

現代世界における宗教と宗教研究について考察した後、唯一神教(ユダヤ教・キリスト教・イスラム教)の世界のそれぞれの発端に関して概観する。

授業の計画:

- 第1回 第1章 現代世界における宗教と宗教研究
 - 1. 世界の宗教人口、2. 現代世界における宗教問題、3. 宗教の概念、4. 宗教研究
- 第2回 第2章 唯一神教の世界
 - 1. 舞台としての中近東と三宗教に共通な特徴
 - A. 自然・社会・歴史環境（メソポタミア、シリア・パレスチナ、エジプト、アラビア）
 - B. 基本的相互関係
 - C. 唯一神教、啓示宗教、預言者
 - D. 啓典の基本的構成概観（聖書、タルムード、クルアーンなど）
- 第3回 2. 聖書以前
- 第4回 3. ユダヤ教
 - A. 旧約聖書の重要な思想：創造
 - B. 旧約聖書の重要な思想：律法
 - C. 旧約聖書の重要な思想：預言者
 - D. 旧約聖書の重要な思想：知恵
 - E. 旧約聖書の重要な思想：黙示思想
 - F. 旧約から新約へ
- 第10回 4. キリスト教
 - A. 原始キリスト教
 - B. 初期キリスト教の発展と課題（新約聖書正典の成立、基本的教義の確立）
 - C. キリスト教諸派の系譜〔概観〕
- 第11回
- 第12回
- 第13回 5. イスラム教
 - A. ムハammadの生涯とイスラム的信仰運動の概観
 - B. ムハammad以後の展開
 - C. イスラム教諸派の概観
- 第14回
- 第15回

授業方法:

主として講義形式。ビデオを用いることもある。授業用のテキストを用意する。テキストを読みながら、必要な説明を加える。テキストはPDF形式でホームページでも掲載する。

達成目標:

本講義は宗教史の観点から宗教の抱える諸問題と歴史的影響等について基本的知識を得ることを目標とするが、偉大な宗教的人格を紹介することにも出来るだけ配慮したい。

評価方法:

筆記試験（持ち込み無し）。

教科書:

授業用PDF文書（本文編・資料編）

参考文献:

担当者ホームページ（<http://www1.uhe.ac.jp>）参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A00901	宗教学B	3・4	2	伊藤利行

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
宗教、歴史、非一神教の宗教	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

授業のテーマ：

宗教の歴史は人類の歴史であるとも言える程、人の集まるところには宗教が存在する。それだけに一口に宗教といってもその対象は広大である。この広大な世界を理性の立場から学問的に考察することが宗教学の課題である。本講義は、その基礎となる宗教史（非一神教の世界と日本の宗教史）を概観する。

授業の概要：

前期の宗教学Aとペアで宗教史を概観している。宗教史Bでは、非一神教の世界と日本の宗教史を概観する。具体的には、ヒンドゥー教、仏教、東アジアの宗教（道教・儒教・中国仏教・朝鮮仏教）を概観し、最後に日本宗教史を概観する。

授業の計画：

- 第1回 第3章 非唯一神教の世界
1. ヒンドゥー教
A. インドの自然・社会・歴史と古代インドの宗教
B. ヒンドゥー教
C. 仏教の揺籃としてのヒンドゥー教
- 第2回
第3回 2. 仏教
A. 原始仏教（a. 文献、b. ブッダの悟り、c. ブッダと初期仏教教団）
B. 部派仏教（a. ブッダ以後の仏教教団、b. 紛争、c. 部派仏教の成立）
第4回 C. 大乘仏教（a. 大衆運動、b. 大乘仏教の特徴、c. 仏教のヒンドゥー化と衰退）
第5回 D. チベット仏教
第6回
第7回 3. 東アジアの宗教
A. 道教と儒教
B. 中国仏教（a. 中国への伝播、b. 格義仏教、c. 仏教の中国的受容）
第8回 C. 朝鮮仏教
第9回
第10回 4. 日本の宗教
A. 仏教伝来以前の日本の宗教と神道史概観
B. 日本の仏教（a. 仏教伝来、b. 平安時代、
c. 鎌倉時代、d. 江戸時代）
第11回 C. 日本のキリスト教
第12回 （a. 16世紀におけるカトリック・キリスト教の伝来、
第13回 b. キリスト教の禁制からキリシタン潜伏
c. 幕末・明治のキリスト教）

授業方法：

主として講義形式。ビデオを用いることもある。授業用のテキストを用意する。テキストを読みながら、必要な説明を加える。テキストはPDF形式でホームページでも掲載する。

達成目標：

本講義は宗教史の観点から宗教の抱える諸問題と歴史的影響等について基本的知識を得ることを目標とするが、偉大な宗教的人格を紹介することにも出来るだけ配慮したい。

評価方法：

筆記試験（持込み無し）。

教科書：

授業用PDF文書（本文編・資料編）

参考文献：

担当者ホームページ（<http://www1.uhe.ac.jp>）参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A01201	文学A	3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本文学、日本文学史、読解力	コミュニケーション力、美的感受性

授業のテーマ：

奈良時代から明治時代にいたるまでの、日本文学の代表的な作品に触れることにより、美しい日本語表現を味わう、とともに日本文学の基礎的な知識を養う。

授業の概要：

日本文学の代表的な作品についての基礎的な知識を養う。

授業の計画：

- 1 概説
- 2 夏目漱石『坊っちゃん』
- 3 文章表現の基礎 1 文体・主語・述語など
- 4 文章表現の基礎 2 原稿用紙の使い方など
- 5 評論の読解 1
- 6 評論の読解 2
- 7 1から6までのまとめ
- 8 『万葉集』
- 9 『古今和歌集』
- 10 『源氏物語』
- 11 『枕草子』
- 12 『平家物語』
- 13 『奥の細道』
- 14 8から13までのまとめ
- 15 まとめ

授業方法：

講義形式を基本とする。

達成目標：

日本語の表現を正確に理解することができる。
 中学校国語レベルの日本文学史の流れを理解することができる。
 上記の2点を相応に達成している……………A
 上記の2点を相応に達成しているが不十分な点がある……B
 上記の2点の最低限は満たしている……………C
 上記の2点を満たしていない……………D

評価方法：

定期試験による。

教科書：

『新国語便覧』秀学社（定価 620 円）
 夏目漱石『坊ちゃん』（286 円＋税）

参考文献：

授業内で指示する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A01301	文学B	3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読解力、表現力、宮沢賢治	コミュニケーション力、美的感受性

授業のテーマ：

宮沢賢治の、さまざまなジャンルの文学作品に触れ、日本語による表現を正確に読解するとともにレポートの作成を通して基礎的な国語能力の習得をめざす。

授業の概要：

宮沢賢治の童話・短歌・口語詩・文語詩・芸術論などの作品を読む。

授業の計画：

- 1 概説
- 2 『洞熊学校を卒業した三人』 1
- 3 『洞熊学校を卒業した三人』 2
- 4 『洞熊学校を卒業した三人』 3
- 5 『なめとこ山の熊』 1
- 6 『なめとこ山の熊』 2
- 7 『なめとこ山の熊』 3
- 8 『銀河鉄道の夜』 1
- 9 『銀河鉄道の夜』 2
- 10 『銀河鉄道の夜』 3
- 11 短歌
- 12 詩 1
- 13 詩 2
- 14 芸術論
- 15 まとめ

授業方法：

講義形式を基本とするが、適宜学生自らの感想・意見を発表してもらい発表形式も取り入れる。

達成目標：

日本語による表現を正確に読解する。
わかりやすい文章を記述する。

評価方法：

定期試験による。

教科書：

『宮沢賢治全集』 7 (ちくま文庫 1,050円+税)

参考文献：

授業内で指示する。
宮沢賢治の作品は新潮文庫や岩波文庫などでも手軽に読めるが、現在最も信頼に足るテキストを用いたものとして、ちくま文庫の『宮沢賢治全集』をあげておく。

実験・実習・材料費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A09301	異文化間コミュニケーション	3・4	2	岡良和

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
言語、社会、文化	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

外国語を真の意味で習得するためには、その言語の背景となる文化を理解し、洞察する力を持つことが重要である。この授業では、言語と文化の交流が、いかになされてきたか、そして、今後、この交流はどうあるべきかについて考察し、異文化に対する偏見を廃し、真の国際人となる素養を身に着けることを目指す。また、中級程度の英語が読解できることも目指す。

授業の概要：

言語の交流と文化の交流を別のものでとらえるのではなく、双方が互いに影響し合ってきたプロセスと、さらには、将来あるべき姿を考察する。

授業の計画：

- 1回 言語と社会習慣
- 2回 異文化間の相互作用
- 3回 言語とアイデンティティの問題
- 4回 性差、世代、国籍の違いと言語表現
- 5回 アメリカ合衆国における外国語教育と英語教育の現状と課題
- 6回 外国語を学ぶことと異文化を学ぶことの必要性
- 7回 短縮語、ブレンディング、ジャーゴンの誕生と文化的背景
- 8回 メディアが文化交流に果たす役割
- 9回 黒人英語の歴史とその文化的背景
- 10回 色彩語と文化
- 11回 迷信と文化
- 12回 動物とタブー
- 13回 婉曲語法
- 14回 英語圏の風習と行事
- 15回 まとめ

授業方法：

英文を一回の授業あたり4ページ程度読み、そこで扱われているテーマについて討議する。

達成目標：

言語と文化の関係を理解し、説明できること。

評価方法：

後期末の試験（70%程度）と授業への取り組み（30%程度）により行う。

- 理論を駆使して完成度の高い独自の文化分析ができる・・・S
- 理論を部分的に活用して文化分析ができる・・・A
- 不十分ながら理論を使い文化分析ができる・・・B
- 理論や学術用語を説明できる・・・C
- Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

Joan McConnell『ことばと文化（英文）Language and Culture』成美堂 1,029円（税込）

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A01601	社会学A	3・4	2	安福恵美子
期間	曜日	時限	備考：	
前期	集中	B		
授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力		
現代社会、社会学的視点、社会学的探求		コミュニケーション力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）		

授業のテーマ：

私たちの社会はさまざまな問題を抱えながら変化している。本講義では、社会的行為、社会集団、地位と役割、社会変動、文化などを取りあげ、社会学の基本的な理論や概念を学ぶとともに、社会学的探求の方法についての理解を深めてゆく。

授業の概要：

社会学の概念を概説するとともに、教育、家族、労働、環境、福祉などの問題を取りあげ、社会学の視点から現実の社会や社会問題がどのように分析され、理解されているかを問題提起しながら講義する。

授業の計画：

- 1回 社会学とは何か
- 2回 社会学に何ができるのか
- 3回 社会学と調査
- 4回 近代社会の成立
- 5回 現代社会と教育
- 6回 現代社会と家族
- 7回 現代社会と環境
- 8回 現代社会と政治
- 9回 現代社会と福祉
- 10回 現代社会と情報
- 11回 現代社会と労働
- 12回 現代社会とレジャー
- 13回 現代社会における格差
- 14回 現代社会における文化装置
- 15回 まとめ

授業方法：

各回のテーマに即した資料・文献（ビデオを含む）を参考に、受講生各自が感想や意見を述べることによってテーマに対する理解を深めてゆく。そのため、受講生各自の積極的な授業参加を求める。

達成目標：

さまざまな社会現象を社会学的に分析するための視角を養う。

評価方法：

小テスト50%および小レポート50%によって評価する。

教科書：

安福恵美子著『ツーリズムと文化体験』（流通経済大学出版社）

参考文献：

授業のなかで随時紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
A01701	社会学B	3・4	2	安福恵美子

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
現代社会、社会学的視点、社会学的探求、地域社会	コミュニケーション力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

社会学の基本的な理論や概念を基に、戦後急激に変化を遂げた日本社会の仕組みを考察することによって、そのなかに潜在化しているさまざまな問題点を観察・認識する。そして、産業化が進展する中で生じた高度産業社会や地域社会における問題などに焦点を当て、現代社会のあり方について考える。

授業の概要：

本講義では、社会的行為、社会集団、地位と役割、社会変動、文化などの社会学の概念を概説するとともに、地域社会や情報社会などを取りあげ、社会学の視点から現実の社会や社会問題がどのように分析され、理解されているかを問題提起しながら講義する。

授業の計画：

- 1回 社会学の考え方
- 2回 社会学と調査
- 3回 現代社会の問題に対するアプローチ
- 4回 現代社会と労働
- 5回 現代社会とレジャー活動
- 6回 地域社会の仕組みと構造
- 7回 地域社会とまちづくり
- 8回 地域社会と環境
- 9回 地域社会と文化創造
- 10回 情報社会とマス・メディア
- 11回 情報社会とインターネット
- 12回 情報社会における問題点
- 13回 グローバル化社会
- 14回 グローバル化社会における問題点
- 15回 まとめ

授業方法：

各回のテーマに即した資料・文献（ビデオを含む）を参考に、受講生各自が感想や意見を述べることによってテーマに対する理解を深めてゆく。そのため、受講生各自の積極的な授業参加を求める。

達成目標：

さまざまな社会現象を社会学的に分析するための視角を養う。

評価方法：

小テスト40%およびレポート60%によって評価する。

教科書：

安福恵美子著『ツーリズムと文化体験』（流通経済大学出版社）

参考文献：

授業のなかで随時紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A07301	日本史概説	3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
歴史観、日本史知識	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視点

授業のテーマ：

高校時代までに学んだ歴史知識の確認を第一として、古代から現在までの我が国の歴史を広い視点から学ぶ。また、周辺諸国や世界の動向との関係も意識し、我が国が如何なる発展をしてきたかを考え、現在の我が国がどのような理由で形成されているのかを理解する。

授業の概要：

日本史の基本的知識、その関連知識、また、やや専門的な知識を習得し、プリント等でそれぞれを確認する。基礎学力をチェックして、場合によっては、小学校六年レベルから基礎固めをし、そして、日本のあゆみを理解できるようにする。

授業の計画：

- 1 日本のあけぼの
- 2 大和政権の成立
- 3 東アジア情勢と古代国家の成立
- 4 律令国家の変質と摂関政治
- 5 武家社会の形成
- 6 蒙古襲来と武家社会の転換
- 7 下克上と戦国大名
- 8 幕藩体制の確立
- 9 幕政の安定と町人の活動
- 10 幕藩体制の動揺
- 11 幕末の動乱と明治維新
- 12 近代国家の成立と明治立憲制の形成
- 13 日清・日露戦争と帝国主義的発展
- 14 日本をめぐる内外情勢
- 15 「大東亜戦争」と戦後日本

授業方法：

講義形式を中心とする。同じ時間内に、プリント等により、講義内容の確認作業を行う。

達成目標：

日本史に関する基本的及び主要事件・事項などに関するやや専門的知識を獲得し、我が国の歩みを理解する。

評価方法：

試験（100％）により行う。試験には期末試験と小テストを含む。

教科書：

『もういちど読む山川日本史』山川出版社、2009年

参考文献：

講義の中で適時紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A07401	アジアの歴史	3・4	2	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考：教員免許状（社会・地歴）取得のための必修科目
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
理解、尊重、読み書き	グローバルな視野

授業のテーマ：

グローバルな視野の育成をテーマとして、アジアの歴史を取り上げる。

授業の概要：

アジアといっても、その対象となる地域は様々な地理的景観を含み、民族的関係は複雑で、言語・文字も極めて多様である。そこで西アジア等の地域に分け、それぞれの特徴的な問題を取り上げて現代社会を考える一助とする。

授業の計画：

1. アジアの自然と地理
2. 西アジア（1）イスラーム文化圏の形成
3. 西アジア（2）オスマン帝国の繁栄と衰退
4. 西アジア（3）パレスチナ問題
5. 西アジア（4）イラン・イラクと欧米諸国
6. 南アジア（1）ムガル帝国の盛衰
7. 南アジア（2）植民地インドの形成
8. 南アジア（3）第二次世界大戦とインド
9. 南アジア（4）カシミール問題
10. 東アジア（1）アヘン戦争
11. 東アジア（2）辛亥革命と清朝の滅亡
12. 東アジア（3）二つの世界大戦と中国
13. 東アジア（4）冷戦と中国
14. 東アジア（5）朝鮮半島の分断
15. まとめ

授業方法：

講義形式

達成目標：

グローバルな視野のうち、特に基礎的知識の理解・尊重の能力を習得する。

評価方法：

試験により行う。

- S…理論を駆使して完成度の高い独自のグローバルな視野を持つことができる
- A…理論を部分的に活用してグローバルな視野を持つことができる
- B…理論を使いながら出来事の分析ができる
- C…理論や用語を説明できる
- D…Cのレベルに達していない

教科書：

特に定めない。

参考文献：

高校で使用した「世界史」の教科書、図録など資料集。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A04401	西洋史概説A	3・4	2	大橋真砂子

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
文字、識字、書物、教育	グローバルな視野

授業のテーマ：

西洋の歴史といっても、時代や国、地域によってその内容は様々です。また、政治史のみならず、社会史や文化史など、多様な角度から過去を検討することも可能です。この授業では、ヨーロッパの社会や政治を支え、現代まで影響を及ぼしている文字文化（識字文化）の変化について探っていきます。

授業の概要：

古代から近代にかけてのヨーロッパの歴史を概観しながら、文字の読み書きや教育がどのような変化を辿ったかを考察します。

授業の計画：

1. イントロダクション
2. 古代～中世の書写材料
3. 古代社会と文字（1）
4. 古代社会と文字（2）
5. 古代における書物
6. キリスト教と文字文化（1）
7. キリスト教と文字文化（2）
8. 中世社会と文字
9. 中世におけるマニュスクリプトの作成
10. アラビア文化の影響
11. 中世の大学
12. ルネサンスとその影響
13. 活版印刷とその影響
14. 近代における教育制度
15. まとめ

授業方法：

適宜プリント等を利用しながら講義形式で行います。

達成目標：

ヨーロッパの歴史の流れ、および文字文化についての基本的な知識を獲得することを目標とします。

評価方法：

レポート（20%）と期末試験（80%）で評価します。

教科書：

使用しません。

参考文献：

授業中に適宜紹介します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A04501	西洋史概説B	3・4	2	菅原太

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ルネサンス 宗教改革 大航海時代 市民革命 帝国主義	グローバルな視野 美的感受性

授業のテーマ：

近世以降芸術はその時代の政治・社会・経済と密接にかかわりながら展開してゆきました。時代のビジュアルな記録としての絵画、その歴史的背景を紐解くことで、現代につながる近代世界の成り立ちを考えます。

授業の概要：

各時代の美術作品を足掛りとしながら近世から現代にかけての欧米の政治・社会・文化のダイナミックな展開を通観してゆきます。

授業の計画：

1. 授業の概要説明
2. 宗教・対抗宗教改革1（ルネサンス）
3. 宗教・対抗宗教改革2（ルネサンス）
4. 大航海時代1（スペイン・中南米バロック）
5. 大航海時代2（スペイン・中南米バロック）
6. 大航海時代3（ネーデルランド絵画）
7. 絶対王政1（フランス古典主義）
8. 絶対王政2（フランス・ロココ）
9. 市民革命1（新古典主義）
10. 市民革命2（ロマン主義）
11. 産業革命（印象派）
12. 帝国主義（世紀末芸術・ジャポニスム）
13. ファシズム（ヨーロッパ現代美術）
14. 冷戦（アメリカ現代美術）
15. まとめ

授業方法：

主にプリントとプロジェクターの画像を交えた講義形式。

達成目標：

欧米の歴史の大まかな流れと、それに沿った芸術文化の展開を把握します。

評価方法：

期末テスト70%、授業に対する取組み30%
 講義内容の理解が特に優れている……………S
 講義内容をほぼ理解できている……………A
 講義内容の要点は理解できている……………B
 講義内容を要点を半分以上理解できている……………C
 講義内容を要点を半分以上理解できていない……………D

教科書：

特にありません。

参考文献：

授業を通して紹介してゆきます。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A07001	法律学	3・4	2	松村修平

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
法、責任、解釈	コミュニケーション力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

私たちの市民生活は法律と密接に関係しています。この授業では、法律を初めて学ぶ人を対象に、民法、刑法など、法律の基礎的な知識を習得するとともに、法的な考え方を身につけることにより、皆さんが生活を送る上で直面するであろう様々な問題に対し、自ら考え対処する能力を養っていただきたいと思ひます。

授業の概要：

民法、刑法など、基本的な法律について、具体的な事例を用いながら平易に説明します。

授業の計画：

- 1 イントロダクション
- 2 刑事法総論
- 3～6 刑事法各論（刑事裁判見学含む）
- 7 民法総論
- 8～11 財産法各論
- 12～13 家族法各論
- 14 公法概論
- 15 後期の復習

※なお、講義の一環として、名古屋地方裁判所岡崎支部にて刑事裁判見学(傍聴)を実施する予定です。スケジュールがあえば裁判員裁判を傍聴の対象とします。刑事裁判見学は、講義の曜日・時間とは異なる日時で実施することになる可能性がありますので、日時については事前に連絡をします。

授業方法：

講義が中心ですが、なるべく具体的な事例を用いて、受講生にわかりやすく、親しみやすい授業内容を目指します。

達成目標：

法律の基礎的な知識の習得を目指します。

評価方法：

期末試験の成績と授業への取り組みを1：1として評価します。

教科書：

「はじめての法律学 HとJの物語」(第3版) 有斐閣
六法(出版社を問わないが、憲法、民法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法が掲載されているもの)

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A07101	日本国憲法	3・4	2	松村修平

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
個人の尊厳、人権、自由	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、効果的な社会参加

授業のテーマ：

憲法は、すべての法律の基礎となり、わが国の社会の基盤を支える重要な法律ですが、堅苦しいイメージがあるため、自分には関係がないと思っている方も少なくないかもしれません。しかし、実際には、我々の生活は憲法と密接に関わっています。そこで、この講義を通じて、少しでも憲法や人権を身近なものとして感じてもらいたいと考えています。

授業の概要：

憲法について、具体的な事例を用いながら平易に説明します。

授業の計画：

- 1 イントロダクション
- 2 憲法の基本原理
- 3～10 人権各論
- 11 統治機構概論
- 12 権力分立
- 13 国会、内閣
- 14 裁判所
- 15 前期の復習

授業方法：

講義が中心ですが、なるべく具体的な事例を用いて、受講生に親しみやすい授業内容を目指します。

達成目標：

憲法の基礎的な知識の習得を目指します。

評価方法：

授業への取り組みと期末のレポート課題を1：1として評価します。

教科書：

「憲法」(第5版) 芦部信喜(著)・高橋 和之(補訂) 有斐閣

参考文献：

六法(出版社は問わない)

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A07901	民法	3	2	松村修平
B10101	民法A	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
契約, 責任, 私的自治	分析・総合の思考力と判断力, 価値判断力 (意思決定力), 効果的な社会参加

授業のテーマ：

我々は、意識するしないにかかわらず、相互に様々な法律関係を日々形成し、形成された法律関係を基礎として生活しています。民法とは、そのような社会生活における市民相互（個人対個人）の法律関係＝私法の基本となるルールです。本講義では、民法の基本的な考え方を習得することを目的とします。

授業の概要：

民法について、具体的な事例を用いながら平易に説明します。

授業の計画：

- 1 イントロダクション 民法とは、民法の原則
- 2 総則
- 3～4 所有
- 5～9 契約
- 10～12 不法行為
- 13～14 家族
- 15 復習

授業方法：

講義が中心ですが、なるべく具体的な事例を用いて、受講生に親しみやすい授業内容を目指します。

達成目標：

民法の基礎的な知識の習得を目指します。

評価方法：

授業への取り組みと期末のレポート課題を1：1として評価します。

教科書：

「はじめて学ぶ民法 所有, 契約, 不法行為, 家族」 川井健（著）有斐閣
 ※誤植訂正後の「第2刷」以降を入手して下さい。

参考文献：

六法（出版社は問わない）
 「民法Ⅰ～Ⅳ」 内田貴（著）東京大学出版会

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A09401	政治学	3・4	2	岡田宏太郎

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
自民党、政権交代、政治改革、構造改革、官僚	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、効果的な社会参加

授業のテーマ：

大学での学問としての政治学とは、どのようなものだろうか。現実の政治を理解するとは、どのようなことだろうか。これらのことを、日本の政治を材料にしながら考えていきます。大学で学ぶ政治学について、基礎的レベルの理解を得ること、日本の政治に関する新聞、テレビ等の報道を、自分なりに理解し、考えていけるようになることを目指します。

授業の概要：

まず、政治の仕組みをとらえるとはどのようなことかを論じ、これに基づき、自民党長期政権時代（1955～93年）の仕組みと問題点、その後の政権交代、連立政権の時代の特徴、現在の日本の政治と行政の改革の課題等を考察していきます。

授業の計画：

1. ビデオを使ったイントロダクション（1）
2. ビデオを使ったイントロダクション（2）
3. 自民党の内部構造
4. 選挙制度と自民党
5. 族議員と「鉄の三角形」
6. 保守本流路線と日本の経済成長
7. 政治における「右」と「左」
8. 旧社会党（社民党）の衰退と今日の民主党
9. 国会の機能の問題点
10. 国家財政の危機
11. 1990年代の「政治改革」
12. 官僚制の諸問題
13. 小泉内閣の「構造改革」
14. 民主党政権の成立と崩壊
15. 予備日・まとめ

授業方法：

講義ですが、最初の二回はビデオも使用し、日本の政治をテーマにした映画を参考にしながら授業をすすめていきます。

達成目標：

大学で学ぶ政治学について、基礎的レベルの理解を得る。
日本の政治に関する新聞、テレビ等の報道を、自分なりに理解し、考えていけるようになる。

評価方法：

期末に行う試験により評価します。欠席が多いと失格になる場合があります。

教科書：

使用しません（授業中にノートをとることが必須です）。

参考文献：

授業の中で適宜指示します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A07501	基礎数学	3・4	2	野田信明

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
有効数字、平均、標準偏差、一次関数、指数、対数、グラフ	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

実験、実習等で得る測定値のデータ処理、数値解析を将来行うにあたって必要とされる数学の基礎知識と技術の習得を目的とする。特に数値計算、統計的な処理、物理単位・有効数字の取り扱い、表とグラフの活用を適切に行えるよう、理解を深める。関数電卓を積極的に活用し、数値計算に関する感覚を養う。

授業の概要：

数値解析の基礎となる次の3項目について講義と演習を行う。(1) 四則演算、関数と指数、対数の計算、関数電卓の取り扱いの習得、(2) 統計の基礎である平均値、分散、標準偏差の計算法を習得する。(3) データの整理、表とグラフ作成と活用法を習得する。

授業の計画：

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. データ処理概要と関数電卓使用法 | 9. 数値グループの特徴、平均値と中央値 |
| 2. 物理単位と“マイクログ”、“メガ” | 10. 最大値、最小値、分散、標準偏差 |
| 3. 有効数字を考慮した計算（加減算） | 11. 数値の表とグラフの作成 |
| 4. 有効数字を考慮した計算（乗除算） | 12. 一次関数とそのグラフ、切片と傾き |
| 5. 指数、指数を含む計算 | 13. 最小二乗法による一次近似曲線 |
| 6. 対数、対数を含む計算 | 14. 測定データ例を用いたデータ解析 |
| 7. 単位、有効数字を踏まえたデータ計算 | 15. まとめ |
| 8. 数値の集まりとさまざまな分布 | |

授業方法：

講義方式で行う。毎回例題を出し、15分程度を使って考え方、解き方をその場で指導する。時間内に解けたところまでを提出してもらう。次回の講義で例題回答の解説と補足の説明を行う。詳しい数値計算には関数電卓を活用する。

達成目標：

関数電卓を用いた四則演算、指数、対数の計算が、有効数字、単位を考慮してできる
平均値、分散、標準偏差の計算ができる
最小二乗法を適用してデータの解析ができる

評価方法：

試験(80%)と例題解答など日常の授業への取り組み(20%)により行う。
試験では関数電卓使用可 上記達成目標に関連の強い問題を出題する

教科書：

特に既成の教科書は使わない。講義ノートをプリントし配布する。

参考文献：

丹羽勝市著「図解雑学 統計解析」ナツメ社 ¥1,300 (ISBN978-4-8163-3472-6)

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A07601	統計処理入門	3・4	2	野田信明

期間	曜日	時限	備考：「基礎数学」の受講を前提としないが、数学の基礎に関するある程度の知識を前提とする。
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
確率、統計、標準偏差、二項分布、正規分布、相関係数、標本調査	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

数学の知識と方法を基礎とし、収集されたデータの整理、分析法を理解する。またその応用法を身につける。具体的には、度数分布と平均、データのばらつき、標準偏差、確率と密度分布、複数のデータグループ間の関係、相関係数、指数関数と正規分布、全数調査と標本調査、母集団と標本、推測と検定。

授業の概要：

具体的なデータ例を取り上げ、統計処理で使われる専門用語や手法を理解するとともに、応用する力をつける。統計と確率の関係を理解し、得られた結果をどのように推測や予測に活かすかを学ぶ。その時々話題も実例として取り上げ、理解の助けとする。

授業の計画：

1. 統計解析の概要
2. 度数分布、ヒストグラム、平均値
3. データの広がりや分散、標準偏差
4. 場合の数と確率、順列と組み合わせ
5. 指数関数と対数関数
6. 場合の数と確率、順列と組み合わせ
7. YES、NOの確率と二項分布
8. 二項分布と正規分布
9. 二種類のデータの相関、CO₂濃度と温暖化
10. 全数調査と標本調査
11. 標本の平均、分散と母集団の平均、分散
12. 標本分析から母集団の特徴、性質を推測
13. 実習データと統計処理
14. 復習とまとめ
15. まとめとレポート作成

授業方法：

講義方式で行う。毎回例題を出し、15分程度を使って考え方、解き方をその場で指導する。時間内に解けたところまでを提出してもらう。次回の講義で例題回答の解説と補足の説明を行う。詳しい数値計算には関数付電卓を活用する。

達成目標：

統計処理の基礎を理解するとともに将来応用して自分の仕事に活かす力を養う。

評価方法：

前期末のレポート（50%）と例題解答など日常の授業への取り組み（50%）により行う。
 統計、確率、予測の概念、手法、専門用語の全面的理解、計算法習熟と応用——S
 統計処理とその結果の意味するところの基本的理解、計算法習得——A
 統計処理と結果の基礎的理解——B
 統計処理分析データを読む力の習得——C
 Cのレベルに到達していない——D

教科書：

特に既成の教科書は使わない。講義ノートをプリントし配布する。

参考文献：

丹羽勝市著「図解雑学 統計解析」ナツメ社 ¥1,300 (ISBN978-4-8163-3472-6)

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A03201	基礎物理学A	3・4	2	長井正博

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
エネルギー, 光, 熱	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

地球環境, 生態系, 生物, 人間社会などのあらゆるシステムは, エネルギーを継続的に供給することによってのみ成立することができる。このことを理解するためには, エネルギーが最終的に全て熱に変わることが理解する必要がある。
地球環境の最大のエネルギー源である太陽光に関する知識とともに, エネルギーと熱についての物理学的な基礎知識を紹介する。

授業の概要：

エネルギーの定義とエネルギー保存則について説明したのち, 光のエネルギーについて解説する。続いて, 熱の量の表現にエネルギーとエントロピーの2種類があること, そして, エネルギーが熱に変わることが表現するためにはエントロピーを用いなければならないことを説明する。

授業の計画：

1. 力と加速度と質量
2. 仕事とエネルギー, エネルギー保存則
3. 電子の移動によるエネルギーの取り出し
4. 人間活動とエネルギー
5. 光の速度・波長・振動数
6. 光の波動性と粒子性, 光子のエネルギー
7. 太陽光とエネルギー
8. 温度と熱容量
9. 熱量の表現: エネルギーとエントロピー
10. 熱の移動によるエネルギーの取り出し
11. 熱の移動時の熱の発生
12. 物質の拡散によるエネルギーの取り出し
13. 物質の拡散時の熱の発生
14. エネルギーの熱への変換とエントロピーの発生
15. システムの維持とエネルギーの供給

授業方法：

配布資料に基づいて, 板書を中心に講義を進める。
講義の最初に前回の講義の内容確認のための小テストをする。解答と解説の後に, 当日の講義を始める。講義の最後にも当日の理解度を確認するための小テストを行う。

達成目標：

エネルギーの観点から, 光と熱について説明できる。
システムの維持にエネルギーの持続的供給が必要なことが理解できる。

評価方法：

期末試験(100%)により行う。
熱とエネルギーとエントロピーの関係がわかる・・・S
熱とエネルギーの関係がわかる・・・A
エネルギー保存の法則がわかる・・・B
力学的エネルギー, 光のエネルギーを算出できる・・・C
Cのレベルに達していない・・・D
試験では, エネルギー・光・熱に関する基礎知識と計算能力を確認する。

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A04601	基礎生物学A	3・4	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
細胞、呼吸、光合成、有性生殖、遺伝子	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

基本的な生命活動の体系的な理解。

授業の概要：

細胞内のミクロなレベルで行われている生命活動の基本的なメカニズムについて学ぶ。細胞の構造、呼吸の仕組みと生化学反応、光合成の仕組みと生化学反応、有性生殖と減数分裂、遺伝子の構造と複製機構について解説する。

授業の計画：

1. 生命とは
2. 細胞のつくりと働き 1
3. 細胞のつくりと働き 2
4. 呼吸 1
5. 呼吸 2
6. 呼吸 3
7. 光合成 1
8. 光合成 2
9. 有性生殖と世代交代 1
10. 有性生殖と世代交代 2
11. 遺伝子 1
12. 遺伝子 2
13. 遺伝子 3
14. 様々な生命活動 1
15. 様々な生命活動 2

授業方法：

教科書・板書を中心とした講義。資料を適宜配布。

達成目標：

代謝活動や自己複製といった基本的な生命現象のしくみについての科学的理解を深める。

評価方法：

試験（100％）による。

教科書：

鈴木孝仁（監修）、「視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録改訂版」、数研出版、880円（税別、各自で購入のこと）。

参考文献：

- 1) 石川統、「生物学入門」、東京化学同人、2,200円。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A04701	基礎生物学B	3・4	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生物群集、遷移、適応度、生物間相互作用、進化	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

生物群集および生態系の体系的な理解。

授業の概要：

生態系における群集構造、群集の機能、物質循環、生物間相互作用、共進化、個体群動態について解説する。

授業の計画：

1. 生物群集
2. 遷移と極相
3. 森林類型 1
4. 森林類型 2
5. 気候と植生 1
6. 機構と植生 2
7. 物質生産
8. 物質生産と生態ピラミッド
9. 適応度と数理モデル 1
10. 適応度と数理モデル 2
11. 共進化と送粉共生系 1
12. 共進化と送粉共生系 2
13. 共進化と送粉共生系 3
14. 個体群増加モデル 1
15. 個体群増加モデル 2

授業方法：

教科書・板書を中心とした講義。資料を適宜配布。

達成目標：

生物間の相互作用を基軸に、生態系の成り立ちについての理解を深める。

評価方法：

試験（100％）による。

教科書：

鈴木孝仁（監修）、「視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録改訂版」、数研出版、880 円（税別、各自で購入のこと）。

参考文献：

- 1) 日本生態学会（編）、「生態学入門」、東京化学同人、2,800 円（税別）。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A03601	基礎化学 I A	3・4	2	片山幸士

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
元素, 原子, 化学結合, 物質	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, グローバルな視野

授業のテーマ：

環境と生命の本質を化学的な面から理解するための必要な基礎知識を習得する。

授業の概要：

物質を構成する原子の構造や結合について基本的な事項から理解させる。さらに化学の基本単位である物質 (モル) の概念と使い方を学ぶ。

授業の計画：

- 1 化学で学ぶこと
- 2 元素と周期律表
- 3 原子の構造 (原子核)
- 4 原子の構造 (電子配置)
- 5 イオン結合
- 6 イオン性物質
- 7 共有結合
- 8 共有性物質
- 9 金属結合
- 10 分子間力
- 11 物質—化学の基本単位—
- 12 原子量・分子量・式量と物質
- 13 粒子の数・質量・体積と物質
- 14 液体と溶液
- 15 モル濃度

授業方法：

教科書「化学の基礎」を中心にして、授業計画に示した内容について講述する。さらに適宜、小テストや演習問題を行なう。

達成目標：

- 1 原子・分子や化学結合について理解させる。
- 2 原子量と質量を使って溶液の濃度計算ができるようにする。

評価方法：

テスト (小テスト, 期末テストなど)

教科書：

中川徹夫「化学の基礎」化学同人, 1,500 円

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A03701	基礎化学 I B	3・4	2	片山幸士

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
物質の三態, コロイド溶液, 化学反応	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, グローバルな視野

授業のテーマ：

物質の状態変化とエネルギーとの関係や、物質の化学反応による変化について述べる。

授業の概要：

気体・液体・固体間の変化、また、それぞれの状態のもつ特性について学ぶとともに、コロイド溶液の基礎を理解させる。さらに化学反応についての基本事項を習得させる。

授業の計画：

- 1 物質の三態
- 2 物質の三態変化と熱エネルギー
- 3 気体の状態変化
- 4 気体の状態方程式
- 5 理想気体と実存気体
- 6 溶液（溶解のしくみ）
- 7 溶解度
- 8 希薄溶液の性質
- 9 コロイドとは
- 10 コロイド溶液
- 11 化学反応と核化学反応
- 12 化学反応が起こる、起こらない。
- 13 化学反応式
- 14 化学反応と触媒
- 15 化学平衡

授業方法：

教科書「化学入門」を中心にして、授業計画に示した内容について講述する。さらに、適宜、小テストや演習問題を行なう。

達成目標：

- 1 気体・液体・固体の三態変化や、それぞれの特性について理解させる。
- 2 コロイドやコロイド溶液を理解し、実存する種々の溶液の検証ができるようにする。
- 3 化学反応の量論的關係や、反応の促進に関与する要因について理解させ、化学反応の可否を判断できるようにする。

評価方法：

テスト（小テスト、期末テストなど）

教科書：

大野公一ら「化学入門」共立出版、2,000円

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A03801	基礎化学ⅡA	3・4	2	片山幸士

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
有機化学, 天然高分子化合物, 合成高分子化合物	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, グローバルな視野

授業のテーマ：

化学物質の中で、炭素・水素を基本的な構成元素とし、酸素・窒素なども含む物質が有機化学物質に分類されている。この中には、衣食住に関わる物質や、動植物などの生体関連物質が含まれている。有機化学の基礎を学ぶとともに、身近な物質の化学的な理解を深める。

授業の概要：

有機化学物質について、原子・分子の構造に基づいて理解するとともに、身近な衣食住の物質や生体物質と化学との関連について学習する。

授業の計画：

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1 有機化学とは | 9 高分子化合物とは |
| 2 脂肪族炭化水素（飽和炭化水素） | 10 天然高分子化合物（糖類） |
| 3 脂肪族炭化水素（不飽和炭化水素） | 11 天然高分子化合物（タンパク質） |
| 4 酸素を含む脂肪族炭化水素（アルコール） | 12 合成高分子化合物（繊維） |
| 5 酸素を含む脂肪族炭化水素（アルデヒド・脂肪酸） | 13 合成高分子化合物（樹脂） |
| 6 芳香族炭化水素 | 14 合成高分子化合物（ゴム） |
| 7 フェノールと芳香族アミン | 15 まとめ |
| 8 芳香族カルボン酸 | |

授業方法：

教科書「化学入門」を中心にし、授業計画に示した内容について講述する。さらに、小テストを行なう。

達成目標：

- 1 有機化学の基礎事項を理解する。
- 2 生体関連物質や合成化学物質の性質や機能を理解する。

評価方法：

テスト（小テスト、期末テストなど）

教科書：

大野公一ら「化学入門」共立出版，2,000円

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A03901	基礎化学ⅡB	3・4	2	片山幸士

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境, 生命, 生活物質	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, グローバルな視野

授業のテーマ：

人類を取り巻く環境, エネルギー, 食料などの問題を日々の生活の中から取り上げ, 有機化学, 生化学的な観点から考察する.

授業の概要：

生物を構成する物質についての基本的な知識を習得させる. それらの物質と環境, エネルギー, 食料などの諸問題との関連について考察する.

授業の計画：

- | | |
|------------|--------------|
| 1 水と生命 | 9 農薬とフェロモン |
| 2 地球環境と化学 | 10 栄養とアミノ酸 |
| 3 エネルギーと化学 | 11 薬の化学 |
| 4 燃焼と火災 | 12 ビタミンと病気 |
| 5 セッケンと洗剤 | 13 ホルモンと生体情報 |
| 6 香りと化学 | 14 核酸 - 遺伝情報 |
| 7 色素の化学 | 15 酵素反応 |
| 8 味の化学 | |

授業方法：

教科書「化学入門」を中心にし, 授業計画に示した内容について講述する. さらに, 小テストを行なう.

達成目標：

物質や動植物の生命現象を化学の目を通して理解させる. さらに循環型社会への移行との関係についても, 授業計画に挙げた個々の課題の中で検討させる.

評価方法：

テスト (小テスト, 期末テストなど)

教科書：

大野公一ら「化学入門」共立出版, 2,000 円
 芝哲夫「化学物語 25 講」生きるために大切な化学の知識, 化学同人, 1,800 円+税

参考文献：

金原榮ら「基礎化学 2」化学反応と有機材料, 実教出版, 1,800 円+税

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A04001	基礎化学実験 I	3・4	2	守村・藤井芳

期間	曜日	時限	備考：2時限連続 履修抽選対象科目
前期	月	3・4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
測定・レポート作成・農地	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

農地を理解する上で環境要素を数値データとして知ることが重要である。そのため、土壌の物理化学性、水の挙動、及び気象について基本的な測定手法を修得し、そのデータから環境の状態を判断できるようになることを目的とする。また、得られたデータを人に伝えるために必要なレポート作成技術を学ぶ。

授業の概要：

大気・土・水の物理性及び化学性の測定を3回ずつ行う。物理性として土壌、気象、蒸散量を扱い、化学性としてpH、電気伝導度(EC)、有機物について実習を行なう。人数の都合上、授業の計画の物理性の測定を先に実施するグループと、化学性の測定を先に実施する2グループに分かれる。

授業の計画：

1. ガイダンス、グループ分け、レポートの全体構成について
2. 物理性の測定①：土壌の物理性の測定
3. レポート指導①：結論と目的の書き方、タイトルの決め方。測定原理の解説
4. 物理性の測定②：農場・地域の気象計測
5. レポート指導②：結果の書き方。測定原理の解説
6. 物理性の測定③：植物の蒸散量の測定
7. レポート指導③：全体構成、目的と結論、タイトル、結果の書き方の確認。測定原理の解説
8. 化学性の測定①：pHの測定
9. レポート指導④：全体構成、目的と結論、タイトル、結果の書き方の確認。測定原理の解説
10. 化学性の測定②：ECの測定
11. レポート指導⑤：方法の書き方について。測定原理の解説
12. 化学性の測定③：有機物の測定
13. レポート指導⑥：目的と結論、タイトル、結果、方法の書き方の確認。測定原理の解説
14. 物理性の測定④：まとめの実験
15. 化学性の測定④：まとめの実験

授業方法：

測定内容を概説した後に実習（屋外も含む）を行ない、受講生はその内容をレポートにまとめる。翌週に測定原理の解説、及びレポートの書き方について指導を行なう。

達成目標：

それぞれの環境測定によって、得られたデータから環境状態を判断できる。得たデータについて、どのような目的でどのようにしてどんな結果を得たのかをレポートにまとめて報告ができる。

評価方法：

筆記試験とまとめの実験のレポートによって評価する。
 各種測定を実施することができ、そのデータに基づいて環境状態を判断し、構成を踏まえたレポートとして報告することができる。……………S
 各種測定を実施することができ、構成を踏まえたレポートとして報告することができる。……………A
 各種測定を実施することができ、レポートとして報告することができる。……………B
 各種測定について大まかに理解しており、かつレポートの構成について理解している。……………C
 Cのレベルに達していない。……………D

教科書：

無し

参考文献：

授業中にその都度提示する。

実験・実習・教材費：

3,000円（実験消耗品代として）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A04201	基礎化学実験Ⅱ	3・4	2	藤井芳一

期間	曜日	時限	備考：2時限連続 履修抽選対象科目
後期	月	3・4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
化学実験・データ処理・レポート作成	コミュニケーション力, 分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

化学分析の基本である容量分析の技術と知識を習得する。ホールピペット、ビュレット、メスフラスコなどの測容器の使用法、洗浄法を修得するとともに、これらの器具の検定を電子天秤と秤量瓶を用いて行なう。さらに、環境試料を採取し、水質測定を行なう。また、これらのデータの統計処理方法を修得する。レポート指導を通じて科学論文の書き方を学ぶ。

授業の概要：

ガラス器具の検定や試薬の調製法を学ぶ。大学近隣のため池で水を採取し、水質測定を行なう。

授業の計画：

1. ガイダンス、実験を行なうにあたっての諸注意
2. pHとECの測定（原理と方法）、及び採水準備。
3. 採水、及び現地水質測定（猿田池）
4. 電子天秤の使用法
5. データの統計処理
6. レポート指導
7. ビュレットの使用法と1滴の体積
8. メスフラスコの使用法、シュウ酸標準溶液の調製
9. レポート指導
10. 猿田池のアルカリ度の測定
11. レポート指導、アルカリ度の解説
12. COD測定：過マンガン酸カリウムの標定
13. COD測定：CODの測定意義と原理について解説
14. COD測定：猿田池のCOD測定
15. COD測定：レポート指導

授業方法：

教科書と配布プリントに従って行なう。毎回の予習とレポートの提出が必須である。

達成目標：

化学実験の基本的な手法とレポート作成法を習得する。

評価方法：

課題実験とそのレポートによって評価する。

基本的な化学実験の操作の実施、及び目的と結論に基づいた構成のレポートを自身の考察を踏まえて報告することができる。・・・S

基本的な化学実験の操作の実施、及び目的と結論に基づいた構成のレポートとして報告できる。・・・A

基本的な化学実験の操作の実施、及び実験目的を理解してレポートとして報告できる。・・・B

基本的な化学実験の操作の実施、及びレポートとして報告できる。・・・C

Cのレベルに達していない。・・・D

教科書：

片山幸士・木曾祥秋編著『ベーシック分析化学実験』化学同人
(初回のガイダンスの際に購入について指示をする。)

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

実験試薬及び消耗品代として30,000円。白衣(3,000円程度)は別途購入が必要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A42201	ディベート	3	2	文野峯子
A05201	ブラッシュアップ日本語（基礎編）	4		

期間	曜日	時限	備考：履修条件（留学生）：総合日本語Ⅱの成績がA以上の者 （日本人・留学生）：初回授業における日本語試験において、 上記と同等の日本語能力を有すると担当教員が判断したもの
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
語彙力、読解力、速読、日本語能力試験 N 1	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

論説文を限られた時間内に正確に読み取る力を養成し、同時に専門的、時事的なテーマに関する語彙を増やす。分析的・批判的な読み方を学ぶ。

授業の概要：

新聞や日本語能力試験に出題された論説文等を制限時間内に読む→内容を簡潔にまとめる→報告する練習を行う。読んだ文章に対して意見を述べる練習も併せて行う。

授業の計画：

1. 履修資格判定テスト
2. 文章の構成を学ぶ（中心文を探す）
3. 速読練習（1）
4. 速読練習（2）
5. 速読練習（3）
6. 論説文を読む →要旨を書く→要旨の検討（1）
7. 論説文を読む →要旨を書く→要旨の検討（2）
8. 論説文を読む →要旨を書く→要旨の検討（3）
9. 論説文を読む →要旨を書く→要旨の検討（4）
10. 論説文を読む →要旨を書く→要旨の検討（5）
11. 批判的に読む →意見を述べる（1）
12. 批判的に読む →意見を述べる（2）
13. 批判的に読む →意見を述べる（3）
14. 批判的に読む →意見を述べる（4）
15. まとめ

授業方法：

速読練習以外の読み作業は宿題とし、担当者が読みの結果を発表し、発表内容をクラスで議論する形で授業を進める。毎回小テストによる単語・文章表現理解の確認を行い定着を図る。

達成目標：

日本語能力試験 N1 レベルの語彙力、読解力を身につける。読んだ内容をまとめ、意見を述べることを通じて、語彙力や思考力を高める。

評価方法：

小テスト	30%
授業内発表	40%
期末テスト	30%

教科書：

授業時に提示

参考文献：

授業時に提示

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A41601	コミュニケーションⅢ	3	1	文野峯子
A05401	ブラッシュアップ日本語（応用編）	4	2	

期間	曜日	時限	備考：履修条件（留学生）：総合日本語Ⅱの成績がA以上の者 （日本人・留学生）：初回授業における日本語試験において、 上記と同等の日本語能力を有すると担当教員が判断したもの
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ニュースの聞きとり、アカデミック・ライティング、発表	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

テレビ等身近なメディアを通じて情報を得る。アカデミックな内容の文章を書く。

授業の概要：

「テレビのニュース・討論番組を視聴する、新聞の論説文を読む」→「概要や要旨を書く」→「報告する」→「意見を述べる」という一連の作業を通して、読み取る、批判的に読む、正確に聞きとる、まとめる、わかるように話す、書くなど、大学生活で求められる言語活動が日本語でできるようになる。

授業の計画：

1. テレビのニュース・ドキュメンタリー・討論番組を視聴→まとめ→報告（1）
2. 事実文と意見文－ 報告（1）を文章化する。
3. 事実文と意見文－ 報告文の検討
4. テレビのニュース・ドキュメンタリー・討論番組を視聴→まとめ→報告（2）
5. 事実文と意見文－ 報告（2）を文章化する。
6. 事実文と意見文－ 報告文の検討
7. テレビのニュース・ドキュメンタリー・討論番組を視聴→まとめ→報告＋意見を述べる（1）
8. 意見文を書く（600字程度）
9. 意見文の検討
10. テレビのニュース・ドキュメンタリー・討論番組を視聴→まとめ→報告＋意見を述べる（2）
11. 意見文を書く（800字程度）
12. 意見文の検討
13. テレビのニュース・ドキュメンタリー・討論番組を視聴→まとめ→報告＋意見を述べる（3）
14. 意見文を書く（1000字程度）
15. 意見文の検討

授業方法：

文章を書く作業は宿題とする。文章は、電子媒体で作成し、教員に電子メールで送付する。文章の検討は、ピア・レスポンス（仲間同士で添削・修正）で行う。

達成目標：

論理的・抽象的な内容の解説等が聞きとれる。意見を批判的に聞ける。社会的なテーマについて、論理的な文章が書ける。

評価方法：

課題・発表 50%
試験 50%

教科書：

授業時に指示

参考文献：

授業時に提示

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A05601	キャリアデザイン I (基礎編)	3・4	2	樋口・三井

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
キャリア形成、自己理解、仕事理解、将来設計、キャリア選択	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力 (意思決定力)、グローバルな視野

授業のテーマ:

キャリアデザインとは、将来の働き方をデザインすることであり、これからの生き方をデザインすることでもあります。社会が大きく転換している今、就職・進学を問わず、その環境は目まぐるしく変化しています。本授業では、さまざまな演習を通じて、社会や自分を取り巻く環境をしっかりと見つめ、「自分らしさ」「自分の強みや課題」「自分の理想とする将来像」などを発見することを目標とします。

授業の概要:

キャリアデザインの基礎編として、低学年の早期段階からキャリアデザインを描くために必要な考え方や方策を学びます。具体的には、社会経済の動向をふまえた「仕事理解」と、自分の個性、興味・関心、欲求・動機、価値観、適性といった「自己理解」の両方を推し進め、将来のキャリア選択に備えます。

授業の計画:

- | | | | |
|----|----------------------------|-----|-----------------------|
| 1回 | 主体的なキャリア形成の必要性 | 9回 | 仕事理解①【演習】業界研究 (現状と課題) |
| 2回 | 自己理解①【演習】自分史「ライフ・ライン・チャート」 | 10回 | 仕事理解②【演習】企業研究 (使命と展望) |
| 3回 | 自己理解②【演習】好きと得意、長所と短所 | 11回 | 仕事理解③【演習】職種研究 (適性と能力) |
| 4回 | 社会経済の動向と雇用形態の多様化 | 12回 | 目標設定①【演習】学生時代に打ち込むこと |
| 5回 | 21世紀に求められる人材像 | 13回 | 目標設定②【演習】卒業時になりたい自分 |
| 6回 | 自己理解③【演習】将来展望「ライフ・キャリアの虹」 | 14回 | 自己表現①【演習】プレゼンテーション準備 |
| 7回 | 自己理解④【演習】ライフスタイルとワークキャリア | 15回 | 自己表現②【演習】プレゼンテーション発表 |
| 8回 | 自己理解⑤【演習】キャリアタイプと職業適性 | | |

授業方法:

講義と演習を交えて展開します。講義は、基本的にテキストを使って進めます。演習は、個人ワークとグループセッションの二本立てで進めます。まずは、個人ワークで自分なりの考えをまとめます。つぎに、グループセッションで各自の考えを交換し、互いに学び合います。

達成目標:

『21世紀に求められる人材像と、卒業時になりたい自分をイメージし、そのために必要な行動がとれる』こと。

評価方法:

授業の取り組み: 50%、課題・演習: 50%

主体的なキャリア形成の必要性を理解したうえで、完成度の高い自らのキャリアデザインができる・S
 主体的なキャリア形成の必要性を理解したうえで、ある程度のキャリアデザインができる・・・A
 キャリア形成の必要性を理解したうえで、一部のキャリアデザインができる・・・・・・・・・・B
 キャリア形成の必要性を理解している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・C
 Cのレベルに達していない・・D

教科書:

樋口貴子著 『キャリアデザインの基礎』 (株)キャリアデザイン (500円) ※最初の授業内で販売します。

参考文献:

授業の中で適宜、紹介します。

実験・実習・教材費:

なし。 ※教科書以外に必要な内容は、適宜資料を配布します。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A05801	キャリアデザインⅡ(応用編)	3・4	2	樋口・三井

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
キャリア開発、職業人意識、社会人常識、ビジネスマナー、仕事の基本	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力(意思決定力)、効果的な社会参加

授業のテーマ:

間近に迫る「卒業・就職」という節目を前に、将来の自分の活躍する姿を見据えながら、自分にとって働く意義・働く意味とは何かを考え、社会人・職業人としての意識を醸成します。また、ビジネスパーソンとして仕事を円滑に進めるために必要な常識や仕事の基本について理解を深めます。さらに、さまざまな演習を通じて、ビジネスマナーの習得を目指します。

授業の概要:

キャリアデザインの応用編として、実践的なキャリア開発を進めます。まずは、社会人・職業人として求められる基本姿勢や、仕事の進め方についてケーススタディを交えて学びます。また、ビジネスパーソンとしての予備知識やマナーを身に付けます。就職希望者はぜひ受講してください。

授業の計画:

1回	職業観・勤労観	9回	立居振舞い、挨拶
2回	職業人(プロフェッショナル)意識	10回	言葉遣い(敬語)、話し方
3回	組織で必要とされる基本姿勢	11回	電話応対
4回	キャリア展望を考える①	12回	ビジネスメール、手紙の書き方
5回	キャリア展望を考える②	13回	訪問のマナー
6回	適職探索と職業研究	14回	指示の受け方、報告・連絡・相談
7回	ライフイベントを考える	15回	仕事の進め方(PDCAサイクル)
8回	身だしなみ、勤怠のマナー		

授業方法:

講義と演習を交えて展開します。講義は、基本的にテキストを使って進めます。演習は、個人ワークとグループセッションの二本立てで進めます。まずは、個人ワークで自分なりの考えをまとめます。つぎに、グループセッションで各自の考えを交換し、互いに学び合います。

達成目標:

『ビジネスパーソンとしての基本スキルを身に付け、ビジネスマナーが実践できる』こと。

評価方法:

授業の取り組み:50%、課題・演習:50%

高いプロフェッショナル意識を有し、社会人として通用するビジネスマナーを常に実践できる・S
 プロフェッショナル意識を有し、社会人として通用するビジネスマナーをある程度実践できる・A
 プロフェッショナル意識を有し、社会人として通用するビジネスマナーを一部実践できる・・・B
 学生として最低限のマナーを実践できる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・C
 Cのレベルに達していない・・D

教科書:

樋口貴子著 『就職スキル・マインド準備』、『就職スキル・ビジネスマナー』(有)キャリアサポーター(2冊セットで1,500円) ※最初の授業内で販売します。

参考文献:

授業の中で適宜、紹介します。

実験・実習・教材費:

なし。 ※教科書以外に必要な内容は、適宜資料を配布します。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A06001	キャリアデザインⅢ（実践編・インターンシップ）	3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：この科目は、事前にガイダンスを実施したうえで履修登録を確定させます。後日、別途期間を定めて追加履修登録を受付けます。
前期	集中	8～9月	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション能力、協調性、責任感	コミュニケーション力、問題解決力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

就労体験を通して、仕事に関する知識・理解を深め、自己の適性を理解した上で主体的に進路を選択できる能力・態度を養成します。

授業の概要：

この授業では、自らのキャリアデザインの一環として、企業や団体で将来のキャリアに関する就業体験（約2週間）を行い、事後にレポート提出と報告会を実施します。ただし、就業日数が所定期間に満たない実習については、単位は付与されません。なお、希望者多数の場合は、希望する企業や団体での実習に応じられない場合があります。また、この授業の受講を希望する場合は「キャリアデザインⅡ（応用編）」を受講することが望まれます。

授業の計画：

（スケジュール予定）

- 5月 事前ガイダンス
- 7月 派遣前マナー研修会
- 8、9月 インターンシップ実習
- 9月 レポート提出
- 10月 報告会

（インターンシップ実績企業・団体）

カリモク家具、物語コーポレーション、蒲郡海洋開発、中部日本広告社、岡崎市役所、岡崎商工会議所、エフエム岡崎、すぎた、西尾信用金庫、SMB C日興証券

授業方法：

企業や団体ごとに方法は異なりますが、それぞれの実習先で就業体験します。

達成目標：

職場の人と適切なコミュニケーションがとれ、主体的に仕事をこなす。

評価方法：

受け入れ企業・団体からの評価、レポートなどから総合的に判断します。

- 職場の人と適切なコミュニケーションがとれ、主体的に仕事ができ、事後報告もきちんとできる…………… S
- あまり主体的には仕事ができなかったが、職場の人と適切なコミュニケーションがとれ、事後報告もきちんとできる…………… A
- 職場の人と適切なコミュニケーションがとれたが、事後報告があまりできていない…………… B
- 適切なコミュニケーションがとれず、事後報告もあまりできない…………… C
- 上記のレベルに達していない…………… D

教科書：

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A06101	ビジネスコミュニケーション	3・4	2	樋口・三井

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション能力、情報伝達、意見主張、意見集約、プレゼンテーション	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、効果的な社会参加

授業のテーマ：

将来、ビジネスパーソンとして社会で活躍するためには、専門知識や業務処理能力だけでなく、ビジネスを円滑に進めたりするうえで必要不可欠な「相手の話を正しく理解し、自分の意思を正しく伝達し表現する」といった意思疎通をはかるコミュニケーション能力が必要です。本授業では、ビジネスコミュニケーション能力の基本から実際までを理解したうえで、実践的なスキルの習得を目標とします。

授業の概要：

就職（採用選考）にあたって最も重視される「コミュニケーション能力」とは何かを理解したうえで、ビジネスシーンを想定したケーススタディやロールプレイングを通じて、実際の場面で活用できるビジネスコミュニケーションを身に付けます。就職希望者はぜひ受講してください。

授業の計画：

1回	ビジネスコミュニケーションとは	9回	アサーショントレーニング
2回	話し方と聞き方の基本「他者紹介に挑戦」	10回	意見集約のスキル
3回	ノンバーバルスキルとバーバルスキル	11回	コンセンサストレーニング
4回	効果的な話し方トレーニング	12回	相手の尊重、人間関係の常識、チームワーク
5回	質問のスキル	13回	プレゼンテーションの企画、設計
6回	効果的な聞き方トレーニング	14回	プレゼンテーションのコンテンツ制作
7回	情報伝達のスキル	15回	プレゼンテーションの実施
8回	意見主張のスキル		

授業方法：

講義と演習を交えて展開します。講義は、基本的にテキストを使って進めます。演習は、個人ワークとロールプレイを中心としたグループワークの二本立てで進めます。

達成目標：

『ビジネスコミュニケーションスキルを身に付け、実際の場面で活用できる』こと。

評価方法：

授業の取り組み：50%、課題・演習：50%
 さまざまな場面で、完成度の高いビジネスコミュニケーションスキルが活用できる・・・S
 限定された場面で、ビジネスコミュニケーションスキルが活用できる・・・A
 一部のビジネスコミュニケーションスキルが使える・・・B
 ビジネスコミュニケーションの基本を理解している・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

樋口貴子著 『就職スキル・コミュニケーションスキル』（有）キャリアサポーター（1,000円）
 ※最初の授業内で販売します。

参考文献：

授業の中で適宜、紹介します。

実験・実習・教材費：

なし。 ※教科書以外に必要な内容は、適宜資料を配布します。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A42301	キャリア形成演習 I	3	1	樋口貴子他

期間	曜日	時限	備考：定員60名。 この授業については、履修登録期間中には登録は行わず、事前説明会を行った上で、別途期間を定めて履修登録を行います。合宿は11月16日(土)～17日(日)に愛知県青年の家で実施予定。
後期	-	-	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
キャリア形成、キャリア選択、将来設計、就職活動、社会への移行準備	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、効果的な社会参加

授業のテーマ：

本格的な就職活動を控え、実践的な就職活動の対策として1泊2日の合宿形式で就職力の強化をはかります。

授業の概要：

各種採用選考を模擬体験することにより、就職活動における自らの課題を明確にします。また、それを踏まえて今後どのように就職活動を進めていけばよいのかを学びます。

授業の計画：

- 事前課題（15時間）：
 大学指定の履歴書作成（5時間）、業界研究シート（5時間）、企業&職種研究シート（5時間）
 （1回あたり1コマ（90分）×15回） ※1回目は事前研修。2回～15回目は合宿として実施。
- 1回「オリエンテーション」 就活トレーニング合宿に必要な心構え、事前課題の取り組み方
 - 2回「最近の就職事情」 四大生の就職活動の実態、就活スケジュールの確認
 - 3回「採用側の本音」 企業が新卒に求めるもの、採用担当者の視点
 - 4回「会社説明会」 会社説明会での情報収集、会社訪問・OB/OG訪問の心得
 - 5回「面接選考」 個人面接・集団面接のポイント、グループワーク・グループ討議の進め方
 - 6回「グループ討議①」 グループ討議の実践1回目
 - 7回「グループ討議②」 グループ討議の実践2回目
 - 8回「面接マナー」 面接時の立ち居振る舞い、話し方
 - 9回「応募書類準備」 エントリーシート・履歴書の書き方
 - 10回「履歴書作成①」 履歴書の添削指導
 - 11回「履歴書作成②」 履歴書の修正（書き直し）、模擬面接の準備
 - 12回「筆記試験対策」 筆記試験の傾向と対策、SPI模試に挑戦
 - 13回「模擬面接①」 集団面接形式、ビデオ撮影・観察学習、模擬面接の振り返り
 - 14回「模擬面接②」 集団面接形式、ビデオ撮影・観察学習、模擬面接の振り返り
 - 15回「今後の目標設定」 合宿（2日間）の振り返り、就職活動に対する目標設定

授業方法：

講義と演習を交えて展開します。演習では、グループ討議と模擬面接（ビデオ撮影）の二本立てで展開します。また、必要に応じて、履歴書の添削などを含めた個別指導も行います。

達成目標：

自らの将来展望を明確化するとともに、その実現に向けて、今後の就職活動を主体的かつ自立的に進めることができる力を身に付けます。

評価方法：

- 授業の取り組み：50%、演習・課題：50%
- 自らの将来展望を明確にし、その実現に向けた就職活動を主体的かつ自立的に進めることができる・・・S
 - 自らの将来展望をある程度明確化したうえで、就職活動を主体的に進めることができる・・・A
 - 自らの将来展望を部分的に明確化したうえで、就職活動の進め方を理解している・・・B
 - 基本的な就職活動の進め方を理解している・・・C
 - Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

大学指定「キャリアハンドブック&就職活動手帳」

参考文献：

授業の中で適宜、紹介します。

実験・実習・教材費：

- 教材費（500円）
- 教室使用料（一人あたり：800円～1,400円）
- 食費（3食：1,700円）
- 宿泊費（1泊：1,400円）

合計：4,400～5,000円

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A42401	キャリア形成演習Ⅱ	3	2	文野峯子

期間	曜日	時限	備考：留学生対象
前期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
履歴書、自己PR、志望動機、面接	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、効果的な社会参加

授業のテーマ：

日本企業への就職、履歴書の書き方。志望動機の書き方。面接の受け方。

授業の概要：

日本企業への就職を目指す留学生にとってまず重要なのは、正しい日本語で履歴書を書くこと、面接の尋問に答えられることである。この授業は、留学生のための、日本企業就職に向けた準備コースである。具体的には、日本語で日本企業就職のための履歴書の書き方を学ぶ、日本語による就職面接に適切に応えられるようになる練習を行う。

授業の計画：

1. 先輩の体験談を分担して読む→発表
2. 日本企業が求める履歴書とは
3. 印象に残る自己PR
4. 30秒で自己PR、150文字で自己PR文を書く
5. 自己PR発表
6. 自己PR文検討・修正（文法、表現、内容）
7. 志望動機とは。企業について調べる
8. 調査結果発表
9. 志望動機を書く
10. 志望動機文検討・修正（文法、表現、内容）
11. 面接の質問
12. 質問の答えを考える－1
13. 質問の答えを考える－1
14. 評価の練習
15. ロールプレー（就職面接）

授業方法：

授業は、講義形式ではなく、個人ワーク、グループセッション等を多彩に取り入れた学習者参加型の方式で展開する。

達成目標：

- ・日本語で、日本企業に受け入れられる履歴書が書けるようになる。
- ・企業による面接が、日本語で受けられるようになる。

評価方法：

期末試験 50%、レポート 50%

教科書：

授業時に指示

参考文献：

- 『BJT ビジネス日本語能力テスト JLRT 体験テストと解説』 ジェトロ
『これで安心！外国人留学生のための日本就職オールガイド』 凡人社
『新・外国人留学生のための面接』 凡人社

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A06601	基礎ゼミナールA（再履修者クラス）	3・4	1	島崎義治

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
聴く・読む・調べる・整理する・まとめる・書く	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

基礎ゼミナールは、本学1年生の必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な基礎的な技能や、知的探究心を鍛錬することを目的としています。また、教員との直接対話を通じて学習意欲を啓発するとともに、学生同士の親睦と連帯の意識を育てます。

授業の概要：

1. 基礎ゼミナールは、A（前期）とB（後期）に区分され、両科目は必修科目です。
2. 基礎ゼミナールでは、共通テキストを使用して、ノート・テイキング、文献調査、レポート作成、プレゼンテーションなど大学に必要な基礎的技法を学びます。

授業の計画：

1. 第1章 スタディスキルズとは
2. 第2章 ノート・テイキング（その1）
3. 第2章 ノート・テイキング（その2）
4. 第3章 リーディングの基本スキル（その1）
5. 第3章 リーディングの基本スキル（その2）
6. 第4章 より深いリーディングのために（その1）
7. 第4章 より深いリーディングのために（その2）
8. 第5章 大学図書館における情報収集（その1）
9. 第5章 大学図書館における情報収集（その2）
10. 第8章 アカデミックライティングの基本スキル（その1）
11. 第8章 アカデミックライティングの基本スキル（その2）
12. 第9章 効果的なアカデミックライティングのために（その1）
13. 第9章 効果的なアカデミックライティングのために（その2）
14. レポート作成についてのQ & A（その1）
15. レポート作成についてのQ & A（その2）

授業方法：

全員で教科書の理解度を確認した後、課題に取り組みます。

達成目標：

大学の学習に必要な基礎学力、基礎的技能を修得し、学習意欲と知的探究心を養う。

評価方法：

レポート試験

教科書：

『知へのステップ（改訂版）』（くろしお出版）1,800円＋税
担当教員によっては別途、補助教材を称することがあります。

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A06701	基礎ゼミナールB（再履修者クラス）	3・4	1	島崎義治

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
まとめる・書く・表現する・伝える	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

基礎ゼミナールは、本学1年生の必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な基礎的な技能や、知的探究心を鍛錬することを目的としています。また、教員との直接対話を通じて学習意欲を啓発するとともに、学生同士の親睦と連帯の意識を育てます。

授業の概要：

1. 基礎ゼミナールは、A（前期）とB（後期）に区分され、両科目は必修科目です。
2. 基礎ゼミナールBでは、前期で学んだことに加え、コンピューターを利用した技法を学び、基礎的現代的な教養や社会問題、問題の発見と解決、創造と発想、調査研究の方法など幅広い分野を取り上げます。査、レポート作成、プレゼンテーションなど大学で必要な基礎的技法を学びます。

授業の計画：

1. 第10章 パソコンによるライティングスキル（その1）
2. 第10章 パソコンによるライティングスキル（その2）
3. 第11章 プレゼンテーションの基本スキル（その1）
4. 第11章 プレゼンテーションの基本スキル（その2）
5. 第12章 わかりやすいプレゼンテーションのために（その1）
6. 第12章 わかりやすいプレゼンテーションのために（その2）
7. 身の回りにある問題を見つけてみよう（その1）
8. 身の回りにある問題を見つけてみよう（その2）
9. 図書館などで情報を収集してみよう（その1）
10. 図書館などで情報を収集してみよう（その2）
11. レポートを作成してみよう（その1）
12. レポートを作成してみよう（その2）
13. プレゼンテーションをしてみよう（その1）
14. プレゼンテーションをしてみよう（その2）
15. まとめ

授業方法：

全員で教科書の理解度を確認した後、課題に取り組みます。

達成目標：

大学の学習に必要な基礎学力、基礎的技能を修得し、学習意欲と知的探究心を養う。

評価方法：

レポート試験

教科書：

『知へのステップ（改訂版）』（くろしお出版）1,800円＋税

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A09101	海外大学単位互換科目 A	3・4	2	文野・花井

期間	曜日	時限	備考：準備期間 H25 年 4 月下旬～研修期間直前 研修期間 H 25 年 8 月下旬～9 月初旬（予定） ※この授業については、履修登録期間中には登録は行わず、事前説明会を行った上で、別途期間を定め履修登録を行います。 履修抽選対象科目
前期	集中	8～9月	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学生主体、協働学習、異文化間交流、リーダーシップ	コミュニケーション力、問題解決力、グローバルな視野

授業のテーマ：

1. 「獲得型」学習。学生各自が、主体的かつ積極的に活動に参加し、知識・能力を獲得する。
2. 価値観や母語の異なる他者と共に学び合う活動を通して、他者理解だけでなく自己理解を深める。

授業の概要：

この科目は、本学と海外の大学が結んだ単位互換協定にもとづいて実施されるものです。本学の学生が当該科目を履修した場合、修得した科目の単位は2科目（2単位×2ヵ年＝4単位）まで本学の『全学共通基礎科目』の科目として卒業要件単位に算入できます。

授業の計画：

＜研修内容＞

台湾の大学から教員と学生が研修に参加する予定です。テーマ等は、先方の大学と話し合いの上決定します。過去のテーマは、「まちづくり」、「コミュニティづくりと言語管理」、「現代の世相に見る日本の社会」などです。各チームは、台湾の学生と本学の学生で混成グループを作ります。グループ編成は、事前のインターネット上のやりとりを通じて台湾の学生の来日前に行われます。使用言語は、日本語を基本とします。台湾の学生は外国語である日本語でコミュニケーションをしなければなりません。日本人の学生には、語学面からの支援や意思疎通が円滑に進むよう気を配るなどの役割が求められます。グループの研究課題決定から活動計画、研究発表に至るまで学生が主体となつて行う実習・演習タイプの科目であり、来日した学生との協働の研修であるので、台湾の学生が活動している間日本人学生は全ての過程においてリーダーとして参加することが期待されます。

＜研修前の活動＞

- 1) インターネットを通して台湾の学生とやりとりを行います。
- 2) 週一回程度 日本人側の勉強会、受け入れ準備のための話し合いを行います。

＜研修期間中の活動＞

合宿、あるいはホームステイの形態で宿泊をし、台湾の学生と24時間寝食を共にします。日中は、グループごとにフィールドに行き、必要な調査を行ったり調査結果をまとめたりします。夜は、全体会議でその日の報告をします。最後に、成果を公開で発表します。

＜本学学生の応募条件＞

1. 責任ある態度で主体的かつ積極的な参加ができること。
2. 異文化交流に関心がある者。
3. インターネットでの通信が可能なこと。（学内 PC 利用も含む）

＜募集定員＞ 30名

授業方法：

学外のフィールドに出て、調査研究を行う。

達成目標：

主体的に活動に参加することを通して、広い視野、責任感、自主性、コミュニケーション力、リーダーシップ等社会人に求められる能力を身につける。

評価方法：

準備期間および研修期間中の参加状況、グループへの貢献度、発表などを総合的に評価する。

準備期間の貢献度	10%
グループ演習（グループでの討論、フィールドでの協働作業）	25%
講義・活動報告（講義・フィールドの報告会）	25%
口頭発表（グループ毎に PPT を用いて発表）	30%
報告書作成	10%

教科書：

なし

実験・実習・教材費：

活動フィールドや活動内容によって実費（数千円程度）が必要となる場合があります（詳細は事前説明会で説明します）

※なお、海外からの学生が来日しないなど交流行事そのものが実施されない場合、本科目は不開講となります。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A10801	スポーツ実習（1）A	3・4	1	菅原太
期間	曜日	時限	備考： 5月3日、4日、5日に授業が行われます	
前期	木	3		
授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力		
奈良公園 長谷 室生 山辺の道		社交性（社会的相互関係力） 効果的な社会参加 美的感受性		

授業のテーマ：

文化財や風土を観照しつつトレッキングをおこない、地域の自然環境と伝統文化にふれます。

授業の概要：

集中授業として、5月3日（金）・4日（土）・5日（日）に奈良公園周辺・山辺の道・長谷・室生の2泊3日の日程でトレッキングしながら寺社を巡ります。

* 日程は25年度の開講日、受講者の人数などの都合により後期授業期間に延期する可能性があります。

授業の計画：

4月の4回の授業日で概要説明、トレッキングコースの詳細、宿泊施設の予約と部屋割りなどを決めます。詳細な行程は直前の週の授業時間に配布します。

* 4月の授業に出席しなかった受講生は集中授業には参加できません。

授業の計画（集中授業）：

第1回：奈良公園・当尾

1日目：近鉄天理駅集合。山辺の道をトレッキング（近鉄天理駅→石上神社→長岳寺→近鉄柳本駅）。天理市で宿泊。

2日目：長谷寺周辺と室生寺周辺のトレッキング。天理市で宿泊。

3日目：近鉄奈良駅下車後奈良公園周辺をトレッキング（東大寺戒壇堂→法華堂→春日大社→新薬師寺→白毫寺→奈良町）。近鉄奈良駅で解散。

* コースは、天候その他の理由で変更の可能性があります。

授業方法：

寺社・史跡を徒歩で巡り（1日約10km）、レポートを作成。

達成目標：

地域文化と自然に親しみながら、都市生活で鈍化しがちな身体と感覚器官を活性化させ、健康増進を図る。

評価方法：

授業に対する取組み80%、レポート20%。

教科書：

石井亜矢子『仏像の見方ハンドブック』池田書店 998円

参考文献：

田中英道『法隆寺とパルテノン』祥伝社 1,800円

実験・実習・教材費：

宿泊費は1人1泊4～6千円くらい。

現地集合・解散の為、交通費は乗車駅や交通機関などで異なる（家からの往復その他で8～9千円くらい）。

その他、寺社拝観料（7ヶ寺参拝、1社寺につき300～600円）が必要です。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A10901	スポーツ実習（1）B	3・4	1	菅原太

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
三十三所観音 法蔵寺 山林 石仏	分析・総合の思考力と判断力 社交性 美的感受性

授業のテーマ：

文化財や自然の風土を観照しつつトレッキングをおこない、自然環境と地域文化に触れます。

授業の概要：

本宿旧街道沿いにある法蔵寺の裏山の石仏を、トレッキングしながら調査します。

授業の計画：

1. 日本の仏教美術についての講義。
 2. 三十三所観音の成り立ちについての講義。
 3. 仏像の見分け方の講義。
 - 4～14. 法蔵寺三十三所観音のフィールド調査。
 15. まとめ
- *天候により変更あり。

授業方法：

法蔵寺裏山のフィールド調査をおこない、そこにある三十三体の観音像の図像的特徴を観察し、観音名を当てるゲーム形式。

達成目標：

地域文化と自然に親しみながら、都市生活で鈍化しがちな身体と感覚器官を活性化させ、健康増進を図る。

評価方法：

授業に対する取組み 70%、三十三ヶ所観音調査レポート提出 30%。

教科書：

石井亜矢子『仏像の見方ハンドブック』池田書店 998円

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A11401	スポーツ実習（４）A	3・4	1	永田恵理

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スポーツを楽しむ、体力づくり、基本技術の習得、仲間作り	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、効果的な社会参加

授業のテーマ：

卓球を行うことで、運動不足解消や体力向上を目指す。さらに、基礎練習やゲームを通じて体を動かす爽快感や新しい仲間を作り活動するなど、スポーツをする楽しさを実感できると良い。

授業の概要：

卓球は誰もが気軽に行えるスポーツであるので、更に技術を身に付けることで、体力差や男女差に関係なくゲームを楽しめると良い。また、基礎練習やゲームを行う中で、他の受講生とコミュニケーションをとり、親交を深める場になると良い。

授業の計画：

- (1) 基礎練習（フォアハンド、バックハンド、ドライブ、ツッツキ、スマッシュ、サーブ）
- (2) 応用練習（基礎練習を複合させた練習）
- (3) シングルスゲーム（ルール、ゲームの流れの学習）
- (4) ダブルスゲーム（ルール、ゲームの流れの学習）
- (5) ゲーム（リーグ戦、団体戦など）

授業方法：

一回の授業の流れは、ウォーミングアップ、技術練習、ゲーム、クーリングダウンとする。技術練習の内容を徐々にレベルアップさせることにより、ゲームの内容を向上できると良い。

達成目標：

卓球の技術を高めることや、ゲームに勝つことも大事であるが、最も大切なのは、積極的に参加し、真面目に取り組むことである。つまり、運動能力云々より、技術向上の為に努力できるかが大事であり、また周囲と協力し、皆が楽しく円滑に活動できるよう、率先して行動できるようになることが目標となる。

評価方法：

期末の実技試験による。

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

備考：

運動できる服装と体育館シューズが必要

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A11501	スポーツ実習（４）B	3・4	1	永田恵理

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スポーツを楽しむ、体力づくり、基本技術の習得、仲間作り	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、効果的な社会参加

授業のテーマ：

バドミントンを行うことで、運動不足解消や体力向上を目指す。また、ゲームやその運営をすることにより、仲間作りや互いに協力して活動する能力を身に付けることをテーマとする。さらに、スポーツの楽しさを実感し、生涯を通じてスポーツをする大切さや、その意義について学習する。

授業の概要：

バドミントンは運動量が多く、様々な動きを必要とするため、授業を通して運動不足を実感したり、運動習慣の必要性を感じる場になると良い。また、リーグ戦などを円滑に進めるために周囲と協力して活動し、他の受講生とコミュニケーションをとることで、親交を深める場になると良い。

授業の計画：

- (1) 基礎練習（クリアー、ドロップ、ヘアピン、スマッシュなど）
- (2) 応用練習（基礎練習を複合させた練習）
- (3) シングルスゲーム（ルール、ゲームの流れの学習）
- (4) ダブルスゲーム（ルール、ゲームの流れの学習）
- (5) ゲームやその運営（リーグ戦、団体戦など）

授業方法：

一回の授業の流れは、ウォーミングアップ、基礎練習、ゲーム、クーリングダウンとする。基礎練習、チーム練習の内容を徐々にレベルアップさせることにより、ゲームの内容を向上できると良い。

達成目標：

バドミントンの技術を高めることやゲームに勝つことも大事であるが、最も大切なのは、積極的に参加し、真面目に取り組むことである。つまり、運動能力云々より、技術向上の為に努力できるかが大事であり、また周囲と協力し、皆が楽しく円滑に活動できるよう、率先して行動できるようになることが目標となる。

評価方法：

期末の実技試験による。

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

備考：

運動できる服装と体育館シューズが必要

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A20101	情報実習（1）	3・4	2	石川克己

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
前期	集中	A・C	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コンピュータの活用、ITリテラシ、情報技術	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

情報技術を正確に効率よく活用するための基礎知識と、実習を通してワープロソフトによる文書作成の基本、表計算ソフトの利用技術として集計・グラフ表現・データベース機能、またプレゼンテーションソフトの基礎、およびネットワークの利用として電子メールの送受信・インターネットの基礎知識など、パソコン検定3級程度の知識・技術の習得を目指す。

授業の概要：

前半では、ワードの操作を実習を通して身に付ける。後半では、パワーポイント・エクセルの操作を、実習を通して身に付ける。また、インターネットの使い方、メールの送受信、またその際に必要となるセキュリティやマナーなど、情報技術を活用する上で必須となる知識を学ぶ。

授業の計画：

前半	後半
1回 パソコン・Windowsの基礎	1回 パワーポイント：基本操作・ITリテラシ
2回 日本語入力	2回 パワーポイント：実践・ITリテラシ
3回 インターネット基礎	3回 パワーポイント：自由制作・ITリテラシ
4回 メールを活用・データのコピー	4回 パワーポイント：自由制作・ITリテラシ
5回 インターネットの活用	5回 エクセル：基礎
6回 ワード：基礎	6回 エクセル：基本的な表計算
7回 ワード：書式設定と編集	7回 エクセル：絶対参照
8回 ワード：表の作成	8回 エクセル：IF関数
9回 ワード：オブジェクトの作成	9回 エクセル：グラフ1
10回 ワード：図形描画とスマートアート	10回 エクセル：グラフ2
11回 ワード：差し込み印刷	11回 エクセル：データベースの活用
12回 ワード：オブジェクトを効果的に使った文書	12回 エクセル：応用関数
13回 ワード：ドロー実習	13回 エクセル：関数復習
14回 ワード：ドロー実習	14回 エクセル：ワードとの連携
15回 ワード：総合演習	15回 エクセル：分析・考察

授業方法：

テキストに沿って、講義を交えながらパソコンを操作して実習する。
評価項目ごとに演習課題の作成に取り組む。

達成目標

コンピュータ・インターネットを活用してレポート、論文の作成を効率よくできる能力を身につける。

評価方法：

評価項目ごとに演習課題に取り組み、その達成度と普段の出席状況・受講態度などから総合評価する。
評価の内訳は、出席点15%、テスト（演習問題）60%、課題と受講態度25%である。

教科書：

『Windows 7対応 30時間でマスター Word2010』（実教出版株式会社／950円税込）
『Windows 7対応 30時間でマスター Excel2010』（実教出版株式会社／900円税込）
『キーワードで理解する最新情報リテラシー 第4版』（日経BP社／1,260円税込）

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A20201	情報実習（2）	3・4	2	守村敦郎

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
通年	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境データ分析、Web、グラフィック処理、プログラミング、GIS（地理情報システム）	問題解決力、分析・総合の思考力と判断力、コミュニケーション力

授業のテーマ：

情報実習(1)の学びの内容を踏まえ、より実践的なデータ処理の技法と考え方を身につける。3年次以降、個々が卒業研究テーマや将来の進路に応じ自発的に、より高度なデータ処理技法を習得していけるような素地を身につける。

授業の概要：

卒業研究や実社会で役立つデータ処理技術や、データ等を公開し共有するための Web によるデータ開示技術の基本を身につける。情報処理の基本としてのプログラミングや、環境データを空間データとして扱い分析・可視化する手法、より実践的な環境・農業データの分析技法などを習得する。

授業の計画：

前期：

- 1) イントロダクション、Google Appsの活用
- 2) 情報実習（1）の復習（Excelその1）
- 3) 情報実習（1）の復習（Excelその2）
- 4) Excelによるデータ処理の基本（対数、有効数字）
- 5) Excelによるデータ処理の基本（基本統計量）
- 6) Excelによるデータ処理の基本（グラフの作成）
- 7) Excelによるデータ処理の基本（まとめ）
- 8) Excelによるデータ処理の基本（相関と回帰）
- 9) Excelによるデータ処理の基本（平均値の差の検定）
- 10) Excelによるデータ処理の基本（まとめ）
- 11) Webによるデータ開示の基本（htmlの基本）
- 12) Webによるデータ開示の基本（グラフィックの活用）
- 13) Webによるデータ開示の基本（デジカメ写真の活用）
- 14) Webによるデータ開示の基本（Excelデータの公開）
- 15) Webによるデータ開示の基本（まとめ）

後期：

- 1) プログラミングの基礎（Scratch言語の基礎）
- 2) プログラミングの基礎（判断と繰り返し）
- 3) プログラミングの基礎（並行プログラミング）
- 4) プログラミングの基礎（プロジェクトの共有）
- 5) プログラミングの基礎（まとめ）
- 6) 空間データの分析と可視化（GISの基本的操作）
- 7) 空間データの分析と可視化（地図の表示と編集）
- 8) 空間データの分析と可視化（地図間演算・幾何的操作）
- 9) 空間データの分析と可視化（地図内演算・空間補完）
- 10) 空間データの分析と可視化（まとめ）
- 11) 環境データの分析と利用（環境データの収集と分析）
- 12) 環境データの分析と利用（栽培実験データの分析）
- 13) 環境データの分析と利用（農業統計データの分析）
- 14) 環境データの分析と利用（環境・農業データの公開）
- 15) 環境データの分析と利用（まとめ）

授業方法：

教材に沿って、講義を交えながらパソコンを操作して実習する。評価項目ごとに演習課題の作成に取り組む。

達成目標：

基本的な環境データ分析や簡単な Web ページの作成を行うことができる。Scratch 言語を用いた簡単なプログラムを作成することができる。GIS を用いた空間データの分析・可視化を行うことができる。

評価方法：

Web ページの形式で作成されたレポート（100%）で評価する。授業内容の達成度を総合的に測る難易度 S, A, B, C の計 4 つのレポート課題を与え、そのうち自らのレベル（各自で判断）に応じたもの一つを完成させ提出させる。提出されたレポートの難易度がそのまま評価（S, A, B, C）となる。ただしレポートの完成度が不十分な場合はその限りでない。また完成度が大幅に劣る場合は難易度によらず D 評価とする。

教科書：

なし。教材を作成し配布する。

参考文献：

- 実教出版編修部『Windows 7 対応 30 時間でマスター Excel2010』 実教出版株式会社（900 円）
 古田均ら『基礎からわかる GIS』 森北出版（2,520 円）
 久野靖ら『キーワードで理解する最新情報リテラシー 第 4 版』 日経 BP 社（1,260 円）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30101	英語（1）（再履修者クラス）	3・4	2	白井恵三

期間	曜日／時限	備考：週2回開講
前期	月／2・水／3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
基礎英文法、日英文化比較	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

イギリスの文化を紹介する英文を読みながら基礎的な英文法を確認し、同時に日本の文化との違いに気付きます。

授業の概要：

英文を読むことで各文の構造を解説し、また、基礎的な英文法を確認します。

授業の計画：

(1) Lesson 1	present tense	(16) Lesson14	comparisons
(2) Lesson 2	nouns, pronouns	(17) Lesson15	gerunds
(3) Lesson 3	past tense	(18) Lesson16	passive voice
(4) Lesson 4	present perfect tense	(19) Lesson17	numbers
(5) Lesson 5	progressives	(20) Lesson18	subjunctives
(6) Lesson 6	adverbs	(21) Lesson19	relatives
(7) Lesson 7	causative verbs	(22) Lesson20	negatives
(8) Lesson 8	auxiliary verbs	(23) Lesson21	participial constructions
(9) Lesson 9	adjectives	(24) Lesson22	interrogatives
(10) Lesson10	prepositions	(25) Lesson23	imperatives
(11) Lesson11	conjunctions	(26) Lesson24	reported speech
(12) Lesson12	to infinitives	(27) Lesson25	articles
(13) Lesson13	future tense	(28) Lesson26	participles
(14) Exercise 1		(29) Exercise 3	
(15) Exercise 2		(30) Exercise 4	

授業方法：

テキストに沿って進めます。また、文法の単位によってはより理解度を深めるためにプリントを用意することがあります。

達成目標：

授業内容を十分に理解している。

評価方法：

期末試験（100％）による総合評価。

S：授業内容をほぼ完全に出来る。

A：上記項目について、やや問題はあるがほぼ完全にできる。

B：やや問題はあるが、ほぼコミュニケーションができる。

C：表現に問題はあるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D：Cのレベルに到達していない。

教科書：

Terry O'Brien 他著「ストーリーで楽しむ日本とイギリス」南雲堂 2,000円

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30201	英語（2）（再履修者クラス）	3・4	2	白井恵三

期間	曜日／時限	備考：週2回開講
後期	月／2・水／3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
TOEIC、ビジネス英語、基礎英文法	コミュニケーション力

授業のテーマ：

TOEIC 形式の問題を解くことで、TOEIC の問題に慣れ、英語の実力をつけるだけでなく、ビジネス界に入ってから役立つ知識を身につけることができます。

授業の概要：

ビジネスで使われる単語を確認し、基礎文法の確認をしながらリスニングの問題、リーディングの問題を解きます。

授業の計画：

(1) Chapter 1	冠詞	(16) Chapter 8	分詞構文
(2) Chapter 1	冠詞	(17) Chapter 9	時制の一致
(3) Chapter 2	句と節	(18) Chapter 9	時制の一致
(4) Chapter 2	句と節	(19) Chapter10	話法
(5) Chapter 3	動詞と5文型	(20) Chapter10	話法
(6) Chapter 3	動詞と5文型	(21) Chapter11	比較
(7) Chapter 4	現在時制と未来時制	(22) Chapter11	比較
(8) Chapter 4	現在時制と未来時制	(23) Chapter12	接続詞
(9) Chapter 5	現在完了時制	(24) Chapter12	接続詞
(10) Chapter 5	現在完了時制	(25) Chapter13	後置修飾
(11) Chapter 6	形容詞・副詞	(26) Chapter13	後置修飾
(12) Chapter 6	形容詞・副詞	(27) Chapter14	関係代名詞・関係副詞
(13) Chapter 7	能動態と受動態	(28) Chapter14	関係代名詞・関係副詞
(14) Chapter 7	能動態と受動態	(29) Chapter15	仮定法
(15) Chapter 8	分詞構文	(30) Chapter15	仮定法

授業方法：

テキストに沿って進めます。また、文法の単位によってはより理解度を深めるためにプリントを用意することがあります。

達成目標：

基本的英文法を理解し、TOEIC500点レベルに達している。

評価方法：

期末試験（100％）による総合評価。

S：TOEIC500点レベルをほぼ完全に出来る。

A：上記項目について、やや問題はありますがほぼ完全にできる。

B：やや問題はありますが、ほぼコミュニケーションができる。

C：表現に問題はありますが、コミュニケーションはどうか可能である。

D：Cのレベルに到達していない。

教科書：

Noriko Kano 他著「TOEIC テスト形式で学ぶビジネス英語入門」南雲堂 2,000円

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30301	英語（3）	3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
グローバル化、異文化共生、多様性、オープンマインド	コミュニケーション力、グローバルな視野、効果的な社会参加

授業のテーマ：

企業がウェブサイトで発信するニュースリリース、事業案内、製品紹介、投資家関連情報など、実際の企業活動が反映された文書を題材に、世界規模での事業展開や現在の経済動向を身近に感じる

授業の概要：

企業の情報発信に欠かせない語彙・語法のピックアップや、文書スタイルに込められた多様な経営戦略を解説する。必ず予習し、必ず出席し、必ず担当分を発表すること。

授業の計画：

<前期>

1. 2. 花王
3. 4. パナソニック
5. 6. トヨタ
7. 8. 三菱電機
9. 10. コマツ
11. 12. ANA
13. 14. オリックス
15. 復習と解説 またはローソン

<後期>

1. 2. ソニー銀行
3. 4. 大丸
5. 6. 東京海上日動
7. 8. 三菱重工
9. 10. 京セラ
11. 12. イオン
13. 14. 参天製薬
15. 復習と解説 またはキッコーマン

授業方法：

受講生が順番に英文テキストを和訳した後に、内容について自分の言葉で説明する。教師が英文についての文法上の質疑をしたうえで、内容の経営学的背景について説明する。

達成目標：

やや長文で簡潔、論理的な構文を通じて、ビジネス文章のスタイルを知る。
外国人を相手に奮闘する日本のビジネスの場のふんいきを感じとる。

評価方法：

期末試験 100%で評価する

- ・和訳し、日本企業のグローバル化状況について自ら調べ、内容の理解度は高い。…………… S
- ・和訳し、内容の理解度はやや高い…………… A
- ・機械的に和訳し、内容の理解度は普通かやや低い…………… B
- ・和訳に間違いが多く、内容の理解度は低い…………… C
- ・和訳することがほぼできない、内容の理解度は低い…………… D

教科書：

『Styling Corporate Messages 世界で活躍する日本の企業』成美堂

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30401	英語（４）	３・４	２	岡良和

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	３	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スピーキング、リスニング	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

日常的で身近な話題について、自分の考えを英語で述べたり書いたりすることができるようにし、次の段階である高度な専門的内容を英語で説明する能力の基礎を作る。テキストの英文はそう難しくないなので、英語の意味を理解する作業に終始することなく、テキストの英語表現をフル活用し英語で発信することを目的とする。

授業の概要：

食生活、スポーツ、動物の生存権、ライフスタイル、喫煙・飲酒、人口問題、TVの功罪、などをテーマに、さまざまなプラクティスをしながら英語で意見を形成していく。

授業の計画：

1回 Eating Well	16回 Abstract Art/Movies
2回 Good looks are everything in life.	17回 My favorite film stars
3回 Personality Types	18回 Man's Best Friend
4回 My phobia	19回 Explain the ideal pet.
5回 Sports/Music	20回 Gun Control
6回 Animals need to be protected	21回 Hunting should be banned.
7回 Lifestyles	22回 The Death Penalty
8回 The ideal lifestyle	23回 The death penalty should be abolished.
9回 Drinking/Smoking	24回 Population Control
10回 My hobby	25回 There are too many people in the world.
11回 Executive Salaries	26回 The Influence of Television
12回 Executive salaries should be capped.	27回 Most TV is pretty bad.
13回 Endangered Species	28回 Summer or Winter?
14回 Japan has pollution problems.	29回 Winter has its advantages.
15回 Speech	30回 Speech

授業方法：

1つのユニットに2回の授業を充てる。1回目は語彙、15行程度の英文の理解、対立する意見の検討、などを行い、2回目はそれぞれのトピックに関して、自分の意見を明らかにし、英語で発表できるようにする。また、ペアワークやグループワークを活用する。

達成目標：

自分と異なる意見を理解し検討や評価をしたうえで、原稿や資料を使いながら自分の意見を英語で発表できること。

評価方法：

授業での取り組み（60%程度）と前・後期末の定期試験（40%程度）により行う。

- 英語で10分程度の発表ができる・・・S
- 英語で7分程度の発表ができる・・・A
- 英語で5分程度の発表ができる・・・B
- 英語で3分程度の発表ができる・・・C
- Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

Paul McLean My Opinion, Your Opinion, MACMILLAN LANGUAGEHOUSE, 1,785 円

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
A30901	英語（５）	３・４	２	白井恵三

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	１	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読解力、食と栄養	コミュニケーション力

授業のテーマ：

食と栄養をテーマとした英文を読み、読解力だけではなく、それについての一般知識と TOEIC 等英語の資格試験において出題されるようになった専門用語を身につけます。

授業の概要：

英文を読み、各文を構造的に解説します。また、本文で使用された有効な表現を確認し、また、ディクテーションをすることでリスニング力も強化します。

授業の計画：

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|------------------------|
| (1) Unit 1 | 主要な栄養素 | (16) Unit 8 | 食品の保存 |
| (2) Unit 1 | 主要な栄養素 | (17) Unit 9 | 食の安全 |
| (3) Unit 2 | 健康補助食品 | (18) Unit 9 | 食の安全 |
| (4) Unit 2 | 健康補助食品 | (19) Unit10 | 菜食主義 |
| (5) Unit 3 | 食物アレルギー | (20) Unit10 | 菜食主義 |
| (6) Unit 3 | 食物アレルギー | (21) Unit11 | 摂食障害 |
| (7) Unit 4 | 肥満の時限爆弾 | (22) Unit11 | 摂食障害 |
| (8) Unit 4 | 肥満の時限爆弾 | (23) Unit12 | 健康的な日本料理の文化 |
| (9) Unit 5 | クラッシュダイエット | (24) Unit12 | 健康的な日本料理の文化 |
| (10) Unit 5 | クラッシュダイエット | (25) Unit13 | 食事と妊娠生活 |
| (11) Unit 6 | 糖尿病 | (26) Unit13 | 食事と妊娠生活 |
| (12) Unit 6 | 糖尿病 | (27) Unit14 | ジェイミー・オリバーの「フィードミーベター」 |
| (13) Unit 7 | 食べ物 | (28) Unit14 | ジェイミー・オリバーの「フィードミーベター」 |
| (14) Unit 7 | 食べ物 | (29) Unit15 | 栄養士になる |
| (15) Unit 8 | 食品の保存 | (30) Unit15 | 栄養士になる |

授業方法：

テキストに沿って進めます。また、文法の単位によってはより理解度を深めるためにプリントを用意することがあります。

達成目標：

授業内容を十分に理解している。

評価方法：

期末試験（100％）による総合評価。

S：授業内容をほぼ完全に出来る。

A：上記項目について、やや問題はありますがほぼ完全にできる。

B：やや問題はありますが、ほぼコミュニケーションができる。

C：表現に問題はありますが、コミュニケーションはどうか可能である。

D：Cのレベルに到達していない。

教科書：

Akiko Tsuda 他著「健康生活に見る食育と栄養」南雲堂 1,700円

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A31001	英語（6）	3・4	2	白井恵三

期間	曜日	時限	備考：
通年	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読解力、独創性と成長戦略	コミュニケーション力

授業のテーマ：

日本のトップ企業の独創性と成長戦略を英文を読み、英文の読解力だけではなく、就職活動する際のヒント並びに今後の人生に不可欠な知恵となります。

授業の概要：

英文を読み、各文を構造的に解説します。また、本文で使用された有効な表現を確認し、また、ディクテーションをすることでリスニング力も強化します。

授業の計画：

- | | | | |
|----------------|---------|----------------|---------|
| (1) Chapter 1 | アサヒグループ | (16) Chapter 8 | 大正製薬 |
| (2) Chapter 1 | アサヒグループ | (17) Chapter 9 | 豊田通商 |
| (3) Chapter 2 | キャノン | (18) Chapter 9 | 豊田通商 |
| (4) Chapter 2 | キャノン | (19) Chapter10 | 日本金銭機械 |
| (5) Chapter 3 | KDDI | (20) Chapter10 | 日本金銭機械 |
| (6) Chapter 3 | KDDI | (21) Chapter11 | 日本経済新聞社 |
| (7) Chapter 4 | シチズン | (22) Chapter11 | 日本経済新聞社 |
| (8) Chapter 4 | シチズン | (23) Chapter12 | HOYA |
| (9) Chapter 5 | スズキ | (24) Chapter12 | HOYA |
| (10) Chapter 5 | スズキ | (25) Chapter13 | マブチモーター |
| (11) Chapter 6 | 積水ハウス | (26) Chapter13 | マブチモーター |
| (12) Chapter 6 | 積水ハウス | (27) Chapter14 | ヤマダ電機 |
| (13) Chapter 7 | セブンイレブン | (28) Chapter14 | ヤマダ電機 |
| (14) Chapter 7 | セブンイレブン | (29) Chapter15 | ユニクロ |
| (15) Chapter 8 | 大正製薬 | (30) Chapter15 | ユニクロ |

授業方法：

テキストに沿って進めます。また、文法の単位によってはより理解度を深めるためにプリントを用意することもあります。

達成目標：

授業内容を十分に理解している。

評価方法：

期末試験（100％）による総合評価。

S：授業内容をほぼ完全に出来る。

A：上記項目について、やや問題はあるがほぼ完全にできる。

B：やや問題はあるが、ほぼコミュニケーションができる。

C：表現に問題はあるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D：Cのレベルに到達していない。

教科書：

Kenji Ozawa 他著「日本を代表する企業で学ぶ総合英語」南雲堂 2,100円

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30501	海外英語実習 I	3・4	2	岡良和

期間	曜日	時限	備考：この科目は事前にガイダンスを実施のうえで履修登録を確定させます。後日、別途期間を定めて追加履修登録を受付けます。
前期	集中	8月頃	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
英語運用力、異文化理解	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

授業で学んだ英語力やその運用能力をより高めること、また、実生活を通して英語圏の文化や生活・風俗・歴史にじかに触れ、人々と英語でコミュニケーションすることにより、国際人としての視野を広げる。なお、このプログラムにおいては、滞在中に起こる諸問題を自ら解決する能力を身につけることも目的とするので、原則として教員は同行しない。

授業の概要：

研修先で実施されるテストにより習熟度別のクラスに配属された上で、1週当たり20時間で構成される集中コースを4週間受講し、日常的な英語を学ぶ。

授業の計画：

研修校のプログラムに準ずる。

授業方法：

研修校のプログラムに準ずる。

達成目標：

英語圏で生活するのに不自由しない程度の語学力と文化理解力を身につける。

評価方法：

研修校で発行される成績に基づいて行う。

教科書：

研修校で与えられる。

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

研修にかかる費用（概算）：

50万円程度（航空券代20万円程度、レッスン代（テキスト代含む）滞在費30万円程度、その他）
いったん納入された費用は返還されない。

登録方法：

4月下旬に説明会を行い適性に関する審査のうえ、別途履修登録を行う。

危機管理について：

旅行者損害保険には必ず加入してもらうが、病気、事故、犯罪被害などの諸問題に関しては、自己責任を基本とする。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30601	時事英語	3・4	2	石上文正

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
英語を通して世界を知る	コミュニケーション、分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

この授業の目的は、英字新聞や英語の雑誌を読む力を身につけることを目的としています。さらに、授業に準拠したテープも聴いてもらい、ある程海外の英語ニュースを聴き取れる力を身につけることも目指します。また、時事英語はたんなる英語の学習ではなく、ニュース英語を通して、現代の社会、内外の政治、経済、環境、軍事等についての理解を深めることも重要な目的です。

授業の概要：

授業はテキストにそって行い、幅広い分野の英文記事を読みます。本学の学生の専攻を考慮して、環境等に関する記事も、できるだけ多く読むようにします。

授業の計画：

前期

- 1～3. Chapter 1 国内政治
- 4～6. Chapter 2 ビジネス
- 7～9. Chapter 3 外交・国際会議
- 10～12. Chapter 4 海外トピックス・文化
- 13～15. Chapter 5 軍事

後期

- 1～3. Chapter 6 災害・気象
- 4～6. Chapter 7 犯罪・司法
- 7～9. Chapter 8 環境・資源・エネルギー
- 10～11. 環境問題に関する自作プリント
- 12～14. Chapter 9 科学・医療
- 15. まとめ

授業方法：

基本的には、テキストにそって英文記事を読み進めていきます。とくに、時事英語学習では、それぞれの分野のある程度の知識や語彙が必要なので——例えば、裁判の記事を読むには、裁判関連の知識および語彙が必要——英文記事の背景知識や語彙の説明等をおこないます。なお、授業には必ず英和辞典を持ってきてください。

達成目標：

ニュースの各分野特有の語彙を理解・習得し、辞書をみながらでも、英語ニュースを読むことができることを目標にしています。

評価方法：

年2回の定期試験によって評価します。前期および後期試験をそれぞれ50点満点とし、両テスト足して評価します。なお、試験の前には準備すべき点を詳細に示したプリントを配布します。

教科書：

『時事英語の総合演習 2013年度版』 朝日出版社 1,500円+消費税
授業に、英和辞典を持参してください

参考文献：

時事的な問題についての自作のプリントを、授業中に配布します。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30701	英会話（1）	3・4	2	ジェラルド・マクレラン

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
通年	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
Speaking, Listening, Communicating	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

In this class students will be required to be able to communicate in English at a basic level. This class will concentrate on reinforcing the language learned at junior high school. As the level is low, students will be expected to master it and to do well in tests. We will do easy tasks in English and there are many structured questions to build confidence.

授業の概要：

We will cover all the basic grammar points. Students should be prepared to speak in class and to contribute to the lessons. Students who assume a passive role will fail this class.

授業の計画：

1 : Unit 1 : Exchange students	16 : Unit 8 : Weather
2 : Unit 1	17 : Unit 8
3 : Unit 2 : Eating out	18 : Unit 9 : Vacations
4 : Unit 2	19 : Unit 9 :
5 : Unit 3 : Music	20 : Unit 10 : Buying Gifts
6 : Unit 3	21 : Unit 10
7 : Unit 4 : Activities	22 : Unit 11 : Rules
8 : Unit 4	23 : Unit 11 :
9 : Unit 5 : Physical Appearance	24 : Unit 12 : Fun and Fitness
10 : Unit 5	25 : Unit 12 :
11 : Unit 6 : Jobs	26 : Unit 13 : Health
12 : Unit 6	27 : Unit 14 : Summer Plans
13 : Unit 7 : Personality	28 : Unit 14
14 : Unit 7	29 : Unit 15 : Getting Around
15 : Review	30 : review

授業方法：

We will use the textbook to discuss the various topics. Each unit should take two class periods.

達成目標：

The aim is to allow students to use language that they should already know in a natural way. Emphasis will be given to listening and speaking in this class. Students will be required to study.

評価方法：

Effort/ Participation : 30 % . Class Tests : 70 % . Students who DO NOT attend this class will fail. There will be two short class tests each semester. They will last about one hour.

Participates in class, speaks fluently, and gets over 80% in class tests S
 Participates in class, speaks fluently, and gets over 70% in class tests A
 Participates in class, communicates with difficulty, and gets over 60% in class tests B
 Participates in class, communicates with help, and gets over 60% in class tests C
 Fails to show, doesn't participate in class, gets below 60% in class tests D

教科書：

David Nunan, Go For it! Thomson,

参考文献：

実験・実習・教材費：

None

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30801	英会話 (2)	3・4	2	ジェラルド・マクレラン

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
通年	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
Speaking, Listening, Communicating	コミュニケーション力

授業のテーマ：

In this class students will be required to be able to communicate in English at a basic level. This class will concentrate on reinforcing the language learned at junior high school. As the level is low, students will be expected to master it and to do well in tests. We will do easy tasks in English and there are many structured questions to build confidence. Students will also be expected to make a final 2 minute presentation.

授業の概要：

We will cover all the basic grammar points. Students should be prepared to speak in class and to contribute to the lessons. Students who assume a passive role will fail this class.

授業の計画：

- | | |
|--|---|
| 1 : Unit 1 : What's in a name? | 16 : Unit 8 : Plans? |
| 2 : Unit 1 | 17 : Unit 8 |
| 3 : Unit 2 : Where do you live? | 18 : Unit 9 : Directions? |
| 4 : Unit 2 | 19 : Unit 9 |
| 5 : Unit 3 : When is your birthday? | 20 : Unit 10 : How do you make that? |
| 6 : Unit 3 | 21 : Unit Presentation (How to ……) |
| 7 : Unit 4 : Free Time | 22 : Unit 11 : Marriage |
| 8 : Unit 4 : Presentation (Free time activities) | 23 : Unit 11 |
| 9 : Unit 5 : Can you dance? | 24 : Unit 12 : Future? |
| 10 : Unit 5 | 25 : Unit 12 |
| 11 : Unit 6 : Free Time | 26 : Unit 13 : What's your father like? |
| 12 : Unit 6 | 27 : Unit 14 : Tall, taller, tallest |
| 13 : Unit 7 : Holidays? | 28 : Unit 14 |
| 14 : Unit Presentation (Holidays) | 29 : Unit 15 : A good restaurant |
| 15 : Review | 30 : review |

授業方法：

We will use the textbook to discuss the various topics. Each unit should take two class periods. In addition, students will be required to make short presentations in English

達成目標：

The aim is to allow students to use language that they should already know in a natural way. Emphasis will be given to listening and speaking in this class. Students will be required to study. Students will be expected to speak out in class.

評価方法：

Effort/ Participation: 20 % . Class Tests: 80 % . Students who DO NOT attend this class will fail. There will be two short class tests each semester. They will last about one hour.
 Participates in class, speaks fluently, and gets over 80% in class tests …………… S
 Participates in class, speaks fluently, and gets over 70% in class tests …………… A
 Participates in class, communicates with difficulty, and gets over 60% in class tests………… B
 Participates in class, communicates with help, and gets over 60% in class tests………… C
 Fails to show, doesn't participate in class, gets below 60% in class tests …………… D

教科書：

Gerry Mclellan. Everyday English. MGS publications (¥2,000)

参考文献：

None

実験・実習・教材費：

None

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33101	中国語（１）	３・４	２	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	５	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、異文化理解	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

中国語入門。初めて中国語を学ぶ人を対象とする。

授業の概要：

- ・ピンインと簡体字を習得する。
- ・基礎的な文法事項を学び、それらを用いた表現を練習する。

授業の計画：

前期

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> １．発音 ３．「的」の用法、名前について ５．副詞「也」 ７．形容詞述語文、量詞 ９．時間詞と時刻 １１．選択疑問文 １３．反復疑問文、意志表示 １５．まとめ（１） | <ol style="list-style-type: none"> ２．人称代名詞、「是」の用法 ４．動詞述語文、疑問詞「誰」など ６．場所を示す指示代名詞、 ８．連動文、指示代名詞 １０．アスペクト助詞 １２．副詞「都」、助動詞「想」 １４．前置詞「在」、助動詞「能」「会」 |
|---|--|

後期

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> １．年月日・曜日、時間量 ３．動作の回数・順番 ５．アスペクト助詞「着」、動詞の重ね型 ７．結果補語、方向補語 ９．禁止の表現 １１．「是～的」構文 １３．使役文 １５．まとめ（２） | <ol style="list-style-type: none"> ２．助動詞「打算」「要」 ４．二重目的語文 ６．程度副詞 ８．「比」を用いた比較構文 １０．方位詞、変化の「了」 １２．接続詞の用法 １４．「把」構文 |
|--|---|

授業方法：

- ・教科書にしたがって進める。
- ・随時、小テストを実施する。

達成目標：

- ・ピンインを正しく発音できる。
- ・教科書収録の重要な表現が読み書きできる。

評価方法：

- 試験（８０％）と授業への取り組み（２０％）により行う。
- S…正しい発音ができ、基礎的な文法事項を活用した表現ができる
- A…正しい発音ができ、基礎的な文法事項に基づいた表現ができる
- B…正しい発音ができ、基礎的な文法事項を用いた表現ができる
- C…ピンインを読むことができ、基礎的な文法事項を理解できる
- D…Cのレベルに達していない

教科書：

未定

参考文献：

辞書などは授業時に紹介する。

実験・実習・教材費：

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33201	中国語（2）	3・4	2	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、異文化理解	コミュニケーション力

授業のテーマ：

中国語の初級をひとつとおり終えた人を対象とする。

授業の概要：

基礎的な文法事項を復習しつつ、新しい表現を習得する。

授業の計画：

- | | | |
|----|-------------------|-----------------|
| 前期 | 1. 基本文型の確認 | 2. 助動詞「可以」「要」 |
| | 3. 主述述語文、目的語が主述句 | 4. 「的」の用法 |
| | 5. 「因為」、文末の助詞 | 6. 連動文 |
| | 7. 「是～的」の文 | 8. 「了」の3つの用法 |
| | 9. 副詞「就」 | 10. 様態補語 |
| | 11. 可能性の予測を表わす「会」 | 12. 仮定を表わす「要是」 |
| | 13. 結果補語（1） | 14. 副詞「有点儿」 |
| | 15. まとめ | |
| 後期 | 1. 存現文 | 2. 主語がフレーズするとき |
| | 3. 「～了～了」の用法 | 4. 状態の持続を表わす「着」 |
| | 5. 副詞「再」 | 6. 疑問視の不定用法 |
| | 7. 方向補語 | 8. 使役 |
| | 9. 可能補語 | 10. 強調表現 |
| | 11. 結果補語（2） | 12. 受身を表わす「被」 |
| | 13. 「快～了」の用法 | 14. 「把」の構文 |
| | 15. まとめ | |

授業方法：

- ・教科書にしたがって進める。
- ・随時、小テストを実施する。

達成目標：

- ・ピンインを正しく発音できる。
- ・教科書収録の重要な表現が読み書きできる。

評価方法：

- 試験により行う。
- S…正しい発音ができ、基礎的な文法事項を活用した表現ができる
A…正しい発音ができ、基礎的な文法事項に基づいた表現ができる
B…正しい発音ができ、基礎的な文法事項を用いた表現ができる
C…ピンインを読むことができ、基礎的な文法事項を理解できる
D…Cのレベルに達していない

教科書：

尹景春ほか著『中国語つぎへの一步』白水社、2,310円（税別）

参考文献：

辞書などは授業時に紹介する。

実験・実習・教材費：

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33501	ドイツ語(1)	3・4	2	伊藤利行

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
通年	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ドイツ語、基礎、ドリル	コミュニケーション力、問題解決力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

ドイツ語文法の基礎を学び、基本的な単語・表現を記憶する。

授業の概要：

会話調の短い簡明な文章でドイツ語への入門を導く教科書(全9課)に即し、ドイツ語文法の基礎知識の獲得を目指す。目安として、1年後にBeethovenの第9交響曲のAn die Freude「歓喜に寄す」の歌詞を文法的に完全に理解しドイツ語的に歌えるように指導したい。

授業の計画(大体の予定)：

前期	内容	後期	内容
第1回	概論：ドイツ語の特徴と学習方法など	第1回	第5課-1
第2回	発音1	第2回	第5課-2
第3回	発音2	第3回	第5課-3
第4回	第1課-1	第4回	第6課-1
第5回	第1課-2	第5回	第6課-2
第6回	第1課-3	第6回	第6課-3
第7回	第2課-1	第7回	第7課-1
第8回	第2課-2	第8回	第7課-2
第9回	第2課-3	第9回	第7課-3
第10回	第3課-1	第10回	第8課-1
第11回	第3課-2	第11回	第8課-2
第12回	第3課-3	第12回	第8課-3
第13回	第4課-1	第13回	第9課-1
第14回	第4課-2	第14回	第9課-2
第15回	第4課-3	第15回	第9課-3

授業方法：

受講者は、必ず予習をして出席すること。この作業なしで出席しても実力は上がらないし、評価も出来ない。

達成目標：

ドイツ語の基礎文法と基本語彙の習得。

評価方法：

- ①授業への参加態度(間違っても良いからあらかじめ見当をつけておく)。必ず予習して出席すること。全30回中欠席10回で単位認定不可。
- ②ミニテスト(各課終了毎)や宿題を課す。
- ③上記の幾つかの平常点の合計で行い定期試験は原則行わない。授業の進展上、ミニテストの試験が確保できない場合のみ、定期試験期間中にミニテストを行う事がある。

教科書：

『はじめようドイツ語』(郁文堂) ISBN 978-4-261-01217-0 ¥2,500+税

参考文献：

- <参考書>：(一応次のものを挙げておく)
 常木実『標準ドイツ語』(郁文堂) ¥2,500
 <推薦辞書>：(このほかにもあるが、一応次のものを推薦する。学習意欲に応じて選択のこと)
 a) 中級以上のドイツ語までやる気のある人には、『郁文堂独和辞典』第2版(郁文堂) ¥4,200 [語彙数11万語]
 b) 入門・初級程度で終わるつもりの人には、『新キャンパス独和辞典』(郁文堂) ¥3,000 [語彙数2万3千語]
 c) どちらか迷っている人には、『クラウン独和辞典』第3版(三省堂) ¥4,100 [語彙数6万4000語] や『アクセス独和辞典』第3版(三修社) ¥4,100 [語彙数7万3500語] や『フロイデ独和辞典』(白水社) ¥4,000 [語彙数7万5千語] など
 担当者ホームページ (<http://www1.uhe.ac.jp>) 参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33601	ドイツ語（2）	3・4	2	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
通年	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
文構造の把握、読解力、語彙力	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、美的感受性

授業科目のテーマ：

単なる単位取得の手段としてではなく、ドイツ語能力の向上という目的をもつ学生が対象であり、初級程度のドイツ語文法はしっかり身につけていることを条件とする。前期では、ドイツ語の文章の構造が把握できて、ドイツ語の文章が読めるようになる力をつけるための下地を養い、後期では、辞書を引きながらであっても、学生が自分でドイツ語の文章が読めるようになることを目指す。

授業の概要：

前期では、テキストを使用して、ドイツ語のさまざまな文章について、疑問の余地の残らないような徹底的な構造説明を行なう。それによって、後期以降は、学生自身が自分でドイツ語の文の構造を明確に把握できるようになり、読解できるようになってゆく。また、語彙力をふやす為に、重要な熟語等の含まれた独作文小テストを毎回行なう。

授業の計画：

前期

- ①今年度の授業の Einfuehrung。ドイツ語文章の読解能力を身につけることができるようになるための具体的方法の説明。ドイツ語学習意欲を喚起するための導入講話。
- ②～⑨テキストの第1課の文章について、学生自身に説明させた後、それぞれの文章について、徹底的な構造分析を行ない、ドイツ語の文章が疑問の余地なく解るとはどういうことか、学生に実感させる。また、必要に応じて文法の説明。文法については、単に丸暗記ではなく、なぜそうなるのか理由が説明できる事項については詳しい説明を行なうことにより、理解した上で記憶する作業に進みやすいような説明を行なう。文法についての練習問題も行なう。毎回、独作文小テストの実施。
- ⑩～⑫第2課について、上記と同様、徹底的な構造分析、中級以上の文法の説明、練習、独作文小テストの実施。
- ⑬⑭第3課について、徹底的な構造分析、中級以上の文法の説明、練習、独作文小テスト。
- ⑮第4課について、徹底的な構造分析、中級以上の文法の説明、練習、独作文小テスト。

後期

- ①～③夏期休暇課題として出したドイツ語の文章について、和訳させ、文の構造や文法等について、こちらの出した問いに答えさせる。同じく課題としておいた中級以上のレベルの文法の問題に答えさせる。
- ④～⑧テキスト後半の課の文章に即して、引き続き文の構造説明を学生自身に行なわせ、学生の理解に不十分なところがあれば、質し補う。より難度の高いレベル以上のドイツ語を読むために必要なドイツ語文法やこれまでに学んだ表現を応用した文を、独作文小テストに加える。
- ⑨より難度の高いレベルのテキストを新たに使用し、この新しいテキストについて、予習の仕方等を説明する。
- ⑩～⑬新しいテキストの講読。段落すべてを正確に和訳させる。やや難解なドイツ語の文章については、文の構造について説明させ、こちらの問いに答えさせる。必要に応じて、上級レベルのドイツ語文法の説明。独作文小テストはやや高レベルのもの。
- ⑭⑮学生に未見のテキストを配布し、語彙についての援助を与えつつ、その場で和訳と説明を行なわせる。但し、学生の到達度によっては、13回までのテキストを続行する場合もある。

授業方法：

単に和訳させて了りというような単調な授業方法はとらない。ドイツ語の読解能力が身につくようなテキストを選び、ドイツ語文法力や語彙力も強化しつつ、それぞれの文について徹底的な構造分析を繰り返して行なう。

達成目標：

上記のような方法によって、履修者自身が自力で文の構造が把握できるなることを第一の目標として、文法力もより確実に充実したものとし、語彙もふやすことを目指す。

評価方法：

毎回必ず当たるので、予告された箇所の予習をしてもらうことが評価の前提条件である。その上で、授業時の応答や小テストの結果等の平常点や、学期末試験の成績等から総合的に評価する。
 ドイツ語の文の構造が正確に把握でき、文法問題や独作文小テストの結果も良好…………… S
 ドイツ語の文の構造がほぼ把握でき、文法問題や独作文小テストの結果もほぼ良好…………… A
 ドイツ語の文の構造は説明されれば解り、文法問題や独作文小テストも3分の2程度はできる… B
 ドイツ語の文の構造は説明されれば解り、文法問題や独作文小テストにも努力はしている…………… C
 Cのレベルに達していない…………… D

教科書：

前期：最初の授業時に知らせる（最初の数回はコピー配布）。後期後半：プリント配布。

参考文献：

最初の授業時に、日本におけるドイツ語研究史のみならず、ドイツ語学習史とでもいうべきものに言及するが、その折りに参考書等も紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33701	海外ドイツ語実習 I	3・4	2	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	8月頃	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
会話力、ドイツ文化、体験	分析、総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、美的感受性

授業のテーマ：

実際にドイツに滞在してドイツ語会話能力を向上させ、ドイツ文化を体感すること。

授業の概要：

実際にドイツに滞在して、ドイツ文化とドイツ語に囲まれる生活をし、ドイツ語会話学校に在籍して、そこで学ぶ。

授業の計画：

8月に、ドイツの語学学校ゲーテ・インスティテュート (Goethe-Institut) で、4週間の語学研修 Intensivkurs(vier Woche) を受ける。一日の授業時間は、午前中の4時間である。午後や週末には、任意参加の文化プログラムや小旅行が多数準備されているほか、晩には簡単な飲食会も随時開かれる。これらに積極的に参加し、各国からの参加者とコミュニケーションをとることが不可欠である。

授業方法：

履修希望者は、4月24日(水曜日)までに、担当教員(吉田)に個別に相談すること。その際、ドイツ語のみによる面接を行なって、参加の可否を決定する。その後、参加者を対象として数回のオリエンテーションを実施する(日程と場所は別途指示)。帰国後レポートの提出を求めるが、まとまった参加者がある場合には、報告会を開催する。

達成目標：

ドイツで少なくともある程度のドイツ語会話能力を養うこと。

評価方法：

履修した語学学校で発行される修了証明書を提出してもらい、これによって評価する。オリエンテーションへの参加、帰国後のレポート等も評価対象とする。さらに、現地での履修態度について、担当教員が直接語学学校に問い合わせることもある。

教科書：

事前にはなし。現地では現地の指示に従うこと。

参考文献：

履修が決定した時点で、準備に役立つ参考書などを紹介する。

実験・実習・教材費：

研修費用は、二人部屋での滞在費用を含めて、およそ1,500ユーロ前後(大都市ほど高い)である。これ以外に、往復の航空運賃、現地での旅行費、食費、研修期間以外に旅行する場合は、その旅費、宿泊費等。

特記：

担当教員は、研修の申し込みに関わる支援は或る程度行なうが、現地での滞在、研修、旅行等については一切支援しない。また、現地におけるリスク(事故、病気、犯罪被害等)もすべて参加者が自分で負わなくてはならず、担当教員は一切責任を負うことができない。履修は、以上の点を十分理解した上で行なうこと。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33801	原書講読（ドイツ語）Ⅰ	3・4	2	吉田喜久子
A33901	原書講読（ドイツ語）Ⅱ			

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
文構造の把握、読解力、語彙力	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、美的感受性

授業科目のテーマ：

前期では、ドイツ語の文章の構造が把握できて、少なくとも中級程度のドイツ語の文章が読めるようになる力をつけるための下地を養い、後期では、辞書を引ながらではあっても、学生自身が各専門分野のドイツ語原書が読めるようになることを目指す。

授業の概要：

前期では、中級程度テキストを使用して、ドイツ語のさまざまな文章について、疑問の余地の残らないような徹底的な構造説明を行なう。それによって、前期後半から後期前半にかけて、学生自身が自分でドイツ語の文の構造を明確に把握できるようになり、さらに後期後半以降は、中級レベル以上のドイツ語も読めるようにする。また、語彙力をふやす為に、重要な熟語等の含まれた独作文小テストを毎回行なう。なお、ドイツ語（1）（2）を終了していること、またはそれらの終了と同等以上のドイツ語力があることのいずれかを前提とする。

授業の計画：

前期

- ①今年度の授業の Einführung。中級程度以上のドイツ語能力を身につけ、原書講読できるようになるための具体的方法の説明。ドイツ語学習意欲を喚起するための導入講話。
- ②～⑨テキストの第1課の文章について、学生自身に説明させた後、それぞれの文章について、徹底的な構造分析を行ない、ドイツ語の文章が疑問の余地なく解るとはどういうことか、学生に実感させる。また、中級レベル以上のドイツ語文法の説明。文法には単に丸暗記ではなく、なぜそうなるのか理由が説明できる事項については詳しい説明を行なうことにより、理解した上で記憶する作業に進めるようにする。文法についての練習問題も行なう。毎回、独作文小テストの実施。
- ⑩～⑫第2課について、上記と同様、徹底的な構造分析、中級以上の文法の説明、練習、独作文小テストの実施。
- ⑬⑭第3課について、徹底的な構造分析、中級以上の文法の説明、練習、独作文小テスト。
- ⑮第4課について、徹底的な構造分析、中級以上の文法の説明、練習、独作文小テスト。

後期

- ①～③夏期休暇課題として出したドイツ語の文章について、和訳させ、文の構造や文法等について、こちらの出した問いに答えさせる。同じく課題としておいた中級以上のレベルの文法の問題に答えさせる。
- ④～⑧テキスト後半の課の文章に即して、引き続き文の構造説明を学生自身に行なわせ、学生の理解に不十分なところがあれば、質し補う。中級レベル以上のドイツ語を読むために必要なドイツ語文法やこれまでに学んだ表現を応用した文を、独作文小テストに加える。
- ⑨原書講読用のテキストをコピーで配布（テキストは、履修者の選考を考慮して決める）。この新しいテキストについて、予習の仕方等を説明する。
- ⑩～⑬新しいテキストの講読。一段落すべてを正確に和訳させる。やや難解なドイツ語の文章については、文の構造について説明させ、こちらの問いに答えさせる。必要に応じて、上級レベルのドイツ語文法の説明。独作文小テストはやや高レベルのもの。
- ⑭⑮学生に未見のテキストを配布し、語彙についての援助を与えつつ、その場で和訳と説明を行なわせる。但し、学生の到達度によっては、13回までのテキストを続行する場合もある。

授業方法：

単に和訳させて了りというような単調な授業方法はとらない。ドイツ語の読解能力が身につくようなテキストを選び、ドイツ語文法力や語彙力も強化しつつ、それぞれの文について徹底的な構造分析を繰り返して行なう。

達成目標：

上記のような方法によって、履修者自身が自力で文の構造が把握できるなることを第一の目標とし、あわせて中級レベル以上の文法力も確実なものとし、語彙もふやすことを目指す。

評価方法：

毎回必ず当たるので、予告された箇所の予習をしてもらうことが評価の前提条件である。その上で、授業時の応答や小テストの結果等の平常点や、学期末試験の成績等から総合的に評価する。

ドイツ語の文の構造が正確に把握でき、文法問題や独作文小テストの結果も良好…………… S
ドイツ語の文の構造がほぼ把握でき、文法問題や独作文小テストの結果もほぼ良好…………… A
ドイツ語の文の構造は説明されれば解り、文法問題や独作文小テストも3分の2程度はできる…………… B
ドイツ語の文の構造は説明されれば解り、文法問題や独作文小テストにも努力はしている…………… C
Cのレベルに達していない…………… D

教科書：

前期：『ドイツ語読み方教室 中級表現練習読本』三修社。後期：プリント配布。

参考文献：

最初の授業時に、日本におけるドイツ語研究史のみならず、ドイツ語学習史とでもいうべきものに言及するが、その折りに参考書等も紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A34001	フランス語（1）	3・4	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話、異文化理解	コミュニケーション力 グローバルな視野

授業のテーマ：

現在フランス語が使われている地域とその歴史的経緯について概観し、フランス語を学ぶ意味について考える。フランス語を使ってコミュニケーションをとるとはどういうことかについて考えを進め、コミュニケーションに必要な基礎知識（文法・語彙・表現）を学ぶ。

授業の概要：

フランス語の基礎を学びながら、フランス語とフランス文化の理解を深める。日常的に使われるきわめて簡単な表現を理解し、簡単な内容であればフランス語でやり取りができるところまで到達できるようにする。

授業の計画：

- | | |
|----------------------------|----------------------------------|
| (1) ヨーロッパの中のフランス、フランスの文化 | (16) 前期の確認事項 |
| (2) フランスとフランス語、つづり字と発音のしくみ | (17) 買い物をする |
| (3) 到着、あいさつ | (18) パリの中の日本 |
| (4) 名詞と基本表現 | (19) 食べ物の表現 |
| (5) ホテルで | (20) 目的語の代名詞 |
| (6) 動詞の基礎（1） | (21) デパートで |
| (7) ランデヴー | (22) 過去の表現 |
| (8) パリの人々、フランスの通貨 | (23) 友達を広げる表現 |
| (9) カフェで | (24) サッカーを見に行く |
| (10) 形容詞の使い方 | (25) 代名動詞 |
| (11) 電話をかける | (26) 旅の話 |
| (12) 代名詞の使い方 | (27) 別れ |
| (13) 道を尋ねる | (28) フランス語の検定試験にチャレンジ（1） |
| (14) パリの美術館 | (29) フランス語の検定試験にチャレンジ（2） |
| (15) 前期のまとめとチェック | (30) 後期のまとめとチェック、フランス語のステップアップには |

授業方法：

音声教材を利用して発音練習をし、基本的な表現をもとに練習問題をやります。予習は必要ありませんが必ず復習をしてください。

達成目標：

「言語に関するヨーロッパ共通基準（CEF）」のA1（基礎レベル入門：くだけた言い回しや日常的な語句、および具体的な用件をすませるためによく使われる簡単な表現を理解し用いることができる）またはフランス語技能検定試験5級合格ラインに到達できること

評価方法：

試験による総合評価

S：A1レベルをほぼ完全にできる

A：上記項目について、やや問題はあがるがほぼ完全にできる

B：やや問題はあがるが、ほぼコミュニケーションが可能である。

C：表現に問題はあがるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D：Cのレベルに到達していない

教科書：

藤田裕二 著 『新・彼女は食いしん坊！』 朝日出版社、2,400円

参考文献：

『ロベール・クレ仏和辞典』（駿河台出版社）、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『プログレッシブ仏和辞典』（小学館）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『クラウン仏和辞典』（三省堂）

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A34101	フランス語（2）	3・4	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話	コミュニケーション力 グローバルな視野

授業のテーマ：

フランス語の文章を主として文法的側面から勉強し、コミュニケーションに必要なフランス語の基礎を身につける。

授業の概要：

フランス語の文法の基本を学び、簡単な会話を使って表現に慣れ、文章を読む練習をする。

授業の計画：

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| (1) フランス語と世界 | (16) 何をしているのですか？ |
| (2) フランス語の読み方 | (17) きのお宿題をしました。 |
| (3) 彼はジャンです。彼は学生です。 | (18) 過去の表現（1） |
| (4) 名詞と冠詞 | (19) 昨日は天気が悪かった |
| (5) スイーツは好きですか？ はい。とても | (20) 過去の表現（2） |
| (6) 動詞と基本文の形 | (21) 代名動詞 |
| (7) 何をしているのですか？ 料理をしています。 | (22) 朝起きるのが早いですか？ |
| (8) 動詞（2） | (23) 彼らをどう思いますか？ |
| (9) 元気ですか？ はい、元気です。 | (24) 私んよく知っている人 |
| (10) 動詞（3） | (25) 文章を読むためのヒント |
| (11) 来ないですか？ いいえ、行きます。 | (26) 将来何をしますか？ |
| (12) 疑問文、否定疑問文 | (27) 未来の表現 |
| (13) 彼女は働き始める。 | (28) …とは驚いた |
| (14) 代名詞の語順 | (29) フランス語のステップアップには |
| (15) 前期のまとめ | (30) これだけは覚えておこう |

授業方法：

教科書にしたがって基本的な文法事項を説明し、それに関連する練習問題をおこなう。耳から聞き取る力を高めるために音声を取り取る練習もおこなう。

達成目標：

「言語に関するヨーロッパ共通基準（CEF）」の A 1（基礎レベル入門：くだけた言い回しや日常的な語句、および具体的な用件をすませるためによく使われる簡単な表現を理解し用いることができる）またはフランス語技能検定試験 5 級合格ラインに到達できること

評価方法：

試験による総合評価

S：A 2 レベルをほぼ完全にできる

A：上記項目について、やや問題はあるがほぼ完全にできる

B：やや問題はあるが、ほぼコミュニケーションが可能である。

C：表現に問題はあるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D：C のレベルに到達していない

教科書：

石野 好一 他 著『6文で学ぶフランス語初級文法』、駿河台出版社、2,300 円

参考文献：

『ロベール・クレ仏和辞典』（駿河台出版社）、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）、『プログレッシブ仏和辞典』（小学館）、『ディコ仏和辞典』（白水社）、『クラウン仏和辞典』（三省堂）

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A34201	海外フランス語実習 I	3・4	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	8月頃	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話、異文化理解	コミュニケーション力 グローバルな視野

授業のテーマ：

フランス語が実際に使われている地域で学び、生活をすることによって、フランス語の運用能力をさらに高めること、同時にフランスの生活を直接体験することによって、机上の学修では学ぶことのできない生の文化に触れることを目標とする。

授業の概要：

8月の3週間をフランスの語学学校でフランス語研修を受ける。

授業の計画：

予定されている研修はフランス北西部の都市ルーアンにあるアリアンス・フランセーズでの夏期集中レッスン。詳細は別途。

授業方法：

現地のアリアンス・フランセーズでクラス分けテストを受けてグループレッスンを受ける。

達成目標：

評価方法：

アリアンス・フランセーズでの評価を受け、本学の評価基準にそって評価する。

S：A1レベルをほぼ完全にできる

A：上記項目について、やや問題はあるがほぼ完全にできる

B：やや問題はあるが、ほぼコミュニケーションが可能である。

C：表現に問題はあるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D：Cのレベルに到達していない

教科書：

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A34301	原書講読（フランス語）Ⅰ	3・4	2	日比野雅彦
A34401	原書講読（フランス語）Ⅱ			

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話、異文化理解	コミュニケーション力 グローバルな視野

授業のテーマ：

初級レベルのフランス語をマスターした学生が、フランス語の基礎的な力をさらに高め、フランス語の運用能力を高めることを目標とする。

授業の概要：

初級文法を復習しながら現在のフランスに関係するテーマにそって学ぶ。

授業の計画：

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| (1) 初級文法の復習 | (16) ヴァカンスの過ごし方 |
| (2) フランス語の語順、辞書の使い方 | (17) フランス人と余暇 |
| (3) 日本におけるフランスの存在 | (18) 過去の表現（1） |
| (4) 職業（1） | (19) 時刻の表現 |
| (5) 職業（2） | (20) フランス人と祭り |
| (6) フランス語圏 | (21) フランスの四季 |
| (7) 食べ物、飲み物 | (22) 目的語の代名詞と語順 |
| (8) 余暇、スポーツ | (23) 代名動詞 |
| (9) 時と場所を示す表現 | (24) フランスの交通手段 |
| (10) 選んだものを説明する | (25) 夏時間 |
| (11) フランスの大学 | (26) レストランで |
| (12) フランスの観光名所 | (27) フランスの観光 |
| (13) フランス語で表現しよう | (28) トラブルが発生したときは |
| (14) 語彙をふやすために | (29) 現在形？過去形？ |
| (15) 前期のまとめ | (30) フランス語をさらにブラッシュアップするために |

授業方法：

- ・フランス語の基本的な文法事項について解説し、フランス語の表現力をつけます。教科書は説明も例文もすべてフランス語と日本語で書かれています。問題文も含めてCDに収録されていますので音声に従って授業をすすめます。
- ・辞書の使い方、発音のコツについても解説を加えていきます。授業に際しては事前に単語を調べておいてください。

達成目標：

「言語に関するヨーロッパ共通基準（CEF）」のB1（自立可能レベル：身近な話題について、標準的でわかりやすい話し方であれば要点を理解でき、簡単な話ができる）初級

評価方法：

試験による総合評価

S：B1レベルをほぼ完全にできる

A：上記項目について、やや問題はありますがほぼ完全にできる

B：やや問題はありますが、ほぼコミュニケーションが可能である。

C：表現に問題はありますが、コミュニケーションはどうか可能である。

D：Cのレベルに到達していない

教科書：

ガエル・クレピユー他著『スピラル 日本人初心者のためのフランス語教材』長崎出版（アシェット・ジャポン）、2,625円

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
B00301	環境保全論特殊講義 I A (生物環境論)	3・4	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境、生活史、適応度、数理モデル	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ：

環境に対する生物の応答、環境への適応戦略としての生活史、適応度と数理モデル、そしてそれらを通じた科学的な生物保全の考え方。

授業の概要：

環境と生物の相互作用系に関する具体例を紹介し、さらにそのような関係を説明するための理論と数理モデルについて論考する。季節応答、生活史、適応度、個体群増殖モデルに関する話題を例示する。

授業の計画：

1. 生物多様性の概念
2. 生物と環境 1
3. 生物と環境 2
4. 環境と生活史 1
5. 環境と生活史 2
6. 季節への応答と生活史戦略 1
7. 季節への応答と生活史戦略 2
8. 生物学的環境と保全の意義
9. 適応度
10. 繁殖と適応度
12. 個体群増殖モデル 1
13. 個体群増殖モデル 2
14. r 戦略と K 戦略
15. 保全における数理解析の意義

授業方法：

板書を中心とした講義による。適宜資料を配付する。

達成目標：

環境と生物の相互作用系としての生態系を理解し、さらにそれらに関する科学理論を学ぶことで、環境保全に対する論理的思考力の醸成を目指す。

評価方法：

試験 (100%) による。

教科書：

なし。ただし、辞書として次の書籍購入を薦める。
生態学事典、共立出版、13,000 円。

参考文献：

- 1) 日本生態学会 (編)、「生態学入門」、東京化学同人、2,800 円 (税別)。
- 2) 河野昭一 (総監修)、「ニュートンムック植物の世界草本編 (上)、ニュートンプレス 1,800 円 (税別)。
- 2) 河野昭一 (総監修)、「ニュートンムック植物の世界草本編 (下)、ニュートンプレス 1,800 円 (税別)。
- 3) 鷲谷いづみ、「生物保全の生態学」、共立出版、2,200 円 (税別)。
- 4) 菊沢喜八郎、「植物の繁殖生態学」、蒼樹書房、4,500 円 (税別)。
- 5) 種生物学会 (編)、「保全と復元の生物学」、文一総合出版、3,200 円 (税別)。

実験・実習・教材費：

その他：

「基礎数学」と「基礎生物学」を履修済みであることが望まれる。微分方程式の理解のために数学的素養が必要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B00401	環境保全論特殊講義 I B (生物環境論)	3・4	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考:
後期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生態的地位、生物間相互作用、共進化、数理モデル	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ:

環境資源としての生態的地位、環境に対する適応進化、共進化、生物間相互作用に関する数理モデル、外来種問題、そしてそれらを通じた科学的な生物保全の考え方。

授業の概要:

生物間の相互作用や共進化の具体例を紹介し、そのような関係を説明するための理論と数理モデルについて論考する。種分化、共進化、捕食関係、外来生物に関する話題を例示。

授業の計画:

1. 生態的地位
2. 種分化1: 生態的地位と収斂
3. 種分化2: 生態的地位と適応放散
4. 進化史とその保全
5. 生物間相互作用と共進化1
6. 生物間相互作用と共進化2
7. 生物間相互作用と共進化3
8. 生物間相互作用の保全
9. 進化生物学と数理モデル1
10. 進化生物学と数理モデル2
11. 進化生物学と数理モデル3
12. 移入と絶滅
13. 外来生物
14. 侵略的外来生物
15. 在来生態系の保全

授業方法:

板書を中心とした講義による。適宜資料を配付する。

達成目標:

生物間相互作用系としての生態系を理解し、さらにそれらに関する科学理論を学ぶことで、環境保全に対する論理的思考力の醸成を目指す。

評価方法:

試験 (100%) による。

教科書:

なし。ただし、辞書として次の書籍購入を薦める。
生態学事典、共立出版、13,000 円。

参考文献:

- 1) 生態学入門、東京化学同人、2,800 円 (税別)。
- 2) 日本生態学会、「エコロジー講座 森の不思議を解き明かす」、文一総合出版、1,890 円 (税別)。
- 3) 外来種ハンドブック、地人書館、4,000 円 (税別)
- 4) さまざまな共生 - 生物種間の多様な相互作用 -, 平凡社、3,200 円 (税別)。
- 5) 植物の繁殖生態学、蒼樹書房、4,500 円 (税別)。

実験・実習・教材費:

その他:

「基礎数学」と「基礎生物学」を履修済みであることが望まれる。モデル式の理解のために数学的素養が必要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B00801	環境保全論演習及び実習	3・4	4	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
後期	水	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
卒業研究、データ解析、発表技能、論理性、客観性	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

卒業研究。調査計画の構築、データの解析技術、データの解釈。

授業の概要：

ゼミ形式での発表と議論を行うと同時に実習形式による指導を行う。

授業の計画：

初回時にガイダンス（発表順および実習の計画についての調整と決定）を行うため、必ず出席すること。

- 1：ガイダンスと発表順の決定
- 2：研究論文紹介
- 3～15：担当者による発表

授業方法：

研究レポート発表（3年）と卒業研究の中間発表（4年）とそれに対する議論形式で行う。また、データの収集と解析についての実習もあわせて行う。

達成目標：

卒業研究に必要な実験計画の構築能力、科学的客観性、科学的論理性、発表技術の習得。

評価方法：

レポート（100%）によって評価する。15分以上の遅刻は欠席とみなす。4回以上欠席の場合は単位を認めない。

教科書：

山田作太郎・北田修一、「生物統計学入門」、成山堂書店、3,800円（税別、各自で購入のこと）。

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

受講にあたっては、上記教科書の他に実習費（データ解析消耗品費、パソコン・プリンタ消耗品費）7,000円が必要。

その他：

本実習を受講するにあたり、「基礎数学」を履修済みであることが望ましい。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B09101	森林環境・水環境化学講義A	3・4	2	長井正博

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
物質、原子、元素	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

水・土壌・森林・農地などの自然環境や生物に配慮した人間活動を行うためには、こうした環境中での物質のふるまいに関する知識を習得することが必要である。そして、その習得には、物質の最小単位である原子に関する知識が前提になる。
本講義は、将来、自然環境保全に関わることを希望する学生を対象に、原子に関する基礎知識を習得させることを目標にしている。

授業の概要：

本講義では、科学的思考の基礎となる原子に関する知識を、(1)元素との関係、(2)大きさ・質量、(3)内部構造、(4)原子間の結合に整理して説明する。さらに、周辺知識として(5)宇宙での原子の誕生過程、自然環境中の元素存在度についても紹介する。

授業の計画：

1. 元素と原子
2. 原子の構造
3. 元素の宇宙での誕生と宇宙存在度
4. 原子オービタルと電子配置
5. 電子配置と元素の周期性
6. 最外殻電子と価電子
7. 原子に関する知識のまとめ(1)
8. 単体中の原子間の結合(1)金属結合
9. 単体中の原子間の結合(2)共有結合
10. 化合物中の原子間の結合(1)共有結合
11. 化合物中の原子間の結合(2)イオン結合
12. イオン結晶の水への溶解
13. 窒素化合物中の原子の結合
14. 環境中の主要元素の存在形態
15. 原子に関する知識のまとめ(2)

授業方法：

教科書と配布資料に基づいて、板書を中心に講義を進める。
講義の最初に前回の講義の内容確認のための小テストをする。解答と解説の後に、当日の講義を始める。講義の最後にも当日の理解度を確認するための小テストを行う。

達成目標：

原子およびその結合に関する基礎知識を習得する。

評価方法：

期末試験(100%)により行う。
原子の構造、電子配置に関する知識に基づいて、原子間の結合を説明することができる。・・・S
原子の構造に基づいて、原子の電子配置と最外殻電子について説明することができる。・・・A
原子の構造がわかる。・・・B
周期表から元素と原子に関する基本的な知識を得ることができる。・・・C
Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

数件出版編集部「フォトサイエンス化学図録」数件出版,

参考文献：

大野公一ら「化学入門」共立出版, 2,000円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B09201	森林環境・水環境化学講義B	3・4	2	長井正博

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
天然有機物 原子の結合 基本構成物質	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

人類を取り巻く環境、エネルギー、食料などの問題を考えるにあたり、有機化学、生化学に関する基本的な知識は必須である。本講義では、これらの知識を原子の結合に注目して整理し、解説する。

授業の概要：

生物に関わる重要な元素は炭素、水素、酸素、窒素、リンである。これらの元素からなる高分子化合物である糖類、タンパク質、脂質、核酸について、これらの物質が、その基本構成物質であるグルコース、アミノ酸、脂肪酸、アルコール、ヌクレオチドの脱水縮合により形成されることを中心に解説する。

授業の計画：

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 有機化学の基礎（1） | 9. 糖類の化学（5） |
| 2. 有機化学の基礎（2） | 10. アミノ酸とタンパク質（1） |
| 3. 生化学の基礎（1） | 11. アミノ酸とタンパク質（2） |
| 4. 生化学の基礎（2） | 12. アミノ酸とタンパク質（3） |
| 5. 糖類の化学（1） | 13. 脂質の化学（1） |
| 6. 糖類の化学（2） | 14. 脂質の化学（2） |
| 7. 糖類の化学（3） | 15. 食品の成分 |
| 8. 糖類の化学（4） | |

授業方法：

教科書と配布資料に基づいて、板書を中心に講義を進める。

講義の最初に前回の講義の内容確認のための小テストをする。解答と解説の後に、当日の講義を始める。講義の最後にも当日の理解度を確認するための小テストを行う。

達成目標：

天然有機物について、その種類と主要成分元素がわかる。さらに天然有機物を構成する基本構成物質の種類がわかる。

評価の方法

期末試験（100％）による。

天然有機物が基本構成物質から合成されることを反応式で表現できる・・・S

天然有機物の基本構成物質の種類と化学式がわかる。・・・A

天然有機物の種類と化学式がわかる・・・B

天然有機物の種類とその構成元素がわかる・・・C

Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

数件出版編集部「フォトサイエンス化学図録」数件出版、

参考文献：

大野公一ら「化学入門」共立出版、2000円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B09301	森林環境・水環境化学特殊講義 I A	3・4	2	長井正博

期間	曜日	時限	備考
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
機器分析 分光分析	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

環境試料中の化学成分を測定するために分析機器が用いられることが多い。分析機器を利用する場合、使用方法は比較的短期間で習得することができる。しかし、その原理を理解しようとすると、化学だけでなく物理学の知識も必要になるため、それほど容易ではない。本講義では機器分析のうち、光と物質の相互作用を利用する分析法である分光分析法を取り上げて、その原理を紹介する。

授業の概要：

分光分析の基礎となる光と物質の相互作用について解説したあとで、代表的な分光分析法である吸光光度法の詳細を紹介する。

授業の計画：

1. 元素と原子
2. 原子の構造
3. 原子オービタル
4. 原子オービタルと電子配置
5. 電子配置と元素の周期性
6. 最外殻電子と原子の電子式
7. 光子の波長とエネルギー
8. 光子と物質の相互作用
9. 吸光光度法
10. 検量線を利用した濃度の算出
11. ランベルト・ベールの法則（1）
12. ランベルト・ベールの法則（2）
13. 分光光度計（1）
14. 分光光度計（2）
15. まとめ

授業方法：

配布資料に基づいて、板書を中心に講義を進める。
講義の最初に前回の講義の内容確認のための小テストをする。解答と解説の後に、当日の講義を始める。講義の最後にも当日の理解度を確認するための小テストを行う。

達成目標：

- ・物質が光を吸収すると、物質のエネルギー状態が変化することが理解できる。
- ・検量線を作成ことができ、検量線を利用して濃度を算出することができる。
- ・ランベルト・ベールの法則と検量線の関係がわかる。
- ・分光光度計の構成がわかる。

評価の方法

期末試験（100%）による。
物質と光の相互作用に伴う物質のエネルギー変化とランベルト・ベールの法則の簡易がわかる。
分光光度計の構成がわかる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ S
検量線を利用して濃度が算出できることをランベルト・ベールの法則と結びつけて理解できる。
さらに分光光度計の構成がわかる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ A
検量線を利用して濃度が算出できることをランベルト・ベールの法則と結びつけて理解できる。・・・ B
検量線を利用して物質の濃度を算出できる。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ C
Cのレベルに達しない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ D

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B09401	森林環境・水環境化学特殊講義 I B	3・4	2	長井正博

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
機器分析 分光分析 クロマトグラフ分析 電位差分析	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

環境試料中の化学成分を測定するために利用される機器分析には、光と物質の相互作用を利用したもの以外にも、物質の電気的性質を利用したものなどもある。本講義では、いくつかの分光分析法に加えて、物質の電気的性質を利用した分析法であるイオンクロマトグラフ法と電位差分析法を紹介する。

授業の概要：

吸光光度法以外の分光分析法として、原子吸光分析、蛍光分析、赤外吸収スペクトル法を取り上げ、その原理を説明する。
イオンクロマトグラフ法については原理と実際の測定例を示す。
電位差分析に就いてはその原理である酸化還元電位について説明した後、この分析法の代表的なものである pH メーターについて説明する。

授業の計画：

1. 原子吸光分析 (1) 測定原理
2. 原子吸光分析 (2) 機器の概要
3. 原子吸光分析 (3) 測定例
4. 発光分光分析 測定原理と機器の概要
5. 蛍光分析 (1) 測定原理
6. 蛍光分析 (2) 機器の概要
7. 蛍光分析 (3) 測定例
8. 赤外吸収法 (1) 分子の運動
9. 赤外吸収法 (2) 分子の運動と光の相互作用
10. 赤外吸収法 (3) TOC 計の測定原理
11. イオンクロマトグラフ分析
12. 酸化還元電位
13. 電位差分析
14. pH メーター
15. まとめ

授業方法：

配布資料に基づいて、板書を中心に講義を進める。
講義の最初に前回の講義の内容確認のための小テストをする。解答と解説の後に、当日の講義を始める。講義の最後にも当日の理解度を確認するための小テストを行う。

達成目標：

- ・ 代表的な分析機器の概要と測定対象、測定の原理がわかる。

評価方法：

期末試験 (100%) による。
代表的な分析機器の概要と測定対象がわかる。測定の原理の詳細がわかる。・・・ S
代表的な分析機器の概要と測定対象がわかる。測定の原理のおおよそがわかる。・・・ A
代表的な分析機器の測定対象と概要がわかる。・・・ B
代表的な分析機器の測定対象がわかる。・・・ C
C のレベルに達しない・・・ D

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B09501	森林環境・水環境化学特殊講義ⅡA	3・4	2	長井正博

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
化学反応 溶解 酸と塩基 酸化数	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

物質と原子（基礎化学Ⅰ）で、物質が原子から成ることと、物質中の原子間の結合について学んだ。本講義では原子間の結合が変化する過程、すなわち化学反応について学ぶ。自然環境では様々な化学反応が進行しているが、化学反応を理解するための基礎となる反応はそれほど多くない。この講義では水環境で進行する重要な3種類の化学反応を取り上げ、原子の結合に関する知識をもとにして解説する。また、原子や分子、イオンを数える単位であるモルについても紹介する。

授業の概要：

自然環境で進行する重要な化学反応としてイオン結晶の溶解、中和反応、酸化還元反応を取り上げ、この順に講義を進める。その際、物質中の原子の結合の種類（金属結合、共有結合、イオン結合）の変化と、原子の結合の相手の変化に注目しながら、化学反応について解説する。

授業の計画：

1. イオン結晶の溶解（1）：化学反応式の組み立て方
2. モルとモル濃度
3. イオン結晶の溶解（2）：正反応と逆反応、化学平衡
4. イオン結晶の溶解（3）：溶解度積
5. 中和反応（1）：水の電離、塩化水素の水への溶解、水素イオン濃度
6. 中和反応（2）：硫酸、硝酸、炭酸の水への溶解、水素イオン濃度
7. 中和反応（3）：水酸化ナトリウム、アンモニアの水への溶解、水酸化物イオン濃度
8. 中和反応（4）：水の電離、水のイオン積、中和反応
9. 中和反応（5）：水の液性（酸性、中性、アルカリ性）、水素イオン濃度、pH
10. 中和反応（6）：様々な物質の水溶液の液性
11. 酸化還元反応（1）：いくつかの元素と酸素および水素との反応
12. 酸化還元反応（2）：元素の酸化数
13. 酸化還元反応（3）：酸化数の変化と電子の授受
14. 物質の量の表現：質量とモル、質量保存の法則
15. まとめ

授業方法：

教科書と配布資料に基づいて、板書を中心に講義を進める。講義の最初に前回の講義の内容確認のための小テストをする。解答と解説の後に、当日の講義を始める。講義の最後にも当日の理解度を確認するための小テストを行う。

達成目標：

- ・イオン結晶の溶解、中和反応、酸化還元反応を化学反応式で書くことができる。
- ・様々な物質を水に溶かしたときの水の液性を予想することができる。
- ・水の液性と水素イオン濃度と pH の関係がわかる。
- ・元素の酸化数がわかり、酸化数が変化するとき電子のやり取りがあることがわかる。

評価方法：

期末試験（100％）による。
 物質の量、濃度、化学平衡の理解に基づいて、化学反応式の意味するところがわかる。・・・S
 化学平衡の理解に基づいて、化学反応式の意味するところがわかる。・・・A
 やや複雑な化学反応を式で表すことができる。・・・B
 簡単な化学反応を式で表すことができる。・・・C
 Cのレベルに達していない。・・・D

教科書：

数件出版編集部「フォトサイエンス化学図録」数件出版、

参考文献：

大野公一ら「化学入門」共立出版、2,000円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B09601	森林環境・水環境化学特殊講義ⅡB	3・4	2	長井正博

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
化学平衡 酸と塩基 酸化還元 分配平衡	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

化学平衡論の基礎を学び、pH、温度、酸化還元電位などの物理化学的変数が与えられれば、水溶液中の元素の存在形態が予想できる力を習得する。

また、逆にある物質の水溶液中の温度を変化させたときに、pH、酸化還元電位などの値が予測できるようにする。

授業の概要：

水溶液中の化学反応のうち、酸塩基反応、酸化還元反応、二相間での分配平衡を題材に、これらの反応の基礎と天然水での実例を紹介、解説する。

授業においては、平衡定数を常に参照し、この値と実試料水中の成分濃度の関連について考察する。

授業の計画：

1. SI 単位系と濃度
2. 化学平衡の基礎：エントロピー、自由エネルギー、化学ポテンシャル
3. 化学平衡の法則と熱力学
4. 分配平衡（1）気-液分配
5. 分配平衡（2）固-液分配
6. 酸塩基反応（1）酸塩基の定義
7. 酸塩基反応（2）強酸水溶液の pH
8. 酸塩基反応（3）弱酸水溶液の pH
9. 酸塩基反応（4）塩の水溶液の pH
10. 酸塩基反応（5）大気と平衡にある水溶液の pH
11. 酸塩基反応（6）pH と弱酸・弱塩基の存在形態
12. 酸化還元反応（1）酸化数、半反応式
13. 酸化還元反応（2）酸化還元電位
14. 酸化還元反応（3）ギブスの自由エネルギーと酸化還元電位、ネルンストの式
15. 酸化還元反応（4）酸素の枯渇と有機物の分解

授業方法：

平衡定数表と水質データを参考に、講義形式で行う。毎回、作図や計算演習を課題に出す。

達成目標：

溶液の濃度、pH、酸化還元電位を化学平衡論的に理解し、これを実試料の水質の実例に即して説明することができる。

評価方法：

期末試験（100%）により行う。

化学平衡論を理解し、水質データへ適用する力を評価する。

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B09801	森林環境・水環境化学演習及び実習	3・4	4	長井正博

期間	曜日	時限	備考：
通年	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
野外調査 文献調査 データ処理 報告	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

自分の研究テーマに必要なデータを集め、データに基づいて考え、考えを他人に伝える力を修得する。

授業の概要：

卒業研究の進捗状況、機器の使用状況、野外観測の実施について報告してもらい、議論を行う。

授業の計画：

次の事項について本授業のみでなく、日常的に議論して、卒業研究の完成を目指す。

- ・研究テーマの決定
- ・研究計画の立案
- ・実験手法の検討
- ・データの処理と検討
- ・機器の管理
- ・研究報告

授業方法：

毎週、研究の進捗状況、野外観測の計画、分析機器の使用状況などを研究グループと個人毎に報告してもらい、報告内容に応じて、議論やアドバイスをを行う。

研究テーマに関する文献を読み、その内容の紹介も行ってもらい。

卒業研究の中間報告を数回行ってもらい。

達成目標：

一つのテーマに沿って、文献調査、野外観測、データ処理、報告書の作成、プレゼンテーションができる。

評価方法：

データなどの報告書とプレゼンテーションの内容で評価する（100%）。

測定の方法、データ、データ処理結果、考察が報告できる・・・S

測定の方法、データ、データ処理結果が報告できる・・・A

測定の方法、データが報告できる・・・B

測定の方法とデータが報告ができる・・・C

Cのレベルに達しない・・・D

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B03301	景観生態学特殊講義 I A (植生変動の景観生態学)	3	2	守村敦郎
D22301	景観文化論特殊講義 I A (植生変動の景観生態学)	4		

期間	曜日	時限	備考:
前期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生物多様性、生態系評価、地理空間情報、土地利用管理	問題解決力 グローバルな視野

授業のテーマ:

景観生態学(ランドスケープ・エコロジー)とは、景観形成に係わりを持つ環境因子の相互作用、および人間との係わりに着目し、地域システム全体の形成・維持がどのように行われているかを解明しようとする学問である。本講義ではその基礎的理論について理解し、景観を構造-機能-変化の視点から読み解く方法を修得することを目標とする。

授業の概要:

本講義では、景観生態学の理論と実際の分析手法について解説し、その環境保全や地域計画に果たすべき役割について考えてみる。

授業の計画:

- 1) 序論
- 2) 景観生態学の概念と方法
- 3) 景観とスケール
- 4) 景観のパターン
- 5) 景観パターンの成因
- 6) 〃 (山地・高山地因子)
- 7) 〃 (湿地)
- 8) 〃 (崩壊地・河畔林)
- 9) 〃 (半自然草地)
- 10) 〃 (農村生態系)
- 11) 景観パターンの定量化
- 12) 景観の攪乱動態
- 13) 生物と景観パターン
- 14) 景観における生態的プロセス
- 15) まとめ

授業方法:

通常の講義形式をとる。図表やスライド等を多用し、視覚的に理解させることを心がける。

達成目標:

景観生態学の基礎的理論について理解し、その環境問題に対処する役割について理解する。

評価方法:

期末試験(60%)と授業への取り組み(40%)で評価する。

教科書:

特に指定しない。教材は適宜配布する。

参考文献:

小泉武栄、『日本の山はなぜ美しい-山の自然学への招待』、古今書院、2,730円
 横山秀司、『景観の分析と保護のための地生態学入門』、古今書院、3,360円
 武内和彦ほか編、『里山の環境学』、東京大学出版会、2,940円

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B03401	景観生態学特殊講義 I B (植生変動の景観生態学)	3	2	守村敦郎
D22401	景観文化論特殊講義 I B (植生変動の景観生態学)	4		

期間	曜日	時限	備考:
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生物多様性、生態系評価、地理空間情報、土地利用管理、緑化	問題解決力 グローバルな視野

授業のテーマ:

地域をはじめとする空間を「景観要素の不均一な場」としてとらえ、そのパターンとプロセスが生物に与える影響を検討する景観生態学の知見は、生物多様性保全、地域生態系の管理、都市計画など、土地利用にかかわるすべてのケースで応用可能である。本講義では景観生態学の理論をこれらの問題解決の道具の一つとして理解し、修得することを目標とする。

授業の概要:

本講義では景観生態学の知見をもとに、農村から都市部に至る、さまざまな空間スケールでの環境問題や生物多様性の問題への対処について、実例を交え解説する。

授業の計画:

- 1) データの取得と分析 (衛星画像)
- 2) 〃
- 3) 〃 (空中写真)
- 4) 〃 (地理情報システム)
- 5) 農業生態系の管理
- 6) 〃
- 7) 里山の生態系の管理
- 8) 〃
- 9) 河川生態系の管理
- 10) 〃
- 11) 都市生態系の管理
- 12) 〃
- 13) 自然再生のデザインと評価
- 14) 〃
- 15) まとめ

授業方法:

通常の講義形式をとる。図表やスライド等を多用し、視覚的に理解させることを心がける。

達成目標:

景観生態学の応用的側面について理解し、将来における国土・土地利用管理のあり方を考え、提言できる力を身につける。

評価方法:

期末試験 (60%) と授業への取り組み (40%) で評価する。

教科書:

森本幸裕編、『景観の生態史観—攪乱が再生する豊かな大地』、京都通信社、2,100 円

参考文献:

- 森本幸裕・小林達明編、『最新 環境緑化学』、朝倉書店、4,095 円
 横山秀司、『景観の分析と保護のための地生態学入門』、古今書院、3,360 円
 武内和彦ほか編、『里山の環境学』、東京大学出版会、2,940 円

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B03801	景観生態学演習及び実習	3	4	守村敦郎
D22801	景観文化論演習及び実習	4		

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
造園、緑地、ガーデニング、設計	コミュニケーション力 問題解決力 美的感受性

授業のテーマ：

講義やプロゼミでの内容をふまえ、おもに実習により、景観（緑地）や庭園等に関するより実際的なものの見かたと技術を修得する。

授業の概要：

緑地や園芸の分野に係わるさまざまな技術を幅広く紹介し、4年次の卒業研究課題に結びつけるように指導する。取り扱うテーマは学生の興味なども参考とし決定する。

授業の計画：

- ・樹木の管理、移植技術の修得
- ・植物の生理生態特性（蒸散量、水ポテンシャルなど）の計測技術の修得
- ・土壌診断技術の修得
- ・植物の栽培試験技術の修得
- ・ガーデニング・デザイン（寄植、室内園芸等）技術の修得
- ・緑地の調査と計画に関する技術の修得
- ・レポートの作成技法の修得
- ・文献購読

など

授業方法：

野外実習は実習農場や演習林等で行い、その他は実習室等で行う。実習の性格上、汚れても良いような服装での参加を求めることがある。

達成目標：

造園や環境・緑地デザインの分野に関する、実務レベルに近い知識と技術の習得、また卒業研究テーマに向けた方向性を具体的に得ることを目標とする。

評価方法：

成果物（レポートや制作物、60%）と授業への取り組み（40%）で評価する。

教科書：

特に指定しない。教材は適宜配布する。

参考文献：

適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

3,000円（実習材料費（種、苗木、肥料など）、野外見学費として使用）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B41101	現代文明論講義A	3・4	2	奥田栄

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
神の見えざる手、市場	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

ケインズは、その一番有名な著作の中で「経済学者や政治学者の観念は、それが正しい場合にも、また間違っている場合にも、ともに、一般に理解されているよりはるかに強力である。・・・いかなる知的影響からもまったく開放されていると自らは信じている実際家たちも、すでに亡くなった経済学者の奴隷であるのが常である」と述べている。

講義では、すでに亡くなった経済学者の思想が現代社会にどのような影響をあたえているかを見ながら、現代社会がこれからどうなるのか、その中で人はどんな風に生きることになるのか、それを改善するにはどうしたらいいか、そのようなことを自らの問題として考えてみたい。

授業の概要：

資本主義の性質についてのアダム・スミスの発見から始まり、マルクスの分析を経てケインズ、フリードマンにいたるまでを概観する。

授業の計画：

1. 金は天下の回り物～経済とは何だろう？
2. 需要曲線と供給曲線
3. GDP
4. 貨幣の誕生
5. 銀行と中央銀行
6. アダム・スミスと分業
7. 政府の役割
8. 使用価値と交換価値
9. 資本主義と格差
10. ケインズと失業
11. 乗数効果
12. ケインズの誤算
13. こんなものいらない～新自由主義
14. 貿易が富を増やす
15. まとめ

授業方法：

講義形式による。毎回講義の最初の20分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

達成目標：

現代文明の大きな特徴である資本主義について正しく理解するとともに、その内包する課題について身近な問題として捉えられるようになること。

評価方法：

定期試験の結果によって判定する。

教科書：

池上 彰『池上彰のやさしい経済学1』（日本経済新聞出版社 1,575円）。

参考文献：

その都度参考文献を指示する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
B41201	現代文明論講義B	3・4	2	奥田栄

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
株式会社、株主、経営者、大企業、日本的経営	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

現代社会において、さまざまな生産活動は、企業を中心となって行われている。そこで、企業とは何か、その役割を遂行していくためのさまざまな仕組みや働きなど、現代企業の全体像を、最新のデータや事例を用いて多面的に理解する。

授業の概要：

企業とは何か、その仕組みと働き、企業を取り巻く環境など、現代社会における企業について概観する。とくに株式会社の役割と仕組み、大企業の現実、そして日本型経営について解説する。

授業の計画：

1. ガイダンス
2. 企業の役割
3. 株式会社とは何か
4. 株式会社の仕組み
5. 株主と利益
6. 上場企業と株式市場
7. 株式公開と創業者利益
8. 大企業
9. 大企業は誰のもの
10. 大企業の経営者
11. コーポレートガバナンス
12. 日本の会社
13. 日本社会と企業
14. 揺らぐ日本型経営
15. まとめ

授業方法：

講義形式による。毎回講義の最初の20分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

達成目標：

現代社会において重要な組織である企業について、その役割を正しく捉え、その基本的な仕組みを理解する。

評価方法：

定期試験の結果によって判定する。

教科書：

三戸 浩, 池内 秀己, 勝部 伸夫『企業論 第3版』(有斐閣、2,100円)。

参考文献：

その都度プリントを配布したり参考文献を指示したりする。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B41301	現代文明論特殊講義 I A (文明と環境理解)	3・4	2	奥田栄

期間	曜日	時限	備考:
前期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境理解、呪術的世界観、共有地の悲劇	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ:

環境の変化は人間の生活をさまざまに規定してきた。その中で人間は環境を理解し、できるだけ生き易くしようと努力し、ついには環境を思い通りにできるようになっていった。その結果、地球環境が危機に瀕することになったわけであるが、そうした人間の活動を振り返り、今後の文明のあり方を考える。

授業の概要:

産業社会以前の文明による環境理解について講義する。この中には、日本の伝統的な環境理解も含まれる。

授業の計画:

1. ガイダンス
2. 狩猟採集生活
3. アイヌの世界観
4. 農業の発生
5. 農業革命
6. 環境破壊による文明の衰亡
7. ギルガメッシュ叙事詩
8. 呪術的世界観とはどのようなものか
9. 日本の神々
10. 神と仏
11. 平安時代と怨霊
12. 中世の終焉と環境
13. 資本主義の登場と環境
14. 『はげ山の研究』にみる共有地の悲劇という幻想
15. まとめ

授業方法:

講義による。なお、毎回講義の最初の20分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

達成目標:

現在の日本に存在する二つの世界観のうち、呪術的世界観について正しく理解するとともに、その問題点を理解できるようになること。

評価方法:

授業への取組(40%)に定期試験の結果(60%)を加味して判定する。

教科書:

とくになし。その都度参考文献を指示する。

参考文献:

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B41401	現代文明論特殊講義 I B (文明と環境理解)	3・4	2	奥田栄

期間	曜日	時限	備考:
後期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境理解、合理的世界観、科学的世界観、相対主義	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ:

環境の変化は人間の生活をさまざまに規定してきた。その中で人間は環境を理解し、できるだけ生き易くしようと努力し、ついには環境を思い通りにできるようになっていった。その結果、地球環境が危機に瀕することになったわけであるが、そうした人間の活動を振り返り、今後の文明のあり方を考える。

授業の概要:

科学的世界観の登場とその日本への導入についてみた上で、その世界観の弊害について考える。

授業の計画:

1. ガイダンス
2. 資本主義の起源
3. 合理的世界観
4. アリストテレスとデカルト
5. ベーコンのビジョン
6. 天動説と地動説
7. 宇宙の大きさと年齢
8. 進化論
9. 創造説と進化論
10. 日本への合理主義の導入
11. 合理主義と迷信
12. 戦争と合理主義
13. 科学絶対主義から相対主義へ
14. 科学と疑似科学
15. まとめ

授業方法:

講義による。なお、毎回講義の最初の 20 分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

達成目標:

現在日本の公教育で教えられる公式の世界観である合理的世界観を正しく理解すると同時に、その世界観のもたらした弊害についても理解できるようになる。

評価方法:

授業への取組 (40%) に定期試験の結果 (60%) を加味して判定する。

教科書:

とくになし。その都度参考文献を指示する。

参考文献:

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B41801	現代文明論演習	3・4	4	奥田栄

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
批判的吟味、問題発見、問題解決、プレゼンテーション	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

授業のテーマ：

各人がそれぞれに興味を持った話題について発表し、その発表に基づいて討論を行う。テーマについての制限は設けず、出来るだけ広範な問題を取り上げて、批判的に考察する能力と態度を養う。

授業の概要：

授業の参加者は、まず自分が興味を持てる分野が何かを明確にする。その分野についての参考となるテキストがあるかないかを調べ、見つかったときには、その内容を批判的に吟味する。見つからなかった場合には、テーマにかかわる資料を収集し、その資料の適切さなどをも含めて批判的に吟味する。

授業の計画：

3年次生

各人が興味を持った著作を読み、その内容について報告を行い、その報告に基づいて議論する。

4年次生

前期

- (1) 各自の興味に応じて、課題を設定する。
- (2) 課題を探求する上で必要な資料を収集する。
- (3) 収集した資料の分析を行う。

後期

- (4) 作成中の卒業論文の内容について発表し、他のゼミ生からの批判を受ける。
- (5) 卒業論文を完成させる。

授業方法：

各人の選択したテキストや資料の講読とそれに基づく議論を中心に、質疑応答を行う演習形式

達成目標：

3年次生にあっては、各人が興味を持った著作を批判的に解読できるようになること。4年次生にとっては卒業論文を完成させることが目標である。

評価方法：

授業への取組によって判定する。

教科書：

参考文献：

各人がテキストを選定し、それにもとづいて発表し、議論する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B02101	環境倫理学講義A	3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境問題の意味、世代間倫理、自然の価値、生命の意味	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

授業のテーマ：

地球環境問題を悪化させ続けている現代文明の本質には倫理の問題がある。現代の倫理の問題の本質を現代の自然観や生命観から哲学的に解明することが本講義のテーマである。

授業の概要：

自然の概念、環境の概念を哲学的に規定する事から始め、いわゆるエコロジーの諸説を丁寧に批判しながら、確かな環境倫理学の考え方の基本を身につけていく。その上では、論理的思考、哲学的思考、価値についての思考の力も身につけていく。

授業の計画：

1. 環境倫理学の概要
2. 哲学的思考と倫理的思考の基本
3. 「概念」について
4. 自然の概念
5. 環境の概念
6. 環境倫理学の基本事項の確認
7. エコロジーとは何か
8. 自然の権利と生命観
9. 世代間倫理と権利概念
10. エコロジーと西洋的自然観の問題
11. 現代の環境倫理思想の問題点の確認
12. 科学技術文明と環境破壊
13. 科学技術文明と自然観・人間観
14. 新しい倫理と自然観の可能性
15. まとめ

授業方法：

講義を中心に、適宜小テストやレポート等を課す。

- S 哲学的思考・倫理的思考を身につけ、環境問題の本質を論じることができる
- A 哲学的思考・倫理的思考を理解し、環境問題を論じることができる
- B 哲学的思考・倫理的思考を理解し、環境問題について考える事ができる
- C 環境問題に倫理的な意味があることを知った。
- D 哲学的思考・倫理的思考を理解せず、環境問題についても理解していない。

達成目標：

哲学的思考・倫理的思考を身につける。さらに環境問題の本質を考える能力を身につける。

評価方法：

論述試験によって評価する。

教科書：

適宜プリントを配布。

参考文献：

適宜指示する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B02301	環境倫理学特殊講義 I A (自然と生)	3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考:
前期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
自然哲学 近代思想 文章読解 学術論文の基本論理と概念	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ:

自然に関する基本的な文献を講読する。文系の様々なスタイルの文献の講読を通じて、文献を読みこなす能力を身につける

授業の概要:

表現が具体的な初歩的な環境問題に関わる論文の読解からはじめ、漸次、諸分野に特徴的なスタイルの論文の講読を行う。

授業の計画:

1. 文献講読について
2. 「文」の構造
3. 「一つのこと」の理解
4. 文献講読: 初歩的な文章の読解 (古代ギリシア 自然哲学) 1
5. 文献講読: 初歩的な文章の読解 (古代ギリシア 自然哲学) 2
6. 文献講読: 初歩的な文章の読解 (古代ギリシア 自然哲学) 3
7. 文章理解の初歩の確認
8. 文の構造と論理関係の把握
9. 文献講読: 論理的な文章の読解 (近代哲学 デカルト) 1
10. 文献講読: 論理的な文章の読解 (近代哲学 デカルト) 2
11. 文献講読: 論理的な文章の読解 (近代哲学 デカルト) 3
12. 文の論理関係の確認
13. 文脈とは
14. 様々なレベルの文脈からの理解について
15. まとめ

授業方法:

文献講読の基本の解説と演習を行う

達成目標:

文系の学術論文を読む能力の基本を修得する

評価方法:

以下の基準に基づき、授業における読解のチェックや提出課題の評価を行う

- S 基本的な学術的な文を読みこなしている
- A 学術論文を読む能力の基本を身につけている
- B 文を読む能力の基本を身につけている
- C 文を読む能力の一部を身につけている
- D 学術論文を読む能力を身につけていない

教科書:

なし

参考文献:

ディオゲネス・ラエルティオス『ギリシア哲学者列伝 上中下』(岩波文庫)、ルネ・デカルト『方法序説』、その他、授業中に適宜指示する

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B02401	環境倫理学特殊講義 I B (自然と生)	3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考:
後期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
近代思想 社会思想 宗教思想 科学思想 アニミズム 文章読解	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力 (意思決定力)、グローバルな視野

授業のテーマ:

自然に関する人文・社会科学の文献を講読する。文系の様々なスタイルの文献の講読を通じて、文献を読みこなす能力を身につける

授業の概要:

表現が具体的な初歩的な環境問題に関わる論文の読解からはじめ、漸次、諸分野に特徴的なスタイルの論文の読解を行う。

授業の計画:

1. 「文」について
2. 諸分野の文献の特徴
3. 文献講読: 社会科学 (経済学) の文章読解 (アマルティア=セン『貧困と飢餓』) 1
4. 文献講読: 社会科学 (経済学) の文章読解 (アマルティア=セン『貧困と飢餓』) 2
5. 文献講読: 社会科学 (経済学) の文章読解 (アマルティア=セン『貧困と飢餓』) 3
6. 文献講読: 人文科学 (文化人類学/民俗学) の文章の読解 (柳田国男『遠野物語』ほか) 1
7. 文献講読: 人文科学 (文化人類学/民俗学) の文章の読解 (柳田国男『遠野物語』ほか) 2
8. 文献講読: 人文科学 (文化人類学/民俗学) の文章の読解 (柳田国男『遠野物語』ほか) 3
9. 価値の主張にかかわる論文について
10. 文献講読: 人文科学 (比較思想) の文章の読解 (鈴木大拙『東洋的な見方』) 1
11. 文献講読: 人文科学 (比較思想) の文章の読解 (鈴木大拙『東洋的な見方』) 2
12. 文献講読: 人文科学 (比較思想) の文章の読解 (鈴木大拙『東洋的な見方』) 3
13. 近代以後の論文について
14. 文献講読: 人文科学 (科学批判) の文章の読解 (マルティン=ハイデッガーほか)
15. まとめ

授業方法:

講読の基本の解説と演習を行う

達成目標:

文系の学術論文を読む能力の基本を修得する

評価方法:

以下の基準に基づき、授業における読解のチェックや提出課題の評価を行う

- S 基本的な学術的な文を読みこなしている
- A 学術論文を読む能力の基本を身につけている
- B 文を読む能力の基本を身につけている
- C 文を読む能力の一部を身につけている
- D 学術論文を読む能力を身につけていない

教科書:

なし

参考文献:

アマルティア=セン『貧困と飢餓』岩波書店
柳田国男『遠野物語』岩波文庫ほか
鈴木大拙『東洋的な見方』岩波文庫
そのほか、授業中に適宜指示する

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B02801	環境倫理学演習	3・4	4	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
通年	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
批判的思考、論理的思考、社会問題への関心、倫理的判断	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

授業のテーマ：

現代の環境倫理学の諸文献を批判的に検討することを通じ、今日、人間の生き方の何が問題となっているのか考えていく。又、自らテーマを見つけ、考察し、批判的思考を以って環境問題に取り組んでいく。

授業の概要：

本科目においては、環境倫理の諸論文を取り上げ、そこで為される議論を検討することを通じて、環境倫理学の可能性を求める。また、それらの論文の背景にあるヨーロッパの古典的な思想についても議論していく。その後、個別に発表、議論を行っていく。

授業の計画：

前期 1～5 倫理学・哲学の基本となる文献を講読する。
 前期 6～15 発表、討論
 後期 1～15 発表、討論

授業方法：

倫理学・哲学の基本的な文献の講読を通じ、現今の環境をめぐる諸問題から哲学・倫理的な本質へと探る力を身につけることを目指し、発表の中でその成果を問う

達成目標：

自ら関心を持ち、調べ、分析し、議論を構成していく力を身につける。

評価方法：

発表 70%、授業への取り組み 30%。
 S. 問題の本質へ近づく考察を行った発表をし、積極的に議論に参加する。
 A. 十分な調査、考察を行った発表をし、議論に参加する。
 B. 発表と議論とにおいて積極的に意見を述べる。
 C. 自ら調べ考察する。
 D. 自ら調べ考察できない。

教科書：

プリントなど。

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B12501	人文地理学	3・4	2	伊藤貴啓

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
地理的見方・考え方 環境と人間 空間認知 地域イメージ 地域	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

地理学とは文字通り、地の理を学ぶ学問である。高校時代の地理 A・B や中学校社会科の地理的分野とこの点で異なる。では、地のことわりを学ぶとはどういうことだろうか？人文地理学は人文現象を対象に、それを究明していく学問である。本講義では環境と人間の関わりを軸に、地の理を明らかにする視点としての地理的見方・考え方の獲得を目的とする。

授業の概要：

まずは、地理学がいかに生まれてきたのかを概観してみよう。その後、人間と環境の関わりを地理学がどのようにとらえてきたのか。すなわち、地理学における環境論の変遷をみた後、地理学が対象とする地域を私たちがいかに認識し、地域イメージを形成していくのかを捉えていきたい。その際、地域イメージと文学やマスメディアの関係などに視点を置いて考えることにしよう。

授業の計画：

- 第1回 地理学とは：時間と空間、そして地理学
- 第2回 地理的見方・考え方 (1) 地域と地域の関係：名古屋大都市圏の拡がり
- 第3回 〃 (2) 自然と自然の関係：自然が織りなす地形
- 第4回 〃 (3) 自然と人間の関係：オランダを事例に
- 第5回 〃 (4) 地域的特色の把握：東日本と西日本
- 第6回 地理学における空間認識の変遷 (1) 環境決定論
- 第7回 〃 (2) 環境可能論
- 第8回 〃 (3) 環境認知論
- 第9回 心象風景と地域 (1) 原風景の形成：新美南吉の場合
- 第10回 〃 (2) 文学と地理空間：夏目漱石の場合
- 第11回 〃 (3) 軽井沢のイメージはいかにつくられたのか
- 第12回 地域イメージの形成と地域 (1) 農村という神話
- 第13回 〃 (2) アニメと地域
- 第14回 〃 (3) マスメディアと地域
- 第15回 地理学と地域—前期まとめ

授業方法：

教科書は利用せず、各回に資料を配付しながら、パワーポイントで講義を行う。参考文献は適宜、提示する。第8回の新美南吉では『ごんぎつね』、第9回の夏目漱石では『門』を取り扱うので、事前に読んでおくこと。なお、各回に疑問点などを提出してもらう。

達成目標：

地域の諸現象を地理的見方・考え方から認識する能力を培う

評価方法：

評価は試験（レポートを含む）で行う

- S：授業で取り扱わなかった地域の諸現象を地理的見方・考え方をういて自ら考察できる水準に達したもの
- A：授業で取り扱った地域の諸現象を4つの地理的見方・考え方をういて適切に考察できる水準に達したもの
- B：授業で取り扱った地域の現象を地理的見方・考え方の一つをういて考察できる水準に達したもの
- C：授業で取り扱った地域の現象と地理的見方・考え方の関係を考察できる水準に達したもの
- D：授業で取り扱った地域の現象と地理的見方・考え方の関係を考察できる水準に達していないもの

教科書：

利用せず

参考文献：

各回に適宜明示

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B12601	地誌学	3・4	2	伊藤貴啓

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
地域と地域性 日本の地域構造 人口移動 都市システム 産業と地域	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

地誌学は地理学において、系統地理学とともに二大分野をなす。それは地域を対象に、地域の仕組み・構造を明らかにするものである。社会科では小学校中学年から5年生にかけて、地域教材や日本の産業などさまざまなことを学ぶ。また、中学校地理的分野では学指導要領の改訂によって、日本の各地方や世界に関する地誌的内容を学ぶ場面が増えることとなった。では、地誌的に地域を把握するとはどのようなことであろうか。本講義では、日本を題材に現代日本の地域構造からこの点に迫り、地域を地誌的に考えることができるようになることを目的とする。

授業の概要：

まずは地誌学とはどのようなことを究明しようとするのかをみてみよう。その後、社会科における地誌の取扱いをみた後、具体的題材としての現代日本の地域構造を人口・都市・産業の側面から明らかにしていく。

授業の計画：

- 1回 地誌学とは
- 2回 地域と地誌
- 3回 人口からみた日本の地域構造 (1)：人口推移と人口学方程式
- 4回 “ (2)：人口動態の変化
- 5回 “ (3)：人口移動の地域性
- 6回 “ (4)：高齢化の地域性
- 7回 “ (5)：日本の将来人口と外国人集住
- 8回 都市からみた日本の地域構造 (1)：都市の形成と都市化
- 9回 “ (2)：都市の階層性とその変化
- 10回 “ (3)：都市システムからみた日本
- 11回 産業からみた日本の地域構造 (1)：産業構造の変化と地域
- 12回 “ (2)：工業都市とその変化
- 13回 “ (3)：工業の地域構造
- 14回 “ (4)：サービス経済化と地域
- 15回 後期のまとめ－地誌学と日本の地域構造

授業方法：

教科書は利用せず、各回に資料を配付しながら、パワーポイントで講義を行う。参考文献は適宜、提示する。なお、各回に疑問点などを提出してもらう。

達成目標：

地域の特徴を考察できる能力を培う

評価方法：

- 評価は試験（レポートを含む）で行う
- S：授業で取り扱わなかった地域の諸現象を用いて地域の特徴を自ら考察できる水準に達したもの
 - A：授業で取り扱った地域の諸現象を用いて地域の特徴を適切に考察できる水準に達したもの
 - B：授業で取り扱った地域の諸現象のうち、一つの側面から地域の特徴との関係を考察できる水準に達したもの
 - C：授業で取り扱った地域の現象と地域の特徴の関係を考察できる水準に達したもの
 - D：授業で取り扱った地域の現象と地域の特徴の関係を考察できる水準に達していないもの

教科書：

利用せず

参考文献：

各回に適宜明示

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B14001	自然地理学	3	2	守村敦郎

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
気候、地形、自然災害、環境問題、農業	グローバルな視野、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

世界や日本各地の文化や社会、さらには農業をはじめとする産業の多様性は、その場所ごとの自然環境のありように大きく依拠している。本講義では、私たちを取り巻く自然的要素とその相互作用の現れ、つまりは気候、地形、植生、土壌、水環境、自然災害などについて概括的に学び、さらには自然環境と農業との関係について理解を深めることを目的とする。

授業の概要：

本講義は初学者が多いことや、教職科目として位置づけられていることなどに配慮し、中学校や高校で取り扱っている内容を中心に授業を進めるが、一部発展的な要素も盛り込む。

授業の計画：

- 1) 惑星としての地球
- 2) 世界の気候区分と日本の気候
- 3) 地域スケールの気候
- 4) 気候の変化・変動
- 5) 世界と日本の大地形
- 6) 山地・丘陵地の地形
- 7) 平野・海岸の地形
- 8) 世界と日本の植生分布
- 9) 土壌の形成と分布
- 10) 水の循環と水資源
- 11) 鉱物・化石資源の分布と利用
- 12) 自然災害（気象災害・土砂災害）
- 13) 自然災害（地震災害・火山災害）
- 14) 自然環境と農業（その1）
- 15) 自然環境と農業（その2）

授業方法：

通常の講義形式をとる。図表や動画等を多用し、視覚的に理解させることを心がける。また評価には加えないが、各自で地理的知識の習熟度を確認できるよう小テストを随時設ける。

達成目標：

自然環境の姿や成因を正しく自然科学的に理解でき、簡潔に説明できる。自然災害や環境問題、農業と自然環境との関係性について、自分の意見が述べられるようになる。

評価方法：

期末試験（100％）で評価する。

教科書：

なし。教材を作成し配布する。

参考文献：

高橋日出男・小泉武栄『自然地理学概論（地理学基礎シリーズ）』朝倉書店（3,465円）
西尾道徳ら『環境と農業（農学基礎セミナー）』農山漁村文化協会（1,700円）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13101	森林管理学A	3・4	2	北川勝弘

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
森林管理の理念、環境倫理、生態系重視、持続可能な森林管理	分析・総合の思考力と判断力 価値判断力（意思決定力） グローバルな視野 効果的な社会参加

授業のテーマ：

森林と人間が共生しうるような望ましい森林管理のあり方を、環境倫理の視点に立って、日本における森林利用の歴史などを辿ることによって検討し、森林生態系を重視した森林管理が重要であることを述べる。さらに、森林のもつ環境保全と木材生産の両機能を両立させうるように、森林管理の方法を改善する取り組みについて、技術的な面からも具体的に考究する。

授業の概要：

森林と人間が共生しうる望ましい森林管理の理念について、環境倫理の考え方に基いて検討した後、森林のもつ環境保全機能を維持しながら木材生産を経営的に成り立たせる森林管理を実現させる手法について、森林のゾーニングや路網整備など、技術的な面からも講述する。

授業の計画：

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1回 森林管理の理念 (1) 従来の問題 | 9回 森林のゾーニング |
| 2回 <現地見学①：里山整備> | 10回 森林管理の基盤整備 -路網整備と機械化 |
| 3回 森林管理の理念 (2) 生態系の重視 | 11回 <現地見学④：東海道松並木の保全> |
| 4回 森林管理の理念 (3) 自然との共生 | 12回 森林管理作業の実行 |
| 5回 <現地見学②：森林ボランティア育成> | 13回 モントリオールプロセスと森林認証 |
| 6回 森林管理の理念 (4) 持続可能性 | 14回 <現地見学⑤：機械化林業> |
| 7回 わが国における森林利用の歴史 | 15回 森林技術者養成 |
| 8回 <現地見学③：人工林整備> | |

授業方法：

主として教科書に基づく解説の他、適宜、配布資料により内容を補う。なお、「森林管理学B」（4時限目）と組み合わせて、近在の民有林等をマイクロバスで訪問し、森林管理状況などを現地見学する（5回予定）ので、「森林管理学B」との同時受講者のみを、マイクロバスの乗車定員（20名）まで、受け付ける。

達成目標：

「望ましい森林管理のあり方」を考えるうえで、「環境倫理」の視点に立ち、森林生態系を重視する必要があることを理解する。

評価方法：

試験（100％）により行う。試験には、期末試験と小テストを含む。
 理論を駆使して完成度の高い持続可能な森林管理の構想案を提示できる・・・S
 理論を部分的に活用して森林管理方策の選択肢を提示できる・・・A
 理論を使いながら森林管理に関する問題点の分析ができる・・・B
 理論や学術用語を説明できる・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

山田容三：『森林管理の理念と技術』。昭和堂、p.225、2009年、(3,150円)

参考文献：

実験・実習・教材費：

現地見学に5回（予定）出かけるためのマイクロバス・チャーター代（1人1,000円/回）を教務課に前納のこと。「森林管理学B」と併せての見学行事。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13201	森林管理学B	3・4	2	北川勝弘

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
森林整備、森林の健全性、森林バイオマス利用、持続可能な森林経営、森林保全の国際協調	分析・総合の思考力と判断力 価値判断力（意思決定力） グローバルな視野 効果的な社会参加

授業のテーマ：

森林と人間が共生しうるような森林管理のあり方に関わる、個別の重要課題を取り上げ、それらの今日的な意義と問題点、および問題解決への方策について、考究する。

授業の概要：

里山整備、人工林整備など、森林管理に関わる典型的なトピックスを取り上げて、現地見学とも関連させながら、国際的な視野と地域的な視野の両面から、各課題についての理解を深められるよう、講述する。

授業の計画：

1回	里山整備－COP10と里山イニシアチブ	9回	森林バイオマス利用と木材の地産地消
2回	<現地見学①：里山整備>	10回	持続可能な森林経営
3回	人工林整備－森林作業のあり方	11回	<現地見学④：東海道松並木の保全>
4回	森の健康診断－間伐作業の必要度判定	12回	森林と文明
5回	<現地見学②：森林ボランティア育成>	13回	森林保全の国際協調
6回	都市林の造成－明治神宮の森	14回	<現地見学⑤：機械化林業>
7回	世界の森林利用の歴史	15回	岡崎市の百年後の森林ビジョン
8回	<現地見学③：人工林整備>		

授業方法：

毎回、資料を配布して解説する。必要に応じて、テーマと関連したビデオを放映する。なお、「森林管理学A」（3時限目）と組み合わせて、近在の民有林等をマイクロバスで訪問し、森林管理状況などを現地見学する（5回予定）ので、「森林管理学A」との同時受講者のみを、マイクロバスの乗車定員（20名）まで、受け付ける。

達成目標：

各トピックスを通じて、「望ましい森林管理のあり方」を考えるうえで基本となる、今日的な視点について理解する。

評価方法：

試験（100％）により行う。試験には、期末試験と小テストを含む。
 理論を駆使して完成度の高い持続可能な森林管理の構想案を提示できる・・・S
 理論を部分的に活用して森林管理方策の選択肢を提示できる・・・A
 理論を使いながら森林管理に関する問題点の分析ができる・・・B
 理論や学術用語を説明できる・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

なし

参考文献：

各回の授業の際に紹介する。

実験・実習・教材費：

現地見学に5回（予定）出かけるためのマイクロバス・チャーター代（1人1,000円／回）を教務課に前納のこと。「森林管理学A」と併せての見学行事。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13301	森林生態学	3・4	2	北川勝弘

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生物多様性、生態系、生態系サービス、森林環境、森林生態系の保全・修復	分析・総合の思考力と判断力 グローバルな視野

授業のテーマ：

地球上の植物生態系の中で最大のバイオマスを持つ森林生態系について、構造、機能、動態などの面から考究し、生態系の保全・修復に関する基本的な考え方についても述べる。最後に、以上の森林生態学の基礎的な知識を踏まえて、今日の世界的な大きな関心事のひとつである、持続可能な森林管理を可能にする道筋について考える。

授業の概要：

森林生態系の構造、機能、動態を概観し、森林と樹木の生活史を詳細に分析することにより、生物多様性、生態系、生態系サービス、森林環境、森林生態系の保全・修復についての基本的な理解を深められるよう、講述する。

授業の計画：

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1回 生物多様性と生態系 | 9回 森林と樹木の生活史（2）有性繁殖 |
| 2回 森林生態系の特徴と生態系サービス | 10回 森林と樹木の生活史（3）有無性繁殖 |
| 3回 森林と環境（1）気候と森林群系 | 11回 森林の生態的保全（1）天然林と二次林 |
| 4回 森林と環境（2）環境と森林植生 | 12回 森林の生態的保全（2）自然撹乱と管理 |
| 5回 森林の遷移（1）生態遷移 | 13回 生態系修復（1）やせ地の緑化 |
| 6回 森林の遷移（2）極相論 | 14回 生態系修復（2）共生菌類の修復への利用 |
| 7回 森林の遷移（3）二次遷移 | 15回 森林・樹木の健全性 - 持続可能な森林管理 |
| 8回 森林と樹木の生活史（1）展葉 | |

授業方法：

毎回、資料を配布して解説する。必要に応じて、テーマと関連したビデオを放映し、授業内容を補足する。

達成目標：

森林の生態に関する基礎的知識を習得し、身近な森林が抱えている問題点について、持続可能な森林管理の在り方を探る視点で、実践的に検討する意欲を持てるようにする。

評価方法：

試験（100％）により行う。試験には、期末試験と小テストを含む。
 理論を駆使して完成度の高い森林生態の保全方策案を提示できる・・・S
 理論を部分的に活用して森林生態の保全方策の選択肢を提示できる・・・A
 理論を使いながら森林生態に関する問題点の分析ができる・・・B
 理論や学術用語を説明できる・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

なし

参考文献：

小池孝良 編：『樹木生理生態学』。朝倉書店、p.264、2004年、(5,040円)
 佐々木恵彦・木平勇吉・鈴木和夫 編著：『森林科学』。文永堂出版、p.294、2007年、(5,040円)

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A09801	環境化学実験 I	3・4	2	藤井芳一
期間	曜日	時限	備考：2 時限連続	
前期	火	3・4		
授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力		
化学実験・水質測定・野外観測・レポート作成		コミュニケーション力, 分析・総合の思考力と判断力, 社交性 (社会的相互関係力)		

授業のテーマ：

実験計画を立て、これに基づき、器具の準備、試薬調製、試料水の採取、そして成分分析の一連の操作が行なえる力を養成する。

本演習では水質汚濁指標の生物化学的酸素要求量の測定を行なう。この成分の測定は基礎化学実験で修得した技術を応用して行なうことができる。

授業の概要：

大学近隣の河川で水を採取し、BOD の測定を行なう。

授業の計画：

1. ガイダンス
2. BOD について
3. 試薬の濃度確認
4. フローチャートの書き方, 試薬の調製
5. 試薬の調製：A 液, B 液, C 液, グルコース - グルタミン酸混合標準液
6. 試薬の調製：硫酸マンガン (II) 溶液, アルカリ性ヨウ化カリウム溶液, 1/120 M ヨウ素酸カリウム溶液
7. 試薬の調製：デンプン溶液, 0.025 M チオ硫酸ナトリウム溶液, 硫酸 (1 + 2)
8. チオ硫酸ナトリウム溶液の標定
9. BOD 標準物質を用いた試験操作の確認 (DO₀)
10. BOD 標準物質を用いた試験操作の確認 (DO₇)
11. データの検討
12. 乙川における BOD の測定 (DO₀)：終日実験
13. レポートの書き方
14. 乙川における BOD の測定 (DO₈)：データの検討
15. レポート指導

授業方法：

教科書と配布プリントに従って行なう。毎回の予習とレポートの提出が必須である。

達成目標：

実験書を参考にして、実験を行なうことができる。

評価方法：

出席, 実験に対する取り組み方とレポートにより評価する。

教科書：

片山幸士・木曾祥秋編著『ベーシック分析化学実験』化学同人
(初回のガイダンスの際に購入について指示をする。)

参考文献：

実験・実習・教材費：

30,000 円 (実験試薬及び消耗品)

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A09901	環境化学実験Ⅱ	3・4	2	藤井芳一

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
後期	火	3・4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
機器分析・水質測定・データ処理・レポート作成	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

機器分析に必要な基礎的な知識と技術を修得する。

測定の対象物質であるリン酸は、環境化学実験Ⅰで扱った生物化学酸素要求量と同様、水質汚濁の指標の一つである。この物質を、分光光度計を用いて、モリブデン青法により分析する。

授業の概要：

分光光度計を使用して、環境水中のリン酸濃度を測定する。

授業の計画：

1. ガイダンス，モリブデン青法のデモンストレーション
2. リンについて①（富栄養化とリン，水中のリンの形態）
3. リンについて②（生体内でのリンの形態と役割）
4. 試薬調製
5. 試薬調製
6. モリブデン青の吸収スペクトルの測定
7. データ整理
8. モリブデン青の吸光度の時間変化
9. リン濃度とモリブデン青の吸光度の関係
10. データ整理
11. 環境水中のリン酸態リンの定量
12. レポートの書き方について事前指導
13. レポート指導
14. データ整理
15. レポート指導

授業方法：

教科書と配布プリントに従って行なう。毎回の予習とレポートの提出が必須である。

達成目標：

分析機器の基本的な扱いについて習得する。

評価方法：

出席，実験に対する取り組み方とレポートにより評価する。

教科書：

片山幸士・木曾祥秋編著『ベーシック分析化学実験』化学同人
（初回のガイダンスの際に購入について指示をする。）

参考文献：

実験・実習・教材費：

30,000円（実験試薬及び消耗品）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A09701	植物学実習	3・4	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
前期	水	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
種子植物、花器官、解剖、同定、毎木調査	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

植物の形態観察と野外調査。

授業の概要：

種子植物の花器官を材料にした双眼実体顕微鏡による形態観察、植物標本の作製実習、植物図鑑を用いた同定実習、野外における毎木調査実習。

授業の計画：

- 1～2回：両性花の解剖
- 3回：キク科の花解剖
- 4回：単性花の解剖
- 5回：イネ科の花解剖
- 6～7回：同定
- 7～8回：標本作製
- 9回：標本同定
- 10～11回：落葉性二次林毎木調査
- 12回：データ解析
- 13～14回：常緑性二次林毎木調査
- 15回：データ解析

授業方法：

実験室での実習と野外での実習の両方を行う。

達成目標：

植物図鑑を使った植物種の同定技能を身につけるとともに、野外における毎木調査の方法および技能を習得する。

評価方法：

レポート(100%)による。15分以上の遅刻は欠席とみなす。4回以上欠席の場合は単位を認めない。

教科書：

岩瀬徹・大野啓一、「写真で見る植物用語」、全国農村教育協会。2,200円(税別、各自で購入のこと)。

参考文献：

- 1) 佐竹義輔他、「フィールド版日本の野生植物－草本」、平凡社、7,800円(税別)。
- 2) 佐竹義輔他、「フィールド版日本の野生植物－木本」、平凡社、6,602円(税別)。

実験・実習・教材費：

受講にあたっては、上記教科書の他に実習費(顕微鏡観察消耗品費、標本作製消耗品費)7,000円が必要。

その他：

環境保全論を主専攻学科目を選択する学生は必ず受講すること。受講にあたっては、「基礎生物学」と「環境保全論講義」が履修済みであることが望まれる。「生物分類技能検定」資格の取得を目指す人に受講を薦める。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13701	地球環境問題概説	3・4	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
地球環境、温暖化、海洋汚染、生物多様性、森林の減少	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、グローバルな視野

授業のテーマ：

温暖化、砂漠化、森林破壊、海洋汚染、生物多様性の減少など地球環境問題の解決は人類の喫緊的課題であり、高度な国際的取り組みだけでなく、私たち一人一人の自覚と行動が求められています。この授業では地球環境問題全般を概説し、基本的な知識の修得と環境マインドを醸成し、より専門的な学修のための知的土台を形成することにあります。

授業の概要：

地球環境問題の基本的な見方、考え方を説明したうえで、温暖化、酸性雨、砂漠化など代表的な個別テーマを毎回取り上げ、その現象と構造、影響と要因、国際的取り組みと日本の対策などを概説します。最後に地球環境問題の文明史的位置づけを検討します。

授業の計画：

1. 地球環境問題の見取り図（1）
2. 地球環境問題の見取り図（2）
3. 地球の温暖化（1）
4. 地球の温暖化（2）
5. オゾン層の破壊
6. 酸性雨
7. 海洋汚染
8. 有害廃棄物の越境移動
9. 生物の多様性の減少
10. 森林の減少
11. 砂漠化
12. 開発途上国等における環境問題
13. その他（南極、世界遺産、黄砂）
14. その他（食糧問題、水問題）
15. まとめ（地球環境問題と文明）

授業方法：

教科書を基本にスライドと配布資料を活用した講義形式とします。

達成目標：

地球環境問題についての現象と構造、影響と要因、国際的取り組みと日本の対策に関する概要を説明でき、関連する時事報道を容易に理解できる知識レベルと、それを正しく読み解く環境リテラシーを身につける。

評価方法：

授業の取組み：30%、期末試験：70%により行う。

- 達成目標をほぼ完全に達成している。…………… S
 達成目標を相応に達成している。…………… A
 達成目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。…………… B
 達成目標の最低限は満たしている。…………… C
 達成目標の最低限を満たしていない。…………… D

教科書：

地球環境研究会編『地球環境キーワード辞典』中央法規 1,575円

参考文献：

「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第4次評価報告書統合報告書要約」
http://www.env.go.jp/earth/ipcc/4th/syr_spm.pdf

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13801	日本低炭素社会のシナリオ	3・4	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
気候変動、京都議定書、国内対策、京都議定書以降のシナリオ、経済成長	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

まず科学編として、現状では温室効果ガスがどれくらい排出されているのか、気候変動を急激なものとしなないためには地球全体でどれだけ排出を削減する必要があるのかなどについて、IPCCや国立環境研究所などの見解に基づき講義する。次に対策編として、排出削減義務を各国・各部門がどれだけ負うのか、どのような方法で排出削減するのかなどについて、京都議定書に基づく現状の取り組みについて講義した後、京都議定書以降（2013年以降）のシナリオ（例として、国立環境研究所と京都大学を中心とする「2050日本低炭素社会シナリオ」研究）を紹介する。

授業の概要：

急激な気候変動を防止するための国際的取り決めや各国・各部門の対策について紹介し、その実態と問題点についても考える。

授業の計画：

- (1) イントロダクション
- (2) 気候変動に関する基礎知識
- (3) 京都議定書（2012年までの国際的取り決め）
- (4) 京都議定書の運用ルール（京都メカニズム・森林吸収源・遵守制度など）
- (5) 日本国内の政策の現状、京都議定書の成果
- (6) 環境税・排出権取引、詳論
- (7) EU（特にイギリス）の政策の現状
- (8) イギリス気候変動税
- (9) 2013年以降のシナリオ（「2050日本低炭素社会シナリオ」研究）
- (10) 産業部門における対策
- (11) 交通部門における対策
- (12) 業務部門における対策
- (13) グリーン・ニューディールの可能性と限界
- (14) 再生可能エネルギーの可能性と限界、固定価格買取制度、シェールガスの可能性
- (15) まとめ

授業方法：

教科書や資料をもとにした講義形式で進行する。

達成目標：

気候変動問題の現状を理解し、適切な対策について考えることができる。

評価方法：

期末試験 100%
 気候変動問題の現状・対策をほぼ全て理解している……………S
 気候変動問題の現状・対策を理解している……………A
 気候変動問題の現状・対策を理解しているが問題を解けない……B
 ところどころ間違っ理解している……………C
 上記のレベルに達していない……………D

教科書：

西岡秀三編『日本低炭素社会のシナリオ』日刊工業新聞社。2,520円

参考文献：

気候ネットワーク編『よくわかる地球温暖化問題』中央法規、2009年。 など
 その他適宜紹介する

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13901	地球環境科学概論	3・4	2	藤井芳一

期間	曜日	時限	備考
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
地球環境・科学・リスク・多角的視点・熟慮	分析・総合の思考力と判断力，問題解決力，価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

地球環境問題は、性急で一面的な対症療法では解決できず、多様な知識の統合と国際的な協力による総合的な対策が必要である。私たちは、地球環境に関する科学的知見を学ぶ一方で、それらを用いて具体的問題に柔軟な解釈と解決策を見出す能力が求められる。そのため、科学的判断ツールとしてリスクの概念を理解し、多角的で合理的な思考法を身に付けることが本講義の目的である。

授業の概要：

地球環境問題の個別テーマは、別途開講科目である『地球環境問題概説』で取り上げる。本講義では、それらの個別の知識を統合化することによって初めて“現場での”環境問題に対処できることを、実例及び考え方から紹介するとともに、参加学生との議論を踏まえてその理解をより深める。

授業の計画：

1. 概論（本講義の進め方）
2. あなたの考える地球環境問題とは？
3. 地球環境問題とは？～問題提起として
4. なぜ環境問題を学ぶのか？
5. 科学的なものの捉え方、考え方
6. リスクという考え方
7. 身のまわりのリスク
8. 環境リスク～農業を例にして
9. 環境リスク～重金属を例にして
10. 環境の基盤である土壌の機能
11. 土壌に異変が起きるということ
12. 改めて、環境問題の複雑さの確認
13. 改めて、あなたの考える地球環境問題とは？
14. あなたの考える地球環境問題の解決策は？
15. 環境問題への関わり方～講義の結論として～

授業方法：

基本的にはスライドを用いた講義形式で行なう。受講生との議論、学生による発表も実施する。

達成目標：

提示されたデータについて、その検証能力を養う。環境問題の現場のみならず、日常生活における多角的で合理的な物の見方を基に、自身の意見を形成する能力を養う。

評価方法：

試験によって行なう。試験は期末試験による。
 的確なデータの検証に基づき、多角的で合理的な物の見方で、自身の意見を形成できる。・・・S
 的確なデータの検証に基づき、多角的で合理的な事象の判断ができる。・・・A
 的確なデータの検証に基づき、多角的な事象の存在が理解できている。・・・B
 データに基づいた合理的な判断が大まかにできる。・・・C
 Cのレベルに達していない。・・・D

教科書：

4 大学連携共通テキスト『環境マインド養成講座』（必要に応じて講義時に無料配布）

参考文献：

講義中にその都度提示する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B44101	環境経済学講義A	3・4	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
経済循環（経済全体のお金の流れ）、国内総生産（GDP）、金融の役割、金融政策、財政政策	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

経済全体のモノとお金の流れについて学び、景気の動向を左右する金融政策・財政政策や、金融の役割とその不安定性などについて理解する。

授業の概要：

経済循環と国内総生産（GDP）について解説した後、①現代経済のしくみはどのようなものか、②生産や所得はどのように生み出されるのか、③それらを増やすためにはどのような政策が必要か、④貨幣（お金）はどのように発行されるのか、⑤証券市場の役割と欠点、などについて検討する。

授業の計画：

- (1) 経済とは（社会的分業とお金の役割）
- (2) 経済循環（経済全体のお金の流れ）
- (3) 国内総生産（GDP）とは
- (4) 国内総生産（GDP）と景気
- (5) 財政政策による景気対策
- (6) 財政政策と公共事業
- (7) 財政政策と財政赤字問題
- (8) 景気回復と財政健全化の両立
- (9) 中央銀行と民間銀行による貨幣（お金）の発行
- (10) 金融政策による景気対策
- (11) 直接金融（証券市場）の役割
- (12) 日本におけるバブルの形成とバブル崩壊
- (13) サブプライムローン問題
- (14) リーマンショックと金融恐慌
- (15) まとめ

授業方法：

基本的に講義形式で進める。必要に応じて資料を用いる。

達成目標：

経済ニュースの内容が理解でき、経済政策を評価できるほどの経済学の知識を身につける。

評価方法：

期末試験 100%
 経済のしくみと経済理論をよく理解している……………S
 経済のしくみと経済理論を知っている……………A
 経済のしくみと経済理論を知っているがあまり説明力がない…B
 ところどころ間違っ理解している……………C
 上記のレベルに達していない……………D

教科書：

伊藤元重『ゼミナール現代経済入門』日本経済新聞出版社、2011年

参考文献：

次を挙げておくが、その他はそのつど紹介していく。
 L. サロー、R. ハイムブローナー、J. ガルブレイス [1990]『現代経済学（上・下）』中村達也訳、TBSブリタニカ。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B44301	環境経済学特殊講義 I A (環境経済学史)	3・4	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
科学の統合 人間と環境とのつながり 経済学史 (経済思想の歴史)	グローバルな視野 価値判断力 (意思決定力) 分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ:

経済学を他の学問領域と統合することを目指した環境経済学者 K.W. カップの業績を紹介しながら、経済と環境とのつながりや環境問題の原因などについて考える。

授業の概要:

現代の経済学の教科書に登場する人間は、ひたすら利潤や満足の大きさを計算する (そして環境の価値さえも金銭的に評価する) ロボットのような存在である。また、その人間は自然や社会から切り離されているし、それ自身、身体や社会性を持たない薄っぺらな存在である。K.W. カップは、このような事態を打開すべく、人間を物質であり、生物であり、個人であり、かつ社会の一員でもあるような多層構造を持った存在であるにとらえた。本講義では、教科書的な環境経済学とカップのそれとを比較しながら、環境問題の原因のとらえ方とその解決法について考えていく。

授業の計画:

- (1) A.C. ピグーの経済学 (教科書に載っている環境経済学の基本的な考え方)
- (2) K.W. カップの経歴と初期の思想
- (3) 『社会に生きる人間の科学へ向けて』 (科学統合の基本思想が描かれた著作) ①
- (4) 『社会に生きる人間の科学へ向けて』 ② 生物としての人間
- (5) 『社会に生きる人間の科学へ向けて』 ③ 社会に生きる人間
- (6) 『私的企業の社会的費用』 (環境問題が生じるメカニズムを分析した著作) ①
- (7) 『私的企業の社会的費用』 ② 金銭では測れない人間と環境
- (8) 『私的企業の社会的費用』 ③ 人間の心理と環境破壊
- (9) カップの教育思想 経済学教育における経済学史の重要性
- (10) アダム = スミス 『国富論』 ① 市場経済の勃興
- (11) アダム = スミス 『国富論』 ②
- (12) アダム = スミス 『道徳感情論』 経済と倫理
- (13) J.S. ミル 『自由論』 教育の重要性
- (14) J.S. ミル 『経済学原理』 市場経済の弊害
- (15) まとめ

授業方法:

基本的に講義形式で進める。必要に応じて資料を用いる。

達成目標:

科学の統合や経済学の歴史の重要性について理解する。

評価方法:

期末試験 100%
 環境経済学の有効性と限界をよく理解している…………… S
 環境経済学について知っている…………… A
 環境経済学について知っているがあまり説明力がない………… B
 ところどころ間違っ理解している…………… C
 上記のレベルに達していない…………… D

教科書:

特に指定しない。

参考文献:

K.W. カップ 『私的企業と社会的費用』 岩波書店
 その他、適宜授業中に紹介していく。

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B44401	環境経済学特殊講義 I B (環境経済学史)	3・4	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
所得水準と幸福 経済体制と環境 経済学史 (経済思想の歴史)	グローバルな視野 価値判断力 (意思決定力) 分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ:

「公害」(kogai) という言葉を世界で最初に用いた経済学者都留重人の環境経済思想について取り上げる。また、彼が批判的に継承したケインズやマルクスの思想についても解説する。

授業の概要:

日本の環境経済学に多大な影響を与えた経済学者都留重人の業績を振り返り、その現代と将来における意義と残された課題について論じる。

授業の計画:

- (1) イントロダクション
- (2) 都留重人の経歴と基本思想
- (3) 『所得と福祉』① 所得水準と実質的な生活水準について
- (4) 『所得と福祉』② ムダの制度化
- (5) 『公害の政治経済学』① 素材面と体制面の区別と統合
- (6) 『公害の政治経済学』② GDP 指標と公害問題
- (7) 『公害の政治経済学』③ ニューディール政策の有効性と限界
- (8) 『公害の政治経済学』④ 現代資本主義論
- (9) 都留重人が批判的に継承したマルクスの思想
- (10) 『資本論』①
- (11) 『資本論』②
- (12) 都留重人が批判的に継承したケインズの思想
- (13) ケインズ『一般理論』①
- (14) ケインズ『一般理論』②
- (15) まとめ

授業方法:

基本的に講義形式で進める。必要に応じて資料を用いる。

達成目標:

現代経済のしくみとそれが引き起こす環境問題について理解する。経済学史の重要性を理解する。

評価方法:

期末試験 100%
 環境経済学の有効性と限界をよく理解している……………S
 環境経済学について知っている……………A
 環境経済学について知っているがあまり説明力がない……B
 ところどころ間違っ理解している……………C
 上記のレベルに達していない……………D

教科書:

特に指定しない。

参考文献:

都留重人『都留重人著作集 全13巻』講談社。
 尾高煌之助・西沢保編『回想の都留重人—資本主義、社会主義、そして環境』勁草書房。
 その他適宜授業中に紹介していく。

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B44801	環境経済学演習	3・4	4	山根卓二

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
市場経済 環境 豊かさ	分析・総合の思考力と判断力 価値判断力（意思決定力） グローバルな視野

授業のテーマ：

①経済学的な思考がどのような形でわれわれの生活と関わっているかを学ぶ。②経済的思考の有効性と限界について理解する。③環境経済学の分析手法を習得する。

授業の概要：

①卒論やその他各自が興味を持ったテーマについて調査し、報告する。
②卒論に関する文献、その他各自が興味を持ったテーマに沿った文献を輪読する。

授業の計画：

(前期)	(後期)
(1) イントロダクション	(1) 文献輪読 (3・4年)
(2) 文献輪読 (3・4年)	(2) 文献輪読 (3・4年)
(3) 文献輪読 (3・4年)	(3) 文献輪読 (3・4年)
(4) 文献輪読 (3・4年)	(4) 文献輪読 (3・4年)
(5) 4年生報告	(5) 文献輪読 4年生報告
(6) 文献輪読 (3・4年)	(6) 文献輪読 (3・4年)
(7) 文献輪読 (3・4年)	(7) 文献輪読 (3・4年)
(8) 文献輪読 (3・4年)	(8) 文献輪読 (3・4年)
(9) 文献輪読 (3・4年)	(9) 文献輪読 (3・4年)
(10) 4年生報告	(10) 4年生報告
(11) 文献輪読 (3・4年)	(11) 文献輪読 (3・4年)
(12) 文献輪読 (3・4年)	(12) 文献輪読 (3・4年)
(13) 文献輪読 (3・4年)	(13) 文献輪読 (3・4年)
(14) 文献輪読 (3・4年)	(14) 3年生卒論テーマ報告
(15) 4年生報告	(15) 4年生最終報告

その他適宜卒論の書き方について解説する。

授業方法：

卒論のテーマに沿った文献を輪読する。また、各自で選択したテーマについて調べ、報告する。

達成目標：

各自で選択したテーマについて詳細に調べ、理解し、報告できるようになる。

評価方法：

レポートおよびそれに基づく報告(100%)で評価する。
 各自のテーマについてよく調べ、よく理解し、報告できる……S
 各自のテーマについてよく調べ、よく理解している……………A
 各自のテーマについてよく調べている……………B
 各自のテーマについてあまり調べていない……………C
 全くやる気がない……………D

教科書：

受講者の関心を考慮に入れて、そのつど決める。
 今のところ
 室田武『原発の経済学』朝日文庫、1993年
 を予定しているが、未定であるので買わなくともよい。

参考文献：

戸田山和久 [2002] 『論文の教室』NHK ブックス。
 適宜授業中に紹介していく。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B42301	資源循環型経済社会論特殊講義 I A (循環型社会の経済理論)	3・4	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資源、エネルギー、文明、物質・エネルギー代謝、持続可能な社会	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、グローバルな視野

授業のテーマ:

20世紀の高度に発達した物質文明は地球規模での環境破壊をもたらしたことから、21世紀は持続可能な新たな文明のあり方が模索されています。本講義では文明とは人間と自然との間の物質・エネルギー代謝の仕方(様態)であるという視点から、この代謝の規定要因や歴史的変遷を考察し、今後の持続可能な文明の代謝のあり方を展望します。

授業の概要:

各種の原料資源、エネルギー資源の特性や用途等を概説したうえで、人間社会と自然環境との物質・エネルギー代謝と人口、経済システム、科学技術、エントロピーとの係わりを論じ、最後に、この代謝の歴史的変遷から持続可能な文明の代謝のあり方を展望します。

授業の計画:

1. ガイダンス
2. 環境・資源・文明
3. 原料資源(鉱物資源)
4. 原料資源(生物資源・水資源)
5. エネルギー資源(化石燃料)
6. エネルギー資源(核エネルギー)
7. エネルギー資源(再生可能エネルギー)
8. 資源と人口(環境の人口圧力)
9. 資源と経済システム
10. 資源と科学技術
11. 資源とエントロピー
12. 資源開発と環境問題
13. 日本の物質・エネルギー代謝
14. 文明と物質・エネルギー代謝
15. 持続可能な文明と物質・エネルギー代謝

授業方法:

基本的に講義形式で進めますが、必要に応じてスライド・プリント等の資料を用います。

達成目標:

エントロピー概念を基礎に、文明を物質・エネルギー代謝の視点からとらえる方法論を理解し、かつ各種の原料資源、エネルギー資源の特性や人口・経済システム・科学技術との関係に関する基本的な知識を修得する。

評価方法:

期末試験(100%)により行う。
達成目標をほぼ完全に達成している。……………S
達成目標を相応に達している。……………A
達成目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。……………B
達成目標の最低限は満たしている。……………C
達成目標の最低限を満たしていない。……………D

教科書:

指定なし

参考文献:

佐々木信行『資源論入門』コロナ社、(ISBN4-339-06598-6)
西山孝『地球エネルギー論』オーム社、(ISBN4-274-13227-7)

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B42401	資源循環型経済社会論特殊講義 I B (循環型社会の経済理論)	3・4	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
廃棄物、外部費用、経済的厚生分析、環境税、デポジット	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、グローバルな視野

授業のテーマ:

何故、20世紀の社会経済は資源循環を阻害し、環境を悪化させてきたのか。その疑問に答えるために、環境経済学を基礎に20世紀の物質文明を支えてきた大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会システムの仕組みと経済原則を明らかにし、さらに資源循環型社会を実現するための経済システムのあり方とそれを支える新たな経済原則を展望する。

授業の概要:

市場メカニズムの基本を理解したうえで、廃棄物の市場価格や資源循環を阻害してきた外部費用の発生要因等を分析する。次に、限界理論や経済的厚生分析を理解したうえで、循環型社会の政策体系や環境税・デポジット制度などの具体的政策の経済分析を行う。

授業の計画:

1. ガイダンス、廃棄物の経済学的解釈
2. 市場経済と市場メカニズム (補論1)
3. 廃棄物の市場価格
4. ワンウェイ型経済の市場価格の様相
5. 市場メカニズムと外部費用
6. 外部費用の発生要因 (1)
7. 外部費用の発生要因 (2)
8. 限界理論 (限界効用逓減と均等の法則) (補論2)
9. 企業の行動原理と供給曲線 (補論3)
10. 余剰と経済的厚生 (補論4)
11. 循環型経済構築の政策的着眼点
12. 循環型経済を構築するための政策体系
13. 環境税の経済分析
14. デポジット制度の経済分析
15. 拡大生産者責任の経済分析、まとめ

授業方法:

講義形式で進めますが、必要に応じてスライド・プリント等の資料を用います。

達成目標:

市場メカニズム、廃棄物の市場価格、外部費用の発生メカニズム、限界概念、経済的厚生分析の手法を理解し、環境問題の経済学的アプローチの基本を理解する。

評価方法:

期末試験 (100%) により行う。
達成目標をほぼ完全に達成している。…………… S
達成目標を相応に達している。…………… A
達成目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。…………… B
達成目標の最低限は満たしている。…………… C
達成目標の最低限を満たしていない。…………… D

教科書:

指定なし

参考文献:

植田和弘『環境経済学』岩波書店 (ISBN4-00-004576-8)
吉野敏行『資源循環型社会の経済理論』東海大学出版会 (ISBN4-486-01373-5)

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
B42801	資源循環型経済社会論演習	3・4	4	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
研究テーマ、研究計画書、政策形成能力、プレゼンテーション能力	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、コミュニケーション力

授業のテーマ：

本演習の目標は、環境分野における政策形成能力とプレゼンテーション能力の向上にあります。活発な討議を通じて問題意識の共有化と知識の深化を図っていきます。

授業の概要：

参加者へは問題意識の形成、調査研究のテーマ設定、研究計画書の作成、フィールドワークの実施、中間報告、最終報告と段階的な作業を課し、課題抽出や解決策の提案などの訓練を通じて、分析手法や応用理論を身につけます。

授業の計画：

<前期>	<後期>
1. ガイダンス	1. ガイダンス
2. 調査研究テーマの設定	2. 中間報告 (2)
3. 調査研究テーマの設定	3. 中間報告 (2)
4. 調査研究テーマの設定	4. 中間報告 (2)
5. 調査研究テーマの設定	5. 中間報告 (2)
6. 研究計画書の作成	6. 中間報告 (2)
7. 研究計画書の作成	7. 中間報告 (2)
8. 研究計画書の作成	8. 最終報告
9. 研究計画書の作成	9. 最終報告
10. 中間報告 (1)	10. 最終報告
11. 中間報告 (1)	11. 最終報告
12. 中間報告 (1)	12. 最終報告
13. 中間報告 (1)	13. 最終報告
14. 中間報告 (1)	14. 最終報告
15. 中間報告 (1)	15. まとめと反省

授業方法：

参加者は順番に、①研究テーマの設定、②研究計画書の作成、③中間報告(1)、④中間報告(2) ⑤最終報告を発表します。発表に当たっては、パワーポイントで作成したスライド発表を行います。

達成目標：

自分の問題意識から学術的研究テーマを設定し、研究スキルを用いて分析と課題の解決策を提案し、効果的なプレゼンテーションができるようになる。

評価方法：

達成目標をほぼ完全に達成している。……………	S
達成目標を相応に達している。……………	A
達成目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。……………	B
達成目標の最低限は満たしている。……………	C
達成目標の最低限を満たしていない。……………	D

教科書：

特に指定なし。

参考文献：

山谷修作編著『循環型社会の公共政策』（中央経済社）

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B22301	地域経済論特殊講義 I A (地域資源管理論)	3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
持続可能な地域社会、グローバル／ナショナル／リージョナル／ローカル	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、効果的な社会参加

授業のテーマ:

モノづくり論 (日本の製造業論) の観点から日本経済と企業経営の中心課題を理解する。グローバル化のもとで、愛知県の企業と集積地の展望について学習する。

授業の概要:

グローバル経済の意味するところを具体的に理解する。日本企業におけるその実相、促進要因、技術的基礎、帰結等について関心を持ち、代表的な理論を理解する。

授業の計画:

1. オリエンテーション
2. 名古屋大都市圏のデータ分析
3. 同 構造分析
4. 愛知県の人口データ分析
5. 同 構造分析
6. 愛知県の産業データ分析
7. 同 構造分析
8. 中間まとめ
9. 産業集積地の理論
10. 産業集積地の実態分析
12. 自動車産業論 1
13. 西三河自動車産業集積地論 1
14. 日本の製造業論
15. まとめ

授業方法:

テキストを軸に講義するが、テーマに即しつつ、日本経済の現状に関連したDVDを活用するので、進路選択のイメージづくりにも役立ててほしい。

達成目標:

経営学の実践編として、経営学の初歩的知識を用いて事例を分析する。
統計の目的と種類を知り、簡単な加工ができるようになる。

評価方法:

期末試験 100%で評価する

- ・地域経営と企業経営の初歩的知識を修得し、重要課題をよく理解している……………S
- ・上記について、部分的には不十分な点があるが、ほぼ達している……………A
- ・上記について、不十分、不正確な点があるが、おおよそは達している……………B
- ・上記について、不十分、不正確な点が多い……………C
- ・上記について、目標の半分以下のレベルにしか達していない……………D

教科書:

岡崎信用金庫月報 NO.516 ~ NO.521 藪谷あや子による連載 (コピーを配布します)

参考文献:

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B22401	地域経済論特殊講義 I B (地域資源管理論)	3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
持続可能な地域社会、グローバル／ナショナル／リージョナル／ローカル	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、効果的な社会参加

授業のテーマ:

モノづくり論 (日本の製造業論) の観点から日本経済と企業経営の中心課題を理解する。グローバル化のもとで、愛知県の企業と集積地の展望について学習する。

授業の概要:

グローバル経済の意味するところを具体的に理解する。日本企業におけるその実相、促進要因、技術的基礎、帰結等について関心を持ち、代表的な理論を理解する。

授業の計画:

1. オリエンテーション
2. 工業統計調査結果の分析～愛知県
3. 同 ～地域別
4. 産業空洞化の理論
5. 産業空洞化の実態分析
6. 自動車産業論 2
7. 西三河自動車産業集積地論 2
8. 中間まとめ
9. 日本の企業間関係論
10. トヨタ生産方式
11. アメリカ産業論
12. EU産業論
13. 産業政策論 1 シリコンバレー・モデル
14. 産業政策論 2 第3のイタリア・モデル
15. まとめ

授業方法:

テキストを軸に講義するが、テーマに即しつつ、日本経済の現状に関連したDVDを活用するので、進路選択のイメージづくりにも役立ててほしい。

達成目標:

経営学の実践編として、経営学の初歩的知識を用いて事例を分析する。
統計の目的と種類を知り、簡単な加工ができるようになる。

評価方法:

期末試験 100%で評価する

- ・地域経営と企業経営の初歩的知識を修得し、重要課題をよく理解している……………S
- ・上記について、部分的には不十分な点があるが、ほぼ達している……………A
- ・上記について、不十分、不正確な点があるが、おおそは達している……………B
- ・上記について、不十分、不正確な点が多い……………C
- ・上記について、目標の半分以下のレベルにしか達していない……………D

教科書:

岡崎信用金庫月報 NO.516～NO.521 藪谷あや子による連載 (コピーを配布します)

参考文献:

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B22501	地域経済論特殊講義ⅡA（公共経済学）	3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
持続可能な財政、少子高齢化 社会保障と税の一体改革	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

授業のテーマ：

（「特殊講義ⅡA」「特殊講義ⅡB」はあわせて履修することが望ましい。）はじめて財政学を学ぶ人を対象に、財政や財政学の基本的考え方を学ぶ。

授業の概要：

専門用語や基礎的理論を修得する。財政学とは、国民に、憲法に定められた健康で文化的な生活を保障するための税制（入）と予算配分（出）のあり方をセットで国民に示し、民主主義的な社会的合意を得て、実施する営みであることを理解する。

授業の計画：

1. イントロダクション
2. 3. 日本の財政制度
4. 5. 租税制度
6. 中間まとめ
7. 8. 財政運営
9. 10. 地方財政
11. 12. 消費税
13. 少子高齢化・人口問題
14. 法人税
15. まとめ

授業方法：

テキストを軸に講義するが、新聞記事、行政の統計データを活用する。

達成目標：

財政の専門用語と基本的な仕組みや制度についての知識を修得する。基礎的な経済財政統計の種類と目的を知る。日本の国家財政と地方財政のそれぞれの課題と両者のあり方（中央集権や地方分権等）について理解する。

評価方法：

期末試験 100%で評価する

- ・ 財政制度の初歩的知識を修得し、現代における重要課題をよく理解している…………… S
- ・ 上記について、部分的には不十分な点があるが、ほぼ達している…………… A
- ・ 上記について、不十分、不正確な点があるが、おおよそは達している…………… B
- ・ 上記について、不十分、不正確な点が多い…………… C
- ・ 上記について、目標の半分以下のレベルにしか達していない…………… D

試験（レポートを含む）60%、積極的・主体的な授業参加態度 40%

教科書：

釣 雅雄・宮崎智視『グラフィック 財政学』新世社、2009年

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B22601	地域経済論特殊講義ⅡB（公共経済学）	3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
持続可能な財政、少子高齢化 社会保障と税の一体改革	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

授業のテーマ：

（「特殊講義ⅡA」「特殊講義ⅡB」はあわせて履修することが望ましい。）はじめて財政学を学ぶ人を対象に、政府介入の基礎理論と財政政策の機能と実際について学ぶ。

授業の概要：

専門用語、基礎的理論、政策についての知識を学習する。実際の日本経済の状況や経済政策の動向をふまえて、現実の経済と財政の仕組みとの関わり、経済政策の効果をスムーズに理解する。

授業の計画：

1. イントロダクション
2. 3. 政府介入の基礎理論①
4. 5. 政府介入の基礎理論②
6. 中間まとめ
7. 8. 租税理論
9. 10. 日本財政の変化
11. 12. 所得配分政策
13. マクロ経済政策
14. 財政と金融
15. まとめ

授業方法：

テキストを軸に講義するが、新聞・雑誌記事を資料として活用する。

達成目標：

政策に関する専門用語と基本的な制度についての知識を修得する。財政に関する新聞記事を読み、自分の言葉で解説できるようになる。

評価方法：

期末試験 100%で評価する

- ・ 財政理論と政策の初歩的知識を修得し、重要課題をよく理解している…………… S
- ・ 上記について、部分的には不十分な点があるが、ほぼ達している…………… A
- ・ 上記について、不十分、不正確な点があるが、おおよそは達している…………… B
- ・ 上記について、不十分、不正確な点が多い…………… C
- ・ 上記について、目標の半分以下のレベルにしか達していない…………… D

教科書：

釣 雅雄・宮崎智視『グラフィック 財政学』新世社、2009年

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B22801	地域経済論演習	3・4	4	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
グローバル経済、日本の製造業、都市再生、創造都市	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

授業のテーマ：

経営学と経済学が相互に学び合いながら、それぞれの課題を解決していくことが重要な時代である。都市再生のための財政的基盤として、地域経済をけん引している日本の製造業の経営課題について学ぶ。

授業の概要：

- ① 経営学の基本的考え方を学んだうえで、地域経済の持続可能性を支える産業競争力を左右する現代の産業に関する課題について解説する。
- ② 4年生は卒業論文作成、3年生はレポート作成。（資料分析、論文作成の技法の指導、プレゼンテーションの練習。）

授業の計画

<前期>

1. 地域経済学と経営学についてのイントロダクション
2. 企業経営と地域経営の違いと共通点
3. 戦略のマネジメント
4. マーケティングのマネジメント
5. 社会マーケティング
6. NPM（ニューパブリックマネジメント）
7. 組織論のマネジメント
8. 卒論・個人研究の中間報告
9. 人材のマネジメント
10. 11. 資金のマネジメント
12. 13. 14. オペレーションのマネジメント
15. まとめ

<後期>

1. 卒論・個人研究の中間報告
2. 日本型製造観と欧米型製造
3. 4. 欧米型製造観
5. 6. 卒論・個人研究の中間報告
7. 8. 日本型製造観
9. 10. 欧米メーカーへの処方箋
11. 12. 日本メーカーへの処方箋
15. まとめ

授業方法：

テキストの輪読と検討。卒業論文の進捗にあわせた発表と相互の検討。自主的なゼミ運営を軸にする。司会や報告など議論における役割を分担し、自分の意見を述べ、相互に批評・コメントする。

達成目標：

授業で扱う教科書の対応する章の記述については残さず理解する。
各自が選んだテーマについてレポートを作成し、パワーポイントを使っての発表する。
日常的に新聞記事や報道番組をチェックする習慣を修得する。

評価方法：

教師による総合評価

- ・地域経済学の基本的知識を修得し、現代における重要課題をよく理解している……………S
- ・上記について、部分的には不十分な点があるが、ほぼ達している……………A
- ・上記について、不十分、不正確な点があるが、おおよそは達している……………B
- ・上記について、不十分、不正確な点が多い……………C
- ・上記について、目標の半分以下のレベルにしか達していない……………D

教科書：

前期：遠藤功「企業経営入門」日本経済新聞社、2005年
後期：カジ・クリジニック他「グローバル製造業の未来」日本経済新聞出版社、2009年

参考文献：

宮崎智彦「ガラパゴス化する日本の製造業」東洋経済新報社、2009年

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45101	企業会計論講義A	3・4	2	磯貝明

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格、日商簿記検定3級、情報処理能力、ビジネススキル、経済知識	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

企業が営利を迫及していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。**将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。**とりわけ簿記は会計学を学習するうえでの基本となるものである。本講義では、簿記を始めて学ぶ学生が日商簿記検定3級の合格水準に達することを目的としている。

授業の概要：

日商簿記検定3級合格を目指した講義を行う。簿記をはじめて学ぶ学生にもわかりやすいよう、初歩的な解説から始めていく。日商簿記検定3級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。なお、この講義は企業会計論講義AとBをあわせて2時限連続授業として開講されるため必ず2時限連続受講すること。なお、すでに企業会計論講義Bを履修済みの受講生は、第15回までで修了となる。

授業の計画：

1. 簿記の意味・目的会計の機能と分類
2. 簿記の基礎概念（1）
3. 簿記の基礎概念（2）
4. 取引
5. 仕訳
6. 中間まとめ・仕訳の演習問題
7. 転記・総勘定元帳
8. 試算表
9. 精算表
10. 元帳の締切り・財務諸表の作成
11. 現金預金取引（1）
12. 現金預金取引（2）
13. 商品売買（1）
14. 商品売買（2）
15. 簿記一巡の流れ・テスト（精算表）

授業方法：

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。また、理解を深めるために、テキストの演習問題・ワークブックを使って実際に問題を解いていく。

達成目標：

日商簿記検定3級取得

評価方法：

試験100%

教科書：

渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記講義 3級商業簿記』中央経済社 ¥735
 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記ワークブック 3級商業簿記』中央経済社 ¥735

参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45201	企業会計論講義B	3・4	2	磯貝明

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格、日商簿記検定3級、情報処理能力、ビジネススキル、経済知識	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。**将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。**とりわけ簿記は会計学を学習するうえでの基本となるものである。本講義は、すでに「企業会計論講義A」を履修した学生を対象にしており、日商簿記検定3級の合格水準に達することを目的としている。

授業の概要：

日商簿記検定3級合格を目指した講義を行う。簿記をはじめて学ぶ学生にもわかりやすいよう、初歩的な内容から解説を始めていく。日商簿記検定3級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。なお、この講義は企業会計論講義AとBをあわせて2時限連続授業として開講されるため必ず2時限連続受講すること。すでに企業会計論講義Aを履修済みの受講生は、後期の後半（第16回以降）から受講すること。

授業の計画：

16. 売掛金と買掛金・貸倒れの処理
17. その他の債権債務（1）
18. その他の債権債務（2）
19. 手形（1）約束手形・為替手形
20. 手形（2）手形の裏書譲渡と割引
21. 手形（3）手形記入帳
22. 有価証券（取得・売却・評価）
23. 有形固定資産の取得・売却、減価償却
24. 資本金と引出金・税金
25. 収益と費用（1）収益および費用の見越し
26. 収益と費用（2）収益および費用の繰延べ
27. 帳簿と伝票
28. 決算と財務諸表（1）
29. 決算と財務諸表（2）
30. 日商簿記検定試験3級の傾向と対策

授業方法：

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。
また、理解を深めるために、テキストの演習問題・ワークブックを使って実際に問題を解いていく。

達成目標：

日商簿記検定3級取得

評価方法：

試験100%

教科書：

渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記講義 3級商業簿記』中央経済社 ¥735
渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記ワークブック 3級商業簿記』中央経済社 ¥735

参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45301	企業会計論特殊講義 I A (経営財務分析論)	3・4	2	磯貝明

期間	曜日	時限	備考:
前期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格取得、日商簿記検定2級、情報処理能力、ビジネススキル	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ:

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。将来、**企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である**。とりわけ簿記は、会計学の学習において基本となるものであり、企業情報を分析するうえでも重要となる。本講義は「企業会計論講義」を履修した学生を対象として、高度な簿記技術を習得することを目的としており、**日商簿記検定2級合格**を目指していく。

授業の概要:

日商簿記検定2級合格を目指した講義を行う。今年度は工業簿記について解説し、日商簿記検定2級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。

授業の計画:

1. オリエンテーション、受講上の注意点
2. 工業簿記の基本
3. 工業簿記上の費用
4. 原価計算
5. 工業簿記の構造
6. 費目別計算 (材料費)
7. 費目別計算 (労務費)
8. 費目別計算 (経費)
9. 財務諸表と製造原価報告書 (1)
10. 財務諸表と製造原価報告書 (2)
11. 単純個別原価計算 (1. 実際配賦)
12. 単純個別原価計算 (2. 予定配賦)
13. 単純個別原価計算 (3. その他)
14. 部門別個別原価計算 (1)
15. 部門別個別原価計算 (2)

授業方法:

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。また、受講者の理解を深めるために、テキストの練習問題を使って実際に問題を解いていく。また適宜、プリントを配布して解説する。

達成目標:

日商簿記検定2級取得

評価方法:

試験100%

教科書:

榊原正幸・瀧博『工業簿記入門』税務経理協会、¥2,940
 岡本清・廣本敏郎編著『新検定簿記ワークブック 2級工業簿記』中央経済社 ¥735

参考文献:

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45401	企業会計論特殊講義 I B (経営財務分析論)	3・4	2	磯貝明

期間	曜日	時限	備考:
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格取得、日商簿記検定2級、情報処理能力、ビジネススキル	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ:

企業が営利を追究していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。将来、**企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である**。とりわけ簿記は、会計学の学習において基本となるものであり、企業情報を分析するうえでも重要となる。本講義は「企業会計論講義」および「企業会計論特殊講義 I A」を履修した学生を対象として、高度な簿記技術を習得することを目的とするものであり、**日商簿記検定2級合格**を目指していく。

授業の概要:

日商簿記検定2級合格を目指した講義を行う。今年度は工業簿記について解説し、日商簿記検定2級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。

授業の計画:

1. 単純総合原価計算 (1)
2. 単純総合原価計算 (2)
3. 等級別総合原価計算
4. 組別総合原価計算
5. 仕損・減損の処理 (1)
6. 仕損・減損の処理 (2)
7. 工程別総合原価計算 (1)
8. 工程別総合原価計算 (2)
9. 標準原価計算 (1)
10. 標準原価計算 (2)
11. 直接原価計算
12. 原価・営業量・利益関係の分析 (1)
13. 原価・営業量・利益関係の分析 (2)
14. 原価予測
15. 工場会計の独立

授業方法:

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。また、受講者の理解を深めるために、テキストの練習問題を使って実際に問題を解いていく。また適宜、プリントを配布して解説する。

達成目標:

日商簿記検定2級取得

評価方法:

試験 100%

教科書:

榊原正幸・瀧博『工業簿記入門』税務経理協会、¥2,940
岡本清・廣本敏郎編著『新検定簿記ワークブック 2級工業簿記』中央経済社 ¥735

参考文献:

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45501	企業会計論特殊講義ⅡA（企業簿記論）	3・4	2	磯貝明

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格取得、日商簿記検定2級、情報処理能力、経済知識	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。将来、**企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である**。とりわけ簿記は、会計学の学習において基本となるものであり、企業情報を分析するうえでも重要となる。本講義は「企業会計論講義」を履修した学生を対象として、経営分析の基礎となる高度な簿記技術を習得することを目的としており、**日商簿記検定2級合格**を目指していく。

授業の概要：

日商簿記検定2級合格を目指した講義を行う。今年度は商業簿記について解説し、日商簿記検定2級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。

授業の計画：

1. オリエンテーション
2. 簿記一巡の手続きと財務諸表
3. 現金預金取引
4. 有価証券取引
5. 債権・債務取引
6. 手形取引（1）
7. 手形取引（2）
8. 引当金取引
9. 商品売買取引（1）
10. 商品売買取引（2）
11. 特殊商品売買取引（1）
12. 特殊商品売買取引（2）
13. 固定資産取引
14. 損益取引（1）
15. 損益取引（2）

授業方法：

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。また、理解を深めるために、テキストの演習問題・ワークブックを使って実際に問題を解いていく。

達成目標：

日商簿記検定2級取得

評価方法：

試験100%

教科書：

渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記講義 2級商業簿記』中央経済社 ¥735
 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記ワークブック 2級商業簿記』中央経済社 ¥735

参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45601	企業会計論特殊講義ⅡB（企業簿記論）	3・4	2	磯貝明

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格取得、日商簿記検定2級、情報処理能力、経済知識	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。とりわけ簿記は、会計学の学習において基本となるものであり、企業情報を分析するうえでも重要となる。本講義は「企業会計論講義」および「企業会計論特殊講義ⅡA」を履修した学生を対象として、高度な簿記技術を習得することを目的としており、日商簿記検定2級合格を目指していく。

授業の概要：

日商簿記検定2級合格を目指した講義を行う。今年度は商業簿記について解説し、日商簿記検定2級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。

授業の計画：

1. 株式会社会計（1）
2. 株式会社会計（2）
3. 株式会社会計（3）
4. 株式会社会計（4）
5. 税金
6. 決算（1）
7. 決算（2）
8. 決算（3）
9. 本支店会計（1）
10. 本支店会計（2）
11. 本支店会計（3）
12. 帳簿組織（1）
13. 帳簿組織（2）
14. 帳簿組織（3）
15. 日商簿記検定試験の出題傾向分析と問題の解法

授業方法：

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。また、理解を深めるために、適宜、テキストの演習問題・ワークブックを使って実際に問題を解いていく。

達成目標：

日商簿記検定2級取得

評価方法：

試験100%

教科書：

渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記講義 2級商業簿記』中央経済社 ¥735
 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記ワークブック 2級商業簿記』中央経済社 ¥735

参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45701	企業会計論プロゼミナール	3・4	2	磯貝明

期間	曜日	時限	備考：
通年	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
企業研究、情報処理能力、ビジネススキル、経済知識	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

企業には必ず会計が存在しており、将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。とりわけ「企業を見る目」は、就職活動においても大変強力なツールとなることであろう。このプロゼミナールでは、現実の企業のデータによって財務内容を中心にした分析・報告を行い、企業情報を分析する能力を習得し、「企業を見る目」を養うことを目的とする。企業分析の知識は就職活動において、企業の選択や面接時に大いに役立つと思われる。

授業の概要：

企業の経営分析の方法を解説し、実際に各自が分析を行う。分析対象とする企業を選択する際には、就職を希望する業種などを選択し、選択した企業や業種についての詳細な知識を習得する。また、受講生の経済への興味・関心を喚起するため、必要に応じて最近の話題や実例を提供していく。

授業の計画：

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. オリエンテーション | 16. キャッシュフロー計算書分析 (1) |
| 2. 会計制度と情報開示 | 17. キャッシュフロー計算書分析 (2) |
| 3. 有価証券報告書の概要・情報収集 | 18. 株価と会計情報 (1) |
| 4. 概況・沿革の分析 | 19. 株価と会計情報 (2) |
| 5. 役員・大株主・従業員の状況 | 20. ケーススタディ |
| 6. 連結財務諸表と個別財務諸表 | 21. ケーススタディ |
| 7. 企業集団の分析 | 22. 分析結果報告・発表・討議 (1) |
| 8. 財務諸表分析の概要 | 23. 分析結果報告・発表・討議 (2) |
| 9. 財務諸表分析の実践 | 24. 分析結果報告・発表・討議 (3) |
| 10. 収益性分析 (1) | 25. 分析結果報告・発表・討議 (4) |
| 11. 収益性分析 (2) | 26. 分析結果報告・発表・討議 (5) |
| 12. 収益性分析 (3) | 27. 分析結果報告・発表・討議 (6) |
| 13. 安全性分析 (1) | 28. 分析結果報告・発表・討議 (7) |
| 14. 安全性分析 (2) | 29. 分析結果報告・発表・討議 (8) |
| 15. 安全性分析 (3) | 30. レポート指導 |

授業方法：

企業の経営分析に関する技法の解説を行った後、各自が選択した企業のデータを用いて、実際に分析を行う。その後、分析結果を発表し、相互の分析結果を比較していく。

達成目標：

企業分析・財務諸表分析手法の習得、就職希望企業・業種の情報収集、経済知識の習得

評価方法：

試験 50%、レポート 50%

教科書：

政岡光宏編著 『初めて学ぶ財務諸表分析 (改訂版)』 同文館出版 2010年、¥1,890
 受講生が選択した企業の有価証券報告書 (EDINET より無料でダウンロード・印刷)
 配布プリント

参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45801	企業会計論演習	3・4	4	磯貝明

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
企業研究、情報処理能力、ビジネススキル、意思決定力	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。わが国の会計制度は、会計ビッグバンという会計制度の変革に始まり、会社法の制定や国際的な会計基準への統一化（コンバージェンス）など、会計をとりまく環境の変化によって、その姿は大きく変貌してきている。本演習は、こうした会計制度の変革についてその内容を深く考察しようとするものである。また、企業会計の知識を用いた企業研究能力を養い、就職活動に活用していくことも目的としている。

授業の概要：

4年生については卒論発表、3年生は各自の設定したテーマ発表を行なう。
発表スケジュールについては開講時に受講生と相談の上、決定する。
必要に応じて企業や施設の見学を行う予定である。
なお、簿記検定前には問題の解法についての指導を行う。

授業の計画：

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. オリエンテーション | 16. 4年生（卒論中間発表） |
| 2. 4年生（卒論題目と概要） | 17. 4年生（卒論中間発表） |
| 3. 4年生（卒論題目と概要） | 18. 4年生（卒論中間発表） |
| 4. 3年生（テーマ発表） | 19. 3年生（テーマ発表） |
| 5. 3年生（テーマ発表） | 20. 3年生（テーマ発表） |
| 6. 3年生（テーマ発表） | 21. 3年生（テーマ発表） |
| 7. 簿記演習問題 | 22. 簿記演習問題 |
| 8. 簿記検定傾向と対策 | 23. 簿記検定傾向と対策 |
| 9. 4年生（卒論構成発表） | 24. 4年生（卒論討論） |
| 10. 4年生（卒論構成発表） | 25. 4年生（卒論討論） |
| 11. 4年生（卒論構成発表） | 26. 4年生（卒論討論） |
| 12. 3年生（テーマ発表） | 27. 3年生（卒論計画） |
| 13. 3年生（テーマ発表） | 28. 3年生（卒論計画） |
| 14. 3年生（テーマ発表） | 29. 4年生（卒論発表） |
| 15. 夏季休業中の研究計画発表 | 30. 4年生（卒論発表） |

授業方法：

配布プリントや受講生が各自で選択したテーマについて発表を行い、その後活発な討議を行いながら理解を深めていく。また、卒論指導や簿記検定対策指導では、進捗状況や習得状況に応じた指導を行うほか、受講生間で互いに助言・意見交換を行い、効果的な論文作成・資格取得対策を行っていく。

達成目標：

基本的な企業会計に関する知識の習得、積極的な意見発表、正確なレジюме・資料作成、日商簿記検定2級取得、企業研究能力の習得

評価方法：

発表50%、授業への取り組み50%。
なお、演習時において出席に関して注意すべき点を詳細に指示する。

教科書：

輪読文献については開講時に受講生と相談の上、決定する。
配布プリント（企業会計論に関する外国文献および基準・指針・レポート等）

参考文献：

必要に応じて参考書を適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B51001	ミクロ経済学	3・4	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
市場メカニズム、効率性、市場への政府介入	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

政府の政策担当者が政策を行うときに実際に頭に描いている経済理論がどんなものであるかを知り、その理論が本当に現実の問題に対処できるかどうかを評価する能力を養う。

授業の概要：

市場理論を学び、市場で価格や取引数量がどのように決定されるかを見る。また、市場メカニズムの限界を指摘し、なぜ政府が経済に介入しなければならないかを理解する。

授業の計画：

- (1) ミクロ経済学とは
- (2) 資源配分と市場メカニズム
- (3) 需要と供給
- (4) 限界分析（家計・企業の意思決定について）
- (5) 需要曲線
- (6) 供給曲線
- (7) 市場均衡（価格と取引数量の決定）
- (8) 厚生経済学と政府介入の効果
- (9) 市場の失敗（1）
- (10) 市場の失敗（2）
- (11) 不完全競争の分析（独占市場）
- (12) 不完全競争の分析（寡占市場）
- (13) ゲーム理論とは
- (14) ゲームの理論の応用（企業戦略の分析）
- (15) まとめ

授業方法：

教科書の流れに従って講義形式で進める。各章が終わったら演習問題を行う。

達成目標：

ミクロ経済学の演習問題を解くことができる。経済現象や経済政策の意味を理解できる。

評価方法：

期末試験 100%で評価する。
 経済現象や経済政策の意味をほぼ完璧に理解している……………S
 経済現象や経済政策の意味を理解している……………A
 経済現象や経済政策の意味を理解しているが問題を解けない…B
 ところどころ間違っ理解している……………C
 上記のレベルに達していない……………D

教科書：

賀川昭夫・戸田学・浜野忠司 [1998] 『First Step ミクロ経済学』有斐閣ブックス、2,200 円

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B51101	マクロ経済学	3・4	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
国民経済計算 国内総生産（GDP）国民所得 財市場	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

金融・証券関係に就職を希望する者は、個々の企業や金融機関のしくみはもちろんのこと、経済全体のしくみも学んでおく必要がある。また、マクロ経済学は「国税専門官」やその他多くの公務員試験において出題される分野である。この授業では、試験対策も一つのテーマとしている。また、この授業では、マクロ経済学の平易な入門書を理解することで、われわれが現在どのような経済の中で生活しているのかを理解する。

授業の概要：

われわれの経済社会がどのような部分から成り立ち、それらがどのように関係し合っているかを、教科書の中に出てくる専門用語や理論を一つ一つ理解しながら習得する。

授業の計画：

- (1) イントロダクション
- (2) 経済学の効率的勉強法
- (3) グラフの読み方
- (4) 国民所得の諸概念（1）
- (5) 国民所得の諸概念（2）
- (6) 三面等価の原則
- (7) 物価の計算
- (8) 45度線分析への準備（1）
- (9) 45度線分析への準備（2）
- (10) 国民所得の決定——45度線分析（1）財市場の均衡
- (11) 国民所得の決定——45度線分析（2）財市場の均衡の安定性
- (12) 国民所得の決定——45度線分析（3）投資乗数
- (13) 国民所得の決定——45度線分析（4）政府支出乗数
- (14) 国民所得の決定——45度線分析（5）租税乗数
- (15) まとめ

授業方法：

教科書にしたがって解説し、適宜問題演習を行う。理解度を確認するために数回小テスト（評価には含まれない）を行う。

達成目標：

マクロ経済学の演習問題を解くことができる。経済現象や経済政策の意味を理解できる。

評価方法：

期末試験 100%により評価する。
 経済現象や経済政策の意味をほぼ完璧に理解している……………S
 経済現象や経済政策の意味を理解している……………A
 経済現象や経済政策の意味を理解しているが問題を解けない……B
 ところどころ間違っ理解している……………C
 上記のレベルに達していない……………D

教科書：

石川秀樹『新経済学入門塾Ⅰ マクロ編』中央経済社、2012年（2,200円＋税）

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B51201	経営学総論	3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本型経営、グローバルスタンダード、モチベーション、コミュニケーション	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、効果的な社会参加

授業のテーマ：

経営学に関心がある学生向けとしてだけでなく、大学生のキャリア教育の基礎—社会人としての必須教養—として、経営学の基本的用語と入門的知識を修得する。

授業の概要：

専門用語や概念について、それぞれの名称と内容を知る。次にそれを自分の言葉で説明、論述できる水準に達するために、要点をまとめ記憶を促す。実際の企業を事例にして解説する。

授業の計画：

1. 経営学とは何か～教科書第1章対応
2. 組織～第2章対応
3. 人的資源管理～第3章対応
4. 経営戦略～第4章対応
5. 生産管理～第5章対応
6. マーケティング～第6章対応
7. 事例研究～DVD
8. 営業管理～第7章対応
9. 意志決定～第8章対応
10. サプライチェーンマネジメント～第11章対応
11. 経営情報～第12章対応
12. 事例研究～DVD
13. 日本の製造業
14. 21世紀型新産業分野
15. まとめ

授業方法：

テキストを軸として講義するが、必要に応じてDVDや新聞記事等を用いて、日本経済や企業経営の実際にひきつけて解説する。

達成目標：

日本や地域の経済や企業に関する報道を、身近なものとして興味・関心がもてるようになる。企業や経営を見る（評価する）目を養う。

評価方法：

期末試験 100%で評価する

- ・ 経営学の専門用語と初歩的知識を修得し、重要課題をよく理解している…………… S
- ・ 上記について、部分的には不十分な点があるが、ほぼ達している…………… A
- ・ 上記について、不十分、不正確な点があるが、おおよそは達している…………… B
- ・ 上記について、不十分、不正確な点が多い…………… C
- ・ 上記について、目標の半分以下のレベルにしか達していない…………… D

教科書：

北中英明『プレステップ 経営学』弘文堂、平成21年

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B50801	環境経営	3・4	2	奥田栄

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
C S R、環境マネジメント、L C A、環境効率	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、問題解決力

授業のテーマ：

いまや狭い意味での環境経営は時代遅れになりつつある。企業経営の中心に位置づけられるものは、企業の果たすべき社会的責任である。講義では、企業の社会的責任とは何か、社会的責任経営とはどのようなものか、その中で環境経営を位置づける。

授業の概要：

企業を取り巻く地球環境について理解した上で、企業の社会的責任という概念を理解し、その一部として環境経営を位置づける。ついで、環境経営の細かなテーマごとの解説をおこなう。

授業の計画：

1. ガイダンス
2. 企業の社会的責任論
3. 企業市民
4. ステークホルダー論
5. 日本企業の社会貢献活動
6. C S R活動とランキング
7. G R I
8. L C Aとはなにか
9. L C Aの実際
10. P D C Aサイクルと環境経営
11. 経営と著しい環境側面
12. 環境効率
13. 排出権取引
14. 排出権取引（2）
15. まとめ

授業方法：

講義形式による。毎回講義の最初の20分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

達成目標：

企業の社会的責任という考え方を理解し、各ステークホルダーに対してどのような経営責任を企業が負っているかを理解すること。

評価方法：

定期試験の結果によって判定する。

教科書：

とくになし

参考書：

その都度参考文献を指示し、プリントを配布する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B51301	金融A	3・4	2	近藤隆則

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
金融仲介 銀行の情報生産 銀行の流動性供給 地域金融機関 優良中小企業の育成	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 グローバルな視野

授業のテーマ：

金融仲介が経済社会にとっていかに重要な機能であるかをテーマとします。特に銀行の情報生産や流動性供給が「よく機能する」ことが企業や家計の発展に結びつくことに焦点を当てます。

授業の概要：

様々な種類の金融仲介を念頭に、特に銀行の預金や貸出の経済的機能やそれを支える金融制度について学び、銀行と地域社会とのつながりや近年の銀行危機についても理解を深めます。

授業の計画：

第1回	金融仲介とは何か	第9回	金融制度（1）
第2回	金融仲介機関の種類（1）	第10回	金融制度（2）
第3回	金融仲介機関の種類（2）	第11回	金融制度（3）
第4回	間接金融と銀行の役割	第12回	東海地方の金融の特徴
第5回	銀行の二つの重要な機能	第13回	銀行から見た優良中小企業像
第6回	銀行の貸出審査と担保	第14回	銀行危機はなぜ起こるか
第7回	信用リスクと金利リスク	第15回	全体の復習とまとめ
第8回	前半の復習とまとめ		

授業方法：

基本的には講義形式で進め、適宜身近な話題や事例も取り入れて講義のポイントについてみんなで考えます。

達成目標：

金融仲介と銀行の機能を正しく理解し、企業の発展や経済社会との関連に理解が及ぶこと

評価方法：

期末試験80%、授業への取り組みや発言の回数・内容20%
金融仲介と銀行の機能および経済社会との関連を理解し具体的に説明できる…… S
おおむね銀行の機能について正しく理解している…… A
一部説明力が不足しているが、相応に理解されてはいる…… B
把握が必ずしも十分ではないものの、最低限の理解はしている…… C
上記水準に達していない…… D

教科書：

なし

参考文献：

戸谷圭子『イラスト図解 銀行のしくみ』日本実業出版社（1,650円）
花輪俊哉・小川英治・三隅隆司『はじめての金融経済』東洋経済新報社（3,300円）の第5章、第6章

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B51401	金融B	3・4	2	近藤隆則

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	2	

授業のキーワード			人間環境大学が育む八つの能力	
信用創造 円高・円安	資金循環 国際通貨危機	インフレとデフレ	分析・総合の思考力と判断力 グローバルな視野	問題解決力

授業のテーマ：

一国の資金循環やインフレ・デフレがどういう意味を持つのか、また国際的な金融取引がどのように行われるかをテーマとします。

授業の概要：

前半は一国経済の資金の流れを理解し、インフレ・デフレの意味や中央銀行の金融政策の役割を学びます。後半は国際的な金融取引、為替相場の決定要因を学び、近年の国際通貨危機にも触れます。

授業の計画：

第1回	貨幣の役割	第9回	前半の復習とまとめ
第2回	貨幣の需要・供給	第10回	国際金融の二つのポイント
第3回	信用創造とマネーサプライ	第11回	為替相場はどう決まるか
第4回	資金循環	第12回	グローバル化とは何か
第5回	財政と資金循環	第13回	二つの金融危機を比較する
第6回	金融政策（1）	第14回	金融危機の世界史と教訓
第7回	金融政策（2）	第15回	全体の復習とまとめ
第8回	金融政策（3）		

授業方法：

基本的には講義形式で進め、適宜身近な話題や事例も取り入れて講義のポイントについてみんなで考えます。

達成目標：

インフレ・デフレの意味や為替相場の意味を正しく理解し、一国の資金循環や国際金融についての基礎知識を身に付けること

評価方法：

期末試験 80%、授業への取り組みや発言の回数・内容 20%
 物価や為替相場の意味を正しく理解し具体的に説明できる……………S
 物価や為替相場についておおむね正しく理解している……………A
 一部説明力が不足しているが、相応に理解されてはいる……………B
 把握が必ずしも十分ではないものの、最低限の理解はしている……………C
 上記水準に達していない……………D

教科書：

なし

参考文献：

花輪俊哉・小川英治・三隅隆司『はじめての金融経済』東洋経済新報社(3,300円)の1, 2, 7, 8章

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B51501	証券市場A	3・4	2	近藤隆則

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力	
リスク・リターン 分散投資	発行市場と流通市場 市場ポートフォリオ	分析・総合の思考力と判断力 グローバルな視野	問題解決力

授業のテーマ：

投資家の観点から証券市場の役割や証券投資の基本的な考え方を身に付けることをテーマとします。

授業の概要：

株式市場をはじめ様々な証券市場の機能を学ぶとともに、証券投資に必要なリスク・リターンの関係や価格決定の理論、分散投資の考え方を身に付け、証券バブルが発生する理由についても触れます。

授業の計画：

第1回	直接金融と証券市場の役割	第9回	分散投資の重要性（1）
第2回	リスクとリターンの関係を理解する	第10回	分散投資の重要性（2）
第3回	株式市場とはどんな所か	第11回	株価はどう決まるか（1）
第4回	債券市場とはどんな所か	第12回	株価はどう決まるか（2）
第5回	投資信託の役割	第13回	証券市場の効率性
第6回	市場の多様化（1）	第14回	証券バブルはなぜ起きるか
第7回	市場の多様化（2）	第15回	全体の復習とまとめ
第8回	前半の復習とまとめ		

授業方法：

基本的には講義形式で進め、適宜身近な話題や事例も取り入れて講義のポイントについてみんなで考えます。

達成目標：

投資のリスク・リターンの関係や分散投資の意味、証券価格の決定メカニズムを正しく理解すること

評価方法：

期末試験 80%、授業への取り組みや発言の回数・内容 20%
証券投資の基礎的概念や分散投資の意味を理解し具体的に説明できる…… S
おおむね証券投資の基礎知識を正しく身に付けている…………… A
一部説明力が不足しているが、相応に理解されてはいる…………… B
把握が必ずしも十分ではないものの、最低限の理解はしている…………… C
上記水準に達していない…………… D

教科書：

なし

参考文献：

釜江廣志『入門証券市場論（第3版）』有斐閣(2,415円)
花輪俊哉・小川英治・三隅隆司『はじめての金融経済』東洋経済新報社(3,300円)の第3章

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B51601	証券市場B	3・4	2	近藤隆則

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	3	

授業のキーワード			人間環境大学が育む八つの能力	
資本コスト 規株式公開 (IPO)	コーポレート・ガバナンス 合併・買収 (M&A)	新	分析・総合の思考力と判断力 グローバルな視野	問題解決力

授業のテーマ：

企業の金融行動について、基本的な考え方と実際の発展段階をたどることをテーマにします。

授業の概要：

企業がどのように資金調達方法を選択し、投資規模や内容を意思決定するかといった金融行動の基本を学んだ後、企業の統治に関する諸問題や企業の各発展段階における金融行動について触れます。

授業の計画：

第1回	企業はどう資金調達するか (1)	第9回	企業は誰のものか
第2回	企業はどう資金調達するか (2)	第10回	企業は誰のためにあるか
第3回	企業はどう資金調達するか (3)	第11回	企業は誰に統治されているか
第4回	企業はどう投資を決定するか (1)	第12回	ベンチャー企業と株式公開
第5回	企業はどう投資を決定するか (2)	第13回	M&Aと企業再編
第6回	企業はどう投資を決定するか (3)	第14回	倒産処理と企業再生
第7回	企業はどう利益を配分するか	第15回	全体の復習とまとめ
第8回	前半の復習とまとめ		

授業方法：

基本的には講義形式で進め、適宜身近な話題や事例も取り入れて講義のポイントについてみんなで考えます。

達成目標：

企業金融の基礎的な概念や企業の各発展段階における金融行動を正しく理解すること

評価方法：

期末試験80%、授業への取り組みや発言の回数・内容20%
企業の資金調達や投資行動についての基本的な考え方を理解し具体的に説明できる……………S
おおむね企業金融の基礎概念について正しく理解している……………A
一部説明力が不足しているが、相応に理解されてはいる……………B
把握が必ずしも十分ではないものの、最低限の理解はしている……………C
上記水準に達していない……………D

教科書：

なし

参考文献：

米澤康博・小西大・芹田敏夫『新しい企業金融』有斐閣(1,995円)
花輪俊哉・小川英治・三隅隆司『はじめての金融経済』東洋経済新報社(3,300円)の第4章

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60401	基礎心理学 A	3	2	芳賀康朗
C00101	基礎心理学講義 A	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
感覚・知覚, 学習・記憶, 動機づけ, 情動	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

「心理学は心と行動を研究する科学である」という立場から心理現象を理解するとともに、心理学の基礎的な知識を身につける。

授業の概要：

心理学の歴史と研究方法について概観し、実験心理学の立場から人間の基本的な心的機能である、感覚・知覚、学習・記憶、動機づけ、情動について解説する。

授業の計画：

第1回	心理学の研究対象	第9回	学習・記憶①（行動の分類）
第2回	心理学の歴史と研究方法①	第10回	学習・記憶②（条件づけ）
第3回	心理学の歴史と研究方法②	第11回	学習・記憶③（社会的学習）
第4回	心的過程の生理学的基礎	第12回	学習・記憶④（記憶の分類）
第5回	感覚・知覚①（感覚の種類）	第13回	学習・記憶⑤（記憶の忘却）
第6回	感覚・知覚②（知覚の体制化）	第14回	動機づけと情動①（動機の種類）
第7回	感覚・知覚③（空間と運動の知覚）	第15回	動機づけと情動②（情動の機能）
第8回	感覚・知覚④（知覚の恒常性）		

授業方法：

教科書と配布資料の内容に沿って進めていく。内容と関連した映像資料も補助的に用いる。授業内容と関連した課題の提出を求めることもある。授業の進行を妨げる行為（私語や飲食）はもちろん、授業開始 20 分以降の遅刻は厳禁とする。

達成目標：

心理学の基礎知識を身につけ、科学的視点から日常的な心理現象を考察できる力を身につける。

評価方法：

出席回数の基準（全授業回数の 3 分の 2 以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書：

梅本・大山・岡本 共著 『コンパクト新心理学ライブラリ 1 心理学』サイエンス社 1,418 円

参考文献：

授業中に適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60501	基礎心理学B	3	2	芳賀康朗
C00201	基礎心理学講義B	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
意識, 思考, 発達, パーソナリティ, 対人関係	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

「心理学は心と行動を研究する科学である」という立場から、心理現象を理解するとともに、心理学の基礎的な知識を身につける。

授業の概要：

意識, 思考, 発達, パーソナリティ, 対人関係の5つのテーマについて、実験心理学や発達心理学における研究例を示しながら解説する。

授業の計画：

第1回	意識① (覚醒と睡眠)	第9回	発達④ (遺伝と環境)
第2回	意識② (REM睡眠とNREM睡眠)	第10回	発達⑤ (発達理論)
第3回	思考① (問題解決の方略)	第11回	パーソナリティ① (類型と特性)
第4回	思考② (概念とイメージ)	第12回	パーソナリティ② (性格検査)
第5回	思考③ (言語)	第13回	対人関係① (対人認知)
第6回	発達① (刻印づけと臨界期)	第14回	対人関係② (リーダーシップ)
第7回	発達② (マザリングと母性剥奪)	第15回	対人関係③ (社会的促進)
第8回	発達③ (言語習得と認知発達)		

授業方法：

教科書と配布資料の内容に沿って進めていく。内容と関連した映像資料も補助的に用いる。授業内容と関連した課題の提出を求めることもある。授業の進行を妨げる行為（私語や飲食）はもちろん、授業開始20分以降の遅刻は厳禁とする。

達成目標：

心理学の基礎知識を身につけ、科学的視点から日常的な心理現象を考察できる力を身につける。

評価方法：

出席回数の基準（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書：

梅本・大山・岡本 共著『コンパクト新心理学ライブラリ1 心理学』サイエンス社 1,418円

参考文献：

授業中に適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C61401	学習心理学	3	2	芳賀康朗
C00301	基礎心理学特殊講義 I A (空間認知の比較心理学)	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学習と適応, 条件づけ, 認知的学習, 社会的学習	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

成育後のヒトが示すほとんどの行動は生後の経験を通じて学習されたものである。したがって、学習過程の研究は人間行動の理解にとって不可欠であるといえる。この授業ではヒトや霊長類動物の発達や環境適応において重要な役割を果たしている学習行動に関する代表的な理論や研究結果を紹介し、学習という心的過程のメカニズムについて考えていく。

授業の概要：

馴化、鋭敏化、条件づけといった基本的な学習現象から、概念形成、模倣といった複雑な情報処理システムに基づいた学習現象までを解説する。さらにこうした学習現象と関連する心理過程（記憶や動機づけ）のはたらきや、比較心理学や発達心理学的観点からみた学習の意義についても考えていく。

授業の計画：

第1回	学習の定義・学習の様式	第9回	強化スケジュール
第2回	行動の分類	第10回	条件づけの応用
第3回	馴化と鋭敏化	第11回	洞察学習と概念形成
第4回	古典的条件づけの形成	第12回	社会的学習
第5回	古典的条件づけの消去と般化	第13回	技能の習得
第6回	古典的条件づけの隠蔽と阻止	第14回	動物の学習行動
第7回	オペラント条件づけの形成	第15回	学習と記憶の生理学的基礎
第8回	オペラント条件づけにおける強化		

授業方法：

プリントと映像資料を使いながら進めていく。授業内容と関連した課題の提出や小テストも実施する予定である。授業の進行を妨げる行為（私語や飲食）はもちろん、授業開始 20 分以降の遅刻は厳禁とする。

達成目標：

学習における普遍的特徴と種特異性、学習と適応の関連性について、広い視野から俯瞰できるようになることを目指す。

評価方法：

出席回数の基準（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書：

なし

参考文献：

実森・中島共著『コンパクト新心理学ライブラリ 2 学習の心理』サイエンス社 1,575 円
岡田・廣中・宮森共著『コンパクト新心理学ライブラリ 14 生理心理学』サイエンス社 2,310 円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C61501	比較心理学	3	2	芳賀康朗
C00401	基礎心理学特殊講義 I B (空間認知の比較心理学)	4		

期間	曜日	時限	備考:
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
動機づけ, 適応, 生理的欲求, 内発的動機づけ, 社会的動機づけ	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ:

動機づけとは、行動を発現させ、方向づけ、持続させる心的過程である。この授業では動機づけの適応的意義についてヒトとそれ以外の動物を比較しながら解説していく。またヒトの生活場面（特に学習と教育）における動機づけの問題についても、研究例をあげながら考えていく。

授業の概要:

心理学における動機づけ研究の枠組みを紹介し、4種類の動機づけ過程（生理的欲求、内発的動機づけ、社会的動機づけ、学習性の動機づけ）について、種間比較の観点から説明していく。併せて、それらの過程の背後にある生理学的メカニズムについても解説する。さらに、「やる気」や「意欲」のコントロールといった日常生活における動機づけの問題について、教育心理学の研究例をもとにして考えていく。

授業の計画:

第1回	動機づけのはたらき	第9回	学習性の動機づけ①
第2回	動機づけの分類	第10回	学習性の動機づけ②
第3回	生理的欲求①	第11回	動機づけの生理学的メカニズム①
第4回	生理的欲求②	第12回	動機づけの生理学的メカニズム②
第5回	内発的動機づけ①	第13回	動機づけと情動
第6回	内発的動機づけ②	第14回	生活場面における動機づけの問題①
第7回	社会的動機づけ①	第15回	生活場面における動機づけの問題②
第8回	社会的動機づけ②		

授業方法:

プリントや映像資料を使いながら進めていく。授業内容と関連した課題の提出や小テストも実施する予定である。授業の進行を妨げる行為（私語や飲食）はもちろん、授業開始20分以降の遅刻は厳禁とする。

達成目標:

ヒトの動機づけの特徴について種間比較の観点から相対的に理解するとともに、動機づけとそれ以外の心的過程との関連性について俯瞰的に捉えることができるようになることを目指す。

評価方法:

出席回数基準（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書:

なし

参考文献:

岡田・廣中・宮森 共著『コンパクト新心理学ライブラリ 14 生理心理学』サイエンス社 2,310 円
 大山正 編著『コンパクト新心理学ライブラリ 16 実験心理学』サイエンス社 1,942 円
 上淵寿 編著『動機づけ研究の最前線』北大路書房 3,150 円

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C61101	心理学実験法	3	2	芳賀康朗
C00501	基礎心理学特殊講義ⅡA（心理学研究法）	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
記述統計と推測統計，データの尺度，代表値と散布度，有意差検定，実験計画法	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

心理学研究において重要なことは、日常的な認識を超えて客観的な視点から心理現象を記述・分析することである。この講義では心理学研究における測定とデータ解析について理解し、その技法を修得することを目的とする。心理学基礎実習および心理学データ解析Ⅰ・Ⅱと併せて受講すること。

授業の概要：

前半では、実験によって測定されたデータの特徴を記述・表現するための手法（図表化と代表値の計算）について解説する。後半は、平均値の差の検定（t検定と分散分析）の方法について解説する。

授業の計画：

第1回	実験研究の目的	第9回	有意差検定とは？
第2回	記述統計と推測統計	第10回	2つの平均値の差の検定①
第3回	データの尺度	第11回	2つの平均値の差の検定②
第4回	データの図表化	第12回	2つの平均値の差の検定③
第5回	母集団と標本	第13回	実験計画法と分散分析①
第6回	代表値と散布度①	第14回	実験計画法と分散分析②
第7回	代表値と散布度②	第15回	実験計画法と分散分析③
第8回	代表値と散布度③		

授業方法：

教科書に沿った解説と計算課題を中心に進めていく。毎時間関数電卓を携行すること。また授業以外にも課題を課すこともある。授業の進行を妨げる行為（私語や飲食）はもちろん、授業開始20分以降の遅刻は厳禁とする。

達成目標：

心理学基礎実習や卒業研究におけるデータ解析や論文作成に必要な心理統計の基礎知識と計算技能を身につける。統計ソフトを使ったデータ処理法を習得する。

評価方法：

出席回数（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書：

田中・山際 共著 『ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法』 教育出版 3,045円

参考文献：

鵜沼・長谷川 共著 『はじめての心理統計法』 東京図書 2,625円
大山ら 共著 『コンパクト新心理学ライブラリ 12 心理学研究法』 サイエンス社 2,310円

準備物：

関数電卓（カシオ製で統計計算ができるもの）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C61201	心理学調査法	3	2	芳賀康朗
C00601	基礎心理学特殊講義ⅡB（心理学研究法）	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
相関係数, ノンパラメトリック検定, 質問紙調査, 因子分析, 行動観察	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

心理学研究において重要なことは、日常的な認識を超えて客観的な視点から心理現象を記述・分析することである。この講義では心理学研究における測定とデータ解析について理解し、その技法を修得することを目的とする。心理学基礎実習および心理学データ解析Ⅰ・Ⅱと併せて受講すること。

授業の概要：

調査研究を行うために必要な基礎的統計技能について説明する。前半は相関係数の算出および有意性検定、集計表の分析および度数検定について解説し、後半はより実践的な質問紙調査の作成方法と分析方法について因子分析の概要とあわせて解説する。授業時間内の学習のみでなく、復習を中心とした自主的な学習が要求される。

授業の計画：

第1回	2変数の相関①	第9回	順位についての検定
第2回	2変数の相関②	第10回	質問紙調査の実施と分析①
第3回	2変数の相関③	第11回	質問紙調査の実施と分析②
第4回	相関係数の有意性検定①	第12回	質問紙調査の実施と分析③
第5回	相関係数の有意性検定②	第13回	因子分析①
第6回	度数についての検定①	第14回	因子分析②
第7回	度数についての検定②	第15回	行動観察法の基礎
第8回	度数についての検定③		

授業方法：

教科書に沿った解説と計算課題を中心に進めていく。毎時間関数電卓を携行すること。また授業以外にも課題を課すこともある。授業の進行を妨げる行為（私語や飲食）はもちろん、授業開始20分以降の遅刻は厳禁とする。

達成目標：

心理学基礎実習や卒業研究におけるデータ解析や論文作成に必要な心理統計の基礎知識と計算技能を身につける。統計ソフトを使ったデータ処理法を習得する。

評価方法：

出席回数（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書：

田中・山際 共著 『ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法』 教育出版 3,045円

参考文献：

鵜沼・長谷川 共著 『はじめての心理統計法』 東京図書 2,625円
大山ら 共著 『コンパクト新心理学ライブラリ 12 心理学研究法』 サイエンス社 2,310円

実験・実習・教材費：

なし

準備物：

関数電卓（カシオ製で統計計算ができるもの）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C62701	心理学演習	3	4	芳賀康朗
C00801	基礎心理学演習及び実習	4		

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
基礎心理学, 心理学実験, 実験計画法, データ解析, 卒業研究	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

卒業研究を最終目的として、①研究テーマの選定、②研究計画の立案、③研究の実施、④データ解析、⑤報告書作成の一連の作業を進める。研究計画法や統計分析法についての解説も行い、コンピュータを用いて実験やデータ解析を行うための技能を身につける。心理学基礎実習を履修していることを前提とする。

授業の概要：

各自の関心に基づき、先行研究を紹介しながらディスカッションを行い、具体的な実験・調査計画を立案していく。後期は、その計画に基づいて実験や調査を行ない、研究発表および報告書の提出を求める。

授業の計画：

前期	後期
第1回 ガイダンス	第1回 ガイダンス
第2回～各自の興味・関心についての発表	第2回～第1回研究計画発表
第6回～研究テーマの検討	第4回～第2回研究計画発表
第11回～関連先行研究の紹介	第6回～経過報告とディスカッション
第15回 研究テーマの確定	第14回～研究結果の発表・報告書作成

授業方法：

1回の授業につき2名の発表を基本として進めていく。発表の準備を十分にした上で、積極的な態度で臨んでほしい。発表においてはレジュメ作成は必須とする。

達成目標：

研究を独力で行うことができる基礎技能を身につけ、卒業研究に必要な準備を進めていく。

評価方法：

発表内容（30%）と研究報告書の内容（70%）に基づいて総合的に評価する。

教科書：

なし

参考文献：

大山ら 共著 『コンパクト新心理学ライブラリ 12 心理学研究法』サイエンス社 2,310円
 大山正 編著 『コンパクト新心理学ライブラリ 16 実験心理学』サイエンス社 1,943円
 小川嗣夫 著 『卒論・修論のための心理学実験』ブレーン出版 1,680円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60101	臨床心理学A	3	2	高橋昇
C01101	臨床心理学講義A	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心の構造、パーソナリティー、発達段階	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

臨床心理学は人の心を扱う学問であり、人の心のありさまや、人と人が出会い、かかわり、何かを生み出していくことに注意を向けています。その応用としての技法はカウンセリングや心理療法などとして生かされていますが、その基礎は誰でもが持っている「心」を理解するところから始まるでしょう。そしてその「心」は、心病人だクライアントを知ることに関わっていて、幅広い人の心に対する、より広くて深い理解を得ることを目的とします。

授業の概要：

この授業では、まず臨床心理学とは何かについて学び、心の構造について無意識を含んだ考え方について概説します。そこからパーソナリティーや心の発達など、様々な側面に光を当てて基礎的な知識や理解を促し、臨床心理学的な見方について学んでいきます。

授業の計画：

1. オリエンテーション
- 2～3. 臨床心理学とは何か
- 4～5. 臨床心理学を作った人々
6. 人の心を感じる
- 7～9. 心の構造
10. 復習
- 11～12. パーソナリティー
- 13～14. 精神的病と臨床心理学
15. まとめ

授業方法：

テキストに基づいて、購読しながらそれに沿って進めていきます。DVDを見ていただいて感想を書いてもらうこともあります。そしてその時々テーマについて、身近な例を考えながら体得できるように考えていきます。

達成目標：

臨床心理学の基本的な概念と用語を学び、その概略をつかむこと。

評価方法：

受講態度（30%）とテスト（70%）によって総合的に評価します。

教科書：

『はじめての臨床心理学』 森谷寛之・竹松志乃編著 北樹出版 2,500円＋税

参考文献：

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60201	臨床心理学B	3	2	高橋昇
C01201	臨床心理学講義B	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理アセスメント、心理療法、社会とのかかわり	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

臨床心理学の概論を学んでいきます。今期は人の心に対する接近法として、まずその基礎となる心の発達段階の問題を考え、人間に対する理解を深めながら心理アセスメントの問題に足を踏み入れます。健常人の心のあり方を土台として、心病人に対するかかわりは精神病理や心理的防衛機制に対する専門的な知識や技法が必要であり、その初歩段階としての多種多様な技法の概略を学んでいくことを目的とします。

授業の概要：

この授業では、まず前期に続いて発達段階のまとめから、臨床アセスメントとは何かについて学び、心理検査の概説を行っていきます。そして次に「カウンセリングや心理療法についての理解をテキストに沿って概説します。そこからパーソナリティや心のあり方についての接近法を学び、基礎的な知識や理解を促し、臨床心理学的な見方を考えていきます。

授業の計画：

1. オリエンテーション
- 2～7. エリクソンの発達段階前期
8. 復習
9. 障害者の問題
- 10～11. エリクソンの発達段階後期
12. 心理アセスメントとは何か
13. 心理テストについて
14. 心理療法への方向性
15. まとめ

授業方法：

テキストに基づいて、購読しながらそれに沿って進めていきます。資料を配付したり、DVDを見ていただいて、感想を書いてもらうこともあります。そしてその時々テーマについて、身近な例を考えながら体得できるように考えていきます。

達成目標：

心理アセスメントと心理療法についての基本的な概念と用語を学び、その概略をつかむこと。

評価方法：

受講態度（30%）とテスト（70%）によって総合的に評価します。

教科書：

『はじめての臨床心理学』 森谷寛之・竹松志乃編著 北樹出版 2,500円＋税

参考文献：

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C61701	心理療法	3	2	高橋昇
C01301	臨床心理学特殊講義 I A (心理療法)	4		

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理療法、カウンセリング技法、臨床への適用	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ:

心理療法の基礎についてさまざまな技法における特徴と具体的な内容を学習していく。理論と実践が車の両輪であることを理解して、具体的な適用について例を挙げながら比較検討して進めていく。

授業の概要:

この授業では、まず心理療法の意義について学び、さまざまな心理療法が存在することを治療構造の側面、臨床場面での適用の相違や特徴など、具体的で実践的な理解と学習を進めていく。

授業の計画:

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 人とかかわる事の意味 | 13. 精神病への心理療法 |
| 2. 心に沿うこと | 14. クライエントの理解 |
| 3. 言語療法 | 15. まとめ |
| 4. 行動療法 | |
| 5. 家族療法 | |
| 6. 森田療法 | |
| 7. 内観療法の理論 | |
| 8. 内観療法の実際 | |
| 9. 復習 | |
| 10. 集団心理療法の理論 | |
| 11. 集団心理療法の実際 | |
| 12. 神経症への心理療法 | |

授業方法:

テキストに基づいて、購読しながらそれに沿って進めていく。そしてその時々テーマについて、具体的な例を考えながら理解できるようにしていく。

達成目標:

心理療法とその理論について基本的な概念と用語を学び、臨床実践に対する理解を深めること。

評価方法:

受講態度 (30%) とテスト (70%) によって総合的に評価します。

教科書:

「やさしく学べる心理療法の基礎」 窪内節子・吉武光世著 培風館 2,625円 (税込み)

参考文献:

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C61801	心理臨床学	3	2	高橋昇
C01401	臨床心理学特殊講義 I B (心理療法)	4		

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理療法、カウンセリング技法、臨床への適用	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ:

心理療法の基礎についてさまざまな技法における特徴と具体的な内容を学習していく。その中でそれぞれの人間観を理解し、類似点や相違など具体的な問題について比較検討しながら進めていく。

授業の概要:

この授業では、まず心理療法とは何かを学び、さまざまな心理療法が存在することを治療構造の側面、臨床場面での適用の相違や特徴など、具体的で実践的な理解と学習を進めていく。

授業の計画:

1. 心理療法とは
2. 心へのかかわり方
3. 精神分析の基礎理論
4. 心理療法としての精神分析
5. フロイト以後の理論
6. 交流分析
7. 復習
- 8～9. クライアント中心療法
10. フォーカシング
11. 自律訓練
12. 認知行動療法
13. 芸術療法の理論
14. 芸術療法の実践
15. まとめ

授業方法:

テキストに基づいて、購読しながらそれに沿って進めていく。そしてその時々テーマについて、具体的な例を考えながら理解できるようにしていく。

達成目標:

心理療法とその理論について基本的な概念と用語を学び、臨床実践に対する理解を深めること。

評価方法:

受講態度 (30%) とテスト (70%) によって総合的に評価します。

教科書:

『やさしく学べる心理療法の基礎』 窪内節子・吉武光世著 培風館 2,625円 (税込み)

参考文献:

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C01802	臨床心理学演習及び実習	4	4	高橋昇

期間	曜日	時限	備考：卒業年次生用
通年	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理臨床学、心理アセスメント、入力と出力	問題解決力、コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

頭の中に入力することと出力することが、思考能力や分析力、判断力を高めます。自分で考えてまとめる力を身につけるために問題意識を持ち、関心のある臨床心理学のテーマに臨んでいただこうと考えています。そして自分の出力したものを鍛えることで、より一層人に伝わる思考が形作られます。それを最終的に卒業論文という形にまとめることが目標となります。

授業の概要：

前年までに自分の研究テーマを絞り込むように進めてきているので、前進させるために研究計画を練っていきます。それぞれのテーマは違いますが、一緒に考えることで、思考の幅が広がられます。また、話す力を伸ばすために、与えられたテーマについて議論し、ディベートしていく場も設けます。

授業の計画：

<前期>	<後期>
1. オリエンテーション	1. オリエンテーション
2～3. 計画、思考をまとめること	2～14. 卒業論文の経過発表
4～14. 研究計画についてのプレゼンテーション (いくつかのテーマについての討論)	(いくつかのテーマについての討論)
15. まとめ	15. まとめ

授業方法：

卒業論文のテーマについて、入力を各自で行い、出力として授業でプレゼンテーションしていただきます。出力は書くことと、話すことであり、討論しながらさらに深めていきます。

達成目標：

卒業論文に向けて問題意識を持つこと、思考力を身につけて言語表現することを学び、臨床心理学についての理解を深めながら、創造性を養うことを目標とし、論文の完成を目指します。

評価方法：

受講態度（50%）とレポート（50%）によって総合的に評価します。

教科書：

なし

参考文献：

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
C60601	教育心理学A	3	2	坪井裕子
C02101	教育心理学講義A	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 学校 学習 発達	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, 価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ：

教育の営みに含まれる要因は、対象としての幼児・児童・生徒、働きかけるものとしての教師、両者の関係を通して起こってくる成長、学習、教授等の事象です。これらを理解するための教育心理学の基礎的な事柄について学びます。

授業の概要：

教育心理学における学習や発達など基礎的な事柄について学びます。

授業の計画：

1. オリエンテーション・教育心理学の概要
2. 学習 (1)
3. 学習 (2)
4. 学習 (3)
5. 個人差 (1)
6. 個人差 (2)
7. 動機づけ (1)
8. 動機づけ (2)
9. 学習過程
10. 教育と発達
11. 発達 (1) 乳幼児期
12. 発達 (2) 児童期
13. 発達 (3) 青年期
14. 発達 (4) まとめ
15. 前期のまとめ

授業方法：

基本的には講義を中心に行います。必要に応じて、視聴覚教材を用います。教育に関するトピックスがあれば、発表することが求められる場合もあります。

達成目標：

教育現場で起こるさまざまな問題を検討することによって、教育についての考えを深め、基本的な知識を習得することを目標とします。

評価方法：

期末試験 (100%) によって評価します。

- 基本的な知識のみならず様々な角度から教育の問題について十分に理解している S
 基本的な知識のみならず教育の問題についてかなり理解している A
 基本的な知識は習得しているが教育の問題についての理解はやや不十分 B
 基本的な最低限の知識は習得している C
 Cのレベルに達していない D

教科書：

西村純一・井森澄江編『教育心理学エッセンシャルズ』第2版 (ナカニシヤ出版 / 2,200円 + 税)

参考文献：

授業の中で提示します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60701	教育心理学B	3	2	坪井裕子
C02201	教育心理学講義B	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 学校 学習 発達	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, 価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ：

教育の営みに含まれる要因は、対象としての幼児・児童・生徒、働きかけるものとしての教師、両者の関係を通して起こってくる成長、学習、教授等の事象です。これらを理解するための教育心理学の基礎的な事柄について学びます。

授業の概要：

学校における適応の問題や発達障害などの基礎的な事柄について学びます。

授業の計画：

1. オリエンテーション・教育心理学の概要
2. 教師と児童・生徒
3. 学校適応 (1)
4. 学校適応 (2)
5. 学校適応 (3)
6. 発達障害 (1) 概要
7. 発達障害 (2) 知的障害
8. 発達障害 (3) 広汎性発達障害
9. 発達障害 (4) 学習障害・AD/HD
10. 発達障害児への支援 (1)
11. 発達障害児への支援 (2)
12. 教育評価 (1)
13. 教育評価 (2)
14. 教育評価 (3)
15. 後期のまとめ

授業方法：

基本的には講義を中心に行います。必要に応じて、視聴覚教材を用います。教育に関するトピックスがあれば、発表することが求められる場合もあります。

達成目標：

教育現場で起こるさまざまな問題を検討することによって、教育についての考えを深め、基本的な知識を習得することを目標とします。

評価方法：

期末試験 (100%) によって評価します。

基本的な知識のみならず様々な角度から教育の問題について十分に理解している・・・S

基本的な知識のみならず教育の問題についてかなり理解している・・・A

基本的な知識は習得しているが教育の問題についての理解はやや不十分・・・B

基本的な最低限の知識は習得している・・・C

Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

西村純一・井森澄江編『教育心理学エッセンシャルズ』第2版 (ナカニシヤ出版 / 2,200円 + 税)

参考文献：

授業の中で提示します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C61901	カウンセリング	3	2	坪井裕子
C02301	教育心理学特殊講義 I A (カウンセリング)	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 学校 カウンセリング	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, 価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ：

教育現場において、不登校やいじめなど、心に関する問題が噴出してきており、それに対応するため、カウンセリングへの要望は高まっています。本講義では、カウンセリングの諸理論の基本的な考え方や特徴について理解することを目的とします。

授業の概要：

カウンセリングの基礎的なことについて理解できるようにします。

授業の計画：

1. オリエンテーション：カウンセリングとは
2. カウンセリングの意義・歴史の概観（1）
3. カウンセリングの意義・歴史の概観（2）
4. 守秘義務とは
5. カウンセリングの基本（1）
6. カウンセリングの基本（2）
7. カウンセリングの基本（3）
8. カウンセリングの技法（1）
9. カウンセリングの技法（2）
10. カウンセリングの技法（3）
11. カウンセリングの実際（1）
12. カウンセリングの実際（2）
13. カウンセリングの実際（3）
14. カウンセリングの諸問題
15. まとめ

授業方法：

基本的には講義を中心に行います。必要に応じて、視聴覚教材を用います。

達成目標：

カウンセリングについての考えを深め、基本的な知識を習得することを目標とします。

評価方法：

期末試験（100％）で評価します。

- 基本的な知識のみならずカウンセリングについて考えを深め十分に理解している・・・S
 基本的な知識のみならずカウンセリングについてかなり理解している・・・A
 基本的な知識は習得しているがカウンセリングについての理解はやや不十分・・・B
 カウンセリングについて基本的な最低限の知識は習得している・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

使用しません。必要に応じてプリント等の資料を配布します。

参考文献：

授業の中で提示します。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C02401	教育心理学特殊講義 I B (カウンセリング)	4	2	坪井裕子

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 学校 カウンセリング	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, 価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ：

教育現場において、不登校やいじめなど、心に関する問題が噴出してきており、それに対応するため、カウンセリングへの要望は高まっています。本講義では、カウンセリングの諸理論の基本的な考え方や特徴について理解することを目的とします。

授業の概要：

カウンセリングの基礎を理解したうえで、実践事例を通して、援助的人間関係により、人がいかに成長への契機をつかみ得るかを感じ取れるようにします。

授業の計画：

- 1 後期オリエンテーション
- 2 様々な領域におけるカウンセリング (1)
- 3 様々な領域におけるカウンセリング (2)
- 4 乳幼児期のカウンセリング
- 5 学童期のカウンセリング (1)
- 6 学童期のカウンセリング (2)
- 7 学童期のカウンセリング (3)
- 8 思春期のカウンセリング (1)
- 9 思春期のカウンセリング (2)
- 10 青年期のカウンセリング (1)
- 11 青年期のカウンセリング (2)
- 12 教育とカウンセリング (1)
- 13 教育とカウンセリング (2)
- 14 カウンセリングの諸問題
- 15 まとめ

授業方法：

基本的には講義を中心に行います。必要に応じて、視聴覚教材を用います。

達成目標：

カウンセリングについての考えを深め、基本的な知識を習得することを目標とします。

評価方法：

期末試験 (100%) で評価します。

- 基本的な知識のみならずカウンセリングについて考えを深め十分に理解している・・・S
- 基本的な知識のみならずカウンセリングについてかなり理解している・・・A
- 基本的な知識は習得しているがカウンセリングについての理解はやや不十分・・・B
- カウンセリングについて基本的な最低限の知識は習得している・・・C
- Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

使用しません。必要に応じてプリント等を配布します。

参考文献：

授業の中で提示します。

実験・実習・教材費：

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
C02802	教育心理学演習及び実習	4	4	坪井裕子

期間	曜日	時限	備考：卒業年次生用
通年	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 心理 発達 アイデンティティ 関係性 卒業論文	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, 価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ：

3年次ゼミにおける学習を基礎にして、各自が持っている問題意識を明確にし、卒業論文の執筆を行います。また逐次、発表と討議を行うことで、自分の考えを言語化して伝え、他者の考えを理解する力を養うことをねらいとします。

授業の概要：

前期は各自の課題を明確化し、論文を具体化するための作業を行います。後期は、各自の課題を論文の形に纏め上げる作業を中心に行います。

授業の計画：

<前期>

- 1 オリエンテーション
- 2～5 卒論テーマについての発表 (問題と目的の明確化)
- 6～10 卒論に関する文献講読と発表 (方法の検討)
- 11～15 卒論中間発表

<後期>

- 1～2 卒論についての経過発表 (結果の整理)
- 3～10 卒論についての経過発表 (考察・まとめ)
- 11～15 卒論完成にむけての作業

授業方法：

各自がレジюмеを作成し、発表・討議する演習方式で行います。

達成目標：

教育や子どもに関する問題を心理学の研究方法により理解し、文章化していく作業を体験的に学ぶことを目標とします。

評価方法：

- レポート (100%) を加味して総合的に判断します。
- 課題について深く理解し自分の考えを十分に文章化できる S
 - 課題について相応に理解し自分の考えを文章化できる A
 - 課題について理解し自分の考えを文章化できる B
 - 課題についての理解および自分の考えの文章化が不十分 C
 - Cのレベルに達していない D

教科書：

使用しません。

参考文献：

授業の中で提示します。

実験・実習・教材費：

1,000 円 資料代およびコピー代

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60801	精神病理学A	3	2	高橋蔵人
C04101	精神病理学講義A	4		

期間	曜日	時限	備考:
前期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
フロイト、精神分析学、神経症、心理療法	価値判断力(意思決定力)、分析・総合の思考力と判断力、コミュニケーション力

授業のテーマ:

精神病理学の基本のひとつである精神分析学において、心の失調や不具合といったものが、どのようにとらえられ、理解され、さらに援助の方法が確立されていったかを学ぶ。

授業の概要:

フロイトは、神経症の治療として始めた自らの治療法を発展させ、精神分析学を確立した。それは神経症患者だけでなく、すべての人間の心に対する理解を深めるものであり、精神病理学の基礎のひとつとなった。本授業では、フロイトが考えを進めていった道筋に沿って学びます。

授業の計画:

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 フロイトの歩み
- 第3回 ヒステリーの治療(症例エリザベート)
- 第4回 心の力動的理解(トラウマと除反応)
- 第5回 フリース体験と精神分析の確立
- 第6回 エディプスコンプレックスの発見
- 第7回 神経症論
- 第8回 夢
- 第9回 隠蔽記憶、錯誤行為、機知
- 第10回 心の構造
- 第11回 性欲論、発達論
- 第12回 (フロイト以降の)発達論・青年期論
- 第13回 精神分析による治療(症例ドラ)
- 第14回 精神分析による治療(転移、エナクトメントと真実性)
- 第15回 まとめ

授業方法:

基本的には講義形式で、毎回プリントにそって進める。受身的にならないように、感想や意見を随時発表してもらいます。

達成目標:

精神分析は人間の心や行動をより深く理解する方法で、それが精神的に病んでしまった人の助けになります。本授業では、精神分析の基本的な考えを理解するだけでなく、人を心理的に援助するときに役立つ人間理解や基本姿勢を身につけることを目指します。

評価方法:

授業への取り組み(20%)と授業の中で行う課題(80%)により行う。課題は2~3回くらいを予定、前もってテーマを示した上で、そのテーマに即した発表、もしくはレポートを書く。期末試験は行いません。精神分析学の考えを十分に理解し、なおかつ、それに自分なりの体験や考察を加えて考えを発展させることができる.....S
 精神分析学の考えを十分に理解している、もしくは、自分なりの体験や考察を加えて考えを発展させることができる.....A
 精神分析学の考えをほぼ理解している.....B
 精神分析学の基礎は理解している.....C
 Cのレベルに達していない.....D

教科書:

なし

参考文献:

- フロイト『ヒステリー研究』ちくま学芸文庫/人文書院・フロイト著作集7
- フロイト『夢判断』新潮文庫
- その他(適宜授業の中で紹介します)

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60901	精神病理学B	3	2	高橋蔵人
C04201	精神病理学講義B	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心の病、精神病学、精神病理学史	価値判断力（意思決定力）、分析・総合の思考力と判断力、コミュニケーション力

授業のテーマ：

心の失調である精神障害とはどういうものか、精神病について、その実態を知り、理解を深める。そして精神分析だけでなく、他の学派ではどのように心の失調、精神障害をとらえ、対処してきたのかを理解する。

授業の概要：

まず、どのようなものが精神障害とされるのか、精神症状学について概説する。そして、それらが社会の中でどのようにとらえられ、理解されてきたか、心の病、精神病、精神障害として概念化されてきたかを歴史的にたどりながら振り返る。さらに精神病理に対する臨床心理学的な視点や代表的な精神病理学者の考えについて理解を深める。

授業の計画：

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 精神病理学について
(精神症状学と精神病理学——精神障害に対する外側からの理解と内側からの理解)
- 第3～5回 いろいろな精神機能とその障害 (精神症状学)
- 第6回 精神障害のいろいろ
- 第7～14回 精神障害に対する理解と対応の歴史 (精神医学史、いろいろな精神病理学説)
1) 精神病が病気として扱われるまで (精神病者が鎖から解放されるまで)
2) 精神病者の収容から始まった精神病学
3) 民間治療から始まった神経症学
4) 精神病理学の確立
5) 精神病理学の発展
- 第15回 まとめ

授業方法：

基本的には講義形式で、毎回プリントにそって進める。適宜、ビデオなども教材として使います。受身的にならないように、感想や意見を随時発表してもらいます。

達成目標：

精神分析だけでなく、他の学派ではどのように心の失調、精神障害をとらえ、対処してきたのかを理解する。心の失調にはどのようなものがあるか、つまり精神障害とはどういうものか、精神病について、その実態を知り、理解を深める

評価方法：

授業への取り組み (20%) と授業の中で行う課題 (80%) により行う。課題は2～3回くらいを予定、前もってテーマを示した上で、そのテーマに即した発表、もしくはレポートを書く。期末試験は行いません。

- 精神病理学について、その歴史や考えを十分に理解し、なおかつ、それに自分なりの体験や考察を加えて考えを発展させることができる……………S
- 精神病理学について、その歴史や考えを十分に理解している、もしくは、自分なりの体験や考察を加えて考えを発展させることができる……………A
- 精神病理学の歴史と考えをほぼ理解している……………B
- 精神病理学の歴史と考えの基礎は理解している……………C
- Cのレベルに達していない……………D

教科書：

なし

参考文献：

- 中井久夫・山口直彦『看護のための精神医学』医学書院
- 松本雅彦『精神病理学とはなんだろうか』星和書店
- エレンベルガー『無意識の発見』弘文堂
- その他 (適宜授業の中で紹介します)

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C61001	人間関係論	3	2	三後美紀
C08101	人間関係論講義A	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
パーソナリティ、発達と成長、社会と対人関係、適応と臨床	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

心理学の基礎知識を身につけ、さらに、日常生活におけるさまざまな事象を心理学的な視点で捉えようとする思考力を獲得することを目的とします。

授業の概要：

人と人のかかわりに着目しながら、性格心理学、発達心理学、社会心理学、臨床心理学における心理学の知見を紹介します。

授業の計画：

- 1) ガイダンス
- 2) パーソナリティ（心のなりたち）
- 3) パーソナリティ（類型論と特性論）
- 4) パーソナリティ（無意識・防衛機制）
- 5) 発達と成長（発達の原理）
- 6) 発達と成長（思考の発達）
- 7) 発達と成長（ライフサイクル）
- 8) 社会と対人関係（自己の形成・自己開示）
- 9) 社会と対人関係（対人認知）
- 10) 社会と対人関係（態度変容）
- 11) 社会と対人関係（集団のダイナミクス）
- 12) 社会と対人関係（リーダーシップ）
- 13) 適応と臨床（ストレスと対処）
- 14) 適応と臨床（さまざまな心理療法）
- 15) まとめ

授業方法：

講義を中心に、適宜、プリントや映像資料を使いながら進めます。受講生の内容理解の確認と知的関心の共有のため、講義中に小レポートの提出を求めることがあります。

達成目標：

われわれの身近にある事象を心理学的に捉えた知見を学ぶことで、分析・総合の思考力と判断力の基礎を学生自身が身につけます。

評価方法：

期末試験（100%）

教科書：

なし

参考文献：

齊藤 勇 『イラストレート心理学入門』 誠信書房 1,575 円
 大坊郁夫・安藤清志 『社会の中の人間理解』 ナカニシヤ出版 1,995 円
 その他、授業中に紹介します

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C10401	産業・組織心理学	3	2	三後美紀
C08201	人間関係論講義B	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ワーク・モチベーション、リーダーシップ、ストレス・マネジメント、キャリア発達	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

われわれ人間は、人や社会との関係を持ちながら生きている社会的存在です。そして人生の多くの時間を学校や企業などの組織で過ごしています。ここでは、個と組織の関係について産業・組織心理学の見地から再考し、組織における人間の成長について客観的に捉え直す思考力と、生き生きとした組織での生活を創造していく判断力を身につけることを目的とします。

授業の概要：

企業や学校、家庭などの集団における人間の行動や心の動きについて学びます。集団における個人の行動を「個人の集団内での発達」という視点を加えながら理解していきます。

授業の計画：

第1回	イントロダクション	第9回	職場のストレス（1）
第2回	組織における人間観	第10回	職場のストレス（2）
第3回	ワーク・モチベーション（1）	第11回	ストレス・マネジメント
第4回	ワーク・モチベーション（2）	第12回	キャリア発達
第5回	職務満足	第13回	人とのかかわり方（1）
第6回	集団の影響力	第14回	人とのかかわり方（2）
第7回	リーダーシップ（1）	第15回	まとめ
第8回	リーダーシップ（2）		

授業方法：

基本的には講義形式で行いますが、必要に応じて配布資料や映像資料などを用いて理解を深めます。

達成目標：

組織における人間の行動を心理学的に捉えた知見を学ぶことで、分析・総合の思考力と判断力の基礎を学生自身が身につけます。

評価方法：

期末試験（およそ70%）と授業中の小レポート（およそ30%）により総合的に評価します。
 心理学的な視点から組織における事象の説明ができ、かつその問題点を論ずることができる……S
 心理学的な視点から組織における事象の説明ができる……A
 心理学的な基礎知識を身につけており、組織における事象との関連性が理解できる……B
 心理学的な基礎知識が身につけている……C
 Cのレベルに達していない……D

教科書：

なし

参考文献：

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C08301	人間関係論特殊講義 I A (タテ社会の人間関係)	4	2	三後美紀

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心のなりたち、対人認知、動機づけ、態度変容、集団の影響	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ:

われわれ人間は、人や社会との関係を持ちながら生きている社会的存在であり、他者や社会から影響を受けながら、また一方では他者や社会に影響を与えながら行動しています。このような互いに影響を及ぼしている日常的な対人関係について心理学的な視点から再考し、周辺にある事象や自分の行動に対してさまざまな視点で捉えようとする思考力を身につけることを目的とします。

授業の概要:

はじめに社会の中で自己がどのように形成されてきているのかについて概観します。次に、対人関係における人間の行動や心の動きについて心理学の基礎知識を身につけながら、個人の行動に他者がどのようにかかわっているのかを検討していきます。

授業の計画:

- 第1回 イントロダクション
- 第2回～第4回 心のなりたちと社会の中の自己
- 第5回～第7回 社会的欲求と動機づけ
- 第8回～第9回 対人認知と態度変容
- 第10回～第11回 集団の影響
- 第12回～第14回 組織のなかの人間関係
- 第15回 まとめ

授業方法:

基本的には講義形式で行いますが、必要に応じて配布資料や映像資料などを用いて理解を深めます。

達成目標:

対人関係を含む、われわれの身近にある事象を心理学的に捉えた知見を学ぶことで、分析・総合の思考力と判断力の基礎を学生自身が身につけます。

評価方法:

期末試験 (100%)

教科書:

なし

参考文献:

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C08401	人間関係論特殊講義 I B (タテ社会の人間関係)	4	2	三後美紀

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
キャリア発達、職業選択、組織社会化、キャリア・ストレス	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ:

近年、わが国における従来の雇用システムが見直され、個人の働き方が問い直されています。そもそも私たちはなぜ働くのでしょうか。また、児童期や青年期にはどのように職業観が形成され、組織参入時にはどのような課題があるのでしょうか。また、他者からのかかわりは働き方にどのような影響を及ぼすのでしょうか。組織の中での個人の成長や発達について、心理学的な視点から再考します。

授業の概要:

心理学の基礎知識を身につけながら社会の中での個人の成長についての理論を学び、同時にその課題や問題点を論じていきます。

授業の計画:

- 第1回～第2回 人はなぜ働くのか
- 第3回～第5回 ライフサイクルとキャリア発達課題
- 第6回～第7回 パーソナリティと職業選択
- 第8回～第10回 組織社会化
- 第11回～第12回 キャリア・ストレスとワークライフ・バランス
- 第13回～第14回 キャリア発達支援
- 第15回 まとめ

授業方法:

基本的には教科書に沿った講義形式で行いますが、教科書の内容をより深く理解するために前もって必要だと思われる心理学的知見を配布資料や映像資料などを用いて紹介します。

達成目標:

組織の中での個人の成長という問題について心理学的に捉えることで、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力を学生自身が身につけます。

評価方法:

期末試験 (100%)

教科書:

二村英幸 『個と組織を生かすキャリア発達の心理学』 金子書房 (2,400円+税)

参考文献:

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C08801	人間関係論演習	4	4	三後美紀

期間	曜日	時限	備考：卒業年次生用
通年	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理 人間関係 研究法	コミュニケーション力 分析・総合の思考力と判断力 社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

個人を取り巻く社会の変化により、人は成長することもありますし、心身に不調をきたすこともあります。このような社会と個人の相互作用から生じているさまざまな心の現象に着目しながら、各自の学問的関心をより明確にしていき、心理学研究に高めます。

授業の概要：

ディスカッションを通して各自の研究を進め、論文にまとめます。

授業の計画：

<前期>

- 第1回 オリエンテーション（心理学の研究方法）
- 第2回～第5回 研究計画のプレゼンテーション
- 第6回～第10回 研究経過報告（問題と目的・方法を中心に）
- 第11回～第15回 研究経過報告（調査実施と中間報告）

<後期>

- 第16回～第20回 研究経過報告（結果を中心に）
- 第21回～第25回 研究経過報告（考察を中心に）
- 第26回～第30回 最終報告

授業方法：

人の心の状態について、各自が関心を持っている事象をとりあげて発表し、受講生との議論を通して幅広い観点から心理学研究に高めるための検討を行います。

達成目標：

各自の問題意識を心理学的な視点から捉え直し、その問題を追求するための具体的な研究法を身につけて、卒業論文を作成していきます。

評価方法：

授業への取り組み（およそ70%）と発表内容（およそ30%）により総合的に評価します。

教科書：

なし

参考文献：

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費：

1,000円（資料代および配布資料複写代）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C11201	社会心理学	3・4	2	中島誠

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	D	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
社会心理学、コミュニケーション、グループ・ダイナミックス	コミュニケーション力、社交性、効果的な社会参加

授業のテーマ：

人の幸福を最も強く規定するのは人間関係だといわれている。心理学と聞いて多くの人がイメージする臨床心理学も、信頼できる人間関係を基礎にするものである。講義では社会的影響過程や集団の心理について学習する。それによって、他者との接し方や他者との葛藤について理解を深めることを目指す。

授業の概要：

講義では科学的な視点から、社会的動物としての人間の心理について、対人関係、集団を中心とした応用的な知識を概説する。ただし、講義は理論の紹介にとどまらず、ディスカッション等の実習が行われる。他者との葛藤体験を通じ、より具体的で身近な現象から理論を理解していく。

授業の計画：

- | | | |
|----|------------|--------------------|
| 1 | イントロダクション1 | 心理学の考え方 |
| 2 | イントロダクション2 | 社会心理学とは |
| 3 | 集団 | 社会心理学実験の映像視聴 |
| 4 | 社会的影響1 | 集団の影響力、社会的促進、抑制 |
| 5 | 社会的影響2 | 集団アイデンティティ、ステレオタイプ |
| 6 | 社会的影響3 | コミュニケーションゲーム |
| 7 | 社会的影響4 | コミュニケーションの理論 |
| 8 | 社会的影響5 | 説得の理論と技法 |
| 9 | 社会的影響6 | 集団討議に関するゲーム |
| 10 | 社会的影響7 | 集団討議の理論 |
| 11 | 集団の心理1 | リーダーシップに関するゲーム |
| 12 | 集団の心理2 | リーダーシップの理論 |
| 13 | 集団の心理3 | 同調と服従 |
| 14 | 集団の心理4 | 組織における葛藤とその解決 |
| 15 | 集団の心理5 | まとめ |

授業方法：

講義に加え、演習や映像資料の視聴を行う。演習や映像資料の視聴後には、受講者間で体験の共有を行い、コミュニケーションやグループ・ダイナミックスの理論に対する理解を深める。

達成目標：

- 目標1：対人認知や社会的影響、対人葛藤の理論、専門用語について説明できる。
 目標2：専門知識を用いて自らの相互作用の体験を省察し、自他の行動様式の改善方法を提案できる。

評価方法：

課題への取り組み（小レポート、目標2と対応）：40%、期末試験（筆記、目標1、目標2と対応）60%
 専門的観点から、自身や他者、組織の対人相互作用の改善点について提案できる・・・S
 専門的観点から、自身の対人相互作用の改善点について提案できる・・・A
 自身の対人相互作用を、専門的理論や用語を正しく用いて記述できる・・・B
 専門的理論や用語について理解し、説明できる・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

特になし、適宜授業内で紹介する

参考文献：

特になし、適宜授業内で紹介する

実験・実習・教材費：

特になし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C10301	認知心理学	3・4	2	増井透

期間	曜日	時限	備考：
後期	集中	E	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
人間の情報処理、知覚、記憶、意識	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

人間の認知行動（見る、聞く、話す、覚える、考える、意識する、コミュニケーションするなど）について情報処理の観点から考え、私たちがいかに世界を認識して適応しているかの理解を深める。とくに意識と無意識（潜在意識）の問題は最後に残った重要なテーマであり、「認知行動の大半がじつは無意識で行われていること」や、「私たちはリアルタイムに世界を認識しているわけではない」といった常識に反するような研究成果の意味について考察していく。

授業の概要：

簡単な実験や映像資料を用いて、認知心理学の重要トピックスから最新の脳研究の成果まで、認知行動を理解する主要ポイントを体験的に学びながら、人間の情報処理モデルがいかに構成されてきたかの過程を通して、科学的な人間観を深める機会とする。

授業の計画：

- 1回 認知心理学とは何か
- 2回 世界をどのように認識しているか（1）
- 3回 世界をどのように認識しているか（2）
- 4回 イメージは絵のようなものか（1）
- 5回 記憶の世界（1）
- 6回 記憶の世界（2）
- 7回 認知の障害
- 8回 注意と意識：注意のメカニズム
- 8回 注意と意識：メンタルスリップ
- 9回 意識は遅れて発生する
- 10回 思考の歪み（1）
- 11回 思考の歪み（2）
- 12回 色彩の心理（1）
- 13回 色彩の心理（2）
- 14回 アフォーダンスとは何か
- 15回 認知行動を通して見た「人間とは何か」

授業方法：

AV資料を用いながら講義を行い、随時、簡単な実験を行って認知の現象を体験する。またそうした実際の体験を通して、日常生活における認知の仕組みやその意味について討議する機会を設ける。毎回、理解度を確認するための課題がある。

達成目標：

何気なく体験している日常生活の行動がじつは複雑な認知過程にもとづくことや、認知過程の大半がじつは無意識に行われているという事実を通して、人間についての理解を深める。

評価方法：

- 最終試験（40%）、出席（30%）、授業内課題（30%）
- 課題の提出が十分で、授業内容を十分理解している……………S
- 課題の提出が十分で、授業内容をかなり理解している……………A
- 課題の提出があり、授業内容をやや理解している……………B
- 課題を提出があり、授業内容の理解が認められる……………C
- Cのレベルに達していない……………D

教科書：

なし

参考文献：

必要に応じて授業内で提示

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C10501	学校心理学	3・4	2	小林由美子

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	C	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スクールカウンセリング, 自己理解, 他者理解, 相互理解	コミュニケーション力, 問題解決力, 社交性 (社会的相互関係力)

授業のテーマ：

現在、学校教育は重大な岐路にさしかかっている。子どもたちに対する理解の不足から適切な対応がなされていないために、さまざまな問題が生じている。これからの学校教育のあり方を、心理学的な観点から皆さんと一緒に考えていきたいと考えている。

授業の概要：

人間関係の中で相互理解をしていくためには、まず自分自身を理解することが必須条件である。また、相手を理解し受け容れるためには、自分自身をまず受け容れていなければならない。学校の中で好ましい人間関係を形成する教育相談に関する理論を学び、その理論を基にした自己理解、他者理解、相互理解を高める体験学習、グループワークや作業を中心に行う。

授業の計画：

- 1回 教育相談の概要
- 2回 エンカウターの理論と実際
- 3回 エンカウターのグループワークⅠ 自己理解
- 4回 エンカウターのグループワークⅡ 相互理解
- 5回 交流分析の理論
- 6回 エゴグラムの実践
- 7回 コラージュⅠ 説明と作業
- 8回 コラージュⅡ 作業と解説
- 9回 カウンセリング理論
- 10回 カウンセリング演習Ⅰ 説明と演習
- 11回 カウンセリング演習Ⅱ 演習と解説
- 12回 ロールプレイ演習Ⅰ 自己理解のために
- 13回 ロールプレイ演習Ⅱ 相互理解のために
- 14回 心の発達課題と事例理解
- 15回 教育相談の取り組みと学校・地域・家庭間の連携協力

授業方法：

教育相談における基本的な講義とそれに基づいた体験学習的なグループワークを中心に行う。そのため教室内の机や椅子の移動を受講生みで行い、「動的な」側面と、体験したことを自分自身の心の内面に問い掛け、自分の心の内面をより理解しようとする「洞察的な」側面を組み合わせている。かなり心のエネルギーを遣う授業なので、そういったことをわずらわしく思う学生には向かない授業である。しかし、そのような体験が苦手であっても、この機会に体験してみたい、自分を変えてみたいという人には是非受講してほしい。

達成目標：

現代社会における学校の置かれている厳しい状況を理解すると同時に、これを乗り越えるための臨床心理学的な対応についての理解を深める。

評価方法：

課題ごとに到達度目標を設定し、その達成段階に応じて評価し、また、授業ごとの小レポート、授業への積極度などを総合評価する。すべての授業には名札をつけて一斉に活動するので遅刻は厳禁である。

教科書：

なし

参考文献：

一丸藤太郎・菅野信夫 編著 『教職講座 学校教育相談』 ミネルヴァ書房 2,310 円
川瀬正裕・松本真理子・川瀬美弥子 共著 『これからの心の援助』 ナカニシヤ出版 2,520 円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C30101	言語心理学	3・4	2	小山正

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	C	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
言語, 象徴機能, 認知, 発達	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

授業のテーマ：

子どもの言語獲得過程に関する最近の研究を紹介しながら、子どもの心理的発達がことばの獲得にどのように影響しているかを明らかにしていくとともに、言語発達学、言語心理学に関する基本的事項を習得することを本講義での到達目標とする。また、人間発達における言語の問題についても考える。

本講義では、自閉症やダウン症等の障害のある子どもの言語・コミュニケーションの問題についても取り上げ、障害のある子どもの言語獲得過程について知り、言語発達支援の基本についても考える。

授業の概要：

象徴機能の発達という観点から言語発達について述べる。その後の言語発達の基礎となる前言語期からの諸発達を述べ、特に他者認識の発達と言語獲得の問題に関して考察していく。

授業の計画：

1. 言語とは
2. 象徴機能、象徴化能力とは
3. 前言語期における諸発達
4. 象徴化の発達と言語獲得
5. 初期言語獲得期の諸相－語獲得の認知的基盤
6. 文法・統語の発生、動詞の獲得
7. 力動－出来事語の発達とセンテンスの発達
8. 遊びのなかでの心の理解とことばの発達
9. 心的状態語の発達
10. 文字言語の獲得
11. 自閉症・ダウン症の子どもへの言語発達支援をめぐって
12. 音韻の発達
13. 親子関係とことばの発達
14. 人間発達と言語
15. まとめ

授業方法：

教科書にそって、講義形式で進めます。必要に応じて、資料やビデオを用います。

達成目標：

①言語獲得の基礎について知る ②言語と認知発達との関連性について知る。③障害のある子どもの言語獲得過程について知る。

評価方法：

小レポートと学期末レポートによって評価する。小レポート(50%)、学期末レポート(50%)。

教科書：

マッキューン, L. 著 小山 正他訳 『子どもの言語学習能力－言語獲得の基盤』 2013年 風間書房 ¥3,500

参考文献：

小山 正・神土陽子編著 『自閉症スペクトラムの子どもの言語・象徴機能の発達』 ナカニシヤ出版 ¥2,600

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C10601～05	心理学基礎実習	3・4	4	芳賀・廣藤・渡邊・栗野・高橋
期間	曜日	時限	備考：2時限連続 履修抽選対象科目	
通年	金	3・4	※どの授業コードで登録するかは初回授業時に決定	
授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力		
心理実験, 心理検査, 報告書作成		分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 効果的な社会参加		

授業のテーマ：

心理学の専門的研究を行うために必要な実験と検査の実施方法，データ分析方法，報告書作成方法を習得すること目的とする。この授業の受講においては，基礎心理学，教育心理学，臨床心理学などの科目を履修していることが前提となる。

授業の概要：

実験心理学，教育心理学，臨床心理学の分野で代表的な12テーマを取り上げる。実験や検査の方法について実験者（検査者）および研究対象者（実験参加者・被検査者）として参加体験することで学ぶ。また，実習で得られたデータを処理して報告書を提出することで，研究報告書の作成方法についても学ぶ。

授業の計画：

- | | |
|-----------------|------------------|
| 第1回 前期ガイダンス | 第16回 後期ガイダンス |
| 第2回 各実習課題の概要説明 | 第17回～実習およびレポート指導 |
| 第3回～実習およびレポート指導 | ・知覚－運動協応学習（鏡映描写） |
| ・ミューラー・リヤー錯視 | ・パーソナル・スペース |
| ・プライミング効果 | ・メンタル・ローテーション |
| ・一対比較による尺度構成 | ・投映法Ⅱ（ロールシャッハ） |
| ・投映法Ⅰ（TAT） | ・知能検査Ⅱ（WAIS） |
| ・知能検査Ⅰ（京大NX） | ・描画法（バウムテスト） |
| ・性格検査（YG性格検査） | |

授業方法：

参加者を小グループに分割して2週間で1テーマのペースで実習を行い，その翌週に報告書を提出する。報告書の再提出を求める場合もある。前項「授業の計画」に示した課題の順番はグループごとに異なる。途中で履修放棄は他の受講生の迷惑となるので絶対に避けてほしい。

達成目標：

3年次以降の専門的な心理学研究に必要な基礎知識と実験と検査の実施技能，データ処理方法，科学論文の作成方法を身につける。

評価方法：

出席と報告書提出の基準をクリアしていることを前提とし，報告書の評点によって評価する。報告書は科学論文の要件を満たしていることが求められる。遅刻，無断欠席，報告書提出の遅れは一切認めない。

教科書：

『人間環境大学 心理学基礎実習テキスト』 初回授業時に配布

参考文献：

授業中に適宜指示する

実験・実習・教材費：

実習費として30,000円徴収する（テキスト，テスト用紙，実験用具，消耗品費として）

準備品：

関数電卓を毎時間携帯すること。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C62201	芸術療法	3	2	栗野理恵子
C10701	芸術療法A	4		

期間	曜日	時限	備考:この科目を履修するためには、心理学基礎実習の履修が必要です。
前期	集中	D	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
芸術による表現 芸術の力	コミュニケーション力 効果的な社会参加 美的感受性

授業のテーマ：

授業の概要：

芸術療法は、さまざまな芸術を用いて人間の内的な自己成長を促すものです。本授業では、芸術療法の目的や方法を学び、芸術療法の意義を理解します。また、実習を通して「表現すること」を体験的に理解します。

授業の計画：

- 1, オリエンテーション, 芸術療法とは
- 2, 芸術療法のいろいろ
- 3, 絵で遊ぶ①
- 4, 音楽療法
- 5, 音で遊ぶ①
- 6, 芸術療法の目的
- 7, 芸術療法に必要な技能
- 8, 創造性と芸術療法
- 9, 絵で遊ぶ②
- 10, 絵で遊ぶ③
- 11, 表現することの意味
- 12, 芸術療法の効果とは
- 13, 音で遊ぶ②
- 14, 音で遊ぶ③
- 15, まとめ

授業方法：

講義と実習で進めていきます。実習では、絵や音楽を使ってさまざまな表現活動を行いますので、積極的に活動に参加してください。また、実習では個人で作業するだけでなく、グループによる活動も行います。

達成目標：

芸術療法の目的や方法を学び、表現することの意義を理解します。

評価方法：

- 授業への参加態度 (50%), ミニレポート (20%), 最終レポート (30%) で評価します。
- (S) 自主的・積極的に取り組み、表現することの意義を理解し、それを日常に応用できる力がある。
 - (A) 自主的・積極的に課題に取り組み、表現することの意義を理解している。
 - (B) 課題に取り組み、肯定的関心を持って表現することの意義を理解している。
 - (C) 課題に取り組み、肯定的関心を持って表現することを体験している。
 - (D) (C) の水準に達していない。

教科書：

特になし。

参考文献：

授業で適宜紹介します。

実験：実習：教材費：

1,000 円 用途：描画等の材料

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C62301	芸術療法実習	3	2	栗野理恵子
C11101	芸術・表現療法実習	4		

期間	曜日	時限	備考：この科目を履修するためには、心理学基礎実習の履修が必要です。 履修抽選対象科目
通年	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
芸術による表現 体験過程	コミュニケーション力 効果的な社会参加 美的感受性

授業のテーマ：

芸術療法は、絵や音楽などの芸術を用いて人間の内的な自己成長を促すものです。本授業では、芸術療法の中でも特に絵や音楽を扱い、これらを用いて表現することに焦点を置きます。表現することを体験し、そのプロセスを身体全体で学びます。

授業の概要：

芸術療法について、実習を通して体験的に学びます。絵や音楽を使って、身体全体で表現することを体験していきます。

授業の計画：

前期	後期
1, オリエンテーション, 自己紹介ワーク	1, 絵や写真の鑑賞①
2, 落書きで遊ぶ①	2, 絵や写真の鑑賞②
3, 落書きで遊ぶ②	3, 身体で表現①
4, 音で遊ぶ①	4, 身体で表現②
5, 音で遊ぶ②	5, 歌を作る①
6, リズムで遊ぶ①	6, 歌を作る②
7, リズムで遊ぶ②	7, 絵本と音楽①
8, 音あてクイズ①	8, 絵本と音楽②
9, 音あてクイズ②	9, 劇発表会に向けて一題材を決める①
10, 歌を歌う①	10, 題材を決める②
11, 歌を歌う②	11, 表現方法を決める①
12, 楽器を作る①	12, 表現方法を決める②
13, 楽器を作る②	13, 表現方法を決める③
14, 即興音楽①	14, 劇発表会
15, 即興音楽②	15, まとめ

授業方法：

主に実習形式で進めていきます。実習では、体験の感想等の意見交換をするなど、発表の場を多く設けます。また、グループで活動することも多いため、他者と協力して活動することが望まれます。

達成目標：

他者と協調的に関わりながら、さまざまな表現方法を体験し、表現することによって得られる内的な体験過程を理解します。

評価方法：

実習への参加態度 (50%)、中間レポート (20%)、最終レポート (30%) で評価します。
 (S) 自主的・積極的に取り組み、内的な体験過程を理解し、それを日常に応用できる力がある。
 (A) 自主的・積極的に課題に取り組み、芸術療法を理解し、内的体験過程を理解している。
 (B) 課題に取り組み、肯定的関心を持って芸術療法を理解している。
 (C) 課題に取り組み、関心を持って芸術療法を体験している。
 (D) (C) の水準に達していない。

教科書：

特になし。

参考文献：

授業で適宜紹介します。

実習：実習：教材費：

5,000 円

用途：

描画材料や楽器など

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
K23201	パーソナリティの心理学	3・4	2	坂本真也

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
パーソナリティ（人格）、類型論、特性論、心理査定（心理アセスメント）	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

人は、それぞれ主体的に自身の考えや感情の中で行動を取り、一人ひとり異なっている。パーソナリティ（Personality：人格または性格）とは、このような個人の特徴的な思考、感情、行動の様式などを説明する概念である。本講義では、このパーソナリティについて多角的視点から理解し、その特徴を把握するためアセスメントの方法についても学ぶことを目的とする。

授業の概要：

パーソナリティについて、様々なアプローチから学習していくことで、パーソナリティの捉え方や構造を理解していく。また、発達や障害等についても学び、人格の基本的な測定方法の習得を目指す。

授業の計画：

第1回	ガイダンス	第9回	パーソナリティの発達
第2回	パーソナリティ（人格）とは	第10回	パーソナリティ障害
第3回	特性論と類型論	第11回	人格のアセスメント
第4回	人格と知能	第12回	投影法
第5回	人格理論Ⅰ（精神分析的アプローチ）	第13回	質問紙法
第6回	人格理論Ⅱ（行動主義的アプローチ）	第14回	作業検査法
第7回	人格理論Ⅲ（認知的アプローチ）	第15回	まとめ
第8回	人格理論Ⅳ（人間性アプローチ）		

授業方法：

配布プリントに沿った解説と課題を中心に進めていく。必要に応じてグループワークや検査等の実習を行い、体験的に理解することを促したい。

達成目標：

パーソナリティの諸理論を理解し、人格検査の基本的な手続きや方法を習得する。

評価方法：

出席回数の基準をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

S：人格理論の特徴やアセスメントの基本的な方法について理解して説明できる

A：人格理論の特徴やアセスメントの基本的な方法についてほとんど理解できている

B：人格理論の特徴やアセスメントの基本的な方法について間違いはあるものの理解している

C：人格理論の特徴やアセスメントの基本的な方法について部分的に理解している

D：Cに達していない

教科書：

なし

参考文献：

西川・大石 編 『人格発達心理学』 ナカニシヤ出版 2,520円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60301	心理学研究法	3	2	芳賀康朗

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
実験, 調査, 検査, 観察, データ分析, 論文作成	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

直接観察できない心理現象を科学的に研究するには、それ相応の研究方法を理解・習得する必要がある。この授業では、そうした心理学研究法の基本過程を理解し、独力で研究を進める力を身につけることを目的とする。心理学基礎実習とあわせて受講すること。

授業の概要：

心理学研究法の種類を概説し、卒業論文作成を見据えた研究過程を順を追って解説していく。

授業の計画：

- 第1回 心理学研究の目的
- 第2回 実験研究
- 第3回 調査研究
- 第4回 検査法
- 第5回 先行研究からの情報収集①
- 第7回 先行研究からの情報収集②
- 第8回 研究計画の立案
- 第9回 研究の実施とデータ収集
- 第10回 データ分析と心理統計
- 第11回 論文・報告書の作成（論文の構成）
- 第12回 論文・報告書の作成（文章表現）
- 第13回 論文・報告書の作成（図表の作成）
- 第14回 心理学研究における倫理的配慮
- 第15回 まとめ

授業方法：

配布資料の内容に沿って進めていく。内容と関連した映像資料も補助的に用いる。授業内容と関連した課題の提出を求めることもある。授業の進行を妨げる行為（私語や飲食）はもちろん、授業開始 20 分以降の遅刻は厳禁とする。

達成目標：

自らの興味・関心に基づき研究テーマを設定し、研究遂行に必要な基本的な作業を独力で行えるようになることを目指す。

評価方法：

出席回数の基準（全授業回数の3分の2以上の出席）をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。

教科書：

なし

参考文献：

- 大山ら 共著 『コンパクト新心理学ライブラリ 12 心理学研究法』サイエンス社 2,310 円
- 高野・岡 共著 『心理学研究法 心を見つめる科学のまなざし』有斐閣 2,205 円
- 都筑学著 『心理学論文の書き方 おいしい論文のレシピ』有斐閣 1,890 円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C 61301	心理学文献講読	3	2	坂本真也

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理学専門用語（英語）、ディスカッション、心理学研究論文	コミュニケーション力 分析・総合の思考力と判断力 問題解決力

授業のテーマ：

心理学の文献を通して、最新の心理学の知見を学ぶと共に、大学院受験を視野に入れた英文和訳も行う。また、テーマに応じて心理学の研究論文を取り上げ、ディスカッションを行い、心理学の研究方法やテーマなどの知見を深めていく。

授業の概要：

心理学のトピックに関して、文献を講読していく中で専門用語とその英語を理解できるようにしたい。また、前半・後半テーマからディスカッションでは、研究論文を取り上げ専門分野の理解を深めていけるようにしたい。

授業の計画：

- 第1回 心理学の特徴
- 第2回 生物学的心理学
- 第3回 心理発達Ⅰ
- 第4回 心理発達Ⅱ
- 第5回 感覚と知覚
- 第6回 学習と条件づけ
- 第7回 動機づけ
- 第8回 ディスカッションⅠ
- 第9回 心理学的障害
- 第10回 異常と正常
- 第11回 発達的問題
- 第12回 心理療法のアプローチⅠ
- 第13回 心理療法のアプローチⅡ
- 第14回 社会的影響
- 第15回 ディスカッションⅡ

授業方法：

配布プリントに沿った解説と課題・ディスカッションを中心に進めていく。授業外の課題（宿題）を課すこともある。

達成目標：

心理学の様々な領域の専門用語とその英語を理解し、心理学の専門分野の特徴を把握できることを目指す。

評価方法：

- 出席回数基準をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。
- S：専門用語とその英語を理解し、専門分野について要約して説明できる
 - A：専門用語とその英語を理解し、ある程度専門分野について要約して説明できる
 - B：専門用語とその英語をある程度理解し、専門分野について要約して説明できる
 - C：専門用語とその英語を部分的に理解し、専門分野について説明できる
 - D：Cに達していない

教科書：

なし

参考文献：

内田一成 監訳 『ヒルガードの心理学 第15版』 金剛出版 23,100円
Smith,E.E et al *Atkinson & Hilgard's Introduction to Psychology* Wadsworth Pub Co 19,232円

実験・実習・教材費：

なし

準備物：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C61601	発達心理学	3	2	坪井裕子

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
発達 子ども 乳児期 幼児期 学童期	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, 価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ：

発達心理学では、人間の一生を通じて心のはたらきや内容がいかに変化していくのかを学びます。さらに、心理臨床の事例を提示して、発達に必要な援助についても学習していきます。

授業の概要：

前期は乳幼児期から学童期にいたる発達の基礎的な事柄を学びます。

授業の計画：

- 1 オリエンテーション：発達心理学とは
- 2 発達の基礎（1）ヒトの発達・発達の特徴
- 3 発達の基礎（2）初期経験・発達段階
- 4 乳児期の特徴（1）身体と運動の発達
- 5 乳児期の特徴（2）認知・思考の発達
- 6 幼児期の特徴（1）人格の発達
- 7 幼児期の特徴（2）愛着とは
- 8 幼児期の課題（3）子どもの虐待
- 9 学童期の特徴（1）身体と運動の発達
- 10 学童期の特徴（2）認知・思考の発達
- 11 学童期の特徴（3）人格の発達
- 12 乳児期の心理臨床
- 13 学童期の心理臨床
- 14 子どものセラピー
- 15 まとめ

授業方法：

基本的には講義を中心に行います。必要に応じて、視聴覚教材を用います。

達成目標：

発達上の変化の大きい幼児期・児童期から青年期に至る年齢段階を中心として、様々な角度から発達についての基本的な知識を習得し理解を深めることを目標とします。

評価方法：

期末試験（100%）で評価します。

- 基本的な知識のみならず様々な角度から発達について十分に理解している・・・S
- 基本的な知識のみならず発達についてかなり理解している・・・A
- 基本的な知識は習得しているが発達についての理解はやや不十分・・・B
- 基本的な最低限の知識は習得している・・・C
- Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

岩川 淳他著「子どもの発達臨床心理」（昭和堂／2,400円＋税）

参考文献：

授業の中で提示します。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C62001	精神分析学	3	2	三宅朝子

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
精神分析、臨床実践、対象関係、物語	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

精神分析の本質に触れることで、より深い人間のこころの世界を理解する。

授業の概要：

現代の精神分析学の根幹を築いた代表的な分析家たちとその理論（特に対象関係論を中心に）を取り上げ、その基礎的な理論や概念の理解を目指す。できるだけ平易な日常的な事象、文学作品、アニメなどを通して解説を進める。さらに、文化、芸術や臨床実践の紹介を通してその理解を深める。

授業の計画：

- ①精神分析とは
- ②フロイトから始まる精神分析学の展開①
- ③フロイトから始まる精神分析学の展開②
- ④クラインからの対象関係論の系譜①
- ⑤クラインからの対象関係論の系譜②
- ⑥源氏物語をエディプスで読み解く
- ⑦「千と千尋の神隠し」と内的対象関係
- ⑧ウィニコットとマザーグース
- ⑨アニメ「つみきのいえ」と精神分析的過程
- ⑩精神分析と物語
- ⑪小テスト
- ⑫臨床実践①
- ⑬臨床実践②
- ⑭臨床実践③
- ⑮総まとめ

授業方法：

基本的には講義形式で進める。様々な概念や理論をできるだけ自分自身に引きつけて熟考できるように、『自ら考える』ことを促したい。教科書の事例についての感想や意見を求める。

達成目標：

精神分析への基礎的な理解がなされ、人間理解に役立つ思考能力を育む。

評価方法：

授業の取り組み・発言（20%程度）、小テスト（30%程度）、レポート（50%程度）
 理論や概念の基礎的な理解をより深め、熟考された独自の考えを示すことができる……S
 理論や概念の基礎的な理解をより深め、それをもとに自らの考えを示すことができる…A
 理論や概念の基礎的な理解とともに自らの考えを示すことができる……………B
 理論や概念の基礎的なアウトラインを理解している……………C
 Cのレベルに到達していない……………D

教科書：

「物語がつむぐ心理臨床」三宅朝子著 遠見書房

参考文献：

授業内で適宜紹介する

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C62702	心理学演習	3	4	高橋昇

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理臨床学、心理アセスメント、表現療法、夢分析	問題解決力、コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

臨床の現場は近年大きく広がっており、医療、教育、産業、司法、開業分野でもさらに細分化して発展してきています。しかし、根本的な心理臨床に対する「構え」は共通するものがあり、個々の技法を越える人とのかかわり方は、非常に重要なものであるといえましょう。それらをもとに、心理アセスメントとそれに繋がる技法として表現療法と夢の分析に歩を進めていきましょう。そして後期には、自分で考えてまとめる力を身につけるために問題意識を持ち、関心のある臨床心理学のテーマに臨んでいただこうと考えています。

授業の概要：

前期は人が生きることから始め、病を抱えている者にどのようにかかわることができるのか考えていきます。そのような人を理解する手段として心理アセスメントの概説と体験をし、かかわるための技法として表現療法を紹介していきます。後期にはテーマを各自考えてもらい、討論しながら卒業論文に繋がるようなレポートにまとめることを目標にします。

授業の計画：

<前期>	<後期>
1. オリエンテーション	1. オリエンテーション
2. 「病」を抱えた人について	2. テーマの決定と方向性
4. かかわる構えについて	3～6. レポートによる経過報告
5～6. 心理アセスメントについて	7. 報告書作成について
7～8. 表現療法と夢について	8～11. プレゼンテーション
9～14. 作品に表れる人格傾向	12～14. 卒論に向けてのテーマ選択
15. まとめ	15. まとめ

授業方法：

前期は講義形式から始め、その時々のテーマについて討論していきます。資料はその都度担当教員が用意します。アセスメントについては実習形式になるでしょう。後期は研究テーマを考え、文献探索や調査をしたり、グループ討議をすることが中心になります。

達成目標：

心理的な課題を抱えた人に対する態度から技法を学び、卒業論文に向けて問題意識絵を持つこと、思考力を身につけて言語表現することを学び、創造性を養うことを目標とします。

評価方法：

出席状況（50%）および受講態度（30%）とレポート（20%）によって総合的に評価します。

教科書：

なし

参考文献：

授業中に紹介します。

実験・実習・教材費：

1,000円（コピー、配布資料代）

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
C62703	心理学演習	3	4	坪井裕子

期間	曜日	時限	備考：3年次生用
通年	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 心理 質問紙 箱庭	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, 社交性

授業のテーマ：

教育や子どもの問題に関する興味のあるテーマを選択し、論文検索と講読、簡単な質問紙調査を行うことにより、学習を深めるとともに、研究方法を体得することを目的とします。また順次、発表と討議を行い、自分の考えを言語化して伝え、他者の考えを理解する力を養うことをねらいとします。

授業の概要：

前半は興味のあるテーマを選択して、質問紙調査の実際を学びます。質問紙実習終了後は、箱庭実習と各自の卒業論文に向けた準備を始めます。

授業の計画：

<前期>

- 1 オリエンテーション・演習計画とグループ分け
- 2～5 調査テーマの決定・文献の収集・講読
- 6～8 調査目的の明確化・研究仮説の設定
- 9 調査目的についてグループごとの発表と検討
- 10～13 質問紙の作成（調査項目・尺度の作成）
- 14～15 調査の実施

<後期>

- 1～2 データの整理と分析
 - (a) データのコーディングと入力
 - (b) データの集計と分析
 - (c) 分析結果の整理・考察
- 3～4 調査報告書の作成（研究のまとめ方・報告書作成の仕方）
- 5 研究成果のプレゼンテーション（グループごとの発表・討論）
- 6～8 箱庭実習
- 9～15 卒論に向けて（各自が興味のあるテーマをとりあげ、文献検索・論文講読・レジュメ作成を行い、順番に発表・討議します）

授業方法：

演習および実習方式で行います。質問紙調査はグループで行います。

達成目標：

教育や子どもに関する問題を心理学の研究方法により理解し、文章化していく作業を体験的に学ぶことを目標とします。

評価方法：

レポート（100％）により評価します。

- 基本的な心理学研究法の知識のみならず課題についての考えを十分に理解している・・・S
 基本的な心理学研究法の知識のみならず課題についてかなり理解している・・・A
 基本的な心理学研究法の知識は習得しているが課題についての理解はやや不十分・・・B
 心理学研究法について基本的な最低限の知識は習得している・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

小塩真司・西口利文編「質問紙調査の手順」 ナカニシヤ出版（2,200円＋税）

参考文献：

授業の中で提示します。

実験・実習・教材費：

1,000円 資料代およびコピー代

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C62704	心理学演習	3	4	三後美紀

期間	曜日	時限	備考：3年次生用
通年	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理 人間関係 研究法	コミュニケーション力 分析・総合の思考力と判断力 社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

社会と個人の相互作用から生じているさまざまな心の現象に着目しながら、各自の学問的関心をより明確にしていき、心理学研究に高めます。

授業の概要：

前期は心理学的研究法について理解を深め、同時に文献講読やディスカッションを通して各自の研究テーマを明確にしていきます。また、質問紙調査による研究を実践形式で学び、卒業論文作成のための基礎力を身につけます。（心理学実験法・心理学調査法を履修していることが望ましい。）

授業の計画：

<前期>

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回～第4回 心理学の研究方法（質問紙法、面接法を中心に）
- 第5回～第10回 文献講読とディスカッション
- 第11回～第15回 質問紙調査の手順

<後期>

- 第16回～第20回 質問紙調査の実施と分析
- 第21回～第24回 考察と研究結果の発表
- 第25回～第30回 卒論テーマについての発表

授業方法：

人の心の状態について各自が関心を持っている事象をとりあげて発表し、受講生との議論を通して幅広い観点から心理学研究に高めるための検討を行います。さらに、質問紙調査を実践的に学びます。

達成目標：

各自の問題意識を心理学的な視点から捉え直し、その問題を追求するための具体的な研究法を身につけて、卒業論文を作成するための準備をします。

評価方法：

授業への取り組み（およそ70%）と発表内容（およそ30%）により総合的に評価します。

教科書：

小塩真司・西口利文 編 『質問紙調査の手順』 ナカニシヤ出版（2,200円＋税）

参考文献：

小塩真司 『研究事例で学ぶSPSSとAmosによる心理・調査データ解析』 東京図書（2,800円＋税）

実験・実習・教材費：

1,000円（資料代および配布資料複写代）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D00301	比較日本文化論特殊講義 I A (経験と言葉)	3・4	2	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考:
前期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
宗教建造物、場という問題、宗教経験と場	分析、総合の思考力と判断力、価値判断力 (意思決定力)、美的感受性

授業のテーマ:

日本の文化と思想をめぐる諸問題について、特に経験と言葉という視点から、比較文化論的、比較思想論的考察を行なう。講義は隔年で継続発展している。

授業の概要:

日本の神社には、一定の年限を定めて社殿を造替し御神体を奉遷する式年遷宮という制度があり、今年、伊勢神宮と出雲大社の両方において、この式年遷宮が行なわれる。この式年遷宮を話の発端として、宗教経験と場という問題について考える。講義の内容は、前期Aと後期Bと関連しているので、通年でA Bの両方を受講することをすすめる。また、特殊講義は、講義担当者のその時点での研究成果を最も反映するものなので、下記授業計画に一部変更が生じる場合もある。

授業の計画:

- ① 導入講義
- ② 宗教建造物 (1)
- ③ 宗教建造物 (2)
- ④ 式年遷宮 (1)
- ⑤ 式年遷宮 (2)
- ⑥ 宗教経験と祭祀 (1)
- ⑦ 宗教経験と祭祀 (2)
- ⑧ 宗教経験と祭祀 (3)
- ⑨ 場と建立 (1)
- ⑩ 場と建立 (2)
- ⑪ 場と建立 (3)
- ⑫ 宗教経験と場 (1)
- ⑬ 宗教経験と場 (2)
- ⑭ 経験と場
- ⑮ 前期まとめ

授業方法:

必要に応じて、参考資料をコピーで配布する。それぞれの思想の言葉に実際に触れることを通して、講義の理解を深めるとともに、その思想の言葉を手掛かりとして、受講者が自分自身で考える姿勢を身につけてほしい。

達成目標:

講義で考察される問題がどういう問題であるのかを理解し、それが受講者自身にとって、また現代にとってどういう意味をもつ問題であるか理解する。

評価方法:

- (a) 授業への取り組み、(b) 学期末試験、(c) レポートを同等の比重で重視する。
- (a) における真摯な態度を前提とした上で、(b) と (c) おいて、
- 講義の理解度が特に優れ、課題についてよく考えられていると認められた場合…………… S
- 講義の理解度に問題がないと認められた場合…………… A
- 理解度にやや不十分さはあっても、少なくとも要点は理解できていると認められた場合…………… B
- かなりの不十分さはあるにせよ、理解できている問題もいくつかはあると認められた場合…………… C
- C に達していない場合…………… D

教科書:

特になし。

参考文献:

参考文献は授業中に適宜紹介する。その中の一冊を、レポートの課題図書とすることもある。

実験・実習・教材費:

不要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D00401	比較日本文化論特殊講義 I B (経験と言葉)	3・4	2	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考:
後期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
経験、言葉、物語、国語	分析、総合の思考力と判断力、価値判断力 (意思決定力)、美的感受性

授業のテーマ:

日本の文化と思想をめぐる諸問題について、特に経験と言葉という視点から、比較文化論的、比較思想論的考察を行なう。講義は隔年で継続発展している。

授業の概要:

前期の講義「経験と場」の内容を前提として、「経験と言葉」という問題に考察を進める。今年度は、特に物語と日本語の場的性格について考察する。講義の内容は、前期Aと後期Bと関連しているので、通年でA Bの両方を受講することをすすめる。また、特殊講義は、講義担当者のその時点での研究成果を最も反映するものなので、下記授業計画に一部変更が生じる場合もある。

授業の計画:

- ①経験と場という問題と、言葉 (1)
- ②経験と場という問題と、言葉 (2)
- ③言語表現としての神話 (1)
- ④言語表現としての神話 (2)
- ⑤物語論 (1)
- ⑥物語論 (2)
- ⑦物語論 (3)
- ⑧物語論 (4)
- ⑨物語論 (5)
- ⑩物語論 (6)
- ⑪日本語の場的性格 (1)
- ⑫日本語の場的性格 (2)
- ⑬日本語の場的性格 (3)
- ⑭日本語の場的性格 (4)
- ⑮今年度の講義のまとめ

授業方法:

必要に応じて、参考資料をコピーで配布する。それぞれの思想の言葉に実際に触れることを通して、講義の理解を深めるとともに、その思想の言葉を手掛かりとして、受講者が自分自身で考える姿勢を身につけてほしい。

達成目標:

日本の思想や日本人が考えて来た問題がどういう問題であるのかを知り、それが受講者自身にとって、また現代にとってどういう意味をもつ問題であるか理解する。

評価方法:

- (a) 授業への取り組み、(b) 学期末試験、(c) レポートを同等の比重で重視する。
- (a) における真摯な態度を前提とした上で、(b) と (c) おいて、
- 講義の理解度が特に優れ、課題についてよく考えられていると認められた場合…………… S
- 講義の理解度に問題がないと認められた場合…………… A
- 理解度にやや不十分さはあっても、少なくとも要点は理解できていると認められた場合…………… B
- かなりの不十分さはあるにせよ、理解できている問題もいくつかはあると認められた場合…………… C
- Cに達していない場合…………… D

教科書:

特になし。

参考文献:

参考文献は授業中に適宜紹介する。その中の一冊を、レポートの課題図書とすることもある。

実験・実習・教材費:

不要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D00801	比較日本文化論演習	3・4	4	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本思想、比較思想的方法、思想の読解	分析、総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、美的感受性

授業のテーマ：

主に日本の思想を（必要に応じて外国語で書かれた思想も）原書で読むことを通して、日本文化を生み出して来た日本人のものの考え方や思想の特質を、比較思想的手法も駆使しつつ、熟考する。
履修者自身が、自分の関心を研究にまで仕上げる手助けをする。

授業の概要：

上質な日本思想論をテキストとし、熟読含味する作業を行なう。単に知識として知るだけでなく、担当教員の詳しい説明を手掛かりにして、履修者が自分自身で考える力を養う。履修者による研究発表と、それについての討議と指導。

授業の計画：

前期	後期
①日本思想論のテキストの解説。卒業論文に関する指導	①日本思想論のテキストの読解、解説、討議（11）
②日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（1）	②日本思想論のテキストの読解、解説、討議（12）
③日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（2）	③日本思想論のテキストの読解、解説、討議（13）
④日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（3）	④日本思想論のテキストの読解、解説、討議（14）
⑤日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（4）	⑤日本思想論のテキストの読解、解説、討議（15）
⑥日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（5）	⑥日本思想論のテキストの読解、解説、討議（16）
⑦卒業予定者による研究発表（1）	⑦日本思想論のテキストの読解、解説、討議（17）
⑧卒業予定者による研究発表（2）3年生に対する研究指導	⑧卒業予定者による研究発表（5）
⑨日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（6）	⑨卒業予定者による研究発表（6）
⑩日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（7）	⑩日本思想論のテキストの読解、解説、討議（18）
⑪日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（8）	⑪日本思想論のテキストの読解、解説、討議（19）
⑫日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（9）	⑫日本思想論のテキストの読解、解説、討議（20）
⑬日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（10）	⑬卒業予定者による研究発表（7）
⑭卒業予定者による研究発表（3）	⑭卒業予定者による研究発表（8）、履修者による研究発表
⑮卒業予定者による研究発表（4）	⑮日本思想論のテキストの読解、解説、討議（21）とまとめ
3年生に対する研究指導	

授業方法：

予告された箇所のテキストについて、前以て不明の箇所を調べ熟読した上で、授業に出席することを、履修者に義務づける。担当教員からの履修者に対する問いと、履修者からの応答の後、担当教員が詳しい解説を行なう。また、卒業予定者と履修者に対する研究指導も、随時行なう。

達成目標：

熟読含味理解という作業をおろそかにしないために、進度は遅々としているが、深く考えられた思想が表現された文章をできるかぎり理解するように努める。日本の文化や思想、歴史等に対する履修者の関心を、研究といえる水準にまで高める能力を養う。

評価方法：

下準備した上での出席、発表。討議への積極的な参加。これらを総合的に評価する。これらの諸点のいずれかにおいて、特に卓抜であると認められた場合……………S
優れていると認められた場合……………A
やや欠けるころはあるが、ある程度の努力はしたと認められた場合……………B
やや欠けるころもあり、努力する姿勢がもっと必要な場合……………C
Cに達しない場合……………D

教科書：

予めこちらで把握できる履修者に関しては、年度初めまでに事前に通知する。新たな参加者に対しては、初回に知らせる。

参考文献：

授業時に適宜紹介する。

実習・実験・教材費：

不要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D01101	日本の言語と文学講義A	3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
近現代の文学、文学的文章、論理的文章	コミュニケーション力、美的感受性

授業のテーマ：

日本の近現代の文学を的確に読み取るための基礎的能力を会得する。

授業の概要：

新聞のコラム・中学校・高等学校の国語の教科書に載る近現代の文学教材を対象として講義する。

授業の計画：

- 1 はじめに 授業の進め方
- 2 日本語表現の基礎 1
- 3 日本語表現の基礎 2
- 4 コラムを読む 1
- 5 コラムを読む 2
- 6 コラムを読む 3
- 7 1から6までのまとめ
- 8 文学的文章を読む 1
- 9 文学的文章を読む 2
- 10 文学的文章を読む 3
- 11 文学的文章を読む 4
- 12 8から11までのまとめ
- 13 論理的文章を読む
- 14 論理的文章を読む
- 15 まとめ

授業方法：

講義形式を基本とするが、適宜対話形式・発表形式を取り入れる。
教科書の他プリント資料を配布する。

達成目標：

近現代の文学作品を正確に読み取ることができる。

評価方法：

定期試験により評価する。
 近現代の文学についてたいへんよく理解している…………… S
 近現代の文学についてよく理解している…………… A
 近現代の文学について理解している…………… B
 近現代の文学の基礎的事項について理解している…………… C

教科書：

授業には必ず国語辞典（書籍・電子辞書）を持参すること。

参考文献：

授業時に適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D01201	日本の言語と文学講義B	3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
万葉集、和歌、和歌の修辞、国文学史（日本文学史）	コミュニケーション力、美的感受性

授業のテーマ：

日本の文学伝統の形成過程を知る。

授業の概要：

上代から中古にいたるまでの、中学校・高等学校国語の古典で取り上げられる作品を中心として、文学史的事項と作品を理解する。

授業の計画：

- 1 概説 1 歴史的事項の確認
- 2 概説 2 国文学・国文学史の基礎
- 3 『万葉集』 1
- 4 『万葉集』 2
- 5 和歌の修辞
- 6 『古今和歌集』
- 7 1～6のまとめ
- 8 『伊勢物語』 1
- 9 『伊勢物語』 2
- 10 『源氏物語』 1
- 11 『源氏物語』 2
- 12 8～11のまとめ
- 13 『土佐日記』
- 14 『枕草子』
- 15 まとめ

授業方法：

講義形式を基本とするが、適宜対話形式、発表形式を取り入れる。教科書その他プリント資料を配布する。

達成目標：

『万葉集』および授業で取り上げた古典文学作品についての基礎的な知識を習得する

評価方法：

試験により評価する。
 レポートの提出遅延は減点とする。
 日本の文学史についてたいへんよく理解している……………S
 日本の文学史についてよく理解している……………A
 日本の文学史について理解している……………B
 日本の文学史についてだいたい理解している……………C

教科書：

『新総合図説国語』東京書籍（税込 880円）

参考文献：

坂本信幸 毛利正守 編『万葉事始』和泉書院（税込 720円）
 神野志隆光 編『万葉集観賞事典』講談社学術文庫（税込 1,200円）
 その他は授業時に適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D01301	日本の言語と文学特殊講義 I A (上代文学と日本語の形成)	3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考:
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
万葉集、和歌、和歌の修辞	コミュニケーション力、美的感受性

授業のテーマ:

漢字使用による文学の形成の意義について考える。

授業の概要:

我が国の七、八世紀、いわゆる上代は、人々が口伝による言語生活から脱却し、文字によって言葉の定着させる習慣を持ち始めた時代である。平仮名や片仮名のいまだ成立していないこの時期、中国からもたらされた漢字によってのみ日本語の文をつづり、文学作品をうみだすということは、どのような営みであるのか、そのさまざまなあり方について上代を中心として考える。

授業の計画:

- 1 はじめに 授業の進め方・参考文献などの説明
- 2 『万葉集』についての概説 1
- 3 『万葉集』についての概説 2
- 4 『万葉集』の基礎知識のまとめ
- 5 『万葉集』第一期の歌人と作品 1
- 6 『万葉集』第一期の歌人と作品 2
- 7 『万葉集』第二期の歌人と作品 1
- 8 『万葉集』第二期の歌人と作品 2
- 9 『万葉集』第一期・第二期の歌人と作品のまとめ
- 11 『万葉集』第三期の歌人と作品 1
- 12 『万葉集』第三期の歌人と作品 2
- 13 『万葉集』第四期の歌人と作品 1
- 14 『万葉集』第四期の歌人と作品 2
- 15 まとめ

授業方法:

講義形式を基本とするが、適宜対話形式を取り入れる。教科書の他プリント資料を配布する。

達成目標:

『万葉集』および和歌の表現技法についての基礎的知識を習得する。

評価方法:

定期試験 (70%) + レポート (30%) により評価する。
 レポートの提出遅延は、減点とする。
 万葉集および古代和歌についてたいへんよく理解している……………S
 万葉集および古代和歌についてよく理解している……………A
 万葉集および古代和歌について理解している……………B
 万葉集および古代和歌の基礎的事項を理解している……………C

教科書:

森淳司 編『訳文 万葉集』笠間書院 (税込 1,890 円)

参考文献:

神野志隆光 編『万葉集鑑賞辞典』講談社学術文庫 (1,200 円 + 税)
 『新総合図説国語』東京書籍 (880 円)
 その他は授業時に適宜紹介する。

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D01401	日本の言語と文学特殊講義 I B (上代文学と日本語の形成)	3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考:
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語の歴史、日本語の文法	コミュニケーション力

授業のテーマ:

漢字使用による文学の形成の意義について考える。

授業の概要:

我が国の七、八世紀、いわゆる上代以後近代に至るまでの日本語の歴史的な流れを知る。

授業の計画:

- 1 概説 1
- 2 概説 2
- 3 言語学的な準備
- 4 古代の日本語 1
- 5 古代の日本語 2
- 6 1から5までのまとめ
- 7 古代・中世の文法 1
- 8 古代・中世の文法 2
- 9 中世の話し言葉 1
- 10 中世の話し言葉 2
- 11 7～10までのまとめ
- 12 中世・近世の話し言葉 1
- 13 中世・近世の話し言葉 2
- 14 近代の話し言葉
- 15 まとめ

授業方法:

講義形式を基本とするが、適宜対話形式、発表形式を取り入れる。

達成目標:

日本語の歴史についての基礎的な知識を修得する。

評価方法:

定期試験 (70%) + 受講姿勢 (30%) などにより総合的に評価する。
 上代から近代までの日本語の歴史についてたいへんよく理解している……………S
 上代から近代までの日本語の歴史についてよく理解している……………A
 上代から近代までの日本語の歴史について理解している……………B
 上代から近代までの日本語の歴史の基礎的事項を理解している……………C

教科書:

野村 剛史『話し言葉の日本史』(歴史文化ライブラリー 311) 吉川弘文館 (1,700円+税)

参考文献:

適宜授業で指示する。
 『新総合 図説国語』東京書籍 (880円)
 その他は授業時に適宜紹介する。

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
D01601	日本の言語と文学特殊講義ⅡB（和歌と日本文化）	3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
古今和歌集、和歌、和歌の修辞	美的感受性、コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

最初の勅撰和歌集『古今和歌集』以来、季節の風物は和歌の中心的な主題とされた。この講義では、『古今和歌集』歌を丁寧に読むことを通して、日本文化の基底にある季節観を知るとともに、和歌を理解するための和歌の修辞・文法的知識を習得する。

授業の概要：

『古今和歌集』を中心とした和歌の表現技法を学ぶ。
和歌における季節の表現を学ぶ。

授業の計画：

- 1 はじめに 授業の進め方・参考文献の紹介・歴史的事項の確認
- 2 概説 1 『古今和歌集』について
- 3 概説 2 和歌の修辞
- 4 『萬葉集』から『古今和歌集』へ
- 5 『古今和歌集』 1
- 6 『古今和歌集』 2
- 7 『古今和歌集』 3
- 8 『古今和歌集』 4
- 9 5から8までのまとめ
- 10 『古今和歌集』 5
- 11 『古今和歌集』 6
- 12 『古今和歌集』 7
- 13 『古今和歌集』 8
- 14 10から13までのまとめ
- 15 まとめ

授業方法：

前半は講義形式、後半は担当する歌を決めて発表形式とする。

達成目標：

『古今和歌集』などの文学史的な知識を習得する。
『古今和歌集』の歌を理解するための和歌の修辞・文法的知識を習得する。

評価方法：

定期試験による。
『古今和歌集』についてたいへんよく理解している……………S
『古今和歌集』についてよく理解している……………A
『古今和歌集』について理解している……………B
『古今和歌集』についての基本的事項を理解している……………C

教科書：

高田祐彦 訳注『新版 古今和歌集』角川文庫ソフィア（1,124円＋税）
『新総合 図説国語』東京書籍（定価880円）
※授業時には必ず古語辞典（書籍）を持参すること（電子辞書は不可）。

参考文献：

朝比奈英夫他 編『古典入門』清文堂出版（1,700円＋税）
その他は、授業のなかで適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D01801	日本の言語と文学演習	3・4	4	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本文学、問題の発見、問題の解決、批判的思考、プレゼンテーション	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

授業のテーマ：

日本の文学作品の読解を通して、日本の言語と文学についての基本的な諸問題に広く触れる。そのうえで、自ら問題点を見つけ、その問題点について調査・考察したことを口述・記述する力を養うことを目指す。

授業の概要：

はじめに、講義形式で発表方法・資料の作成の仕方を学ぶ。以後は、各自の選んだテーマについて発表と質疑応答を行う。あわせて、卒業回生の卒業論文のテーマについての発表と質疑応答を行う。前期末・後期末には、発表内容についてのレポートを提出する。

授業の計画：

(前期)

- 1 はじめに
- 2～3 論文の書き方
- 4～14 先行論文を読む・発表と質疑応答
- 15 まとめ

(後期)

- 1 はじめに
- 2～14 先行論文を読む・発表と質疑応答
- 15 まとめ

授業方法：

前期・後期の最初の数回は、講義形式で行う。その後は演習形式で進める。毎回1～2名の発表者が資料を用意して発表し、その内容について全員で考え討議する。

達成目標：

文学作品を正確に読むことができる。そのうえで、その作品に対する研究論文を批判的に読み、問題点を見つける。そして、調査・考察により問題を解決し、その結果を口述・記述する力を身につける。

評価方法：

発表 (30%) + 質疑応答 (30%) + レポート (40%)

教科書：

石原千秋『大学生の論文執筆法』ちくま新書 740円+税

参考文献：

授業中に適宜指示する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D02301	日本教育史特殊講義 I A (近世・近代社会と学校教育)	3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考:
前期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
近世、教育（人づくり）、社会	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意志決定力）

授業のテーマ：

18世紀末からのウエスタン・インパクトと国内支配体制の混乱に対して、我国の武士階級が行った対応は、人材育成という抜本的改革であった。そして、そこで養成された人材は、結果的に「明治日本」発展の中心的役割を果たすこととなった。

そこで、本講義では、近世、とりわけ、幕末という時代を理解させるため、幕末期の天皇と幕府の関係を中心として、その社会を考える。そして、とりわけ、幕末期において、特異な人づくりを行ったと思われる、長州藩及び薩摩藩における学校教育（主に藩校教育）などを考える。

授業の概要：

18世紀終わりから、19世紀初めに在位された光格天皇は、ある意味では、我国の幕末という時代を準備された天皇であった。そこで、まず、天皇と幕府との関係を中心として、幕末という時代を理解させる。そして、その中で諸問題に対し、長州、薩摩藩がどのような人づくりを行ったかを理解させる。

授業の計画：

1. 幕末期の政治と教育 —政治動向①光格天皇の誕生①—
2. 幕末期の政治と教育 —政治動向①光格天皇の誕生②—
3. 幕末期の政治と教育 —政治動向②天明の大飢饉と天皇①—
4. 幕末期の政治と教育 —政治動向②天明の大飢饉と天皇②—
5. 幕末期の政治と教育 —政治動向③光格天皇の君主意識①—
6. 幕末期の政治と教育 —政治動向③光格天皇の君主意識②—
7. 幕末期の政治と教育 —政治動向④対外的危機と朝廷①—
8. 幕末期の政治と教育 —政治動向④対外的危機と朝廷②—
9. 幕末期の政治と教育 —政治動向⑤大政委任論の成立①—
10. 幕末期の政治と教育 —政治動向⑤大政委任論の成立②—
11. 幕末期の政治と教育 —政治動向⑥天皇号の再興①—
12. 幕末期の政治と教育 —政治動向⑥天皇号の再興②—
13. 幕末期の教育現状—長州藩を中心として—
14. 幕末期の教育現状—薩摩藩を中心として—
15. まとめ

授業方法：

講義形式を中心として、適時、史料などを講読する。

達成目標：

幕末という時代を代表する史料を読み取り、また、その時代を理解できる能力を習得する。

評価方法：

試験（100%）により行う。試験には期末試験と小テストを含む。

教科書：

なし。史料は適時配布。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D02401	日本教育史特殊講義 I B (近世・近代社会と学校教育)	3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考:
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
近世、教育（人づくり）、社会	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意志決定力）

授業のテーマ：

18世紀末からのウエスタン・インパクトと国内支配体制の混乱に対して、我国の武士階級が行った対応は、人材育成という抜本的改革であった。そして、そこで養成された人材は、結果的に「明治日本」発展の中心的役割を果たすこととなった。

そこで、本講義では、天保期以降の政治・文化的背景を論じつつ、武士教育に焦点を絞り、藩校などの教育の実態及びその基底にあった精神的風土、教育観などを論じる。また、明治維新以降の学校教育についても考察する。

授業の概要：

寺子屋教育に関しては、できるだけ史料を中心として、具体的な教育実践を考察する。また、我国の近世を代表する私塾である、松下村塾及び咸宜園について、その成立の背景などにもふれる。そして、それが近代教育にどのような影響をもったのか否かを考えさせる。

授業の計画：

1. 幕末期の教育現状—寺子屋の教育①—
2. 幕末期の教育現状—寺子屋の教育②—
3. 幕末期の教育現状—寺子屋の教育③—
4. 幕末期の教育現状—寺子屋の教育④—
5. 幕末期の教育現状—寺子屋の教育⑤—
6. 幕末期の教育現状—私塾の教育①松下村塾①—
7. 幕末期の教育現状—私塾の教育①松下村塾②—
8. 幕末期の教育現状—私塾の教育①松下村塾③—
9. 幕末期の教育現状—私塾の教育①松下村塾④—
10. 幕末期の教育現状—私塾の教育—咸宜園①—
11. 幕末期の教育現状—私塾の教育—咸宜園②—
12. 幕末期の教育現状—私塾の教育—適塾—
13. 「学制」の制定と近代学校制度の整備①
14. 「学制」の制定と近代学校制度の整備②
15. まとめ

授業方法：

講義形式を中心として、適時、史料などを講読する。

達成目標：

具体的な史料が読み取れ、また、近世、近代の連続性、非連続性などを理解できる能力を習得する。

評価方法：

試験（100％）により行う。試験には期末試験と小テストを含む。

教科書：

なし。史料は適時配布。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D02801	日本教育史演習	3・4	4	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
古文書、日本漢文、くずし字	コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

歴史学研究の基本である日本漢文、古文書解読の基礎的知識を修得し、初歩的な古文書などを読めるようにする。

授業の概要：

基礎的な史料、古文書を輪番で解読し、日本漢文、古文書解読の基礎的な知識を修得する。また、内容について解説し、グループ討議などを行う。

授業の計画：

- 1 吉田松陰
- 2 西郷隆盛
- 3 坂本龍馬
- 4 橋本左内
- 5 石田梅岩
- 6 上杉鷹山
- 7 会沢正志斎
- 8 『旧幕府』①
- 9 『旧幕府』②
- 10 『旧幕府』③
- 11 『旧幕府』④
- 12 『旧幕府』⑤
- 13 『旧幕府』⑥
- 14 『旧幕府』⑦
- 15 『旧幕府』⑧
- 16 『日本外史』①
- 17 『日本外史』②
- 18 『日本外史』③
- 19 『日本外史』④
- 20 『日本外史』⑤
- 21 古文書 仮名読みの基礎①
- 22 古文書 仮名読みの基礎②
- 23 古文書 仮名読みの基礎③
- 24 古文書 候文の基礎①
- 25 古文書 候文の基礎②
- 26 古文書 候文の基礎③
- 27 古文書 基礎史料解読①
- 28 古文書 基礎史料解読②
- 29 古文書 基礎史料解読③
- 30 古文書 基礎史料解読④

授業方法：

最初は講義形式を中心とする。学生の進捗状況に応じて、輪読形式とする。

達成目標：

くずし字辞典を使い、史料が読め、解釈できることを目標とする。

評価方法：

試験（100％）により行う。試験には期末試験と小テストを含む。

教科書：

なし

参考文献：

折々に紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D04301	中国社会文化論特殊講義 I A (中国の前近代)	3・4	2	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考:
前期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
理解、尊重、読み書き	グローバルな視野

授業のテーマ:

グローバルな視野の育成をテーマとして、近代以前の中国を振り返るもので、具体的には清朝史を取り上げる。

授業の概要:

清王朝の時代、政治は常に皇帝一人の権力の中にあり、その個人生活も歴史の展開に大きく関わったと考えられるため、皇帝たちの動静にも注目しつつ概観していく。また、この時代の文化は現代のそれとも深いつながりがあり、様々な知識を持つことは中国を見る際の参考ともなる。

授業の計画:

1. はじめに
2. 清朝の成立
3. 亡命政権の末路
4. 鄭成功
5. 漢化政策と反発
6. 康熙帝の功業
7. 独裁君主の時代
8. 乾隆帝の「十全の武功」
9. 文明の主宰者
10. 中国文明の西漸
11. 退廃の前兆
12. アヘンの流入と銀の流出
13. アヘン戦争から太平天国の乱まで
14. 西太后と垂簾政治
15. まとめ

授業方法:

講義形式

達成目標:

グローバルな視野のうち、特に基礎的知識の理解・尊重の能力を習得する。

評価方法:

試験により行う。

S…理論を駆使して完成度の高い独自のグローバルな視野を持つことができる

A…理論を部分的に活用してグローバルな視野を持つことができる

B…理論を使いながら出来事の分析ができる

C…理論や用語を説明できる

D…Cのレベルに達していない

教科書:

特に定めない

参考文献:

必要に応じて提示

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D04401	中国社会文化論特殊講義 I B (中国の前近代)	3・4	2	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考:
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
理解、尊重、読み書き	グローバルな視野

授業のテーマ:

グローバルな視野の育成をテーマとして、中国を取り上げる。

授業の概要:

中国の社会を知ることがを目的に、いわゆる近代へ移行する時期の歴史を振り返るもので、具体的には清朝末期から中華民国前期、1890年代半ばから1920年代半ばまでを取り上げる。

授業の計画:

1. はじめに
2. 日清戦争
3. 瓜分の危機
4. 変法・自強
5. 義和団戦争と辛丑和約
6. 光緒新政と近代国家建設
7. 知識人の「中国」と「近代」
8. 立憲君主制の模索
9. 集権と分権
10. 辛亥革命と中華民国の成立
11. 袁世凱政権の成立
12. 第一次世界大戦と対華二十一カ条要求
13. 1910年代の社会と経済
14. 社会主義の受容
15. まとめ

授業方法:

講義形式

達成目標:

グローバルな視野のうち、特に基礎的知識の理解・尊重の能力を習得する。

評価方法:

試験により行う。

- S…理論を駆使して完成度の高い独自のグローバルな視野を持つことができる
- A…理論を部分的に活用してグローバルな視野を持つことができる
- B…理論を使いながら出来事の分析ができる
- C…理論や用語を説明できる
- D…Cのレベルに達していない

教科書:

特に定めない

参考文献:

必要に応じて提示

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D04801	中国社会文化論演習	3・4	4	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
統合、決定、批判的思考	分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

分析・総合の思考力と判断力の育成をテーマとして、中国を取り上げる。それぞれの時代の社会・文化の特色を考える上で、政治をはじめとする諸制度の内容を把握することは重要である。しかし社会・文化を形づくってきたのは制度ではなく、その中で生きてきた個々人の活動である。そこで、この授業では正史・文集等に収められた列伝などを読み、個々人の生き方からそれらを考えていく。

授業の概要：

正史の列伝を中心に講読を進める予定だが、受講生の関心に応じて関係する文献も取り上げる。

授業の計画：

受講生の関心に応じて教科書を選定する。前年度は『三国志演義』を題材とし、以下の通りであった。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. はじめに | 2. 『三国志演義』の概要（1） |
| 3. 『三国志演義』の概要（2） | 4. 『三国志演義』の概要（3） |
| 5. 『三国志演義』の概要（4） | 6. 歴史と小説（1） |
| 7. 歴史と小説（2） | 8. 歴史と小説（3） |
| 9. 歴史と小説（4） | 10. 歴史から小説へ（1） |
| 11. 歴史から小説へ（2） | 12. 歴史から小説へ（3） |
| 13. 歴史から小説へ（4） | 14. 歴史から小説へ（5） |
| 15. まとめ（1） | |
| 16. 羅貫中の謎（1） | 17. 羅貫中の謎（2） |
| 18. 人物像の変遷（1） | 19. 人物像の変遷（2） |
| 20. 人物像の変遷（3） | 21. 人物像の変遷（4） |
| 20. 三国志外伝（1） | 23. 三国志外伝（2） |
| 24. 三国志外伝（3） | 25. 『三国志』の思想（1） |
| 26. 『三国志』の思想（2） | 27. 『三国志』の思想（3） |
| 28. 『三国志』の思想（4） | 29. 『三国志』の思想（5） |
| 30. まとめ（2） | |

授業方法：

演習形式。毎回担当者が報告し、全員で討議する。必要があれば担当者がレジュメを用意する。

達成目標：

分析・総合の思考力と判断力のうち、特に統合の能力を習得する。

評価方法：

発表（50%）と授業への取り組み（50%）により行う。
 理論を駆使して完成度の高い独自の統合の能力を持つことができる… S
 理論を部分的に活用して統合の能力を持つことができる…………… A
 理論を使いながら批判的に思考することができる…………… B
 理論や用語を説明できる…………… C
 Cのレベルに達していない…………… D

教科書：

未定。

参考文献：

必要に応じて提示。

実験・実習・教材費：

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C21301	文学の現在特殊講義 I A (フランス文学と近・現代の日本文学)	3・4	2	日比野雅彦
期間	曜日	時限	備考：	
前期	火	3		
授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力		
異文化理解、芸術鑑賞、マルチメディア		分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、美的感受性		

授業のテーマ：

フランス文学の中には日本の文学の影響を受けたものが少なからず存在する。19世紀末には浮世絵や仏像がフランスで高く評価され、『源氏物語』に描き出された世界はフランス近代の小説に大きな影響を与えた。一方、明治以降、日本の文学もイギリスやフランスの文学の影響を受け大きく変化した。日仏の文学が互いにどのように影響してきたのかについて時代とその背景をさぐる。

授業の概要：

フランスと日本の19世紀に社会がどのように変化し、文学の世界にどのような影響を与えてきたのかについていくつかの作品をとおして検証する。

授業の計画：

- (1) 19世紀の社会と文化 (その1)
- (2) 19世紀の社会と文化 (その2)
- (3) 小説について (その1)
- (4) 小説について (その2)
- (5) 新聞小説の世界 デュマ『三銃士』
- (6) 新聞小説の世界 デュマ『三銃士』
- (7) 黒岩涙香『鉄仮面』
- (8) 黒岩涙香『鉄仮面』
- (9) フランス語になった『我輩は猫である』
- (10) フランス語になった『我輩は猫である』
- (11) フランス語になった『我輩は猫である』
- (12) 日本語になった『星の王子様』
- (13) 日本語になった『星の王子様』
- (14) MANGA フランスの日本マンガ
- (15) MANGA フランスの日本マンガ

授業方法：

パワーポイントもしくはビデオを使用してすすめる。必要に応じてプリントを配布する。

達成目標：

世界の文学について概観できる基礎知識を獲得し、また、それを判断する能力を身につける。

評価方法：

- 授業への取り組み (20%程度) とレポートの内容 (80%) で評価する。
- S 文学作品について理論を駆使して完成度の高い内容のプレゼンテーションができる
 - A 上記内容についてプレゼンテーションができる
 - B 文学作品を鑑賞し、その感想を第三者にわかりやすく表現することができる
 - C 文学作品を鑑賞し、表現することができる
 - D Cのレベルに達していない

教科書：

プリントを配布

参考文献：

授業時に指示する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C21401	文学の現在特殊講義 I B (フランス文学と近・現代の日本文学)	3・4	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
異文化理解、芸術鑑賞、マルチメディア	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、美的感受性

授業のテーマ:

フランス文学の中には日本の文学の影響を受けたものが少なからず存在する。19世紀末には浮世絵や仏像がフランスで高く評価され、『源氏物語』に描き出された世界はフランス近代の小説に大きな影響を与えた。一方、明治以降、日本の文学もイギリスやフランスの文学の影響を受け大きく変化した。日仏の文学が互いにどのように影響してきたのかについて時代とその背景をさぐる。

授業の概要:

ブルーストの『失われた時を求めて』はフランスを代表する心理小説であるが、この小説はその長さからも平安時代の『源氏物語』と比較されることが多い。両者からそれぞれ代表的な場面を取り出し、比較検証す。

授業の計画:

- (1) ブルーストについて
- (2) フランス小説の伝統 (その1)
- (3) フランス小説の伝統 (その2)
- (4) 『失われた時を求めて』について (その1)
- (5) 『失われた時を求めて』について (その2)
- (6) 紫式部と『源氏物語』
- (7) 日本文学の中での『源氏物語』
- (8) アーサー・ウェイラーの『源氏物語』
- (9) 『源氏物語』のフランス語訳について
- (10) 心理小説としての『源氏物語』
- (11) 『源氏物語』の現代語訳
- (12) 『源氏物語』から生まれた作品
- (13) 日本の和歌とフランスの詩
- (14) 自然と文学
- (15) まとめ

授業方法:

パワーポイントもしくはビデオを使用してすすめる。必要に応じてプリントを配布する。

達成目標:

世界の文学について概観できる基礎知識を獲得し、また、それを判断する能力を身につける。

評価方法:

授業への取り組み (20%程度) とレポートの内容 (80%) で評価する。

- S 文学作品について理論を駆使して完成度の高い内容のプレゼンテーションができる
- A 上記内容についてプレゼンテーションができる
- B 文学作品を鑑賞し、その感想を第三者にわかりやすく表現することができる
- C 文学作品を鑑賞し、表現することができる
- D Cのレベルに達していない

教科書:

プリントを配布

参考文献:

授業時に指示する。

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C21801	文学の現在演習	3・4	4	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
文学、芸術鑑賞、分析、プレゼンテーション	分析・総合の思考力と判断力 グローバルな視野 美的感受性

授業のテーマ：

文学と社会との関係についての研究、文学作品そのもの研究などをする場合の基本的な方法を学び、論文作成のテクニックを学ぶ。

授業の概要：

文学研究の意味について考え、そのための様々な方法を実際に使いながら文学作品にアプローチします。2年間の演習をとおして卒業論文のテーマ、論文を書くためのテクニック学びます。

授業の計画：

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| (1) 文学研究とは？ | (15) 前期のまとめと中間報告 |
| (2) 文学とその時代との関係 | (16) プレゼンテーションの方法 (その1) |
| (3) 文学テキストを分析するには (その1) | (17) プレゼンテーションの方法 (その2) |
| (4) 文学テキストを分析するには (その2) | (18) プレゼンテーションの方法 (その3) |
| (5) 文学形式について (その1) 小説 | (19) プレゼンテーションの方法 (その4) |
| (6) 文学形式について (その2) 演劇 | (20) 研究成果の発表 (その1) |
| (7) 文学形式について (その3) 詩 | (21) 研究成果の発表 (その2) |
| (8) 文字を使わない文学について (その1) | (22) 研究成果の発表 (その3) |
| (9) 文字を使わない文学について (その2) | (23) 研究成果の発表 (その4) |
| (10) 作家と文学作品の関係 (その1) | (24) 卒業論文にむけて (その1) |
| (11) 作家と文学作品の関係 (その2) | (25) 卒業論文にむけて (その2) |
| (12) 作品分析の実践 (その1) | (26) 卒業論文にむけて (その3) |
| (13) 作品分析の実践 (その2) | (27) 作品分析の実践 (その4) |
| (14) 作品分析の実践 (その3) | (28) 作品分析の実践 (その5) |
| | (29) 作品分析の実践 (その6) |
| | (30) まとめと最終報告 |

授業方法：

プリントとして配布するテキストを読みながら問題点を取り出し、作品分析を実際に行ってみます。前期はおもに4年生が卒業論文を作成するために、後期は3年生が卒業論文のテーマを決める準備のために役立つ情報を提供しながらすすめます。

達成目標：

文学について概観できる知識を獲得し、また、それを判断する能力を身につける。

評価方法：

- 授業への取り組み (20%程度) とレポートの内容 (80%) で評価する。
- S 文学作品について理論を駆使して完成度の高い内容のプレゼンテーションができる
- A 上記内容についてプレゼンテーションができる
- B 文学作品を鑑賞し、その感想を第三者にわかりやすく表現することができる
- C 文学作品を鑑賞し、表現することができる
- D Cのレベルに達していない

教科書：

プリントを配布

参考文献：

授業時に指示する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C26301	英語コミュニケーション論特殊講義 I A (英語表現論)	3・4	2	岡良和

期間	曜日	時限	備考:
前期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
メタファー、レトリック、日・英語対照	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ:

日常的に使われる英語表現には比喩を基盤としたものが多くある。しかしながら、このメカニズムに気付く事はあまりないのが現状である。本授業では、英語の比喩の仕組みを知ることによって、英文を深く理解することと、比喩の発想を用いて自ら表現する力を要請する。

授業の概要:

英語に隠された比喩的発想に気付くことから始めて、日本語と英語の発想を比較する事を経て、表現力の養成へと進んでいく。

授業の計画:

- 1回 生活の中のメタファー
- 2回 メタファーと概念の体系性
- 3回 メタファーの含意
- 4回 方向付けのメタファー
- 5回 メタファーと文化の一貫性
- 6回 存在のメタファー
- 7回 擬人化とメタファー
- 8回 換喩とメタファー
- 9回 メタファー相互の一貫性
- 10回 さらなる例
- 11回 メタファーと概念構造
- 12回 メタファーと概念体系の基盤
- 13回 構造のメタファーの基盤
- 14回 因果関係の概念の基盤
- 15回 経験に一貫した構造を与える

授業方法:

教科書を使って予習していることを前提とし、質疑を中心に進めて行く。そして比喩的発想を活用した英文の作成を行う。

達成目標:

レトリックを使って効果的な表現ができること。

評価方法:

前期末の試験(60%程度)と授業への取り組み(40%程度)により行う。
 理論を駆使して完成度の高い独自のコミュニケーションができる・・・S
 理論を部分的に活用してコミュニケーションができる・・・A
 理論を使いながら談話の分析ができる・・・B
 理論や学術用語を説明できる・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書:

ジョージ・レイコフ他(著) 渡部 昇一他(訳)『レトリックと人生』大修館 2,415円

参考文献:

なし

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C26401	英語コミュニケーション論特殊講義 I B (英語表現論)	3・4	2	岡良和

期間	曜日	時限	備考:
後期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
メタファー、レトリック、日・英語対照	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ:

日常的に使われる英語表現には比喩を基盤としたものが多くある。しかしながら、このメカニズムに気付く事はあまりないのが現状である。本授業では、英語の比喩の仕組みを知ることによって、英文を深く理解することと、比喩の発想を用いて自ら表現する力を要請する。

授業の概要:

英語に隠された比喩的発想に気付くことから始めて、日本語と英語の発想を比較する事を経て、表現力の養成へと進んでいく。

授業の計画:

- 1回 メタファーによる一貫性
- 2回 メタファーの間の複雑な一貫性
- 3回 他の概念構造理論が導く結論
- 4回 メタファーによる定義と理解
- 5回 メタファーと形態の意味
- 6回 メタファーが創る新しい意味
- 7回 メタファーが創る新たな類似性
- 8回 メタファー、真実、行動
- 9回 メタファーと真実
- 10回 客観主義神話と主観主義神話
- 11回 西洋哲学と言語学における客観主義神話
- 12回 メタファーと客観主義の神話の限界
- 13回 主観主義神話の不適切さ
- 14回 経験主義者の見解
- 15回 メタファーと理解

授業方法:

教科書を使って予習していることを前提とし、質疑を中心に進めて行く。そして比喩的発想を活用した英文の作成を行う。

達成目標:

レトリックを使って効果的な表現ができること。

評価方法:

後期末の試験(60%程度)と授業への取り組み(40%程度)により行う。
 理論を駆使して完成度の高い独自のコミュニケーションができる・・・S
 理論を部分的に活用してコミュニケーションができる・・・A
 理論を使いながら談話の分析ができる・・・B
 理論や学術用語を説明できる・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書:

ジョージ・レイコフ他(著) 渡部 昇一他(訳)『レトリックと人生』大修館 2,415円

参考文献:

なし

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C26801	英語コミュニケーション論演習	3・4	4	岡良和

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
言語技術、言語の比較対照	コミュニケーション力、価値判断力（意思決定力）、 社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

欧米の言語教育で指導されている「言語技術」を日本語で身につけることで「翻訳できる日本語」の習得を目指す。
「言語技術」のルールに基づいて外国語を用いると、たとえ少ない語彙でもかなり相手にわかりやすくなる。外国語の習得とあわせて欧米式の「言語技術」を身につけることが役立つことを体得してもらう。

授業の概要：

3年生には卒業論文のテーマを見つけ、4年生には卒業論文に取り組む機会を与える。

授業の計画：

1・2回	言語感覚の違い	17・18回	かみ合った対話
3・4回	欧米の言語教育	19・20回	問答トレーニングの意味と目的
5・6回	「中間日本語」を身につける	21・22回	問答トレーニングの実践
7・8回	「あれ」の中身を認識する	23・24回	わかりやすい説明（描写）とは何か
9・10回	質問の内容を具体的に考える	25・26回	描写のレッスン
11・12回	5W1Hを明確にする	27・28回	説明のレッスン
13・14回	根拠を明確にする	29・30回	まとめ
15・16回	構文からものの考え方を知る		

授業方法：

テキストの担当箇所を受講生が報告した後で、全員で討議する。これに基づいて担当教員が解説を加える。

達成目標：

理論に沿ってコミュニケーションができる。

評価方法：

レポートにより行う。
理論を駆使して完成度の高い独自のコミュニケーションができる…S
理論を部分的に活用してコミュニケーションができる……………A
理論を使いながら談話の分析ができる……………B
理論や学術用語を説明できる……………C
Cのレベルに達していない……………D

教科書：

三森ゆりか 『外国語を身につけるための日本語レッスン』白水社 1,500円＋税
行方昭夫 『英語の発想がよくわかる表現 50』岩波ジュニア新書 740円＋税

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C42301	演劇と身体論特殊講義 I A (身体表現と舞台芸術)	3・4	2	森順子

期間	曜日	時限	備考:
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
感受性、芸術・学問の味わい、対話	コミュニケーション力、価値判断力(意思決定力)、美的感受性

授業のテーマ:

シェイクスピアの戯曲には人間関係の中で変化するところが言語を通して描かれている。言語的側面を重視し、作品の構成、人物の心理、テーマ等を考察することにより、シェイクスピアの演劇に見られる関係の中で揺れ動く人間のところを考察する。

授業の概要:

シェイクスピアの作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる段階に到達することを目指す。

授業の計画:

1. 概説
2. 『リチャード三世』 1幕
3. 『リチャード三世』 2幕
4. 『リチャード三世』 3幕
5. 『リチャード三世』 4幕
6. 『リチャード三世』 5幕
7. 演技発表
8. 演習
9. 『コリオレーナス』 1幕
10. 『コリオレーナス』 2幕
11. 『コリオレーナス』 3幕
12. 『コリオレーナス』 4幕
13. 『コリオレーナス』 5幕
14. 演技発表
15. 演習

授業方法:

毎回、5幕からなる各作品を1幕ずつ扱う。学生さんが実際に声優となり、より深く作品を鑑賞できるような授業を行う。作品終了後は実際に演じる。作品ごとにレポートを提出する。

達成目標:

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じること。

評価方法:

試験 100%

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を完全に達成している—————S

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成している—————A

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成しているが

まだ不十分な点がある—————B

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の最低限は満たしている—————C

Cのレベルに達していない—————D

教科書:

白水ブックスの『リチャード三世』『コリオレーナス』(白水社)

参考文献:

なし

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C42401	演劇と身体論特殊講義 I B (身体表現と舞台芸術)	3・4	2	森順子

期間	曜日	時限	備考:
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
感受性、芸術・学問の味わい、対話	コミュニケーション力、価値判断力 (意思決定力)、美的感受性

授業のテーマ:

シェイクスピアの戯曲には人間関係の中で変化するところが言語を通して描かれている。言語的側面を重視し、作品の構成、人物の心理、テーマ等を考察することにより、シェイクスピアの演劇に見られる関係の中で揺れ動く人間のところを考察する。

授業の概要:

シェイクスピアの作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる段階に到達することを目指す。

授業の計画:

1. 概説
2. 『ベニスの商人』 1幕
3. 『ベニスの商人』 2幕
4. 『ベニスの商人』 3幕
5. 『ベニスの商人』 4幕
6. 『ベニスの商人』 5幕
7. 演劇発表
8. 演習
9. 『お気に召すまま』 1幕
10. 『お気に召すまま』 2幕
11. 『お気に召すまま』 3幕
12. 『お気に召すまま』 4幕
13. 『お気に召すまま』 5幕
14. 演劇発表
15. 演習

授業方法:

毎回、5幕からなる各作品を1幕ずつ扱う。学生さんが実際に声優となり、より深く作品を鑑賞できるような授業を行う。作品終了後は実際に演じる。作品ごとにレポートを提出する。

達成目標:

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じること。

評価方法:

試験 100%

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を完全に達成している———S

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成している———A

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成しているが

まだ不十分な点がある———B

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の最低限は満たしている———C

Cのレベルに達していない———D

教科書:

白水ブックスの『ベニスの商人』『お気に召すまま』(白水社)

参考文献:

なし

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C42801	演劇と身体論演習	3・4	4	森順子

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
分析・総合の思考力と判断力、コミュニケーション、プレゼン	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

授業のテーマ：

演劇、文学、あるいは学生さんが自由に選んだ分野において一つのテーマを決めた上で、人間のこころを深く考察する。

授業の概要：

演劇、文学、あるいは自分の好きな分野において一つのテーマを見つけ、人間のこころへの考察を行う。それをまとめた上で発表する。演劇、文学作品の場合は、言語的側面を重視し、作品の構成、人物の心理を中心に考察を行う。発表されたテーマに関して毎回全員で話し合う。現代社会に薄れていく人間同士のコミュニケーションをもう一度回復する術を考えてみたい。また独自に創作を行うこともできる。

授業の計画：

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. オリエンテーション | 16. 発表、話し合い |
| 2. 話し合い | 17. 発表、話し合い |
| 3. 発表、話し合い | 18. 発表、話し合い |
| 4. 発表、話し合い | 19. 発表、話し合い |
| 5. 発表、話し合い | 20. 発表、話し合い |
| 6. 発表、話し合い | 21. 発表、話し合い |
| 7. 発表、話し合い | 22. 発表、話し合い |
| 8. 発表、話し合い | 23. 発表、話し合い |
| 9. 発表、話し合い | 24. 発表、話し合い |
| 10. 発表、話し合い | 25. 発表、話し合い |
| 11. 発表、話し合い | 26. 発表、話し合い |
| 12. 発表、話し合い | 27. 発表、話し合い |
| 13. 発表、話し合い | 28. 発表、話し合い |
| 14. 発表、話し合い | 29. 発表、話し合い |
| 15. 発表、話し合い | 30. 発表、話し合い |

授業方法：

発表者のプレゼンを受けて、常に全員で話し合いながら考察を深める。

達成目標：

発表者のプレゼンの後、全員でディスカッションを行い、人間のこころについてより深く考えることを目指す。

評価方法：

試験 100%

独自のプレゼンや、コミュニケーションを通して、考察を深めることを完全に達成している——S

独自のプレゼンや、コミュニケーションを通して、考察を深めることを相応に達成している——A

独自のプレゼンや、コミュニケーションを通して、考察を深めることを相応に達成しているが

まだ不十分な点がある——B

独自のプレゼンや、コミュニケーションを通して、考察を深めることの最低限は満たしている——C

Cのレベルに達していない——D

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C43301	宗教と倫理特殊講義 I A (宗教とダイナミクス)	3・4	2	伊藤利行

期間	曜日	時限	備考:
前期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
人間、性、罪悪、死、祈祷	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

授業のテーマ:

宗教とそのダイナミクス

授業の概要:

特に宗教の持つ個人的作用力に関して考察する。生と死、孤独と連帯、疑いと信仰、絶望と回心、知恵と無知、沈黙と讃美など対比的な諸テーマを切り口として実例を基にして理解を深める。

授業の計画 (全 15 回):

- 第1回 旧約聖書の人間学 (1)
- 第2回 旧約聖書の人間学 (2)
- 第3回 印欧語族の人間学 (1)
- 第4回 印欧語族の人間学 (2)
- 第5回 古代中国思想における人間学
- 第6回 古代日本思想における人間学
- 第7回 性と宗教 (1)
- 第8回 性と宗教 (2)
- 第9回 罪悪と宗教 (1)
- 第10回 罪悪と宗教 (2)
- 第11回 死と宗教 (1)
- 第12回 死と宗教 (2)
- 第13回 祈祷論 (1)
- 第14回 祈祷論 (2)
- 第15回 まとめ 霊魂論の系譜

授業方法:

主として講義形式。ビデオを用いることもある。授業用の PDF 文書（本文編と資料編）を担当者ホームページに用意するので適宜用いること。

達成目標:

個人的レベルにおける宗教的ダイナミクスの理解

評価方法:

筆記試験（持込み無し）。

教科書:

授業用 PDF 文書（本文編・資料編）

参考文献:

担当者ホームページ (<http://www1.uhe.ac.jp>) で関係文書を参照してください。
連絡先 ito@uhe.ac.jp

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C43401	宗教と倫理特殊講義 I B (宗教とダイナミクス)	3・4	2	伊藤利行

期間	曜日	時限	備考:
後期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
他界観、浄土思想、巡礼、黙示思想、メシア思想、知恵	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

授業のテーマ:

宗教とそのダイナミクス

授業の概要:

宗教の持つ動的な作用力に関して主に社会的レベルで生じる諸相に関して実例を基にして理解を深める。今回は、他界・約束の地思想の系譜を古今東西の実例から考察する。

授業の計画:

- 第1回 日本思想における他界観 (1)
- 第2回 日本思想における他界観 (2)
- 第3回 浄土経典の思想 (1)
- 第4回 浄土経典の思想 (2)
- 第5回 往生を巡る諸思想
- 第6回 日本における巡礼の思想
- 第7回 東洋における巡礼の思想
- 第8回 聖書における他界観
- 第9回 黙示思想の展開
- 第10回 メシア思想とその実践例 (1)
- 第11回 メシア思想とその実践例 (2)
- 第12回 メシア思想とその実践例 (3)
- 第13回 西洋における巡礼の思想
- 第14回 聖書における知恵の思想
- 第15回 まとめ 約束の地の系譜

授業方法:

主として講義形式。ビデオを用いることもある。授業用ブックレット (PDF 文書) 本文編と関連資料を集めた資料編を担当者ホームページに用意するので、受講者はそれらを参照して学習すること。資源の有効利用の観点から紙によるプリントは原則として準備しない。

達成目標:

社会的レベルでの宗教のダイナミクスの理解

評価方法:

筆記試験 (持込み無し)。

教科書:

授業用 PDF 文書 (本文編・資料編)

参考文献:

担当者ホームページ (<http://www1.uhe.ac.jp>) で関係文書を参照して下さい。
連絡先 ito@uhe.ac.jp

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C43801	宗教と倫理演習	3・4	4	伊藤利行

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
キリシタン、日本宗教史	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

授業のテーマ：

様々な宗教のテキストを取り上げ、具体的な文脈の中で各宗教に共通した部分と相違点とを考察し、現代の我々にとってこれらの宗教がいかなる意味を持つかという事を中心として議論する。

授業の概要：

今年度は、キリシタン教理書『妙貞問答』の購読を中心に進める。著者の不干斎ハビアンは、キリスト教に改宗し、イエズス会士として大活躍したが、後にキリスト教を離れ、キリスト教に反対する『破堤字子』を著すという人生を送った人物である。したがって、その著作は、当時のキリスト教以外の日本の諸宗教についての理解を内包しており、比較宗教という視点でも興味ある文献である。

授業の計画：

『妙貞問答』の構成は以下の様になっている。

(上巻)

〔(序)〕〔仏説三界建立ノ沙汰之事〕〔釋迦之因位誕生之事〕〔八宗之事〕〔法相宗之事〕〔三論宗之事〕〔華嚴宗之事〕〔天台宗之事〕〔真言宗之事一〕〔禪宗之事〕〔浄土宗之事 付一向宗〕

(中巻)〔儒道之事〕〔神道之事〕

(下巻)〔貴理志端之教ノ大綱之事〕

〔(序)〕〔現世安穩、後生善所之真之主一体在マス事〕〔後生ニ生残者ヲハ、アニマラシヨナルト云フコト〕〔後世ノ善所ハ、ハライトト云イテ天ニアリ、悪所ハ、インヘルノト云イテ地中ニアル事〕〔後生ヲハ何トスレハ扶リ、何トスレハ扶カラヌト云事〕〔キリシタンノ教ヘニ付、色々ノ不満ノ事〕

第1回 キリシタン書概説とテキストについての講義

第2回目以降第30回まで、読み進む。その際、関連文献も配布する。進捗状況によるため、各回の内容は記述できない。

授業方法：

毎回、担当の部分を読みながら、内容確認と意見交換を中心として進める。

達成目標：

比較宗教的観点から、キリスト教と日本の諸宗教の比較と理解を、本書を読みながら深める。

評価方法：

授業への参加態度（担当部分の発表の仕方など）および年度末の総括レポートによる。

教科書：

テキストには、数版があり、プリントして配布する。

参考文献：

担当者ホームページ（<http://www1.uhe.ac.jp>）参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D10101	日本史講義 I A (日本古代・中世史研究)	3・4	2	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考:
前期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
風土と自然、出雲と伊勢、寝殿造、禅宗	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ:

古代から中世にかけての、東アジア地域との交流によって作り出された「日本」を、その時代の建築物と時代に生きた人々の変容と発展過程の中で、建築、文化史の観点から考察する。

授業の概要:

基本的に時代の流れをたどりつつ、時代性のあるテーマをとりあげ、全体として通史的な枠組を修得できるようにしていく。

授業の計画:

- 1、日本の風土と自然
- 2、狩猟と稲作の文化
- 3、出雲と伊勢
- 4、耶馬大国と大和朝廷
- 5、法隆寺と東大寺
- 6、遣唐使と中国文化の摂取
- 7、寝殿造の住まい方
- 8、平氏政権と日宋貿易
- 9、源実朝と藤原定家
- 10、大仏様と禅宗様の建築
- 11、禅宗の盛行と渡来僧
- 12、元寇の混乱と金沢貞顕
- 13、鎌倉幕府の滅亡と南北朝の内乱
- 14、社会風潮と下克上
- 15、まとめ

授業方法:

基本的には講義形式で進めますが、必要に応じてビデオやプリントなど資料を用いていきます。

達成目標:

日本の古代・中世史の背景の中で、日本文化の成立過程を学ぶ

評価方法:

授業態度を重視
筆記試験とレポート課題

教科書:

「日本史のなかの茶道」(淡交社 2,000円+税)

参考文献:

図書館にある通史のシリーズものなどで、日本の古代・中世史に関する本を読んで時代へのイメージを培う

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D10201	日本史講義 I B (日本古代・中世史研究)	3・4	2	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考:
後期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
バサラ、北山文化と東山文化、同朋衆、会所	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ:

古代から中世にかけての、東アジア地域との交流によって作り出された「日本」を、その時代の建築物と時代に生きた人々の変容と発展過程の中で、建築、文化史の観点から考察する。

授業の概要:

基本的に時代の流れをたどりつつ、時代性のあるテーマをとりあげ、全体として通史的な枠組を修得できるようにしていく。

授業の計画:

- 1、二条落書とバサラ
- 2、南北朝の統一と北山文化
- 3、楼閣建築
- 4、足利義持と勘合貿易
- 5、会所と同朋衆
- 6、室町幕府の衰退と応仁の乱
- 7、足利義政と東山文化
- 8、君台観左右帳記
- 9、書院造における座敷と玄関
- 10、貿易港の堺・博多
- 11、町衆の台頭
- 12、大徳寺と堺
- 13、織田信長と茶の湯
- 14、豊臣秀吉の対外政策と南蛮文化
- 15、まとめ

授業方法:

基本的には講義形式で進めますが、必要に応じてビデオやプリントなど資料を用いていきます。

達成目標:

日本の古代・中世史の背景の中で、日本文化の成立過程を学ぶ

評価方法:

授業態度を重視
筆記試験とレポート課題

教科書:

「日本史のなかの茶道」(淡交社 2,000円+税)

参考文献:

図書館にある通史のシリーズものなどで、日本の古代・中世史に関する本を読んで時代へのイメージを培う

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D10301	日本史講義ⅡA（日本近世社会論研究）	3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
武士、武家社会、幕府、天皇、幕藩体制	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、効果的な社会参加

授業のテーマ：

織田・豊臣政権を経て、徳川政権の成立及び幕藩体制の構築という、近世世界形成の歴史的意義を考える。とりわけ、この一連の過程における天皇の果たした役割などに注目しつつ、考察する。

授業の概要：

織田信長政権の特質、豊臣政権と関ヶ原合戦、徳川幕府成立後の諸政策の意義。そして、徳川政権の政治的特質などを、天皇の存在意義などの諸問題を論じる。

授業の計画：

- 1 序論—講義のプラン
- 2 信長と本能寺の変
- 3 秀吉と天下統一
- 4 関ヶ原合戦
- 5 徳川幕府の成立
- 6 徳川・豊臣二重支配体制
- 7 大坂の陣
- 8 幕藩体制の政治構造
- 9 近世の朝廷・天皇と幕府
- 10 近世の朝廷・天皇
- 11 鎖国とは
- 12 東アジアの国際的環境と鎖国
- 13 東アジアの国際的環境と鎖国
- 14 志士と鎖国
- 15 志士と鎖国

授業方法：

講義形式

達成目標：

講義内容を理解すると共に、自己の歴史認識能力を高める。

評価方法：

授業の取り組み 30%、テスト70%などによって、評価する。

教科書：

なし

参考文献：

講義の中で折々に紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D10401	日本史講義ⅡB（日本近世社会論研究）	3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
武士、武士道、忠・忠義、近代化	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、効果的な社会参加

授業のテーマ：

徳川時代は近代化の胎動期であり、また、現在の日本社会にも通じる多くの文化遺産の産出期であった。授業では、社会の特性を論考すると共に、同時期における、「知」の成長過程を考察する。

授業の概要：

武士道や武家社会の構造を通して、江戸という時代のタテ社会のメカニズムを検討し、リーダーシップ、組織と個人との関係を論ずる。また、他方では、文化、思想の多様な展開を検討し、徳川社会の政治的近代化を論じる。

授業の計画：

- 1 藩の組織
- 2 武士道Ⅰ
- 3 武士道Ⅱ
- 4 武士道Ⅲ
- 5 元禄時代
- 6 儒学の発展Ⅰ
- 7 儒学の発展Ⅱ
- 8 能力主義とシステム
- 9 ペリー来航と幕藩体制Ⅰ
- 10 志士吉田松陰の誕生
- 11 吉田松陰の武家観
- 12 吉田松陰の天皇観
- 13 吉田松陰の国際観
- 14 維新への胎動
- 15 江戸という時代

授業方法：

講義形式

達成目標：

講義内容を理解すると共に、自己の歴史認識能力を高める。

評価方法：

授業の取り組み 30%、テスト70%などによって、評価する。

教科書：

なし

参考文献：

講義の中で折々に紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D10501	日本史講義ⅢA（日本近・現代史研究）	3・4	2	田浦雅徳

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本近代史、国民国家、立憲政治への胎動	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

授業のテーマ：

本講義は、近代における日本の歩みを、その時々日本の生存条件を考えながら見ていこうとするものである。幕末から太平洋戦争に至るまでの歴史なかで、特にペリー来航以来の幕末から明治十四年の政変までの政治過程を講義する。

授業の概要：

明治立憲制が成立していく過程を丹念に追っていく。

授業の計画：

- 第1回 立憲政治実現過程の日欧比較
- 第2回 幕閣専断から公議輿論の尊重へ
- 第3回 加藤弘之の「鄰艸」
- 第4回 王政復古の政変
- 第5回 五箇条の御誓文
- 第6回 「公議」の制度化への試み－公議所の開設
- 第7回 版籍奉還と廃藩置県
- 第8回 岩倉使節団
- 第9回 征韓論と明治六年の政変
- 第10回 大久保利通と明治政府
- 第11回 民撰議院設立建白書
- 第12回 自由民権運動
- 第13回 士族反乱と西南戦争
- 第14回 さまざまな憲法構想－私擬憲法と岩倉の憲法意見書
- 第15回 明治十四年の政変と国会開設の勅諭
- 第16回 試験

授業方法：

教科書を読みながら、パワーポイントのスライドを使って詳細な解説を行う。

達成目標：

近代国民国家としての日本が如何にして形成されたかを知ること。そのために必要な知識や歴史観を習得する。

評価方法：

試験（100％）によって評価する。

教科書：

鳥海靖『日本の近代＝国民国家の形成・発展と挫折』放送大学教育振興会、2,100円

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D10601	日本史講義ⅢB（日本近・現代史研究）	3・4	2	田浦雅徳

期間	曜日	時限	備考：
後期	集中	E	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本近現代史、明治憲法、日清・日露戦争、太平洋戦争	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

授業のテーマ：

近代における日本の歩みを、その時々日本の生存条件を考えながら見ていこうとするものである。特に伊藤博文の憲法調査から太平洋戦争開始までの政治過程を講義する。近代国民国家としての日本が如何にして形成され、激動の近代国際社会の中でどのような苦闘の歴史を築いたかを知ることが目標とする。

授業の概要：

明治憲法の成立から太平洋戦争にいたる歴史をたどっていく。

授業の計画：

- 第1回 伊藤博文の憲法調査と宮中改革
- 第2回 内閣制度の創設と大日本帝国憲法の発布
- 第3回 第一回帝国議会の開会
- 第4回 第四議会と和衷協同の詔勅
- 第5回 明治の外交課題－条約改正と対朝鮮政策
- 第6回 壬午・甲申事変
- 第7回 日清戦争
- 第8回 三国干渉と日露の対立
- 第9回 日露戦争
- 第10回 日露戦後の内政と外交
- 第11回 第一次世界大戦とワシントン会議
- 第12回 中国ナショナリズムの急進化と満洲事変
- 第13回 協調と対立の中の昭和十年代
- 第14回 太平洋戦争の勃発と戦争目的
- 第15回 戦時外交と終戦
- 第16回 試験

授業方法：

教科書を読みながら、パワーポイントのスライドを使って解説を行う。

達成目標：

近代国民国家としての日本が如何にして形成されたかを知ること。そのために必要な知識や歴史観を習得する。

評価方法：

試験（100％）によって評価する。

教科書：

鳥海靖『日本の近代＝国民国家の形成・発展と挫折』放送大学教育振興会、2,100円

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D12701	国語学概説A	3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語の歴史、日本語の文法	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

日本語文法の基礎的な知識を習得する。

授業の概要：

日本語文法の基礎的な事項を習得する。

授業の計画：

- 1 概説
- 2 国語学の基礎 品詞 1
- 3 国語学の基礎 品詞 2
- 4 文の構造 1
- 5 1～4のまとめ
- 6 活用 1
- 7 活用 2
- 8 活用 3
- 9 6～8のまとめ
- 10 係り結び 1
- 11 係り結び 2
- 12 条件表現
- 13 指示語
- 14 10～13のまとめ
- 15 全体のまとめ

※授業計画は、受講生の理解等により変更を行う場合がある。

授業方法：

講義形式を基本とするが、適宜対話形式・発表形式を取り入れる。

達成目標：

日本語の文法についての基礎的な知識を習得する。

評価方法：

定期試験（60％）＋受講姿勢（40％）などにより総合的に評価する。
 日本語文法についてたいへんよく理解している……………S
 日本語文法についてよく理解している……………A
 日本語文法について理解している……………B
 日本語文法についてだいたい理解している……………C

教科書：

阪倉篤義 著『改稿 日本語文法の話』教育出版（2,427円＋税）
 『新総合 図説国語』東京書籍（880円）

参考文献：

朝比奈英夫 他 編『古典入門』清文堂出版（1,700円＋税）
 その他は、授業時に適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D12801	国語学概説B	3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語の歴史、日本語の文法	コミュニケーション力、分析総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

漢字使用による文学の形成の意義について考える。

授業の概要：

我が国の七、八世紀、いわゆる上代は、人々が口伝による言語生活から脱却し、文字によって言葉を定着させる習慣を持ち始めた時代である。平仮名や片仮名のいまだ成立していないこの時期、中国からもたらされた漢字によってのみ日本語の文をつづり、文学作品をうみだすということは、どのような営みであるのか、そのさまざまなあり方から出発し、日本語の歴史をたどる。

授業の計画：

- 1 概説 はじめに
- 2 概説 日本語学の基礎 1
- 3 概説 日本語学の基礎 2
- 4 概説 日本語学の基礎 3
- 5 言語学的な準備
- 6 1～5のまとめ
- 7 古代の日本語 1
- 8 古代の日本語 2
- 9 古代・中世の文法 1
- 10 古代・中世の文法 2
- 11 7～10のまとめ
- 12 中世の話し言葉 1
- 13 中世の話し言葉 2
- 14 12～13のまとめ
- 15 全体のまとめ

※授業計画は、受講生の理解・興味等により変更を行う場合がある。

授業方法：

講義形式を基本とするが、適宜対話形式、発表形式を取り入れる。

達成目標：

日本語の歴史についての基礎的な知識を修得する。

評価方法：

定期試験（60%）＋受講姿勢（40%）などにより総合的に評価する。
 日本語の歴史についてたいへんよく理解している……………S
 日本語の歴史についてよく理解している……………A
 日本語の歴史について理解している……………B
 日本語の歴史の基本的事項についてだいたい理解している……………C

教科書：

山口仲美『日本語の歴史』（岩波新書 1018）岩波書店（740円＋税）

参考文献：

授業時に適宜紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D12901	国語表現	3・4	2	文野峯子

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
事実と意見、要旨、意見文	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

授業のテーマ：

正しく、明確に趣旨を読み取る力の養成。趣旨が正確に伝わる文を書く力の養成。

授業の概要：

前半は、論説文を読みとり、要旨を書く練習を行う。後半は、構成を考えて、論理的かつ分かりやすい意見文を書く練習を行う。

授業の計画：

1. 印象に残る自己紹介・自己PR
2. 自己PR
3. わかりやすい説明：新入生に本学食堂の使い方を説明する
4. 要約（1）論説文を読み、キーワードを探す
5. キーワードをもとにして要旨を書く
6. 要約（2）論説文を読み、キーワードを探す
7. キーワードをもとにして要旨を書く
8. 事実と意見を区別する
9. 意見文を書く（1）意見を60字程度で表現する
10. 意見文を書く（2）意見を60字程度で表現する
11. 論説文の要約をもとにした意見文を書く（1）
12. 意見文の検討
13. 論説文の要約をもとにした意見文を書く（2）
14. 修正版発表・検討
15. まとめ

授業方法：

文章作成は宿題とし、次の授業までに教員にPCメールで課題作文を送付する。授業の主たる作業は、送付された課題作文の検討とする。文章遂行は、学生同士（ピア）で行うため、自己の意見を相手にわかるように話す能力と積極的にコミュニケーションに参加する態度が求められる。

達成目標：

正しく、明確に文章の趣旨を読み取れるようになる。
趣旨が正確に伝わる文が書けるようになる。

評価方法：

提出物 50%
試験 50%

教科書：

プリント配布

参考文献：

特になし

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D13001	漢文学概論A	3・4	2	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考：教員免許状（国語）取得のための必修科目
前期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読み書き、対話、コミュニケーション	コミュニケーション力

授業のテーマ：

漢文訓読を通して中国の古典を学ぶ。

授業の概要：

漢文訓読の方法を学びつつ、中国古典の代表的な作品を概観していく。

授業の計画：

1. はじめに（概要紹介）
2. 漢字の基礎、漢和辞典の利用
3. 訓点について
4. 漢文の構文
5. 返読文字
6. 再読文字
7. 受身形・使役形
8. 否定形
9. 疑問形・反語形
10. 限定形・累加形
11. 故事成語（守株、矛盾）
12. 故事成語（刻舟求劍）
13. 故事成語（楚共王遺弓、狐假虎威）
14. 故事成語（蛇足）
15. まとめ

授業方法：

教科書にしたがって進める。

達成目標：

- ・漢文訓読の方法を理解できる。
- ・教科書収録の作品を自力で訓読できる。

評価方法：

試験により行う。

S…漢文訓読の方法を理解し、白文に自力で訓点等を付すとともに、作品の背景等が分析できる

A…漢文訓読の方法を理解し、教科書収録の作品を自力で訓読するとともに、作品の背景等が分析できる

B…漢文訓読の方法を理解し、教科書収録の作品を自力で訓読できる

C…漢文訓読の方法を理解できる

D…Cのレベルに達していない

教科書：

(1) 榊原邦彦ほか編『漢文入門』和泉書院、1,260円（税込）。ただし授業期間内に教科書すべてを終了しない。(2) 高校等で使用した漢和辞典

参考文献：

必要に応じて提示。

実験・実習・教材費：

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D13101	漢文学概論B	3・4	2	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考：教員免許状（国語）取得のための必修科目
後期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読み書き、対話、コミュニケーション	コミュニケーション力

授業のテーマ：

漢文訓読を通して中国の古典を学ぶ。

授業の概要：

漢文訓読の方法を学びつつ、中国古典の代表的な作品を概観していく。

授業の計画：

1. 漢文訓読方法の確認
2. 故事成語（苛政猛於虎也、漱石枕流）
3. 故事成語（五十歩百歩）
4. 故事成語（漁父之利、蚩窗雪案）
5. 故事成語（朝三暮四、推敲）
6. 故事成語（塞翁馬）
7. 古体の詩（桃夭、古詩十九首）
8. 古体の詩（飲酒）
9. 古体の詩（歸園田居）
10. 唐代の詩（代悲白頭翁）
11. 唐代の詩（春暁）
12. 唐代の詩（涼州詞、登鸛鵲樓）
13. 唐代の詩（鹿柴）
14. 唐代の詩（竹里館、送元二使安西）
15. まとめ

授業方法：

教科書にしたがって進める。

達成目標：

- ・漢文訓読の方法を理解できる。
- ・教科書収録の作品を自力で訓読できる。

評価方法：

試験により行う。

- S…漢文訓読の方法を理解し、白文に自力で訓点等を付すとともに、作品の背景等が分析できる
- A…漢文訓読の方法を理解し、教科書収録の作品を自力で訓読するとともに、作品の背景等が分析できる
- B…漢文訓読の方法を理解し、教科書収録の作品を自力で訓読できる
- C…漢文訓読の方法を理解できる
- D…Cのレベルに達していない

教科書：

「漢文学概論A」の残りの部分を用いる。

参考文献：

必要に応じて提示。

実験・実習・教材費：

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D13401	漢文学講読 I	3・4	2	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読み書き、対話、コミュニケーション	コミュニケーション力

授業のテーマ：

コミュニケーション能力の育成をテーマとして、漢文を講読する。中国の古典文学は古来、様々な形で日本と日本文学に影響を与えてきたが、本来外国語で書かれているものを意外なまでに抵抗なく受容してきた。その背景には漢文訓読が大きく関わっていると考えられる。この授業では、漢文の訓読方法の再確認を目指す。

授業の概要：

教科書のうちから比較的短いものを取り上げる。

授業の計画：

以下の予定だが、受講生の希望に応じて変更する。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 漢文初歩、「守株」 | 9. 「五十歩百歩」、子之武城、 |
| 2. 「矛盾」、學而時習之。 | 10. 「漁父之利」、子路等待坐。 |
| 3. 「刻舟求劍」、不患人之不己知 | 11. 「螢窗雪案」、三人行必有我師焉。 |
| 4. 「楚共王遣弓」、士志於道。 | 12. 「朝三暮四」、子貢曰君子過也、 |
| 5. 「狐假虎威」、吾嘗終日不食、 | 13. 「推敲」、孟武伯問孝。 |
| 6. 「蛇足」、譬如爲山。 | 14. 「塞翁馬」、有子曰其爲人也孝弟、 |
| 7. 「苛政猛於虎也」、子貢曰貧而無諂 | 15. まとめ |
| 8. 「漱石枕流」、不憤不啓。 | |

授業方法：

演習形式。教科書を選読して進め、毎回指名する。ただし授業期間内に教科書を終了しません。

達成目標：

コミュニケーション能力のうち、特に文章の効果的な読み書きの能力を習得する。

評価方法：

試験（80%）と授業への取り組み（20%）により行う。
 理論を駆使して完成度の高い独自の読み書きができる…S
 理論を部分的に活用して読み書きができる……………A
 理論を使いながら作品の分析ができる……………B
 理論や用語を説明できる……………C
 Cのレベルに達していない……………D

教科書：

榎原邦彦ほか編『漢文入門』（和泉書院／1,260円）。

参考文献：

漢和辞典。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D13501	漢文学講読Ⅱ	3・4	2	渡昌弘

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読み書き、対話、コミュニケーション	コミュニケーション力

授業のテーマ：

コミュニケーション能力の育成をテーマとして、漢文を講読する。中国の古典文学は古来、様々な形で日本と日本文学に影響を与えてきたが、本来外国語で書かれているものを意外なまでに抵抗なく受容してきた。その背景には漢文訓読が大きく関わっていると考えられる。この授業では、漢文の訓読方法の再確認を目指す。

授業の概要：

教科書の漢詩および『十八史略』『史記』より選読する。

授業の計画：

以下の子定だが、受講生の希望に応じて変更することがある。

1. 桃夭、古詩十九首
2. 帰園田居、代悲白頭翁
3. 涼州詞、登鸛鵲樓
4. 竹里館、送元二使安西
5. 静夜思、子夜呉歌
6. 山中間答、除夜作
7. 臥薪嘗胆
8. 鷄鳴狗盜
9. 合従連衡
10. 刎頸之交
11. 鴻門之会 (1)
12. 鴻門之会 (2)
13. 垓下之戦 (1)
14. 垓下之戦 (2)
15. まとめ

授業方法：

演習形式。教科書を選読して進め、毎回指名する。

達成目標：

コミュニケーション能力のうち、特に文章の効果的な読み書きの能力を習得する。

評価方法：

試験により行う。

- S…理論を駆使して完成度の高い独自の読み書きができる
- A…理論を部分的に活用して読み書きができる
- B…理論を使いながら作品の分析ができる
- C…理論や用語を説明できる
- D…Cのレベルに達していない

教科書：

榊原邦彦ほか編『漢文入門』和泉書院、1,260円（税込）。ただし授業期間内に教科書すべてを終了しない。

参考文献：

漢和辞典

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D13601	書道	3・4	2	衣川彰人

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
書写 書道 文字 毛筆 硬筆	美的感受性 コミュニケーション力

授業のテーマ：

この授業では、①書写書道教育における現状の諸問題と今後の展開について②小・中学校にて行われる国語科の書写教育における楷書と行書の学習についての知識を深める③書字活動を通して行われる他者とのコミュニケーションに必要とされるさまざまな知識を学ぶとともに実技能力の向上を図るという3つのテーマをもとにして講義と実技指導をしていきたい。

授業の概要：

文字を正しく整えて書くための字形のとり方や配字法などのポイントについて講義を交えながら実技指導していく。また、細字（小字）や硬筆の指導も行い、実用の書にも対応できるようにしていきたい。

授業の計画：

- 第1回 用具・用材について
- 第2回 書の美を求めて…書体について
- 第3回 楷書の基本点画
- 第4回 楷書の字形…文字の概形
- 第5回 楷書の字形…画の長短と間隔
- 第6回 楷書の字形…画の方向・接し方
- 第7回 楷書の字形…筆順
- 第8回 楷書の字形…組み合わせ方（左右）
- 第9回 楷書の字形…組み合わせ方（上下）
- 第10回 楷書の字形…組み合わせ方（内外）
- 第11回 行書の運筆・用筆について
- 第12回 行書の字形…点画の変化
- 第13回 行書の字形…点画の省略
- 第14回 行書の字形…点画の連続
- 第15回 行書の字形…筆順の変化

※希望に応じて、年賀状や慶弔の表書きなどの細字（小字）の筆写についての指導も行う。

※毎回の授業にて毛筆と硬筆の筆写を関連させて指導を行う。

授業方法：

講義と実技指導を交えて行う。授業時間の15分程度を書法や字形に関する解説を行ったうえで、残りを実技指導し、毎回、毛筆による清書作品を制作し、その後、硬筆の学習をする。

達成目標：

文字を正しく整えて書くために必要な基礎的な知識を理解し、それらを活かしながら自らの書字能力の向上を図ることを目標とする。

評価方法：

書写書道の実技を含めた書字に関するレポートによる（100%）。

文字を書くための知識を十分に理解し、書字能力の向上を図ることができた…………… S

文字を書くための知識への理解を深めながら、書字能力の向上を図ることができた…………… A

文字を書くための知識を学ぶとともに、書字能力の向上を図ることができた…………… B

文字を書くための知識を学びながら、書字能力の向上のために努力することができた…………… C

Cのレベルに達することができなかった…………… D

教科書：

全国大学書写書道教育学会編『明解書写教育』（萱原書房／1,500円）

書道用具一式（大筆・小筆・紙・墨・硯・下敷き・文鎮等）

硬筆用の鉛筆（Bまたは2B程度の硬さの鉛筆が望ましい）

参考文献：

春名好重・三浦康広・杉村邦彦編集『書の基本資料』（中教出版）

実験・実習・教材費：

各自で書道半紙・墨汁など、実技練習に必要となるものを用意すること。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C30601	英米文学における人物像と言語表現A	3・4	2	森順子

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
言語表現、含意、芸術・学問の味わい	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

授業のテーマ：

英国の劇作家、シェイクスピアの作品では、言語表現が重要な要素となる。中でも人物の性格や心理を表す独白は内的言語とみなすことができる。シェイクスピアの作品に描かれた人間の内的世界を言語表現の観点から論じる。

授業の概要：

シェイクスピア作品の言語表現から人物の心理を読み取り、独自の解釈で人物像を演じる段階に到達することを目指す。

授業の計画：

1. 概説
2. 『リア王』 1幕
3. 『リア王』 2幕
4. 『リア王』 3幕
5. 『リア王』 4幕
6. 『リア王』 5幕
7. 演技発表
8. 演習
9. 『ハムレット』 1幕
10. 『ハムレット』 2幕
11. 『ハムレット』 3幕
12. 『ハムレット』 4幕
13. 『ハムレット』 5幕
14. 演技発表
15. 演習

授業方法：

シェイクスピアによる四大悲劇の中から『リア王』と『ハムレット』を扱う。人間関係の中で葛藤する登場人物の内的世界を論じる。学生さんが言語表現である台詞を実際に声優として味わい、より深く作品を鑑賞できるような授業を行う。適宜取り上げる英語の原文に関しては丁寧な解説を加える。なお作品終了後は各自実際に演じた上でレポートを提出する。

達成目標：

作品の言語表現から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じること。

評価方法：

試験 100%
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を完全に達成している—————S
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成している—————A
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成しているが
 まだ不十分な点がある—————B
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる相応の力の最低限は満たしている—————C
 Cのレベルに達していない—————D

教科書：

白水ブックスの『リア王』『ハムレット』（白水社）

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C30701	英米文学における人物像と言語表現B	3・4	2	森順子

期間	曜日	時限	備考:
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
言語表現、含意、芸術・学問の味わい	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

授業のテーマ:

英国の劇作家、シェイクスピアの作品では、言語表現が重要な要素となる。中でも人物の性格や心理を表す独白は内的言語とみなすことができる。シェイクスピアの作品に描かれた人間の内的世界を言語表現の観点から論じる。

授業の概要:

シェイクスピア作品の言語表現から人物の心理を読み取り、独自の解釈で人物像を演じる段階に到達することを目指す。

授業の計画:

1. 概説
2. 『マクベス』 1幕
3. 『マクベス』 2幕
4. 『マクベス』 3幕
5. 『マクベス』 4幕
6. 『マクベス』 5幕
7. 演技発表
8. 演習
9. 『オセロー』 1幕
10. 『オセロー』 2幕
11. 『オセロー』 3幕
12. 『オセロー』 4幕
13. 『オセロー』 5幕
14. 演技発表
15. 演習

授業方法:

シェイクスピアによる四大悲劇の中から『マクベス』と『オセロー』を扱う。人間関係の中で葛藤する登場人物の内的世界を論じる。学生さんが言語表現である台詞を実際に声優として味わい、より深く作品を鑑賞できるような授業を行う。適宜取り上げる英語の原文に関しては丁寧な解説を加える。なお作品終了後は各自、実際に演じた上でレポートを提出する。

達成目標:

作品の言語表現から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じること。

評価方法:

試験 100%

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を完全に達成している—————S
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成している—————A
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成しているが
 まだ不十分な点がある—————B
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる相応の力の最低限は満たしている—————C
 Cのレベルに達していない—————D

教科書:

白水ブックスの『マクベス』『オセロー』(白水社)

参考文献:

なし

実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C30801	英米文学A	3・4	2	森順子

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
感受性、芸術・学問の味わい、理解・尊重	コミュニケーション力、分析総合の思考力と判断力、美的感受性

授業のテーマ：

作家の人生と作品を味わい、深く理解することを目指す。

授業の概要：

授業の計画：

1. 概説
2. チョーサー
3. フィリップ・シドニー
4. マーロー
5. 演習
6. シェイクスピア
7. ベン・ジョンソン
8. ジョン・ダン
9. 演習
10. ジョン・ドライデン
11. ポウプ
12. サミュエル・ジョンソン
13. 演習
14. オースティン
15. ブレイク

授業方法：

英語で書かれた文学史を読み、作品を実際に味わう。毎回、出席者全員で読み進める。

授業目標：

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力を習得する。

評価方法：

試験 100%

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の習得を完全に達成している——S

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の習得を相応に達成している——A

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の習得を相応に達成しているが、まだ不十分な点がある——B

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の最低限は満たしている——C

Cのレベルに達していない——D

教科書：

プリント配布

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C30901	英米文学B	3・4	2	森順子

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
感受性、芸術・学問の味わい、理解・尊重	コミュニケーション力、分析総合の思考力と判断力、美的感受性

授業のテーマ：

作家の人生と作品を味わい、深く理解することを目指す。

授業の概要：

授業の計画：

1. ワーズワース
2. コウルリッジ
3. バイロン
4. シェリー
5. キーツ
6. 演習
7. テニソン
8. ディケンズ
9. ブロンテ姉妹
10. ハーディー
11. オスカー・ワイルド
12. ローレンス
13. ジョイス
14. T・S・エリオット
15. G・グリーン

授業方法：

英語で書かれた文学史を読み、作品を実際に味わう。毎回、出席者全員で読み進める。

授業目標：

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力を習得する。

評価方法：

試験 100%

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の習得を完全に達成している——S

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の習得を相応に達成している——A

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の習得を相応に達成しているが、
まだ不十分な点がある——B

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の最低限は満たしている——C

Cのレベルに達していない——D

教科書：

配布プリント

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
C31001	英語学A	3・4	2	岡良和

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学校文法、伝統文法、規範文法、記述文法	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

授業のテーマ：

現代の英語学は学問領域として対象が広がっています。英語学の学問領域のなかでも、英語学の基礎ともいえる英文法を講義対象とします。英文法は規則集ではありません。そこで、講義の対象とする英文法は学生になじみのある学校文法を基に、伝統文法および記述文法を視野に入れた穏健な文法観にもとづいた文法について講義をします。

授業の概要：

英文法の用語になじみ、学校文法の理解をさらに深め、学校文法に影響を与えた伝統文法、規範文法をも取り入れた穏健な文法論について理解を深める。

授業の計画：

1回	文の種類（1）	9回	進行形
2回	文の種類（2）	10回	動詞の種類と進行形
3回	文の形態と表現内容	11回	法助動詞の法性
4回	文の構成要素と品詞	12回	許可を表す法助動詞
5回	動詞、時、時制について	13回	可能を表す法助動詞
6回	単純現在形	14回	可能性を表す法助動詞
7回	単純過去形	15回	必然性を表す法助動詞、
8回	完了時制		義務や必要性を表す法助動詞

授業方法：

教科書に従って文法用語、例文、説明文を丁寧に解説する。文法はルールだけを覚えることではなく、表現の違いをできるだけ丁寧に説明して、授業を進める。授業ではこれまでに習った英文法の知識をさらに定着させるように説明を加える。

達成目標：

英文法の用語になれ、既習の学校文法の理解をさらに深める。その上で、伝統文法の有用性を理解し説明できるようにする。

評価方法：

前期末の試験（70%程度）、授業への取り組み（30%）により行う。
 伝統文法に基づく文法を理解し説明できる……………S
 伝統文法に基づく文法を理解している……………A
 学校文法に基づく文法を理解している……………B
 文法用語を説明できる……………C
 Cのレベルに達していない……………D

教科書：

水鳥喜喬、岡田啓、西村道信共著 『大学英文法入門』 英宝社 2,415 円

参考文献：

江川泰一郎著 『英文法解説』 金子書房 1,785 円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C31101	英語学B	3・4	2	岡良和

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学校文法、伝統文法、規範文法、記述文法	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

授業のテーマ：

現代の英語学は学問領域として対象が広がっています。英語学の学問領域のなかでも、英語学の基礎ともいえる英文法を講義対象とします。英文法は規則集ではありません。そこで、講義の対象とする英文法は学生になじみのある学校文法を基に、伝統文法および記述文法を視野に入れた穏健な文法観にもとづいた文法について講義をします。

授業の概要：

英文法の用語になじみ、学校文法の理解をさらに深め、学校文法に影響を与えた伝統文法、規範文法をも取り入れた穏健な文法論について理解を深める。

授業の計画：

1回	未来表現を表す単純現在形	9回	as if, as though 節
2回	未来表現を表す現在進行形	10回	主節 + wish +(tha) 仮定法
3回	be going to, will/shall+ 原形不定詞	11回	祈願文、should の仮定法的用法
4回	be + to 不定詞	12回	関係代名詞
5回	過去時における未来	13回	関係形容詞
6回	説明文の条件文	14回	関係副詞
7回	if 条件節と仮定法	15回	不定関係詞、強調構文
8回	前提節が隠されている仮定法		

授業方法：

教科書に従って文法用語、例文、説明文を丁寧に解説する。文法はルールだけを覚えることではなく、表現の違いをできるだけ丁寧に説明して、授業を進める。授業ではこれまでに習った英文法の知識をさらに定着させるように説明を加える。

達成目標：

英文法の用語になれ、既習の学校文法の理解をさらに深める。その上で、伝統文法の有用性を理解し説明できるようにする。

評価方法：

後期末の試験（70%程度）、授業への取り組み（30%）により行う。

伝統文法に基づく文法を理解し説明できる……………	S
伝統文法に基づく文法を理解している……………	A
学校文法に基づく文法を理解している……………	B
文法用語を説明できる……………	C
Cのレベルに達していない……………	D

教科書：

水鳥喜喬、岡田啓、西村道信共著 『大学英文法入門』 英宝社 2,415 円

参考文献：

江川泰一郎著 『英文法解説』 金子書房 1,785 円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
C31201	英語音声学	3・4	2	岡良和

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
英語の音、日英語の比較、音声習得	コミュニケーション力、グローバルな視野

授業のテーマ：

英語音声の特徴と機能について理解を深め、その知識が「英語らしい」発音の習得にどう生かせるのかを口頭練習を通して学習する。また日本語話者として英語を習得する際の問題点に着目し、日本語と英語の比較を通してその原因と克服法を探る。

授業の概要：

アメリカ英語の音声特徴について、(1) 母音・子音、(2) 連続音声での音声変化、(3) プロソディ(強勢、リズム、イントネーション)の順番で学習を進める。教科書で足りない部分(特に日本語との違いなど)については、こちらでプリントを準備する。

授業の計画：

1. 音声器官と音の分類
2. 母音(強母音と弱母音、短母音)
3. 母音(二重母音、三重母音)
4. 母音(弱母音、半弱母音)
5. 母音のまとめ
6. 子音(閉鎖音、摩擦音)
7. 子音(破擦音、鼻音、側面音、半母音)
8. 音節、子音の結合
9. 語間の音連続、音の脱落、同化
10. 子音、音の連続のまとめ
11. 語アクセント、複合語アクセント
12. 文アクセント、強形と弱形、リズム
13. イントネーションの機能と構造
14. 特殊なイントネーション
15. 綴り字と発音

授業方法：

単元ごとに理論的な解説をまず行い、残りの時間を発音や聴き取りなどの口頭練習に当てる。従って一方的な講義と言うより実習的な性格が強く、受講生の積極的な参加が必須となる。

達成目標：

英語音声学の基礎を養い、その知識を活用して「英語らしい」発音能力を身につける。

評価方法：

実技テストにより行う。
 英語音声の諸特徴をよく理解し、英語らしさを十分備えた音声表現ができる…S
 英語音声の諸特徴を理解し、英語らしさを備えた音声表現ができる……………A
 英語音声の知識を活用し、英語の発音に向上が見られる……………B
 英語音声に対する基本的な知識をもつ……………C
 Cのレベルに達していない……………D

教科書：

今井由美子他著『英語音声学への扉～発音とリスニングを中心に～』英宝社(1,995円)

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D14301	ことばと文化の形成A	3	2	石上文正
C40301	身体文化論特殊講義 I A (ことばと文化の形成)	4		

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ことばは不思議で、魔術的力をもっている	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ:

私たちは、当たり前の日々を、当たり前のように生きています。これは、じつは「不思議」なことです。まず、このことが「不思議」であることに気づいてもらい、そしてこういったことがどのようにして可能なのかについて、ことばや文化から考えていきます。そして、ことばがいかに私たち自身や生活に、大きな影響を与えているかについて、学生が「驚くこと」ことが、授業の目的です。ことばのもっている「力」のすごさは、想像以上です。また、ことばと文化の違いを認識することをとおして異文化理解について考えていきます。私たちは、いかにしたら(外国)人と理解しあえるのでしょうか。このことを考えることも、この授業の大きなテーマです。

授業の概要:

まず、ことば、記号、文化とは何かを考え、つぎにそれらがどのようにして日常性を作り上げているかについて説明します。さらに、この日常性が異文化と接することによってどのように影響を受けるか具体例を挙げながら論じます。最後に、ことばと文化の関係についての、さまざまな考え方について学んでいきます。

授業の計画:

1. ヴァーチャル・リアリティとしての社会・文化環境
2. ことばと(ヴァーチャル・)リアリティの構築
3. ことばの不思議
4. 言語とは何か?
5. 記号とは何か?
6. ことば・記号と身体
7. ことば・記号と現代社会
8. 文化について
9. 異文化理解について
10. サピア・ウォーフの仮説
11. 角田理論
12. 語彙と反応・行動
13. マクルーハンのメディア理論について
14. オングの声の理論について
15. まとめ

授業方法:

基本的には授業は講義形式で行いますが、対話的な方法も取り入れた授業を展開します。学生は、授業を受け身的に受講するのではなく、積極的に考えながら受講してください。教科書は使用しませんが、関連資料を配付して理解を深めます。

達成目標:

ことばと文化について考える力をつけることによって、さまざまな社会・文化現象を分析する力を養います。とくに、「当たり前のこと」を、批判的に分析・思考する態度を身につけることが目標です。

評価方法:

期末に行う試験(60%)およびレポート(30%)によって、学則に則って評価します。期末試験の前には、試験の準備のための詳しいプリントを配布します。なお、授業への積極的な参加や発言も考慮(10%)します。

教科書:

使用しません。ただし、資料として自作のプリントを配布します。

参考文献:

- 『文化記号論』池上・山中・唐須、講談社学術文庫
『言語・思考・現実』ウォーフ、講談社学術文庫
『メディア論——人間の拡張の諸相』マクルーハン、(みすず書房)
『声の文化と文字の文化』オング、(藤原書店)
『日本人の脳』、『続日本人の脳』角田忠信、(大修館書店)

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D14401	ことばと文化の形成B	3	2	石上文正
C40401	身体文化論特殊講義I B (ことばと文化の形成)	4		

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ことばは不思議で、魔術的力をもっている	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ:

私たちは、当たり前の日々を、当たり前のように生きています。これは、じつは「不思議」なことです。まず、このことが「不思議」であることに気づいてもらい、そしてこういったことがどのようにして可能なのかについて、ことばや文化から考えていきます。そして、ことばがいかに私たち自身や生活に、大きな影響を与えているかについて、学生が「驚くこと」ことが、授業の目的です。ことばのもっている「力」のすごさは、想像以上です。また、ことばと文化の違いを認識することをおして異文化理解について考えていきます。私たちは、いかにしたら（外国）人と理解しあえるのでしょうか。このことを考えることも、この授業の大きなテーマです。

授業の概要:

まず、ことば、記号、文化とは何かを考え、つぎにそれらがどのようにして日常性を作り上げているかについて説明します。さらに、この日常性が異文化と接することによってどのように影響を受けるか具体例を挙げながら論じます。最後に、ことばと文化の関係についての、さまざまな考え方について学んでいきます。

授業の計画:

- 1～3. 日本語について
- 4～6. 日本語と英語
- 7～9. 『雪国』の英訳を通して見た日本語と英語
- 10～11. 異文化について
12. 日本文化の異文化との接触（古代～近世）
13. 日本文化の異文化との接触（明治～現代）
- 14～15. 日米の文化比較（日本人の同調性について）

授業方法:

基本的には授業は講義形式で行いますが、対話的な方法も取り入れた授業を展開します。学生は、授業を受け身的に受講するのではなく、積極的に考えながら受講してください。教科書は使用しませんが、関連資料を配付して理解を深めます。

達成目標:

ことばと文化について考える力をつけることによって、さまざまな社会・文化現象を分析する力を養います。とくに、「当たり前のこと」を、批判的に分析・思考する態度を身につけることが目標です。

評価方法:

期末に行う試験(60%)およびレポート(30%)によって、学則に則って評価します。期末試験の前には、試験の準備のための詳しいプリントを配布します。なお、授業への積極的な参加や発言も考慮(10%)します。

教科書:

使用しません。ただし、資料として自作のプリントを配布します。

参考文献:

- 『文化記号論』池上・山中・唐須、講談社学術文庫
- 『英語の感覚』（上・下）大津栄一郎（岩波新書）
- 『日本語と外国語』鈴木孝夫（岩波新書）
- 『シリーズ認知言語学入門 認知文法論Ⅱ』中村芳久編、（大修館書店）
- 『「甘え」の構造』土居健郎（弘文堂）
- 『間人主義の社会』浜口恵俊（東洋経済新報社）
- 『かくれた次元』E・ホール（みすず書房）

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D15701	実用英語 I A (TOEIC 対策)	3・4	1	石上文正

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
TOEIC で少しでも高得点をとるための準備	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

いまや、さまざまな場面で英語の力が問われる時代になってきました。そのような時代に、その力を示す「数値」として TOEIC で何点取れたかが、標準になりつつあります。そこで、この授業では、少しでも高得点を取れる力をつけることがテーマです。

授業の概要：

使用教科書は、TOEIC の各パートがバランスよく配置され、それぞれに類似問題、その解法のポイントが示されている非常によくできた教科書なので、教科書にそって授業をおこないます。

授業の計画：

- 1～2. Unit 1 9～10. Unit 5
- 3～4. Unit 2 11～12. Unit 6
- 5～6. Unit 3 13～14. Unit 7
- 7～8. Unit 4 15. まとめ・復習

授業方法：

各授業時間は、教科書にそって、つぎのような順序でおこないます。

1. 解法のポイントの説明
2. 問題を解く
3. 問題の解説
4. 復習・暗記

英語学習は、授業ばかりでなく、自宅学習が大切であり、自宅での復習を必ずおこなってください。

達成目標：

英語学習の仕方をまなび、最終的に TOEIC で少しでも高得点をとること。

評価方法：

定期試験によって、学則に従った評価をします。なお、試験の前には準備すべき点を詳細に示したプリントを配布します。

教科書：

『TOEIC テスト スコアアップのための総合英語』南雲堂、田中清美 和田ゆり編著 2,000 円＋税
英和辞典を持参すること

参考文献：

授業中に紹介します

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D15801	実用英語 I B (TOEIC 対策)	3・4	1	石上文正

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
TOEIC で少しでも高得点をとるための準備	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

授業のテーマ：

いまや、さまざまな場面で英語の力が問われる時代になってきました。そのような時代に、その力を示す「数値」として TOEIC で何点取れたかが、標準になりつつあります。そこで、この授業では、少しでも高得点を取れる力をつけることがテーマです。

授業の概要：

使用教科書は、TOEIC の各パートがバランスよく配置され、それぞれに類似問題、その解法のポイントが示されている非常によくできた教科書なので、教科書にそって授業をおこないます。

授業の計画：

- | | |
|--------------|----------------|
| 1～2. Unit 8 | 9～10. Unit 12 |
| 3～4. Unit 9 | 11～12. Unit 13 |
| 5～6. Unit 10 | 13～14. Unit 14 |
| 7～8. Unit 11 | 15. まとめ・復習 |

授業方法：

各授業時間は、教科書にそって、つぎのような順序でおこないます。

1. 解法のポイントの説明
2. 問題を解く
3. 問題の解説
4. 復習・暗記

英語学習は、授業ばかりでなく、自宅学習が大切であり、自宅での復習を必ずおこなってください。

達成目標：

英語学習の仕方をまなび、最終的に TOEIC で少しでも高得点をとること。

評価方法：

定期試験によって、学則に従った評価をします。なお、試験の前には準備すべき点を詳細に示したプリントを配布します。

教科書：

『TOEIC テスト スコアアップのための総合英語』南雲堂、田中清美 和田ゆり編著 2,000 円＋税
英和辞典を持参すること

参考文献：

授業中に紹介します

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B21301	住環境デザイン論特殊講義 I A (建築デザイン論)	3・4	2	島崎義治

期間	曜日	時限	備考:
前期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
建築、設計、つくる、プロセス、コンセプト	美的感受性、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ:

空間とは何か
 建築とは何か
 環境とは何か
 デザインとは何か について深く考えること。

授業の概要:

建築家の持つつくる立場から、建築にかかわる組織や分野、設計の進め方や基盤となる理念について考えます。また、<設計プロセス>では、受講者自ら手を動かし、ワークショップ形式で設計エスキスを行います。

授業の計画:

- | | |
|----------------|-------------|
| A. 建築設計論 | 9. ワークショップ |
| 1. 建築設計論について | 10. ワークショップ |
| <建築のプロセス> | 11. 課題講評1 |
| 2. 設計から建設 | 12. 課題講評2 |
| 3. 設計の各段階 | <建築設計論> |
| 4. 建築にかかわる組織1 | 13. 建築家論1 |
| 5. 建築にかかわる組織2 | 14. 建築家論2 |
| <設計のプロセス> | 15. 建築家論3 |
| 6. 大学キャンパスについて | |
| 7. キャンパスの調査 | |
| 8. ワークショップ | |

授業方法:

毎回、テーマをひとつ掲げ、それにかかわる多数の映像を紹介し、説明を加えます。受講者はスクリーンの画像を見ることと、提起される問題点を深く考察することによって、建築を設計することとはどういうことかを検証します。ディスカッションやワークショップを取り入れるので、発言や質問による積極的な授業参加が必要です。

達成目標:

実際の建築が生み出されるプロセスやスタイルを知り、つくる立場から建築やデザインの意味や意義を実感できること。

評価方法:

テーマに取り組み、
 S: 達成目標を超えて、自らの視点によって重要な課題が発見できた。
 A: 達成目標に到達でき、重要な課題が発見できた。
 B: 十分とは言えないが、課題が発見できた。
 C: 課題を発見しようとする努力が感じられた。
 D: 取り組みが不足し、課題発見にも至らなかった。
 授業の取り組み点 60%、課題レポートの提出ならびに発表による点 40%

教科書:

無し。参考文献は必要に応じ説明します。

参考文献:

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B21401	住環境デザイン論特殊講義 I B (建築デザイン論)	3・4	2	島崎義治

期間	曜日	時限	備考:
後期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
建築、設計、つくる、プロセス、コンセプト	美的感受性、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力 (意思決定力)

授業のテーマ:

空間とは何か
 建築とは何か
 環境とは何か
 デザインとは何か について深く考えること。

授業の概要:

建築を構成する要素の意味や働きを考察した上で、実際のモデルとなる現代建築を視察し、その分析を行い、課題レポートとして提出する。

授業の計画:

- | | |
|-------------|-------------|
| B. 建築構法論 | 8. 屋根 |
| 1. 建築構法について | 9. 壁 |
| <建築の領域> | 10. 窓 |
| 2. 構造/架構 | 11. 階段 |
| 3. インテリア | 12. 課題講評 |
| 4. 設備 | <建築の寸法> |
| 5. ランドスケープ | 13. ワークショップ |
| 6. 課題講評 | 14. ワークショップ |
| <建築の構成> | 15. まとめ |
| 7. 基礎 | |

授業方法:

毎回、テーマをひとつ掲げ、それにかかわる多数の映像を紹介し、説明を加えます。受講者はスクリーンの画像を見ることと、提起される問題点を深く考察することによって、建築を設計するということはどういうことかを検証します。ディスカッションやワークショップを取り入れるので、発言や質問による積極的な授業参加が必要です。

達成目標:

建築を構成する要素の意味や働きを考え、それらのそれぞれに内蔵される社会性や芸術性を発見すること。

評価方法:

テーマに取り組み、
 S: 達成目標を超えて、自らの視点によって重要な課題が発見できた。
 A: 達成目標に到達でき、重要な課題が発見できた。
 B: 十分とは言えないが、課題が発見できた。
 C: 課題を発見しようとする努力が感じられた。
 D: 取り組みが不足し、課題発見にも至らなかった。
 授業の取り組み点 60%、課題レポートの提出ならびに発表による点 40%

教科書:

無し。参考文献は必要に応じ説明します。

参考文献:

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B21801	住環境デザイン論演習及び実習	3・4	4	島崎義治

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
空間、建築、環境、デザイン	美的感受性、コミュニケーション力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

具体的な設計課題に取り組み、自ら課題作品を制作することによって、
 空間とは何か
 建築とは何か
 環境とは何か
 デザインとは何か について深く考えます。

授業の概要：

年間4～5程度の課題作品を制作します。各課題ごとに取り組みべき内容や進め方を説明した後、受講者の制作状況を見ながら随時アドバイスやサポートを行います。提出期限に合わせ、受講者自ら研究、設計制作を行い、課題作品を完成させます。

授業の計画：

<前期>

1. まちなみ美術館計画
2. 公民館計画

<後期>

3. ファンスワース邸改築計画
4. 礼拝堂計画

授業方法：

授業時は毎回、受講者自ら進めてきた検討内容を報告したり、互いに意見交換を行ったり、教員がアドバイスをしたりすることで、課題作品を高め、作品として完成させてゆくことで授業が進みます。住環境デザイン研究室のPCやプリンター、製図板などの備品を使いますが、課題や図面制作、モデル制作のための道具等を各自購入のこと。モデル等の制作材料、アウトプット用消耗品等は実習費で購入します。

達成目標：

- ・課題作品に潜む社会の問題点を探求し、取り組むテーマを発見する。
- ・テーマを具現化するコンセプトを発見し、魅力ある建築空間をつくる。
- ・つくりたい、人に伝えたいという表現意欲を持って課題作品を完成させる。
- ・美しくプレゼンテーションする技術とセンスを磨く。

評価方法：

テーマに取り組み

S：自らの独自の表現によって達成目標を超えて、重要な課題を発見することができた。

A：達成目標に到達でき、重要な課題を発見することができた。

B：十分な表現とは言えないが、課題を発見することができた。

C：課題を発見しようとする努力が感じられた。

D：取り組みが不足し、課題の発見に至らなかった。

授業の取り組み点40%、課題作品による点60%

教科書：

なし。参考文献は必要に応じ説明します。

参考文献：

実験・実習・教材費：

15,000円：課題制作用消耗品（モデル一般材料、文房具、画材、印刷用消耗品等）
 副専攻学生の課題内容は建築作品には限定しないので、副専攻学生の受講も歓迎です。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D21301	茶道文化論特殊講義 I A (茶道史)	3・4	2	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考:
前期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
北山文化 東山文化	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ:

「生活芸術としての茶の湯文化を日本文化史の中で探求する」

授業の概要:

日本独自の伝統文化としての茶道は、平和のシンボルとして現代の日本人の心のよりどころとなるものです。茶の湯文化の変容・発展過程を王朝文化、南北朝・室町文化史の中で捉えて考察する。

授業の計画:

茶はもともと中国で飲用され、中国文化として我が国に将来された。唐時代の団茶、宋時代の抹茶、明時代の煎茶と時代により、茶の湯文化は変容するが、特に抹茶は、南北朝から室町時代にかけてわが国の様々な生活芸術の一つとして確立する。

- (1) 花開く王朝文化
 1. 貴族の文化
 2. 3. 喫茶の始まり
 4. 絵画と書
 5. 6. 土器から陶器へ
- (2) 茶道・香道・華道と水墨画
 7. 8. 室町將軍家と諸文化
 9. 10. 茶の湯の成立
 11. 12. 華道・香道・連歌
 13. 14. 水墨画の時代
 15. まとめ

授業方法:

基本的には講義形式で進めますが、必要に応じてビデオやプリントなど資料を用いていきます。

達成目標:

茶の湯文化の背景を学ぶ

評価方法:

授業態度を重視
筆記試験とレポート課題

教科書:

よくわかる伝統文化の歴史「花ひらく王朝文化」(淡交社 1,680 円)
よくわかる伝統文化の歴史「茶道・香道・華道と水墨画」(淡交社 1,680 円)

参考文献:

神津朝夫著「茶の湯の歴史」(角川選書 1,600 円+税)

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D21401	茶道文化論特殊講義 I B (茶道史)	3・4	2	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考:
後期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
南蛮文化 千利休 武家茶の湯	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ:

「生活芸術としての茶の湯文化を日本文化史の中で探求する」

授業の概要:

日本独自の伝統文化としての茶道は、平和のシンボルとして現代の日本人の心のよりどころとなるものです。茶の湯文化の変容・発展過程を安土・桃山の文化史、江戸の文化史の中で捉えて考察する。

授業の計画:

千利休によって確立した茶の湯文化とその変容を日本文化史の中で考察する。

- (1) 黄金文化と茶の湯
 - 1. 2. 南蛮文化と黄金文化
 - 3. 4. 茶の湯の黄金時代
 - 5. 6. 新しい焼き物の時代
 - 7. 衣服と染織
- (2) 大名と町衆文化
 - 8. 9. 江戸文化の諸相
 - 10. 11. 武家茶の湯の拡がり
 - 12. 13. 数寄空間の展開
 - 14. 琳派と諸工芸
 - 15. まとめ

授業方法:

基本的には講義形式で進めますが、必要に応じてビデオやプリントなど資料を用いていきます。

達成目標:

茶の湯文化の歴史を日本史の背景の中で把握し、日本文化の中での茶道の影響を学ぶ

評価方法:

授業態度を重視
筆記試験とレポート課題

教科書:

よくわかる伝統文化の歴史「黄金文化と茶の湯」(淡交社 1,680 円)
よくわかる伝統文化の歴史「大名と町衆の文化」(淡交社 1,680 円)

参考文献:

神津朝夫著「茶の湯の歴史」(角川選書 1,600 円+税)

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D21801	茶道文化論演習及び実習	3・4	4	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
千利休 古田織部 細川三斎 小堀遠州 千宗旦	分析・総合の思考力と判断力、コミュニケーション力、社交性グローバルな視野

授業のテーマ：

「利休・織部・三斎・遠州・宗旦の美学と茶事の実践」

授業の概要：

茶の湯大成者である千利休、弟子古田織部・細川三斎、そして利休の孫千宗旦と同時代の生きた大名茶人小堀遠州について。それぞれの茶の湯・茶道具・茶室・美学などに関わる事柄を挙げ、5茶匠の茶人としての人間像を言及する。そして茶事の実践を通して茶の湯の本質を学ぶ。

授業の計画：

前期

- | | |
|-----------------|------------|
| 1、利休伝書（抄） | 2、利休の茶室 |
| 3、利休の茶道具 | 4、秀吉と利休の美学 |
| 5、利休にとっての茶祖「珠光」 | 6、武野紹鷗とわび |
| 7、「南方録」（覚書） | 8、利休遺産の継承 |
| 9、織部伝書（抄） | 10、織部の茶室 |
| 11、織部の茶道具 | 12、織部の美学 |
| 13、「南方録」（減後） | 14、「山上宗二記」 |
| 15、まとめ | |

後期

- | | |
|---------------|---------------|
| 1、三斎伝書（抄） | 2、三斎の茶室 |
| 3、三斎の茶道具 | 4、三斎の美学 |
| 5、遠州伝書（抄） | 6、遠州の茶室 |
| 7、遠州の茶道具 | 8、遠州の美学 |
| 9、「長闇堂記」（1） | 10、「長闇堂記」（2） |
| 11、「長闇堂記」（3） | 12、「茶話指月集」（1） |
| 13、「茶話指月集」（2） | 14、「茶話指月集」（3） |
| 15、茶実習 | |

授業方法：

教科書に従って解説し、事前に学生が適宜学生が資料を集め、分担して発表させる。

達成目標：

利休、織部、三斎、遠州、宗旦の5人の茶匠の茶の湯を理解する。

評価方法：

発表とレポート課題（70%程度）授業への取り組み（30%）

教科書：

筒井絃一著『南方録（覚書・減後）』（淡交社／1,200円＋税）
 神津朝夫著『長闇堂記 茶道四祖伝書（抄）』（淡交社／1,200円＋税）
 谷端昭夫著『茶話指月集 江岑夏書』（淡交社／1,200円＋税）

参考文献：

実験・実習・教材費：

3,000円（茶事の方法費、消耗品費）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D23301	日本美術文化論特殊講義 I A (空間表現と美術制作)	3・4	2	菅原太

期間	曜日	時限	備考:
前期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
近世風俗画 浮世絵 錦絵 遊女	分析・総合の思考力と判断力 価値判断力 (意思決定力) 美的感受性

授業のテーマ:

街頭や車内広告、テレビCM、雑誌の表紙にいたるまで、現代の視覚環境には美しい女性イメージが反乱しています。それらを“美人画”の範疇と考えると、そのルーツは近世に遊女を描くことから始まり、やがて浮世絵として広く普及していったと考えられます。講義では日本絵画の空間表現や身体表現を、日本人にとって関心の高い“美人画”を通して見てゆきます。

授業の概要:

17世紀の婦女遊楽図に始まり、浮世絵へと展開する風俗図・美人図を軸に、日本絵画の空間・身体を考えます。

授業の計画:

1. 授業の概要説明
2. 近世風俗画の成り立ち
3. 屏風と空間
4. 彦根屏風とその空間・身体表現 1
5. 彦根屏風とその空間・身体表現 2
6. 松浦屏風とその空間・身体表現
7. 湯女図屏風とその空間・身体表現
8. 寛文美人図とその空間・身体表現
9. 初期浮世絵の成り立ち
10. 錦絵の成り立ち
11. 鈴木春信とその空間・身体表現
12. 鳥居清長とその空間・身体表現
13. 喜多川歌麿とその空間・身体表現
14. 葛飾北斎とその空間・身体表現
15. まとめ

*より適切な資料の入手や展覧会の開催等があった場合は内容の変更があります。

授業方法:

プリントされた図版や映像を使った講義。

達成目標:

日本の古典絵画に親しみ、現代との美意識や価値観の共通点・相違点を考え、日本文化を理解する。

評価方法:

期末テスト 70%、授業に対する取組み 30%

- 作品を理解した上で自分の美意識や価値観に沿った意見を述べられる・・・S
 歴史的変遷に沿った作品の主題や様式、技法を理解している・・・A
 作品の主題や様式、技法を理解している・・・B
 作品名、作者、制作年代、形式、技法を知っている・・・C
 Cのレベルに満たない・・・D

教科書:

参考文献:

- 佐伯順子『遊女の文化史』中央公論社 699円
 奥平俊六『彦根屏風-無言劇の演出-』平凡社 3,500円
 佐藤康宏『湯女図-視線のドラマ-』平凡社 2,900円

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D23401	日本美術文化論特殊講義 I B (空間表現と美術制作)	3・4	2	菅原太

期間	曜日	時限	備考:
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
琳派 光悦 宗達 光琳 屏風絵	分析・総合の思考力と判断力 価値判断力 (意思決定力) 美的感受性

授業のテーマ:

琳派と呼ばれる一群の近世の日本絵画は、西洋絵画はもちろんのこと近代以前に常に影響を受けた中国絵画とも全く違う絵画表現とされています。その琳派作品を通して日本人独自の感性や表現とは何かを考え、その宇宙観や思想、美意識に触れます。

授業の概要:

琳派(俵屋宗達、尾形光琳、酒井抱一を中心に)の絵画の持つ空間意識や、それに託された意味を考えます。

授業の計画:

1. 琳派について
2. 琳派と空間表現
3. 本阿弥光悦と俵屋宗達
4. 俵屋宗達と舞楽図屏風
5. 俵屋宗達と水墨画
6. 俵屋宗達と風神雷神図屏風
7. 尾形光琳
8. 尾形光琳と燕子花図屏風 1
9. 尾形光琳と燕子花図屏風 2
10. 尾形光琳と燕子花図屏風 3
11. 尾形光琳と紅白梅図屏風 1
12. 尾形光琳と紅白梅図屏風 2
13. 酒井抱一と江戸琳派
14. 酒井抱一と夏秋草図屏風
15. まとめ

* より適切な資料の入手や展覧会の開催等があった場合は内容の変更があります。

授業方法:

プリントされた図版や映像を使った講義。

達成目標:

日本の古典絵画に親しみ、現代との美意識や価値観の共通点・相違点を考え、日本文化を理解する。

評価方法:

期末テスト 70%、授業に対する取組み 30%

作品を理解した上で自分の美意識や価値観に沿った意見を述べられる・・・S

歴史的変遷に沿った作品の主題や様式、技法を理解している・・・A

作品の主題や様式、技法を理解している・・・B

作品名、作者、制作年代、形式、技法を知っている・・・C

Cのレベルに満たない・・・D

教科書:

参考文献:

玉虫 敏子『夏秋草図屏風 - 追憶の銀色 -』平凡社 3,200 円

実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D23801	日本美術文化論演習及び実習	3・4	4	菅原太

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本画 絵巻 物語	コミュニケーション力 分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 美的感受性

授業のテーマ：

日本絵画形式をテーマに、彩色画、水墨画、コラージュ、CG等、様々な素材とアプローチによる作品制作をおこない、伝統文化を現代の生活空間の中で、どのように再生させていくかを考えます。

授業の概要：

日本絵画の形式として時間や物語を表現する絵巻の現代的な可能性を探ります。

授業の計画：

前期：

絵巻の使用法と構造の研究
 テーマ設定及び素材と技法の選択
 素材の収集やラフ案の作成

後期：

制作案のプレゼンテーションと討議
 作品制作
 制作物の展示とプレゼンテーション

授業方法：

画材による描画彩色やCGによる制作の実習と発表。

達成目標：

絵巻の形式を生かした表現法と使用法の創出

評価方法：

授業への取り組み 20%、提出作品 50%、プレゼンテーション 30%。

- ・ 絵画形式を理解した上で自己の美意識や価値観に沿った創意工夫のある課題作品の提出・発表… S
- ・ 絵画形式の理解と創意工夫のある課題作品の提出・発表… A
- ・ 絵画形式を十分に理解した課題作品の提出・発表… B
- ・ 絵画形式をふまえた課題作品の提出・発表… C
- ・ 課題作品の未提出・出席不良… D

教科書：

参考文献：

実験・実習・教材費：

5,000 円

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
D31001	華道文化論 A	3・4	2	三浦友馨

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
・庭先で咲く花を知る・植物の原産地と移動物語・万葉の人々のこのみの花は・平安の人々のこのみの花は・文化人のこのむ花は	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、美的感受性

授業のテーマ：

日本の文化・芸能は、四季の変化の中で生み出され、発展してきた。他文化との関連を見ながらいけばなの原点を見つめる。

授業の概要：

- ・春・夏に咲く花の名前、特徴を知らせる。
- ・植物と文化とのかかわりを知らせる。

授業の計画：

- ・三回のレポートに基づき授業を展開する。
- ・発表することにより、知識の蓄積をめざす。

授業方法：

基本的には、講義方式をとるが、実際には身のまわりに咲く、草花に触れながら理解を深める。3回のレポート提出により、学生の発表の場を授業とする。

達成目標：

古代・近代にとりあげられた様々の植物の存在を知る。個々の植物の持つ特徴を知る。

評価方法：

レポート提出による。

教科書：

なし

参考文献：

仙伝抄、立華大全、池坊花伝書などの古文献

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D31101	華道文化論B	3・4	2	三浦友馨

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
・庭先で咲く花を知る・植物の原産地と移動物語・万葉の人々のこのみの花は・平安の人々のこのみの花は・文化人のこのむ花は	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、美的感受性

授業のテーマ：

いけばなや植物は、様々の行事に大きな影響を与えてきた。将来、植物が人々の生活にいかなる活力を与えるのか、思考を深める。

授業の概要：

秋の七草、クリスマスの花、正月の花について考え、授業での発表により知識を深める。

授業の計画：

- ・秋の七草の特徴を知るためのレポートとその発表の場としての授業を展開する。
- ・クリスマスの花、正月の花も同様に展開し、新たな行事の花について考察をする。

授業方法：

基本的には、講義方式をとるが、3回のレポート提出により、学生の発表の場を授業とする。

達成目標：

今日の日本人が大切にしている様々な行事と植物との関連を知る。新たな行事の花を考えてみる。

評価方法：

レポート提出による。

教科書：

なし

参考文献：

仙伝抄、立華大全、池坊花伝書などの古文献

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D31401	美術・デザイン基礎実習	3・4	2	菅原太

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
石膏デッサン プロポーション カラーコーディネート	コミュニケーション力 問題解決力 美的感受性

授業のテーマ：

色や形をどうすれば美しく表現できるのか。絵が上手いとか、色のセンスが良いというのは才能だけの問題ではありません。ちょっと視点を変えた訓練によって潜在的な能力が目覚めるものです。美術、デザイン、マンガ、イラストレーション等、ジャンルを問わず色と形の“基礎体力”を養います。

授業の概要：

前期：石膏デッサン
石膏像をモチーフに、プロポーション（比例）に重点を置いた、美しい形態や構成の追求。
鉛筆と画用紙を使用。
後期：色彩基礎
配色カード、ポスターカラーを用いた、配色、混色等、基礎的な色彩理論実習。

授業の計画：

- | | |
|--------------------|-----------------------------------|
| 前期： | 後期： |
| 1. 石膏像の解説と、用具の説明。 | 1. 色彩の基礎理論講義。 |
| 2. アグリッパ像のデッサン | 2. 配色カードによる色の3属性とトーン概念のカラーチャート制作。 |
| 3. アグリッパ像のデッサン | 3. 等色相面図の作成。 |
| 4. 合評会 | 4. テーマを設定した配色実習 |
| 5. マルス像のデッサン | 5. テーマを設定した配色実習 |
| 6. マルス像のデッサン | 6. テーマを設定した配色実習、合評会 |
| 7. 合評会 | 7. 水彩絵具による混色と配色の演習 |
| 8. ラポルト像のデッサン | 8. 水彩絵具による混色と配色の演習 |
| 9. ラポルト像のデッサン | 9. 水彩絵具による混色と配色の演習 |
| 10. ラポルト像のデッサン | 10. ファッションカラーコーディネート実習 |
| 11. 合評会 | 11. ファッションカラーコーディネート実習 |
| 12. ミロのヴィーナス像のデッサン | 12. ファッションカラーコーディネート実習、合評会 |
| 13. ミロのヴィーナス像のデッサン | 13. インテリアカラーコーディネート実習 |
| 14. ミロのヴィーナス像のデッサン | 14. インテリアカラーコーディネート実習 |
| 15. 合評会 | 15. インテリアカラーコーディネート実習、合評会 |
- * 各石膏像につき2～3回。4グループに分かれての持ち回りとなるので順不同。
* 受講生の進行状況により変更あり。

授業方法：

鉛筆を使ったデッサン。色彩カードと水彩絵具（デザインガッシュ）による色彩演習。各課題終了後には合評会を設ける。

達成目標：

プロポーションの理解、配色に重点を置き、描写力、構構力、色彩感覚といった美術・デザインの基礎的な技術・感性の習得をめざす。

評価方法：

提出作品（年間8課題くらい）による評価。
授業に対する取組み30%、課題作品70%
・基礎的な技術、感性を踏まえた上での、作品をより効果的に伝達する為の創意工夫、自己の価値観や美意識を反映した作品制作・・・・・・・・・・・・・・・・・・ S
・与えられた課題と素材の十分な理解、技法の習得、作品をより効果的に伝達する為の創意工夫・ A
・与えられた課題と素材の基礎的な理解と技法の習得・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B
・与えられた課題と素材の基礎的な理解と課題提出・・・・・・・・・・・・・・・・・・ C
・課題の未提出・・・・・・・・・・・・・・・・・・ D

教科書：

参考文献：

実験・実習・教材費：
材料費 3,000 円

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D32501～3	茶道実習 I	3・4	2	神谷昇司

授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
D32501	通年	火	1	
D32502	通年	火	2	
D32503	通年	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
和敬清寂 薄茶 盆略点前 床の間	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、美的感受性

授業のテーマ：

「座礼の日本文化である茶道を通して主客の心を学ぶ」

授業の概要：

点前の規律正しさ、節度ある人との対応の仕方、人間としての本来の姿を養うことを目的とする。亭主と客の動作の実習を通して茶道の真の相を学び、和敬清寂の茶道精神を体得し、人に対しても物に対しても気配りのできる感性豊かな人間形成を目指す

授業の計画：

以下の手順にて実習：

（前期）

- (1) 襖のあけしめ、お辞儀の仕方 真、行、草、お菓子、お茶の頂き方
- (2) (3) ふくさの扱い方、割稽古
- (4) 席入りの仕方、床の拝見
- (5) (6) (7) (8) 盆略点前
- (9) (10) 柄杓の扱い方
- (11) (12) (13) (14) 風炉 薄茶 平点前
- (15) 柏露軒茶会

（後期）

- (1) ～ (7) 風炉運び点前
- (8) ～ (14) 炉運び点前
- (15) 柏露軒茶会

授業方法：

授業のはじめに「ことば」「利休道歌」「四規七則」の唱和
前期、後期各一度ずつ名古屋にある神谷柏露軒・孤庵・猿庵にて、茶室見学並びに実習をいたします。

達成目標：

茶道の基本である盆略点前とび薄茶平点前を習得する。茶道文化検定を受検して茶道力を養う。

評価方法：

授業への取り組みを重視。
申請によって裏千家初級の資格（入門・小習・茶箱の許状）が取得できます。

教科書：

『裏千家茶道』（財団法人今日庵発行／900円）
裏千家茶道文化検定3・4級用（1,260円）

参考文献：

実験・実習・教材費：

10,000円（抹茶・菓子代、消耗品費） 道具を持っていない場合は別途道具代が必要
（履修の手引き「茶道の許状取得と茶道実習の履修方法」参照）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D32601～3	茶道実習Ⅱ	3・4	2	神谷昇司

授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
D32601	通年	火	1	
D32602	通年	火	2	
D32603	通年	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
人風炉と炉 平点前 茶箱	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、美的感受性

授業のテーマ：

「茶道の作法を通して日本文化の心を学ぶ」
 棚薄茶点前及び風炉濃茶点前、また茶箱点前を習得致します。

授業の概要：

実習Ⅰに引きつぎ実習Ⅱでは、風炉濃茶点前・炉薄茶（はこび・棚）の実習を致します。履修者には茶通箱・唐物・台天目の裏千家許状取得の資格が得られます。なお茶通箱・唐物・台天目・盆点・和巾についてはその内容についての説明と点前・盆点・和巾手順を解説いたします。

授業の計画：

前期は風炉の点前、後期は炉の点前
 1、2、3、風炉 薄茶 運び平点前
 4、5、風炉 薄茶 運び平点前 拝見
 6、7、風炉 薄茶 棚平点前
 8、9、風炉 薄茶 棚平点前 拝見
 9、10、風炉 濃茶 割けい古
 11、12、濃茶における客の作法
 13、14、風炉 濃茶 運び点前
 15、柏露軒茶会
 1、2、3、炉 薄茶 運び平点前
 4、5、炉 薄茶 運び平点前 拝見
 6、7、炉 薄茶 棚平点前
 8、9、炉 薄茶 棚平点前 拝見
 9、10、炉 濃茶 割けい古
 11、12、濃茶における客の作法
 13、14、炉 濃茶 運び点前
 15、柏露軒茶会

授業方法：

授業のはじめに「ことば」「利休道歌」「四規七則」の唱和
 前期、後期各一度ずつ名古屋にある神谷柏露軒・孤庵・猿庵にて、茶室見学並びに実習をいたします。

達成目標：

棚薄茶点前及び風炉濃茶点前、また茶箱点前を習得する。また茶道文化検定を受検して茶道力を養う。

評価方法：

授業への取り組みを重視。
 「ことば」「四規七則」「利休道歌」「歴代家元」等暗誦の為の小テスト

教科書：

『裏千家茶道』（財団法人今日庵発行／900円）
 裏千家茶道文化検定3・4級用（1,260円）

参考文献：

『茶道教本 風炉』（淡交社／1,200円＋税）
 『茶道教本 炉』（淡交社／1,200円＋税）

実験・実習・教材費：

10,000円（抹茶・菓子代、消耗品費）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D32701～3	茶道実習Ⅲ	3・4	2	神谷昇司

授業コード	期間	曜日	時限	備考：
D32701	通年	火	1	
D32702	通年	火	2	
D32703	通年	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
荘物（かざりもの） 濃茶 棚点前	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、美的感受性

授業のテーマ：

「くりかえし反復練習して五感と体で覚える」

授業の概要：

各学生のレベルに合わせて棚薄茶点前、荘物（かざりもの）点前、運び濃茶点前を実習します。奥伝（唐物、台天目、盆点、和巾点）の説明と点前の心構えの説明を致します。履修者の内、特に優秀な学生には「行之行台子」の裏千家許状取得が得られます。なお行台子については、その内容についての説明と点前手順の解説を致します。

実習Ⅱに引き続き、前期は風炉棚薄茶点前、荘物、濃茶運び点前、後期は炉棚薄茶点前、荘物、濃茶運び点前習の実習を致します。

授業の計画：

（前期）風炉	（後期）炉
1、2、 更好棚薄茶点前	1、2、 更好棚薄茶点前
3、4、 丸卓薄茶点前	3、4、 丸棚薄茶点前
5、6、 桑小卓薄茶点前	5、6、 桑小卓薄茶点前
7、 荘物における客の作法	7、 荘物における客の作法
8、 茶筌荘	8、 茶筌荘
9、 茶碗荘	9、 茶碗荘
10、 茶杓荘	10、 茶杓荘
11、 濃茶の割り稽古	11、12、13、14、 炉濃茶運び点前
12、13、14、 風炉濃茶運び点前	15 柏露軒茶会
15、 柏露軒茶会	

授業方法：

授業のはじめに「ことば」「利休道歌」「四規七則」を唱和。各自のレベルに応じて棚薄茶・荘物・濃茶の点前を反復実習します。客の作法も学びます。

前期、後期各一度ずつ名古屋にある神谷柏露軒・孤庵・猿庵にて、茶室見学並びに実習をいたします。

達成目標：

薄茶と濃茶の違いを習得する。茶道文化検定（2級・3級・4級）を受検して茶道力を養う。

評価方法：

出席を重視

「利休道歌」「歴代家元」、「楽家代々」等暗誦の為の小テスト

教科書：

茶道検定公式テキスト（1・2級用）（2,100円）

参考文献：

『茶道教本 小習事全伝 上』（淡交社／1,575円）

実験・実習・教材費：

10,000円（抹茶・菓子代、消耗品費）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D32801～3	茶道実習Ⅳ	3・4	2	神谷昇司

授業コード	期間	曜日	時限	備考：
D32801	通年	火	1	
D32802	通年	火	2	
D32803	通年	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
四ヶ伝（茶通箱・唐物・台天目・盆点）	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、美的感受性

授業のテーマ：

「茶の湯とは心に伝え目に伝え耳に伝えて一筆もなし」
茶道は繰り返し練習することで五感と体で覚える。

授業の概要：

各学生のレベルに合わせて、茶通箱（さつうばこ）、唐物、台天目、盆点、和巾点の実習を致します。これらの点前を習得した履修者には行の行台子の点前実習を致します。履修者の内、特に優秀な学生には「大円之草（だいえんのそう）」と「引次（ひきつぎ）」の裏千家許状取得の資格が得られます。なお大円之草についてはその内容についての説明と点前手順の解説を致します。実習Ⅲに引き続き、茶通箱を習得し、奥伝の実習を致します。なお優秀な学生には行の行台子の点前の実習を致します。基本的に前期は風炉点前：後期は炉点前

授業の計画：

前期は風炉の点前、後期は炉の点前
1, 2. 茶通箱（さつうばこ）
3, 4. 唐物（からもの）
5, 6. 台天目（だいてんもく）
7, 8. 盆点（ぼんだて）
9, 10. 和巾点（わきんだて）
11, 12. 行の行台子
13, 14. 初炭（しょずみ）
15. 柏露軒茶会

授業方法：

授業のはじめに「ことば」「利休道歌」「四規七則」を唱和。各自のレベルに応じて濃茶・荘物・四ヶ伝の点前を反復実習します。客の作法も学びます。前期、後期各一度ずつ名古屋にある神谷柏露軒・孤庵・猿庵にて、茶室見学並びに実習をいたします。

達成目標：

もう一度初心に戻って茶道に対する心構えを見直す。茶道文化検定（1級・2級・3級）を受検して茶道力を養う。

評価方法：

授業への取り組みを重視
「利休道歌」「歴代家元」「楽家代々」「茶道知識」等暗誦の為の小テスト

教科書：

茶道検定公式テキスト（1・2級用）(2,100円)

参考文献：

実験・実習・教材費：

10,000円（抹茶・菓子代、消耗品費）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D32901	華道実習 I A (生花)	3・4	(1)	加藤碧玻

期間	曜日	時限	備考：I A・I B 両方取得して2単位
通年	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
楽しい時間、癒し、対話	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性

授業のテーマ：

生花の基本的技法、知識を学ぶ。
池坊華道の様式である「生花」の実習を通して、日本伝統文化の感性と意義を見出し、国際人としての人格形成の一助とする。

授業の概要：

1. 草木の見つめ方、ため方、省略など基本的な花材の生かし方を学ぶ。
 1. 草木の自然と出生の表現を学ぶ。
 1. 一種生、二種生を中心とした基本的な正風体生花を修得する。
- ◎一種生
1. 生花の役枝真副体での構成を学ぶ
 1. 真副体のあしらいの枝、方向性を学ぶ
- ◎二種生
1. 二種生の体を学ぶ
 1. 真副の草木に対しての体の草木の選び方を学ぶ

授業の計画：

第1～第15 一種生
第16～第30 二種生
※季節の植物を生けますので、その植物の一番美しい時を選びますから変動も有ります。

授業方法：

手本を生けながら説明した後、実習を行い、生け上がった作品を一作ずつ手直しをする。

達成目標：

自然界にある（生育している）植物の美しさをとらえる目を養う。

評価方法：

半期に一度の実習テストの結果による評価 40%
授業態度 60%

教科書：

なし

参考文献：

「池坊いけばなテキスト生花 I・生花 II」（日本華道社／各 683 円）

実験・実習・教材費：

26,040 円（「生花」花代 @ 840 × 30 回分 + @ 840 正月花）
道具を持っていない場合は、別途道具代が必要（約 3,100 円）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33001	華道実習 I B (自由花)	3・4	(1)	加藤碧玻

期間	曜日	時限	備考：I A・I B 両方取得して2単位
通年	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
・たての花をいけてみよう。・よこの花をいけてみよう。・ななめの花をいけてみよう。・自由花入門コースを経験してみよう。	価値判断力 (意思決定力)、グローバルな視野、美的感受性

授業のテーマ：

教室の使い方、道具、花材の基本的使い方を身につける。
 華道実習を通し、日本の伝統文化の真髄に触れつつ、その美の鑑賞の仕方を身につける。
 基礎的技術を身につけ、美しい「いけばな」をつくりだす。
 植物の美しさに気がつき、その生かし方を勉強する。

授業の概要：

- ・季節ごとの花材を手にするにより、その性質を学ぶ。
- ・花材の配置、配色による美しい造形を追求する。
- ・花器との調和、飾る場所との調和を追求する。
- ・自由花入門カリキュラムにそって段階を区切り実習を深める。

授業の計画：

第1～第30 入門カリキュラムに添って、花器・花材の取りあつかいを知る。

授業方法：

当日使用する花材の名前や性質について説明する。
 花器を選択し、形づくりを考える。

達成目標：

基礎的な自由花を身につけることと、作法を身につける。

評価方法：

半期に一度の実習テストの結果による評価 40%
 授業態度 60%

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

26,880 円 (「自由花」花代 @840 × 30 回分 + @ 840 × 2 回分 正月花、クリスマス花)
 道具を持っていない場合は、別途道具代が必要 (約 3,100 円)

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33101	華道実習ⅡA（生花）	3・4	（1）	加藤碧玻

期間	曜日	時限	備考：ⅡA・ⅡB 両方取得して2単位
通年	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
楽しい時間、癒し、対話	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性

授業のテーマ：

日本の風土と精神が育てた「生花」をさらに深く学ぶことにより、日本人の美意識を再確認し、日本伝統文化の理解の一助とする。

ⅡAでは基本的技法を踏まえた生花三種生を学ぶとともに、現代的な生花新風体を習得する。

授業の概要：

1. 正風体としての生花三種生を修得する
1. 現代の生活環境に適応した生花新風体を習得する
1. 三種生と生花新風体の違いを学ぶ

◎三種生

1. 一種生、二種生にはない、装飾的な明るい生花を学ぶ

授業の計画：

第1～第10 一種生

第11～第20 二種生

第21～第30 三種生

※季節の植物を生けますので、その植物の一番美しい時を選びますから変動も有ります。

授業方法：

手本を生けながら説明した後、実習を行い、生け上がった作品を一作ずつ手直しをする。

達成目標：

自然界にある（生育している）植物の美しさをとらえる目を養う。

評価方法：

半期に一度の実習テストの結果による評価 40%

授業態度 60%

教科書：

なし

参考文献：

「池坊いけばなテキスト生花Ⅰ・生花Ⅱ」（日本華道社／各 683 円）

実験・実習・教材費：

26,040 円（「生花」花代 @ 840 × 30 回分 + @ 840 正月花）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33201	華道実習ⅡB（自由花）	3・4	(1)	加藤碧玻
期間	曜日	時限	備考：ⅡA・ⅡB 両方取得して2単位	
通年	金	3		
授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力		
・入門から応用へ。・楽しく飾ろう。・植物とお友達に。		価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性		

授業のテーマ：

華道実習を通じ、日本文化の一端に触れつつ、新しい生活スタイルの中で生きる美しい「いけばな」を追求する。
美しい「いけばな」実習の経験から、豊かな人間性を創りだす。

授業の概要：

季節ごとに変化する花材の性質、名前を知る。
配置、配色により美しい「いけばな」の原理を追求する。
「いけばな」の中での花器の役割を知り、よりよい方向を追求する。
草木の美と、構成の美を結合することにより、さらに美しい「いけばな」のできることを体験する。
ⅢB、ⅣBの学生との合併クラスになる為、先輩の良いところを学ぶ。

授業の計画：

第1～第30
・応用の手がかりを知る。
・正しい作法を知る。

授業方法：

当日の花材の名や、特長について説明する。
花材と花器との調和について考えさせる。
花器に対する「いけばな」構成について考えさせる。

達成目標：

・花器、花材と親しむことができた
・礼儀正しいいけばなをすることができた

評価方法：

半期に一度の実習テストの結果による評価 40%
授業態度 60%

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

26,880円（「自由花」花代 @840 × 30回分 + @840 × 2回分 正月花、クリスマス花）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33301	華道実習ⅢA（生花）	3・4	(1)	加藤碧玻

期間	曜日	時限	備考：ⅢA・ⅢB 両方取得して2単位
通年	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
楽しい時間、癒し、対話	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性

授業のテーマ：

自然の植物をより深く理解し、植物それぞれの持つ特徴（出生）を引き出し、「生花」という様式の中に表現する。
池坊の現行伝書に基づいて古典を学び、意義を見い出す。

授業の概要：

1. 形式にとらわれない生花新風体の理解を深める。
1. 季節に応じた生け方の工夫を学ぶ。
1. 古典生花の現代的応用。

授業の計画：

前期はⅡAに順ずる
後期は生花新風体を勉強

授業方法：

手本を生けながら説明した後、実習を行い、生け上がった作品を一作ずつ手直しをする。

達成目標：

自然界にある（生育している）植物の美しさをとらえる目を養う。

評価方法：

半期に一度の実習テストの結果による評価 40%
授業態度 60%

教科書：

なし

参考文献：

「池坊いけばなテキスト生花Ⅰ・生花Ⅱ」（日本華道社／各 683 円）

実験・実習・教材費：

26,040 円（「生花」花代 @ 840 × 30 回分 + @ 840 正月花）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33401	華道実習ⅢB（自由花）	3・4	（1）	加藤碧玻

期間	曜日	時限	備考：ⅢA・ⅢB 両方取得して2単位
通年	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
・植物大好き人間に。・応用って楽しい。・変幻自在に。	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性

授業のテーマ：

華道実習を通じ、豊かな人間性を見出す。
日本伝統文化に触れつつ、新しい生活スタイルの中で生きる「いけばな」を追求する。
I、IIの経験をふまえ、一層高度な技術と知識を身につける。

授業の概要：

季節にあった「いけばな」、飾る場・時にあった「いけばな」を経験し身につける。
構成の原理を知り、「いけばな」の中で追求する。
他の造形についても興味をもち、「いけばな」との関連を学ぶ。
II B、IV Bとの合併クラスになる為、他の人の個性に触れる。

授業の計画：

第1～第30
・適材適所のいけばなを経験する。
・いけばなの楽しさを味わう。

授業方法：

花材の特長を、実習から花材の軽重・長短などを考えさせる。
花器の色・質・形について考えさせる。

達成目標：

・応用力をつけることができた
・他の造形との関連を知ることができた

評価方法：

半期に一度の実習テストの結果による評価 40%
授業態度 60%

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

26,880円（「自由花」花代 @840 × 30回分 + @840 × 2回分 正月花、クリスマス花）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33501	華道実習ⅣA（生花・伝花）	3・4	（1）	加藤碧玻

期間	曜日	時限	備考：ⅣA・ⅣB 両方取得して2単位 ※8月29日、12月24日に集中講義（伝花）があります。
通年	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
楽しい時間、癒し、対話	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性

授業のテーマ：

日本の伝承美である生花を、池坊の現行伝書に基づいて再現し、その技法を学ぶと共に、「生花」本来の美の認識を新にする。

「伝花」は古典の花器を使用し、特殊な花形を実習する。

授業の概要：

1. 古典の花器（御玄猪等）を使用して、剣山ではなく花配り（花留め）を勉強、実習する。
1. 竹の二重切の花器で花の花形を生ける。
1. 「生花」の株分けである水陸二株生、魚道生の実習。

授業の計画：

第1～第30 ⅢAに順ずる
集中講座にて伝花

授業方法：

手本を生けながら説明し、その後実習、生け上がった作品を手直し。

達成目標：

自然界にある（生育している）植物の美しさをとらえる目を養う。

評価方法：

半期に一度の実習テストの結果による評価 40%
授業態度 60%

教科書：

なし

参考文献：

「池坊いけばなテキスト生花Ⅰ・生花Ⅱ」（日本華道社／各683円）

実験・実習・教材費：

34,440円（「生花」花代 @ 840 × 30回分 + @ 840 正月花、「伝花」花代 @ 840 × 10回分）

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
D33601	華道実習ⅣB（自由花・立花）	3・4	(1)	加藤碧玻

期間	曜日	時限	備考：ⅣA・ⅣB 両方取得して2単位 ※ 8月30日、12月25日に集中講義（立花）があります。
通年	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
立花まで経験してみよう。・いけばなの原形を見てみよう。・学外でのいけばなを見てみよう。	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性

授業のテーマ：

最終年度として、経験した知識と技術を確認しつつ、さらに深い感性を身につける。それを実生活の中で生かす工夫をする。

後期は、立花集中実習を通し、立花の理論と技術を体験する。

授業の概要：

自由花——小さな作品・大きな作品、縦長・横長の作品などを経験し、さまざまな空間に適応する自由花を実習する。

立 花——集中講義により、立花の造形理論とその空間を学習する。
基礎的な理論とその鑑賞のしかたを身につける。

授業の計画：

第1～第30

・適材適所のいけばなを経験する。

・いけばなの楽しさを味わう。

授業方法：

テーマを決め、様々な空間に生きる自由花を楽しみつつ、経験させる。

立花の実習により、その理論と空間を経験させる。

達成目標：

・応用力をつけることができた

・他の造形との関連を知ることができた

評価方法：

半期に一度の実習テストの結果による評価 40%

授業態度 60%

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

35,280 円（「自由花」花代 @840 × 30 回分 + @ 840 × 2 回分 正月花、クリスマス花 + 「立花」花代 @ 840 × 10 回分）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B31201	建築設計製図 I	3・4	2	暮石哲真

期間	曜日	時限	備考：2時限連続 履修抽選対象科目
前期	金	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
製図法、描法、美的構成法	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

授業のテーマ：

- ・ 建築図面（配置図・平面図・立面図・断面図等）の基本的な描き方を習得する。
- ・ 上記以外の建築図面（内観パース等）の描き方や表現方法について習得する。
- ・ 建築図面を理解するために必要な専門知識等の学習を行う。

授業の概要：

建築図面の基本知識を学び、建築図面の基本的な描き方について習得するまで到達することとする。

授業の計画：

建築設計製図（2時限連続）

1. 建築図面の種類・内容について
2. 製図用具の使い方と線の引き方
3. 配置図の描き方 1
4. 配置図の描き方 2
5. 1階平面図の描き方 1
6. 1階平面図の描き方 2
7. 1階平面図の描き方 3
8. 2階平面図の描き方 1
9. 2階平面図の描き方 2
10. 立面図及び断面図の描き方 1
11. 立面図及び断面図の描き方 2
12. その他の図面の描き方 1
13. その他の図面の描き方 2
14. 講評会（全体）
15. まとめ

授業方法：

授業の前半で、建築における必要な専門知識について実際の工事写真や教科書を見ながら講義を行う。
後半で、学生各自が課題の建築図面を描き、その進捗状況のあわせて指導および評価を行う。

達成目標：

課題の建築図面の指導をとおり、図面の描き方を習得することを目標とする。

評価方法：

授業の取り組み 60%、課題の建築図面 40%により総合的に評価する。

教科書：

< 建築のテキスト > 編集委員会、『初めて学ぶ建築製図』、学芸出版社

参考文献：

他随時、授業中に提示する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
B31301	建築設計製図Ⅱ	3・4	2	暮石哲真

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
前期	水	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
空間分析、空間設計、空間構成	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

授業のテーマ：

- ・建築設計の課題（戸建て住宅・店舗付住宅等）に対して、設計条件の把握分析を行う能力を身につける。
- ・分析できた設計条件をもとに、建築図面としてまとめ上げる能力を身につける。
- ・建築図面の内容の適正や・正確さおよび表現力を身につける。

授業の概要：

建築設計の課題の分析から、エスキスをとおして考え方をまとめる能力を身につけ、建築図面の表現方法を習得するまで到達することとする。

授業の計画：

- 建築設計製図（2時限連続）
1. 第一課題（戸建て住宅）の提示と課題内容についての講義
 2. エスキス（建築設計案のスケッチ）の発表 1
 3. エスキス（建築設計案のスケッチ）の発表 2
 4. 建築図面作成 1
 5. 建築図面作成 2
 6. 建築図面作成 3
 7. 第一課題の提出建築図面の講評会
 8. 第二課題（店舗付住宅等）の提示と課題内容についての講義
 9. エスキス（建築設計案のスケッチ）の発表 1
 10. エスキス（建築設計案のスケッチ）の発表 2
 11. 建築図面作成 1
 12. 建築図面作成 2
 13. 建築図面作成 3
 14. 第二課題の提出建築図面の講評会
 15. まとめ

授業方法：

学生の作製するエスキス（建築設計案のスケッチ）・建築図面について、マンツーマンで指導を行い、建築空間設計の基礎を学ぶ。

達成目標：

設計条件の分析とエスキスをとおして、考え方をまとめる能力を身につけ、建築図面の完成まで到達することを目標とする。

評価方法：

エスキス・建築図面等に取り組む姿勢 40%、成果品として提出された建築図面の内容 60%を総合的に判断する。

教科書：

＜建築のテキスト＞編集委員会、『初めての建築計画』、学芸出版社

参考文献：

日本建築学会編、『コンパクト 建築設計資料集成』、丸善
宮後浩、『宮後浩の 超簡単！プレゼンテクニック』、学芸出版社
他随時、授業中に提示する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B31401	建築設計製図Ⅲ	3・4	2	暮石哲真

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
空間設計、CAD、表現・伝達技法	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

授業のテーマ：

- ・前期：建築設計課題 に対して、設計条件の把握分析を行う能力を身につける。
分析できた設計条件をもとに、建築図面としてまとめ上げる能力を身につける。
- ・後期：建築CAD（二次元）の操作を体得し、CADをもちいて建築図面を作成する能力を習得する。
- ・前期及び後期を通じて、描いた建築図面の適正さや・正確さを学習し、更にプレゼン用建築図面の表現力及び発表の仕方を身につける。

授業の概要：

- 前期：建築設計の課題の分析から、エスキスをとおして空間構築の楽しみを感じ、建築図面の表現方法を習得するまで到達することとする。
- 後期：建築CADをもちいて、建築図面を作成する能力を習得するまで到達することとする。

授業の計画：

（前期）

1. 課題（住宅）の提示と課題についての講義
2. 設計条件の把握分析についての発表 1
3. 設計条件の把握分析についての発表 2
4. エスキス（建築設計案のスケッチ）1
5. 建築図面作成 1
6. エスキス（同上）2
7. 建築図面作成 2
8. エスキス（同上）3
9. 建築図面作成 3
10. エスキス（同上）4
11. 建築図面作成 4
12. エスキス（同上）5
13. 建築図面作成 5
14. 提出建築図面の講評会
15. まとめ

（後期）

1. 建築CADを用いた設計手法について
2. 動作環境の設定・提出課題（事務所建築）の説明
3. 建築CADの基本操作の体得 1
4. 建築CADの基本操作の体得 2
5. 建築CADを用いた配置図の作成
6. 建築CADを用いた平面図の作成 1
7. 建築CADを用いた平面図の作成 2
8. 建築CADを用いた平面図の作成 3
9. 建築CADを用いた平面図の作成 4
10. 建築CADを用いた断面図の作成 1
11. 建築CADを用いた断面図の作成 2
12. 建築CADを用いた立面図の作成 1
13. 建築CADを用いた立面図の作成 2
14. 提出建築図面の講評会
15. まとめ

授業方法：

- 前期：学生の作成するエスキス（建築設計案のスケッチ）・建築図面について、マンツーマンで指導を行う。
- 後期：建築CADは、学生各自が自らコンピュータを操作し、随時質問を受け付けながら進める。

達成目標：

効果的なプレゼン用建築図面の能力を習得すること、建築CADによる建築図面の完成まで到達することを目標とする。

評価方法：

エスキス・建築図面等に取り組む姿勢 40%、成果品として提出された建築図面の内容・発表態度等 60%を総合的に判断する。

教科書：

- 前期：＜建築のテキスト＞編集委員会、『初めての建築計画』、学芸出版社
後期：＜建築のテキスト＞編集委員会、『初めて学ぶ建築製図』、学芸出版社

参考文献：

- 日本建築学会編、『コンパクト 建築設計資料集成』、丸善
宮後浩、『宮後浩の 超簡単！プレゼンテクニック』、学芸出版社、他随時、授業中に提示する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
D31701	日本建築史	3・4	2	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
建築と風土 構造と意匠 建築様式	グローバルな視野、美的感受性

授業のテーマ：

「日本建築の流れ」

本講義では建築様式の展開過程をたどり、日本建築と生活文化のかかわりまで言及し、将来の建築の実践にどのようにつながるかの展望も試みる。

授業の概要：

建築は風土との関わりが大きい。特に日本は四方を海に囲まれている上に、隣国に先進国・中国を控えているため、文化史上での中国からの影響は無視できない。建築は外来文化の受容と抵抗の産物である。日本文化の大陸文化との諸条件における大きな隔たり故に、大陸建築の完全な模倣にはならなかった。日本的な空間と日本建築の流れを概説する。

授業の計画：

- (1) 日本建築の特質 建築と風土
- (2) 同 構造と意匠
- (3) 神社建築 神社の成立と変遷
- (4) 寺院建築 伽藍配置とその変遷
- (5) 同 様式—飛鳥様式
- (6) 同 大仏様・禅宗様の建築
- (7) 同 軸部と細部の名称と役割
- (8) 住宅建築 日本建築の二つの流れ
- (9) 同 寝殿造と書院造
- (10) 同 書院造の要素と特長
- (11) 同 数寄屋造
- (12) 城郭建築 天守閣の発生と変遷・縄張
- (13) 霊廟建築
- (14) 茶室
- (15) まとめ

授業方法：

基本的には講義形式で進めますが、必要に応じてビデオやプリントなど資料を用いていきます。

達成目標：

日本建築の特色、建築の構成要素を習得する。

評価方法：

筆記試験（70%）、授業への取り組み（20%）レポート課題（10%）

教科書：

日本建築学会編『日本建築史図集』（彰国社／2,415円）

参考文献：

太田博太郎著『日本建築史序説』（彰国社）

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B31501	建築計画論	3・4	2	暮石哲真

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
かたち、デザイン、設計方法、プロセス	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

授業のテーマ：

- ・建物を計画する際に必要な、基本的な考え方を学習する。
- ・特に、住宅、集合住宅、幼稚園等を例に挙げ、それぞれの計画の進め方を学習する。
- ・具体的な図面から、その平面構成・立面構成等について読み取れる力を身につける。

授業の概要：

住宅・集合住宅等身近な建築を例に挙げ、建物種別に分析していくことを通し、計画の考え方・進め方を習得する。

授業の計画：

1. 建築計画の概要1 - 計画の進め方 -
2. 建築計画の概要2 - 空間構成について -
3. 住宅の計画1 - 計画の進め方 -
4. 住宅の計画2 - 空間構成について1 -
5. 住宅の計画3 - 空間構成について2 -
6. 住宅の実例をみて、計画等についてディスカッションを行う
7. 集合住宅の計画1 - 計画の進め方 -
8. 集合住宅の計画2 - 空間構成について1 -
9. 集合住宅の計画3 - 空間構成について2 -
10. 集合住宅の実例をみて、計画等についてディスカッションを行う
11. 幼稚園等の計画1 - 計画の進め方 -
12. 幼稚園等の計画2 - 空間構成について1 -
13. 幼稚園等の計画3 - 空間構成について2 -
14. 幼稚園等の実例をみて、計画等についてディスカッションを行う
15. まとめ

授業方法：

教科書を輪読し、必要な箇所についてはスライド・板書・プリント等にて補足説明をする。
 実際の住宅の工事現場をみて授業をすることがある。
 随時、授業で理解度確認の為、課題を行う。

達成目標：

建築の計画をしていく上でのプロセスと、考え方・進め方を習得することを目標とする。

評価方法：

授業の取り組み 40%、授業中に行う参考例の理解度(レポートにて提出)60%により総合的に判断する。

教科書：

〈建築のテキスト〉編集委員会、『初めての建築計画』、学芸出版社

参考文献：

柳沢忠編著、『建築計画－計画・設計課題の解き方－』、共立出版
 日本建築学会編、『コンパクト 建築設計資料集成』、丸善
 他随時、授業中に提示する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30301	住環境のエコロジカル・デザインA	3・4	2	本間宏

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
自然環境、地域性、健康、身体機能、感受能力	分析・統合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、効果的な社会参加

授業のテーマ：

人間は多様な自然環境のもとで生活を営むために建物の機能を発達させてきた。さらに発展させるために自然環境、社会環境、健康を理解し、身体能力を発揮できる住環境を目指さなければならない。本講義では自然環境と人体の環境に対する感受性、健康・快適性に必要な要件を分析し、両条件を合理的、総合的に建築設計、運営に反映させる手法を学ぶ。

授業の概要：

物理的環境に対する人体の諸感覚を取り上げ、人体を健康に機能させ、快適さを実現するための環境条件を追求する。次いで住環境に対する太陽や気候の影響、社会や都市の影響を理解する。さらに両者に基づく人体の要求と自然の影響を調和させるための建築の機能を追及する。

授業の計画：

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 建築と気候、風土 | 9. 日射熱 |
| 2. 伝統建築から学ぶ | 10. 視覚と照明 |
| 3. 気象要素と地域差 | 11. 採光 |
| 4. 生活活動と都市気候 | 12. 人工照明 |
| 5. 代謝 | 13. 照明計算 |
| 6. 温熱環境指標 | 14. 光と色彩 |
| 7. 日照と日射 | 15. 色彩調節と生活への応用 |
| 8. 太陽光と太陽熱 | 16. 試験及びまとめ |

授業方法：

屋内で生活する居住者の健康、感覚に基づく建築環境要件について考察し、その現代建築への利用について講義する。建築環境に関する諸問題の考察、分析力を発展させると共に、広範な分野の知識を集積し、有機的に構成し、創造的な解決方法を創出するために質問などによる積極的参加を求める。

達成目標：

健康維持、快適性増進、作業効率向上のための室内環境を実現するために住環境に求められる基礎的要件を理解し、住環境の改善、発展のための実務的手法を案出する能力を養成する。

評価方法：

試験を主とするが、レポート課題も課す。基本的評価配分は試験 75%、レポート 25%とする。コミュニケーション能力、創造力を養成するため、レポート、試験では作文力を重視する。

教科書：

適宜資料を配布し、教科書は使用しない。図書館の利用を推奨する。参考文献として挙げた資料と授業該当部分との比較検討を薦める。

参考文献：

- 久我新一『宇宙環境から建築環境へ』彰国社
 建築環境学教科書研究会編著『建築環境学教科書』彰国社
 図解住居学編集委員会編『図解住居学5 住まいの環境』（彰国社）
 堀越哲美他『絵とき 自然と住まいの環境』（彰国社）
 三浦昌生『基礎力が身につく建築環境工学』（森北出版）
 児玉祐一郎『建築探訪4 住まいの中の自然』（丸善）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30401	住環境のエコロジカル・デザインB	3・4	2	本間宏

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
健康、空気、水、エネルギー、建築設備	分析・統合の思考力と判断力、問題解決力、コミュニケーション力

授業のテーマ：

近年、建築の機能、質が急速に発展した。一方、快適で効率的な住環境の実現のため、複雑な設備を設け、エネルギーを消費の増大を生じさせている。建築は長期間使用が続けられ、この間に住環境調整に消費されるエネルギーは建築のライフサイクル全体中で大きな部分を占める。ここでは生活環境に調和した機械設備とその運転方法を分析し、これによって住環境をより発展させ、かつ自然環境保全への貢献を目指す。

授業の概要：

建築は自然や都市の環境を健康で身体を充分機能させる住環境に変換する役割を担う。また建築自体では実現できない条件は設備機械で補い、稼動にエネルギーを投入する。本講義では自然環境、住環境と設備の役割を分析し、建築の設計、運営に有機的に総合する思考力を養う。

授業の計画：

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 建築音響 | 9. 換気効率、シックビルディング |
| 2. 室内音響調節 | 10. 湿度調節 |
| 3. 騒音処理 | 11. 上下水道と水質、給水設備 |
| 4. 建築設備概要 | 12. 排水・衛生設備 |
| 5. 高断熱・高気密建築 | 13. ライフサイクルコスト アセスメント |
| 6. 建築伝熱と熱損失係数 | 14. 建築を取り巻くエネルギー事情 |
| 7. 換気と健康 | 15. エコロジカル建築、エコロジカル都市 |
| 8. 汚染の発生、濃度形成、換気 | 16. 試験及びまとめ |

授業方法：

居住者の健康、感覚に基づく建築環境要件について講義し、その実現のための建築と設備の役割の合理的分担について考察する。社会的要因、資源保存・再利用について考察する。住環境に関する諸問題を考察し、有機的に構成し、創造的な解決方法を創出するために質問などによる積極的参加を求める。

達成目標：

住環境改善のために建築に設置される諸設備とその省エネルギー手法、環境負荷軽減手法を理解する。さらに建築環境を持続、発展させながら自然環境にたいする負荷を抑制するための住生活、建築設備の設計、運用手法に関する問題解決力を養う。

評価方法：

試験を主とするが、レポート課題も課す。基本的評価配分は75%、レポート25%とする。コミュニケーション能力、創造力を養成するため、レポート、試験では作文力を重視する。

教科書：

適宜資料を配布し、教科書は使用しない。図書館の利用を推奨する。

参考文献：

- 久我新一『宇宙環境から建築環境へ』彰国社
 建築設備学教科書研究会編著『建築設備学教科書』彰国社
 図解住居学編集委員会編『図解住居学5 住まいの環境』（彰国社）
 堀越哲美他『絵とき 自然と住まいの環境』（彰国社）
 三浦昌生『基礎力が身につく建築環境工学』（森北出版）
 梅干野晁『住まいの環境学』（放送大学教育振興会）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30501	建築構造A	3・4	2	水野啓示朗

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
構造力学, 梁, トラス, ラーメン, 応力	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力

授業のテーマ：

建築物は、建築自身や内部に置かれた物などの重さに耐えると共に、地震や風にも耐えなければならない。安全な建築物を設計するためには、物体の内部で力がどのように伝達され、どの部分に力が集中するかを知る必要がある。この授業では、単純な梁と少し複雑なトラスやラーメンを対象として、建築部材内部で力が伝達される様子を計算する方法について講義する。

授業の概要：

建築構造を支える支持点に作用する力である反力と、構造の内部に働く力である応力を計算する方法を講義する。そのため、この授業の大半は計算の手順の説明である。

授業の計画：

- 第1回 授業ガイダンス, 力とモーメント
- 第2回 支持点反力 (1) 支持点
- 第3回 支持点反力 (2) 集中荷重に対する静定梁の反力
- 第4回 支持点反力 (3) 等分布荷重, モーメント荷重に対する静定梁の反力
- 第5回 支持点反力 (4) 計算によって反力を求める方法
- 第6回 支持点反力 (5) 静定トラス, 静定ラーメンの反力
- 第7回 支持点反力 (6) 反力計算の総合演習
- 第8回 断面の応力 (1) 応力とは
- 第9回 断面の応力 (2) 集中荷重に対する静定梁の応力
- 第10回 断面の応力 (3) 等分布荷重に対する静定梁の応力
- 第11回 断面の応力 (3) モーメント荷重に対する静定梁の応力
- 第12回 断面の応力 (4) トラスの応力 (節点法)
- 第13回 断面の応力 (5) トラスの応力 (切断法)
- 第14回 断面の応力 (6) 静定ラーメンの応力
- 第15回 断面の応力 (7) 応力計算の総合演習

授業方法：

講義は、毎回配付するプリントに従って、主に板書で行う。講義の最後に出席確認を兼ねた小テストを出題し、講義内容の理解を確認する。また、練習を促すための宿題も適宜課す。

達成目標：

反力と応力を計算する手順を覚え、手順通りに計算できる能力を身につける。

評価方法：

- 期末試験 100%で評価する。
- 授業で例示していない構造に対しても、反力と応力が計算できる・・・S
- 授業で例示した構造に対しては、反力と応力が計算できる・・・A
- 授業で例示した構造の大半は、反力と応力が計算できる・・・B
- 授業で例示した構造の半分以上は、反力と応力が計算できる・・・C
- 授業で例示した構造の半分も計算できない・・・D

教科書：

講師作成のプリントを配付する

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30601	建築構造B	3・4	2	水野啓示朗

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
たわみ, たわみ角, 応力度, 許容応力度設計	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力

授業のテーマ：

建築構造 A では、部材内部で力が伝達される様子を応力という形で計算する方法について講義するが、力の伝達には必ず部材の変形が伴う。この講義では、部材の変形を計算する方法について講義すると共に、安全な建築物を設計するための手法について講義する。

授業の概要：

この講義は大きく2つの内容に分かれ、前半では変形を計算する方法について講義し、後半では構造設計について講義する。これらは建築構造 A の発展的な内容であり、建築構造 A の半分以上を理解した上で受講する必要がある。

授業の計画：

- 第1回 序(1) 長方形断面に関する諸係数
- 第2回 序(2) 複雑な断面に関する諸係数
- 第3回 部材の変形(1) 梁の応力の復習
- 第4回 部材の変形(2) モールの定理
- 第5回 部材の変形(3) モールの定理の例題
- 第6回 部材の変形(4) 仮想仕事の原理
- 第7回 部材の変形(5) 仮想仕事の原理の例題
- 第8回 部材の変形(6) 梁の変形の演習
- 第9回 断面の設計(1) 歪度と応力度
- 第10回 断面の設計(2) 応力状態に対応した応力度
- 第11回 断面の設計(3) 許容応力度
- 第12回 断面の設計(4) 梁の断面設計
- 第13回 断面の設計(5) 座屈について
- 第14回 断面の設計(6) 柱の断面設計
- 第15回 断面の設計(7) 断面設計の演習

授業方法：

講義は、毎回配付するプリントに従って、主に板書で行う。講義の最後に出席確認を兼ねた小テストを出題し、講義内容の理解を確認する。また、練習を促すための宿題も適宜課す。

達成目標：

たわみとたわみ角の最大値を計算することができ、許容応力度設計法で断面寸法の設計をすることができる。

評価方法：

- 期末試験 100%で評価する。
- 変形計算ができ、梁と柱両方の断面設計ができる。しかも、計算過程が整理され、分かりやすく表現されている。 S
 - 変形計算ができ、梁と柱両方の断面設計ができる。 A
 - 変形計算か、断面設計のどちらかができる。しかも、計算過程が整理され、分かりやすく表現されている。 B
 - 変形計算か、断面設計のどちらかができる。 C
 - 変形計算も断面設計もできない。 D

教科書：

講師作成のプリントを配付する

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B31601	空間設計論	3・4	2	暮石哲真

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
木造在来構法、ディテール、建築と都市計画	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

授業のテーマ：

- ・ 建築を初めて学ぶ学生を対象に、建築及び都市について基礎的な知識を学習する。
- ・ 建築については、各構法(木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造)に関する基礎知識を学習し、特に木造建築に用いられる木材の特性と、在来構法における各部の構法を学習する。更に、建築に用いられている寸法体系についても学習する。
- ・ 都市については、都市計画の歴史を振り返り、当時の政治的・社会的・経済的背景を考察し、我が国における現代都市の目標と都市計画理念を捉え、現下の諸問題を把握する。

授業の概要：

建築についての各構法・ディテールを学習しながら、建築の基礎的な知識を習得する。
また、都市計画について建築との関係から理解し、歴史・理念について習得する。

授業の計画：

1. 建築の構法についての概説
2. 鉄筋コンクリート造について
3. 鉄骨造について
4. 木造：材料(木材)の特性
5. 木造：在来構法の概要 1
6. 木造：在来構法の概要 2
7. 各部構法 1：基礎・屋根・壁
8. 各部構法 2：建具・床・階段
9. 各部構法 3：天井・造作と納まり
10. 建築における寸法体系の概説
11. 都市計画の歴史と都市計画思潮
12. 近代都市計画の発展
13. 現代都市の目標と都市計画理念
14. 都市計画の現下の諸問題
15. まとめ

授業方法：

教科書を輪読し、必要な箇所についてはスライド・板書・プリント等にて補足説明をする。
実際の住宅の工事現場をみて授業をすることがある。
随時、授業で理解度確認の為、課題を行う。

達成目標：

建築の各構法、特に木造在来構法についての学習と、都市計画についての理解を目標とする。

評価方法：

授業の取り組み 40%、授業中に行う参考例の理解度(レポートにて提出) 60%により総合的に判断する。

教科書：

建築の構法については：1 <建築のテキスト> 編集委員会、『初めての建築一般構造』、学芸出版社

参考文献：

建築の構法については：1 内田祥哉 編著、『建築構法』、市ヶ谷出版
都市計画については：2 日笠端・日端康雄、『都市計画』、共立出版
3 加藤晃・竹内伝史、『新・都市計画概論』、共立出版
他随時、授業中に提示する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30901	建築材料実験	3・4	2	山本俊彦

期間	曜日	時限	備考：2 時限連続
前期	火	4・5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
建築材料、材料実験、コンクリート、鋼材、木材	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

建築物を構成する主な構造材料としてコンクリート、金属材料、木材がある。本授業では、この三つの材料を中心に、材料の特性を実験により理解し確かめることを目的とする。種々の材料の特性が把握できた次のステップとして、構造デザインと材料についての関係を、模型実験を通して理解を深める。また、建築材料と環境負荷低減についても実験を通して考える。

授業の概要：

実験内容の理論的な背景の理解の基に実験を行い、理論と実際の間関係を理解する。また、実際の材料に触れることで材料の性質や特性を併せて理解する。実験レポートの作成により、建築材料に対する科学的な見方が出来るようにする。

授業の計画：

1回	ガイダンス	10回	金属材料の模型実験
2回	建築材料と環境負荷低減	11回	木材の概要
3回	折れ板製作	12回	木材実験
4回	コンクリート系材料概要	13回	実験予備日
5回	コンクリートの作成	14回	試験・実験結果の発表
6回	コンクリートの材料試験	15回	建築材料実験総括
7回	金属（鋼、アルミ、ステンレス）材料概要		
8回	金属の材料試験		
9回	金属材料の応用実験		

授業方法：

各建築材料の概要、使われ方などを説明し、その後、それぞれの材料について実験を行う。実験で得られたデータを分析・検討し、口頭発表およびレポートを作成する。

達成目標：

主要建築材料の実験手法の理解、実験データの収集、実験結果の分析とまとめができる。

評価方法：

レポート100%
 各材料の特性を理解し、理論を含めた高い完成度の実験レポートが作成できる。・・・S
 各材料の特性を理解し、実験について高い完成度のレポートが作成できる。・・・A
 実験について高い完成度のレポートが作成できる。・・・B
 実験についてレポートが作成できる。・・・C
 Cのレベルに達していない。・・・D

参考図書

日本建築学会『建築材料実験用教材』（丸善）

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30701	建築施工・生産A	3・4	2	池田宏之

期間	曜日	時限	備考：後期の「建築施工・生産B」と合わせての受講が望ましい。 (前期と後期合わせて、着工～竣工までの講義内容となる。)
前期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
建築施工・工程・品質	問題解決力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

市街地に建てる一般的な鉄骨鉄筋コンクリート造の事務所ビルの施工を例にし、建築関係に就業するにあたり必要と思われる工程と品質についての基礎知識を得る。(建築士受験も視野にいれながら)

授業の概要：

着工から竣工までの全体工程に添って、準備・計画・杭・躯体（・内外装・設備）等の個々の工事の基本的な、工事内容・作業手順、品質基準・品質管理を、理解出来るようになることとする。

授業の計画：

1回	各種構造・部材名称・構内ツアー	9回	鉄筋②・・・組立・圧接・各種省力化工法
2回	建設業とは・企画～受注	10回	型枠①・・・材料・加工・組立
3回	計画・足場・機械	11回	型枠②・・・解体・各種省力化工法
4回	着工準備・山止め壁	12回	コンクリート①・・・材料・性能・配合
5回	既成杭・場所打ち杭	13回	コンクリート②・・・打設・検査
6回	地下工事手順（根切り・構台・切梁）	14回	コンクリート③・・・各種コンクリート
7回	基準階躯体工事手順	15回	現場見学（木造）日程・場所未定
8回	鉄筋①・・・材料・加工		

授業方法：

資料の縮小版を事前配布し、スクリーンに投影した資料にもとづき授業を進める。(毎回20～30カット程度、A3版3P程度)

- ・授業内容に対応する工事ビデオにより実作業を補足説明する。
- ・毎回、理解度確認の小テストを実施する。(主として建築士の試験問題を利用)
- ・毎回、講義終了時に、理解度アンケート兼質問表に記入し提出する。

達成目標：

全体工程、各工事の内容・作業手順、品質基準・品質管理の基本事項を理解し習得する。

評価方法：

小テスト	40%
試験	60%

教科書：

イラスト「建築施工」(社)建設業協会 関西支部・・・教務課にて一括購入予定。(200円程度)
4月中に、建築関係の雑誌・・・「新建築」(2,000円程度)等又は住宅関連誌・・・を1冊購入すること。

参考文献：

彰国社「新訂 図説施工入門」2,580円 (JASS・国交省建築工事共通仕様書)

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30801	建築施工・生産B	3・4	2	池田宏之

期間	曜日	時限	備考：前期の「建築施工・生産A」と合わせての受講が望ましい。 (前期と後期合わせて、着工～竣工までの講義内容となる。)
後期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
建築施工・工程・品質	問題解決力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

市街地に建てる一般的な鉄骨鉄筋コンクリート造の事務所ビルの施工を例にし、建築関係に就業するにあたり必要と思われる工程と品質についての基礎知識を得る。(建築士受験も視野にいれながら)

授業の概要：

着工から竣工までの全体工程に添って、準備・計画・杭・躯体（・内外装・設備）等の個々の工事の基本的な、工事内容・作業手順、品質基準・品質管理を、理解出来るようになることとする。

授業の計画：

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1回 鉄骨① | 8回 金属製カーテンウォール・サッシ・ガラス |
| 2回 鉄骨② | 9回 天井内設備・壁天井下地・木 |
| 3回 鉄骨③ | 10回 壁左官・ボード・GL工法 |
| 4回 防水① | 11回 塗装・クロス・床 |
| 5回 防水②・シール | 12回 設備 |
| 6回 屋根・金属 | 13回 保全・改修 |
| 7回 外壁ALC・PC | 14回 見積もり・約款 |
| | 15回 現場見学（RC造又はS造） 日程・場所未定 |

授業方法：

資料の縮小版を事前配布し、スクリーンに投影した資料にもとづき授業を進める。(毎回20～30カット程度、A3版3P程度)

- ・授業内容に対応する工事ビデオにより実作業を補足説明する。
- ・毎回、理解度確認の小テストを実施する。(主として建築士の試験問題を利用)
- ・毎回、講義終了時に、理解度アンケート兼質問表に記入し提出する。

達成目標：

全体工程、各工事の内容・作業手順、品質基準・品質管理の基本事項を理解し習得する。

評価方法：

- 小テスト・・・・・・・・・・40%
- 試験・・・・・・・・・・60%

教科書：

イラスト「建築施工」(社)建設業協会 関西支部・・・教務課にて一括購入予定。(200円程度)
4月中に、建築関係の雑誌・・・「新建築」(2,000円程度)等又は住宅関連誌・・・を1冊購入すること。

参考文献：

彰国社「新訂 図説施工入門」2,580円 (JASS・国交省建築工事共通仕様書)

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B31701	建築法規	3・4	2	暮石哲真

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生活の中での法規、まちの中での法規、都市の中での法規	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

授業のテーマ：

現在、わが国で建物を設計・施工する場合、建築法規（建築基準法および関連法規等）の様々な規制を受ける。そこで、設計・施工等を行う上で必要となる法律について、建築基準法を中心に、用語の定義や、その内容を理解することを目標とする。

授業の概要：

主に建築基準法について、法令の原則・用語の定義やその内容を学習しながら、建築設計の為の法規の概要を理解する能力を習得する。

授業の計画：

1. 建築法規の概要
2. 用語の定義 1
3. 用語の定義 2
4. 集団規定について 1 - 道路と敷地 -
5. 集団規定について 2 - 用途地域 -
6. 集団規定について 3 - 容積率と建ぺい率 -
7. 集団規定について 4 - 高さ制限 -
8. 集団規定について 5 - 防火地域 -
9. 単体規定について 1 - 採光・換気 -
10. 単体規定について 2 - 天井・床の高さ、階段 -
11. 単体規定について 3 - 木造 -
12. 単体規定について 4 - 防火 -
13. 単体規定について 5 - 内装制限 -
14. 関連法規
15. まとめ

授業方法：

教科書および建築基準法を輪読し、必要な箇所についてはスライド・板書・プリント等にて補足説明をする。（輪読箇所は事前に目を通しておくこと）
随時、理解度の確認の為、実例の検討や参考問題を行う。

達成目標：

集団規定・単体規定について、その内容の理解することを目標とする。

評価方法：

授業の取り組み 40%、授業中に行う参考問題の理解度（レポートにて提出）60%により総合的に判断する。

教科書：

1. <建築のテキスト>編集委員会、『初めての建築法規』、学芸出版社
2. 今村仁美・田中美都、『図説やさしい建築法規』学芸出版社

参考文献：

建築基準法令集
随時、授業中に提示する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B31001	建築測量実習	3・4	2	玉置啓二

期間	曜日	時限	備考：2時限連続 履修抽選対象科目
前期	金	4・5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
水準測量、多角測量、平板測量	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

授業のテーマ：

測量とは、高等学校までは机上の学問に過ぎなかった幾何学のフィールドへの応用である。それは、単に建造物の設計施工に不可欠な技術であるばかりではなく、文化財の調査や自然環境の保全など様々な分野で必要とされており、人間環境学の観点からも極めて重要な技術である。

授業の概要：

本実習においては、建築の設計施工に必要な測量技術の中核としつつも、同時にその他の様々な分野に必要な測量技術とも共通する、最も基本的な測量技術（水準測量、多角測量、平板測量）の修得を目的とする。

授業の計画：

- 第1週：序論（講義）
- 第2週：水準測量1（講義と計算演習）
- 第3週：水準測量2（フィールド実習）
- 第4週：水準測量3（フィールド実習）
- 第5週：水準測量4（レポート作成）
- 第6週：多角測量1（講義と計算演習）
- 第7週：多角測量2（フィールド実習）
- 第8週：多角測量3（フィールド実習）
- 第9週：多角測量4（レポート作成）
- 第10週：平板測量1（講義と実習準備）
- 第11週：平板測量2（フィールド実習）
- 第12週：平板測量3（フィールド実習）
- 第13週：平板測量4（レポート作成）
- 第14週：付論1：寸法単位の歴史（講義）
- 第15週：付論2：測量技術の歴史（講義）

授業方法：

計算演習やレポート作成は個人で行い、フィールド実習はグループで行う。計算演習やレポート作成などに際しては、関数電卓と製図用具を各自で用意する必要がある。フィールド実習に際しては、靴や帽子を含めて、適切な服装でのぞむ必要がある。フィールド実習が雨天順延となった場合には、休講とはせず、付論の講義を先行して行う。

達成目標：

水準測量、多角測量、及び平板測量による地形図の作成

評価方法：

平常点

教科書：

なし（適宜プリントを配布する）

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F00101	教職概論	3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教師、教職、人づくり	コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

学級崩壊、いじめ、引きこもり、また、青少年犯罪の凶悪化など、現在、我が国の教育が大きな混乱状態にあることはいうまでもない。また、これらの教育問題は制度的改革のみで乗り切ることが不可能と考える。

そこで、本講では「教育とは何か」という最も基本的な問題を総合的に考察する。

授業の概要：

授業では、自分自身の教職経験（山口県立高校教諭十四年在職）を具体的に語りながら、教師とは何かということを学生に理解させたい。

授業の計画：

- 1 教育とは何か①
- 2 教育とは何か②
- 3 我が国における学校の発達と性格①
- 4 我が国における学校の発達と性格②
- 5 教師の性格と課題①
- 6 教師の性格と課題②
- 7 家庭・地域と学校①
- 8 家庭・地域と学校②
- 3 教師の性格と課題
- 4 家庭・地域と学校
- 5 学級・学校経営
- 6 教育内容—我が国の教科書：
- 7 生徒指導の体制と方法
- 8 現代公教育と教育行政の課題

授業方法：

講義形式

達成目標：

学生が自分で理想の教師像を描き、それに向かって努力するようにする。

評価方法：

試験（100％）により行う。試験には期末試験、小テスト、課題提出を含む。

教科書：

なし

参考文献：

折々に紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F01101	教育原論	3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
西洋、教育史、人づくり	コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

学級崩壊、いじめ、とじこもり、また、青少年犯罪の凶悪化など、現在、我が国の教育が大きな混乱状態にあることはいうまでもない。また、これらの教育問題は制度的改革のみで乗り切ることは不可能と考える。

そこで、本講では「教育とは何か」という最も基本的な問題を総合的に考察する。

授業の概要：

講義では、まず、ギリシア、ローマの教育からはじめ、近代学校制度の成立までを概観する。具体的には、各時代、各地域の代表的な「私塾」、「学校」、「教育者」などを取り上げ、そこで行われた教育実践などを概観し、教育のあり方を総合的に考察する。

授業の計画：

- 1 ギリシアの教育①
- 2 ギリシアの教育②
- 3 ソクラテス
- 4 プラトン
- 5 アリストテレス
- 6 ローマの教育
- 7 イスラエルの教育
- 8 中世の教育①
- 9 中世の教育②
- 10 人文主義と教育
- 11 宗教改革と教育
- 12 啓蒙主義と教育
- 13 ルソー
- 14 ペスタロッチ
- 15 フレーベル

授業方法：

講義形式を中心として進める。

達成目標：

近代教育の源流とされるギリシア以来の西欧教育思想を理解し、今後の我が国の教育を具体的に構想する。

評価方法：

試験（100％）により行う。試験には期末試験、小テスト、課題提出を含む。

教科書：

なし。

参考文献：

折々に紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F03101	教育制度論	3・4	2	川口雅昭
期間	曜日	時限	備考：	
前期	月	5		
授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力		
日本教育、制度史、歴史		コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）		

授業のテーマ：

古代より我国の教育は、行政の一分野と位置付けられ、教育制度の形態、学校の設置、運営、教育内容の決定などを主体的に行い、教育水準の維持、発展を目指してきた。本講義では、我国の学校制度の歴史の変遷、現在の法制度などの基本などについて取り上げ、それぞれの時代における教育制度の精神的、社会的、制度的、経営的な特徴などを論じる。

授業の概要：

我が国では、古代より人づくりが始まり、大陸の文化的影響のもと、制度が整備されてきたことを理解させる。そして、現在の我が国の教育制度は、それらの延長線上にあることを理解させる。

授業の計画：

- 1 古代国家の成立とその教育制度
- 2 大陸の教育・文化の国風化
- 3 ヨーロッパ文化・宋明文化の摂取
- 4 幕府・諸藩の教育政策と学校
- 5 大衆文化の発達と教育の普及
- 6 幕末維新时期における教育近代化の胎動
- 7 近代教育法制の成立と展開
- 8 外国教師の雇用と高等・中等教育の成立
- 9 西洋教育方法の導入と小学校教師の誕生
- 10 教育理念の模索と臣民像
- 11 教育改革運動の展開
- 12 植民地教育の展開
- 13 戦時体制下の教育
- 14 戦後教育改革の進展
- 15 国際状況の変化と我国の教育

授業方法：

講義形式を中心として、適時、史料などを講読する。

達成目標：

我が国の教育制度の発達を理解し、現在のそれについて、自分の意見がもてるようになる。

評価方法：

試験（100％）により行う。試験には期末試験、小テスト、課題提出などを含む。

教科書：

なし。史料は適時配布。

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F04101	国語教科教育法 I	3・4	4	鈴木研吾

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
前期	火	1・2	

授業のキーワード			人間環境大学が育む八つの能力	
何を教えるか	どう教えるか	基礎力の養成	分析・総合の思考力と判断力	問題解決力 価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

「国語」はすべての教科の基本となる教科である。古文・漢文では語句・文法など教え方のパターンを身につけていくことで授業が成り立つが、特に現代文分野においては、小学生でも使う日本語であっても、何を教えるか、どう教えるかを突きつめて考えなければ授業として成立しない。この授業では、現役の高校教員の立場から、効果的な教育法を考えていく。

授業の概要：

古典文法、漢文の基礎を習得し、授業の進め方のパターンを身につける。現代文分野では、具体的な教材を用いて、何をどう教えるべきか検討し、効果的な授業の進め方を考える。また、それを具体化する指導案の作成、模擬授業を行える段階まで到達することとする。

授業の計画：

- 1回 国語の授業とは
- 2回 古典文法の復習（用言・敬語）
- 3回 古典文法の復習（助動詞・その他）
- 4回 「徒然草」「枕草子」の授業実践（読解中心）
- 5回 「大鏡」「源氏物語」の授業実践（文法・敬語中心）
- 6回 漢文の復習（返り点、書き下し、句形）
- 7回 「五十歩百歩」「狐借虎威」の授業実践
- 8回 現代文の基礎（書き順等）
- 9回 「水の東西」の授業
- 10回 「羅生門」の授業
- 11回 韻文の授業（参考DVD使用）
- 12回 国語表現の授業、テストの作り方
- 13回 指導案の書き方
- 14回 模擬授業①
- 15回 模擬授業②

授業方法：

資料プリントを適宜配付し、解説する。教員の授業そのものを「見本」として示す。講義形式を基本とするが、特に授業実践の取り組みでは、何をどう教えるか検討する中で、学生の積極的な参加を促したい。

達成目標：

現代文の授業において、より効果的な授業展開を考え、授業を行う能力を習得する。
古文・漢文の授業において、教えるべき内容をわかりやすく教える能力を習得する。

評価方法：

期末試験（70%）、レポート（30%）
期末試験は古典文法や現代文の基礎知識等を含め、授業の進め方など工夫・応用の分野も出題。レポートはテーマに関する指導案の作成を行い、その中に工夫・応用を盛り込むものとする。
古典文法や現代文の発展的知識があり、工夫・応用を活かした指導案を作成できる。・・・S
古典文法や現代文の発展的知識があり、工夫・応用した指導案を作成できる。・・・A
古典文法や現代文の基礎的知識があり、工夫・応用した指導案を作成できる。・・・B
古典文法や現代文の基礎的知識があり、指導案を作成できる。・・・C
Cのレベルに達していない。・・・D

教科書：

なし。授業ごとにプリントを配付予定。

参考文献：

なし。

実験・実習・教材費：

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F04201	国語教科教育法Ⅱ	3・4	4	石原比朗志

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
後期	火	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
国語の力、教材研究、学習指導案	分析・総合の思考力と判断力 問題解決能力 コミュニケーション能力

授業のテーマ：

今求められている「国語の力」を改訂学習指導要領・全国学力調査問題の分析から明らかにする。学習指導要領をもとに編集されている中学校の国語教科書には、文学的文章、説明的文章、入門期の古文漢文等の教材、また伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の内容等が総合的に収められている。教科書の教材を中心に、教材研究を行い、指導目標、指導内容、指導過程、指導法について学習する。
言語観の確立をはかりながら、まとめとして具体的に学習指導案づくりを行う。

授業の概要：

中学校学習指導要領が示す国語科の目標や内容を理解し、求められている国語の力についての認識を深める。教科書教材の分析を通して、教材研究の力を養い、実践的な学習指導案が作れるようにする。

授業の計画：

1回	私の国語科教室、求められる学力	9回	学習指導案の作成 基本様式 構想
2回	中学校国語科の目標・各学年の目標	10回	学習指導案の作成 指導計画 目標
3回	学習指導要領の解説 話すこと、聞くこと	11回	学習指導案の作成 本時の学習 展開
4回	学習指導要領の解説 読むこと、書くこと	12回	詩、作文指導と課題
5回	学習指導要領の解説 言語文化、特質	13回	指導の技術 発問、板書、ノート指導等
6回	文学的文章の教材分析と指導過程	14回	書写の指導 指導法と実習
7回	説明的文章の教材分析と指導過程	15回	教師論 国語教師として
8回	古典教材の教材分析と指導法		

授業方法：

中学校国語科の教材文や配布資料に基づく講義を中心に、問答、発表等を通して理解を深め、指導案づくりの実習を取り入れる。

達成目標：

国語科の目標をふまえ、教材研究の力を養い、基本的な指導過程・指導法を理解し、学習指導案づくりができる。

評価方法：

レポート 100%
 確かな教材研究の力をつけ、積極的に実習し、望ましい国語科指導の能力を身につける・・・S
 教材研究の方法を理解し、積極的に実習し、国語科指導の能力を相応に身につける・・・A
 教材研究の方法を理解し、実習に参加し、望ましい国語科指導の能力を理解する・・・B
 授業内容を理解し、実習に参加し、望ましい国語科指導の能力を理解する・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

文部科学省「中学校学習指導要領解説 国語編」 東洋館出版社（144円）

参考文献：

授業中に適宜指示する。教材文は中学校国語教科書「国語1・2・3」（光村図書）を主に扱う。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F04301	社会科・地歴科教育法	3・4	4	堀崎嘉明

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
前期	火	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教材研究・構成・展開・分析・総括	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

中学社会科の授業をつくる。

授業の概要：

中等社会科教育の領域と課題、中学社会科（地理・歴史的分野）の授業例検討を中心に、教材研究、使い方、多様な学習方法を考察する。また学習指導案作成と模擬授業の実施、分析をする。

授業の計画：

一 中等社会科教育の領域と課題

- ① 教育と教師の仕事 〈演習「VD①をもとに授業をつくる」〉
- ② 近代日本の中等地理・歴史教育 〈演習「近代日本教育史年表をつくる」〉
- ③ 戦後日本の中等社会・地歴教育 〈演習「戦後日本教育史年表をつくる」〉
- ④ 現行学習指導要領にみる社会科・地歴科の内容 〈演習「生まれ育った地域」紹介〉

二 中学地理的分野の授業展開例の研究

- ⑤ 地図が描く世界 〈演習「日本・世界の地図を描く」〉
- ⑥ 地形図を読む 〈演習「地形図にみるトヨタ地域の変化」〉
- ⑦ 授業例の紹介・分析1 〈演習－レポート①「地域・世界の姿と課題」作成〉
- ⑧ 授業例の紹介・分析2 〈演習－レポート①「報告・分析・討議」〉→課題1
- ⑨ 学習指導案作成上の留意点（演習「学習指導案の作成」）→課題2（指導案）

三 歴史的分野の授業展開例の研究

- ⑩ 歴史の学び方 〈演習「授業をつくるために」1－テーマ・教科書分析－〉
- ⑪ 授業例の紹介・分析1 〈演習「授業をつくるために」2－VD②の分析・討議－〉
- ⑫ 授業例の紹介・分析2 〈演習「授業をつくるために」3－VD③の分析・討議－〉
- ⑬ 地域史の教材化 〈演習「地形図にみる三河地域の古墳時代」〉
- ⑭ 教材研究の紹介 〈演習「授業をつくるために」4－教材研究－〉
- ⑮ 模擬授業（その1）・分析 〈演習「中学社会科の授業」総括討議〉

授業方法：

テーマについての講義が中心となるが、時にVDの視聴、スピーチを取り入れる。演習（2時限）は主にレポート作成、「模擬授業」の教材研究等に当てる。

達成目標：

中学社会科を担当できる資質と力量の養成。

評価方法：

成績評価は、期末テスト（レポート含む）のみ
 なお模擬授業の展開については、
 完成度の高い展開能力が示せる・・・S
 確かな教材研究と熱心な姿勢が見られる・・・A
 教材研究に不十分さを残すも、熱意ある姿勢で展開した・・・B
 授業の展開はできたものの、平板な域を出ていない・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D
 の基準で評価する。

教科書：

特に使用せず、資料プリントで行う。

参考文献：

中学社会教科書（地理・歴史的分野）

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F04401	社会科・公民科教育法	3・4	4	西村・疋田

期間	曜日	時限	備考：2時限連続（前期授業日）4/13、4/20、5/11、5/25、6/8、6/29、7/6、7/20 （後期授業日）9/21 10/5 10/19 11/9 11/23 12/7 12/21 1/11
通年	土	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
社会認識力、社会形成力、公民的資質、授業構成力、授業実践力	コミュニケーション能力、分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

授業のテーマ：

社会科、公民科は児童生徒の社会認識形成と社会形成力を育成することにより、公民としての資質・能力を育成する社会系教科である。社会科及び公民科の成立過程を現代社会の教育の動向を背景に掴み、その基本的性格及び目標と内容構成を理解する。学習指導要領の内容構成を理解し、社会科、公民科での授業構想を考え、学習指導案を作成して模擬授業による自己省察を行う。

授業の概要：

社会科、公民科に関する基本的な教科理論を理解しながら、実際に学校教育現場での教育実習における教科指導ができるように教科の目標、内容、方法を確認した上で模擬授業を行う。前半は主に中学校社会科（公民的分野）の授業実践力を、後半は高等学校公民科授業実践力育成を中心に行う。

授業の計画：

（前期）

- 第1回 今日の学校教育の課題、戦後の教育改革と学力観の変遷、民主主義社会の形成者育成
- 第2回 社会科の成立と基本的性格、社会科の目標と内容構成、指導上の留意事項
- 第3回 中学校社会科（公民的分野）の学習内容と学習方法、指導と評価の一体化
- 第4回 教材開発の意義とその方法、教材の構造化
- 第5回 目標の立て方、学習過程の組織化、学習形態と学習活動、板書計画と発問
- 第6回 社会科学習指導案の作成
- 第7回 社会科模擬授業実践とその検討・評価
- 第8回 まとめとテスト

（後期）

- 第1回 高等学校公民科の成立過程、公民科の目標と科目構成、課題探究学習の位置付け
- 第2回 科目「現代社会」の目標と内容、科目「倫理」の目標と内容
- 第3回 科目「政治・経済」の目標と内容、公民科の指導方法と評価
- 第4回 目標の立て方、学習過程の組織化、学習形態と学習活動、教材開発の意義とその方法
- 第5回 先行授業実践例の紹介とその授業分析
- 第6回 公民科学習指導案の作成
- 第7回 公民科模擬授業実践とその検討・評価
- 第8回 まとめとテスト

授業方法：

前期は学習教材として配布した資料の解説を中心に講義形式により、各テーマについて理解していく。後期は前期の理論を実際に教育現場で実践できるように模擬授業を構想し、実際に実践することにより基礎的な力量を身に付けさせる。

達成目標：

社会科及び公民科に関する基礎的な教科理論を理解し、現行の学習指導要領の内容から模擬授業を構想し、実際に実践して身に付けることにより教育実践力の基礎を習得する。

評価方法：

試験（100％）により行う。試験には、期末試験と小テストを含む。
 教科理論を十分に理解し、理論に基づき実践に活かせる授業を構想することができる・・・S
 教科理論を十分に理解し、理論に基づく授業を構想することができる・・・A
 教科理論を理解し、理論に基づく授業を構想することができる・・・B
 教科理論を理解し、授業を構想することができる・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

なし

参考文献：

西村公孝『地球社会時代に「生きる力」を育てる』黎明書房、2004年。
 日本公民教育学会『テキストブック中学校・高等学校公民教育』第一学習社、2004年。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F04501	英語教科教育法 I	3・4	4	岡良和

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
英語運用能力、教科指導力、教授理論	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

中学校や高等学校での英語授業実践に取り組んでもらう。学習指導要領の狙いや内容を十分に理解し、望ましい授業を行うための基礎的な知識や実践力を習得する。このために、自己の英語運用能力を一層伸ばすとともに、実践的英語コミュニケーション能力の指導法を検討し、習熟する。

授業の概要：

受講生自身が聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、の4技能を伸ばすことに取り組む。次いで、これらの技能をどのように指導するのかを教授理論に基づき理解し実践する。

授業の計画：

前期	後期
1回 英語を「教える (teach)」には何が必要か	1回 指導の長期計画と短期計画 言語活動の発展と継続性
2回 言語について何を「学習する (learn)」か	2回 授業づくりの視点 指導過程の総合型構成モデル
3回 国際社会における英語の役割	3回 中学入門期の指導
4回 求められる英語力	4回 授業分析の目的と方法
5回 A. 音声 B. つづり字と発音 C. 語彙・語彙連結 D. 文法と情報構造	5回 アクション・リサーチ
6回 E. 機能 F. 会話文・説明文・物語文など G. 文化 H. コミュニケーション方略	6回 テストの意義と種類
7回 認知的要因	7回 テスト作成と作成上の留意点
8回 情意的要因	8回 リスニングのテスト
9回 動機づけ	9回 スピーキングのテスト
10回 A. 正確さと流暢 B. 発問	10回 リーディングのテスト
11回 C. 誤りの処理 D. 教室英語	11回 ライティングのテスト
12回 指導補助具の利用	12回 反省的実践家としての資質
13回 各種教授法の特徴と現代的意義	13回 指導力
14回 A. リスニングの指導と指導案 B. スピーキングの指導と指導案	14回 研修
15回 C. リーディングの指導と指導案 D. ライティングの指導と指導案	15回 教育実習の意義

授業方法：

テキストに沿って進みながら、受講生に質問していく。その後、指導案の作成と模擬授業を行う。

達成目標：

英語教員として必要とされる英語運用能力と指導力（指導案の作成を含む）に習熟すること。

評価方法：

前期・後期の試験（50％程度）と授業への取り組み（50％）程度により行う。将来教師を目指す以上、遅刻や欠席は厳に慎むこと。

- 十分な英語運用力を有し、生徒の状況に応じた授業ができる・・・S
- 十分な英語運用力を有し、理論に基づいた授業ができる・・・A
- ほぼ十分な英語運用力を有し、一定の援助を得ることで授業ができる・・・B
- 教育実習に必要な能力を有している・・・C
- Cのレベルに到達していない・・・D

教科書：

青木昭六編著『英語科教育のフロンティアー充実した実践を目指してー』保育出版社 定価 2,500 円

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
F04601	英語教科教育法Ⅱ	3・4	4	岡良和

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
英語運用能力、教科指導力、教授理論	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

おもに中学校での英語授業実践に取り組んでもらう。学習指導要領の狙いや内容を十分に理解し、望ましい授業を行うための基礎的な知識や実践力を習得する。このために、自己の英語運用能力を一層伸ばすとともに、実践的英語コミュニケーション能力の指導法を検討し、習熟する。

授業の概要：

受講生自身が聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、の4技能を伸ばすことに取り組む。次いで、これらの技能をどのように指導するのかを教授理論に基づき理解し実践する。

授業の計画：

1回	教育実習の目的	16回	文法文型の導入
2回	教育実習の心構え	17回	発展活動
3回	実習前の準備	18回	新出語彙の練習
4回	教科書全体の構成	19回	語彙の練習活動
5回	扱う単元の教材研究	20回	本文の読解
6回	本時の教材研究	21回	指導の実際
7回	授業の構成	22回	黒板の活用
8回	指導案作成の手順	23回	ピクチャーカードの活用
9回	指導案（中学1年）	24回	教室管理
10回	指導案（中学2年）	25回	Team Teaching
11回	指導案（中学3年）	26回	授業の評価
12回	Warm-up	27回	模擬授業
13回	Review	28回	模擬授業
14回	模擬授業	29回	模擬授業
15回	まとめ	30回	まとめ

授業方法：

テキストに沿って進みながら、受講生に質問していく。その後、指導案の作成と模擬授業を行う。

達成目標：

英語教員として必要とされる英語運用能力と指導力（指導案作成を含む）に習熟すること。

評価方法：

前期・後期の試験（50%程度）と授業への取り組み（50%）程度により行う。将来教師を目指す以上、遅刻や欠席は厳に慎むこと。

十分な英語運用力を有し、生徒の状況に応じた授業ができる・・・・・・・・・・S

十分な英語運用力を有し、理論に基づいた授業ができる・・・・・・・・・・A

ほぼ十分な英語運用力を有し、一定の援助を得ることで授業ができる・・・・・・B

教育実習に必要な能力を有している・・・・・・・・・・・・・・・・・・C

Cのレベルに到達していない・・・・・・・・・・・・・・・・・・D

教科書：

米山、杉山、多田 著 『英語教育実習ハンドブック』大修館書店 2,310円

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F05101	道德教育の研究	3・4	2	濱島秀樹

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	D	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
道德教育, 道德的葛藤, デイバート	コミュニケーション力, 分析・総合の思考力と判断力, 価値判断力(意志決定力)

授業のテーマ：

道德教育に関する基礎的な事柄を学んだ後、道德性の構築や自ら考える力の獲得に効果的な教育方法としてデイバートを行う。道德的な葛藤と向き合いながら他者の意見にコメントし、自分の考えも深めていく。また、それらを言語化・文章化していく力を養う。

授業の概要：

道德に関するモラルジレンマ課題をデイバートの論題としてとりあげ、出席者全員で考えを深めていく。参加者全員がパワーポイントを使用してスライドを作成し、発表をする。それをもとに、中学生に対する道德教育の指導案を作成する。その他、中学校での道德教育の進め方について、また、心理学において道德性の発達がどのように扱われているのかなどを整理する。道德に関する時事的な社会問題についても取り上げ、解説する。

授業の計画：

第1回	オリエンテーション モラルジレンマについて	第9回	道德教育と全人教育
第2回	道德教育の歴史と学習指導要領	第10回	発表原稿作成
第3回	道德的社会化	第11回	発表原稿作成
第4回	道德性の発達と自己の成長	第12回	デイバート①
第5回	種々の道德的課題	第13回	デイバート②
第6回	ディスカッション	第14回	デイバート③
第7回	道德教育と生徒指導, 特別活動	第15回	道德教育指導案作成
第8回	道德教育と家庭・学校・地域		

授業方法：

基本的には配布資料とスライドをもとに講義・演習(ディスカッション・デイバート等を含む)を行う。ある課題に対し自分で調べ、考え、そして、発表することが求められる。積極的な能動的参加が必要である。その他、中学校での道德教育の進め方について、また、心理学において道德性の発達がどのように扱われているのかなどを講義する。道德に関する時事的な社会問題についても取り上げ、解説する。

達成目標：

道德に関する種々の講義内容を基本に、モラルジレンマ課題を通して、自らの道德観を見つめなおし、児童・生徒のおかれた発達段階や社会状況に即して、中学校において道德教育を行うことのできる基礎的な知識や態度を身につけることを目標とする。

評価方法：

授業への参加態度(ディスカッションやデイバート発表点も加味)60%程度、レポート(講義終了後の設定期間内に提出のこと)20%程度、授業指導案作成20%程度で総合的に評価を行う。

教科書：

なし

参考文献：

文部科学省 『心のノート 中学校版』 暁教育図書株式会社(430円 税込み)
 文部科学省 『中学校学習指導要領解説 道德編』 日本文教出版(139円 税込み)
 太田龍樹 『デイバートの基本が面白いほど身につく本』 (株)中経出版(1,155円 税込み)
 茂木秀昭 『デイバートが面白いほどできる本』 (株)中経出版(552円+税)

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F06101	特別活動指導法	3・4	2	大宮貢

期間	曜日	時限	備考：
前期	土	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
人格の形成、個性の伸長、人間関係の構築 教科外教育、適応教育	コミュニケーション能力、分析・総合の思考力と 判断力、問題解決力、効果的な社会参加

授業のテーマ：

教育の目標は人間の成長保障と学力形成保障の両面があり、学校の教育活動は各教科・道徳・特別活動等によって構成されている。しかし、現実に行われている教育活動は、学力形成に重点が置かれている。特別活動は生徒の心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、人格形成をする重要な諸活動であることを再認識する。

授業の概要：

人間の人格形成と学力形成は表裏一体である。日本の教育の歴史を理解することから教育は人格の形成を図る諸活動が実践されていることを再認識する。また、人格形成を阻害する諸問題があることを理解する。

授業の計画：

- 1・教育の目的・日本の教育史の概論
- 2・江戸時代の教育と近代の教育の意義と課題
- 3・特別活動総論…新学習指導要領の趣旨 教育課程における特別活動・教科外活動の位置と意義
- 4・人格形成のための学力形成 特別活動と教科指導の関わり、
- 5・学力重視か個性重視か ビデオ「明治の教育」を視聴して、小論文にまとめ討論
- 6・学級活動・給食指導・清掃指導の意義と課題
- 7・クラブ活動・部活動の意義と課題
- 8・学校行事の意義、活動内容と指導計画・・・修学旅行の実施計画
- 9・修学旅行の実施計画の発表と発表内容についての討論（演習）
- 10・総合的な学習の時間のあり方
- 11・特別支援教育、ボランティア活動
- 12・教科外教育（人権教育・子供の人権・高齢者福祉・女性差別等）
- 13・教科外教育（同和問題・ハンセン病）
- 14・適応学級（いじめと不登校、国際理解教育）
- 15・教員の資質について
- 16・試験（小論文）

授業方法：

基本的には講義方式で進め、授業内容詳説プリントとビデオを教材として用いる。また、受講生に対して課題を出して、小論文の形で提出してもらい、意見の交換を行う。その授業の課題について一人ひとり発表し、その後全員で討議し、自分の考えを確立する。

達成目標：

特別活動は心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、人格形成をする重要な諸活動であることを理解する。人間の成長・発達を保障するさまざまな活動や諸問題があることを習得する。

評価方法：

試験 40%、課題の小論文（内容の論旨、文章の表現方法）40%、演習での発表（論旨・態度）20%を総合して評価する。

- 教育の目標や特別活動の意義や活動を十分理解し、自分の意見が発表できる・・・S
 教育の目標や特別活動の意義や活動を理解し、自分の意見が発表できる・・・A
 教育の目標や特別活動の意義や活動を理解し、自分の意見が持てる・・・B
 教育の目標や特別活動の意義や活動を理解できる・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別活動編』（ぎょうせい114円）

参考文献：

講義時間に紹介する。

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F07101	教材・教具論	3・4	2	文野峯子

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生教材，教材分析，効果的な利用	分析・総合の思考力と判断力，問題解決力，価値判断力（意思決定力）

授業のテーマ：

教材の分析・評価と教育への利用

授業の概要：

前半では，既存の視聴覚教材を分析・評価する。後半では，テレビ，ビデオ，アニメ，ゲームなどの視聴覚素材を，教育の目的に合わせて教材化し，その効果的な利用法を考えて模擬授業を行う。

授業の計画：

1. 教材とは何か。教材の役割について考える。
2. 教材を評価するための基準，項目を考える。
3. 既存の教材を調べ，分析・評価する。効果的な利用法を考える。
4. 工夫した利用法を取り入れた授業案を考える。
5. 授業案の検討
6. 模擬実習
7. 生教材（漫画、アニメ等映像教材）を教材化する 1回目（素材を探す）
8. 生教材を教材化する 2回目（教材化を考える）
9. 生教材を教材化する 3回目（教材化を考える）
10. 教材を発表する 評価する
11. 目的（中高の国語，英語，社会科，国際理解教育など）に合った使い方・授業案を考える。
12. 授業案検討
13. 授業案の修正
14. 模擬実習
15. まとめ

授業方法：

学生が主体的に活動をすることによって学習が成立する授業である。グループ単位で，教材作成，教案作成，発表等を行う。欠席は，グループ作業を滞らせるため，全出席を旨とする。教材についての情報を得る，教材作成のための資料を得るために，インターネットを利用する。また，発表もパワーポイントを利用して行う。

達成目標：

1. 教材を評価できるようになる。
2. 生の素材を対象者や目的に合わせて教材化できるようになる。
3. 教材を効果的に利用した授業ができるようになる。

評価方法：

発表・報告 50%
 模擬実習 50%

教科書：

特に定めない。

参考文献：

ウェブに公開されているさまざまな教材

実験・実習・教材費：

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
F08101	生徒指導・進路指導	3・4	2	川口雅昭
期間	曜日	時限	備考：	
前期	火	5		
授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力		
生徒指導、生徒理解、教職		コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）		

授業のテーマ：

学校教育は教科指導にみならず、生徒の人格の完成、人間形成を重視しておこなわなければならない。生徒の人格、人間形成のために重要な役割を果たしているのは、生徒指導・進路指導である。そこで、本講義では、それらについて理解を深め、実際の学校においてはどのような指導が行われているのかを論じたい。

授業の概要：

専門用語の解説などから始め、生徒指導、進路指導の理想的なあり方を、自分で考えられるようにする。

授業の計画：

- 1 生徒指導とは一校内分掌における位置付け
- 2 生徒指導とは一生徒理解
- 3 生徒指導の領域と課題
- 4 生徒指導体制の基本的構造
- 5 生徒指導の場・機会
- 6 生徒指導の事例①
- 7 生徒指導の事例②
- 8 生徒指導の事例③
- 9 進路指導とは一校内分掌における位置付け
- 10 進路指導とは一生徒理解
- 11 進路指導の領域と課題
- 12 進路指導の基本的構造
- 13 進路指導の場・機会
- 14 進路指導の事例①
- 15 進路指導の事例②

授業方法：

講義形式を中心として、適時、史料などを講読する。

達成目標：

生徒指導、進路指導の基本を理解し、学校現場に立った時に、具体的に指導ができる基礎を身に付けさせる。

評価方法：

試験（100％）により行う。試験には期末試験、小テスト、課題提出などを含む。

教科書：

なし。史料は適時配布。

参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F09101	教育相談	3・4	2	坂本真也

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	B	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スクールカウンセリング, 学校臨床心理学, 児童・生徒理解	分析・総合の思考力と判断力 問題解決力 社交性 (社会的相互関係力)

授業のテーマ：

現在、学校現場ではいじめ・不登校・非行そして発達障害など多くの問題に直面している。また、児童生徒だけでなくその保護者や教師への援助も教育相談では必要とされている。よって、本講義では学校の様々な問題に対する理解とその対応について理論や方法論だけでなく、事例も含めて学校臨床心理学（スクールカウンセリング）の視点から学習することを主要なテーマとする。

授業の概要：

教育相談のあり方や特徴を学習し、学校現場が抱える問題の背後にある児童生徒の心理・発達、教師—児童生徒関係についても理解していく。また、個々の問題への対応や援助の方法を習得し、効果的な教育相談が行えることを目標とする。

授業の計画：

第1回	教育相談とは	第9回	ケースディスカッション（発達障害）
第2回	教育相談の歴史的背景	第10回	カウンセリングの理論Ⅰ
第3回	児童生徒の心理・発達Ⅰ	第11回	カウンセリングの理論Ⅱ
第4回	児童生徒の心理・発達Ⅱ	第12回	カウンセリングの技法
第5回	教師—児童生徒の人間関係	第13回	カウンセリング実習
第6回	児童生徒への相談活動	第14回	スクールカウンセラーとの連携
第7回	ケースディスカッション（不登校）	第15回	
第8回	保護者への相談活動		まとめ

授業方法：

配布資料をもとに講義を行い、実際に学校現場で抱える問題については体験的に理解できるよう事例を通して討論していく。また、カウンセリング実習していき、相談活動のあり方についても全員で考え、意見を交換していく。

達成目標：

児童生徒の心理・発達の理解および相談方法の習得、保護者への相談対応能力や連携能力の習得

評価方法：

出席回数基準をクリアしていることを前提とし、定期試験の結果によって評価する。
 S—児童生徒の心理・発達ならびに効果的な相談活動のあり方をほぼ完全に理解できる。
 A—児童生徒の心理・発達ならびに効果的な相談活動のあり方を理解できる。
 B—児童生徒の心理・発達ならびに効果的な相談活動のあり方を部分的に理解できる。
 C—児童生徒の心理・発達ならびに効果的な相談活動のあり方を最低限は理解できる。
 D—S Cのレベルに達していない。

教科書：

なし

参考文献：

Schmidt,J.J *COUNSELING IN SCHOOLS-Responsive Services for student* Pearson 11,027 円
 Holmgren,V.S. *Elementary School Counseling* Allyn & Bacon 7,139 円

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F11101	事前・事後指導	4	1	岡良和

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育実習、問題解決力、教育現場への参加	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

教育実習は、学生として学ぶ立場から教師として指導する立場へと転換する時期としてとらえることができる。この時期に教師への志望が一段と強くなり、また、人間的にも大きく成長する。この授業では、教育実習参加者が、教育実習の意義を理解し大きな成果をあげるために身につけておくべき事柄について習熟する。

授業の概要：

事前指導では「教育実地研究の手引」を用いながら、教育実習の意義、目的、教育実習の内容、教育実習上の留意事項（登下校時間、服装、ことばづかい、その他）、教育実習簿の記載方法などについて習熟する。事後指導では、教育実習の目的がどこまで達成されたのかを全員で討論し振り返る。

授業の計画：

事前指導

- 1回 教育実習の意義・心構え
- 2回 実習ノートの活用
- 3回 指導案の作成・授業方法についての確認
- 4回 まとめ

事後指導

- 1回 生徒指導の振り返り
- 2回 教科指導の振り返り
- 3回 まとめ

授業方法：

事前指導では、教育現場における課題や問題に対し、実習生としてどのように対処すべきかを討論する。
事後指導では、大学で学習したことと、現場で体験したことを比較し、残された課題について検討する。

達成目標：

将来教員となるのに必要な基礎力を身につける。

評価方法：

授業への取り組み（30%程度）と教育実習校での成果（40%）及びレポート（30%程度）により行う。将来教師を目指す以上、遅刻や欠席は厳に慎むこと。

- 事前準備が完璧で、教育実習において大いに成果をあげた……………S
事前準備がほぼ完璧で、教育実習において満足できる成果をあげた……………A
事前準備が一定のレベルにあり、教育実習において一定の成果をあげた……………B
事前準備や教育実習が最低限のレベルには到達していた……………C

教科書：

なし

参考文献：

なし

実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F11401	教職実践演習(中・高)	4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：日程については決定次第掲示連絡します。

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教師、学校、教職、完成	コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

教師として必要とされる、教師としての責任感や教育的愛情、社会性や対人能力、生徒理解や学級経営、教科の指導力などの資質の向上と定着を目的とする。

授業の概要：

教育実習や学校現場の見学によって得られた知識や経験を活用しながら、各回の授業のテーマについて、講義のほか、グループ討論やロールプレイングを行う。なお、「履修カルテ」により、個別指導もあわせて行う。

授業の計画：

- 第1回 教育実習の振り返り：問題点や課題の確認
- 第2回 教員の役割や責任、職務内容について：教師集団の協力体制
- 第3回 ホームルームの運営：集団作り、個と集団の関係
- 第4回 生徒理解と学級経営：目立たない生徒の把握、問題の気づき
- 第5回 学級経営案の作成：年間目標の設定と実行、及び評価
- 第6回 保護者や地域の関係者との人間関係の構築：地域活動、保護者の対応
- 第7回 対人能力、生徒理解、学級経営についてのまとめ 異世代とのコミュニケーションの取り方など
- 第8回 学校現場の見学Ⅰ（学園高等学校）：課外活動の指導
- 第9回 学校現場の見学Ⅱ（東海中学）：
- 第10回 学校現場見学のまとめ・討論
- 第11回 教科の指導力：指導に当たっての基礎学力の確認、指導案とその運用、修正
- 第12回 模擬授業①：グループ学習の進め方
- 第13回 模擬授業②：発問、指名、評価
- 第14回 教科の指導力のまとめ
- 第15回 教師としての資質の確認：教師の自律

授業方法：

講義のほか、グループ討論やロールプレイングを行う。なお、「履修カルテ」により、個別指導もあわせて行う。

達成目標：

教師としての責任感や教育的愛情、社会性や対人能力、生徒理解や学級経営、教科の指導力などの資質の向上と定着。

評価方法：

試験（100％）により行う。試験には期末試験、小テスト、課題提出を含む。

教科書：

なし。

参考文献：

折々に紹介する。

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F11201	教育実習 I	4	2	岡良和

期間	曜日	時限	備考：前年度に教育実習参加の申込をした学生のみ履修登録可 中1種・高1種免必修
前期			

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生徒、問題解決力、教育現場への参加、教育者としての適性	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

教育実習では、大学で学習した理論と技術を、生徒との接触を通して再構築し、教育の現場に適用させることを目的とする。また、教員としての自覚を促し、教育者としての適性を確かめ、教育実践への意欲を持つ機会とする。

授業の概要：

実習校において、講義、観察、参加、授業実習が実施される。

授業の計画：

実習校により示される。

授業方法：

実習校での方針によるが、実習生は実習校に多大な負担をかけているという事実を認識する必要がある。実習生は指導技術や教科内容について未熟であり、受け入れ校での学習計画が変更を余儀なくされる可能性もある。実習校は、多忙な教育活動の中で実習生を受け入れている事実を十分認識して、実習生は謙虚で感謝の気持ちを持って実習期間を過ごすこと。また、常に向上心を持ち、努力と時間を惜しまないこと。

達成目標

将来教員となるのに必要な基礎力を身につけるとともに、自らが教職に就く可能性を客観的に認識する。

評価方法：

教育実習校での成績に基づく。
 教育実習において大いに成果をあげた・・・S
 教育実習において満足できる成果をあげた・・・A
 教育実習において一定の成果をあげた・・・B
 教育実習の成果が最低限のレベルには到達していた・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

必要に応じて実習校で示される

参考文献：

必要に応じて実習校で示される

実験・実習・教材費：

必要に応じて実習校で示される

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F11301	教育実習Ⅱ	4	2	岡良和

期間	曜日	時限	備考：前年度に教育実習参加の申込をした学生のみ履修登録可 中1種免必修
前期			

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生徒、問題解決力、教育現場への参加、教育者としての適性	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性（社会的相互関係力）

授業のテーマ：

教育実習では、大学で学習した理論と技術を、生徒との接触を通して再構築し、教育の現場に適用させることを目的とする。また、教員としての自覚を促し、教育者としての適性を確かめ、教育実践への意欲を持つ機会とする。

授業の概要：

実習校において、講義、観察、参加、授業実習が実施される。

授業の計画：

実習校により示される。

授業方法：

実習校での方針によるが、実習生は実習校に多大な負担をかけているという事実を認識する必要がある。実習生は指導技術や教科内容について未熟であり、受け入れ校での学習計画が変更を余儀なくされる可能性もある。実習校は、多忙な教育活動の中で実習生を受け入れている事実を十分認識して、実習生は謙虚で感謝の気持ちを持って実習期間を過ごすこと。また、常に向上心を持ち、努力と時間を惜しまないこと。

達成目標

将来教員となるのに必要な基礎力を身につけるとともに、自らが教職に就く可能性を客観的に認識する。

評価方法：

教育実習校での成績に基づく。
 教育実習において大いに成果をあげた・・・S
 教育実習において満足できる成果をあげた・・・A
 教育実習において一定の成果をあげた・・・B
 教育実習での成果が最低限のレベルには到達していた・・・C
 Cのレベルに達していない・・・D

教科書：

必要に応じて実習校で示される

参考文献：

必要に応じて実習校で示される

実験・実習・教材費：

必要に応じて実習校で示される